

令和7年度
京都市外国籍市民等意識・実態
及び受入れに関する調査
結果報告書

令和8年3月
京都市

目 次

I 調査の概要	
1 調査目的	1
2 実施要領	1
3 報告書の見方	2
4 調査項目	3
5 住民基本台帳登録者とアンケート回答者の比較	5
6 調査実施	8
II 調査結果の概要	9
III-1 外国籍市民アンケートの結果	
1 回答者の属性	16
2 京都での満足度や生活での困りごとについて	27
3 言葉について	58
4 情報について	79
5 日本人との付き合い、地域での交流について	86
6 医療について	102
7 子育て・教育について	104
8 仕事について	113
9 防災について	123
10 行政・相談窓口について	125
11 多文化共生の取組について	140
III-2 外国籍市民との共生に関するアンケートの結果	
1 回答者の属性	154
2 外国人との交流について	160
3 外国籍市民の受入れに関する意識・希望について	166
4 国際交流の経験、関心・希望について	179
III-3 共通設問の比較	185
III-4 自由意見	190
IV 資料(調査票)	207

I 調査の概要

1 調査目的

京都市における外国籍市民の数は、令和7年12月末時点で過去最高の約6万8千人に至るなど、急激に増加している。また、近年は東南アジア諸国出身者の増加や、就労目的の在留資格者及びその家族の伸長など、国籍や在留資格が多様化しており、外国籍市民を取り巻く状況は大きく変化している。

本調査は、そうした状況を踏まえて、外国籍市民に対する生活実態やニーズなどに関する調査、日本人市民に対する受入れに関する意識などに関する調査を行い、2つの調査によって実態や課題を把握することにより、本市において、日本人市民と外国籍市民の相互理解が深まり、誰もがより安心して暮らせるまちづくりに向けた施策を検討することを目的に実施した。

2 実施要領

	京都市 外国籍市民 アンケート	京都市 外国籍市民との共生に関するアンケート
(1) 調査対象	外国籍市民	日本人市民
	京都市内に住民登録のある18歳以上の方から無作為抽出	
(2) 調査期間	令和7年(2025年)7月3日(木)～7月28日(月)	
(3) 調査方法	郵送による配布、郵送・WEBによる回収	
(4) 配布数	5,000件	3,000件
(5) 有効回収数 [有効回収率]	1,390件 (郵送660件、WEB730件) [27.8%]	1,188件 (郵送860件、WEB328件) [39.6%]

(1) 外国籍市民向けの調査票は、抽出した対象者の国籍に合わせて、日本語(やさしい日本語)調査票と言語別調査票(英語、中国語(簡体字)、ベトナム語、ネパール語、韓国・朝鮮語)の2部を郵送した。

回答言語内訳

言語	回答者数	割合
日本語	633人	45.5%
英語	342人	24.6%
中国語(簡体字)	224人	16.1%
ベトナム語	107人	7.7%
ネパール語	58人	4.2%
韓国・朝鮮語	26人	1.9%
合計	1,390人	100.0%




I 調査の概要

- (2) 外国籍市民調査の集計では、途中で回答を終了した場合はその章までを集計対象とし、それ以降は母数(回答者数)に含めていない。そのため、章ごとに母数変動している。

外国籍市民調査回答者数

章のタイトル	回答者数	割合
1 回答者の属性	1,390人	100.0%
2 京都での満足度や生活での困りごとについて	1,390人	100.0%
3 言葉について	1,311人	94.3%
4 情報について	1,285人	92.4%
5 日本人との付き合い、地域での交流について	1,272人	91.5%
6 医療について	1,263人	90.9%
7 子育て・教育について	1,263人	90.9%
8 仕事について	1,260人	90.6%
9 防災について	1,250人	89.9%
10 行政・相談窓口について	1,247人	89.7%
11 多文化共生の取組について	1,232人	88.6%

3 報告書の見方

- (1) 図表中の「n(number of case)」は、有効回答数を表している。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、調査票に掲載したそれぞれの選択肢の回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入している。そのため、単一回答であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- (4) 図表中に次のような表示がある場合は、複数回答を依頼した質問を示している。
- ・MA%(Multiple Answer): 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・3LA%(3 Limited Answer): 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
- これ以外の場合、特に断りがない限り、単一回答(回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する)形式の設問となっている。
- (5) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものである。
- (6) 本文や図表中の選択肢について、調査票の設問を簡略化し、記載している場合がある。
- (7) 回答数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向をみるにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- (8) 属性特徴の表中の  は一番目に多い割合の項目、 は二番目に多い割合の項目、 は三番目に多い割合の項目を示している。
- また、「全体」行の上段は実数、下段は割合を示している。
- (9) 外国籍市民調査の国籍・地域は回答数の多い上位10件を記載し、回答数が少ない国籍・地域は、「その他の国籍・地域」としてまとめている。在留資格についても同様に、回答数の多い上位10件を記載し、回答数が少ない在留資格は、「その他の在留資格」としてまとめている。

4 調査項目

京都市 外国籍市民 アンケート（外国籍市民対象）	
1	回答者の属性
	[1]居住地域 [6]同居人
	[2]性別 [7]日本在住期間
	[3]年齢 [8]京都市在住期間
	[4]国籍・地域 [9]住居状況
	[5]在留資格 [10]最終学歴
2	京都での満足度や生活での困りごとについて
	[1]京都市での満足度 [5]困ったときの相談先
	[2]「京都」の魅力 [6]京都市または日本での定住意向
	[3]生活の困りごと [7]京都市からの転出理由
	[4]差別の経験
3	言葉について
	[1]日本語の状況 [4]希望する日本語勉強方法
	[2]日本語の学習状況 [5]日本語を学ぶことができない理由
	[3]日本語の勉強方法 [6]日本語以外の会話可能言語
4	情報について
	[1]生活に必要な情報の入手先 [3]不足していると感じる多言語の情報
	[2]行政情報発信ツールの認知度 [4]生活必要情報の取得言語
5	日本人との付き合い、地域での交流について
	[1]日本人との交流 [4]交流できていない理由
	[2]地域(近所)での日本人との交流 [5]仕事や学校以外の交流・活動
	[3]今後の日本人との交流意向
6	医療について
	[1]病院受診時の困りごと
7	子育て・教育について
	[1]0歳～18歳の子どもの有無 [3]出産・育児の困りごと
	[2]子どもの就学状況 [4]教育の困りごと
8	仕事について
	[1]就労形態 [4]仕事を探していない理由
	[2]職業 [5]求職時の困りごと
	[3]仕事の困りごとや不満
9	防災について
	[1]防災について知っていること
10	行政・相談窓口について
	[1]行政サービスの認知度・利用経験 [3]京都市外国籍市民総合相談窓口の認知度・利用経験
	[2]行政窓口での困りごと [4]京都市外国籍市民総合相談窓口を利用しない理由
11	多文化共生の取組について
	[1]kokoka京都市国際交流会館の認知度・利用経験 [4]京都市に望むこと
	[2]kokoka京都市国際交流会館のサービスの認知度・利用経験 [5]日本人に望むこと
	[3]kokoka京都市国際交流会館を利用しない理由
12	自由意見

I 調査の概要

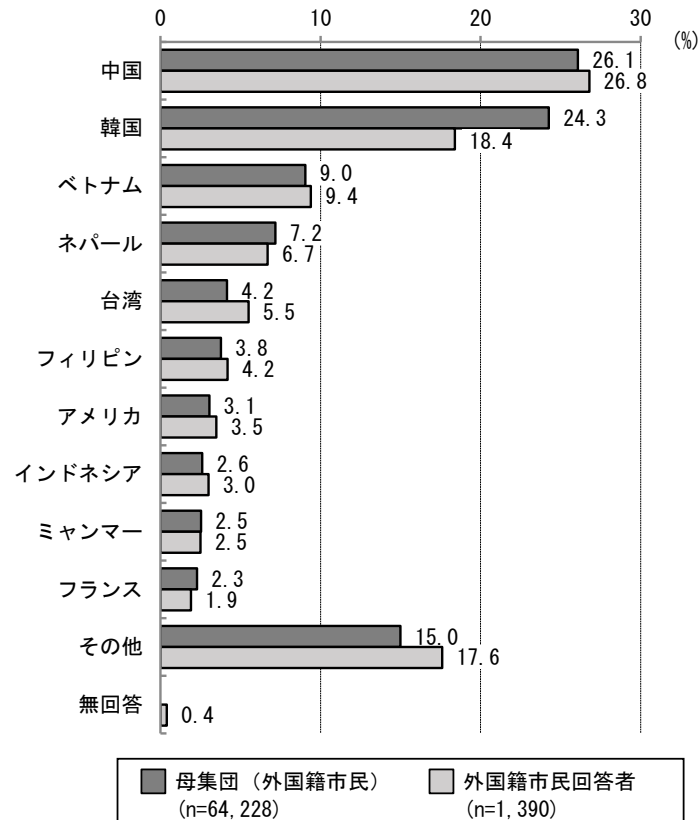
京都市 外国籍市民との共生に関するアンケート（日本人市民対象）		
1	回答者の属性	
	[1] 居住地域	[5] 同居人
	[2] 性別	[6] 子どもの年齢
	[3] 年齢	[7] 語学力
	[4] 職業	[8] 海外滞在経験
2	外国人との交流について	
	[1] 外国人との交流	[4] 希望する付き合い方
	[2] 外国人との交流のきっかけ	[5] 交流できていない理由
	[3] 今後の外国人との交流意向	
3	外国籍市民の受入れに関する意識・希望について	
	[1] 近所の外国籍の人の有無	[7] 地域の外国籍市民との間のトラブル
	[2] 近所に外国籍の人が住むことについて	[8] 外国籍市民に対してできること
	[3] 外国籍市民が増えることで良いと感じることはあるか	[9] 外国籍市民に望むこと
	[4] 外国籍市民が増えることで良くなること	[10] 「やさしい日本語」の認知度
	[5] 外国籍市民が増えることで良くないと感じることはあるか	[11] 京都市に望むこと
	[6] 外国籍市民が増えることで良くないこと	
4	国際交流の経験、関心・希望について	
	[1] 姉妹都市の認知度	[4] kokoka京都市国際交流会館の認知度
	[2] 国際交流事業への参加経験や参加意向	[5] kokoka京都市国際交流会館を利用しない理由
	[3] 関心がある国際交流イベント	[6] 京都市が取り組むべき国際交流・国際協力
5	自由意見	

5 住民基本台帳登録者とアンケート回答者の比較

京都市の住民基本台帳に登録されている18歳以上の全ての市民を母集団(回答者が属する集団全体)とし、本調査の回答者国籍・地域、在留資格、居住地域、年齢の割合と比較した。

〔1〕京都市 外国籍市民 アンケート(外国籍市民対象)

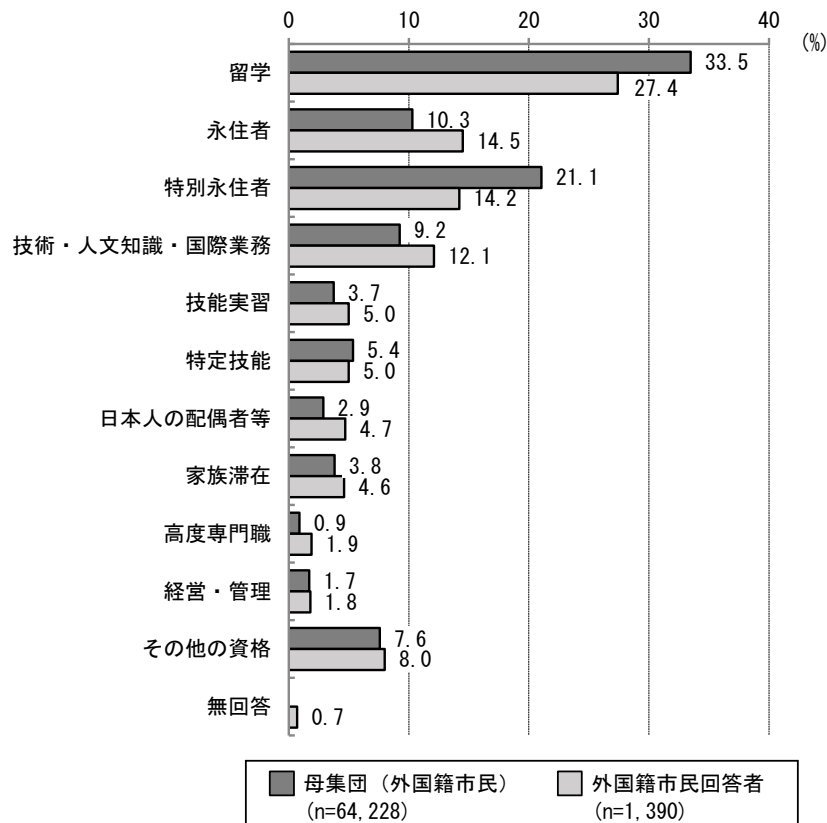
【図表 1 国籍・地域】



※母集団出典：京都市住民基本台帳の登録者数(国籍別、令和8年(2026年)1月1日現在)

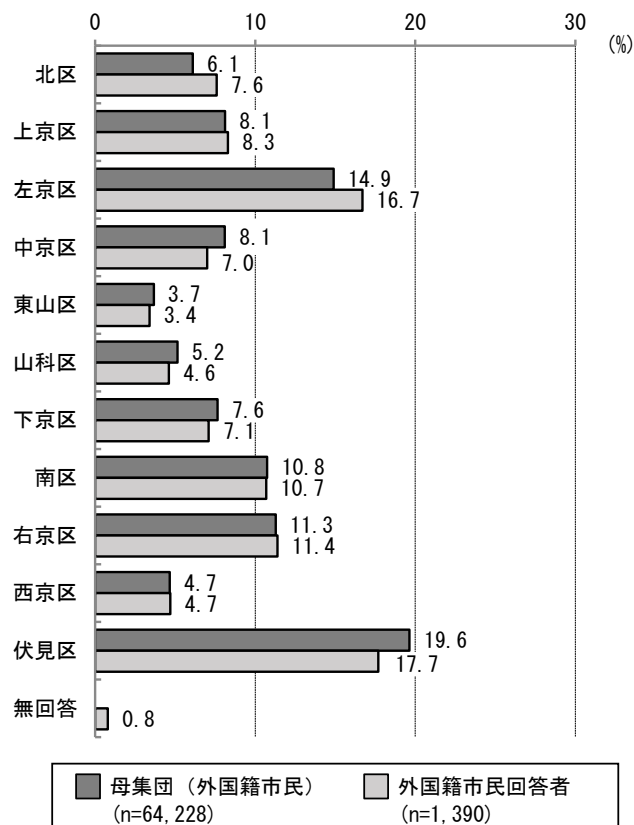
I 調査の概要

【図表 2 在留資格】



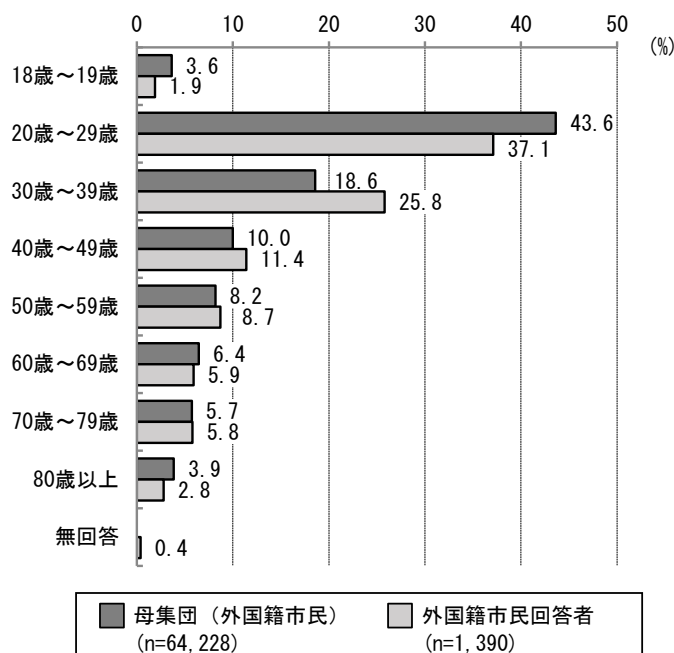
※母集団出典：京都市住民基本台帳の登録者数（在留資格別、令和8年（2026年）1月1日現在）

【図表 3 居住地】



※母集団出典：京都市住民基本台帳の登録者数（外国人・行政区別、令和8年（2026年）1月1日現在）

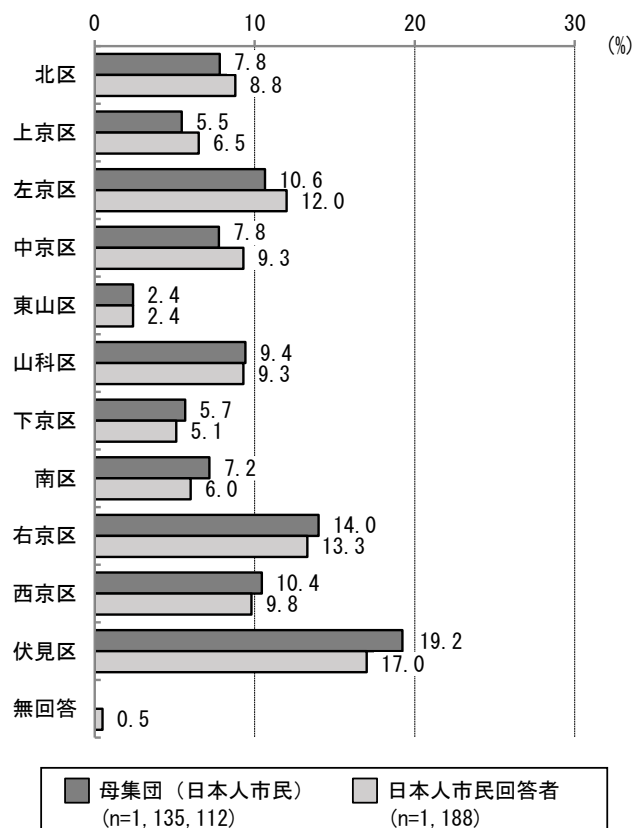
【図表 4 年齢】



※母集団出典：京都市住民基本台帳の登録者数（外国人・年齢別、令和8年（2026年）1月1日現在）

〔2〕京都市 外国籍市民との共生に関するアンケート（日本人市民対象）

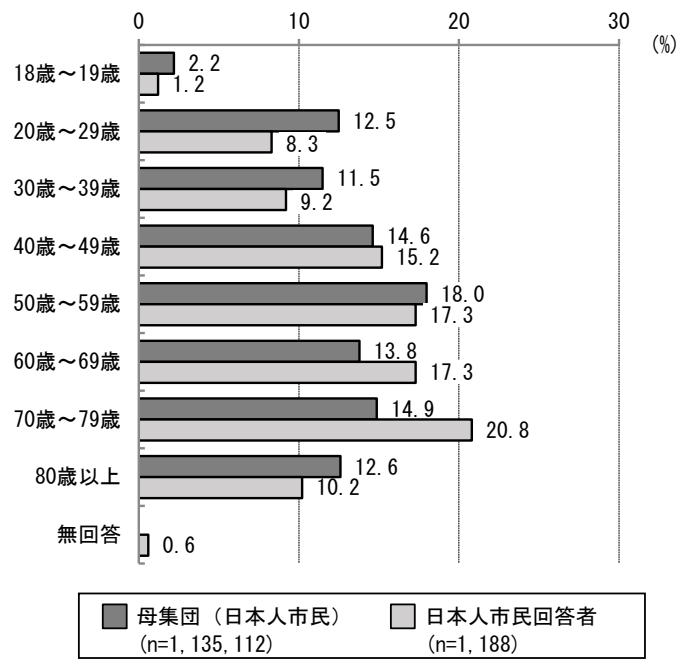
【図表 5 居住地域】



※母集団出典：京都市住民基本台帳の登録者数（日本人・行政区別、令和8年（2026年）1月1日現在）

I 調査の概要

【図表 6 年齢】



※母集団出典：京都市住民基本台帳の登録者数（日本人・年齢別、令和8年（2026年）1月1日現在）

6 調査実施

- ・調査主体 京都市
- ・調査委託 株式会社サーベイリサーチセンター

II 調査結果の概要

1 外国籍市民アンケート

【京都での満足度や生活での困りごとについて】

○京都市での満足度について、「満足」は76.3%となっている。(図表27)

○京都の魅力についての上位は、以下のとおりとなっている。(図表29)

- ① 「近くに山や川などの自然が豊かである」(44.4%)
- ② 「祭りや伝統芸能、寺社など、日本の伝統文化を感じられる」(42.3%)
- ③ 「古い街並みや建物が残っている」(41.7%)

○生活の困りごとについての上位は、以下のとおりとなっている。(図表31)

- ① 「日本語での会話や読み書き」(30.3%)
- ② 「生活費」(29.4%)
- ③ 「税金や年金など行政窓口での手続き」(26.3%)
- ④ 「仕事さがし」(24.5%)
- ⑤ 「多言語で情報を入手すること」(22.7%)
- 「日本人からの差別や偏見」(22.7%)

○差別の経験について、「何らかの差別を受けることがある」が55.0%となっている。(図表50、51)

- ・ 差別の内容の上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「家探しで断られる」(22.9%)
 - ② 「じろじろ見られたり、避けられたりする」(19.4%)
 - 「就職活動で日本人より採用されにくい」(19.4%)
 - ③ 「意見や行動、文化などを尊重されない」(11.9%)

○京都市での定住意向について、「京都市に住み続けたい」が48.3%となっている。(図表54、56)

- ・ 「日本に住み続けたいが、京都市からは引っ越したい、または住み続けるか不明」について
転出を考える理由の上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「就きたい仕事や働く場所がないため」(26.6%)
 - ② 「家を見つけることが難しいため(高いなど)」(14.9%)
 - ③ 「家族のその他の理由での移動のため」(9.4%)

Ⅱ 調査結果の概要

【言葉について】

○外国籍市民の日本語能力の「聞く・話す」については、「日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる」以上可能な人が66.9%、ほとんどできない人は4.9%となっている。(図表58)

○日本語の学習状況・意向について、「学習意向あり」が58.8%となっている。(図表64、68、77)

・ 利用したい勉強方法についての上位は、以下のとおりとなっている。

- ① 「家や職場の近くにある教室」(57.5%)
- ② 「語学学習アプリ」(56.9%)
- ③ 「オンラインで学べるサービス」(55.8%)

・ 学習できていない理由の上位は、以下のとおりとなっている。

- ① 「忙しくて勉強する時間がないから」(60.7%)
- ② 「近くに学べる場所がないから」(32.7%)
- ③ 「日本語教室や日本語学校の情報がわからないから」(26.1%)

【情報について】

○生活に必要な情報の入手先についての上位は、以下のとおりとなっている。(図表81)

- ① 「(民間の)インターネット」(66.9%)
- ② 「(民間の)SNS」(45.1%)
- ③ 「職場や学校」(24.5%)

○行政情報発信ツールの認知度は、京都市役所のホームページが39.5%、kokoka京都市国際交流会館のホームページが26.4%となっている。(図表83、85)

・ 不足していると感じる多言語の情報についての上位は、以下のとおりとなっている。

- ① 「税金や年金の手続き」(27.5%)
- ② 「病院・医療」(26.4%)
- ③ 「仕事の探し方」(20.5%)

【日本人との付き合い、地域での交流について】

○日本人との交流について、「日本人との付き合いがある」が84.2%となっている。(図表89、91)

・ 交流の内容についての上位は、以下のとおりとなっている。

- ① 「挨拶をする人がいる」(51.3%)
- ② 「親しく交流する人がいる」(40.5%)
- ③ 「個人的な話をする人がいる」(38.4%)

・ 地域での日本人との交流について、「付き合いがある」と答えた人は61.1%となっている。

○今後の日本人との交流意向について、「交流意向あり」が93.5%となっている。(図表93、95)

・ 現在交流できていない理由の上位は、以下のとおりとなっている。

- ① 「言葉が通じない」(56.9%)
- ② 「交流のきっかけがない」(44.1%)
- ③ 「どのように接していいかわからない」(36.8%)

○仕事や学校以外の交流・活動について、「参加意向あり」の上位は、以下のとおりとなっている。(図表97)

- ① 「地域のイベント」(69.0%)
- ② 「趣味やスポーツ活動」(65.9%)
- ③ 「日本文化や京都の文化を学ぶ活動」(64.9%)

【医療について】

○病院受診時の困りごとについて、「何らかの困りごとがある」が51.4%となっている。(図表105)

- ・ 病院受診時の困りごとの上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「休日や夜みてもらえる病院がどこにあるかわからない」(22.3%)
 - ② 「医師や看護師と言葉が通じない」(18.1%)
 - ③ 「どのような病院があるかを多言語で見つけることが難しい」(17.1%)

【子育て・教育について】

○出産や育児での困りごとについて、「何らかの困りごとがある」が27.6%となっている。(図表117)

- ・ 出産や育児での困りごとの上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「同じように子育てをしている人と知り合う機会がない」(10.9%)
 - ② 「保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない」(7.8%)
 - ③ 「子育ての情報が日本語なのでわかりにくい」(7.3%)

○教育での困りごとについて、「何らかの困りごとがある」が51.6%となっている。(図表119)

- ・ 教育での困りごとの上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「進学や進路に不安がある」(20.8%)
 - ② 「教育にかかる費用が高い」(17.7%)
 - ③ 「子どもが日本語がうまくできない」(13.5%)

【仕事について】

○仕事について、「何らかの困りごとがある」が53.7%となっている。(図表125、127)

- ・ 仕事の困りごとの上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「給料が安い」(32.2%)
 - ② 「日本語によるコミュニケーションが難しい」(11.7%)
 - ③ 「いつ仕事がなくなるか不安がある」(8.9%)
- ・ 仕事を探していない理由の上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「仕事がなくとも生活できるから」(55.6%)
 - ② 「日本語がうまく話せず、就職できないから」(10.6%)
 - ③ 「探しても希望する就職先が見つからないから」(9.2%)

○求職時の困りごとについて、「何らかの困りごとがある」が43.4%となっている。(図表129)

- ・ 求職時の困りごとの上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「求人情報の探し方がわからない(わからなかった)」(17.0%)
 - ② 「外国人が応募してよいのかわからない(わからなかった)」(15.4%)
 - ③ 「自分の日本語レベルでできる仕事がない(なかった)」(15.1%)

II 調査結果の概要

【防災について】

○防災について知っていることの上位は、以下のとおりとなっている。(図表131)

- ① 「火事が起こったときの電話番号」(55.8%)
- ② 「家や会社、学校の避難口の位置」(53.5%)
- ③ 「消火器の使い方」(53.0%)

【行政・相談窓口について】

○本調査において質問した行政サービスの認知状況の上位は、以下のとおりとなっている。(図表133)

- ① 「市民向けの予防接種や健康診断」(59.9%)
- ② 「児童手当・児童扶養手当」(44.4%)
- ③ 「敬老乗車証」(43.4%)

○行政窓口において、「困ったことがある」が39.5%となっている。(図表143)

・ 行政窓口での困りごとの上位は、以下のとおりとなっている。

- ① 「どの窓口に行けばいいかわからなかった」(16.6%)
- ② 「いろいろな書類をそろえるのが難しかった」(15.9%)
- ③ 「書類の内容、書き方がわからなかった」(14.3%)

【多文化共生の取組について】

○kokoka京都市国際交流会館の認知度について、「知っている」が35.1%、「知らない」が62.0%となっている。(図表149、158)

・ 知っているが利用しない理由の上位は、以下のとおりとなっている。

- ① 「忙しくて利用する時間がない」(38.7%)
- ② 「どんなサービスがあるのかわからない」(35.5%)
- ③ 「家族や友人の支援で満足している」(32.3%)

○京都市に望むことの上位は、以下のとおりとなっている。(図表160)

- ① 「外国人への差別や偏見がなくなるようにする」(43.1%)
- ② 「外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす」(42.5%)
- ③ 「外国籍市民の就職を支援する」(39.6%)

○日本人に望むことの上位は、以下のとおりとなっている。(図表162)

- ① 「差別意識や偏見を持たないようにしてほしい」(46.8%)
- ② 「友人になってほしい」(34.4%)
- ③ 「外国の生活習慣、文化などについて理解してほしい」(28.4%)

2 外国籍市民との共生に関するアンケート

【外国人との交流について】

○外国人との交流について、「外国人との付き合いがある」が34.9%となっている。(図表177)

- ・ 交流の内容についての上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「挨拶をする人がいる」(18.8%)
 - ② 「親しく交流する人がいる」(14.3%)
 - ③ 「個人的な話をする人がいる」(9.0%)

○今後の外国人との交流意向について、「交流意向あり」が61.1%となっている。(図表181、183、185)

- ・ 希望する付き合い方の上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「日常生活で気軽にコミュニケーションを取りたい」(57.4%)
 - ② 「友達付き合いをしたい」(27.4%)
 - ③ 「挨拶する程度の付き合いでよい」(27.3%)
- ・ 現在交流できていない理由の上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「交流のきっかけがない」(73.2%)
 - ② 「言葉が通じない」(40.8%)
 - ③ 「交流する機会についての情報がない」(19.7%)

【外国籍市民の受入れに関する意識・希望について】

○外国籍市民が増えることについて、「良いと感じることがある」が19.8%となっている。(図表191、193)

- ・ 良くなることの内容についての上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「外国のことについて関心を持つようになる」(86.8%)
 - 「外国の言葉や文化等に触れる機会が増える」(86.8%)
 - ② 「社会に多様性が生まれる」(86.3%)

○外国籍市民が増えることについて、「良くないと感じることがある」が47.1%となっている。(図表194、196)

- ・ 良くないことの内容についての上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「文化・習慣の違いによるトラブルが生じる」(96.5%)
 - ② 「地域の環境(治安や風紀など)に悪い影響がある」(77.3%)
 - ③ 「言葉の壁によるトラブルが生じる」(77.0%)

○地域の外国籍市民との間のトラブルについて、「何らかのトラブルがあった」が35.2%となっている。(図表197)

- ・ トラブルの内容の上位は、以下のとおりとなっている。
 - ① 「交通ルールや駐車・駐輪に関すること」(15.9%)
 - ② 「ゴミの出し方」(14.1%)
 - ③ 「家や部屋からの騒音」(12.5%)

II 調査結果の概要

○外国籍市民に望むことの上位は、以下のとおりとなっている。(図表201)

- ① 「日本の習慣、生活ルールを理解し、行動してほしい」(84.9%)
- ② 「日常的にあいさつするなどのコミュニケーションをとってほしい」(40.8%)
- ③ 「日本文化を学んでほしい」(40.4%)

○京都市に望むことの上位は、以下のとおりとなっている。(図表205)

- ① 「外国籍市民が日本文化を学ぶ機会を増やす」(49.7%)
- ② 「外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす」(48.9%)
- ③ 「外国人への差別や偏見がなくなるようにする」(41.3%)

【国際交流の経験、関心・希望について】

○国際交流事業への参加経験や参加意向について、以下のとおりとなっている。(図表209)

- ◆ 「参加したことがある」(12.5%)
- ◆ 「参加したことはないが、参加してみたい」(34.1%)
- ◆ 「参加したことがなく、参加したいとも思わない」(49.3%)

○関心がある国際交流イベントの上位は、以下のとおりとなっている。(図表211)

- ① 「料理や音楽などを通じて外国の文化に触れるイベント」(71.3%)
- ② 「外国の言語を学ぶこと、またはお互いの言語を学ぶことを目的としたイベント」(40.1%)
- ③ 「お互いの歴史や文化を紹介しあうことで相互理解を深めるイベント」(39.7%)

○京都市が取り組むべき国際交流・国際協力についての上位は、以下のとおりとなっている。(図表217)

- ① 「次世代を担う子ども・青少年が国際的な視野を広げる機会となる交流」(54.2%)
- ② 「外国の歴史や文化、芸術などを紹介し異文化理解を促す交流」(40.7%)
- ③ 「外国の言語の習得、コミュニケーション能力の向上を促す交流」(39.4%)

3 外国籍市民アンケート・外国籍市民との共生に関するアンケートの共通設問について

外国籍市民と日本人市民の交流状況や多文化共生施策等に関する設問について、双方の結果を比較した。

【交流について】

○交流状況について、双方の結果は以下のとおりとなっており、外国籍市民が49.3ポイント高くなっている。(図表220、221)

- ◆ 「日本人との付き合いがある」と答えた外国籍市民は84.2%
- ◆ 「外国人との付き合いがある」と答えた日本人市民は34.9%

○今後の交流意向について、双方の結果は以下のとおりとなっており、外国籍市民が32.4ポイント高くなっている。(図表222、223)

- ◆ 「日本人との交流意向あり」と答えた外国籍市民は93.5%
- ◆ 「外国人との交流意向あり」と答えた日本人市民は61.1%

○交流できていない理由について、双方ともに「言葉が通じない」、「交流のきっかけがない」が上位2つとなっているが、外国籍市民は「言葉が通じない」が56.9%と最も高く、日本人市民は「交流のきっかけがない」が73.2%と最も高くなっている。(図表224)

【多文化共生施策について】

○京都市に望むことについて、双方の結果は以下のとおりとなっている。(図表225)

- ・ 外国籍市民は、「外国人への差別や偏見がなくなるようにする」が43.1%と最も高く、日本人市民も41.3%と同程度の割合となっている。
- ・ 日本人市民は、「外国籍市民が日本文化を学ぶ機会を増やす」が49.7%と最も高く、外国籍市民(33.0%)より16.7ポイント高くなっている。

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

1 回答者の属性

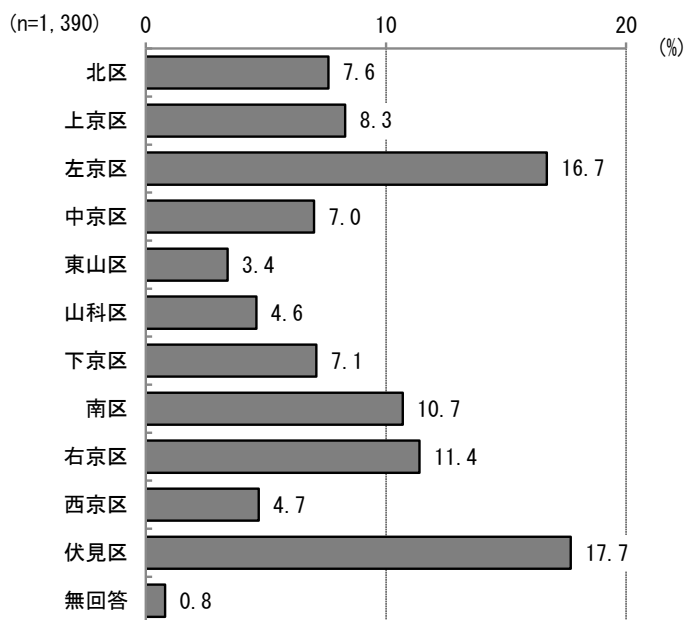
〔1〕居住地(単一回答)

居住地は、「伏見区」(17.7%)が最も多く、次いで、「左京区」(16.7%)、「右京区」(11.4%)となっている。

国籍・地域別にみると、中国、台湾、アメリカで、「左京区」の割合が最も高くなっており、インドネシア、ベトナム、ミャンマーで「伏見区」の割合が最も高くなっている。

在留資格別にみると、留学(大学・大学院)では「左京区」(37.3%)の割合が最も高くなっている。また、多くの在留資格で「伏見区」の割合が最も高くなっており、特に、技能実習は45.7%となっている。

【図表 7 居住地】



【図表 8 居住地(属性特徴)】

	n	北区	上京区	左京区	中京区	東山区	山科区	下京区	南区	右京区	西京区	伏見区	無回答	
全体	1,390	106	115	232	97	47	64	98	149	159	66	246	11	
	100	7.6	8.3	16.7	7.0	3.4	4.6	7.1	10.7	11.4	4.7	17.7	0.8	
国籍・地域	中国	373	8.3	9.9	24.1	7.0	2.9	3.5	8.3	7.0	8.3	2.4	18.2	0
	韓国	256	7.8	5.1	13.3	3.9	1.2	2.3	5.5	18.4	18.4	9.8	13.3	1.2
	ベトナム	131	3.8	2.3	6.1	2.3	1.5	8.4	1.5	22.1	6.9	4.6	38.2	2.3
	ネパール	93	11.8	10.8	3.2	7.5	5.4	6.5	14.0	12.9	7.5	5.4	11.8	3.2
	台湾	77	0	6.5	23.4	18.2	5.2	7.8	13.0	3.9	6.5	1.3	14.3	0
	フィリピン	58	1.7	5.2	8.6	0	8.6	10.3	1.7	17.2	24.1	5.2	17.2	0
	アメリカ	48	10.4	12.5	20.8	6.3	4.2	2.1	16.7	2.1	12.5	4.2	8.3	0
	インドネシア	42	4.8	2.4	9.5	4.8	4.8	7.1	4.8	7.1	4.8	4.8	42.9	2.4
	ミャンマー	35	5.7	2.9	5.7	11.4	8.6	5.7	8.6	5.7	11.4	11.4	20.0	2.9
	フランス	27	18.5	22.2	18.5	7.4	7.4	3.7	3.7	11.1	0	0	7.4	0
	その他	244	9.4	12.3	20.9	10.7	2.9	2.9	5.3	5.3	13.9	3.7	12.7	0
	在留資格	留学(大学・大学院)	271	11.1	15.9	37.3	5.9	1.8	2.2	4.8	3.3	10.0	2.2	5.5
留学(日本語学校)		82	6.1	12.2	7.3	13.4	1.2	8.5	13.4	1.2	18.3	0	15.9	2.4
留学(専門学校、その他)		28	7.1	3.6	10.7	17.9	10.7	0	10.7	7.1	14.3	0	14.3	3.6
永住者		202	5.9	6.9	12.4	6.9	2.5	4.0	6.4	12.9	10.4	5.0	25.7	1.0
特別永住者		197	6.6	4.1	10.7	4.6	1.0	3.0	3.6	19.3	22.3	10.2	14.2	0.5
技術・人文知識・国際業務		168	3.0	6.5	8.9	10.7	7.1	4.8	14.9	14.9	10.1	3.6	15.5	0
技能実習		70	4.3	2.9	2.9	0	1.4	7.1	1.4	15.7	5.7	8.6	45.7	4.3
特定技能		70	10.0	2.9	4.3	2.9	10.0	7.1	4.3	12.9	7.1	7.1	30.0	1.4
日本人の配偶者等		65	10.8	13.8	12.3	7.7	0	9.2	3.1	4.6	9.2	10.8	18.5	0
家族滞在		64	9.4	7.8	21.9	7.8	4.7	1.6	3.1	12.5	6.3	1.6	23.4	0
高度専門職		27	7.4	7.4	22.2	3.7	0	3.7	14.8	14.8	7.4	3.7	14.8	0
経営・管理		25	12.0	8.0	16.0	8.0	4.0	8.0	12.0	12.0	4.0	0	16.0	0
その他の資格		111	8.1	5.4	19.8	8.1	5.4	6.3	8.1	8.1	8.1	3.6	18.0	0.9

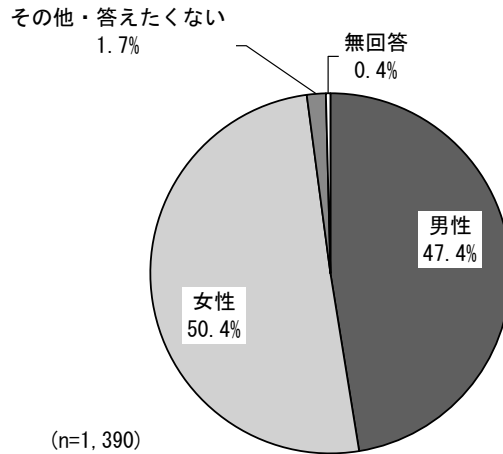
〔2〕性別(単一回答)

性別は、「男性」が47.4%、「女性」が50.4%となっている。

国籍・地域別にみると、アメリカは「男性」が72.9%となっている。また、フィリピンは「女性」が77.6%、ミャンマーは74.3%となっている。

在留資格別にみると、家族滞在で「女性」が73.4%となっている。

【図表 9 性別】



【図表 10 性別(属性特徴)】

	n	男性 (%)	女性 (%)	その他・答えたくない (%)	無回答 (%)
全体	1,390	47.4	50.4	1.7	0.4
国籍・地域					
中国	373	42.9	54.2	2.9	0
韓国	256	38.7	58.2	1.6	1.6
バトナム	131	59.5	40.5	0	0
ネパール	93	66.7	33.3	0	0
台湾	77	31.2	67.5	1.3	0
フィリピン	58	20.7	77.6	1.7	0
アメリカ	48	72.9	25.0	2.1	0
インドネシア	42	64.3	35.7	0	0
ミャンマー	35	25.7	74.3	0	0
フランス	27	51.9	48.1	0	0
その他	244	56.1	41.4	2.5	0
在留資格					
留学(大学・大学院)	271	46.1	50.6	3.3	0
留学(日本語学校)	82	63.4	36.6	0	0
留学(専門学校、その他)	28	64.3	35.7	0	0
永住者	202	46.5	51.0	1.5	1.0
特別永住者	197	43.1	54.8	1.0	1.0
技術・人文知識・国際業務	168	50.0	46.4	3.6	0
技能実習	70	58.6	41.4	0	0
特定技能	70	37.1	62.9	0	0
日本人の配偶者等	65	49.2	49.2	1.5	0
家族滞在	64	26.6	73.4	0	0
高度専門職	27	44.4	51.9	3.7	0
経営・管理	25	64.0	36.0	0	0
その他の資格	111	49.5	48.6	1.8	0

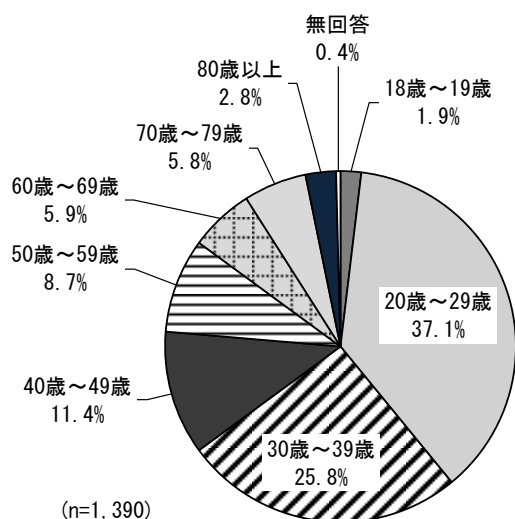
〔3〕年齢(単一回答)

年齢は、「20歳～29歳」(37.1%)が最も多く、次いで、「30歳～39歳」(25.8%)、「40歳～49歳」(11.4%)となっている。

国籍・地域別にみると、多くの国籍・地域で「20歳～29歳」の割合が高く、特に、ミャンマーは82.9%となっている。

在留資格別にみると、留学(大学・大学院)、留学(日本語学校)、留学(専門学校、その他)で「20歳～29歳」の割合が高く、技能実習でも72.9%、特定技能で62.9%となっている。また、特別永住者では「50歳以上」が8割近くとなっており、中でも、「70歳～79歳」が25.4%となっている。

【図表 11 年齢】



【図表 12 年齢(属性特徴)】

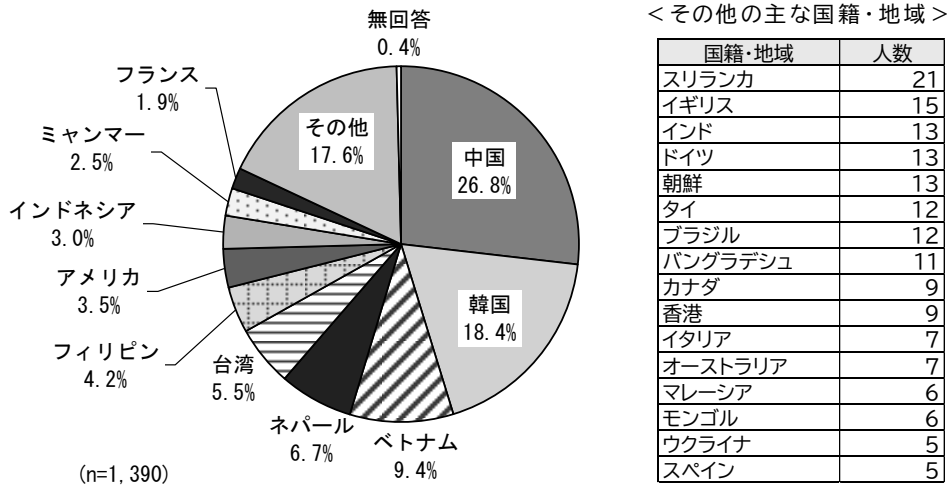
	n	年齢 (%)									
		18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	無回答	
全体	1,390	27	516	359	159	121	82	81	39	6	
	100	1.9	37.1	25.8	11.4	8.7	5.9	5.8	2.8	0.4	
国籍・地域	中国	373	2.7	45.8	26.0	13.9	7.5	2.4	1.3	0.3	0
	韓国	256	0.4	8.6	9.0	10.5	17.6	18.4	21.1	13.3	1.2
	ベトナム	131	2.3	58.0	35.1	3.1	1.5	0	0	0	0
	ネパール	93	3.2	58.1	32.3	5.4	0	0	0	0	1.1
	台湾	77	2.6	32.5	37.7	16.9	6.5	2.6	1.3	0	0
	フィリピン	58	0	24.1	46.6	8.6	13.8	6.9	0	0	0
	アメリカ	48	0	22.9	14.6	16.7	14.6	14.6	16.7	0	0
	インドネシア	42	2.4	64.3	31.0	2.4	0	0	0	0	0
	ミャンマー	35	0	82.9	17.1	0	0	0	0	0	0
	フランス	27	3.7	14.8	29.6	38.5	11.1	0	3.7	3.7	0
	その他	244	2.5	34.0	29.9	14.3	9.0	5.3	4.1	0.8	0
在留資格	留学(大学・大学院)	271	4.8	78.2	15.9	1.1	0	0	0	0	0
	留学(日本語学校)	82	7.3	69.5	12.2	8.5	2.4	0	0	0	0
	留学(専門学校、その他)	28	0	89.3	3.6	3.6	0	0	0	0	3.6
	永住者	202	1.5	3.5	16.8	25.2	21.8	13.9	11.4	5.0	1.0
	特別永住者	197	0	3.0	5.6	12.7	22.3	18.3	25.4	12.2	0.5
	技術・人文知識・国際業務	168	0	33.9	55.4	8.9	1.2	0.6	0	0	0
	技能実習	70	2.9	72.9	24.3	0	0	0	0	0	0
	特定技能	70	0	62.9	31.4	4.3	1.4	0	0	0	0
	日本人の配偶者等	65	0	9.2	38.5	20.0	21.5	9.2	1.5	0	0
	家族滞在	64	4.7	25.0	43.8	20.3	4.7	0	1.6	0	0
	高度専門職	27	0	14.8	59.3	14.8	7.4	3.7	0	0	0
	経営・管理	25	0	0	28.0	32.0	20.0	12.0	8.0	0	0
	その他の資格	111	0	27.9	45.0	14.4	2.7	5.4	1.8	2.7	0

〔4〕国籍・地域(単一回答)

国籍・地域は、「中国」(26.8%)が最も多く、次いで、「韓国」(18.4%)、「ベトナム」(9.4%)となっている。

在留資格別にみると、特別永住者で「韓国」が91.4%となっており、留学(大学・大学院)で「中国」が55.0%となっており、経営・管理でも52.0%と最も高くなっている。技能実習では「ベトナム」が50.0%となっており、特定技能でも34.3%と最も高くなっている。

【図表 13 国籍・地域】



【図表 14 国籍・地域(属性特徴)】

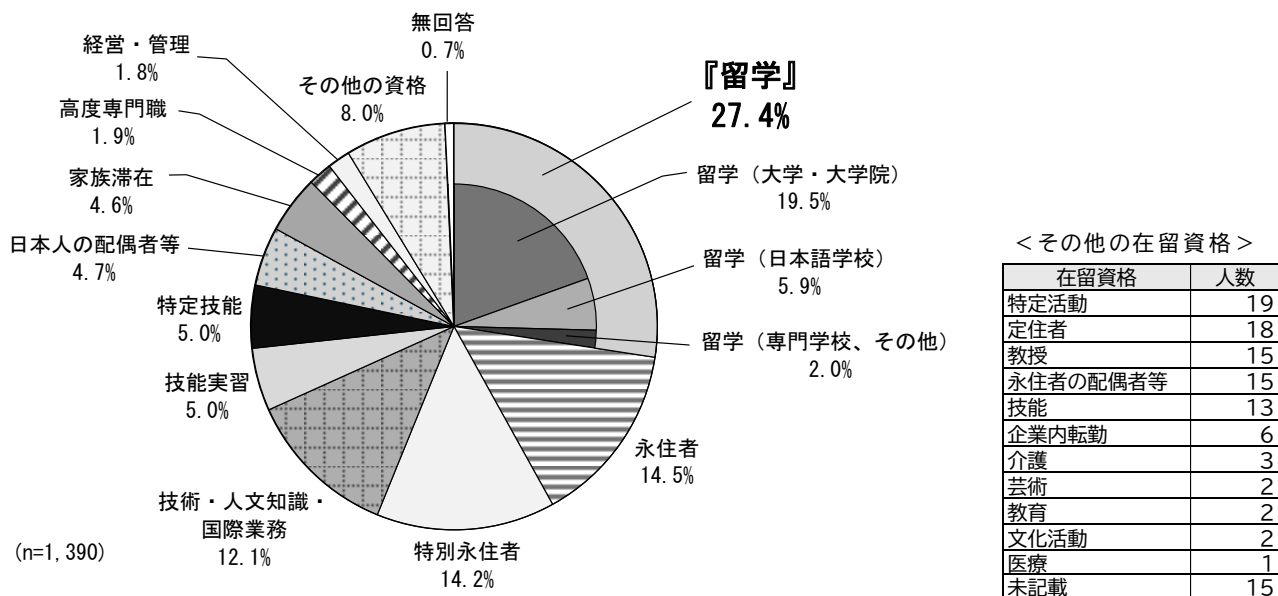
	n	中国	韓国	ベトナム	ネパール	台湾	フィリピン	アメリカ	インドネシア	ミャンマー	フランス	その他	無回答
全体	1,390	373	256	131	93	77	58	48	42	35	27	244	6
	100	26.8	18.4	9.4	6.7	5.5	4.2	3.5	3.0	2.5	1.9	17.6	0.4
留学(大学・大学院)	271	55.0	5.9	2.2	7.7	5.5	1.5	1.1	2.2	1.8	1.1	15.9	0
留学(日本語学校)	82	19.5	1.2	4.9	29.3	6.1	2.4	7.3	1.2	11.0	0	17.1	0
留学(専門学校、その他)	28	21.4	0	7.1	42.9	7.1	3.6	0	0	0	0	17.9	0
永住者	202	41.6	17.3	1.0	0.5	4.5	5.9	6.9	0	0	4.5	17.8	0
特別永住者	197	0.5	91.4	0	0	1.0	0	0.5	0	0	0	6.6	0
技術・人文知識・国際業務	168	20.2	3.0	19.6	4.8	14.3	0.6	4.8	3.0	2.4	3.6	23.8	0
技能実習	70	0	0	50.0	2.9	0	12.9	0	20.0	5.7	0	8.6	0
特定技能	70	1.4	1.4	34.3	7.1	0	15.7	0	14.3	15.7	0	10.0	0
日本人の配偶者等	65	15.4	4.6	4.6	0	10.8	9.2	12.3	1.5	0	6.2	35.4	0
家族滞在	64	37.5	3.1	15.6	7.8	0	1.6	1.6	1.6	0	6.3	25.0	0
高度専門職	27	44.4	7.4	11.1	0	7.4	3.7	3.7	0	0	0	22.2	0
経営・管理	25	52.0	4.0	4.0	4.0	8.0	0	8.0	0	0	4.0	16.0	0
その他の資格	111	20.7	7.2	7.2	10.8	8.1	9.0	3.6	3.6	1.8	0	27.9	0

〔5〕在留資格(単一回答)

在留資格は、「留学(大学・大学院)」、「留学(日本語学校)」、「留学(専門学校、その他)」を合わせた『留学』(27.4%)が最も多く、次いで、永住者(14.5%)、特別永住者(14.2%)、技術・人文知識・国際業務(12.1%)となっている。

国籍・地域別にみると、中国で「留学(大学・大学院)」(39.9%)の割合が最も高くなっており、ネパールは「留学(日本語学校)」(25.8%)の割合が最も高くなっている。韓国では「特別永住者」(70.3%)の割合が最も高くなっている。また、インドネシア(33.3%)、ベトナム(26.7%)では「技能実習」の割合が高くなっており、ミャンマーでは「特定技能」(31.4%)の割合が最も高くなっている。

【図表 15 在留資格】



(留学に関する在留資格は学校種別の内訳を表示している)

【図表 16 在留資格(属性特徴)】

	n	留学(大学・大学院)	留学(日本語学校)	留学(専門学校、その他)	永住者	特別永住者	技術・人文知識・国際業務	技能実習	特定技能	日本人の配偶者等	家族滞在	高度専門職	経営・管理	その他の資格	無回答
全体	1,390	271	82	28	202	197	168	70	70	65	64	27	25	111	10
中国	373	39.9	4.3	1.6	22.5	0.3	9.1	0	0.3	2.7	6.4	3.2	3.5	6.2	0
韓国	256	6.3	0.4	0	13.7	70.3	2.0	0	0.4	1.2	0.8	0.8	0.4	3.1	0.8
ベトナム	131	4.6	3.1	1.5	1.5	0	25.2	26.7	18.3	2.3	7.6	2.3	0.8	6.1	0
ネパール	93	22.6	25.8	12.9	1.1	0	8.6	2.2	5.4	0	5.4	0	1.1	12.9	2.2
台湾	77	19.5	6.5	2.6	11.7	2.6	31.2	0	0	9.1	0	2.6	2.6	11.7	0
フィリピン	58	6.9	3.4	1.7	20.7	0	17.7	15.5	19.0	10.3	1.7	1.7	0	17.2	0
アメリカ	48	6.3	12.5	0	29.2	2.1	16.7	0	0	16.7	2.1	2.1	4.2	8.3	0
インドネシア	42	14.3	2.4	0	0	0	11.9	33.3	23.8	2.4	2.4	0	0	9.5	0
ミャンマー	35	14.3	25.7	0	0	0	11.4	11.4	31.4	0	0	0	0	5.7	0
フランス	27	11.1	0	0	33.3	0	22.2	0	0	14.8	14.8	0	3.7	0	0
その他	244	17.6	5.7	2.0	14.8	5.3	16.4	2.5	2.9	9.4	6.6	2.5	1.6	12.7	0

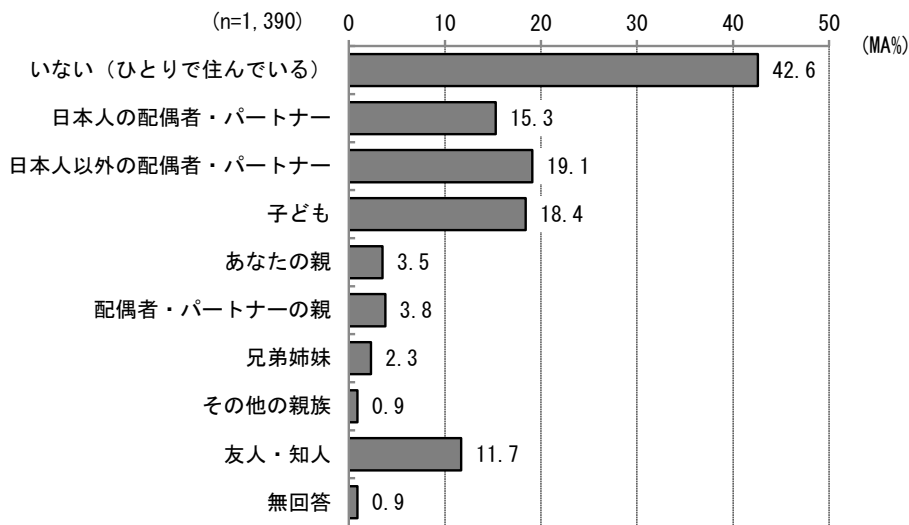
〔6〕同居人(複数回答)

同居人は、「いない(ひとりで住んでいる)」(42.6%)が最も多く、次いで、「日本人以外の配偶者・パートナー」(19.1%)、「子ども」(18.4%)となっている。

国籍・地域別にみると、多くの国籍・地域で「いない(ひとりで住んでいる)」の割合が最も高いが、ミャンマー(54.3%)とネパール(41.9%)では「友人・知人」の割合が最も高くなっている。

在留資格別にみると、『留学』で「いない(ひとりで住んでいる)」の割合が高く、特に留学(大学・大学院)が80.1%となっている。また、技能実習は「友人・知人」が65.7%となっている。経営・管理(44.0%)、家族滞在(39.1%)、永住者(38.6%)、日本人の配偶者等(38.5%)、特別永住者(34.5%)で、「子ども」の割合が高くなっている。

【図表 17 同居人】



【図表 18 同居人(属性特徴)】

	n	住 い な い (ひ と り で)	日 本 人 の 配 偶 者 ・ パ ー ト ナ ー	日 本 人 以 外 の 配 偶 者 ・ パ ー ト ナ ー	子 ど も	あ な た の 親	日 本 人 以 外 の 配 偶 者 ・ パ ー ト ナ ー の 親	兄 弟 姉 妹	そ の 他 の 親 族	友 人 ・ 知 人	(MA%) 無 回 答
全体	1,390	592	213	265	256	48	53	32	13	162	13
	100	42.6	15.3	19.1	18.4	3.5	3.8	2.3	0.9	11.7	0.9
国籍・地域											
中国	373	52.8	11.0	23.1	18.0	2.7	4.8	1.6	0.5	4.8	0
韓国	256	32.4	18.4	21.5	30.5	10.2	5.5	6.3	1.6	0	1.2
ベトナム	131	41.2	2.3	20.6	13.0	0	0	1.5	1.5	32.8	1.5
ネパール	93	33.3	3.2	6.5	7.5	1.1	7.5	1.1	2.2	41.9	1.1
台湾	77	55.8	20.8	14.3	13.0	1.3	2.6	2.6	1.3	3.9	0
フィリピン	58	41.4	19.0	15.5	19.0	1.7	3.4	1.7	0	15.5	0
アメリカ	48	33.3	45.8	14.6	18.8	2.1	4.2	2.1	0	2.1	0
インドネシア	42	42.9	7.1	19.0	7.1	0	0	2.4	2.4	26.2	0
ミャンマー	35	40.0	0	5.7	0	0	0	0	0	54.3	0
フランス	27	22.2	40.7	29.6	29.6	0	7.4	0	0	0	0
その他	244	43.4	23.0	18.9	18.9	3.3	2.5	0.8	0.4	7.8	0.4
在留資格											
留学(大学・大学院)	271	80.1	0.7	5.9	2.6	0	1.5	1.1	0	10.0	0.4
留学(日本語学校)	82	61.0	1.2	4.9	0	2.4	0	2.4	1.2	29.3	0
留学(専門学校、その他)	28	64.3	3.6	7.1	3.6	0	0	0	0	25.0	0
永住者	202	19.8	38.6	24.3	38.6	3.5	7.9	2.5	2.0	1.0	1.0
特別永住者	197	23.4	19.3	26.9	34.5	14.7	5.1	8.1	1.0	0	1.0
技術・人文知識・国際業務	168	55.4	7.7	20.8	9.5	1.2	0.6	1.2	0.6	12.5	0.6
技能実習	70	27.1	2.9	4.3	0	0	0	0	0	65.7	1.4
特定技能	70	50.0	1.4	8.6	1.4	0	1.4	2.9	0	35.7	0
日本人の配偶者等	65	3.1	90.8	1.5	38.5	0	7.7	1.5	1.5	0	0
家族滞在	64	0	1.6	75.0	39.1	7.8	14.1	1.6	1.6	0	0
高度専門職	27	48.1	3.7	40.7	22.2	0	3.7	0	0	0	0
経営・管理	25	16.0	4.0	60.0	44.0	0	8.0	0	0	0	0
その他の資格	111	46.8	13.5	18.9	16.2	2.7	4.5	0.9	0.9	8.1	0

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

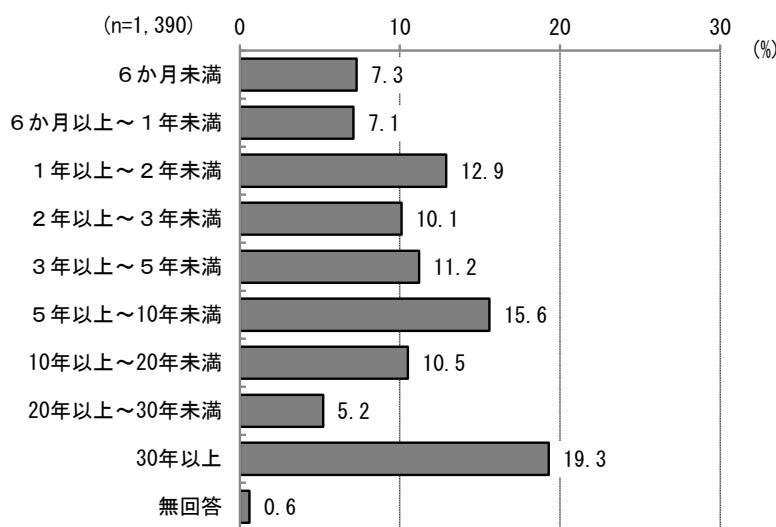
〔7〕日本在住期間(単一回答)

日本在住期間は、「30年以上」(19.3%)が最も多く、次いで、「5年以上～10年未満」(15.6%)、「1年以上～2年未満」(12.9%)となっている。

国籍・地域別にみると、韓国で「30年以上」が80.9%となっている。

在留資格別にみると、特定技能で「5年以上～10年未満」が45.7%となっており、留学(専門学校、その他)で「1年以上～2年未満」が39.3%、留学(日本語学校)で「6か月未満」が39.0%となっている。また、永住者では「10年以上」で91.6%、特別永住者では「30年以上」で94.9%となっている。

【図表 19 日本在住期間】



【図表 20 日本在住期間(属性特徴)】

	n	6か月未満	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	10年未満	20年未満	30年未満	30年以上	無回答
全体	1,390	102	99	180	141	156	217	146	72	268	9
		7.3	7.1	12.9	10.1	11.2	15.6	10.5	5.2	19.3	0.6
国籍・地域											
中国	373	5.6	6.7	13.4	11.3	15.5	17.2	17.2	8.6	4.6	0
韓国	256	2.3	0	2.0	1.2	2.0	1.6	4.7	4.7	80.9	0.8
ベトナム	131	9.2	12.2	15.3	14.5	16.0	29.8	2.3	0.8	0	0
ネパール	93	21.5	7.5	31.2	19.4	9.7	6.5	3.2	1.1	0	0
台湾	77	3.9	7.8	15.6	11.7	11.7	23.4	18.2	2.6	5.2	0
フィリピン	58	5.2	1.7	20.7	12.1	10.3	19.0	13.8	12.1	5.2	0
アメリカ	48	12.5	6.3	6.3	2.1	8.3	20.8	12.5	14.6	16.7	0
インドネシア	42	2.4	9.5	11.9	26.2	23.8	23.8	2.4	0	0	0
ミャンマー	35	17.1	28.6	25.7	5.7	14.3	8.6	0	0	0	0
フランス	27	3.7	3.7	0	7.4	18.5	14.8	37.0	3.7	11.1	0
その他	244	9.4	10.7	14.3	11.1	9.8	19.7	10.2	3.7	10.7	0.4
在留資格											
留学(大学・大学院)	271	12.2	13.3	20.7	20.7	22.5	9.6	1.1	0	0	0
留学(日本語学校)	82	39.0	15.9	35.4	2.4	2.4	3.7	1.2	0	0	0
留学(専門学校、その他)	28	3.6	3.6	39.3	32.1	21.4	0	0	0	0	0
永住者	202	0.5	0	0	0	0	7.9	32.7	26.2	32.7	0
特別永住者	197	0	0	0	0	0	0.5	0.5	3.0	94.9	1.0
技術・人文知識・国際業務	168	1.2	6.5	11.3	10.7	16.7	38.7	13.7	1.2	0	0
技能実習	70	14.3	10.0	27.1	34.3	10.0	4.3	0	0	0	0
特定技能	70	4.3	15.7	14.3	2.9	17.1	45.7	0	0	0	0
日本人の配偶者等	65	0	3.1	3.1	9.2	13.8	29.2	26.2	7.7	6.2	1.5
家族滞在	64	10.9	10.9	25.0	10.9	7.8	18.8	12.5	1.6	1.6	0
高度専門職	27	3.7	3.7	3.7	3.7	11.1	37.0	29.6	7.4	0	0
経営・管理	25	8.0	8.0	0	12.0	20.0	32.0	20.0	0	0	0
その他の資格	111	9.0	7.2	13.5	11.7	16.2	19.8	12.6	2.7	7.2	0

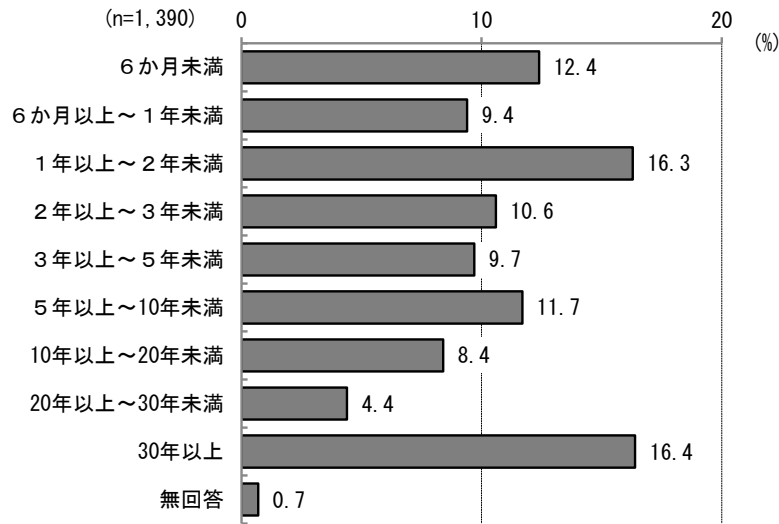
〔8〕京都市在住期間(単一回答)

京都市在住期間は、「30年以上」(16.4%)が最も多く、次いで、「1年以上～2年未満」(16.3%)、「6か月未満」(12.4%)となっている。

国籍・地域別にみると、韓国で「30年以上」が71.5%となっている。

在留資格別にみると、留学(日本語学校)では「6か月未満」が37.8%、留学(大学、大学院)では「6か月未満」、「1年以上～2年未満」がそれぞれ24.7%となっている。

【図表 21 京都市在住期間】



【図表 22 京都市在住期間(属性特徴)】

	n	6か月未満	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	10年未満	20年未満	30年未満	30年以上	無回答	
全体	1,390	172	131	226	148	135	162	117	61	228	10	
		100	12.4	9.4	16.3	10.6	9.7	11.7	8.4	4.4	16.4	0.7
国籍・地域	中国	373	14.7	9.1	18.8	8.8	13.4	14.7	11.0	5.6	3.8	0
	韓国	256	3.5	0.4	4.3	0.8	2.3	2.3	6.6	7.8	71.5	0.4
	ベトナム	131	14.5	11.5	21.4	17.6	16.0	17.6	1.5	0	0	0
	ネパール	93	25.8	11.8	29.0	19.4	7.5	3.2	2.2	0	0	1.1
	台湾	77	6.5	10.4	19.5	11.7	11.7	20.8	14.3	1.3	3.9	0
	フィリピン	58	5.2	12.1	22.4	13.8	10.3	8.6	12.1	13.8	1.7	0
	アメリカ	48	12.5	8.3	6.3	6.3	10.4	16.7	20.8	8.3	10.4	0
	インドネシア	42	14.3	9.5	14.3	31.0	9.5	14.3	4.8	0	0	2.4
	ミャンマー	35	22.9	31.4	20.0	8.6	11.4	5.7	0	0	0	0
	フランス	27	7.4	3.7	11.1	22.2	3.7	22.2	18.5	3.7	7.4	0
	その他	244	14.3	14.3	17.6	12.3	9.0	13.1	8.2	2.5	8.2	0.4
在留資格	留学(大学・大学院)	271	24.7	15.5	24.7	17.0	13.7	4.1	0.4	0	0	0
	留学(日本語学校)	82	37.8	22.0	32.9	3.7	1.2	0	1.2	0	0	1.2
	留学(専門学校、その他)	28	17.9	0	46.4	25.0	10.7	0	0	0	0	0
	永住者	202	2.0	0.5	2.5	2.5	6.4	14.9	27.7	18.3	25.2	0
	特別永住者	197	0.5	0	1.0	0	0.5	1.5	4.6	8.1	33.2	0.5
	技術・人文知識・国際業務	168	6.5	11.9	17.3	13.1	17.9	25.0	7.7	0	0	0.6
	技能実習	70	12.9	8.6	28.6	37.1	7.1	5.7	0	0	0	0
	特定技能	70	15.7	21.4	14.3	8.6	17.1	22.9	0	0	0	0
	日本人の配偶者等	65	1.5	1.5	13.8	7.7	16.9	26.2	21.5	6.2	4.6	0
	家族滞在	64	14.1	14.1	25.0	10.9	6.3	18.8	9.4	0	1.6	0
	高度専門職	27	14.8	11.1	25.9	7.4	3.7	18.5	11.1	7.4	0	0
	経営・管理	25	16.0	8.0	0	16.0	12.0	32.0	16.0	0	0	0
	その他の資格	111	13.5	12.6	17.1	13.5	12.6	12.6	9.0	1.8	6.3	0.9

〔9〕住居状況(単一回答)

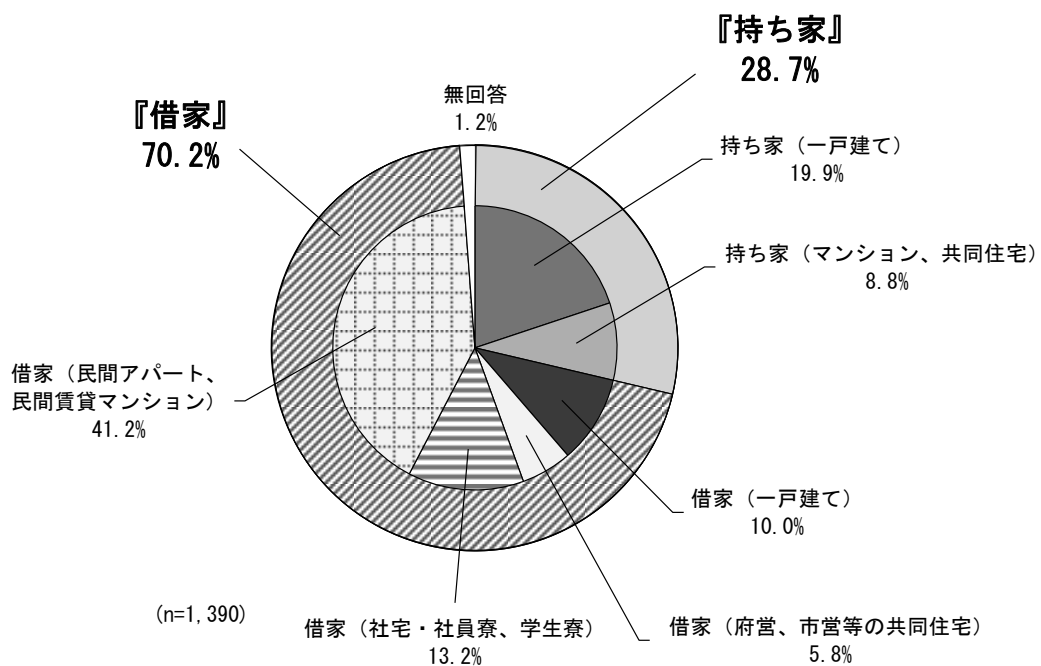
住居状況は、「持ち家(一戸建て)」と「持ち家(マンション、共同住宅)」を合わせた『持ち家』が28.7%、「借家(一戸建て)」と「借家(府営、市営等の共同住宅)」、「借家(社宅・社員寮、学生寮)」、「借家(民間アパート、民間賃貸マンション)」を合わせた『借家』が70.2%となっている。

個別で見ると、「借家(民間アパート、民間賃貸マンション)」(41.2%)の割合が最も高く、次いで、「持ち家(一戸建て)」(19.9%)、「借家(社宅・社員寮、学生寮)」(13.2%)となっている。

国籍・地域別にみると、多くの国籍・地域で「借家(民間アパート、民間賃貸マンション)」の割合が最も高くなっているが、韓国(49.6%)で「持ち家(一戸建て)」が、ミャンマー(42.9%)、ネパール(35.5%)で「借家(社宅・社員寮、学生寮)」の割合が最も高くなっている。

在留資格別にみると、「借家(社宅・社員寮、学生寮)」の割合は、技能実習(61.4%)が最も高くなっている。また、特別永住者(59.4%)、経営・管理(44.0%)、永住者(39.1%)、日本人の配偶者(35.4%)で、「持ち家(一戸建て)」の割合が最も高くなっている。

【図表 23 住宅状況】



【図表 24 住宅状況(属性特徴)】

		n	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (マンション、 共同住宅)	借家 (一戸建て)	借家 (府営、市営等の 共同住宅)	借家 (学生寮、 社宅・社員寮、 民間賃貸マンション、 アパート)	無 回 答	持 ち 家	借 家		
									(%)			
全体		1,390	277	122	139	80	183	17	399	974		
		100	19.9	8.8	10.0	5.8	13.2	1.2	28.7	70.2		
国籍・地域	中国	373	17.7	14.2	8.8	7.8	4.6	46.6	0.3	31.9	67.8	
	韓国	256	49.6	8.6	6.6	4.3	1.6	27.7	1.6	58.2	40.2	
	ベトナム	131	3.8	4.6	6.1	7.6	32.1	45.0	0.8	8.4	90.8	
	ネパール	93	1.1	4.3	18.3	3.2	35.5	34.4	3.2	5.4	91.4	
	台湾	77	11.7	9.1	7.8	1.3	9.1	61.0	0	20.8	79.2	
	フィリピン	58	10.3	3.4	8.6	10.3	31.0	36.2	0	13.7	86.1	
	アメリカ	48	25.0	6.3	16.7	2.1	0	47.9	2.1	31.3	66.7	
	インドネシア	42	2.4	4.8	21.4	9.5	21.4	40.5	0	7.2	92.8	
	ミャンマー	35	5.7	0	8.6	5.7	42.9	34.3	2.9	5.7	91.5	
	フランス	27	14.8	22.2	18.5	7.4	7.4	29.6	0	37.0	62.9	
	その他	244	18.0	6.6	11.5	4.5	14.8	44.3	0.4	24.6	75.1	
	在留資格	留学(大学・大学院)	271	1.1	5.9	11.8	4.1	13.3	63.5	0.4	7.0	92.7
		留学(日本語学校)	82	3.7	0	7.3	3.7	40.2	45.1	0	3.7	96.3
留学(専門学校、その他)		28	0	21.4	14.3	0	10.7	46.4	7.1	21.4	71.4	
永住者		202	39.1	19.3	6.4	8.4	2.0	23.8	1.0	58.4	40.6	
特別永住者		197	59.4	6.6	8.6	4.6	0	18.8	2.0	66.0	32.0	
技術・人文知識・国際業務		168	3.6	4.2	11.3	4.8	10.7	65.5	0	7.8	92.3	
技能実習		70	0	2.9	11.4	2.9	61.4	20.0	1.4	2.9	95.7	
特定技能		70	2.9	0	8.6	7.1	35.7	44.3	1.4	2.9	95.7	
日本人の配偶者等		65	35.4	9.2	16.9	4.6	1.5	32.3	0	44.6	55.3	
家族滞在		64	28.1	14.1	9.4	9.4	3.1	35.9	0	42.2	57.8	
高度専門職		27	14.8	18.5	3.7	7.4	0	55.6	0	33.3	66.7	
経営・管理		25	44.0	16.0	8.0	4.0	0	28.0	0	60.0	40.0	
その他の資格		111	8.1	12.6	12.6	11.7	15.3	38.7	0.9	20.7	78.3	

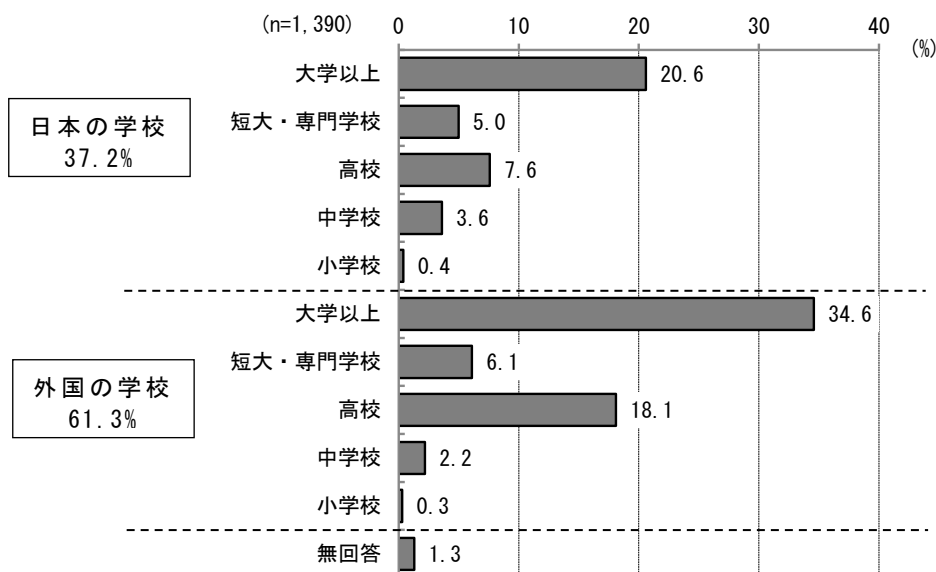
[10]最終学歴(単一回答)

最終学歴は、「外国の大学以上」(34.6%)が最も多く、次いで、「日本の大学以上」(20.6%)、「外国の高校」(18.1%)となっている。

国籍・地域別にみると、多くの国籍・地域で「外国の大学以上」の割合が高くなっているが、中国で「日本の大学以上」(43.2%)、韓国で「日本の高校」(30.9%)の割合が最も高くなっている。

在留資格別にみると、技能実習で「外国の高校」が70.0%、高度専門職では「日本の大学以上」が66.7%となっている。

【図表 25 最終学歴】



【図表 26 最終学歴(属性特徴)】

	n	日本の学校					外国の学校					無回答 (%)	
		大学以上	短大・専門学校	高校	中学校	小学校	大学以上	短大・専門学校	高校	中学校	小学校		
全体	1,390	287	70	106	50	6	481	85	252	31	4	18	
	100	20.6	5.0	7.6	3.6	0.4	34.6	6.1	18.1	2.2	0.3	1.3	
国籍・地域	中国	373	43.2	1.9	2.7	0.3	0.3	35.7	4.0	9.4	1.9	0.5	0.3
	韓国	256	16.0	9.0	30.9	17.2	1.2	7.0	1.2	14.8	1.6	0.4	0.8
	ベトナム	131	6.1	5.3	0	0	0	26.7	17.6	43.5	0.8	0	0
	ネパール	93	5.4	6.5	6.5	1.1	2.2	19.4	8.6	29.0	17.2	0	4.3
	台湾	77	22.1	5.2	1.3	1.3	0	61.0	1.3	7.8	0	0	0
	フィリピン	58	5.2	1.7	0	1.7	0	51.7	22.4	15.5	4.7	0	0
	アメリカ	48	14.6	4.2	2.1	0	0	64.6	4.2	10.4	0	0	0
	インドネシア	42	11.9	9.5	14.3	0	0	26.2	0	35.7	0	0	2.4
	ミャンマー	35	2.9	2.9	0	0	0	37.1	8.6	42.9	0	2.9	2.9
	フランス	27	14.8	0	0	0	0	70.4	0	11.1	0	0	3.7
その他	244	14.3	6.1	1.2	0.8	0	51.6	7.0	17.2	0.4	0	1.2	
在留資格	留学(大学・大学院)	271	34.3	1.5	2.2	0	0	39.5	1.8	20.3	0.4	0	0
	留学(日本語学校)	82	3.7	2.4	6.1	0	1.2	35.4	12.2	31.7	2.4	1.2	3.7
	留学(専門学校、その他)	28	0	17.9	0	3.6	3.6	25.0	7.1	32.1	7.1	0	3.6
	永住者	202	32.7	5.0	6.4	6.4	1.0	29.7	5.4	10.4	1.5	1.0	0.5
	特別永住者	197	16.2	10.7	36.0	16.8	1.0	3.6	1.0	12.2	1.5	0	1.0
	技術・人文知識・国際業務	168	22.6	6.5	0.6	0	0	61.3	7.1	1.8	0	0	0
	技能実習	70	0	1.4	4.3	0	0	7.1	14.3	70.0	2.9	0	0
	特定技能	70	1.4	1.4	4.3	0	0	28.6	18.6	41.4	2.9	0	1.4
	日本人の配偶者等	65	10.8	6.2	0	0	0	49.2	13.8	16.9	1.5	0	1.5
	家族滞在	64	12.5	1.6	1.6	0	0	54.7	9.4	14.1	4.7	0	1.6
	高度専門職	27	66.7	11.1	0	0	0	22.2	0	0	0	0	0
	経営・管理	25	16.0	0	0	0	0	68.0	4.0	4.0	0	0	8.0
	その他の資格	111	15.3	5.4	0.9	2.7	0	47.7	3.6	12.6	9.9	0.9	0.9

2 京都での満足度や生活での困りごとについて

〔1〕京都市での満足度(単一回答)

京都市での満足度は、「とても満足」と「満足」を合わせた『満足』が76.3%となっている。

国籍・地域別にみると、ほとんどの国籍・地域で、「満足」の割合が最も高くなっているが、インドネシアは「とても満足」の割合が最も高く47.6%となっている。またアメリカは『満足』が95.8%となっている。

在留資格別にみると、『満足』の割合は、経営・管理(92.0%)が最も高くなっているが、特別永住者(60.4%)、永住者(71.8%)、特定技能(72.9%)では全体の割合を下回っている。

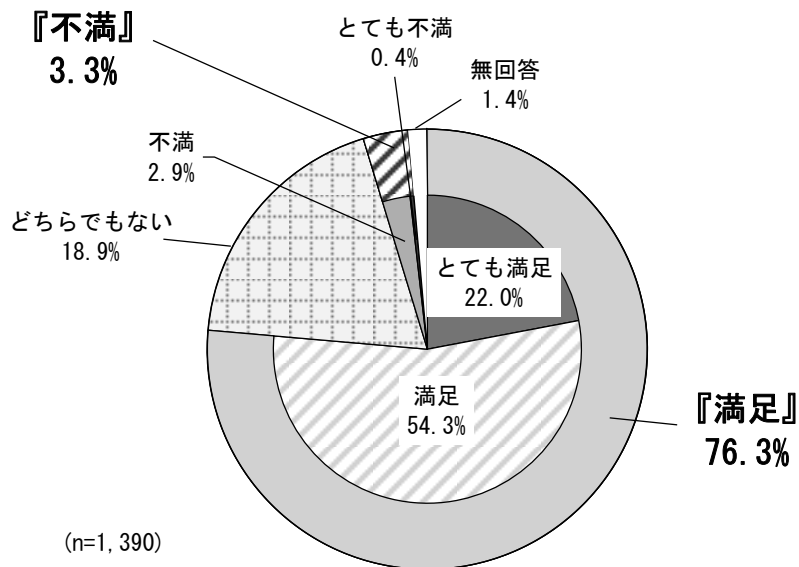
居住地域別にみると、『満足』の割合は、中京区(83.5%)が最も高く、次いで、左京区(83.1%)、下京区(82.6%)となっている。

年齢別にみると、39歳以下は、40歳以上よりも満足度が高く、『満足』が全体の割合を上回っている。

同居人別にみると、『満足』の割合は、知人・友人が82.1%、いない(ひとりで住んでいる)が78.8%と高くなっている。

京都市在住期間別にみると、30年以上は他の在住期間と比べ、「どちらでもない」(29.8%)が高くなっており、『満足』(63.2%)が低くなっている。

【図表 27 京都市での満足度】



Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

【図表 28 京都市での満足度(属性特徴)】

		n	とても満足	満足	どちらでもない	不満	とても不満	無回答	満足	不満
全体		1,390	306	755	263	41	5	20	1,061	46
		100	22.0	54.3	18.9	2.9	0.4	1.4	76.3	3.3
国籍・地域	中国	373	15.8	59.5	20.6	3.5	0.3	0.3	75.3	3.8
	韓国	256	15.6	45.7	29.7	4.7	1.6	2.7	61.3	6.3
	ベトナム	131	21.4	48.9	26.0	2.3	0	1.5	70.3	2.3
	ネパール	93	11.8	76.3	6.5	4.3	0	1.1	88.1	4.3
	台湾	77	26.0	53.2	18.2	1.3	0	1.3	79.2	1.3
	フィリピン	58	37.9	51.7	8.6	1.7	0	0	89.6	1.7
	アメリカ	48		58.3	4.2	0	0	0	95.8	0
	インドネシア	42	47.6	38.1	11.9	0	0	2.4	85.7	0
	ミャンマー	35	28.6	51.4	20.0	0	0	0	80.0	0
	フランス	27	33.3	55.6	7.4	3.7	0	0	88.9	3.7
	その他	244	27.9	54.5	14.3	2.5	0	0.8	82.4	2.5
在留資格	留学(大学・大学院)	271	10.6	60.5	17.3	1.5	0.4	0.7	80.1	1.9
	留学(日本語学校)	82	25.6	58.5	15.9	0	0	0	84.1	0
	留学(専門学校、その他)	28	17.9	67.9	10.7	3.6	0	0	85.8	3.6
	永住者	202	18.3	53.5	22.3	5.0	0	1.0	71.8	5.0
	特別永住者	197	12.7	47.7	32.0	4.1	1.5	2.0	60.4	5.6
	技術・人文知識・国際業務	168	18.5	58.3	17.3	4.2	0.6	1.2	76.8	4.8
	技能実習	70	40.0	42.9	15.7	1.4	0	0	82.9	1.4
	特定技能	70	22.9	50.0	21.4	2.9	0	2.9	72.9	2.9
	日本人の配偶者等	65	26.2	55.4	12.3	3.1	0	0	84.6	3.1
	家族滞在	64	23.4	54.7	18.8	3.1	0	0	78.1	3.1
	高度専門職	27	29.6	48.1	18.5	0	0	3.7	77.7	0
	経営・管理	25	44.0	48.0	4.0	4.0	0	0	92.0	4.0
その他の資格	111	32.4	55.0	9.0	2.7	0	0.9	87.4	2.7	
居住地域	北区	106	21.7	54.7	17.9	3.8	0.9	0.9	76.4	4.7
	上京区	115	20.0	61.7	18.3	0	0	0	81.7	0
	左京区	232	22.8	60.3	13.4	1.3	0.4	1.7	83.1	1.7
	中京区	97	19.6	63.9	13.4	2.1	0	1.0	83.5	2.1
	東山区	47	23.4	46.8	25.5	2.1	0	2.1	70.2	2.1
	山科区	64	23.4	43.8	23.4	4.7	0	4.7	67.2	4.7
	下京区	98	25.5	57.1	11.2	4.1	0	2.0	82.6	4.1
	南区	149	19.8	57.7	17.4	5.4	0.7	2.0	74.5	6.1
	西京区	159	17.6	54.7	23.9	2.5	0	1.3	72.3	2.5
	右京区	66	22.7	45.5	27.3	3.0	1.5	0	68.2	4.5
	伏見区	246	26.0	45.5	23.2	3.7	0.4	1.2	71.5	4.1
年齢	18歳～19歳	27	29.6	48.1	22.2	0	0	0	77.7	0
	20歳～29歳	516	22.2	57.4	16.7	2.1	0.2	1.0	80.1	2.3
	30歳～39歳	359	22.6	54.6	18.9	2.8	0.3	0.8	77.2	3.1
	40歳～49歳	159	20.8	50.3	21.4	5.7	0.6	1.3	71.1	6.3
	50歳～59歳	121	20.7	52.9	21.5	4.1	0	0.8	73.6	4.1
	60歳～69歳	82	23.2	50.0	20.7	0	2.4	3.7	73.2	2.4
	70歳～79歳	81	12.3	59.3	19.8	4.9	0	3.7	71.6	4.9
	80歳以上	39	30.8	41.0	20.5	5.1	0	2.6	71.8	5.1
	同居人	いない(ひとりて住んでいる)	592	22.5	56.3	17.9	2.0	0.3	1.0	78.8
日本人の配偶者・パートナー		213	21.1	49.8	23.0	4.2	0.9	0.9	70.9	5.1
日本人以外の配偶者・パートナー		265	20.1	53.6	20.4	3.4	0.4	1.5	74.4	3.8
子ども		256	18.4	52.0	22.3	4.3	0.8	2.3	70.4	5.1
あなたの親		48	16.7	47.9	29.2	6.3	0	0	64.6	6.3
配偶者・パートナーの親		53	20.8	56.6	17.0	5.7	0	0	77.4	5.7
兄弟姉妹		32	25.0	46.9	21.9	0	0	6.3	71.9	0
その他の親族		13	17.7	61.5	30.8	0	0	0	69.2	0
友人・知人	162	26.5	55.6	15.4	1.9	0	0.6	82.1	1.9	
京都市在住期間	6か月未満	172	26.7	54.1	16.9	0.6	0	1.7	80.8	0.6
	6か月以上～1年未満	131	26.7	58.8	10.7	3.8	0	0	85.5	3.8
	1年以上～2年未満	226	20.4	58.0	18.1	1.8	1.3	0.4	78.4	3.1
	2年以上～3年未満	148	29.1	54.1	14.2	2.0	0	0.7	83.2	2.0
	3年以上～5年未満	135	20.0	51.1	23.0	5.9	0	0	71.1	5.9
	5年以上～10年未満	162	19.3	59.3	15.4	4.3	0	1.9	78.4	4.3
	10年以上～20年未満	117	25.9	56.4	17.1	1.7	0	0.9	80.3	1.7
	20年以上～30年未満	61	19.7	52.5	23.0	1.6	0	3.3	72.2	1.6
	30年以上	228	15.8	47.4	29.8	4.4	0.9	1.8	63.2	5.3
	との日本人交流	親しく交流する人がいる	515	21.9	54.4	16.7	4.1	0.6	2.3	76.3
個人的な話をする人がいる		488	22.7	56.1	16.6	2.9	0.8	1.4	78.2	3.7
挨拶をする人がいる		653	21.6	56.4	18.1	2.8	0.5	0.8	78.0	3.3
インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる		112	24.9	56.3	17.9	0	1.8	0	80.4	1.8
日本人との付き合いはない		171	20.5	56.7	18.7	4.1	0	0	77.2	4.1
地域での交流	親しく交流する人がいる	258	27.1	50.0	17.1	3.1	0.8	1.9	77.1	3.9
	個人的な話をする人がいる	233	22.3	55.8	16.7	2.1	1.3	1.7	78.1	3.4
	挨拶をする人がいる	590	22.3	56.4	16.6	3.2	0.3	1.7	78.1	3.5
	地域(近所)での日本人との付き合いはない	459	21.4	56.2	19.0	2.4	0.2	0.9	77.6	2.6

〔2〕京都の魅力(あてはまるもの3つを選択)

「京都」の魅力は、「近くに山や川などの自然が豊かである」(44.4%)が最も多く、次いで、「祭りや伝統芸能、寺社など、日本の伝統文化を感じられる」(42.3%)、「古い街並みや建物が残っている」(41.7%)となっている。

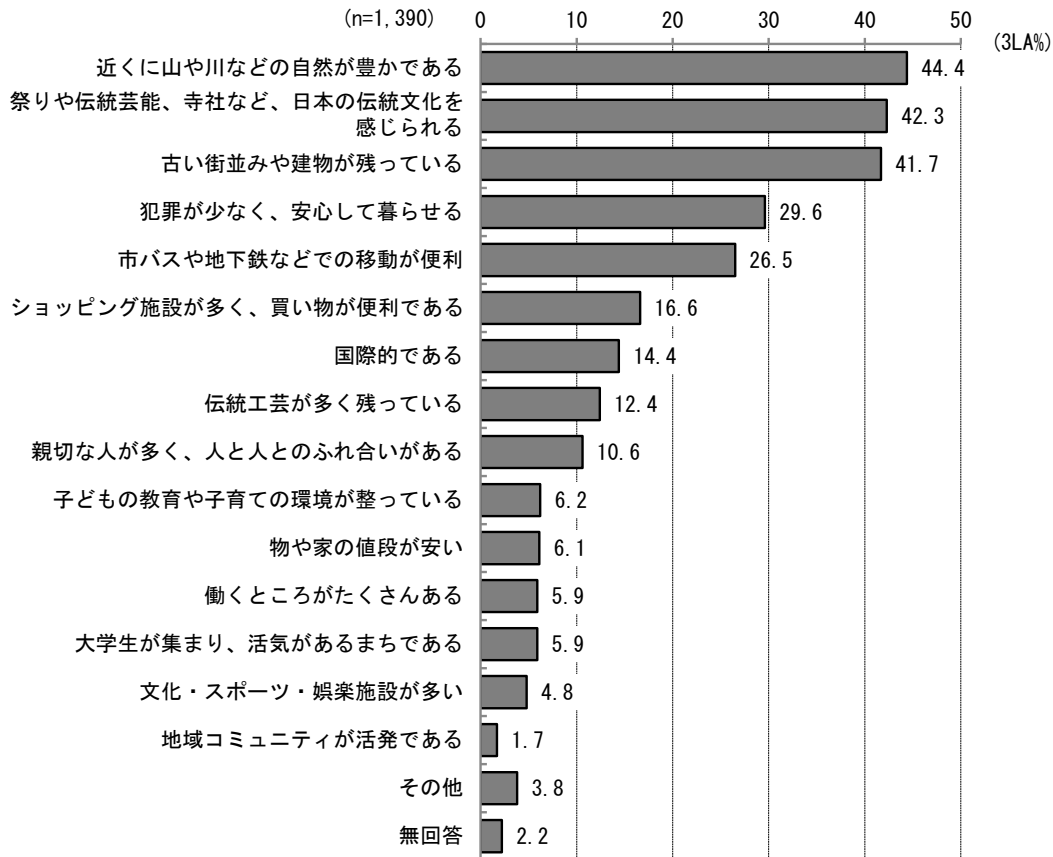
国籍・地域別にみると、回答者上位10か国のうち5か国で「近くに山や川などの自然が豊かである」の割合が最も高く、台湾と中国では「古い街並みや建物が残っている」の割合が最も高くなっている。

在留資格別にみると、最も回答者の割合が高い項目は、全体での上位3つに分散しているが、家族滞在や留学(専門学校、その他)で、「犯罪が少なく、安心して暮らせる」の割合も高くなっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど、「古い街並みや建物が残っている」の割合が高くなっている。また、70歳以上で「市バスや地下鉄などでの移動が便利」の割合が最も高くなっている。

京都市在住期間別にみると、20年以上では、「市バスや地下鉄などでの移動が便利」の割合が、他の在住期間と比べ、高くなっている。

【図表 29 「京都」の魅力】



Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

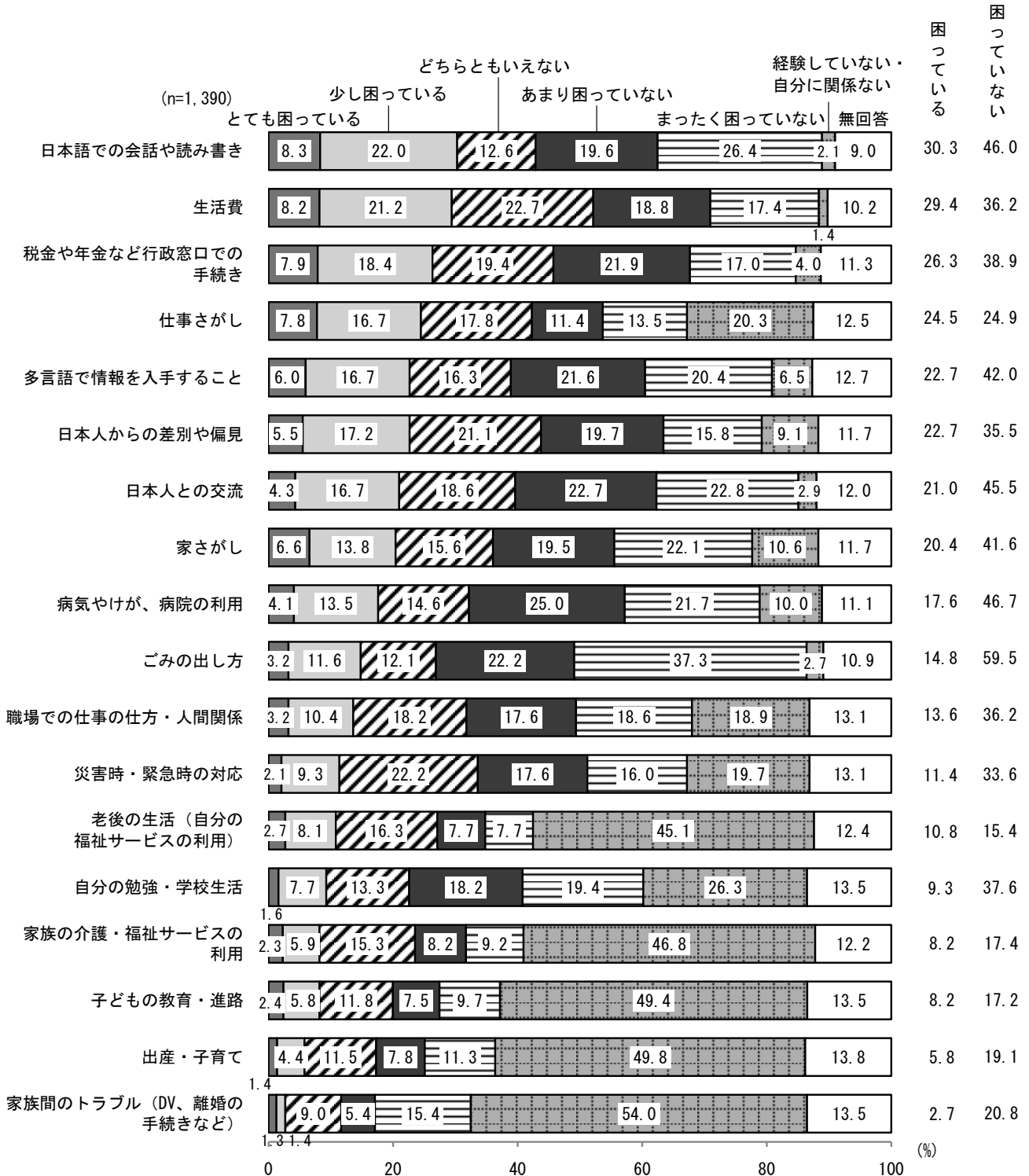
【図表 30 「京都」の魅力(属性特徴)】

		(3LA%)																	
		n	豊かに山や川などの自然がある	祭りや伝統芸能、寺社など、日本の伝統文化を感じられる	古い街並みや建物が残っている	犯罪が少なく、安心して暮らせる	移動が便利 市バスや地下鉄などでの	買い物が便利である ショッピング施設が多く、	国際的である	伝統工芸が多く残っている	親切的な人が多く、人々との心れ合いがある	子どもが教育や子育ての環境が整っている	物や家の値段が安い	働くところがたくさんある	大学生が集まり、活気があるまちである	文化・スポーツ・娯楽施設が多い	地域コミュニティが活発である	その他	無回答
全体		1,390	617	588	580	411	369	231	200	172	147	86	85	82	82	67	24	53	31
		100	44.4	42.3	41.7	29.6	26.5	16.6	14.4	12.4	10.6	6.2	6.1	5.9	5.9	4.8	1.7	3.8	2.2
国籍・地域	中国	373	46.6	48.3	61.4	28.7	12.1	13.7	19.8	19.8	9.9	5.6	7.2	2.4	6.4	6.7	1.3	3.5	2.4
	韓国	256	37.5	41.0	28.1	25.0	40.6	24.6	8.6	8.2	9.4	3.1	2.3	3.5	7.0	2.0	2.7	6.6	3.5
	ベトナム	131	43.5	44.3	42.0	19.8	26.7	15.3	17.6	4.6	11.5	4.6	6.9	12.2	3.8	4.6	2.3	0.8	0
	ネパール	93	35.5	35.5	14.0	32.3	29.0	11.8	21.5	11.8	12.9	6.5	3.2	15.1	2.2	2.2	0	3.2	2.2
	台湾	77	40.3	58.4	66.2	24.7	19.5	13.0	10.4	15.6	5.2	3.9	2.6	3.9	10.4	0	0	0	1.3
	フィリピン	58	31.0	44.8	24.1	51.7	53.4	17.2	1.7	10.3	10.3	13.8	6.9	15.5	5.2	5.2	1.7	1.7	1.7
	アメリカ	48	58.3	54.2	25.0	29.2	37.5	22.9	10.4	12.5	16.7	0	10.4	4.2	6.3	4.2	2.1	4.2	0
	インドネシア	42	40.0	31.0	33.3	35.7	23.8	9.5	11.9	7.1	11.9	11.9	7.1	4.8	2.4	4.8	0	0	0
	ミャンマー	35	57.1	22.9	37.1	2.9	20.0	8.6	14.3	2.9	17.1	5.7	11.4	8.6	2.9	8.6	5.7	2.9	0
	フランス	27	70.4	37.0	48.1	37.0	22.2	3.7	25.9	22.2	11.1	7.4	3.7	3.7	11.1	11.1	0	7.4	0
	その他	244	49.2	34.4	38.1	38.9	28.7	18.9	12.3	10.7	11.1	9.8	8.2	6.1	7.8	3.3	2.0	5.3	1.6
在留資格	留学(大学・大学院)	271	52.8	42.1	54.6	28.8	17.3	10.3	15.9	14.4	9.2	2.6	12.9	3.7	11.1	6.6	0.4	2.2	2.2
	留学(日本語学校)	82	36.6	41.5	41.5	20.7	15.9	12.2	12.2	19.5	11.0	3.7	11.0	8.5	4.9	1.2	2.4	6.1	2.4
	留学(専門学校、その他)	28	32.1	28.6	32.1	42.9	25.0	7.1	28.6	10.7	3.6	7.1	17.9	7.1	0	0	0	3.6	7.1
	永住者	202	45.5	40.6	40.1	35.6	34.7	21.3	14.9	14.4	9.9	8.9	1.0	6.4	5.0	4.5	1.5	5.4	1.5
	特別永住者	197	36.0	41.1	24.9	25.4	40.1	26.9	8.1	7.6	9.6	3.6	1.5	4.6	7.1	1.5	3.6	6.6	4.1
	技術・人文知識・国際業務	168	46.4	43.5	53.0	29.8	18.5	10.7	18.5	12.5	13.1	4.8	8.3	6.5	4.8	6.5	3.0	4.2	0.6
	技能実習	70	31.4	47.1	25.7	25.7	21.4	17.1	7.1	5.7	14.3	1.4	2.9	11.4	0	2.9	1.4	1.4	0
	特定技能	70	41.4	37.1	37.1	24.3	31.4	20.0	10.0	7.1	8.6	5.7	4.3	8.6	2.9	5.7	1.4	1.4	1.4
	日本人の配偶者等	65	55.4	43.1	27.7	27.7	30.8	27.7	12.3	12.3	10.8	13.8	3.1	3.1	4.6	12.3	3.1	1.5	3.1
	家族滞在	64	53.1	35.9	42.2	48.4	29.7	12.5	15.6	9.4	14.1	15.6	4.7	9.4	6.3	4.7	1.6	0	0
	高度専門職	27	55.6	51.9	59.3	25.9	29.6	14.8	22.2	33.3	11.1	11.1	7.4	0	7.4	11.1	0	0	0
経営・管理	25	36.0	52.0	48.0	32.0	12.0	8.0	24.0	24.0	16.0	24.0	4.0	4.0	4.0	4.0	0	8.0	4.0	
その他の資格	111	44.1	52.3	45.9	28.8	28.8	16.2	16.2	9.9	10.8	7.2	3.6	6.3	2.7	3.6	0.9	4.5	0	
居住地域	北区	106	58.5	41.5	44.3	24.5	19.8	8.5	17.9	15.1	10.4	7.5	4.7	3.8	8.5	5.7	2.8	2.8	1.9
	上京区	115	43.5	47.0	45.2	32.2	26.1	20.0	13.9	15.7	7.0	3.5	8.7	5.2	8.7	4.3	0.9	7.0	2.6
	左京区	232	59.1	42.2	45.7	33.2	19.4	11.6	12.5	10.8	12.5	8.6	9.9	3.4	12.5	5.2	1.3	3.4	1.7
	中京区	97	44.3	49.5	49.5	27.8	29.9	19.6	17.5	18.6	8.2	5.2	3.1	5.2	3.1	6.2	1.0	2.1	3.1
	東山区	47	42.6	38.3	53.2	29.8	27.7	17.0	8.5	19.1	8.5	2.1	6.4	6.4	0	2.1	2.1	2.1	4.3
	山科区	64	34.4	43.8	39.1	20.3	32.8	9.4	10.9	12.5	12.5	1.6	3.1	10.9	1.6	4.7	1.6	6.3	7.8
	下京区	98	34.7	44.9	49.0	31.6	23.5	15.3	18.4	13.3	14.3	6.1	5.1	5.1	4.1	5.1	1.0	4.1	1.0
	南区	149	34.2	39.6	28.9	31.5	33.6	21.5	16.1	8.7	7.4	4.0	4.0	8.7	2.7	4.0	2.7	2.7	3.4
	右京区	159	42.8	42.8	40.3	32.7	29.6	20.1	13.8	14.5	8.8	3.1	6.9	3.1	8.8	2.5	1.3	3.1	1.3
	西京区	66	50.0	40.9	39.4	24.2	24.2	18.2	7.6	13.6	9.1	9.1	6.1	9.1	1.5	4.5	1.5	9.1	1.5
	伏見区	246	37.4	40.7	37.8	28.5	28.5	18.7	15.0	7.7	13.4	9.8	4.5	7.3	2.8	6.5	2.4	2.8	1.2
年齢	18歳～19歳	27	37.0	29.6	48.1	11.1	33.3	22.2	18.5	14.8	18.5	0	3.7	3.7	11.1	7.4	0	3.7	0
	20歳～29歳	516	45.7	42.2	47.3	26.2	20.5	13.2	14.0	13.0	8.9	3.3	10.3	6.6	7.6	4.8	1.2	2.9	2.1
	30歳～39歳	359	44.0	41.5	43.5	32.0	24.5	14.5	19.2	10.6	10.3	9.2	5.6	6.4	3.9	6.4	2.2	2.5	0.8
	40歳～49歳	159	44.7	47.8	44.0	34.0	17.6	14.5	11.9	13.2	13.2	10.7	3.1	4.4	3.8	2.5	0	3.1	3.8
	50歳～59歳	121	43.0	43.0	29.8	34.7	35.5	14.0	17.4	14.9	5.8	9.1	2.5	5.0	9.1	5.0	0.8	8.3	3.3
	60歳～69歳	82	48.8	43.9	31.7	30.5	39.0	34.1	9.8	15.9	9.8	6.1	1.2	8.5	3.7	3.7	6.1	7.3	1.2
	70歳～79歳	81	39.5	42.0	30.9	25.9	49.4	29.6	6.2	12.3	21.0	2.5	2.5	4.9	7.4	3.7	1.2	6.2	3.7
	80歳以上	39	38.5	38.5	20.5	41.0	53.8	30.8	2.6	2.6	15.4	2.6	0	0	0	2.6	7.7	2.6	2.6
京都市在住期間	6か月未満	172	50.0	43.0	49.4	21.5	22.1	12.8	17.4	18.6	13.4	2.9	13.4	3.5	7.6	3.5	2.3	4.1	1.2
	6か月以上～1年未満	131	37.4	32.8	47.3	22.9	27.5	19.1	16.0	10.7	12.2	8.4	6.1	9.2	5.3	6.1	2.3	3.1	2.3
	1年以上～2年未満	226	44.7	41.2	41.2	31.0	22.6	15.0	15.9	13.7	9.3	4.9	10.2	6.6	4.4	4.9	1.8	0.4	2.2
	2年以上～3年未満	148	41.9	47.3	43.2	30.4	21.6	11.5	15.5	10.1	7.4	3.4	4.7	8.1	7.4	7.4	0.7	2.7	2.0
	3年以上～5年未満	135	50.4	43.7	48.9	25.2	17.8	11.9	20.0	11.1	8.9	8.1	5.9	8.9	7.4	4.4	1.5	3.7	0.7
	5年以上～10年未満	162	47.5	46.9	49.4	29.6	20.4	14.2	14.2	14.8	9.9	10.5	5.6	6.8	3.7	6.2	0	5.6	0.6
	10年以上～20年未満	117	47.0	44.4	41.0	44.4	23.9	14.5	9.4	12.8	7.7	7.7	1.7	0	6.0	4.3	0	6.0	1.7
	20年以上～30年未満	61	39.3	36.1	31.1	41.0	52.5	14.8	13.1	9.8	14.8	14.8	1.6	6.6	6.6	6.6	3.3	3.3	3.3
	30年以上	228	41.2	43.0	27.2	29.4	40.8	29.4	8.8	8.8	12.7	3.5	1.3	4.4	6.1	2.6	3.1	6.1	3.1

〔3〕生活の困りごと(単一回答)

生活の困りごとについて、「とても困っている」と「少し困っている」を合わせた『困っている』の割合は、「日本語での会話や読み書き」(30.3%)が最も高く、次いで、「生活費」(29.4%)、「税金や年金など行政窓口での手続き」(26.3%)となっている。「まったく困っていない」と「あまり困っていない」を合わせた『困っていない』の割合は、「ごみの出し方」(59.5%)が最も高く、次いで、「病気やけが、病院の利用」(46.7%)、「日本語での会話や読み書き」(46.0%)となっている。いくつかの項目では「経験していない・自分に関係ない」の割合が最も高くなっているものがある。

【図表 31 生活の困りごと】



Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■日本語での会話や読み書き

全体では、『困っている』は30.9%となっており、『困っていない』は47.1%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ネパール(62.0%)が最も高く、次いで、ミャンマー(60.0%)、ベトナム(56.2%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、家族滞在(59.7%)が最も高くなっている。一方、『困っていない』の割合は、特別永住者(85.9%)が最も高く、次いで、永住者(61.3%)、高度専門職(55.5%)となっている。

年齢別にみると、39歳以下で『困っている』の割合が高く、20歳～29歳(36.5%)、30歳～39歳(35.4%)、18歳～19歳(33.3%)となっている。

【図表 32 日本語での会話や読み書き(属性特徴)】

		n	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない
全体		1,361	115	306	175	273	367	125	421	640
		100	8.4	22.5	12.9	20.1	27.0	9.2	30.9	47.1
国籍・地域	中国	371	5.7	19.9	9.7	28.0	25.6	11.1	25.6	53.6
	韓国	236	0	2.5	3.8	13.6	68.2	11.9	2.5	81.8
	ベトナム	130	17.7	38.5	23.8	6.2	5.4	8.5	56.2	11.6
	ネパール	92	26.1	35.9	10.9	12.0	2.2	13.0	62.0	14.2
	台湾	77	0	13.2	13.0	36.4	28.6	3.9	18.2	65.0
	フィリピン	58	15.5	19.0	31.0	15.5	10.3	8.6	34.5	25.8
	アメリカ	47	2.1	34.0	21.3	17.0	23.4	2.1	36.1	40.4
	インドネシア	42	7.1	16.7	35.7	14.3	14.3	11.9	23.8	28.6
	ミャンマー	35	17.1	42.9	14.3	14.3	5.7	5.7	60.0	20.0
	フランス	27	3.7	25.9	11.1	37.0	22.2	0	29.6	59.2
	その他	241	11.2	29.9	11.6	21.6	19.1	6.6	41.1	40.7
在留資格	留学(大学・大学院)	270	9.6	25.6	11.5	30.0	15.2	8.1	35.2	45.2
	留学(日本語学校)	82	8.5	39.0	15.9	20.7	2.4	13.4	47.5	23.1
	留学(専門学校、その他)	28	10.7	42.9	14.3	0	17.9	14.3	53.6	17.9
	特別永住者	177	0	3.4	1.1	6.2	79.7	9.6	3.4	85.9
	永住者	199	2.5	15.6	6.0	23.6	37.7	14.6	18.1	61.3
	技術・人文知識・国際業務	166	8.4	24.7	12.0	22.3	25.9	6.6	33.1	48.2
	家族滞在	62	32.3	27.4	14.5	17.7	4.8	3.2	59.7	22.5
	技能実習	70	7.1	40.0	31.4	10.0	2.9	8.6	47.1	12.9
	特定技能	70	10.0	24.3	32.9	11.4	10.0	11.4	34.3	21.4
	日本人の配偶者等	65	6.2	30.3	18.5	21.5	20.0	3.1	37.0	41.5
	経営・管理	25	16.0	32.0	12.0	12.0	16.0	12.0	48.0	28.0
	高度専門職	27	14.8	7.4	22.2	29.6	25.9	0	22.2	55.5
その他の資格	111	12.6	19.8	16.2	26.1	17.1	8.1	32.4	43.2	
年齢	18歳～19歳	27	18.5	14.8	11.1	29.6	11.1	14.8	33.3	40.7
	20歳～29歳	513	8.4	28.1	16.4	21.6	15.4	10.1	36.5	37.0
	30歳～39歳	356	12.4	23.0	15.4	20.8	21.6	6.7	35.4	42.4
	40歳～49歳	153	8.5	19.0	13.1	22.2	30.7	6.5	27.5	52.9
	50歳～59歳	115	4.3	20.0	5.2	17.4	40.9	12.2	24.3	58.3
	60歳～69歳	76	6.6	15.8	3.9	11.8	57.9	3.9	22.4	69.7
	70歳～79歳	77	0	11.7	1.3	15.6	61.0	10.4	11.7	76.6
	80歳以上	38	0	2.6	7.9	10.5	55.3	23.7	2.6	65.8

※回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

■生活費

全体では、『困っている』は29.8%となっており、『困っていない』は36.8%となっている。

国籍・地域別にみると、ミャンマー(64.7%)とネパール(51.1%)で過半数が『困っている』状況となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、留学(専門学校、その他)(46.5%)が最も高く、次いで、留学(日本語学校)(39.0%)、家族滞在(37.5%)となっている。

年齢別にみると、『困っている』の割合は、80歳以上(36.8%)が最も高く、次いで、20歳～29歳(35.2%)、30歳～39歳(32.6%)となっている。

日本語能力別にみると、①聞く・話す、②読むの分野においては、日本語能力が低いほど『困っている』の割合が高くなっている。

就労形態別にみると、『困っている』の割合は、アルバイト・パート・内職(42.6%)が最も高く、次いで、仕事をしていない(仕事を探している)(33.9%)、派遣社員・契約社員(33.6%)となっている。

【図表 33 生活費(属性特徴)】

		n	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		1,371	114	295	316	262	242	142	409	504
		100	8.3	21.5	23.0	19.1	17.7	10.4	29.8	36.8
国籍・地域	中国	369	3.3	19.5	17.1	30.4	18.7	11.1	22.8	49.1
	韓国	248	8.1	20.2	20.2	16.1	24.6	10.9	28.3	40.7
	ベトナム	130	13.1	26.2	33.1	6.9	7.7	13.1	39.3	14.6
	ネパール	92	19.6	31.5	10.9	13.0	3.3	21.7	51.1	16.3
	台湾	77	5.2	15.6	33.8	19.5	22.1	3.9	20.8	41.6
	フィリピン	58	8.6	24.1	37.9	8.6	12.1	3.6	32.7	20.7
	アメリカ	47	2.1	17.0	17.0	29.8	29.8	4.3	19.1	59.6
	インドネシア	42	16.7	11.9	38.1	9.5	16.7	7.1	28.6	26.2
	ミャンマー	34	17.6	47.1	2.9	14.7	5.9	11.8	64.7	20.6
	フランス	27	3.7	14.8	44.4	22.2	14.8	0	18.5	37.0
その他	242	9.5	20.7	26.9	15.7	19.4	7.9	30.2	35.1	
在留資格	留学(大学・大学院)	268	5.6	28.4	23.5	26.1	8.2	8.2	34.0	34.3
	留学(日本語学校)	82	12.2	26.8	14.6	15.9	7.3	23.2	39.0	23.2
	留学(専門学校、その他)	28	28.6	17.9	17.9	7.1	10.7	17.9	46.5	17.8
	特別永住者	188	9.0	18.6	18.6	16.0	27.7	10.1	27.6	43.7
	永住者	199	5.5	13.6	18.6	20.6	28.1	13.6	19.1	48.7
	技術・人文知識・国際業務	166	12.0	24.1	21.1	16.9	18.7	7.2	36.1	35.6
	家族滞在	64	9.4	28.1	21.9	25.0	10.9	4.7	37.5	35.9
	技能実習	69	4.3	18.8	44.9	11.6	10.1	10.1	23.1	21.7
	特定技能	70	12.9	22.9	31.4	10.0	8.6	14.3	35.8	18.6
	日本人の配偶者等	65	4.6	20.0	30.8	16.9	21.5	6.2	24.6	38.4
	経営・管理	25	0	0	12.0	28.0	40.0	20.0	0	68.0
高度専門職	27	7.4	11.1	22.2	22.2	33.3	3.7	18.5	55.5	
その他の資格	111	9.0	22.5	28.8	18.0	15.3	6.3	31.5	33.3	
年齢	18歳～19歳	25	4.0	16.0	36.0	20.0	4.0	20.0	20.0	24.0
	20歳～29歳	511	9.2	26.0	22.1	20.0	10.8	11.9	35.2	30.8
	30歳～39歳	356	9.6	23.0	28.1	14.6	16.9	7.9	32.6	31.5
	40歳～49歳	157	2.5	12.1	25.5	24.2	28.0	7.6	14.6	52.2
	50歳～59歳	118	7.6	13.6	20.3	23.7	22.0	12.7	21.2	45.7
	60歳～69歳	81	7.4	14.8	14.8	21.0	38.3	3.7	22.2	59.3
	70歳～79歳	79	7.6	24.1	13.9	19.0	20.3	15.2	31.7	39.3
	80歳以上	38	10.5	26.3	15.8	10.5	23.7	13.2	36.8	34.2
日本語能力	① 話す・聞く									
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	426	6.6	17.8	19.2	20.9	29.1	6.3	24.4	50.0
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	433	7.4	25.4	26.3	20.3	14.5	6.0	32.8	34.8
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	355	11.5	21.7	28.7	20.8	12.4	4.3	33.2	33.2
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	64	12.5	28.1	25.0	10.9	9.4	14.1	40.6	20.3
	② 読む									
	どんな内容の文章でも読むことができる	494	5.3	18.8	20.6	21.5	27.3	6.5	24.1	48.8
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	334	8.7	23.4	24.0	24.3	15.0	4.8	32.1	39.3
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	279	12.9	22.2	30.1	17.2	12.9	4.7	35.1	30.1
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	99	6.1	28.3	34.3	14.1	10.1	7.1	34.4	24.2
ほとんど読むことができない	58	15.5	34.5	19.0	13.8	10.3	6.9	50.0	24.1	
③ 書く										
複雑な内容の文章も書くことができる	367	6.0	17.7	18.3	22.1	29.7	6.3	23.7	51.8	
簡単な手紙や報告を書くことができる	385	9.1	24.4	23.1	22.3	15.3	5.7	33.5	37.6	
短いメールやメッセージを書くことができる	353	9.6	23.8	30.0	17.6	13.3	5.7	33.4	30.9	
ほとんど書くことができない	159	9.4	23.9	30.8	17.6	13.2	5.0	33.3	30.8	
就労形態	正社員(経営者を含む)	354	5.9	17.2	20.9	19.8	29.1	7.1	23.1	48.9
	派遣社員・契約社員	170	12.4	21.2	37.1	14.7	8.8	5.9	33.6	23.5
	自営業(家族従業者、自由業、個人事業主)	106	4.7	21.7	16.0	27.4	26.4	3.8	26.4	53.8
	アルバイト・パート・内職	230	13.0	29.6	21.7	17.0	13.5	5.2	42.6	30.5
	仕事をしていない(仕事を探している)	130	7.7	26.2	25.4	23.1	10.0	5.2	33.9	33.1
	仕事をしていない(仕事を探していない)	204	6.9	20.6	24.5	27.0	18.1	2.9	27.5	45.1

※回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■税金や年金など行政窓口での手続き

全体では、『困っている』は27.4%となっており、『困っていない』は40.6%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ミャンマー(51.5%)が最も高く、次いで、ネパール(43.4%)、台湾(42.9%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、留学(大学・大学院)(35.7%)が最も高く、次いで、技術・人文知識・国際業務(34.6%)、留学(日本語学校)(33.4%)となっている。

年齢別にみると、『困っている』の割合は、20歳～29歳(33.2%)が最も高く、次いで、30歳～39歳(31.3%)、40歳～49歳(23.9%)となっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど『困っている』の割合が高く、①聞く・話す(ほとんど聞き取ることができない、話すことができない)では49.2%となっている。

【図表 34 税金や年金など行政窓口での手続き(属性特徴)】

		n	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		1,334	110	256	270	305	236	157	366	541
			8.2	19.2	20.2	22.9	17.7	11.8	27.4	40.6
国籍・地域	中国	360	5.3	16.7	14.2	33.6	19.2	11.1	22.0	52.8
	韓国	238	2.5	8.8	20.2	20.2	33.6	14.7	11.3	53.8
	バトナム	125	5.6	21.6	40.0	14.4	5.6	12.8	27.2	20.0
	ネパール	90	15.6	27.8	10.0	13.3	4.4	28.9	43.4	17.7
	台湾	77	10.4	32.5	16.9	24.7	11.7	3.9	42.9	36.4
	フィリピン	54	7.4	22.2	27.8	24.1	11.1	7.4	29.6	35.2
	アメリカ	47	19.1	19.1	14.9	23.4	21.3	2.1	38.2	44.7
	インドネシア	42	4.8	9.5	33.3	28.6	11.9	11.9	14.3	40.5
	ミャンマー	33	18.2	33.3	18.2	12.1	6.1	12.1	51.5	18.2
	フランス	27	14.8	25.9	18.5	25.9	14.8	0	40.7	40.7
その他	236	12.3	22.9	22.0	16.9	16.5	9.3	35.2	33.4	
在留資格	留学(大学・大学院)	263	9.5	26.2	18.3	27.0	10.3	8.7	35.7	37.3
	留学(日本語学校)	78	16.7	16.7	21.8	19.2	2.6	23.1	33.4	21.8
	留学(専門学校、その他)	28	14.3	17.9	10.7	14.3	7.1	35.7	32.2	21.4
	特別永住者	184	1.6	8.2	18.5	20.1	39.1	12.5	9.8	59.2
	永住者	193	4.7	11.9	10.9	27.5	29.5	15.5	16.6	57.0
	技術・人文知識・国際業務	162	9.9	24.7	29.0	21.0	10.5	4.9	34.6	31.5
	家族滞在	62	8.1	24.2	21.0	27.4	14.5	4.8	32.3	41.9
	技能実習	66	7.6	15.2	40.9	12.1	12.1	12.1	22.8	24.2
	特定技能	68	8.8	20.6	26.5	20.6	5.9	17.6	29.4	26.5
	日本人の配偶者等	62	9.7	21.0	25.8	25.8	11.3	6.5	30.7	37.1
	経営・管理	25	16.0	8.0	12.0	24.0	20.0	20.0	24.0	44.0
高度専門職	27	11.1	18.5	14.8	29.6	22.2	3.7	29.6	51.8	
その他の資格	107	8.4	28.0	17.8	19.6	15.9	10.3	36.4	35.5	
年齢	18歳～19歳	23	4.3	17.4	34.8	13.0	8.7	21.7	21.7	21.7
	20歳～29歳	500	10.8	22.4	22.8	19.6	10.8	13.6	33.2	30.4
	30歳～39歳	345	8.1	23.2	22.0	24.6	13.9	8.1	31.3	38.5
	40歳～49歳	155	5.8	18.1	13.5	29.0	25.2	8.4	23.9	54.2
	50歳～59歳	117	6.0	13.7	19.7	29.9	18.8	12.0	19.7	48.7
	60歳～69歳	76	11.8	5.3	15.8	21.1	42.1	3.9	17.1	63.2
	70歳～79歳	75	0	9.3	16.0	20.0	34.7	20.0	9.3	54.7
	80歳以上	37	2.7	8.1	8.1	21.6	35.1	24.3	10.8	56.7
日本語能力	① 話す・聞く									
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	418	3.1	12.4	16.0	23.2	37.3	7.9	15.5	60.5
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	420	9.0	22.6	24.5	26.4	10.5	6.9	31.6	36.9
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	342	12.9	23.4	25.7	24.6	7.3	6.1	36.3	31.9
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	61	19.7	29.5	18.0	8.2	11.5	13.1	49.2	19.7
	② 読む									
	どんな内容の文章でも読むことができる	491	4.2	13.1	16.0	27.4	32.2	7.1	17.3	59.6
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	329	7.6	23.4	23.7	27.1	11.9	6.4	31.0	39.0
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	267	13.9	24.0	27.7	18.4	9.4	6.7	37.9	27.8
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	95	16.8	25.3	29.5	12.6	10.5	5.3	42.1	23.1
	ほとんど読むことができない	56	10.7	26.8	19.6	26.8	5.4	10.7	37.5	32.2
	③ 書く									
複雑な内容の文章も書くことができる	357	2.2	12.9	14.3	25.8	37.9	7.0	15.1	63.6	
簡単な手紙や報告を書くことができる	380	8.9	20.3	23.4	26.8	12.6	7.9	29.2	39.4	
短いメールやメッセージを書くことができる	340	11.8	22.1	27.1	21.2	10.6	7.4	33.9	31.8	
ほとんど書くことができない	152	15.1	29.6	23.0	20.4	7.9	3.9	44.7	28.3	

※ 回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

■仕事さがし

全体では、『困っている』は30.6%となっており、『困っていない』は31.3%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ネパール(49.4%)が最も高く、次いで、ミャンマー(46.9%)、アメリカ(40.0%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、留学(大学・大学院)(49.2%)が最も高く、次いで、留学(日本語学校)(48.5%)、技術・人文知識・国際業務(40.3%)となっている。

年齢別にみると、39歳以下で『困っている』の割合が高く、20歳～29歳で38.9%となっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど『困っている』の割合が高い傾向があり、①聞く・話す(ほとんど聞き取ることができない、話すことができない)で55.1%となっている。

【図表 35 仕事さがし(属性特徴)】

		n	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている (%)	困っていない (%)
全体		1,108	108	232	248	159	187	174	30.6	31.3
国籍・地域	中国	299	11.7	23.4	19.1	18.1	13.7	14.0	35.1	31.8
	韓国	196	3.6	10.2	20.9	12.2	33.7	19.4	13.8	45.9
	バドナム	113	8.8	22.1	35.4	8.0	8.0	17.7	30.9	16.0
	ネパール	85	21.2	28.2	5.9	12.9	2.4	29.4	49.4	15.3
	台湾	65	10.8	26.2	24.6	12.3	23.1	3.1	37.0	35.4
	フィリピン	45	4.4	20.0	35.6	13.3	17.8	8.9	24.4	31.1
	アメリカ	35	2.9	37.1	17.1	17.1	20.0	5.7	40.0	37.1
	インドネシア	35	5.7	8.6	31.4	14.3	20.0	20.0	14.3	34.3
	ミャンマー	32	9.4	37.5	15.6	9.4	12.5	15.6	46.9	21.9
	フランス	17	11.8	23.5	35.3	11.8	17.6	0	35.3	29.4
	その他	181	11.6	19.3	23.8	17.1	13.8	14.4	30.9	30.9
在留資格	留学(大学・大学院)	197	16.2	33.0	26.4	8.1	4.1	12.2	49.2	12.2
	留学(日本語学校)	68	20.6	27.9	16.2	13.2	1.5	20.6	48.5	14.7
	留学(専門学校、その他)	25	16.0	16.0	12.0	8.0	4.0	44.0	32.0	12.0
	特別永住者	152	2.6	9.2	18.4	11.8	42.1	15.8	11.8	53.9
	永住者	177	4.1	12.3	19.3	20.5	25.1	18.7	16.4	45.6
	技術・人文知識・国際業務	144	13.2	27.1	22.9	13.9	13.2	9.7	40.3	27.1
	家族滞在	54	11.1	24.1	24.1	18.5	14.8	7.4	35.2	33.3
	技能実習	53	3.8	13.2	41.5	11.3	9.4	20.8	17.0	20.7
	特定技能	60	5.0	11.7	28.3	13.3	18.3	23.3	16.7	31.6
	日本人の配偶者等	56	3.6	32.1	23.2	25.0	10.7	5.4	35.7	35.7
	経営・管理	16	6.3	6.3	6.3	18.8	31.3	31.3	12.6	50.1
高度専門職	23	0	17.4	17.4	21.7	34.3	8.7	17.4	56.5	
その他の資格	82	15.9	24.4	19.5	15.9	9.8	14.6	40.3	25.7	
年齢	18歳～19歳	19	10.5	26.3	26.3	5.3	5.3	26.3	36.8	10.6
	20歳～29歳	419	12.9	26.0	24.8	10.5	8.6	17.2	38.9	19.1
	30歳～39歳	299	10.7	24.4	21.1	17.7	14.0	12.0	35.1	31.7
	40歳～49歳	132	4.5	14.4	25.0	21.2	26.5	8.3	18.9	47.7
	50歳～59歳	100	5.0	14.0	23.0	20.0	24.0	14.0	19.0	44.0
	60歳～69歳	53	7.5	13.2	24.5	11.3	35.8	7.5	20.7	47.1
	70歳～79歳	57	5.3	7.0	5.3	12.3	38.6	31.6	12.3	50.9
	80歳以上	23	0	4.3	8.7	0	34.8	52.2	4.3	34.8
日本語能力	① 話す・聞く									
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	353	4.0	14.7	20.4	15.3	34.3	11.3	18.7	49.6
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	359	11.7	24.8	26.2	17.8	10.6	8.9	36.5	28.4
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	259	13.9	27.4	26.6	13.1	8.9	10.0	41.3	22.0
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	49	26.5	28.6	18.4	6.1	4.1	16.3	55.1	10.2
	② 読む									
	どんな内容の文章でも読むことができる	397	6.8	17.1	20.9	15.6	30.0	9.6	23.9	45.6
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	273	10.6	27.3	25.6	16.8	10.6	8.4	38.4	27.4
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	211	13.7	23.2	26.1	15.6	12.3	9.0	36.9	27.9
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	83	13.3	25.3	30.1	10.8	9.6	10.8	38.6	20.4
	ほとんど読むことができない	44	18.2	27.3	22.7	11.4	4.5	15.9	45.5	15.9
	③ 書く									
複雑な内容の文章も書くことができる	295	6.1	15.6	20.0	14.9	34.2	9.2	21.7	49.1	
簡単な手紙や報告を書くことができる	312	11.2	23.4	24.4	17.0	12.8	11.2	34.6	29.8	
短いメールやメッセージを書くことができる	281	11.4	26.3	26.7	14.2	12.1	9.3	37.7	26.3	
ほとんど書くことができない	121	15.7	27.3	26.4	14.9	7.4	8.3	43.0	22.3	

※ 回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■多言語で情報を入手すること

全体では、『困っている』は24.2%となっており、『困っていない』は44.9%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ベトナム(49.6%)が最も高く、次いで、ネパール(46.8%)、ミャンマー(43.8%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、家族滞在(42.2%)が最も高く、次いで、技能実習(40.3%)、留学(日本語学校)(32.6%)となっている。

年齢別にみると、39歳以下で『困っている』の割合が高く、18歳～19歳で29.6%となっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど『困っている』の割合が高く、①聞く・話す(ほとんど聞き取ることができない、話すことができない)で66.6%となっている。

【図表 36 多言語で情報を入手すること(属性特徴)】

		n	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		1,300	83	232	226	300	283	176	315	583
		100	6.4	17.8	17.4	23.1	21.8	13.5	24.2	44.9
国籍・地域	中国	366	1.9	12.6	14.8	32.0	26.2	12.6	14.5	58.2
	韓国	206	1.5	5.3	14.1	18.9	39.8	20.4	6.8	58.7
	ベトナム	125	14.4	35.2	23.2	8.0	6.4	12.8	49.6	14.4
	ネパール	92	20.7	26.1	7.6	14.1	2.2	29.3	46.8	16.3
	台湾	76	0	13.2	25.0	28.9	28.9	3.9	13.2	57.8
	フィリピン	54	11.1	20.4	27.8	25.9	5.6	9.3	31.5	31.5
	アメリカ	47	6.4	25.5	19.1	23.4	23.4	2.1	31.9	46.8
	インドネシア	42	0	9.5	45.2	16.7	14.3	14.3	9.5	31.0
	ミャンマー	32	9.4	34.4	21.9	12.5	6.3	15.6	43.8	18.8
	フランス	24	4.2	37.5	16.7	29.2	12.5	0	41.7	41.7
その他	232	9.5	21.6	14.2	24.1	20.7	9.9	31.1	44.8	
在留資格	留学(大学・大学院)	269	5.2	18.2	16.0	31.6	20.1	8.9	23.4	51.7
	留学(日本語学校)	80	8.8	23.8	20.0	18.8	7.5	21.3	32.6	26.3
	留学(専門学校、その他)	28	10.7	14.3	10.7	14.3	14.3	35.7	25.0	28.6
	特別永住者	153	2.6	5.2	11.8	14.4	47.7	18.3	7.8	62.1
	永住者	187	3.7	11.8	13.9	26.7	26.2	17.6	15.5	52.9
	技術・人文知識・国際業務	162	7.4	21.6	20.4	17.9	23.5	9.3	29.0	41.4
	家族滞在	64	14.1	28.1	17.2	20.3	14.1	6.3	42.2	34.4
	技能実習	67	10.4	29.9	26.9	16.4	3.0	13.4	40.3	19.4
	特定技能	68	5.9	22.1	32.4	14.7	5.9	19.1	28.0	20.6
	日本人の配偶者等	62	3.2	19.4	21.0	35.5	17.7	3.2	22.6	53.2
	経営・管理	24	8.3	20.8	8.3	20.8	16.7	25.0	29.1	37.5
	高度専門職	25	4.0	16.0	16.0	24.0	36.0	4.0	20.0	60.0
その他の資格	104	8.7	20.2	15.4	26.9	19.2	9.6	28.9	46.1	
年齢	18歳～19歳	27	3.7	25.9	18.5	14.8	18.5	18.5	29.6	33.3
	20歳～29歳	506	6.1	19.2	20.0	22.9	16.8	15.0	25.3	39.7
	30歳～39歳	344	7.8	21.5	17.2	24.1	20.6	8.7	29.3	44.7
	40歳～49歳	147	8.2	13.6	15.6	29.3	23.8	9.5	21.8	53.1
	50歳～59歳	106	2.8	12.3	18.9	23.6	29.2	13.2	15.1	52.8
	60歳～69歳	67	7.5	11.9	7.5	23.9	41.5	7.5	19.4	65.7
	70歳～79歳	65	1.5	16.9	12.3	9.2	29.2	30.8	18.4	38.4
	80歳以上	32	0	6.3	12.5	18.8	28.1	34.4	6.3	46.9
	日本語能力	① 話す・聞く								
どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる		378	0.8	4.2	10.6	20.6	51.9	11.9	5.0	72.5
日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる		425	3.5	18.8	22.8	32.9	14.1	7.8	22.3	47.0
簡単な質問なら理解し、答えることができる		344	11.3	30.5	23.0	21.5	6.1	7.6	41.8	27.6
ほとんど聞き取ることができない、話すことができない		63	33.3	33.3	11.1	9.5	1.6	11.1	66.6	11.1
② 読む										
どんな内容の文章でも読むことができる		444	1.4	5.2	12.2	25.0	46.8	9.5	6.6	71.8
メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる		328	3.4	20.4	22.0	31.7	14.9	7.6	23.8	46.6
ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる		273	9.2	30.0	24.5	23.4	5.1	7.7	39.2	28.5
ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる		95	22.1	31.6	21.1	11.6	4.2	9.5	53.7	15.8
ほとんど読むことができない		57	24.6	31.6	15.8	14.0	3.5	10.5	56.2	17.5
③ 書く										
複雑な内容の文章も書くことができる	324	0.9	2.5	10.8	21.9	54.3	9.6	3.4	76.2	
簡単な手紙や報告を書くことができる	371	3.0	16.4	21.3	31.0	18.3	10.0	19.4	49.3	
短いメールやメッセージを書くことができる	346	7.2	28.6	24.6	23.1	8.1	8.4	35.8	31.2	
ほとんど書くことができない	157	23.6	32.5	15.3	19.7	3.8	5.1	56.1	23.5	

※ 回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

■日本人からの差別や偏見

全体では、『困っている』は24.9%となっており、『困っていない』は39.1%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ミャンマー(41.3%)が最も高く、次いで、ベトナム(32.4%)、台湾(31.9%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、留学(日本語学校)(36.5%)が最も高く、次いで、技術・人文知識・国際業務(33.6%)、高度専門職(29.2%)となっている。

年齢別にみると、『困っている』の割合は、30歳～39歳(30.1%)が最も高く、次いで、20歳～29歳(27.7%)、50歳～59歳(23.3%)となっている。

日本語能力別にみると、③書く(短いメールやメッセージを書くことができる)で『困っている』が32.2%となっている。

【図表 37 日本人からの差別や偏見(属性特徴)】

		n	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない	
全体		1,264	76	239	293	274	220	162	315	494	
		100	6.0	18.9	23.2	21.7	17.4	12.8	24.9	39.1	
国籍・地域	中国	343	8.2	17.8	24.5	24.5	14.0	11.1	26.0	38.5	
	韓国	236	2.5	11.4	22.9	19.5	28.8	14.8	13.9	48.3	
	ベトナム	108	8.3	24.1	34.3	9.3	6.5	17.6	32.4	15.8	
	ネパール	90	4.4	21.1	20.0	17.8	7.8	28.9	25.5	25.6	
	台湾	69	8.7	23.2	17.4	23.2	21.7	5.8	31.9	44.9	
	フィリピン	50	4.0	24.0	18.0	30.0	16.0	8.0	28.0	46.0	
	アメリカ	44	0	25.0	20.5	25.0	27.3	2.3	25.0	52.3	
	インドネシア	39	0	10.3	38.5	17.9	20.5	12.8	10.3	38.4	
	ミャンマー	29	17.2	24.1	17.2	20.7	0	20.7	41.3	20.7	
	フランス	26	7.7	19.2	19.2	34.6	19.2	0	26.9	53.8	
その他	226	6.2	22.1	19.9	23.5	18.6	9.7	28.3	42.1		
在留資格	留学(大学・大学院)	242	5.8	19.0	25.2	28.9	12.0	9.1	24.8	40.9	
	留学(日本語学校)	74	8.1	28.4	16.2	13.5	10.8	23.0	36.5	24.3	
	留学(専門学校 其他)	23	4.3	8.7	17.4	8.7	13.0	47.8	13.0	21.7	
	特別永住者	182	3.3	12.1	22.0	19.8	31.3	11.5	15.4	51.1	
	永住者	196	7.7	15.3	17.9	20.4	23.0	15.8	23.0	43.4	
	技術・人文知識・国際業務	158	7.0	26.6	25.3	20.9	13.3	7.0	33.6	34.2	
	家族滞在	53	11.3	13.2	41.5	17.0	11.3	5.7	24.5	28.3	
	技能実習	57	3.5	19.3	35.1	12.3	12.3	17.5	22.8	24.6	
	特定技能	63	3.2	14.3	25.4	25.4	9.5	22.2	17.5	34.9	
	日本人の配偶者等	62	1.6	19.4	24.2	27.4	22.6	4.8	21.0	50.0	
	経営・管理	21	4.8	4.8	23.8	23.8	19.0	23.8	9.6	42.8	
高度専門職	24	4.2	25.0	20.8	25.0	20.8	4.2	29.2	45.8		
その他の資格	101	9.9	27.7	17.8	21.8	12.9	9.9	37.6	34.7		
年齢	18歳～19歳	23	0	21.7	21.7	17.4	17.4	21.7	21.7	34.8	
	20歳～29歳	463	6.5	21.2	22.7	22.5	12.1	15.1	27.7	34.6	
	30歳～39歳	323	5.6	24.5	25.4	20.4	14.6	9.6	30.1	35.0	
	40歳～49歳	153	6.5	11.1	27.5	27.5	19.6	7.8	17.6	47.1	
	50歳～59歳	112	6.3	17.0	24.1	20.5	19.6	12.5	23.3	40.1	
	60歳～69歳	78	5.1	11.5	21.8	21.8	35.9	3.8	16.6	57.7	
	70歳～79歳	73	9.6	9.6	13.7	20.5	26.0	20.5	19.2	46.5	
	80歳以上	35	0	14.3	11.4	8.6	37.1	28.6	14.3	45.7	
日本語能力	① 話す	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	405	4.4	14.8	19.5	23.7	28.6	8.9	19.2	52.3
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	408	6.1	23.3	24.8	24.5	14.0	7.4	29.4	38.5
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	307	8.1	21.5	29.3	20.8	13.0	7.2	29.6	33.8
	② 読む	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	55	9.1	21.8	32.7	14.5	7.3	14.5	30.9	21.8
		どんな内容の文章でも読むことができる	467	5.4	17.8	19.5	24.2	25.5	7.7	23.2	49.7
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	312	6.4	22.4	26.6	25.0	13.5	6.1	28.8	38.5
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	250	6.4	20.8	28.0	21.2	15.6	8.0	27.2	36.8
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	85	10.6	17.6	30.6	17.6	15.3	8.2	28.2	32.9
		ほとんど読むことができない	50	6.0	24.0	32.0	18.0	8.0	12.0	30.0	26.0
	③ 書く	複雑な内容の文章も書くことができる	349	5.2	16.9	20.1	24.1	27.2	6.6	22.1	51.3
		簡単な手紙や報告を書くことができる	361	5.5	19.7	24.9	24.7	16.3	8.9	25.2	41.0
		短いメールやメッセージを書くことができる	317	8.5	23.7	26.8	20.2	13.2	7.6	32.2	33.4
ほとんど書くことができない	137	6.6	20.4	28.5	22.6	15.3	6.6	27.0	37.9		

※ 回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■日本人との交流

全体では、『困っている』は21.6%となっており、『困っていない』は46.9%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ミャンマー(41.2%)が最も高く、次いで、ベトナム(32.4%)、ネパール(28.9%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、家族滞在(39.1%)が最も高く、次いで、留学(大学・大学院)(30.4%)、留学(日本語学校)(30.1%)となっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど『困っている』の割合が高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど『困っている』の割合が高く、①聞く・話す(ほとんど聞き取ることができない、話すことができない)で48.4%となっている。

【図表 38 日本人との交流(属性特徴)】

		n	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない	
全体		1,349	60	232	258	315	317	167	292	632	
		100	4.4	17.2	19.1	23.4	23.5	12.4	21.6	46.9	
国籍・地域	中国	368	5.7	21.5	19.8	28.0	14.1	10.9	27.2	42.1	
	韓国	233	1.3	3.9	12.0	18.9	49.4	14.6	5.2	68.3	
	ベトナム	130	6.2	26.2	33.1	9.2	10.0	15.4	32.4	19.2	
	ネパール	90	5.6	23.3	13.3	21.1	7.8	28.9	28.9	28.9	
	台湾	75	2.7	25.3	18.7	22.7	25.3	5.3	28.0	48.0	
	フィリピン	58	5.2	10.3	25.9	36.2	15.5	6.9	15.5	51.7	
	アメリカ	48	2.1	12.5	18.8	16.7	47.9	2.1	14.6	64.6	
	インドネシア	42	0	11.9	23.8	33.3	16.7	14.3	11.9	50.0	
	ミャンマー	34	11.8	29.4	14.7	17.6	11.8	14.7	41.2	29.4	
	フランス	27	7.4	7.4	22.2	33.3	29.6	0	14.8	62.9	
その他	239	4.6	17.2	18.0	25.1	24.7	10.5	21.8	49.8		
在留資格	留学(大学・大学院)	266	6.0	24.4	24.1	27.4	9.4	8.6	30.4	36.8	
	留学(日本語学校)	80	8.8	21.3	18.8	21.3	11.3	18.8	30.1	32.6	
	留学(専門学校、その他)	26	0	15.4	11.5	11.5	11.5	50.0	15.4	23.0	
	特別永住者	175	1.1	1.7	9.1	14.9	59.4	13.7	2.8	74.3	
	永住者	199	2.5	12.1	15.6	25.1	30.2	14.6	14.6	55.3	
	技術・人文知識・国際業務	166	5.4	23.5	18.1	21.1	24.7	7.2	28.9	45.8	
	家族滞在	64	14.1	25.0	21.9	23.4	10.9	4.7	39.1	34.3	
	技能実習	70	2.9	20.0	32.9	18.6	11.4	14.3	22.9	30.0	
	特定技能	70	0	15.7	24.3	27.1	12.9	20.0	15.7	40.0	
	日本人の配偶者等	64	0	14.1	26.6	26.6	28.1	4.7	14.1	54.7	
	経営・管理	25	4.0	16.0	16.0	32.0	12.0	20.0	20.0	44.0	
高度専門職	27	14.8	3.7	25.9	25.9	25.9	3.7	18.5	51.8		
その他の資格	108	4.6	23.1	13.9	27.8	18.5	12.0	27.7	46.3		
年齢	18歳～19歳	26	11.5	23.1	15.4	15.4	19.2	15.4	34.6	34.6	
	20歳～29歳	507	4.9	21.5	21.9	22.5	14.2	15.0	26.4	36.7	
	30歳～39歳	355	4.5	18.6	22.5	27.0	18.3	9.0	23.1	45.3	
	40歳～49歳	155	5.8	13.5	17.4	27.7	27.7	7.7	19.3	55.4	
	50歳～59歳	114	3.5	14.9	14.0	21.9	33.3	12.3	18.4	55.2	
	60歳～69歳	76	2.6	7.9	14.5	19.7	51.3	3.9	10.5	71.0	
	70歳～79歳	75	1.3	6.7	6.7	14.7	49.3	21.3	8.0	64.0	
	80歳以上	35	0	5.7	8.6	14.3	48.6	22.9	5.7	62.9	
日本語能力	① 話す・聞く	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	409	1.5	6.1	11.5	20.3	51.3	9.3	7.6	71.6
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	433	3.9	18.0	24.2	32.6	14.5	6.7	21.9	47.1
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	354	6.2	29.9	25.7	20.6	10.2	7.3	36.1	30.8
	② 読む	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	64	20.3	28.1	15.6	20.3	4.7	10.9	48.4	25.0
		どんな内容の文章でも読むことができる	478	2.3	9.8	12.6	25.5	41.8	7.9	12.1	67.3
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	333	5.1	21.0	27.0	24.3	16.8	5.7	26.1	41.1
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	280	4.6	23.2	22.5	26.8	15.4	7.5	27.8	42.2
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	98	8.2	27.6	27.6	17.3	11.2	8.2	35.8	28.5
		ほとんど読むことができない	58	15.5	29.3	20.7	24.1	1.7	8.6	44.8	25.8
		複雑な内容の文章も書くことができる	352	2.0	7.1	12.5	22.4	48.6	7.4	9.1	71.0
		簡単な手紙や報告を書くことができる	384	3.6	16.9	22.4	28.9	19.5	8.6	20.5	48.4
		短いメールやメッセージを書くことができる	352	4.8	25.3	25.0	23.6	14.5	6.8	30.1	38.1
ほとんど書くことができない	158	12.7	29.1	20.9	23.4	8.9	5.1	41.8	32.3		

※回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

■家さがし

全体では、『困っている』は22.9%となっており、『困っていない』は46.5%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ミャンマー(37.9%)が最も高く、次いで、アメリカ(34.2%)、ベトナム(33.9%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、技術・人文知識・国際業務(42.1%)が最も高く、次いで、留学(日本語学校)(40.0%)、留学(大学・大学院)(25.4%)となっている。

日本語能力別にみると、①聞く・話す(ほとんど聞き取ることができない、話すことができない)で『困っている』(41.1%)が最も高くなっている。

【図表 39 家さがし(属性特徴)】

		n						(%)			
			とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない	
全体		1,242	92	192	217	271	307	163	284	578	
		100	7.4	15.5	17.5	21.8	24.7	13.1	22.9	46.5	
国籍・地域	中国	360	5.8	12.2	14.2	33.3	22.8	11.7	18.0	56.1	
	韓国	223	3.6	7.2	12.1	10.8	49.8	16.6	10.8	60.6	
	ベトナム	109	15.6	18.3	28.4	11.9	11.0	14.7	33.9	22.9	
	ネパール	87	11.5	19.5	16.1	20.7	3.4	28.7	31.0	24.1	
	台湾	75	8.0	22.7	18.7	24.0	22.7	4.0	30.7	46.7	
	フィリピン	46	2.2	10.9	28.3	26.1	21.7	10.9	13.1	47.8	
	アメリカ	38	7.9	26.3	21.1	15.8	26.3	2.6	34.2	42.1	
	インドネシア	39	2.6	20.5	17.9	20.5	23.1	15.4	23.1	43.6	
	ミャンマー	29	17.2	20.7	31.0	13.8	0	17.2	37.9	13.8	
	フランス	23	8.7	17.4	17.4	21.7	34.8	0	26.1	56.5	
その他	209	8.6	21.5	18.2	20.6	21.1	10.0	30.1	41.7		
在留資格	留学(大学・大学院)	260	4.2	21.2	18.8	36.5	11.2	8.1	25.4	47.7	
	留学(日本語学校)	75	13.3	26.7	16.0	10.7	9.3	24.0	40.0	20.0	
	留学(専門学校、その他)	27	3.7	11.1	14.8	11.1	14.8	44.4	14.8	25.9	
	特別永住者	165	3.6	4.8	9.7	7.3	60.6	13.9	8.4	67.9	
	永住者	179	3.9	5.0	10.6	19.6	41.9	19.0	8.9	61.5	
	技術・人文知識・国際業務	159	17.6	24.5	19.5	18.2	12.6	7.5	42.1	30.8	
	家族滞在	58	12.1	12.1	20.7	32.8	17.2	5.2	24.2	50.0	
	技能実習	50	6.0	10.0	38.0	10.0	20.0	16.0	16.0	30.0	
	特定技能	59	1.7	13.6	28.8	16.9	15.3	23.7	15.3	32.2	
	日本人の配偶者等	54	0	22.2	33.3	22.2	18.5	3.7	22.2	40.7	
	経営・管理	24	4.2	12.5	0	33.3	33.3	16.7	16.7	66.6	
高度専門職	27	11.1	7.4	14.8	33.3	29.6	3.7	18.5	62.9		
その他の資格	98	13.3	21.4	15.3	26.5	15.3	8.2	34.7	41.8		
日本語能力	① 話す・聞く	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	392	7.1	8.4	11.5	14.8	48.7	9.4	15.5	63.5
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	391	4.6	23.3	18.9	30.2	15.1	7.9	27.9	45.3
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	315	8.6	17.5	26.3	25.4	14.9	7.3	26.1	40.3
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	56	25.0	16.1	16.1	21.4	8.9	12.5	41.1	30.3
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	458	6.8	10.3	12.4	21.2	42.1	7.2	17.1	63.3
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	307	5.5	24.1	15.3	30.6	16.6	7.8	29.6	47.2
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	237	5.5	18.6	28.3	20.7	18.1	8.9	24.1	38.8
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	85	16.5	12.9	32.9	18.8	11.8	7.1	29.4	30.6
		ほとんど読むことができない	54	20.4	20.4	18.5	22.2	9.3	9.3	40.8	31.5
	③ 書く	複雑な内容の文章も書くことができる	334	7.2	8.7	10.8	18.6	47.9	6.9	15.9	66.5
		簡単な手紙や報告を書くことができる	357	5.0	18.5	19.3	27.5	19.3	10.4	23.5	46.8
		短いメールやメッセージを書くことができる	306	6.9	20.9	22.2	23.9	18.3	7.8	27.8	42.2
		ほとんど書くことができない	144	15.3	18.8	25.7	24.3	11.1	4.9	34.1	35.4

※回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■病气やけが、病院の利用

全体では、『困っている』は19.6%となっており、『困っていない』は51.9%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ミャンマー(37.9%)が最も高く、次いで、ネパール(36.4%)、フランス(26.1%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、留学(大学・大学院)(33.2%)が最も高く、次いで、留学(日本語学校)(30.0%)、家族滞在(29.9%)となっている。

年齢別にみると、『困っている』の割合は、20歳～29歳(25.1%)が最も高く、次いで、30歳～39歳(24.9%)、18歳～19歳(17.3%)となっている。また、50歳以上で「まったく困っていない」の割合が最も高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど『困っている』の割合が高く、①聞く・話す(ほとんど聞き取ることができない、話すことができない)で42.0%となっている。

【図表 40 病气やけが、病院の利用(属性特徴)】

		n	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		1,251	57 4.6	188 15.0	203 16.2	348 27.8	301 24.1	154 12.3	245 19.6	649 51.9
国籍・地域	中国	352	4.8	16.2	14.2	34.1	19.3	11.4	21.0	53.4
	韓国	242	2.1	4.1	9.9	28.1	41.7	14.0	6.2	69.8
	ベトナム	106	3.8	17.9	37.7	15.1	9.4	16.0	21.7	24.5
	ネパール	85	12.9	23.5	9.4	24.7	2.4	27.1	36.4	27.1
	台湾	73	1.4	20.5	28.8	23.3	21.9	4.1	21.9	45.2
	フィリピン	50	4.0	8.0	20.0	40.0	20.0	8.0	12.0	60.0
	アメリカ	41	4.9	17.1	7.3	26.8	41.5	2.4	22.0	68.3
	インドネシア	38	2.6	10.5	26.3	15.8	28.9	15.8	13.1	44.7
	ミャンマー	29	13.8	24.1	24.1	6.9	13.8	17.2	37.9	20.7
	フランス	23	0	26.1	4.3	30.4	39.1	0	26.1	69.5
その他	207	4.3	18.8	14.0	23.0	25.1	9.7	23.1	53.1	
在留資格	留学(大学・大学院)	238	8.4	24.8	16.0	31.9	10.1	8.8	33.2	42.0
	留学(日本語学校)	60	10.0	20.0	10.0	21.7	10.0	28.3	30.0	31.7
	留学(専門学校、その他)	25	4.0	20.0	8.0	16.0	12.0	40.0	24.0	28.0
	特別永住者	186	1.1	4.8	8.6	25.3	47.8	12.4	5.9	73.1
	永住者	201	2.0	7.5	9.0	31.8	35.8	13.9	9.5	67.6
	技術・人文知識・国際業務	149	3.4	19.5	26.8	27.5	15.4	7.4	22.9	42.9
	家族滞在	57	5.3	24.6	22.8	28.1	14.0	5.3	29.9	42.1
	技能実習	58	3.4	8.6	37.9	10.3	24.1	15.5	12.0	34.4
	特定技能	60	5.0	16.7	21.7	23.3	11.7	21.7	21.7	35.0
	日本人の配偶者等	62	0	19.4	21.0	35.5	21.0	3.2	19.4	56.5
	経営・管理	22	4.5	13.6	9.1	27.3	22.7	22.7	18.1	50.0
高度専門職	25	4.0	16.0	16.0	28.0	32.0	4.0	20.0	60.0	
その他の資格	99	7.1	11.1	16.2	29.3	27.3	9.1	18.2	56.6	
年齢	18歳～19歳	23	4.3	13.0	13.0	30.4	17.4	21.7	17.3	47.8
	20歳～29歳	443	6.1	19.0	19.9	24.4	14.7	16.0	25.1	39.1
	30歳～39歳	321	5.9	19.0	19.6	27.7	20.2	7.5	24.9	47.9
	40歳～49歳	147	2.0	10.9	15.0	34.7	29.3	8.2	12.9	64.0
	50歳～59歳	113	0.9	11.5	9.7	32.7	32.7	12.4	12.4	65.4
	60歳～69歳	80	2.5	5.0	7.5	27.5	52.5	5.0	7.5	80.0
	70歳～79歳	79	1.3	6.3	11.4	25.3	38.0	17.7	7.6	63.3
	80歳以上	39	5.1	5.1	0	28.2	38.5	23.1	10.2	66.7
日本語能力	① 話す・聞く									
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	416	1.2	7.7	11.5	27.4	43.8	8.4	8.9	71.2
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	403	3.5	19.9	19.4	34.2	17.1	6.0	23.4	51.3
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	291	8.6	20.6	22.0	27.8	13.4	7.6	29.2	41.2
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	50	24.0	18.0	20.0	16.0	10.0	12.0	42.0	26.0
	② 読む									
	どんな内容の文章でも読むことができる	476	1.9	11.3	13.0	29.2	38.0	6.5	13.2	67.2
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	306	3.9	17.3	16.7	36.9	18.6	6.5	21.2	55.5
	ひらがな・カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	230	7.4	20.4	23.5	24.3	16.5	7.8	27.8	40.8
	ひらがな・カタカナの言葉をいくつか読むことができる	85	10.6	20.0	28.2	18.8	15.3	7.1	30.6	34.1
ほとんど読むことができない	51	17.6	15.7	15.7	31.4	11.8	7.8	33.3	43.2	
③ 書く										
複雑な内容の文章も書くことができる	360	1.7	8.3	10.8	30.0	42.5	6.7	10.0	72.5	
簡単な手紙や報告を書くことができる	354	4.0	16.1	19.8	31.4	20.6	8.2	20.1	52.0	
短いメールやメッセージを書くことができる	301	6.6	19.6	22.3	27.6	16.6	7.3	26.2	44.2	
ほとんど書くことができない	133	12.0	24.8	18.0	27.8	12.8	4.5	36.8	40.6	

※ 回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

■ごみの出し方

全体では、『困っている』は15.2%となっており、『困っていない』は61.2%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、台湾(26.0%)が最も高く、次いで、中国(21.5%)、フランス(19.2%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、留学(大学・大学院)(27.1%)が最も高く、次いで、高度専門職(25.9%)、留学(日本語学校)(24.1%)となっている。

【図表 41 ごみの出し方(属性特徴)】

		n							(%)	
			とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない
全体		1,353	44	161	168	309	519	152	205	828
		100	3.3	11.9	12.4	22.8	38.4	11.2	15.2	61.2
国籍・地域	中国	368	5.2	16.3	7.3	32.9	28.0	10.3	21.5	60.9
	韓国	240	1.3	4.2	3.8	14.2	62.5	14.2	5.5	76.7
	ベトナム	130	0.8	12.3	36.2	13.8	23.8	13.1	13.1	37.6
	ネパール	92	4.3	12.0	14.1	28.3	17.4	23.9	16.3	45.7
	台湾	77	2.6	23.4	11.7	23.4	35.1	3.9	26.0	58.5
	フィリピン	56	0	10.7	10.7	21.4	50.0	7.1	10.7	71.4
	アメリカ	46	0	10.9	13.0	23.9	47.8	4.3	10.9	71.7
	インドネシア	42	0	4.8	21.4	16.7	45.2	11.9	4.8	61.9
	ミャンマー	35	8.6	5.7	28.6	25.7	17.1	14.3	14.3	42.8
	フランス	26	3.8	15.4	3.8	26.9	50.0	0	19.2	76.9
	その他	236	4.7	11.4	13.1	19.1	42.8	8.9	16.1	61.9
在留資格	留学(大学・大学院)	265	4.5	22.6	10.9	30.9	23.4	7.5	27.1	54.3
	留学(日本語学校)	79	5.1	19.0	11.4	25.3	19.0	20.3	24.1	44.3
	留学(専門学校、その他)	28	7.1	7.1	7.1	25.0	17.9	35.7	14.2	42.9
	特別永住者	182	0.5	1.1	3.3	12.6	70.3	12.1	1.6	82.9
	永住者	197	2.0	6.1	6.1	19.3	50.8	15.7	8.1	70.1
	技術・人文知識・国際業務	167	3.6	15.0	16.8	29.3	28.7	6.6	18.6	58.0
	家族滞在	62	3.2	14.5	19.4	30.6	27.4	4.8	17.7	58.0
	技能実習	69	1.4	1.4	37.7	11.6	34.8	13.0	2.8	46.4
	特定技能	69	2.9	2.9	21.7	13.0	40.6	18.8	5.8	53.6
	日本人の配偶者等	64	4.7	12.5	10.9	20.3	48.4	3.1	17.2	68.7
	経営・管理	25	4.0	12.0	4.0	28.0	32.0	20.0	16.0	60.0
高度専門職	27	0	25.9	7.4	29.6	29.6	7.4	25.9	59.2	
その他の資格	110	5.5	12.7	17.3	22.7	35.5	6.4	18.2	58.2	

※回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■職場での仕事の仕方・人間関係

全体では、『困っている』は16.8%となっており、『困っていない』は44.6%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ミャンマー(28.6%)が最も高く、次いで、ネパール(25.3%)、台湾(23.8%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、家族滞在(29.4%)が最も高く、次いで、留学(大学・大学院)(25.7%)、留学(日本語学校)(23.8%)となっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど『困っている』の割合が高く、②読む(ほとんど読むことができない)で28.9%となっている。

就労形態別にみると、『困っている』の割合は、仕事をしていない(仕事を探している)(25.3%)が最も高く、次いで、アルバイト・パート、内職(22.1%)となっている。

【図表 42 職場での仕事の仕方・人間関係(属性特徴)】

		n	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない
全体		1,127	45	144	253	245	258	182	189	503
		100	4.0	12.8	22.4	21.7	22.9	16.1	16.8	44.6
国籍・地域	中国	271	3.7	13.7	21.4	24.0	21.0	16.2	17.4	45.0
	韓国	194	2.6	5.7	14.9	16.5	39.2	21.1	8.3	55.7
	ベトナム	125	3.2	12.8	39.2	15.2	13.6	16.0	16.0	28.8
	ネパール	91	3.3	22.0	16.5	20.9	5.5	31.9	25.3	26.4
	台湾	63	3.2	20.6	12.7	28.6	30.2	4.8	23.8	58.8
	フィリピン	53	3.8	11.3	26.4	30.2	20.8	7.5	15.1	51.0
	アメリカ	35	2.9	8.6	22.9	34.3	25.7	5.7	11.5	60.0
	インドネシア	38	0	7.9	34.2	18.4	21.1	18.4	7.9	39.5
	ミャンマー	35	8.6	20.0	25.7	20.0	11.4	14.3	28.6	31.4
	フランス	21	9.5	4.8	33.3	23.8	28.6	0	14.3	52.4
その他	196	6.6	13.3	20.9	23.0	25.5	12.8	19.9	46.5	
在留資格	留学(大学・大学院)	156	5.8	19.9	26.9	21.2	10.3	16.0	25.7	31.5
	留学(日本語学校)	63	3.2	20.6	23.8	15.9	6.3	30.2	23.8	22.2
	留学(専門学校、その他)	25	4.0	4.0	12.0	20.0	16.0	44.0	8.0	36.0
	特別永住者	154	3.9	4.5	12.3	15.6	46.8	16.9	8.4	62.4
	永住者	173	2.3	8.7	15.6	29.5	24.3	19.7	11.0	53.8
	技術・人文知識・国際業務	164	4.9	11.0	26.8	23.2	25.6	8.5	15.9	48.8
	家族滞在	51	7.8	21.6	23.5	15.7	21.6	9.8	29.4	37.3
	技能実習	67	1.5	11.9	40.3	13.4	16.4	16.4	13.4	29.8
	特定技能	69	4.3	13.0	23.2	24.6	15.9	18.8	17.3	40.5
	日本人の配偶者等	57	3.5	17.5	26.3	29.8	17.5	5.3	21.0	47.3
	経営・管理	20	5.0	0	15.0	30.0	25.0	25.0	5.0	55.0
高度専門職	27	0	14.8	14.8	22.2	40.7	7.4	14.8	62.9	
その他の資格	92	4.3	17.4	25.0	21.7	19.6	12.0	21.7	41.3	
日本語能力	① 話す									
	① 話す	357	3.6	7.0	16.8	22.1	39.2	11.2	10.6	61.3
	② 読む									
	② 読む	264	3.0	17.8	22.7	27.3	20.5	8.7	20.8	47.8
	③ 書く									
	③ 書く	291	4.5	7.9	15.8	22.0	40.2	9.6	12.4	62.2
	④ 読む									
	④ 読む	248	4.0	13.7	30.6	23.4	18.5	9.7	17.7	41.9
	⑤ 書く									
⑤ 書く	306	4.6	16.3	30.1	20.9	18.6	9.5	20.9	39.5	
就労形態	正社員(経営者を含む)	342	3.8	10.8	19.3	26.9	30.4	8.8	14.6	57.3
	派遣社員・契約社員	166	3.6	13.3	32.5	24.7	15.7	10.2	16.9	40.4
	自営業(家族従業員、自由業、個人事業主)	86	1.2	10.5	17.4	25.6	34.9	10.5	11.7	60.5
	アルバイト・パート、内職	203	5.4	16.7	21.2	26.6	22.2	7.9	22.1	48.8
	仕事をしていない(仕事を探している)	83	6.0	19.3	38.6	8.4	12.0	15.7	25.3	20.4
	仕事をしていない(仕事を探していない)	92	3.3	16.3	21.7	14.1	28.3	16.3	19.6	42.4

※ 回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

■災害時・緊急時の対応

全体では、『困っている』は11.4%となっており、『困っていない』は33.6%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ミャンマー(22.9%)が最も高く、次いで、ネパール(21.5%)、ベトナム(18.4%)となっている。また、災害は誰にでも起こりうる出来事であるが、アメリカやフランスでは「経験していない・自分に関係ない」が高くなっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、家族滞在(26.6%)が最も高く、次いで、高度専門職(25.9%)、留学(日本語学校)(15.9%)となっている。

年齢別にみると、『困っている』の割合は、18歳～19歳(14.8%)が最も高く、次いで、30歳～39歳(13.1%)、80歳以上(12.9%)となっている。また、29歳以下では「経験していない・自分に関係ない」の割合が高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど『困っている』の割合が高く、②読む(ほとんど読むことができない)で24.1%となっている。

【図表 43 災害時・緊急時の対応(属性特徴)】

		n	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困って	自経験して関係ない・	無回答	困っている	困っていない
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		1,390	29	129	309	244	223	274	182	158	467
			2.1	9.3	22.2	17.6	16.0	19.7	13.1	11.4	33.6
国籍・地域	中国	373	2.7	8.0	20.1	19.8	16.4	20.9	12.1	10.7	36.2
	韓国	256	1.2	5.9	25.0	17.6	23.0	10.9	16.4	7.1	40.6
	ベトナム	131	3.1	15.3	29.0	10.7	6.9	20.6	14.5	18.4	17.6
	ネパール	93	4.3	17.2	10.8	19.4	4.3	12.9	31.2	21.5	23.7
	台湾	77	0	13.0	31.2	23.4	16.9	11.7	3.9	13.0	40.3
	フィリピン	58	0	8.6	17.2	25.9	19.0	22.4	6.9	8.6	44.9
	アメリカ	48	2.1	10.4	10.4	12.5	20.8	43.3	0	12.5	33.3
	インドネシア	42	0	2.4	28.6	21.4	21.4	11.9	14.3	2.4	42.8
	ミャンマー	35	8.6	14.3	25.7	11.4	8.6	11.4	20.0	22.9	20.0
	フランス	27	0	0	18.5	29.6	11.1	40.7	0	0	40.7
	その他	244	1.6	8.6	23.0	13.5	16.4	26.6	10.2	10.2	29.9
在留資格	留学(大学・大学院)	271	3.0	9.6	21.8	17.7	10.0	29.2	8.9	12.6	27.7
	留学(日本語学校)	82	4.9	11.0	12.2	14.6	11.0	23.2	23.2	15.9	25.6
	留学(専門学校、その他)	28	0	7.1	7.1	7.1	10.7	25.0	42.9	7.1	17.8
	永住者	202	2.0	7.9	20.3	20.8	17.8	14.9	16.3	9.9	38.6
	特別永住者	197	1.0	5.1	25.4	15.7	28.9	3.6	14.2	6.1	44.6
	技術・人文知識・国際業務	168	0	13.1	26.2	21.4	15.5	16.1	7.7	13.1	36.9
	技能実習	70	0	5.7	38.6	12.9	10.0	18.6	14.3	5.7	22.9
	特定技能	70	2.9	7.1	18.6	20.0	12.9	15.7	22.9	10.0	32.9
	日本人の配偶者等	65	0	10.8	27.7	16.9	10.8	30.8	3.1	10.8	27.7
	家族滞在	64	7.8	18.8	20.3	14.1	14.1	18.8	6.3	26.6	28.2
	高度専門職	27	3.7	22.2	25.9	11.1	14.8	18.5	3.7	25.9	25.9
経営・管理	25	0	0	24.0	16.0	28.0	12.0	20.0	0	44.0	
その他の資格	111	2.7	8.1	16.2	18.9	18.9	24.3	10.8	10.8	37.8	
年齢	18歳～19歳	29	3.7	11.1	25.9	11.1	0	29.6	18.5	14.8	11.1
	20歳～29歳	516	2.5	9.5	20.0	17.2	12.6	22.5	15.7	12.0	29.8
	30歳～39歳	359	1.7	11.4	24.2	18.4	16.2	19.5	8.6	13.1	34.6
	40歳～49歳	159	1.9	5.7	22.0	21.4	22.0	18.9	8.2	7.6	43.4
	50歳～59歳	121	0.8	10.7	25.6	20.7	15.7	14.9	11.6	11.5	36.4
	60歳～69歳	82	2.4	4.9	20.7	15.9	25.6	22.0	8.5	7.3	41.5
	70歳～79歳	81	2.5	4.9	27.2	11.1	18.5	13.6	22.2	7.4	29.6
	80歳以上	39	2.6	10.3	12.8	12.8	25.6	7.7	28.2	12.9	38.4
日本語能力	①話聞 どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	436	1.4	6.7	21.6	17.0	29.1	14.7	9.6	8.1	46.1
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	440	1.6	11.4	25.0	22.5	10.9	21.1	7.5	13.0	33.4
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	356	2.5	10.7	25.3	18.0	11.0	25.0	7.6	13.2	29.0
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	64	9.4	9.4	14.1	7.8	7.8	34.4	17.2	18.8	15.6
	②読む どんな内容の文章でも読むことができる	506	1.2	6.9	23.5	20.0	23.7	16.2	8.5	8.1	43.7
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	337	1.5	11.3	22.8	19.0	15.7	22.8	6.8	12.8	34.7
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	282	2.5	10.6	23.8	17.7	12.4	23.8	9.2	13.1	30.1
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	99	4.0	10.1	30.3	19.2	4.0	25.3	7.1	14.1	23.2
	ほとんど読むことができない	58	10.3	13.8	15.5	12.1	12.1	25.9	10.3	24.1	24.2
	③書く 複雑な内容の文章も書くことができる	378	1.6	5.3	23.8	19.0	28.0	14.6	7.7	6.9	47.0
	簡単な手紙や報告を書くことができる	389	1.5	10.3	24.2	21.1	14.1	18.8	10.0	11.8	35.2
	短いメールやメッセージを書くことができる	356	1.4	13.2	23.0	16.9	12.1	25.8	7.6	14.6	29.0
	ほとんど書くことができない	159	6.9	9.4	23.3	17.0	9.4	27.7	6.3	16.3	26.4

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■老後の生活(自分の福祉サービスの利用)

全体では、『困っている』は19.8%となっており、『困っていない』は28.0%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ミャンマー(30.7%)が最も高く、次いで、ネパール(28.0%)、アメリカ(23.5%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、家族滞在(35.7%)が最も高く、次いで、高度専門職(33.4%)、日本人の配偶者等(33.3%)となっている。

年齢別にみると、『困っている』の割合は、70歳～79歳(26.7%)が最も高く、次いで、50歳～59歳(25.0%)、30歳～39歳(24.2%)となっている。

【図表 44 老後の生活(自分の福祉サービスの利用)(属性特徴)】

		n	(%)							困っている	困っていない
			とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答			
全体		763	38	113	226	107	107	172	151	214	
		100	5.0	14.8	29.6	14.0	14.0	22.5	19.8	28.0	
国籍・地域	中国	176	3.4	13.6	29.0	17.6	14.2	22.2	17.0	31.8	
	韓国	204	5.9	12.7	29.9	13.2	20.1	18.1	18.6	33.3	
	バトナム	68	2.9	19.1	33.8	8.8	7.4	27.9	22.0	16.2	
	ネパール	68	5.9	22.1	10.3	17.6	2.9	41.2	28.0	20.5	
	台湾	40	2.5	15.0	55.0	10.0	10.0	7.5	17.5	20.0	
	フィリピン	26	7.7	15.4	34.6	11.5	15.4	15.4	23.1	26.9	
	アメリカ	17	5.9	17.6	17.6	11.8	35.3	11.8	23.5	47.1	
	インドネシア	25	0	4.0	44.0	16.0	12.0	24.0	4.0	28.0	
	ミャンマー	26	11.5	19.2	23.1	7.7	11.5	26.9	30.7	19.2	
	フランス	5	0	20.0	60.0	0	20.0	0	20.0	20.0	
	その他	103	5.8	13.6	28.2	15.5	11.7	25.2	19.4	27.2	
在留資格	留学(大学・大学院)	97	4.1	12.4	34.0	15.5	9.3	24.7	16.5	24.8	
	留学(日本語学校)	42	4.8	11.9	11.9	19.0	4.8	47.6	16.7	23.8	
	留学(専門学校、その他)	20	5.0	20.0	5.0	5.0	10.0	55.0	25.0	15.0	
	特別永住者	165	6.1	13.9	27.9	13.9	24.2	13.9	20.0	38.1	
	永住者	134	3.7	11.9	30.6	16.4	15.7	21.6	15.6	32.1	
	技術・人文知識・国際業務	78	6.4	20.5	35.9	11.5	11.5	14.1	26.9	23.0	
	家族滞在	28	7.1	28.6	21.4	17.9	7.1	17.9	35.7	25.0	
	技能実習	41	2.4	9.8	41.5	9.8	12.2	24.4	12.2	22.0	
	特定技能	39	2.6	15.4	20.5	17.9	2.6	41.0	18.0	20.5	
	日本人の配偶者等	33	12.1	21.2	35.3	21.2	6.1	6.1	33.3	27.3	
	経営・管理	16	0	12.5	43.8	6.3	6.3	31.3	12.5	12.6	
	高度専門職	15	6.7	26.7	26.7	13.3	13.3	13.3	33.4	26.6	
その他の資格	49	2.0	10.2	36.7	6.1	20.4	24.5	12.2	26.5		
年齢	18歳～19歳	10	0	10.0	30.0	10.0	0	50.0	10.0	10.0	
	20歳～29歳	243	3.7	13.2	28.4	11.1	10.7	32.9	16.9	21.8	
	30歳～39歳	178	6.2	18.0	32.0	15.2	11.2	17.4	24.2	26.4	
	40歳～49歳	81	2.5	11.1	32.1	21.0	17.3	16.0	13.6	38.3	
	50歳～59歳	80	5.0	20.0	36.3	13.8	10.0	15.0	25.0	23.8	
	60歳～69歳	58	10.3	6.9	36.2	8.6	25.9	12.1	17.2	34.5	
	70歳～79歳	71	5.6	21.1	19.7	18.3	18.3	16.9	26.7	36.6	
	80歳以上	37	2.7	10.8	16.2	16.2	27.0	27.0	13.5	43.2	

※回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

■自分の勉強・学校生活

全体では、『困っている』は12.5%となっており、『困っていない』は51.1%である。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ミャンマー(28.5%)が最も高く、次いで、ネパール(27.9%)、フィリピン(17.2%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、留学(日本語学校)(24.7%)が最も高く、次いで、留学(専門学校、その他)(17.9%)、技術・人文知識・国際業務(17.8%)となっている。

日本語能力別にみると、②読む(ほとんど読むことができない)で『困っている』が23.4%となっている。

【図表 45 自分の勉強・学校生活(属性特徴)】

		n	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない	
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体		1,024	22	107	185	253	270	187	129	523	
		100	2.1	10.4	18.1	24.7	26.4	18.3	12.5	51.1	
国籍・地域	中国	319	0.6	10.7	14.4	35.4	24.5	14.4	11.3	59.9	
	韓国	166	1.2	3.6	9.0	18.7	41.6	25.9	4.8	60.3	
	バトナム	104	4.8	9.6	37.5	15.4	12.5	20.2	14.4	27.9	
	ネパール	79	8.9	19.0	11.4	13.9	11.4	35.4	27.9	25.3	
	台湾	61	0	11.5	18.0	29.5	36.1	4.9	11.5	65.6	
	フィリピン	29	3.4	13.8	24.1	13.8	27.6	17.2	17.2	41.4	
	アメリカ	31	0	12.9	16.1	25.8	38.7	6.5	12.9	64.5	
	インドネシア	36	0	8.3	25.0	27.8	19.4	19.4	8.3	47.2	
	ミャンマー	28	7.1	21.4	21.4	14.3	17.9	17.9	28.5	32.2	
	フランス	12	0	16.7	16.7	8.3	58.3	0	16.7	66.6	
その他	155	1.9	10.3	22.6	23.9	25.8	15.5	12.2	49.7		
在留資格	留学(大学・大学院)	266	2.6	13.5	14.3	41.4	19.2	9.0	16.1	60.6	
	留学(日本語学校)	81	3.7	21.0	17.3	19.8	14.8	23.5	24.7	34.6	
	留学(専門学校、その他)	28	3.6	14.3	14.3	14.3	17.9	35.7	17.9	32.2	
	特別永住者	25	0.8	4.0	11.2	12.0	51.2	20.8	4.8	63.2	
	永住者	137	0.7	4.4	10.9	23.4	32.1	28.5	5.1	55.5	
	技術・人文知識・国際業務	107	2.8	15.0	26.2	19.6	23.4	13.1	17.8	43.0	
	家族滞在	42	7.1	9.5	23.8	26.2	26.2	7.1	16.6	52.4	
	技能実習	47	2.1	6.4	46.8	12.8	8.5	23.4	8.5	21.3	
	特定技能	48	2.1	6.3	22.9	20.8	18.8	29.2	8.4	39.6	
	日本人の配偶者等	36	0	11.1	22.2	22.2	36.1	8.3	11.1	58.3	
	経営・管理	15	6.7	0	20.0	13.3	26.7	33.3	6.7	40.0	
	高度専門職	20	0	0	10.0	25.0	50.0	15.0	0	75.0	
その他の資格	66	0	12.1	22.7	19.7	27.3	18.2	12.1	47.0		
日本語能力	① 話す	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	303	1.0	4.0	11.9	20.8	47.2	15.2	5.0	68.0
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	339	1.5	12.7	21.2	33.6	21.5	9.4	14.2	55.1
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	262	4.6	16.0	25.2	25.6	17.2	11.5	20.6	42.8
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	36	5.6	8.3	25.0	16.7	16.7	27.8	13.9	33.4
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	366	1.4	6.0	13.7	25.1	42.3	11.5	7.4	67.4
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	264	0.8	12.1	19.3	33.7	24.2	9.9	12.9	57.9
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	205	4.9	15.6	26.3	26.3	15.6	11.2	20.5	41.9
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	65	4.6	10.8	35.4	16.9	16.9	15.4	15.4	33.8
	③ 書く	ほとんど読むことができない	30	6.7	16.7	16.7	13.3	16.7	30.0	23.4	30.0
		複雑な内容の文章も書くことができる	271	1.5	4.8	12.2	24.0	46.5	11.1	6.3	70.5
		簡単な手紙や報告を書くことができる	311	1.0	9.6	20.3	31.8	25.1	12.2	10.6	56.9
		短いメールやメッセージを書くことができる	256	2.7	17.6	23.8	26.2	18.0	11.7	20.3	44.2
ほとんど書くことができない	93	8.6	11.8	26.9	20.4	18.3	14.0	20.4	38.7		

※ 回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■家族の介護・福祉サービスの利用

全体では、『困っている』は15.4%となっており、『困っていない』は32.7%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ミャンマー(32.0%)が最も高く、次いで、ネパール(28.2%)、アメリカ(26.6%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、高度専門職(42.8%)が最も高く、次いで、留学(専門学校、その他)(22.2%)、家族滞在(21.6%)となっている。

年齢別にみると、『困っている』の割合は、30歳～39歳(22.1%)が最も高く、次いで、18歳～19歳(18.2%)、20歳～29歳(14.5%)となっている。

同居人別にみると、『困っている』の割合は、あなたの親(24.3%)が最も高く、次いで、配偶者・パートナーの親(23.0%)、友人・知人(21.3%)となっている。

【図表 46 家族の介護・福祉サービスの利用(属性特徴)】

	n	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない	
全体	739	32	82	213	114	128	170	15.4	32.7	
	100	4.3	11.1	28.8	15.4	17.3	23.0	15.4	32.7	
国籍・地域	中国	164	4.9	11.0	25.6	17.7	16.5	24.4	15.9	34.2
	韓国	191	4.2	6.3	28.8	17.3	24.6	18.8	10.5	41.9
	ベトナム	72	1.4	11.1	41.7	12.5	6.9	26.4	12.5	19.4
	ネパール	64	6.3	21.9	14.1	12.5	4.7	40.6	28.2	17.2
	台湾	33	0	15.2	45.5	15.2	15.2	9.1	15.2	30.4
	フィリピン	29	3.4	13.8	37.9	6.9	17.2	20.7	17.2	24.1
	アメリカ	15	13.3	13.3	13.3	6.7	46.7	6.7	26.6	53.4
	インドネシア	26	0	3.8	34.6	19.2	19.2	23.1	3.8	38.4
	ミャンマー	25	16.0	16.0	28.0	4.0	8.0	28.0	32.0	12.0
	フランス	10	0	0	50.0	30.0	20.0	0	0	50.0
	その他	106	2.8	12.3	26.4	17.0	17.9	23.6	15.1	34.9
在留資格	留学(大学・大学院)	90	4.4	11.1	31.1	11.1	15.6	26.7	15.5	26.7
	留学(日本語学校)	40	7.5	7.5	15.0	20.0	0	50.0	15.0	20.0
	留学(専門学校、その他)	18	0	22.2	5.6	11.1	5.6	55.6	22.2	16.7
	特別永住者	156	5.1	7.1	28.2	17.9	26.9	14.7	12.2	44.8
	永住者	136	2.2	9.6	31.6	16.2	18.4	22.1	11.8	34.6
	技術・人文知識・国際業務	73	1.4	19.2	32.9	15.1	15.1	16.4	20.6	30.2
	家族滞在	37	10.8	10.8	27.0	24.3	18.9	8.1	21.6	43.2
	技能実習	40	5.0	5.0	52.5	5.0	7.5	25.0	10.0	12.5
	特定技能	37	2.7	16.2	21.6	10.8	2.7	45.9	18.9	13.5
	日本人の配偶者等	33	3.0	18.2	36.4	18.2	18.2	6.1	21.2	36.4
	経営・管理	14	0	7.1	14.3	35.7	7.1	35.7	7.1	42.8
高度専門職	14	21.4	21.4	7.1	21.4	21.4	7.1	42.8	42.8	
その他の資格	46	2.2	8.7	28.3	8.7	28.3	23.9	10.9	37.0	
年齢	18歳～19歳	11	0	18.2	18.2	9.1	9.1	45.5	18.2	18.2
	20歳～29歳	228	3.1	11.4	28.5	11.0	10.5	35.5	14.5	21.5
	30歳～39歳	181	8.8	13.3	29.8	15.5	16.6	16.0	22.1	32.1
	40歳～49歳	86	2.3	11.6	29.1	25.6	16.3	15.1	13.9	41.9
	50歳～59歳	87	1.1	12.6	37.9	13.8	20.7	13.8	13.7	34.5
	60歳～69歳	53	5.7	3.8	22.6	20.8	39.6	7.5	9.5	60.4
	70歳～79歳	57	1.8	8.8	26.3	21.1	17.5	24.6	10.6	38.6
	80歳以上	32	3.1	6.3	18.8	9.4	31.3	31.3	9.4	40.7
同居人	いない(ひとり住んでいる)	234	2.6	10.3	26.9	12.8	14.5	32.9	12.9	27.3
	日本人の配偶者・パートナー	131	3.1	12.2	36.6	14.5	19.1	14.5	15.3	33.6
	日本人以外の配偶者・パートナー	166	4.8	10.8	22.9	22.3	24.7	14.5	15.6	47.0
	子ども	194	2.1	10.3	27.8	21.6	23.7	14.4	12.4	45.3
	あなたの親	33	15.2	9.1	24.2	21.2	12.1	18.2	24.3	33.3
	配偶者・パートナーの親	39	5.1	17.9	33.3	15.4	12.8	15.4	23.0	28.2
	兄弟姉妹	23	13.0	4.3	30.4	13.0	26.1	13.0	17.3	39.1
	その他の親族	8	0	0	37.5	50.0	0	12.5	0	50.0
友人・知人	94	5.3	16.0	31.9	9.6	8.5	28.7	21.3	18.1	

※回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

■子どもの教育・進路

全体では、『困っている』は16.2%となっており、『困っていない』は34.0%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、フランス(33.3%)が最も高く、次いで、フィリピン(26.9%)、アメリカ(26.6%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、家族滞在(45.0%)が最も高く、次いで、高度専門職(25.0%)、経営・管理(22.2%)となっている。

年齢別にみると、『困っている』の割合は、30歳～39歳(24.4%)が最も高く、次いで、40歳～49歳(17.8%)、50歳～59歳(15.6%)となっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど『困っている』の割合が高く、②読む(ほとんど読むことができない)で31.2%となっている。

【図表 47 子どもの教育・進路(属性特徴)】

		n	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない	
全体		704	33	81	164	104	135	187	114	239	
		100	4.7	11.5	23.3	14.8	19.2	26.6	16.2	34.0	
国籍・地域	中国	182	4.4	17.0	19.2	19.2	16.5	23.6	21.4	35.7	
	韓国	146	2.1	4.1	19.2	12.3	36.3	26.0	6.2	48.6	
	ベトナム	75	2.7	13.3	38.7	6.7	9.3	29.3	16.0	16.0	
	ネパール	64	9.4	14.1	15.6	12.5	3.1	45.3	23.5	15.6	
	台湾	34	5.9	11.8	38.2	17.6	17.6	8.8	17.7	35.2	
	フィリピン	26	7.7	19.2	15.4	26.9	15.4	15.4	26.9	42.3	
	アメリカ	15	13.3	13.3	20.0	13.3	26.7	13.3	26.6	40.0	
	インドネシア	26	0	3.8	38.5	15.4	15.4	26.9	3.8	30.8	
	ミャンマー	23	17.4	8.7	21.7	4.3	17.4	30.4	26.1	21.7	
	フランス	9	11.1	22.2	22.2	11.1	33.3	0	33.3	44.4	
その他	99	3.0	9.1	23.2	17.2	18.2	29.3	12.1	35.4		
在留資格	留学(大学・大学院)	85	7.1	9.4	32.9	7.1	12.9	30.6	16.5	20.0	
	留学(日本語学校)	40	7.5	5.0	10.0	15.0	12.5	50.0	12.5	27.5	
	留学(専門学校、その他)	17	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	70.6	11.8	11.8	
	特別永住者	117	1.7	5.1	17.1	11.1	43.6	21.4	6.8	54.7	
	永住者	142	4.9	12.0	18.3	24.6	17.6	22.5	16.9	42.2	
	技術・人文知識・国際業務	69	2.9	17.4	34.8	7.2	17.4	20.3	20.3	24.6	
	家族滞在	40	17.5	27.5	20.0	12.5	10.0	12.5	45.0	22.5	
	技能実習	36	2.8	5.6	44.4	11.1	5.6	30.6	8.4	16.7	
	特定技能	35	0	2.9	31.4	8.6	11.4	45.7	2.9	20.0	
	日本人の配偶者等	41	4.9	14.6	26.8	29.3	17.1	7.3	19.5	46.4	
経営・管理	18	0	22.2	11.1	27.8	11.1	27.8	22.2	38.9		
高度専門職	12	0	25.0	25.0	0	25.0	25.0	25.0	25.0		
その他の資格	46	4.3	17.4	17.4	19.6	17.4	23.9	21.7	37.0		
年齢	18歳～19歳	11	0	9.1	27.3	9.1	0	54.5	9.1	9.1	
	20歳～29歳	215	4.7	8.4	27.4	6.5	13.0	40.0	13.1	19.5	
	30歳～39歳	188	3.7	20.7	31.4	13.3	14.4	16.5	24.4	27.7	
	40歳～49歳	101	6.9	10.9	17.8	33.7	18.8	11.9	17.8	52.5	
	50歳～59歳	77	6.5	9.1	16.9	27.3	22.1	18.2	15.6	49.4	
	60歳～69歳	41	9.8	4.9	14.6	12.2	43.9	14.6	14.7	56.1	
	70歳～79歳	44	0	6.8	9.1	9.1	36.4	38.6	6.8	45.5	
	80歳以上	23	0	0	0	0	43.5	56.5	0	43.5	
日本語能力	① 話す・聞く	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	233	3.0	6.9	20.6	17.2	34.3	18.0	9.9	51.5
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	192	4.2	15.6	29.2	19.8	13.0	18.2	19.8	32.8
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	164	7.3	15.9	29.3	14.0	14.6	18.9	23.2	28.6
	② 読む	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	34	14.7	11.8	23.5	8.8	8.8	32.4	26.5	17.6
		どんな内容の文章でも読むことができる	244	3.7	9.8	22.1	16.4	32.4	15.6	13.5	48.8
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	147	5.4	10.9	27.9	23.1	15.0	17.7	16.3	38.1
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	135	5.9	14.1	28.9	14.8	16.3	20.0	20.0	31.1
		ひらがな、カタカナの言葉をしつかり読むことができる	55	3.6	20.0	36.4	10.9	7.3	21.8	23.6	18.2
		ほとんど読むことができない	32	15.6	15.6	18.8	12.5	15.6	21.9	31.2	28.1
	③ 書く	複雑な内容の文章も書くことができる	181	3.9	8.8	23.2	16.6	33.1	14.4	12.7	49.7
		簡単な手紙や報告を書くことができる	193	2.6	9.8	26.9	18.1	21.2	21.2	12.4	39.3
		短いメールやメッセージを書くことができる	168	7.1	17.3	27.4	17.3	12.5	18.5	24.4	29.8
ほとんど書くことができない	72	11.1	15.3	27.8	13.9	12.5	19.4	26.4	26.4		

※ 回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■ 出産・子育て

全体では、『困っている』は11.6%となっており、『困っていない』は38.0%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ネパール(28.3%)が最も高く、次いで、ベトナム(21.3%)、アメリカ(20.0%)となっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、家族滞在(34.2%)が最も高く、次いで、技術・人文知識・国際業務(27.8%)となっている。

年齢別にみると、『困っている』の割合は、30歳～39歳(19.0%)が最も高く、次いで、20歳～29歳(13.1%)となっている。

日本語能力別では、日本語能力が低いほど『困っている』の割合が高く、①聞く・話す(ほとんど聞き取ることができない、話すことができない)、②読む(ほとんど読むことができない)でそれぞれ25.0%となっている。

【図表 48 出産・子育て(属性特徴)】

		n								(%)	
			とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない	
全体		698	20	61	160	108	157	192	81	265	
		100	2.9	8.7	22.9	15.5	22.5	27.5	11.6	38.0	
国籍・地域	中国	170	2.4	8.2	18.2	22.4	23.5	25.3	10.6	45.9	
	韓国	151	1.3	1.3	16.6	14.6	38.4	27.8	2.6	53.0	
	ベトナム	75	1.3	20.0	36.0	8.0	6.7	28.0	21.3	14.7	
	ネパール	60	10.0	18.3	11.7	10.0	1.7	48.3	28.3	11.7	
	台湾	35	0	14.3	37.1	17.1	22.9	8.6	14.3	40.0	
	フィリピン	26	0	19.2	19.2	19.2	23.1	19.2	19.2	42.3	
	アメリカ	15	6.7	13.3	6.7	13.3	46.7	13.3	20.0	60.0	
	インドネシア	26	3.8	3.8	34.6	11.5	19.2	26.9	7.6	30.7	
	ミャンマー	24	12.5	0	33.3	8.3	12.5	33.3	12.5	20.8	
	フランス	8	0	12.5	37.5	12.5	37.5	0	12.5	50.0	
その他		103	1.9	4.9	28.2	16.5	20.4	28.2	6.8	36.9	
在留資格	留学(大学・大学院)	84	4.8	7.1	32.1	10.7	13.1	32.1	11.9	23.8	
	留学(日本語学校)	37	5.4	8.1	13.5	13.5	2.7	56.8	13.5	16.2	
	留学(専門学校・その他)	15	0	6.7	6.7	6.7	0	80.0	6.7	6.7	
	特別永住者	120	1.7	1.7	15.0	10.8	47.5	23.3	3.4	58.3	
	永住者	138	2.2	2.9	18.8	23.2	27.5	25.4	5.1	50.7	
	技術・人文知識・国際業務	72	4.2	23.6	23.6	12.5	18.1	18.1	27.8	30.6	
	家族滞在	38	7.9	26.3	31.6	10.5	15.8	7.9	34.2	26.3	
	技能実習	36	2.8	5.6	47.2	11.1	5.6	27.8	8.4	16.7	
	特定技能	35	0	11.4	25.7	8.6	8.6	45.7	11.4	17.2	
	日本人の配偶者等	39	0	12.8	25.6	33.3	17.9	10.3	12.8	51.2	
	経営・管理	16	0	6.3	12.5	18.8	31.3	31.3	6.3	50.1	
	高度専門職	13	0	7.7	15.4	30.8	23.1	23.1	7.7	53.9	
その他の資格		49	4.1	10.2	24.5	16.3	22.4	22.4	14.3	38.7	
年齢	18歳～19歳	11	0	9.1	27.3	9.1	0	54.5	9.1	9.1	
	20歳～29歳	214	3.3	9.8	27.6	8.9	11.2	39.3	13.1	20.1	
	30歳～39歳	194	4.1	14.9	27.8	16.5	19.6	17.0	19.0	36.1	
	40歳～49歳	97	1.0	5.2	22.7	29.9	26.8	14.4	6.2	56.7	
	50歳～59歳	67	3.0	6.0	13.4	22.4	31.3	23.9	9.0	53.7	
	60歳～69歳	41	4.9	0	19.5	12.2	46.3	17.1	4.9	58.5	
	70歳～79歳	46	0	2.2	6.5	15.2	39.1	37.0	2.2	54.3	
	80歳以上	24	0	0	0	0	45.8	54.2	0	45.8	
日本語能力	① 話す・聞く	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	238	1.7	4.2	20.6	16.8	37.3	18.9	5.9	54.6
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	185	2.2	11.9	25.9	20.5	18.9	20.5	14.1	39.4
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	159	4.4	14.5	35.2	13.8	13.8	18.2	18.9	27.6
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	32	15.6	9.4	15.6	12.5	12.5	34.4	25.0	25.0
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	248	2.0	5.6	20.6	19.0	35.5	17.3	7.6	54.5
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	136	3.7	8.1	26.5	20.6	22.8	18.4	11.8	43.4
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	130	3.8	13.8	31.5	12.3	16.2	22.3	17.6	28.5
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	58	3.4	17.2	37.9	15.5	8.6	17.2	20.6	24.1
	③ 書く	ほとんど読むことができない	32	9.4	15.6	21.9	12.5	18.8	21.9	25.0	31.3
		複雑な内容の文章も書くことができる	185	2.2	3.8	22.7	18.9	36.2	16.2	6.0	55.1
		簡単な手紙や報告を書くことができる	183	1.6	7.1	25.7	19.1	24.0	22.4	8.7	43.1
		短いメールやメッセージを書くことができる	163	4.9	16.0	28.8	14.1	16.6	19.6	20.9	30.7
ほとんど書くことができない		74	6.8	16.2	28.4	16.2	14.9	17.6	23.0	31.1	

※回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

■家族間のトラブル(DV、離婚の手続きなど)

全体では、『困っている』は5.9%となっており、『困っていない』は45.2%となっている。

国籍・地域別にみると、『困っている』の割合は、ミャンマー(22.7%)が最も高くなっている。

在留資格別にみると、『困っている』の割合は、留学(大学・大学院)(11.3%)が最も高く、次いで、家族滞在(11.1%)、技能実習(10.8%)となっている。

【図表 49 家族間のトラブル(DV、離婚の手続きなど)(属性特徴)】

		n	(%)							
			とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	無回答	困っている	困っていない
全体		639	18	20	125	75	214	187	38	289
		100	2.8	3.1	19.6	11.7	33.5	29.3	5.9	45.2
国籍・地域	中国	162	1.9	1.9	13.6	15.4	38.9	28.4	3.8	54.3
	韓国	150	0.7	0.7	10.0	10.0	52.7	26.0	1.4	62.7
	バトナム	61	0	4.9	37.7	13.1	8.2	36.1	4.9	21.3
	ネパール	59	5.1	10.2	13.6	8.5	15.3	47.5	15.3	23.8
	台湾	31	3.2	0	32.3	16.1	38.7	9.7	3.2	54.8
	フィリピン	20	5.0	10.0	25.0	15.0	25.0	20.0	15.0	40.0
	アメリカ	11	0	9.1	27.3	0	45.5	18.2	9.1	45.5
	インドネシア	26	0	7.7	26.9	19.2	19.2	26.9	7.7	38.4
	ミャンマー	22	22.7	0	27.3	9.1	9.1	31.8	22.7	18.2
	フランス	5	20.0	0	20.0	20.0	40.0	0	20.0	60.0
	その他	88	3.4	2.3	27.3	5.7	30.7	30.7	5.7	36.4
在留資格	留学(大学・大学院)	80	7.5	3.8	30.0	5.0	21.3	32.5	11.3	26.3
	留学(日本語学校)	39	5.1	5.1	17.9	10.3	10.3	51.3	10.2	20.6
	留学(専門学校、その他)	16	0	6.3	6.3	0	12.5	75.0	6.3	12.5
	特別永住者	128	1.6	0.8	11.7	7.8	59.4	18.8	2.4	67.2
	永住者	116	1.7	0.9	12.9	15.5	39.7	29.3	2.6	55.2
	技術・人文知識・国際業務	65	1.5	7.7	27.7	12.3	27.7	23.1	9.2	40.0
	家族滞在	27	3.7	7.4	11.1	22.2	44.4	11.1	11.1	66.6
	技能実習	37	2.7	8.1	43.2	10.8	5.4	29.7	10.8	16.2
	特定技能	34	0	0	29.4	8.8	11.8	50.0	0	20.6
	日本人の配偶者等	28	0	3.6	10.7	28.6	50.0	7.1	3.6	78.6
	経営・管理	14	7.1	0	7.1	7.1	35.7	42.9	7.1	42.8
	高度専門職	12	0	0	16.7	33.3	25.0	25.0	0	58.3
その他の資格	37	2.7	2.7	24.3	10.8	29.7	29.7	5.4	40.5	
年齢	18歳～19歳	10	0	10.0	40.0	0	0	50.0	10.0	0
	20歳～29歳	211	3.3	4.7	27.0	8.1	16.1	40.8	8.0	24.2
	30歳～39歳	157	4.5	3.8	21.7	14.0	34.4	21.7	8.3	48.4
	40歳～49歳	77	5.2	0	14.3	18.2	46.8	15.6	5.2	65.0
	50歳～59歳	70	0	2.9	15.7	17.1	44.3	20.0	2.9	61.4
	60歳～69歳	39	0	2.6	10.3	12.8	56.4	17.9	2.6	69.2
	70歳～79歳	46	0	0	6.5	4.3	54.3	34.8	0	58.6
	80歳以上	26	0	0	3.8	7.7	46.2	42.3	0	53.9
同居人	いない(ひとりですんでいる)	218	2.8	2.8	24.8	6.9	24.3	38.5	5.6	31.2
	日本人の配偶者・パートナー	115	1.7	2.6	14.8	16.5	47.8	16.5	4.3	64.3
	日本人以外の配偶者・パートナー	132	1.5	2.3	12.1	14.4	50.0	19.7	3.8	64.4
	子ども	156	1.9	0.6	6.4	19.2	51.9	19.9	2.5	71.1
	あなたの親	25	4.0	4.0	16.0	16.0	32.0	28.0	8.0	48.0
	配偶者・パートナーの親	25	4.0	0	24.0	0	44.0	28.0	4.0	44.0
	兄弟姉妹	15	6.7	0	20.0	6.7	46.7	20.0	6.7	53.4
	その他の親族	8	0	0	12.5	37.5	37.5	12.5	0	75.0
	友人・知人	86	7.0	8.1	30.2	10.5	10.5	33.7	15.1	21.0

※回答者の困りごとの程度を把握しやすくするため、選択肢「経験していない・自分に関係ない」はクロス集計から除外した。そのため、P31に掲載しているグラフと数値が一致していない。

〔4〕差別の経験(複数回答)

差別の経験は、『何らかの差別を受けることがある』(全回答者から「今、差別を感じることはほとんどない」と「無回答」を除く)が55.0%となっている。

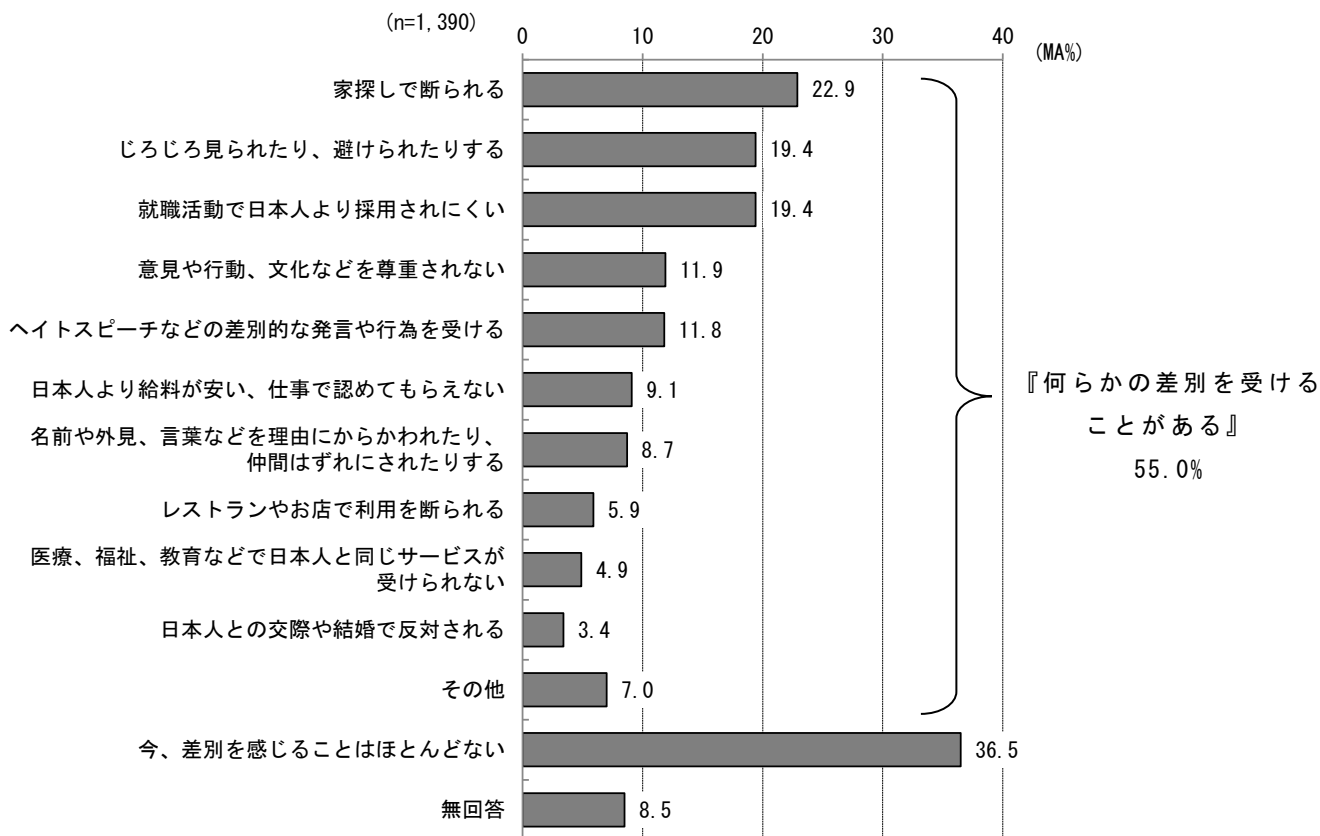
具体的な差別の内容は、「家探しで断られる」(22.9%)が最も多く、次いで、「じろじろ見られたり、避けられたりする」、「就職活動で日本人より採用されにくい」(それぞれ19.4%)となっている。一方、「今、差別を感じることはほとんどない」は36.5%となっている。

国籍・地域別にみると、『何らかの差別を受けることがある』の割合は、フランス(66.7%)、が最も高く、次いで、アメリカ(66.6%)、台湾(66.2%)となっており、フランス、アメリカでは「じろじろ見られたり、避けられたりする」、台湾では「家探しで断られる」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

在留資格別にみると、『何らかの差別を受けることがある』の割合は、高度専門職(74.1%)、技術・人文知識・国際業務(73.8%)が高くなっており、いずれも「家探しで断られる」の割合が最も高くなっている。

年齢別にみると、『何らかの差別を受けることがある』の割合は、30歳～39歳(67.7%)が最も高くなっており、特に「家探しで断られる」(36.5%)が最も高くなっている。

【図表 50 差別の経験】



【図表 51 差別の経験(属性特徴)】

	n	家探して断られる	じろじろ見られたり、避けられたりする	就職活動で日本人より採用されにくい	意見や行動、文化などを尊重されない	発言や行為を受ける	ハイトスピーチなどの差別的な発言	日本人より給料が安い、仕事で認めてもらえない	名前や外見、言葉などを理由にされたりする	断られる	医療、福祉、教育などで日本人と同じサービスが受けられない	日本人との交際や結婚で反対される	その他	今、差別を感じることはほとんどない	無回答	何らかの差別を受けることがある
全体	1,390	319	270	270	165	164	126	121	82	68	47	97	507	118	765	
	100	22.9	19.4	19.4	11.9	11.8	9.1	8.7	5.9	4.9	3.4	7.0	36.5	8.5	55.0	
国籍・地域	中国	373	31.4	18.0	22.8	16.4	15.8	7.2	9.4	5.4	4.6	1.3	5.1	34.6	5.6	59.8
	韓国	256	14.5	5.1	14.5	5.5	13.3	3.9	6.6	0.8	2.0	10.5	6.3	53.1	10.9	36.0
	ベトナム	131	18.3	16.8	21.4	14.5	7.2	12.2	3.8	4.6	1.5	0.8	3.8	46.6	5.3	48.1
	ネパール	93	22.6	15.1	25.8	7.5	5.4	5.4	9.7	2.2	4.3	1.1	9.7	24.7	17.2	58.1
	台湾	77	39.0	15.6	19.5	14.3	10.4	6.5	13.0	10.4	3.9	0	11.7	29.9	3.9	66.2
	フィリピン	58	12.1	15.5	17.2	8.6	15.5	22.4	8.6	3.4	10.3	3.4	12.1	19.0	20.7	60.3
	アメリカ	48	18.8	52.1	14.6	10.4	6.3	8.3	12.5	18.8	10.4	0	18.8	31.3	2.1	66.6
	インドネシア	42	28.6	11.9	9.5	9.5	2.4	11.9	0	2.4	2.4	2.4	4.8	28.6	14.3	57.1
	ミャンマー	35	8.6	25.7	14.3	11.4	5.7	20.0	14.3	2.9	0	0	8.6	40.0	2.9	57.1
	フランス	27	22.2	48.1	22.2	3.7	22.2	11.1	7.4	14.8	11.1	0	3.7	25.9	7.4	66.7
	その他	244	21.7	33.2	19.7	13.5	9.8	12.7	11.1	11.1	9.0	3.7	6.6	29.9	8.2	61.9
在留資格	留学(大学・大学院)	271	34.7	21.4	21.0	13.3	9.6	3.3	7.0	6.3	5.2	0.7	5.2	31.4	7.0	61.6
	留学(日本語学校)	82	7.3	18.3	20.7	3.7	7.3	4.9	7.3	7.3	1.2	0	13.4	31.7	12.2	56.1
	留学(専門学校、その他)	28	17.9	21.4	21.4	14.3	7.1	14.3	21.4	7.1	10.7	3.6	10.7	21.4	14.3	64.3
	永住者	202	15.8	16.3	19.8	16.8	17.8	10.4	12.4	5.4	7.4	3.5	6.4	43.6	6.4	50.0
	特別永住者	197	9.6	4.6	11.2	4.1	15.7	3.0	5.6	0.5	3.6	13.2	7.1	52.3	12.7	35.0
	技術・人文知識・国際業務	168	47.0	25.0	32.1	16.7	13.1	18.5	10.7	11.3	6.0	0.6	6.0	21.4	4.8	73.8
	技能実習	70	4.3	15.7	5.7	8.6	5.7	11.4	8.6	4.3	1.4	1.4	2.9	47.1	15.7	37.2
	特定技能	70	4.3	18.6	11.4	7.1	10.0	14.3	4.3	4.3	2.9	0	5.7	45.7	11.4	42.9
	日本人の配偶者等	65	15.4	33.8	20.0	15.4	6.2	15.4	9.2	7.7	4.6	3.1	9.2	33.8	3.1	63.1
	家族滞在	64	26.6	26.6	20.3	10.9	6.3	9.4	9.4	4.7	6.3	0	6.3	34.4	7.8	57.8
	高度専門職	27	44.4	25.9	18.5	18.5	14.8	3.7	18.5	7.4	3.7	3.7	11.1	25.9	0	74.1
	経営・管理	25	20.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	0	12.0	0	0	12.0	40.0	16.0	44.0
	その他の資格	111	29.7	31.5	24.3	14.4	13.5	12.6	9.0	6.3	6.3	4.5	8.1	28.8	6.3	64.9
年齢	18歳～19歳	27	11.1	14.8	14.8	7.4	7.4	0	7.4	3.7	3.7	3.7	14.8	29.6	14.8	55.6
	20歳～29歳	516	21.7	22.1	20.0	10.5	8.5	8.5	8.3	6.2	3.9	0.8	6.4	36.0	8.9	55.1
	30歳～39歳	359	36.5	24.0	25.3	17.3	14.5	11.7	11.1	8.1	6.1	2.8	7.0	25.1	7.2	67.7
	40歳～49歳	159	23.3	17.6	15.7	10.7	15.1	10.1	7.5	7.5	4.4	1.9	6.9	39.0	6.9	54.1
	50歳～59歳	121	13.2	10.7	15.7	9.1	12.4	10.7	8.3	4.1	7.4	7.4	10.7	40.5	8.3	51.2
	60歳～69歳	82	13.4	11.0	13.4	8.5	12.2	6.1	4.9	0	4.9	12.2	9.8	53.7	1.2	45.1
	70歳～79歳	81	8.6	16.0	13.6	11.1	14.8	6.2	8.6	3.7	4.9	8.6	2.5	51.9	12.3	35.8
	80歳以上	39	2.6	5.1	12.8	2.6	10.3	0	2.6	0	2.6	7.7	2.6	61.5	20.5	18.0

〔5〕困ったときの相談先(複数回答)

困ったときの相談先は、「家族」(60.8%)が最も多く、次いで、「母国出身の友人・知人」(41.2%)、「日本人の友人・知人(母国出身でない)」(28.8%)となっている。

国籍・地域別にみると、フランス、アメリカ、韓国では、他の国籍・地域の傾向と異なり、「日本人の友人・知人(母国出身でない)」が「母国出身の友人・知人」を上回っている。

在留資格別にみると、留学(専門学校、その他)は「相談する相手がない」(21.4%)が他の在留資格と比べ、高くなっている。

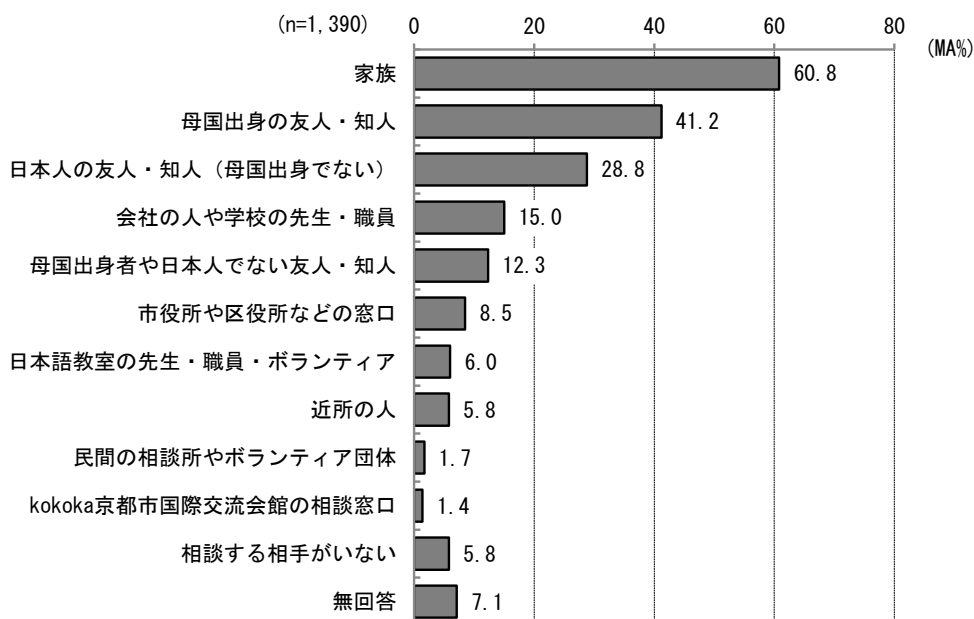
年齢別にみると、50歳以上では「日本人の友人・知人(母国出身でない)」の割合が「母国出身の友人・知人」を上回っている。また、80歳以上は「市役所や区役所などの窓口」(30.8%)が他の年代と比べ、高くなっている。

京都市在住期間別にみると、10年以上では、いずれも「日本人の友人・知人(母国出身でない)」の割合が「母国出身の友人・知人」を上回っている。

日本語能力別にみると、日本語能力が高いほど、「日本人の友人・知人(母国出身でない)」の割合が高くなっている。

地域での交流別にみると、「親しく交流をする人がいる」、「個人的な話をする」といった、地域で一定の交流関係がある人について、「日本人の友人・知人(母国出身でない)」の割合が「母国出身の友人・知人」を上回っている。

【図表 52 困ったときの相談先】



【図表 53 困ったときの相談先(属性特徴)】

		n	家族	知人 母国出身の友人・	日本人の友人・ (母国出身)	日本人の友人・ 母国出身でない	友人・知人	母国出身者や 日本人でない	市役所や区役所 などの窓口	先生・職員・ア ラウンディング	日本語教室の 近所の人	民間の相談所や ボランティア団体	会館の相談窓口	k o k o k a 京都国際交流	相談する相手が いない	無回答
全体		1,390	845	572	400	209	171	118	84	80	23	20	1.4	80	99	
		100	60.3	41.2	28.8	15.0	12.3	8.5	6.0	5.8	1.7	1.4	0.3	5.8	7.1	
国籍・地域	中国	373	60.6	56.0	26.0	13.9	9.9	5.6	5.6	5.6	1.1	0.3	0.3	5.9	5.1	
	韓国	256	64.3	42.1	27.7	9.4	5.5	14.5	1.2	6.6	3.5	0	0	7.0	8.6	
	バトナム	131	57.3	45.0	16.0	18.3	6.1	6.9	3.8	1.5	1.5	3.1	0	8.4	7.6	
	ネパール	93	43.0	40.9	15.1	6.5	6.5	8.6	15.1	4.3	2.2	1.1	4.3	11.8		
	台湾	77	58.4	46.8	42.9	20.8	22.1	6.5	11.7	6.5	0	1.3	2.6	5.2	5.2	
	フィリピン	58	60.3	50.0	31.0	13.8	20.7	6.9	8.6	6.9	3.4	3.4	5.2	10.3		
	アメリカ	48	81.3	43.8	58.3	25.0	27.1	14.6	10.4	12.5	0	6.3	0	4.2		
	インドネシア	42	52.4	47.6	23.8	21.4	21.4	0	16.7	0	0	2.4	4.8	4.8		
	ミャンマー	35	77.4	40.0	11.4	11.4	2.9	0	2.9	2.9	0	0	11.4	2.9		
	フランス	27	63.0	29.6	59.3	25.9	25.9	18.5	7.4	3.7	0	3.7	11.1	3.7		
その他	244	63.1	41.0	35.7	19.3	19.3	8.6	4.9	7.8	1.6	2.5	4.5	8.2			
在留資格	留学(大学・大学院)	271	51.7	66.1	29.9	18.5	20.3	4.1	8.5	2.6	1.1	0.4	5.2	7.4		
	留学(日本語学校)	82	58.5	47.6	12.2	14.6	12.2	6.1	32.9	2.4	0	0	3.7	12.2		
	留学(専門学校、その他)	28	39.3	17.9	14.3	10.7	7.1	3.6	14.3	0	0	3.6	21.4	10.7		
	永住者	202	73.3	30.2	37.6	8.4	6.9	12.4	2.5	12.4	3.0	2.5	5.4	4.5		
	特別永住者	197	67.0	11.2	24.9	5.6	5.1	14.2	0.5	6.1	3.6	0	8.1	8.1		
	技術・人文知識・国際業務	168	53.6	49.4	43.5	31.0	18.5	10.1	5.4	4.8	0.6	2.4	5.4	5.4		
	技能実習	70	51.4	40.0	11.4	11.4	7.1	5.7	5.7	1.4	0	1.4	8.6	10.0		
	特定技能	70	57.1	41.4	22.9	22.9	10.0	1.4	1.4	1.4	4.3	1.4	4.3	5.7		
	日本人の配偶者等	65	83.1	30.8	27.7	13.8	15.4	7.7	1.5	12.3	1.5	1.5	3.1	3.1		
	家族滞在	64	63.3	46.9	18.8	7.8	10.9	6.3	1.6	7.8	1.6	1.6	7.8	9.4		
	高度専門職	27	66.7	40.7	25.9	22.2	11.1	14.8	3.7	7.7	0	0	7.4	7.4		
経営・管理	25	40.0	36.0	32.0	0	12.0	12.0	12.0	12.0	4.0	4.0	4.0	12.0			
その他の資格	111	60.4	47.7	32.4	17.1	11.7	8.1	2.7	5.4	0	3.6	1.8	6.3			
年齢	18歳～19歳	27	70.4	44.4	33.3	11.1	22.2	3.7	11.1	0	3.7	0	3.7	11.1		
	20歳～29歳	516	56.0	53.7	23.3	16.9	15.1	4.3	9.1	2.5	1.0	0.8	5.4	8.7		
	30歳～39歳	359	59.6	46.0	33.1	21.7	13.4	5.8	5.8	5.8	0.8	1.7	6.1	5.8		
	40歳～49歳	159	64.2	38.0	38.4	13.8	10.7	17.0	4.4	8.4	0.6	1.9	6.3	6.3		
	50歳～59歳	121	66.2	23.3	31.4	8.3	9.9	12.4	2.5	8.3	2.5	1.7	7.4	5.8		
	60歳～69歳	82	67.1	19.5	32.9	6.1	7.3	12.2	3.7	12.2	7.3	2.4	3.7	3.7		
	70歳～79歳	81	74.1	13.6	28.4	3.7	3.7	12.3	0	9.9	2.5	3.7	7.4	4.9		
	80歳以上	39	59.0	2.6	7.7	0	2.6	30.8	0	7.7	5.1	0	0	7.7		
京都市在住期間	6か月未満	172	59.3	55.8	23.8	14.5	12.8	4.1	18.0	2.9	1.2	0.6	5.2	5.8		
	6か月以上～1年未満	131	51.9	55.0	16.8	15.3	13.0	6.1	5.3	4.6	2.3	0	6.1	9.2		
	1年以上～2年未満	226	52.2	42.9	23.9	16.8	16.8	4.4	10.2	3.5	0.9	1.8	5.8	12.8		
	2年以上～3年未満	148	58.3	50.7	29.1	12.8	14.2	9.5	6.8	2.7	1.4	2.7	4.7	6.1		
	3年以上～5年未満	135	62.2	54.8	36.3	22.2	20.0	8.1	3.0	5.9	0.7	2.2	10.4	2.2		
	5年以上～10年未満	162	64.3	46.3	37.7	25.9	7.4	6.8	1.9	6.2	0	1.9	5.6	3.7		
	10年以上～20年未満	117	65.0	31.6	40.2	13.7	12.0	12.0	3.4	10.3	1.7	1.7	1.7	6.8		
	20年以上～30年未満	61	73.8	21.3	26.2	11.5	11.5	18.0	1.6	13.1	6.6	1.6	1.6	8.2		
30年以上	228	67.5	12.7	28.1	4.8	4.8	13.6	0.4	8.3	3.1	0.9	7.5	6.6			
日本語能力	① 話聞く	436	68.1	27.5	39.4	15.8	10.3	12.6	2.5	7.3	2.8	0.7	6.9	3.0		
	② 読む	440	62.5	52.5	32.5	16.1	16.6	8.4	7.3	5.9	1.6	1.4	5.0	0.9		
	③ 書く	356	64.0	51.1	21.1	16.6	12.9	5.6	11.0	4.8	0.6	2.5	5.9	2.0		
	① 話聞く	64	50.0	53.1	12.5	10.9	10.9	7.8	1.6	6.3	3.1	3.1	6.3	4.7		
	② 読む	506	65.0	36.0	39.5	15.4	12.6	10.7	4.0	5.9	2.2	0	6.3	2.4		
	③ 書く	337	66.8	53.1	30.0	17.2	14.2	8.9	8.0	7.7	1.2	1.8	5.6	0.9		
	① 話聞く	282	62.4	47.5	27.0	17.4	14.5	7.1	9.9	4.6	1.4	3.2	4.6	1.8		
	② 読む	99	65.7	44.4	12.1	14.1	14.1	8.1	5.1	7.1	2.0	2.0	10.1	2.0		
	③ 書く	58	53.4	46.6	15.5	8.6	5.2	8.6	1.7	5.2	1.7	3.4	3.4	3.4		
	④ 地域での交流	378	69.3	31.0	40.2	15.1	10.1	11.4	2.1	6.1	2.4	0.3	6.1	2.4		
⑤ 地域での交流	389	62.2	54.8	32.4	14.7	15.4	10.3	9.8	7.2	2.1	0.5	5.4	1.5			
⑥ 地域での交流	356	62.9	46.1	23.9	16.9	14.0	4.2	7.9	4.5	1.1	3.4	5.6	1.4			
⑦ 地域での交流	159	61.0	45.3	22.0	18.9	13.8	11.9	5.0	7.5	0.6	2.5	7.5	2.5			
地域での交流	親しく交流する人がいる	258	70.2	25.6	44.6	12.0	12.0	14.0	2.3	13.6	2.7	2.7	4.3	3.1		
	個人的な話をする人がいる	233	66.1	37.3	47.6	18.0	15.5	16.3	6.0	15.5	4.3	2.6	3.0	2.1		
	挨拶をする人がいる	590	68.6	40.5	35.4	17.3	12.9	11.7	5.8	9.0	2.7	2.0	4.9	1.2		
	地域(近所)での日本人との付き合いはない	459	56.6	54.9	23.7	16.6	13.9	4.6	7.6	1.5	0.9	1.1	8.1	2.2		

〔6〕京都市または日本での定住意向(単一回答)

京都市または日本での定住意向は、「京都市に住み続けたい」は48.3%となっており、「京都市に住み続けたい」と「日本には住み続けたいが、京都市からは引っ越したい」、「日本には住み続けたいが、京都市に住み続けるかわからない」を合わせた『日本に住み続けたい』は72.9%となっている。

また、「日本には住み続けたいが、京都市からは引っ越したい」と「日本には住み続けたいが、京都市に住み続けるかわからない」を合わせた『日本に住み続けたいが、京都市からは引っ越したい、または住み続けるか不明』は24.6%となっている。

国籍別・地域別にみると、「京都市に住み続けたい」の割合は、韓国(69.5%)が最も高く、次いで、アメリカ(58.3%)、ベトナム(58.0%)となっている。一方、ネパール(26.9%)、中国(39.7%)で低くなっている。

在留資格別にみると、「京都市に住み続けたい」の割合は、特別永住者(74.6%)が最も高く、次いで、高度専門職(70.4%)、経営・管理(68.0%)となっている。一方、最も低いのは、留学(大学・大学院)(20.3%)となっており、次いで、留学(専門学校、その他)(32.1%)となっている。

居住地域別にみると、「京都市に住み続けたい」の割合は、南区(56.4%)が最も高く、次いで、西京区(54.5%)、山科区(53.1%)となっている。一方、最も低いのは、上京区(32.2%)となっており、次いで、左京区(41.4%)となっている。

年齢別にみると、年齢が高いほど「京都市に住み続けたい」の割合が高く、80歳以上で92.3%となっている。

京都市在住期間別にみると、在住期間が長いほど「京都市に住み続けたい」の割合が高く、30年以上で78.5%となっている。

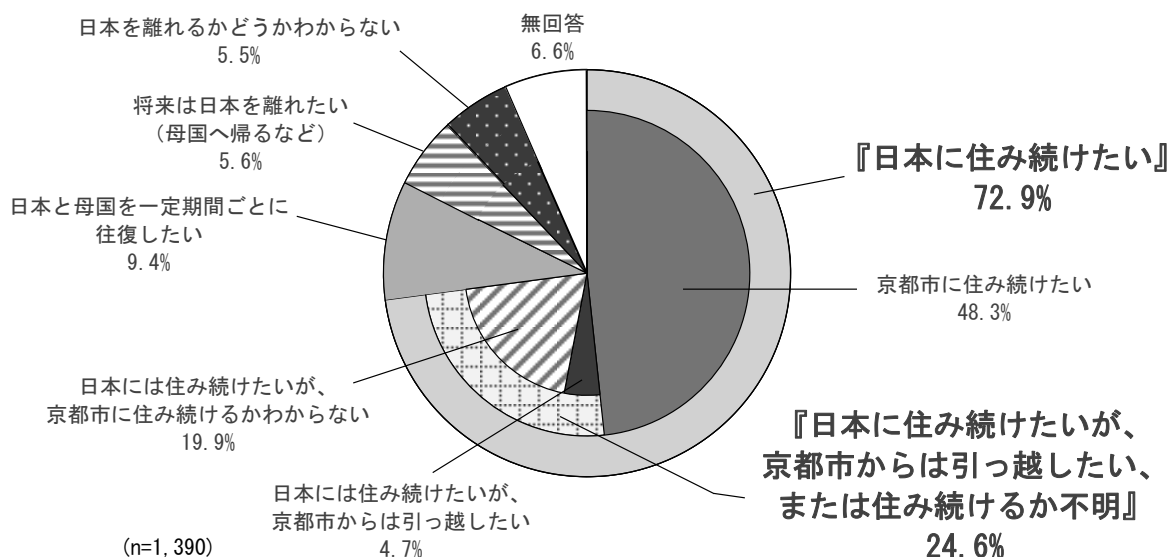
満足度別にみると、満足度が高いほど「京都市に住み続けたい」の割合は高く、とても満足で64.4%となっている。

日本語能力別にみると、①聞く・話すで日本語能力が高いほど「京都市に住み続けたい」の割合が高く、①聞く・話す(どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる)で62.6%となっている。

地域での交流別にみると、地域でのつながりが強い人ほど「京都市に住み続けたい」の割合が高くなっている。

就労形態別にみると、「京都市に住み続けたい」の割合は、自営業(家族従業者、自由業、個人事業主)で65.4%が最も高くなっている。

【図表 54 京都市または日本での定住意向】



【図表 55 京都市または日本での定住意向(属性特徴)】

		n	京都市に住み続けたい	日本には住み続けたいが、京都市からは引越したい	日本には住み続けたいが、京都市には住み続けたいが、引越したい	日本には住み続けたいが、京都市には住み続けたいが、引越したい	日本と母国を一定期間ごとに往復したい	将来は日本を離れたい(母国へ帰るなど)	日本を離れるかどうか	無回答	日本に住み続けたい	日本に住み続けたいが、京都市からは引越したいが、不明	(%)
全体		1,390	671	66	276	131	78	76	92	1,013	342	24.6	
国籍・地域	中国	373	39.7	7.8	23.6	10.5	6.2	6.7	5.6	71.1	31.4		
	韓国	256	69.5	3.9	14.1	2.0	2.0	1.2	7.4	87.5	18.0		
	バトナム	131	53.0	0.8	13.7	16.0	2.3	3.1	6.1	72.5	14.5		
	ネパール	93	26.9	5.4	23.7	23.7	3.2	8.6	8.6	56.0	29.1		
	台湾	77	44.2	2.6	29.9	9.1	5.2	5.2	3.9	76.7	32.5		
	フィリピン	58	43.1	1.7	22.4	10.3	6.9	3.4	12.1	67.2	24.1		
	アメリカ	48	58.3	0	20.8	8.3	2.1	6.3	4.2	79.1	20.8		
	インドネシア	42	45.2	11.9	4.8	7.1	16.7	7.1	7.1	61.9	16.7		
	ミャンマー	35	5.4	8.6	25.7	2.9	2.9	2.9	5.7	85.7	34.3		
	フランス	27	55.6	0	14.8	0	11.1	14.8	3.7	70.4	14.8		
	その他	244	41.0	4.1	20.9	9.4	9.8	7.8	7.0	66.0	25.0		
在留資格	留学(大学・大学院)	271	20.3	8.9	27.3	12.9	14.8	8.9	7.0	56.5	36.2		
	留学(日本語学校)	82	40.2	6.1	31.7	3.7	2.4	4.9	11.0	78.0	37.8		
	留学(専門学校、その他)	28	32.1	10.7	17.9	17.9	7.1	3.6	10.7	60.7	28.6		
	永住者	202	61.9	2.5	13.9	9.4	1.0	6.4	5.0	78.3	16.4		
	特別永住者	197	74.6	3.6	12.2	0.5	0	1.5	7.6	90.4	15.8		
	技術・人文知識・国際業務	168	49.4	6.0	26.8	4.8	1.8	5.4	6.0	82.2	32.8		
	技能実習	70	44.3	5.7	20.0	14.3	4.3	4.3	7.1	70.0	25.7		
	特定技能	70	44.3	2.9	12.9	18.6	7.1	7.1	7.1	60.1	15.8		
	日本人の配偶者等	65	46.2	1.5	32.3	10.8	3.1	3.1	3.1	80.0	33.8		
	家族滞在	64	50.0	1.6	10.9	12.5	12.5	6.3	6.3	62.5	12.5		
	高度専門職	27	70.4	0	11.1	11.1	0	3.7	3.7	81.5	11.1		
経営・管理	25	68.0	0	8.0	16.0	0	0	8.0	76.0	8.0			
その他の資格	111	45.0	3.6	16.2	13.5	9.9	6.3	5.4	64.8	19.8			
居住地域	北区	106	51.9	2.8	13.2	11.3	5.7	7.5	7.5	67.9	16.0		
	上京区	115	32.2	6.1	23.5	8.7	7.8	10.4	11.3	61.8	29.6		
	左京区	232	41.4	6.5	18.5	9.5	13.4	7.3	3.4	66.4	25.0		
	中京区	97	51.5	4.1	20.6	8.2	3.1	7.2	5.2	76.2	24.7		
	東山区	47	42.6	4.3	12.8	6.4	17.0	8.5	8.5	59.7	17.1		
	山科区	64	53.1	1.6	18.8	9.4	1.6	6.3	9.4	73.5	20.4		
	下京区	98	49.0	4.1	27.6	6.1	2.0	5.1	6.1	80.7	31.7		
	南区	149	56.4	3.4	17.4	9.4	2.0	2.0	9.4	77.2	20.8		
	右京区	159	52.2	7.5	22.0	8.2	3.1	1.9	5.0	81.7	29.5		
	西京区	66	54.5	3.0	18.2	13.6	1.5	3.0	6.1	75.7	21.2		
	伏見区	246	50.0	4.5	21.5	10.2	3.7	4.5	5.7	76.0	26.0		
年齢	18歳～19歳	27	29.6	7.4	25.9	3.7	11.1	11.1	11.1	62.9	33.3		
	20歳～29歳	516	32.2	7.4	26.4	10.1	9.1	7.6	7.4	66.0	33.8		
	30歳～39歳	359	47.1	4.5	21.7	11.4	5.8	3.6	5.8	73.3	26.2		
	40歳～49歳	159	54.1	3.1	16.4	10.1	0.6	8.2	7.5	73.6	19.5		
	50歳～59歳	121	66.9	0.8	10.7	9.9	2.5	2.5	6.6	78.4	11.5		
	60歳～69歳	82	65.9	3.7	14.6	7.3	2.4	2.4	3.7	84.2	18.3		
	70歳～79歳	81	82.7	0	4.9	2.5	1.2	2.5	6.2	87.6	4.9		
	80歳以上	39	92.3	2.6	0	0	0	2.6	2.6	94.9	2.6		
	京都市在住期間	6か月未満	172	33.1	2.9	22.7	13.4	12.8	8.7	6.4	58.7	25.6	
6か月以上～1年未満		131	33.6	3.8	21.4	11.5	11.5	8.4	9.9	58.8	25.2		
1年以上～2年未満		226	31.9	7.5	31.9	8.0	5.3	6.2	9.3	71.3	39.4		
2年以上～3年未満		148	38.5	7.4	22.3	18.2	2.7	5.4	5.4	68.2	29.7		
3年以上～5年未満		135	41.5	10.4	25.2	5.2	11.1	4.4	2.2	77.1	35.6		
5年以上～10年未満		162	51.9	4.9	17.9	11.7	5.6	4.3	3.7	74.7	22.8		
10年以上～20年未満		117	59.0	0	13.7	12.0	0	7.7	7.7	72.7	13.7		
20年以上～30年未満		61	75.4	1.6	8.2	1.6	0	3.3	9.8	85.2	9.8		
30年以上		228	78.5	2.2	8.3	3.1	0.4	1.8	5.7	89.0	10.5		
満足度	とても満足	306	64.4	2.6	12.4	7.5	3.6	2.9	6.5	79.4	15.0		
	満足	755	47.5	4.1	20.9	9.9	6.6	5.3	5.6	72.5	25.0		
	どちらでもない	263	33.5	6.1	27.4	9.9	5.3	7.6	10.3	67.0	33.5		
	不満	41	29.3	17.1	17.1	9.8	7.3	14.6	4.9	63.5	34.2		
とても不満	5	20.0	60.0	20.0	0	0	0	0	100.0	80.0			
日本語能力	① 話聞く	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	436	62.6	6.7	20.0	5.5	1.6	3.0	0.7	89.3	26.7	
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	440	45.5	4.8	24.3	10.2	6.4	1.7	1.1	74.6	29.1	
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	356	44.4	3.7	19.9	13.5	9.3	7.9	1.4	68.0	23.6	
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	64	43.8	4.7	15.6	21.9	10.9	1.6	1.6	64.1	20.3	
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	506	56.5	6.9	22.1	6.5	2.8	4.3	0.8	85.5	29.0	
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	337	46.3	4.2	23.7	9.5	8.3	6.8	1.2	74.2	27.9	
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	282	47.2	3.9	18.4	14.2	7.8	8.2	0.4	69.5	22.3	
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	99	53.5	2.0	21.2	13.1	4.0	3.0	3.0	76.7	23.2	
	③ 書く	ほとんど読むことができない	58	43.1	3.4	15.5	17.2	12.1	6.9	1.7	62.0	18.9	
		複雑な内容の文章も書くことができる	378	59.3	6.3	22.2	6.1	2.4	2.6	1.1	87.8	28.5	
		簡単な手紙や報告を書くことができる	389	48.8	5.4	22.9	9.0	5.9	7.2	0.8	77.1	28.3	
短いメールやメッセージを書くことができる	356	45.8	3.4	20.8	14.0	7.3	7.6	1.1	70.0	24.2			
ほとんど書くことができない	159	47.8	4.4	17.0	11.9	10.7	6.3	1.9	69.2	21.4			
地域での	親しく交流する人がいる	258	68.6	3.5	14.7	7.4	2.7	1.6	1.6	86.8	18.2		
	個人的な話をする人がいる	233	65.2	2.6	15.9	7.3	2.1	4.7	2.1	83.7	18.5		
	挨拶をする人がいる	590	56.9	3.9	17.3	10.5	3.6	5.9	1.9	78.1	21.2		
	地域(近所)での日本人との付き合いはない	459	37.3	7.6	27.9	11.8	9.2	6.3	0	72.8	35.5		
就労形態	正社員(経営者を含む)	359	58.5	4.5	20.3	7.0	2.8	5.6	1.4	83.3	24.8		
	派遣社員、契約社員	171	44.4	5.8	21.6	17.0	3.5	5.3	2.3	71.8	27.4		
	自営業(家族従業者、自由業、個人事業主)	107	65.4	4.7	12.1	8.4	2.8	6.5	0	82.2	16.8		
	アルバイト・パート、内職	236	41.1	7.2	28.4	9.7	7.6	3.4	2.5	76.7	35.6		
	仕事をしていない(仕事を探している)	131	35.9	6.1	29.8	12.2	6.1	9.2	0.8	71.8	35.9		
	仕事をしていない(仕事を探していない)	207	50.7	3.9	15.0	9.7	13.5	6.8	0.5	69.6	18.9		

〔7〕京都市からの転出理由(単一回答)

「日本には住み続けたいが、京都市からは引っ越したい、または住み続けるか不明」と回答した人に、京都市からの転出及び、住み続けるかわからない理由をたずねたところ、「就きたい仕事や働く場所がないため」(26.6%)が最も多く、次いで、「家を見つけることが難しいため」(14.9%)、「家族のその他の理由での移動のため」(9.4%)となっている。

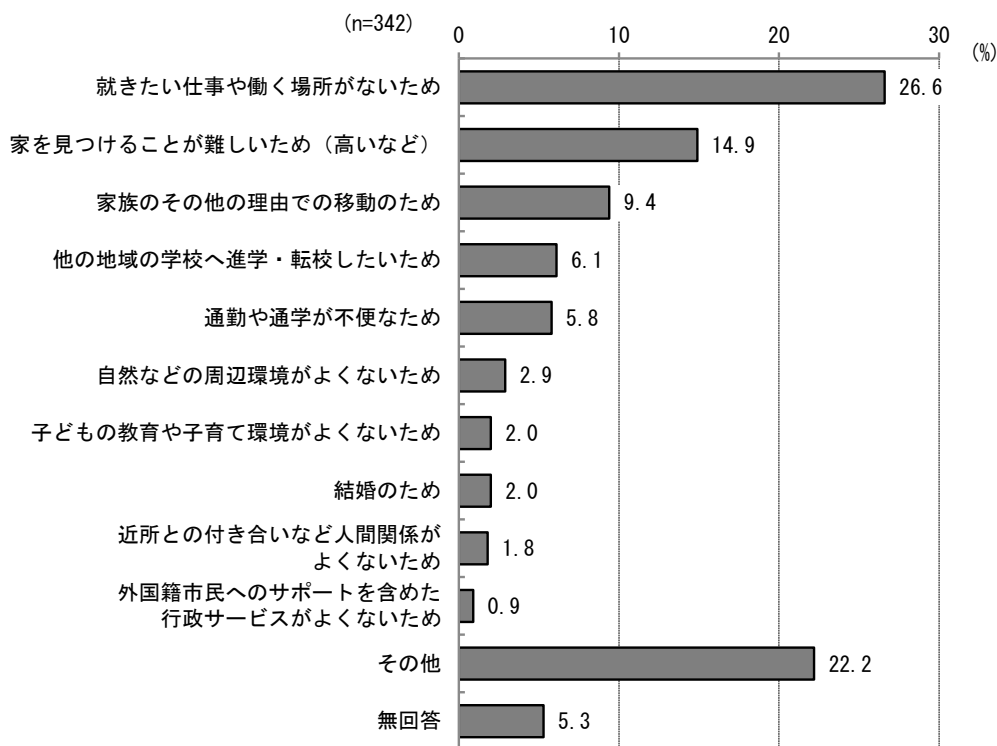
国籍・地域別にみると、多くの国籍・地域で「就きたい仕事や働く場所がないため」の割合が高くなっており、中でも、中国が40.2%となっている。

在留資格別にみると、「就きたい仕事や働く場所がないため」の割合は、留学(大学・大学院)(53.1%)が最も高くなっている。

年齢別にみると、39歳以下で「就きたい仕事や働く場所がないため」の割合が高くなっている。

同居人別にみると、「就きたい仕事や働く場所がないため」の割合は、いない(ひとりで住んでいる)(35.5%)、友人・知人(28.6%)で高くなっている。

【図表 56 京都市からの転出理由】



< その他の主な内容 >

内容	件数
市外へ就職、異動する	13
オーバーツーリズム	10
気候	8
他地域に行きたい	8
物価高	5
交通が不便	3
パートナーの都合	3
モダンな都市を希望	3
買い物不便	2
趣味の活動のため	2

【図表 57 京都市からの転出理由(属性特徴)】

	n	な い き た い し じ や や 働 く 場 所 が	難 し い と し て 見 つ け る こ と が	移 動 の た め 家 族 の そ の 他 の 理 由 で の	他 の 地 域 の 学 校 へ 進 学 ・ 転 校 し た い た め	通 勤 や 通 学 が 不 便 な た め	自 然 な ど の 周 辺 環 境 が よ く な い た め	環 境 が よ く な い た め 子 ど も の 教 育 や 子 育 て	結 婚 の た め	近 所 と の 付 き 合 い な ど 人 間 関 係 が よ く な い た め	外 国 籍 市 民 へ の サ ポ ー ト を 含 め た 行 政 サ ー ビ ス が よ く な い た め	そ の 他	無 回 答
全体	342	91	51	32	21	20	10	7	7	6	3	76	18
	100	26.6	14.9	9.4	6.1	5.8	2.9	2.0	2.0	1.8	0.9	22.2	5.3
国籍・地域													
中国	117	40.2	13.7	2.6	7.7	7.7	2.6	4.3	0	0.9	0	16.2	4.3
韓国	46	17.4	15.2	19.6	0	6.5	4.3	4.3	2.2	6.5	0	17.4	6.5
ベトナム	19	21.1	21.1	0	10.5	15.8	0	0	5.3	0	10.5	5.3	10.5
ネパール	27	29.6	14.8	3.7	14.8	0	0	0	0	0	0	18.5	18.5
台湾	25	20.0	16.0	24.0	4.0	4.0	0	0	0	4.0	0	24.0	4.0
フィリピン	14	7.1	21.4	21.4	0	0	14.3	0	7.1	0	0	21.4	7.1
アメリカ	10	40.0	0	0	0	0	0	0	20.0	0	0	40.0	0
インドネシア	7	28.6	14.3	28.6	0	14.3	0	0	0	0	0	14.3	0
ミャンマー	12	25.0	8.3	0	25.0	0	0	0	0	0	0	41.7	0
フランス	4	0	25.0	25.0	0	0	25.0	0	0	0	0	25.0	0
その他	61	14.8	16.4	11.5	3.3	4.9	3.3	0	3.3	3.3	0	37.7	1.6
在留資格													
留学(大学・大学院)	98	53.1	5.1	3.1	6.1	7.1	0	1.0	1.0	0	0	17.3	6.1
留学(日本語学校)	31	19.4	6.5	3.2	18.7	12.9	0	0	0	0	0	9.7	9.7
留学(専門学校、その他)	8	37.5	12.5	0	0	12.5	0	0	0	0	0	25.0	12.5
永住者	33	3.0	15.2	18.2	3.0	3.0	12.1	12.1	0	6.1	0	27.3	0
特別永住者	31	3.2	19.4	22.6	0	3.2	6.5	3.2	0	9.7	0	22.6	9.7
技術・人文知識・国際業務	55	16.4	32.7	9.1	0	9.1	1.8	0	3.6	0	1.8	25.5	0
技能実習	18	22.2	5.6	16.7	5.6	5.6	5.6	0	5.6	0	0	22.2	11.1
特定技能	11	18.2	9.1	9.1	0	0	0	0	18.2	0	9.1	36.4	0
日本人の配偶者等	22	9.1	18.2	22.7	0	0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	22.7	4.5
家族滞在	8	12.5	50.0	0	0	0	0	0	0	0	0	37.5	0
高度専門職	3	66.7	33.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経営・管理	2	50.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50.0	0
その他の資格	22	31.8	13.6	4.5	4.5	0	4.5	0	0	0	0	31.8	9.1
年齢													
18歳～19歳	9	33.3	0	0	11.1	22.2	0	0	0	0	0	22.2	11.1
20歳～29歳	174	33.9	9.2	5.7	10.9	5.2	0	0.6	3.4	0	0.6	23.6	6.9
30歳～39歳	94	27.7	22.3	8.5	1.1	8.5	3.2	2.1	1.1	0	2.1	21.3	2.1
40歳～49歳	31	3.2	22.6	16.1	0	0	12.9	9.7	0	12.9	0	19.4	3.2
50歳～59歳	14	7.1	21.4	0	0	7.1	21.4	7.1	0	7.1	0	14.3	14.3
60歳～69歳	15	6.7	13.3	46.7	0	0	0	0	0	0	0	33.3	0
70歳～79歳	4	0	50.0	50.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0
同居人													
いない(ひとりでお住んでいる)	172	35.5	14.5	4.7	6.4	5.8	1.7	0.6	2.9	0	0.6	21.5	5.8
日本人の配偶者・パートナー	49	6.1	12.2	22.4	2.0	0	8.2	4.1	4.1	4.1	2.0	28.6	6.1
日本人以外の配偶者・パートナー	45	20.0	22.2	8.9	0	6.7	2.2	6.7	0	6.7	2.2	22.2	2.2
子ども	38	5.3	21.1	23.7	2.6	2.6	13.2	5.3	0	7.9	0	15.8	2.6
あなたの親	11	9.1	27.3	9.1	0	9.1	0	9.1	0	0	0	27.3	9.1
配偶者・パートナーの親	10	20.0	0	50.0	0	0	10.0	10.0	0	10.0	0	0	0
兄弟姉妹	5	20.0	20.0	0	0	20.0	0	20.0	0	0	0	20.0	0
その他の親族	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0
友人・知人	49	28.6	8.2	8.2	18.4	10.2	0	0	0	0	0	22.4	4.1

3 言葉について

〔1〕日本語の状況

①「聞く・話す」(単一回答)

日本語を「聞く・話す」ことについては、「日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる」(33.6%)が最も多く、次いで、「どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる」(33.3%)、「簡単な質問なら理解し、答えることができる」(27.2%)となっている。

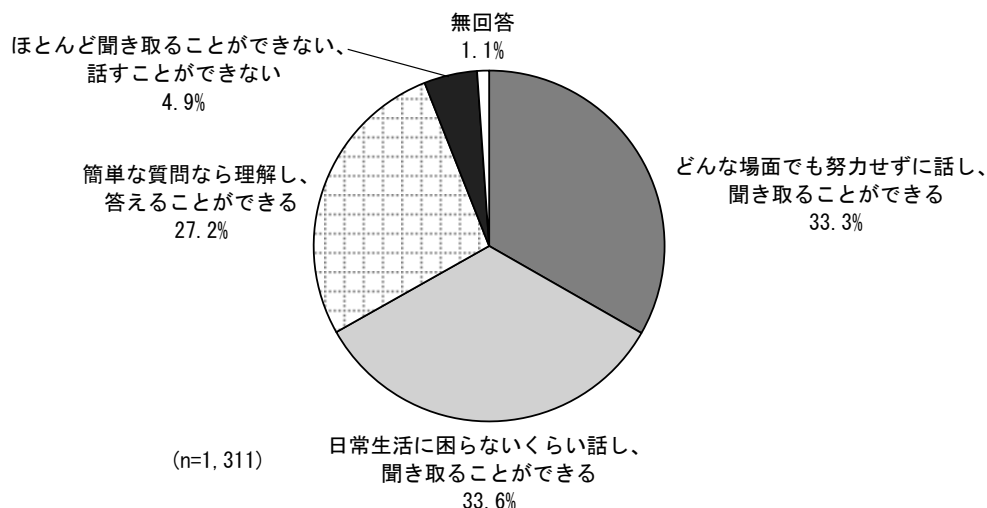
国籍・地域別にみると、「どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる」の割合は、韓国(78.0%)が最も高くなっている。「日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる」は、台湾(52.1%)、アメリカ(48.9%)、中国(40.6%)の順に高く、一方、「ほとんど聞き取ることができない、話すことができない」はネパール(14.5%)、ベトナム(9.8%)が他の国籍・地域と比べ、高くなっている。

在留資格別にみると、「どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる」の割合は、特別永住者(86.8%)が最も高くなっている。一方、「簡単な質問なら理解し、答えることができる」は技能実習(66.2%)が、「ほとんど聞き取ることができない、話すことができない」は経営・管理(26.1%)、家族滞在(21.7%)が、他の在留資格と比べ、高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ「どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる」の割合が高くなっており、39歳以下では「日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる」が高くなっている。

日本在住期間別にみると、在住期間が長いほど、「どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる」の割合が高くなっており、全般的に期間が短いほど「聞く・話す」能力が低くなる傾向にある。

【図表 58 ①「聞く・話す」】



【図表 59 ①「聞く・話す」(属性特徴)】

		n	話 し 可 能 な 場 面 で も 努 力 を こ す に 可 能 な こ と が	日 常 生 活 に 困 ら な い こ と が	簡 単 な 質 問 に 理 解 し 、 答 え る こ と が	ほ と ん ど 聞 き 取 る こ と が 可 能 な こ と が	無 回 答
全体		1,311	436	440	356	64	15
		100	33.3	33.6	27.2	4.9	1.1
国籍・地域	中国	355	29.9	40.6	25.1	3.4	1.1
	韓国	246	78.0	16.7	2.0	0	3.3
	ベトナム	122	9.0	32.0	49.2	9.8	0
	ネパール	83	7.2	32.5	45.8	14.5	0
	台湾	73	31.5	52.1	16.4	0	0
	フィリピン	53	11.3	26.4	52.8	9.4	0
	アメリカ	45	28.9	48.9	20.0	2.2	0
	インドネシア	41	14.6	39.0	39.0	4.9	2.4
	ミャンマー	34	14.7	29.4	47.1	8.8	0
	フランス	26	38.5	30.8	30.8	0	0
	その他	227	23.8	35.7	32.6	7.5	0.4
在留資格	留学(大学・大学院)	252	17.5	46.0	32.9	3.6	0
	留学(日本語学校)	72	5.6	38.9	45.8	9.7	0
	留学(専門学校、その他)	24	20.8	37.5	41.7	0	0
	永住者	194	49.0	34.0	13.4	1.5	2.1
	特別永住者	190	86.8	7.4	2.1	0	3.7
	技術・人文知識・国際業務	159	34.0	40.3	21.4	4.4	0
	技能実習	65	6.2	20.0	66.2	7.7	0
	特定技能	68	7.4	45.6	42.6	2.9	1.5
	日本人の配偶者等	63	25.4	49.2	23.8	1.6	0
	家族滞在	60	11.7	21.7	43.3	21.7	1.7
	高度専門職	25	32.0	32.0	28.0	8.0	0
	経営・管理	23	13.0	26.1	34.8	26.1	0
その他の資格	106	18.9	36.8	34.9	8.5	0.9	
年齢	18歳～19歳	24	12.5	50.0	37.5	0	0
	20歳～29歳	476	18.7	39.1	36.6	5.3	0.4
	30歳～39歳	340	25.6	37.9	29.4	6.8	0.3
	40歳～49歳	150	44.0	25.3	24.7	6.0	0
	50歳～59歳	116	52.6	24.1	19.0	3.4	0.9
	60歳～69歳	81	59.3	25.9	9.9	2.5	2.5
	70歳～79歳	80	66.3	20.0	5.0	1.3	7.5
	80歳以上	38	71.1	23.7	0	0	5.3
日本在住期間	6か月未満	93	2.2	31.2	46.2	20.4	0
	6か月以上～1年未満	93	5.4	22.6	58.1	14.0	0
	1年以上～2年未満	163	9.2	36.8	44.8	8.6	0.6
	2年以上～3年未満	132	15.2	41.7	38.6	4.5	0
	3年以上～5年未満	148	16.9	48.0	32.4	2.7	0
	5年以上～10年未満	206	29.6	46.1	20.9	2.9	0.5
	10年以上～20年未満	139	47.5	32.4	19.4	0	0.7
	20年以上～30年未満	67	53.7	29.9	13.4	3.0	0
	30年以上	261	76.2	16.9	2.7	0	4.2

②「読む」(単一回答)

日本語を「読む」ことについては、「どんな内容の文章でも読むことができる」(38.6%)が最も多く、次いで、「メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる」(25.7%)、「ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる」(21.5%)となっている。

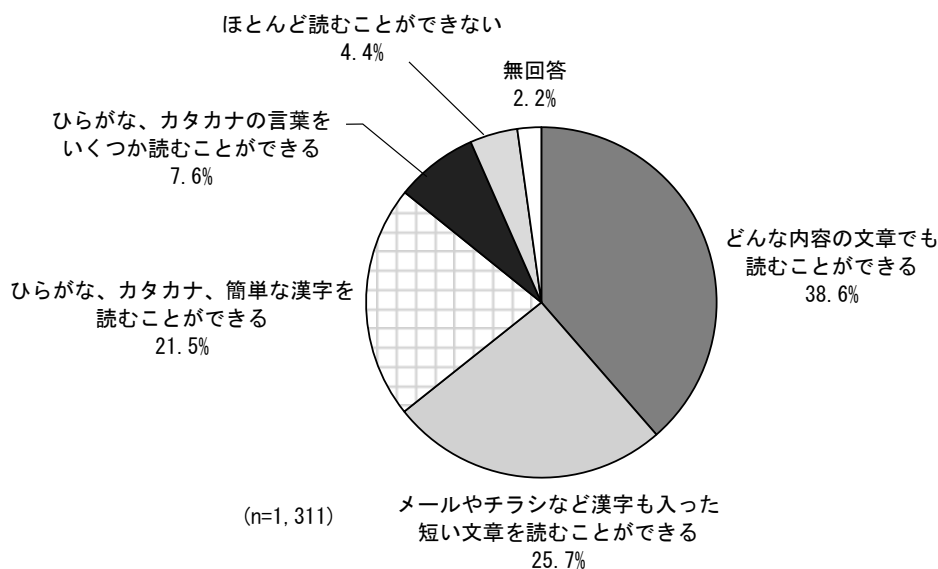
国籍・地域別にみると、「どんな内容の文章でも読むことができる」の割合は、韓国(80.5%)、台湾(60.3%)が高くなっており、「メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる」はアメリカ(42.2%)が、「ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる」はフィリピン(64.2%)、ミャンマー(47.1%)、ネパール(47.0%)が高くなっている。一方、「ほとんど読むことができない」は、ネパール(15.7%)が他の国籍・地域と比べ、高くなっている。

在留資格別にみると、「どんな内容の文章でも読むことができる」の割合は、特別永住者(88.4%)が最も高くなっている。「ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる」は特定技能(61.8%)で、他の在留資格と比べ、高くなっている。一方、「ほとんど読むことができない」は、家族滞在(23.3%)が他の在留資格と比べ、高くなっている。

年齢別にみると、30歳以上では「どんな内容の文章でも読むことができる」の割合が最も高く、29歳以下で「メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる」が最も高くなっている。

日本在住期間別にみると、在住期間が長いほど、「どんな内容の文章でも読むことができる」の割合が高くなっており、全般的に期間が短いほど「読む」能力が低くなる傾向にある。

【図表 60 ②「読む」】



【図表 61 ②「読む」(属性特徴)】

	n	読むこと が できる	簡単な 内容の 文章で も 読む こと が できる	メール や チャ ット など 漢 字 も 入 っ た 短 い 文 章 を 読 む こ と が できる	ひらが な、 カタ カナ、 簡 単 な 漢 字 を 読 む こ と が できる	ひらが な、 カタ カナ の 言 葉 を い く つ か 読 む こ と が できる	ほとん ど 読 む こ と が でき ない	無 回 答
全体	1,311	506	337	282	99	58	29	
	100	38.6	25.7	21.5	7.6	4.4	2.2	
国籍・ 地域	中国	355	47.0	37.5	8.7	2.0	3.7	1.1
	韓国	246	80.5	10.2	4.5	1.2	0.4	3.3
	ベトナム	122	5.7	21.3	36.9	29.5	3.3	3.3
	ネパール	83	3.6	13.3	47.0	16.9	15.7	3.6
	台湾	73	60.3	34.2	4.1	1.4	0	0
	フィリピン	53	5.7	13.2	64.2	11.3	5.7	0
	アメリカ	45	31.1	42.2	20.0	2.2	4.4	0
	インドネシア	41	9.8	22.0	41.5	9.8	9.8	7.3
	ミャンマー	34	14.7	29.4	47.1	5.9	2.9	0
	フランス	26	26.9	30.8	34.6	7.7	0	0
	その他	227	22.5	27.8	30.0	9.7	7.5	2.6
在留 資格	留学(大学・大学院)	252	39.3	32.1	17.9	6.7	3.6	0.4
	留学(日本語学校)	72	11.1	40.3	44.4	2.8	0	1.4
	留学(専門学校、その他)	24	16.7	33.3	41.7	0	4.2	4.2
	永住者	194	49.0	28.4	13.9	4.1	2.6	2.1
	特別永住者	190	88.4	3.2	4.2	0	0.5	3.7
	技術・人文知識・国際業務	159	36.5	36.5	14.5	10.1	1.3	1.3
	技能実習	65	3.1	7.7	52.3	30.8	1.5	4.6
	特定技能	68	2.9	20.6	61.8	10.3	1.5	2.9
	日本人の配偶者等	63	30.2	27.0	28.6	7.9	6.3	0
	家族滞在	60	13.3	26.7	16.7	18.3	23.3	1.7
	高度専門職	25	40.0	28.0	20.0	4.0	4.0	4.0
年 齢	経営・管理	23	21.7	26.1	21.7	13.0	13.0	4.3
	その他の資格	106	21.7	32.1	20.8	6.6	15.1	3.8
	18歳～19歳	24	25.0	37.5	29.2	4.2	4.2	0
	20歳～29歳	476	26.9	31.1	27.9	9.7	2.7	1.7
	30歳～39歳	340	32.6	26.2	22.9	9.7	6.5	2.1
	40歳～49歳	150	46.0	26.7	16.0	5.3	6.0	0
	50歳～59歳	116	52.6	18.1	19.0	5.2	4.3	0.9
	60歳～69歳	81	58.0	18.5	9.9	1.2	9.9	2.5
	70歳～79歳	80	70.0	13.8	5.0	2.5	0	8.8
	80歳以上	38	68.4	7.9	15.8	2.6	0	5.3
日本 在住 期間	6か月未満	93	8.6	28.0	45.2	6.5	10.8	1.1
	6か月以上～1年未満	93	14.0	20.4	30.1	17.2	15.1	3.2
	1年以上～2年未満	163	17.8	27.6	28.3	16.0	6.1	3.7
	2年以上～3年未満	132	20.5	32.6	28.0	12.9	3.8	2.3
	3年以上～5年未満	148	33.8	31.1	23.0	9.5	2.7	0
	5年以上～10年未満	206	35.4	35.0	23.8	1.9	2.4	1.5
	10年以上～20年未満	139	46.0	31.7	12.9	6.5	2.2	0.7
	20年以上～30年未満	67	53.7	26.9	10.4	3.0	6.0	0
	30年以上	261	77.0	8.4	7.7	1.5	1.1	4.2

③「書く」(単一回答)

日本語を「書く」ことについては、「簡単な手紙や報告を書くことができる」(29.7%)が最も多く、次いで、「複雑な内容の文章も書くことができる」(28.8%)、「短いメールやメッセージを書くことができる」(27.2%)となっている。

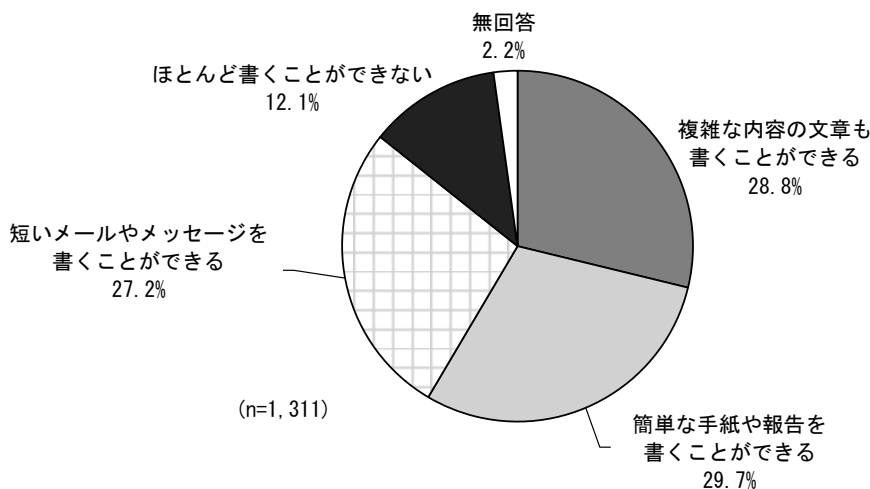
国籍・地域別にみると、「複雑な内容の文章も書くことができる」の割合は、韓国(63.8%)が最も高くなっている。「簡単な手紙や報告を書くことができる」の割合は、ミャンマー(47.1%)、台湾(46.6%)が高く、「短いメールやメッセージを書くことができる」の割合は、ベトナム(51.6%)、フィリピン(50.9%)が高くなっている。一方、「ほとんど書くことができない」は、ネパール(24.1%)、フィリピン(20.8%)、ベトナム(20.5%)が他の国籍・地域と比べ、高くなっている。

在留資格別にみると、「複雑な内容の文章も書くことができる」の割合は、特別永住者(75.3%)が最も高くなっている。一方、「ほとんど書くことができない」の割合は、家族滞在(38.3%)、経営・管理(34.8%)が他の在留資格と比べ、高くなっている。

年齢別にみると、「複雑な内容の文章も書くことができる」の割合は、70歳～79歳(48.8%)が最も高くなっている。「簡単な手紙や報告を書くことができる」、「短いメールやメッセージを書くことができる」の割合は、20歳～29歳(それぞれ37.0%、31.7%)で、他の年代と比べ、高くなっている。

日本在住期間別にみると、在住期間が長いほど「複雑な内容の文章も書くことができる」が高くなる傾向がみられ、全般的に期間が短いほど、「書く」能力が低くなる傾向がある。

【図表 62 ③「書く」】



【図表 63 ③「書く」(属性特徴)】

	n	複雑な内容の文章も書くことができる	簡単な手紙や報告書を書くことができる	短いメールやメッセージを書くことができる	ほとんど書くことができない	無回答		
全体	1,311	378	389	356	159	29		
	100	28.8	29.7	27.2	12.1	2.2		
国籍・地域	中国	355	33.8	37.2	20.3	7.3	1.4	
	韓国	246	63.8	23.6	7.3	2.4	2.8	
	ベトナム	122	4.1	20.5	51.6	20.5	3.3	
	ネパール	83	4.8	21.7	45.8	24.1	3.6	
	台湾	73	31.5	46.6	17.8	4.1	0	
	フィリピン	53	3.8	24.5	50.9	20.8	0	
	アメリカ	45	17.8	35.6	40.0	6.7	0	
	インドネシア	41	7.3	41.5	29.3	14.6	7.3	
	ミャンマー	34	14.7	47.1	29.4	8.8	0	
	フランス	26	23.1	23.1	42.3	11.5	0	
	その他	227	18.5	23.3	32.6	22.9	2.6	
	在留資格	留学(大学・大学院)	252	27.8	34.9	24.2	12.7	0.4
		留学(日本語学校)	72	6.9	43.1	45.8	2.8	1.4
留学(専門学校、その他)		24	8.3	58.3	25.0	4.2	4.2	
永住者		194	35.1	29.9	26.8	6.7	1.5	
特別永住者		190	75.3	15.8	2.6	3.2	3.2	
技術・人文知識・国際業務		159	24.5	37.7	27.0	10.1	0.6	
技能実習		65	3.1	24.6	52.3	13.8	6.2	
特定技能		68	2.9	33.8	51.5	8.8	2.9	
日本人の配偶者等		63	14.3	38.1	28.6	19.0	0	
家族滞在		60	10.0	10.0	40.0	38.3	1.7	
高度専門職		25	40.0	16.0	32.0	8.0	4.0	
経営・管理		23	13.0	30.4	17.4	34.8	4.3	
その他の資格		106	14.2	24.5	29.2	26.4	5.7	
年齢	18歳～19歳	24	29.2	29.2	29.2	12.5	0	
	20歳～29歳	476	19.5	37.0	31.7	10.3	1.5	
	30歳～39歳	340	24.1	27.1	29.1	17.4	2.4	
	40歳～49歳	150	35.3	22.7	28.7	13.3	0	
	50歳～59歳	116	44.8	20.7	20.7	12.1	1.7	
	60歳～69歳	81	43.2	24.7	21.0	8.6	2.5	
	70歳～79歳	80	48.8	27.5	13.8	2.5	7.5	
	80歳以上	38	42.1	31.6	10.5	10.5	5.3	
日本在任期間	6か月未満	93	6.5	28.0	43.0	21.5	1.1	
	6か月以上～1年未満	93	4.3	31.2	29.0	32.3	3.2	
	1年以上～2年未満	163	9.2	30.1	39.3	18.4	3.1	
	2年以上～3年未満	132	15.9	34.8	34.1	12.9	2.3	
	3年以上～5年未満	148	24.3	33.1	29.1	13.5	0	
	5年以上～10年未満	206	26.2	35.0	30.6	6.3	1.9	
	10年以上～20年未満	139	36.7	32.4	21.6	7.9	1.4	
	20年以上～30年未満	67	41.8	19.4	28.4	10.4	0	
	30年以上	261	60.5	22.2	9.6	3.8	3.8	

〔2〕日本語の学習状況(単一回答)

日本語の学習状況は、「現在、学習している」(38.1%)が最も多く、次いで、「日本語に不自由はないので、学習の必要はない」(35.4%)、「現在は学習していないが、できれば学習したい」(20.7%)となっている。また、『学習意向あり』(「現在、学習している」と「現在は学習していないが、できれば学習したい」の合計)は58.8%となっている。

国籍・地域別にみると、多くの国籍・地域で「現在、学習している」の割合が最も高くなっており、中でも、ミャンマーが73.5%となっている。また、「現在は学習していないが、できれば学習したい」はフィリピン(39.6%)が他の国籍・地域と比べ、高くなっている。一方、「日本語に不自由はないので、学習の必要はない」は韓国(85.4%)が、特に高くなっている。

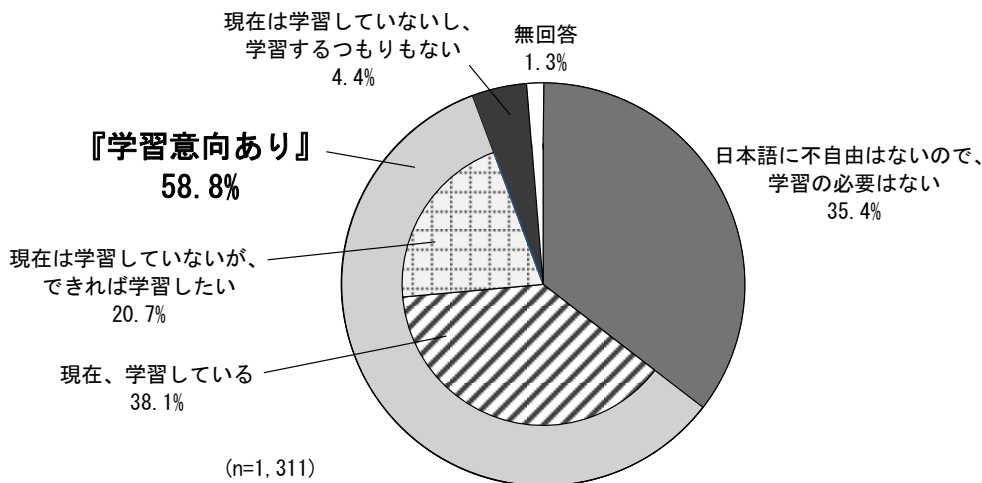
在留資格別にみると、多くの在留資格で「現在学習している」の割合が最も高くなっており、中でも、留学(日本語学校)(98.6%)が最も高くなっている。また、「日本語に不自由はないので、学習の必要はない」の割合は、特別永住者(91.6%)が、「現在は学習していないが、できれば学習したい」の割合は、家族滞在(48.3%)が、それぞれ他の在留資格と比べ、高くなっている。

居住地別にみると、多くの居住地で「現在、学習している」が最も高くなっており、中でも、上京区(49.0%)で最も高くなっている。また、「現在は学習していないが、できれば学習したい」は東山区(37.2%)が、他の居住地と比べ、高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高いほど「日本語に不自由はないので、学習の必要はない」の割合が高く、年齢が低いほど「現在、学習している」が高くなっている。

日本在住期間別にみると、在住期間が長いほど「日本語に不自由はないので、学習の必要はない」の割合が高く、在住期間が短いほど「現在、学習している」が高くなっている。

【図表 64 日本語の学習状況】



【図表 65 日本語の学習状況(属性特徴)】

	n	日本語に不自由はないので、 学習の必要はない	現在、 学習している	現在は学習していないが、 できれば学習したい	現在は学習していないし、 学習するつもりもない	無回答	(%) 学習意向あり	
全体	1,311	464	500	272	58	17	772	
	100	35.4	38.1	20.7	4.4	1.3	58.8	
国籍・地域	中国	355	36.1	40.6	18.9	3.4	1.1	59.5
	韓国	246	35.4	41.1	4.1	3.3	3.3	8.7
	ベトナム	122	5.7	59.8	32.0	1.6	0.8	91.8
	ネパール	83	3.6	63.9	30.1	0	2.4	94.0
	台湾	73	38.4	38.4	20.5	2.7	0	58.9
	フィリピン	53	7.5	45.3	39.6	7.5	0	84.9
	アメリカ	45	26.7	46.7	22.2	4.4	0	68.9
	インドネシア	41	9.8	34.1	34.1	19.5	2.4	68.2
	ミャンマー	34	5.9	73.5	11.8	8.8	0	85.3
	フランス	26	34.6	19.2	34.6	11.5	0	53.8
	その他	227	23.8	44.9	25.1	6.2	0	70.0
在留資格	留学(大学・大学院)	252	21.4	58.3	17.1	2.8	0.4	75.4
	留学(日本語学校)	72	0	98.6	1.4	0	0	100.0
	留学(専門学校、その他)	24	4.2	91.7	4.2	0	0	95.9
	永住者	194	57.7	13.9	19.1	8.8	0.5	33.0
	特別永住者	190	21.6	0	2.1	2.6	3.7	2.1
	技術・人文知識・国際業務	159	38.8	33.3	30.2	2.5	0.6	63.5
	技能実習	65	3.1	64.6	21.5	9.2	1.5	86.1
	特定技能	68	5.9	52.9	33.8	5.9	1.5	86.7
	日本人の配偶者等	63	27.0	33.3	33.3	6.3	0	66.6
	家族滞在	60	13.3	33.3	48.3	3.3	1.7	81.6
	高度専門職	25	40.0	36.0	20.0	4.0	0	56.0
経営・管理	23	13.0	47.8	39.1	0	0	86.9	
その他の資格	106	20.8	36.8	33.0	7.5	1.9	69.8	
居住地域	北区	98	34.7	43.9	18.4	2.0	1.0	62.3
	上京区	102	31.4	49.0	12.7	6.9	0	61.7
	左京区	223	35.9	39.9	21.1	2.7	0.4	61.0
	中京区	91	30.8	45.1	22.0	2.2	0	67.1
	東山区	43	20.9	34.9	37.2	7.0	0	72.1
	山科区	61	28.5	39.3	16.4	9.8	4.9	55.7
	下京区	93	28.0	43.0	22.6	3.2	3.2	65.6
	南区	142	44.4	28.2	21.8	2.8	2.8	50.0
	右京区	152	42.8	36.2	16.4	3.3	1.3	52.6
	西京区	62	54.8	30.6	14.5	0	0	45.1
	伏見区	234	30.8	33.3	26.1	8.5	1.3	59.4
年齢	18歳～19歳	24	25.0	62.5	12.5	0	0	75.0
	20歳～29歳	476	17.0	60.5	18.9	2.5	1.1	79.4
	30歳～39歳	340	28.2	35.9	30.3	5.0	0.6	66.2
	40歳～49歳	150	45.3	26.7	22.7	5.3	0	49.4
	50歳～59歳	116	59.5	13.8	19.0	6.9	0.9	32.8
	60歳～69歳	81	64.2	12.3	13.6	7.4	2.5	25.9
	70歳～79歳	80	73.8	8.8	8.8	5.0	3.8	17.6
	80歳以上	38	78.9	2.6	2.6	7.9	7.9	5.2
日本在住期間	6か月未満	93	2.2	84.9	11.8	1.1	0	96.7
	6か月以上～1年未満	93	1.1	68.8	24.7	4.3	1.1	93.5
	1年以上～2年未満	163	10.4	67.5	19.6	1.2	1.2	87.1
	2年以上～3年未満	132	10.6	56.8	28.8	3.8	0	85.6
	3年以上～5年未満	148	22.3	45.9	27.0	4.1	0.7	72.9
	5年以上～10年未満	206	28.2	32.0	32.5	6.3	1.0	64.5
	10年以上～20年未満	139	54.0	16.5	23.0	5.8	0.7	39.5
	20年以上～30年未満	67	58.2	10.4	22.4	9.0	0	32.8
	30年以上	261	83.9	2.7	5.0	5.0	3.4	7.7

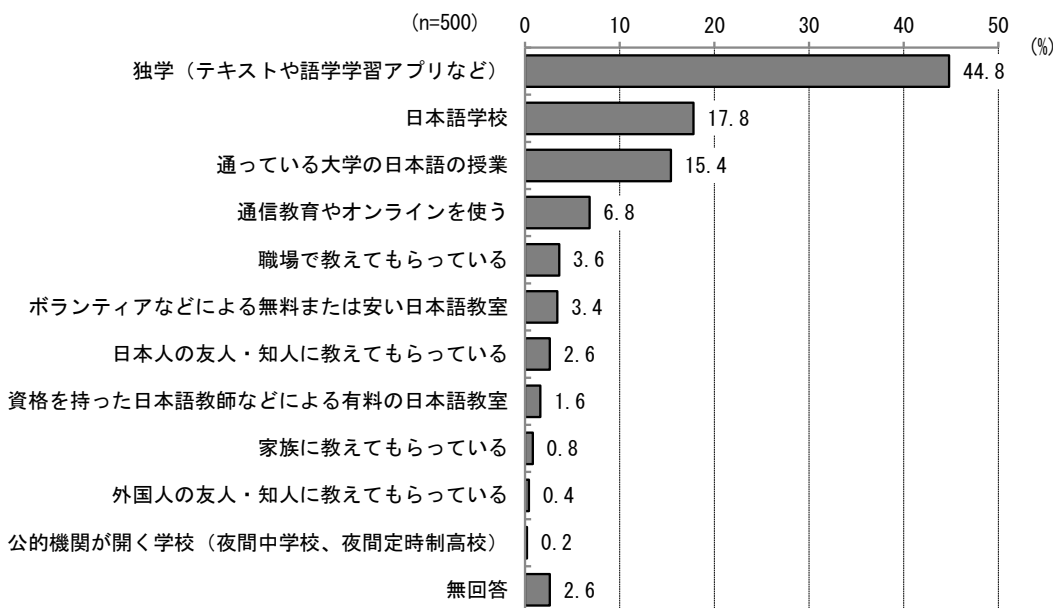
〔3〕日本語の勉強方法(単一回答)

日本語を「現在、学習している人」の勉強方法は、「独学(テキストや語学学習アプリなど)」(44.8%)が最も多く、次いで、「日本語学校」(17.8%)、「通っている大学の日本語の授業」(15.4%)となっている。

国籍・地域別にみると、多くの国籍・地域で「独学(テキストや語学学習アプリなど)」の割合が最も高くなっているが、「日本語学校」は、ミャンマー(44.0%)で最も高く、次いで、ネパール(35.8%)、台湾(35.7%)となっている。

在留資格別にみると、多くの在留資格で「独学(テキストや語学学習アプリなど)」の割合が最も高くなっている。また、技術・人文知識・国際業務で「職場で教えてもらっている」(18.9%)が、他の在留資格と比べ、高くなっている。

【図表 66 日本語の勉強方法】



【図表 67 日本語の勉強方法(属性特徴)】

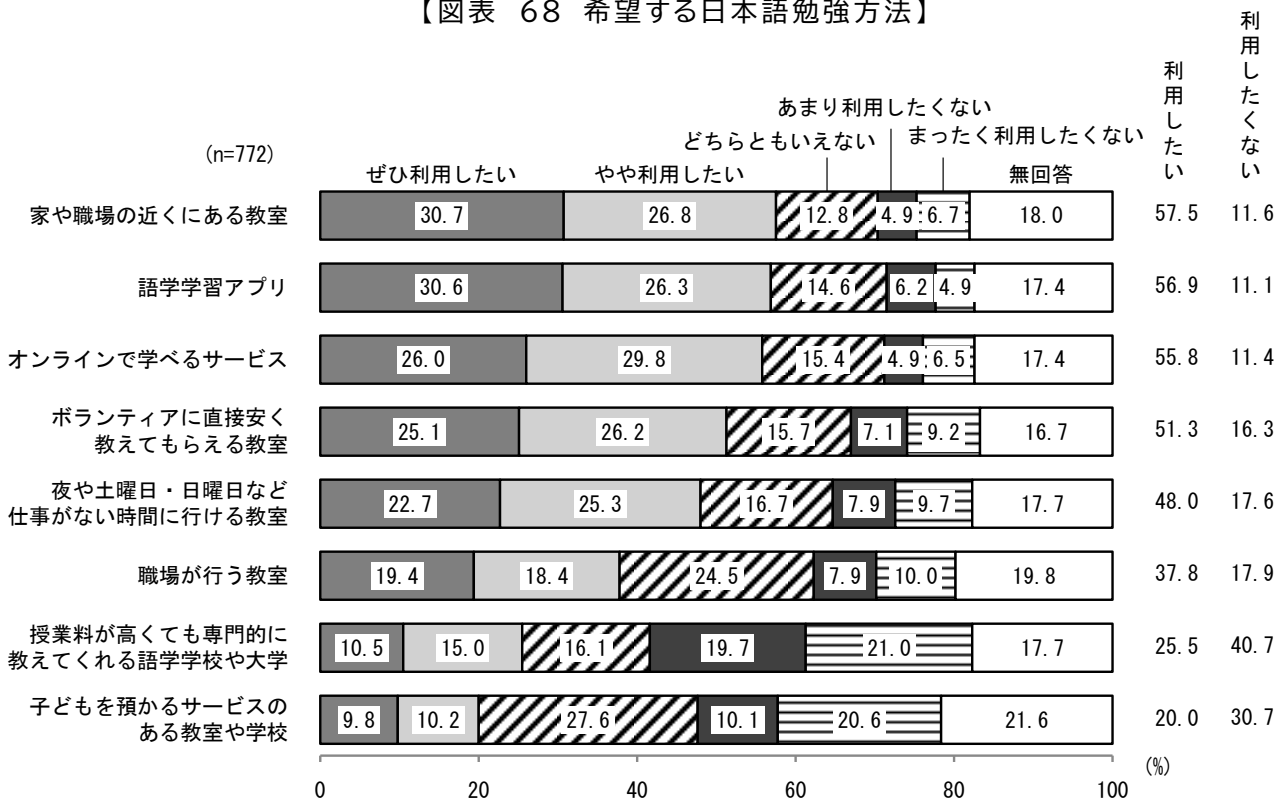
	n	独学(テキストや語学学習アプリなど)	日本語学校	通っている大学の授業	通信教育やオンラインを使う	職場で教えてもらっている	ボランティアなどによる無料または安い日本語教室	日本人の友人・知人に教えてもらっている	日本語教師などによる有料の日本語教室	家族に教えてもらっている	外国人の友人・知人に教えてもらっている	定時制・夜間制高校が開く学校	公的機関が開く学校	無回答
全体	500	224	89	77	34	18	17	13	8	4	2	1	13	
	100	44.8	17.8	15.4	6.8	3.6	3.4	2.6	1.6	0.8	0.4	0.2	2.6	
国籍・地域														
中国	144	48.6	12.5	22.2	6.3	2.8	2.1	1.4	0.7	1.4	0	0	2.1	
韓国	10	40.0	10.0	40.0	0	0	0	0	0	10.0	0	0	0	
ベトナム	73	63.0	8.2	4.1	13.0	4.1	0	2.7	1.4	0	1.4	0	4.1	
ネパール	53	22.6	35.8	18.9	5.7	7.5	0	1.9	0	0	1.9	1.9	3.8	
台湾	28	21.4	35.7	17.9	7.1	7.1	3.6	3.6	0	3.6	0	0	0	
フィリピン	24	58.3	8.3	4.2	8.3	0	16.7	4.2	0	0	0	0	0	
アメリカ	21	47.6	23.8	4.8	0	0	4.8	14.3	0	0	0	0	4.8	
インドネシア	14	50.0	21.4	0	7.1	0	0	0	7.1	0	0	0	14.3	
ミャンマー	25	24.0	44.0	4.0	20.0	4.0	0	4.0	0	0	0	0	0	
フランス	5	80.0	0	20.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	102	44.1	13.7	18.6	3.9	3.9	6.9	2.0	4.9	0	0	0	2.0	
在留資格														
留学(大学・大学院)	147	43.5	3.4	42.9	4.8	0	3.4	0.7	0	0	0	0.7	0.7	
留学(日本語学校)	71	1.4	95.8	1.4	0	0	0	0	0	0	0	0	1.4	
留学(専門学校、その他)	22	22.7	18.2	45.5	0	9.1	0	0	0	0	4.5	0	0	
永住者	27	66.7	0	0	0	3.7	11.1	0	7.4	3.7	0	0	7.4	
技術・人文知識・国際業務	53	54.7	0	0	7.5	18.9	3.8	11.3	1.9	0	0	0	1.9	
技能実習	42	66.7	2.4	0	11.9	2.4	2.4	2.4	4.8	0	2.4	0	4.8	
特定技能	36	63.9	8.3	0	8.3	2.8	2.8	5.6	2.8	0	0	0	5.6	
日本人の配偶者等	21	57.1	4.8	0	9.5	0	4.8	4.8	0	9.5	0	0	9.5	
家族滞在	20	65.0	5.0	0	20.0	10.0	0	0	0	0	0	0	0	
高度専門職	9	55.6	11.1	0	0	0	11.1	0	11.1	0	0	0	11.1	
経営・管理	11	72.7	9.1	0	0	0	0	9.1	0	0	0	0	0	
その他の資格	39	43.6	10.3	7.7	20.5	2.6	5.1	2.6	2.6	2.6	0	0	2.6	

※特別永住者は該当者が0人のため割愛

〔4〕希望する日本語勉強方法(単一回答)

日本語学習の必要性を感じている人(「現在、学習している」、「現在は学習していないが、できれば学習したい」の回答者)に希望する日本語勉強方法をたずねたところ、「ぜひ利用したい」と「やや利用したい」を合わせた『利用したい』の割合は、「家や職場の近くにある教室」(57.5%)が最も高く、次いで、「語学学習アプリ」(56.9%)、「オンラインで学べるサービス」(55.8%)となっている。一方、「まったく利用したくない」と「あまり利用したくない」を合わせた『利用したくない』の割合は、「授業料が高くても専門的に教えてくれる語学学校や大学」(40.7%)が最も高くなっている。

【図表 68 希望する日本語勉強方法】



■家や職場の近くにある教室

全体では、『利用したい』は57.5%となっており、『利用したくない』は11.6%となっている。

国籍・地域別にみると、『利用したい』の割合は、フランス(78.5%)が最も高くなっており、次いで、アメリカ(74.2%)、台湾(69.8%)となっている。

在留資格別にみると、『利用したい』の割合は、家族滞在(73.4%)が最も高くなっており、次いで、技術・人文知識・国際業務(69.3%)、留学(大学・大学院)(66.4%)となっている。

居住地域別にみると、『利用したい』の割合は、下京区(65.6%)が最も高くなっており、次いで、西京区(64.3%)、北区(62.3%)となっている。

年齢別にみると、『利用したい』の割合は、30歳～39歳(62.7%)が最も高くなっており、次いで、40歳～49歳(59.5%)、50歳～59歳(57.9%)となっている。

【図表 69 家や職場の近くにある教室(属性特徴)】

		n	ぜひ利用したい	やや利用したい	どちらともいえない	あまり利用したくない	まったく利用したくない	無回答	利用したい	利用したくない
全体		772	237	207	99	38	52	139	444	90
		100	30.7	26.8	12.8	4.9	6.7	18.0	57.5	11.6
国籍・地域	中国	211	24.2	30.8	11.4	7.1	9.0	17.5	55.0	16.1
	韓国	20	20.0	25.0	20.0	0	5.0	30.0	45.0	5.0
	ベトナム	112	29.5	26.8	13.4	3.6	4.5	22.3	56.3	8.1
	ネパール	78	43.6	16.7	0	5.1	1.3	33.3	60.3	6.4
	台湾	43	37.2	32.6	14.0	7.0	7.0	2.3	69.8	12.0
	フィリピン	45	28.9	22.2	24.4	8.9	2.2	11.1	53.3	11.1
	アメリカ	31	35.5	38.7	19.4	0	3.2	3.2	74.2	3.2
	インドネシア	28	28.6	17.9	25.0	3.6	0	25.0	46.5	3.6
	ミャンマー	29	31.0	3.4	17.2	3.4	10.3	34.5	34.4	13.7
	フランス	14	21.4	57.1	0	0	21.4	0	78.5	21.4
	その他	159	34.0	27.0	13.2	3.8	9.4	12.6	61.0	13.2
在留資格	留学(大学・大学院)	190	33.2	33.2	11.1	7.4	6.8	8.4	66.4	12.2
	留学(日本語学校)	72	26.4	27.8	11.1	2.8	5.6	26.4	54.2	8.4
	留学(専門学校、その他)	23	34.8	26.1	8.7	8.7	0	21.7	60.9	8.7
	永住者	64	25.0	21.9	7.8	1.6	9.4	34.4	46.9	11.0
	特別永住者	4	0	50.0	25.0	0	0	25.0	50.0	0
	技術・人文知識・国際業務	101	37.6	31.7	12.9	3.0	4.0	10.9	69.3	7.0
	技能実習	56	19.6	19.6	21.4	5.4	7.1	26.8	39.2	12.5
	特定技能	59	28.8	11.9	16.9	3.4	8.5	30.5	40.7	11.9
	日本人の配偶者等	42	23.8	28.6	16.7	4.8	14.3	11.9	52.4	19.1
	家族滞在	49	46.9	26.5	14.3	4.1	2.0	6.1	73.4	6.1
	高度専門職	14	35.7	28.6	7.1	7.1	7.1	14.3	64.3	14.2
経営・管理	20	15.0	15.0	20.0	5.0	25.0	20.0	30.0	30.0	
その他の資格	74	31.1	25.7	10.8	6.8	4.1	21.6	56.8	10.9	
居住地域	北区	61	36.1	26.2	16.4	6.6	3.3	11.5	62.3	9.9
	上京区	63	33.3	22.2	19.0	3.2	9.5	12.7	55.5	12.7
	左京区	136	30.9	30.1	10.3	7.4	11.0	10.3	61.0	18.4
	中京区	61	27.9	31.1	13.1	1.6	8.2	18.0	59.0	9.8
	東山区	31	19.4	35.5	12.9	3.2	3.2	25.8	54.9	6.4
	山科区	34	26.5	17.6	8.8	11.8	8.8	26.5	44.1	20.0
	下京区	61	37.7	27.9	8.2	3.3	6.6	16.4	65.6	9.9
	南区	71	26.8	29.6	9.9	2.8	1.4	29.6	56.4	4.2
	右京区	80	31.3	27.5	13.8	5.0	7.5	15.0	58.8	12.5
	西京区	28	35.7	28.6	7.1	14.3	7.1	7.1	64.3	21.4
伏見区	139	30.2	23.0	15.8	2.2	4.3	24.5	53.2	6.5	
年齢	18歳～19歳	18	16.7	16.7	16.7	22.2	22.2	5.6	33.4	44.4
	20歳～29歳	378	33.1	24.6	13.8	5.0	6.6	16.9	57.7	11.6
	30歳～39歳	225	32.0	30.7	10.7	4.4	4.9	17.3	62.7	9.3
	40歳～49歳	74	28.4	31.1	17.6	4.1	4.1	14.9	59.5	8.2
	50歳～59歳	38	23.7	34.2	2.6	0	5.3	34.2	57.9	5.3
	60歳～69歳	21	19.0	23.8	14.3	9.5	14.3	19.0	42.8	23.8
	70歳～79歳	14	14.3	7.1	21.4	0	28.6	28.6	21.4	28.6
	80歳以上	2	0	0	0	0	0	100.0	0	0

■語学学習アプリ

全体では、『利用したい』は56.9%となっており、『利用したくない』は11.1%となっている。

国籍・地域別にみると、『利用したい』の割合は、中国(63.0%)が最も高く、次いで、台湾(62.8%)、ネパール(60.3%)となっている。

在留資格別にみると、『利用したい』の割合は、留学(大学・大学院)と家族滞在(それぞれ67.4%)が最も高く、次いで、高度専門職(64.3%)となっている。

年齢別にみると、『利用したい』の割合は、30歳～39歳(60.8%)が最も高く、次いで、20歳～29歳(57.2%)、60歳～69歳(57.1%)となっている。

【図表 70 語学学習アプリ(属性特徴)】

		n						(%)		
			ぜひ利用したい	やや利用したい	どちらともいえない	あまり利用したくない	まったく利用したくない	無回答	利用したい	利用したくない
全体		772	236	203	113	48	38	134	439	86
		100	30.6	26.3	14.6	6.2	4.9	17.4	56.9	11.1
国籍・地域	中国	211	27.0	36.0	9.5	5.7	7.1	14.7	63.0	12.8
	韓国	20	10.0	45.0	10.0	0	10.0	25.0	55.0	10.0
	ベトナム	112	28.6	21.4	23.2	1.8	2.7	22.3	50.0	4.5
	ネパール	78	46.2	14.1	2.6	1.3	2.6	33.3	60.3	3.9
	台湾	43	27.9	34.9	23.3	7.0	2.3	4.7	62.8	9.3
	フィリピン	45	42.2	17.8	15.6	6.7	4.4	13.3	60.0	11.1
	アメリカ	31	35.5	19.4	29.0	12.9	0	3.2	54.9	12.9
	インドネシア	28	32.1	21.4	17.9	3.6	0	25.0	53.5	3.6
	ミャンマー	29	37.9	13.8	13.8	0	0	34.5	51.7	0
	フランス	14	14.3	14.3	21.4	21.4	28.6	0	28.6	50.0
その他	159	27.7	26.4	15.7	11.9	5.7	12.6	54.1	17.6	
在留資格	留学(大学・大学院)	190	35.3	32.1	10.5	7.4	6.8	7.9	67.4	14.2
	留学(日本語学校)	72	31.9	19.4	13.9	8.3	4.2	22.2	51.3	12.5
	留学(専門学校、その他)	23	34.8	21.7	8.7	8.7	4.3	21.7	56.5	13.0
	永住者	64	29.7	18.8	10.9	4.7	4.7	31.3	48.5	9.4
	特別永住者	4	0	25.0	0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0
	技術・人文知識・国際業務	101	26.7	28.7	20.8	8.9	5.0	9.9	55.4	13.9
	技能実習	56	26.8	19.6	23.2	1.8	1.8	26.8	46.4	3.6
	特定技能	59	25.4	20.3	18.6	0	3.4	32.2	45.7	3.4
	日本人の配偶者等	42	19.0	35.7	16.7	4.8	7.1	16.7	54.7	11.9
	家族滞在	49	42.9	24.5	12.2	8.2	2.0	10.2	67.4	10.2
	高度専門職	14	35.7	28.6	7.1	7.1	7.1	14.3	64.3	14.2
経営・管理	20	15.0	45.0	15.0	0	5.0	20.0	60.0	5.0	
その他の資格	74	31.1	24.3	16.2	6.8	4.1	17.6	55.4	10.9	
年齢	18歳～19歳	18	22.2	33.3	22.2	5.6	11.1	5.6	55.5	16.7
	20歳～29歳	378	34.7	22.5	14.6	5.8	5.8	16.7	57.2	11.6
	30歳～39歳	225	28.4	32.4	14.2	7.1	3.6	14.2	60.8	10.7
	40歳～49歳	74	33.8	20.3	17.6	9.5	2.7	16.2	54.1	12.2
	50歳～59歳	38	13.2	34.2	15.3	5.3	5.3	36.8	47.4	10.6
	60歳～69歳	21	19.0	38.1	14.3	0	0	28.6	57.1	0
	70歳～79歳	14	14.3	21.4	23.6	0	14.3	21.4	35.7	14.3
	80歳以上	2	0	0	0	0	0	100.0	0	0

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■オンラインで学べるサービス

全体では、『利用したい』は55.8%となっており、『利用したくない』は11.4%となっている。

国籍・地域別にみると、『利用したい』の割合は、アメリカ(77.5%)が最も高く、次いで、台湾(72.1%)、中国(61.6%)となっている。

在留資格別にみると、『利用したい』の割合は、高度専門職(71.4%)が最も高く、次いで、留学(大学・大学院)(67.4%)、技術・人文知識・国際業務(62.4%)となっている。

年齢別にみると、『利用したい』の割合は、40歳～49歳(63.5%)が最も高く、次いで、20歳～29歳(58.2%)、30歳～39歳(55.5%)となっている。

【図表 71 オンラインで学べるサービス(属性特徴)】

	n	(%)								
		ぜひ利用したい	やや利用したい	どちらともいえない	あまり利用したくない	まったく利用したくない	無回答	利用したい	利用したくない	
全体	772	201	230	119	38	50	134	431	88	
	100	26.0	29.8	15.4	4.9	6.5	17.4	55.8	11.4	
国籍・地域	中国	211	26.1	35.5	13.3	4.3	6.2	14.7	61.6	10.5
	韓国	20	20.0	25.0	10.0	10.0	10.0	25.0	45.0	20.0
	ベトナム	112	17.0	26.8	21.4	4.5	6.3	24.1	43.8	10.8
	ネパール	78	35.9	21.8	5.1	1.3	1.3	34.6	57.7	2.6
	台湾	43	30.2	41.9	9.3	9.3	9.3	0	72.1	18.6
	フィリピン	45	24.4	35.5	24.4	2.2	2.2	13.3	57.7	17.4
	アメリカ	31	32.3	45.2	12.9	3.2	3.2	3.2	77.5	6.4
	インドネシア	28	39.3	14.3	17.9	0	3.6	25.0	53.6	3.6
	ミャンマー	29	34.5	13.8	13.8	3.4	3.4	31.0	48.3	6.8
	フランス	14	21.4	28.6	7.1	7.1	35.7	0	50.0	42.8
その他	159	22.6	27.7	20.1	8.2	8.8	12.6	50.3	17.0	
在留資格	留学(大学・大学院)	190	33.2	34.7	15.3	5.3	4.7	7.4	67.4	10.0
	留学(日本語学校)	72	20.8	29.2	18.1	4.2	6.9	20.8	50.0	11.1
	留学(専門学校、その他)	23	13.0	26.1	17.4	8.7	4.3	30.4	39.1	13.0
	永住者	64	23.4	29.7	10.9	0	9.4	26.6	53.1	9.4
	特別永住者	4	0	25.0	25.0	50.0	0	0	25.0	50.0
	技術・人文知識・国際業務	101	28.7	35.7	12.9	5.0	6.9	12.9	62.4	11.9
	技能実習	56	23.2	21.4	25.0	1.8	5.4	23.2	44.6	17.2
	特定技能	59	27.1	20.3	11.9	1.7	6.8	32.2	47.4	8.5
	日本人の配偶者等	42	9.5	33.3	16.7	16.7	7.1	16.7	42.8	23.8
	家族滞在	49	30.6	26.5	16.3	8.2	6.1	12.2	57.1	14.3
高度専門職	14	21.4	50.0	0	0	7.1	21.4	71.4	17.1	
経営・管理	20	15.0	35.0	20.0	0	20.0	10.0	50.0	20.0	
その他の資格	74	27.0	25.7	16.2	4.1	5.4	21.6	52.7	9.5	
年齢	18歳～19歳	18	11.1	38.9	22.2	11.1	11.1	5.6	50.0	22.2
	20歳～29歳	378	28.8	29.4	15.6	4.0	6.1	16.1	58.2	10.1
	30歳～39歳	225	25.3	30.2	16.4	5.3	6.2	16.4	55.5	11.5
	40歳～49歳	74	31.1	32.4	9.5	6.8	5.4	14.9	63.5	11.2
	50歳～59歳	38	10.5	26.3	18.4	2.6	7.9	34.2	36.8	10.5
	60歳～69歳	21	4.8	33.3	14.3	9.5	14.3	23.8	38.1	23.8
	70歳～79歳	14	28.6	21.4	14.3	7.1	7.1	21.4	50.0	14.2
	80歳以上	2	0	0	0	0	0	100.0	0	0

■ ボランティアに直接安く教えてもらえる教室

全体では、『利用したい』は51.3%となっており、『利用したくない』は16.3%となっている。

国籍・地域別にみると、『利用したい』の割合は、アメリカ(70.9%)が最も高く、次いで、台湾(60.5%)、ネパール(58.9%)となっている。

在留資格別にみると、『利用したい』の割合は、サンプル数の少ない特別永住者を除き、家族滞在(61.2%)が最も高く、次いで、留学(大学・大学院)、技術・人文知識・国際業務(それぞれ58.4%)となっている。

年齢別にみると、『利用したい』の割合は、50歳～59歳(57.8%)が最も高く、次いで、30歳～39歳(52.9%)、40歳～49歳(52.7%)となっている。

【図表 72 ボランティアに直接安く教えてもらえる教室(属性特徴)】

		n						(%)		
			ぜひ利用したい	やや利用したい	どちらともいえない	あまり利用したくない	まったく利用したくない	無回答	利用したい	利用したくない
全体		772	194	202	121	55	71	129	396	126
		100	25.1	26.2	15.7	7.1	9.2	16.7	51.3	16.3
国籍・地域	中国	211	21.3	29.9	16.6	7.6	9.5	15.2	51.2	17.1
	韓国	20	25.0	20.0	20.0	5.0	10.0	20.0	45.0	15.0
	バングラ	112	25.9	20.0	18.8	5.4	8.0	23.2	44.7	15.4
	ネパール	78	41.0	17.9	2.6	2.6	1.3	34.6	58.9	3.9
	台湾	43	18.6	41.9	16.3	9.3	14.0	0	60.5	23.3
	フィリピン	45	13.3	33.3	20.0	13.3	8.9	11.1	46.6	22.2
	アメリカ	31	41.9	29.0	12.9	3.2	12.9	0	70.9	16.1
	インドネシア	28	21.4	25.0	17.9	10.7	3.6	21.4	46.4	14.3
	ミャンマー	29	27.6	13.3	17.2	0	6.9	34.5	41.4	16.9
	フランス	14	21.4	21.4	14.3	14.3	28.6	0	42.8	42.9
その他	159	23.3	27.7	17.0	8.8	11.3	11.9	51.0	20.1	
在留資格	留学(大学・大学院)	190	26.8	31.6	16.8	10.5	7.4	6.8	58.4	17.9
	留学(日本語学校)	72	26.4	22.2	15.3	1.4	9.7	25.0	48.6	11.1
	留学(専門学校、その他)	23	8.7	30.4	8.7	13.0	8.7	30.4	39.1	21.7
	永住者	64	21.9	21.9	10.9	4.7	12.5	28.1	43.8	17.2
	特別永住者	4	25.0	50.0	0	0	0	25.0	75.0	0
	技術・人文知識・国際業務	101	31.7	26.7	14.9	5.9	8.9	11.9	58.4	14.8
	技能実習	56	17.9	14.3	21.4	10.7	10.7	25.0	32.2	21.4
	特定技能	59	15.3	22.0	15.3	6.8	10.2	30.5	37.3	0
	日本人の配偶者等	42	21.4	35.7	11.9	7.1	14.3	9.5	57.1	21.4
	家族滞在	49	38.8	22.4	20.4	4.1	10.2	4.1	61.2	14.3
	高度専門職	14	35.7	21.4	21.4	0	7.1	14.3	57.1	7.1
	経営・管理	20	5.0	20.0	35.0	5.0	20.0	15.0	25.0	25.0
	その他の資格	74	27.0	28.4	10.8	8.1	4.1	21.6	55.4	12.2
年齢	18歳～19歳	18	22.2	16.7	22.2	11.1	22.2	5.6	38.9	33.3
	20歳～29歳	378	22.5	23.6	16.7	7.4	8.5	16.4	51.1	15.9
	30歳～39歳	225	28.9	24.0	14.2	8.4	8.0	16.4	52.9	16.4
	40歳～49歳	74	24.3	28.4	16.2	6.8	8.1	16.2	52.7	14.9
	50歳～59歳	38	28.9	28.9	7.9	0	10.5	23.7	57.8	10.5
	60歳～69歳	21	28.6	14.3	23.8	4.8	14.3	14.3	42.9	19.1
	70歳～79歳	14	21.4	14.3	14.3	0	28.6	21.4	35.7	28.6
	80歳以上	2	50.0	0	0	0	0	50.0	50.0	0

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■夜や土曜日・日曜日など仕事がない時間に行ける教室

全体では、『利用したい』は48.0%となっており、『利用したくない』は17.6%となっている。

国籍・地域別にみると、『利用したい』の割合は、アメリカ(64.5%)が最も高く、次いで、フランス(57.2%)、台湾(55.9%)となっている。

在留資格別にみると、『利用したい』の割合は、技術・人文知識・国際業務(61.4%)が最も高く、次いで、高度専門職(57.2%)、家族滞在(53.0%)となっている。

年齢別にみると、『利用したい』の割合は、30歳～39歳(53.3%)が最も高く、次いで、20歳～29歳(50.3%)、50歳～59歳(47.4%)となっている。

【図表 73 夜や土曜日・日曜日など仕事がない時間に行ける教室(属性特徴)】

	n	(%)								
		ぜひ利用したい	やや利用したい	どちらともいえない	あまり利用したくない	まったく利用したくない	無回答	利用したい	利用したくない	
全体	772	175	195	129	61	75	137	370	136	
	100	22.7	25.3	16.7	7.9	9.7	17.7	48.0	17.6	
国籍・地域	中国	211	15.6	26.5	17.5	10.4	11.8	18.0	42.1	22.2
	韓国	20	15.0	30.0	15.0	10.0	10.0	20.0	45.0	20.0
	ベトナム	112	29.5	23.2	13.4	6.3	7.1	20.5	52.7	13.4
	ネパール	78	32.1	17.9	3.8	7.7	1.3	37.2	50.0	9.0
	台湾	43	14.0	47.9	23.3	7.0	11.6	2.3	55.9	18.6
	フィリピン	45	24.4	22.2	24.4	13.3	6.7	8.9	46.6	20.0
	アメリカ	31	29.0	35.5	19.4	6.5	6.5	3.2	64.5	13.0
	インドネシア	28	28.6	21.4	10.7	10.7	3.6	25.0	50.0	14.3
	ミャンマー	29	27.6	13.8	17.2	0	6.9	34.5	41.4	6.9
	フランス	14	28.6	28.6	0	7.1	35.7	0	57.2	42.8
	その他	159	21.4	25.2	22.6	5.7	13.2	11.9	46.6	18.9
	在留資格	留学(大学・大学院)	190	22.6	29.5	19.5	10.5	9.5	8.4	52.1
留学(日本語学校)		72	23.6	25.0	15.3	1.4	9.7	25.0	48.6	11.1
留学(専門学校、その他)		23	17.4	26.1	8.7	13.0	4.3	30.4	43.5	17.3
永住者		64	20.3	18.8	14.1	3.1	14.1	29.7	39.1	17.2
特別永住者		4	0	50.0	0	25.0	0	25.0	50.0	25.0
技術・人文知識・国際業務		101	29.7	31.7	14.9	4.0	5.9	13.9	61.4	9.9
技能実習		56	25.0	21.4	14.3	7.1	7.1	25.0	46.4	14.2
特定技能		59	27.1	11.9	18.6	6.8	10.2	25.4	39.0	17.0
日本人の配偶者等		42	16.7	23.8	21.4	7.1	21.4	9.5	40.5	28.5
家族滞在		49	26.5	26.5	16.3	10.2	10.2	10.2	53.0	20.4
高度専門職		14	28.6	28.6	14.3	7.1	7.1	14.3	57.2	14.2
経営・管理		20	10.0	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0	30.0	30.0
その他の資格	74	14.9	24.3	17.6	14.9	6.8	21.6	39.2	21.7	
年齢	18歳～19歳	18	5.6	22.2	16.7	27.8	22.2	5.6	27.8	50.0
	20歳～29歳	378	24.1	26.2	16.7	7.7	8.7	16.7	50.3	16.4
	30歳～39歳	225	25.3	28.0	14.7	7.6	8.0	16.4	53.3	15.6
	40歳～49歳	74	18.9	16.2	27.0	8.1	10.8	18.9	35.1	18.9
	50歳～59歳	38	21.1	26.3	15.8	0	7.9	28.9	47.4	7.9
	60歳～69歳	21	9.5	23.8	19.0	9.5	14.3	23.8	33.3	23.8
	70歳～79歳	14	7.1	14.3	0	14.3	42.9	21.4	21.4	57.2
	80歳以上	2	0	0	0	0	0	100.0	0	0

■職場が行う教室

全体では、『利用したい』は37.8%となっており、『利用したくない』は17.9%となっている。

国籍・地域別にみると、『利用したい』の割合は、フィリピン(55.6%)が最も高く、次いで、ネパール(50.0%)、アメリカ(48.4%)となっている。

在留資格別にみると、『利用したい』の割合は、技術・人文知識・国際業務(53.5%)が最も高く、次いで、高度専門職(50.0%)、留学(大学・大学院)(44.2%)となっている。

年齢別にみると、『利用したい』の割合は、サンプル数の少ない80歳以上を除き、30歳～39歳(43.2%)が最も高く、次いで、20歳～29歳(39.6%)、40歳～49歳(35.1%)となっている。

【図表 74 職場が行う教室(属性特徴)】

		n	ぜひ利用したい	やや利用したい	どちらともいえない	あまり利用したくない	まったく利用したくない	無回答	利用したい	利用したくない
全体		772	150	142	189	61	77	153	292	138
		100	19.4	18.4	24.5	7.9	10.0	19.8	37.8	17.9
国籍・地域	中国	211	10.4	21.3	24.2	10.4	15.6	18.0	31.7	26.0
	韓国	20	20.0	15.0	20.0	10.0	10.0	25.0	35.0	20.0
	ベトナム	112	16.1	17.9	22.3	9.8	5.4	28.6	34.0	15.2
	ネパール	78	33.3	16.7	5.1	6.4	1.3	37.2	50.0	7.7
	台湾	43	11.6	23.3	39.5	11.6	11.6	2.3	34.9	23.2
	フィリピン	45	26.7	28.9	22.2	6.7	6.7	8.9	55.6	13.4
	アメリカ	31	32.3	16.1	35.5	0	12.9	3.2	48.4	12.9
	インドネシア	28	21.4	14.3	25.0	14.3	0	25.0	35.7	14.3
	ミャンマー	29	27.6	6.9	13.8	6.9	3.4	41.4	34.5	10.3
	フランス	14	7.1	14.3	42.9	0	35.7	0	21.4	35.7
	その他	159	23.3	15.7	31.4	4.4	10.7	14.5	39.0	15.1
在留資格	留学(大学・大学院)	190	21.6	22.6	25.3	9.5	12.6	8.4	44.2	22.1
	留学(日本語学校)	72	20.8	18.1	23.6	4.2	8.3	25.0	38.9	12.5
	留学(専門学校、その他)	23	17.4	21.7	17.4	4.3	8.7	30.4	39.1	13.0
	永住者	64	18.8	15.6	17.2	4.7	10.9	32.8	34.4	15.6
	特別永住者	4	0	25.0	0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0
	技術・人文知識・国際業務	101	29.7	23.8	20.8	6.9	5.0	13.9	53.5	11.9
	技能実習	56	12.5	21.4	25.0	5.4	7.1	28.6	33.9	12.5
	特定技能	59	15.3	18.6	23.7	6.8	1.7	33.9	33.9	8.5
	日本人の配偶者等	42	14.3	7.1	33.3	7.1	19.0	19.0	21.4	26.1
	家族滞在	49	18.4	18.4	22.4	12.2	16.3	12.2	36.8	28.5
	高度専門職	14	21.4	28.6	28.6	0	7.1	14.3	50.0	7.1
経営・管理	20	0	0	35.0	20.0	25.0	20.0	0	45.0	
その他の資格	74	16.2	9.5	32.4	10.8	6.8	24.3	25.7	17.6	
年齢	18歳～19歳	18	5.6	11.1	27.8	22.2	27.8	5.6	16.7	50.0
	20歳～29歳	378	20.6	19.0	24.1	7.7	10.1	18.5	39.6	17.8
	30歳～39歳	225	23.6	19.6	24.9	7.1	8.0	16.9	43.2	15.1
	40歳～49歳	74	8.1	27.0	25.7	6.8	6.8	25.7	35.1	13.6
	50歳～59歳	38	18.4	5.3	23.7	10.5	5.3	36.8	23.7	15.8
	60歳～69歳	21	9.5	9.5	33.3	9.5	14.3	23.8	19.0	23.8
	70歳～79歳	14	7.1	0	14.3	7.1	42.9	28.6	7.1	50.0
	80歳以上	2	50.0	0	0	0	0	50.0	50.0	0

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■授業料が高くても専門的に教えてくれる語学学校や大学

全体では、『利用したい』は25.5%となっており、『利用したくない』は40.7%となっている。

国籍・地域別にみると、『利用したい』の割合は、アメリカ(48.4%)が最も高く、次いで、ネパール(41.0%)、ミャンマー(34.5%)となっている。

在留資格別にみると、『利用したい』の割合は、留学(日本語学校)(59.7%)が最も高く、次いで、留学(専門学校、その他)(43.4%)、留学(大学・大学院)(31.6%)となっている。

年齢別にみると、『利用したい』の割合は、サンプル数の少ない80歳以上を除き40歳～49歳(33.8%)、20歳～29歳(29.4%)、60歳～69歳(28.6%)の順で高くなっている。

【図表 75 授業料が高くても専門的に教えてくれる語学学校や大学(属性特徴)】

		n	(%)							
			ぜひ利用したい	やや利用したい	どちらともいえない	あまり利用したくない	まったく利用したくない	無回答	利用したい	利用したくない
全体		772	81	116	124	152	162	137	197	314
		100	10.5	15.0	16.1	19.7	21.0	17.7	25.5	40.7
国籍・地域	中国	211	5.2	16.6	17.1	23.7	20.4	17.1	21.8	44.1
	韓国	20	10.0	20.0	10.0	10.0	20.0	30.0	30.0	30.0
	ベトナム	112	4.5	5.4	18.8	20.5	20.5	30.4	9.9	41.0
	ネパール	78	21.8	19.2	9.0	16.7	3.8	29.5	41.0	20.5
	台湾	43	9.3	16.3	30.2	20.9	23.3	0	25.6	44.2
	フィリピン	45	4.4	8.9	13.3	33.3	28.9	11.1	13.3	62.2
	アメリカ	31	19.4	29.0	12.9	16.1	19.4	3.2	48.4	35.5
	インドネシア	28	7.1	7.1	10.7	25.0	28.6	21.4	14.2	53.6
	ミャンマー	29	27.6	16.9	20.7	3.4	10.3	31.0	34.5	13.7
	フランス	14	7.1	14.3	7.1	0	71.4	0	21.4	71.4
	その他	159	13.8	18.9	15.7	17.0	23.9	10.7	32.7	40.9
在留資格	留学(大学・大学院)	190	12.1	19.5	17.4	23.7	20.5	6.8	31.6	44.2
	留学(日本語学校)	72	36.1	23.6	12.5	1.4	6.9	19.4	59.7	8.3
	留学(専門学校、その他)	23	30.4	13.0	17.4	8.7	17.4	13.0	43.4	26.1
	永住者	64	1.6	10.9	14.1	17.2	23.4	32.8	12.5	40.6
	特別永住者	4	0	25.0	0	0	25.0	50.0	25.0	25.0
	技術・人文知識・国際業務	101	4.0	14.9	25.7	21.8	20.8	12.9	18.9	42.6
	技能実習	56	1.8	8.9	16.1	21.4	23.2	28.6	10.7	44.6
	特定技能	59	3.4	0	16.9	20.3	25.4	33.9	3.4	45.7
	日本人の配偶者等	42	4.8	19.0	7.1	31.0	26.2	11.9	23.8	57.2
	家族滞在	49	14.3	12.2	14.3	22.4	22.4	14.3	26.5	44.8
	高度専門職	14	0	23.6	7.1	21.4	28.6	14.3	28.6	50.0
経営・管理	20	0	25.0	15.0	15.0	25.0	20.0	25.0	40.0	
その他の資格	74	9.5	10.8	12.2	23.0	23.0	21.6	20.3	46.0	
年齢	18歳～19歳	18	5.6	22.2	11.1	22.2	27.8	11.1	27.8	50.0
	20歳～29歳	378	13.5	15.9	16.9	17.7	20.6	15.3	29.4	38.3
	30歳～39歳	225	6.7	11.6	14.7	27.1	22.7	17.3	18.3	49.8
	40歳～49歳	74	9.5	24.3	20.3	12.2	12.2	21.6	33.8	24.4
	50歳～59歳	38	13.2	5.3	13.2	18.4	18.4	31.6	18.5	36.8
	60歳～69歳	21	4.8	23.8	9.0	14.3	19.0	19.0	28.6	33.3
	70歳～79歳	14	0	0	7.1	7.1	50.0	28.6	7.1	57.1
	80歳以上	2	50.0	0	0	0	0	50.0	50.0	0

■子どもを預かるサービスのある教室や学校

全体では、『利用したい』は20.0%となっており、『利用したくない』は30.7%となっている。

国籍・地域別にみると、『利用したい』の割合は、ネパール(39.7%)が最も高く、次いで、フィリピン(22.3%)、ミャンマー(20.6%)となっている。

在留資格別にみると、『利用したい』の割合は、家族滞在(40.8%)が最も高く、次いで、留学(専門学校、その他)(30.4%)、技術・人文知識・国際業務(23.8%)となっている。

年齢別にみると、『利用したい』の割合は30歳～39歳(25.8%)が最も高く、次いで、20歳～29歳(20.4%)、40歳～49歳(17.6%)となっている。

同居人別にみると、『利用したい』の割合は、子ども(42.4%)が最も高く、次いで、配偶者・パートナーの親(33.3%)、日本人以外の配偶者・パートナー(28.0%)となっている。

【図表 76 子どもを預かるサービスのある教室や学校(属性特徴)】

	n	ぜひ利用したい	やや利用したい	どちらともいえない	あまり利用したくない	まったく利用したくない	無回答	利用したい	利用したくない
全体	772	76	79	213	78	159	167	155	237
	100	9.8	10.2	27.6	10.1	20.6	21.6	20.0	30.7
国籍・地域									
中国	211	6.2	11.4	24.2	12.8	25.1	20.4	17.6	37.9
韓国	20	10.0	5.0	25.0	15.0	15.0	30.0	15.0	30.0
ベトナム	112	9.8	9.8	25.0	10.7	16.1	28.6	19.6	26.8
ネパール	78	25.6	14.1	2.6	12.8	5.1	39.7	39.7	17.9
台湾	43	4.7	9.3	44.2	18.6	20.9	2.3	14.0	39.5
フィリピン	45	6.7	15.6	31.1	4.4	24.4	17.8	22.3	28.8
アメリカ	31	6.5	12.9	41.9	0	35.5	3.2	19.4	35.5
インドネシア	28	7.1	10.7	35.7	10.7	10.7	25.0	17.8	21.4
ミャンマー	29	17.2	3.4	27.6	6.9	10.3	34.5	20.6	17.2
フランス	14	7.1	7.1	57.1	0	28.6	0	14.2	28.6
その他	159	8.8	7.5	34.6	6.9	25.2	17.0	16.3	32.1
在留資格									
留学(大学・大学院)	190	8.4	10.0	30.0	15.8	24.7	11.1	18.4	40.5
留学(日本語学校)	72	13.9	9.7	26.4	4.2	20.8	25.0	23.6	25.0
留学(専門学校、その他)	23	17.4	13.0	17.4	8.7	13.0	30.4	30.4	21.7
永住者	64	9.4	6.3	20.3	6.3	17.2	40.6	15.7	23.5
特別永住者	4	0	25.0	0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0
技術・人文知識・国際業務	101	9.9	13.9	31.7	8.9	20.8	14.9	23.8	29.7
技能実習	56	3.6	5.4	30.4	14.3	17.9	28.6	9.0	32.2
特定技能	59	1.7	8.5	23.7	5.1	25.4	35.6	10.2	30.5
日本人の配偶者等	42	7.1	11.9	31.0	7.1	23.8	19.0	19.0	30.9
家族滞在	49	24.5	16.3	26.5	4.1	14.3	14.3	40.8	18.4
高度専門職	14	0	21.4	35.7	14.3	14.3	14.3	21.4	28.6
経営・管理	20	5.0	5.0	20.0	20.0	30.0	20.0	10.0	50.0
その他の資格	74	13.5	8.1	29.7	8.1	14.9	25.7	21.6	23.0
年齢									
18歳～19歳	18	5.6	0	33.3	22.2	27.8	11.1	5.6	50.0
20歳～29歳	378	10.3	10.1	26.2	11.1	22.8	19.6	20.4	33.9
30歳～39歳	225	12.0	13.8	30.2	8.4	16.4	19.1	25.8	24.8
40歳～49歳	74	8.1	9.5	33.8	8.1	17.6	23.0	17.6	25.7
50歳～59歳	38	0	5.3	26.3	7.9	15.8	44.7	5.3	23.7
60歳～69歳	21	4.8	4.8	14.3	14.3	28.6	33.3	9.6	42.9
70歳～79歳	14	7.1	0	14.3	7.1	42.9	28.6	7.1	50.0
80歳以上	2	0	0	0	0	0	100.0	0	0
同居人									
いない(ひとり住んでいる)	357	7.6	7.6	31.1	10.9	23.8	19.0	15.2	34.7
日本人の配偶者・パートナー	96	7.3	10.4	33.3	5.2	20.8	22.9	17.7	26.0
日本人以外の配偶者・パートナー	139	15.1	12.9	23.0	9.4	20.9	18.7	28.0	30.3
子ども	99	20.2	22.2	19.2	5.1	7.1	26.3	42.4	12.2
あなたの親	6	0	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	50.0
配偶者・パートナーの親	30	20.0	13.3	23.3	16.7	16.7	10.0	33.3	33.4
兄弟姉妹	8	0	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	37.5
その他の親族	5	0	0	20.0	20.0	0	60.0	0	20.0
友人・知人	131	9.9	12.2	24.4	10.7	16.0	26.7	22.1	26.7

〔5〕日本語を学ぶことができない理由(複数回答)

「現在は日本語を学習していないが、できれば学習したい」と回答した人に、日本語を学ぶことができない理由をたずねたところ、「忙しくて勉強する時間がないから」(60.7%)が最も多く、次いで、「近くに学べる場所がないから」(32.7%)、「日本語教室や日本語学校の情報がないから」(26.1%)となっている。

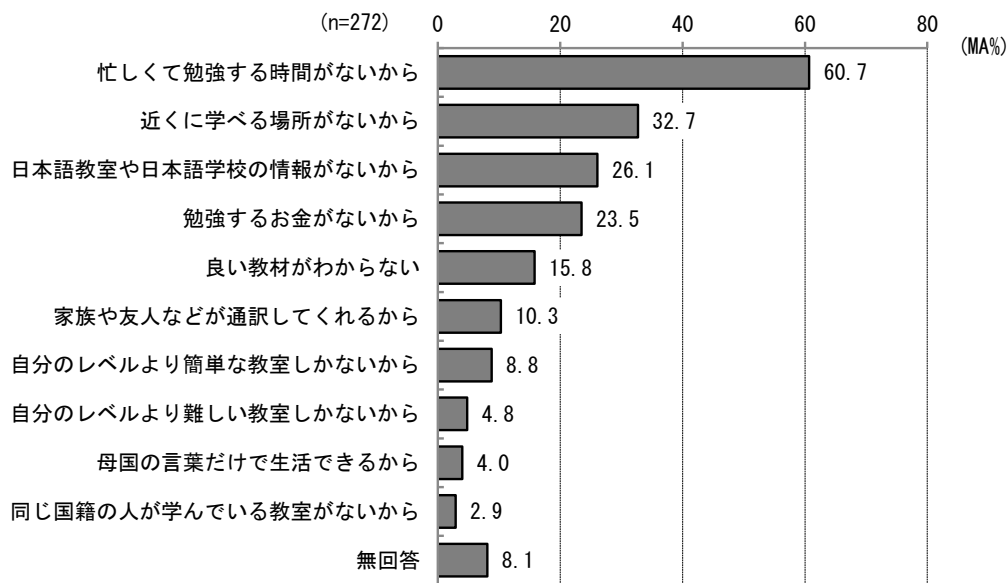
国籍・地域別にみると、すべての国籍・地域で「忙しくて勉強する時間がないから」の割合が最も高くなっている。

在留資格別にみると、多くの在留資格で「忙しくて勉強する時間がないから」の割合が高くなっているが、家族滞在では、「近くに学べる場所がないから」(62.1%)が最も高くなっている。

年齢別にみると、ほとんどの年代で「忙しくて勉強する時間がないから」の割合が高くなっているが、20歳～29歳では、「良い教材がわからない」(25.6%)が他の年代と比べ、高くなっている。

就労形態別にみると、「仕事をしていない(仕事を探している)」は「近くに学べる場所がないから」(46.9%)と「勉強するお金がないから」(37.5%)の割合で、他の就労形態と比べ、高くなっている。

【図表 77 日本語を学ぶことができない理由】



【図表 78 日本語を学ぶことができない理由(属性特徴)】

		n	忙しくて勉強する 時間がないから	近くに学べる場所が ないから	日本語教室や 日本語学校の情報が ないから	勉強するお金が ないから	良い教材がわからない	家族や友人などが 通訳してくれるから	簡単なレベルしか ないから	自分のレベルより 難しいから	自分のレベルより 難しいから	生活できる言葉だけで 母国の言葉だけで	学んでいないから 同じ国籍の人が いないから	無回答	(MA%)
全体		272	165	89	71	64	43	28	24	13	11	8	22		
		100	60.7	32.7	26.1	23.5	15.8	10.3	8.8	4.8	4.0	2.9	8.1		
国籍・地域	中国	67	47.8	29.9	16.4	13.4	14.9	13.4	13.4	1.5	4.5	3.0	13.4		
	韓国	10	40.0	30.0	20.0	30.0	0	10.0	0	10.0	10.0	0	20.0		
	ベトナム	39	64.1	38.5	30.8	23.1	12.8	5.1	0	7.7	2.6	10.3	15.4		
	ネパール	25	68.0	48.0	20.0	20.0	32.0	16.0	4.0	4.0	0	0	4.0		
	台湾	15	86.7	33.3	33.3	20.0	13.3	20.0	13.3	0	0	0	0		
	フィリピン	21	57.1	28.6	28.6	38.1	14.3	4.8	0	0	0	0	0		
	アメリカ	10	70.0	30.0	50.0	30.0	20.0	10.0	30.0	0	0	0	0		
	インドネシア	14	71.4	14.3	35.7	28.6	28.6	0	7.1	14.3	0	0	0	7.1	
	ミャンマー	4	50.0	25.0	0	25.0	25.0	0	0	25.0	25.0	0	25.0		
	フランス	9	66.7	44.4	33.3	22.2	0	22.2	11.1	0	0	0	11.1		
	その他	57	63.2	29.8	29.8	29.8	14.0	8.8	12.3	7.0	8.8	1.8	1.8		
在留資格	留学(大学・大学院)	43	72.1	30.2	20.9	18.6	16.3	2.3	11.6	7.0	2.3	2.3	4.7		
	留学(日本語学校)	1	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	留学(専門学校、その他)	1	0	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0		
	永住者	37	48.6	24.3	18.9	16.2	2.7	16.2	8.1	0	8.1	0	16.2		
	特別永住者	4	50.0	0	0	25.0	0	0	0	0	0	0	25.0		
	技術・人文知識・国際業務	48	75.0	29.2	22.9	29.2	10.4	2.1	12.5	0	6.3	2.1	6.3		
	技能実習	14	57.1	7.1	21.4	28.6	21.4	0	0	7.1	0	0	14.3		
	特定技能	23	52.2	30.4	30.4	17.4	21.7	4.3	0	8.7	0	4.3	17.4		
	日本人の配偶者等	21	61.9	42.9	28.6	23.8	9.5	33.3	9.5	4.8	4.8	0	4.8		
	家族滞在	29	34.5	62.1	41.4	34.5	24.1	17.2	3.4	10.3	0	6.9	6.9		
	高度専門職	5	40.0	20.0	0	0	20.0	20.0	20.0	20.0	0	0	20.0		
経営・管理	9	55.6	33.3	33.3	11.1	22.2	22.2	22.2	11.1	0	0	0			
その他の資格	35	71.4	37.1	34.3	31.4	25.7	11.4	8.6	2.9	8.6	5.7	0			
年齢	18歳～19歳	3	100.0	0	33.3	66.7	0	0	0	0	0	0	0		
	20歳～29歳	90	61.1	33.3	26.7	24.4	25.6	2.2	7.8	5.6	2.2	2.2	8.9		
	30歳～39歳	103	68.0	35.0	31.1	26.2	12.6	7.8	9.7	5.8	4.9	3.9	4.9		
	40歳～49歳	34	58.8	38.2	11.8	11.8	11.8	23.5	5.9	2.9	5.9	2.9	8.8		
	50歳～59歳	22	31.8	22.7	18.2	4.5	9.1	27.3	13.6	0	4.5	0	13.6		
	60歳～69歳	11	63.6	18.2	27.3	54.5	9.1	36.4	0	0	9.1	0	0		
	70歳～79歳	7	14.3	14.3	28.6	28.6	0	0	28.6	14.3	0	0	42.9		
	80歳以上	1	100.0	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0		
就労形態	正社員(経営者を含む)	81	66.7	24.7	21.0	17.3	12.3	6.2	13.6	3.7	7.4	2.5	7.4		
	派遣社員・契約社員	53	64.2	32.1	28.3	26.4	24.5	5.7	3.8	5.7	1.9	1.9	9.4		
	自営業(家族従業者、自由業、個人事業主)	20	70.0	45.0	30.0	10.0	10.0	25.0	5.0	0	5.0	0	0		
	アルバイト・パート、内職	42	54.8	35.7	28.6	31.0	14.3	19.0	9.5	4.8	4.8	0	7.1		
	仕事をしていない(仕事を探している)	32	46.9	46.9	31.3	37.5	15.6	6.3	12.5	3.1	0	3.1	3.1		
	仕事をしていない(仕事を探していない)	26	57.7	26.9	23.1	15.4	15.4	15.4	7.7	11.5	3.8	7.7	7.7		

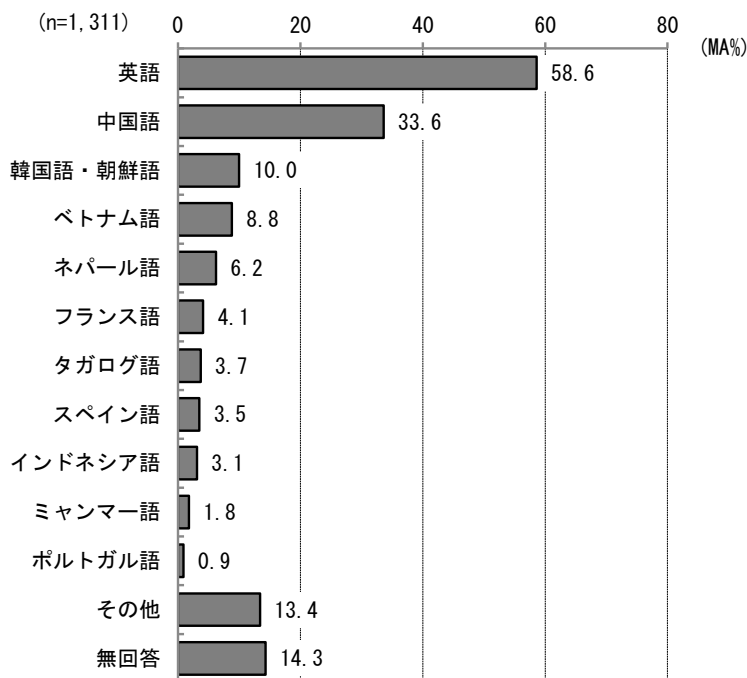
〔6〕日本語以外の会話可能言語(複数回答)

日本語以外で日常会話のできる言語は、「英語」(58.6%)が最も多く、次いで、「中国語」(33.6%)、「韓国語・朝鮮語」(10.0%)となっている。

国籍・地域別にみると、「英語」の割合は、フィリピン(98.1%)が最も高く、次いで、アメリカ(95.6%)、フランス(88.5%)となっている。

在留資格別にみると、「英語」の割合は、高度専門職(88.0%)が最も高く、次いで、留学(日本語学校)(81.9%)、留学(大学・大学院)(79.8%)となっている。

【図表 79 日本語以外の会話可能言語】



【図表 80 日本語以外の会話可能言語(属性特徴)】

	n	英語	中国語	韓国語・朝鮮語	ベトナム語	ネパール語	フランス語	タガログ語	スペイン語	インドネシア語	ミャンマー語	ポルトガル語	その他	無回答	
全体	1,311	768	440	131	116	81	54	49	46	40	23	12	176	187	
	100	58.6	33.6	10.0	8.8	6.2	4.1	3.7	3.5	3.1	1.8	0.9	13.4	14.3	
国籍・地域	中国	355	61.7	92.7	3.7	0	0	0.8	0	1.1	0	0	0.3	3.1	5.9
	韓国	246	12.6	2.0	39.4	0	0	0.8	0	0	0	0	0	4.9	53.7
	ベトナム	122	25.4	4.9	0	91.0	0	0	0	0	0	0	0	0.8	4.9
	ネパール	83	80.7	0	2.4	0	39.2	0	0	2.4	0	0	0	22.9	8.4
	台湾	73	74.0	91.8	2.7	0	0	2.7	0	1.4	2.7	0	0	16.4	2.7
	フィリピン	53	98.1	3.8	0	0	0	1.9	92.5	11.3	0	0	0	9.4	0
	アメリカ	45	95.6	2.2	4.4	4.4	0	2.2	0	8.9	0	0	0	2.2	2.2
	インドネシア	41	61.0	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	0	2.4	80.5	0	0	14.6	4.9
	ミャンマー	34	67.6	8.8	8.8	0	0	0	0	0	67.6	0	0	2.9	5.9
	フランス	26	88.5	3.8	0	3.8	0	96.2	0	7.7	0	0	0	11.5	0
その他	227	87.7	11.0	4.8	0.4	2.6	8.4	0	12.3	1.3	0	4.8	45.8	4.4	
在留資格	留学(大学・大学院)	252	79.8	62.7	7.5	1.6	7.1	4.0	1.6	3.6	2.0	0.8	0.8	14.7	4.8
	留学(日本語学校)	72	81.9	30.6	4.2	4.2	23.6	1.4	2.8	4.2	1.4	8.3	1.4	15.3	6.9
	留学(専門学校、その他)	24	66.7	29.2	4.2	8.3	11.7	0	4.2	0	0	0	0	25.0	0
	永住者	194	49.0	46.4	11.3	1.0	2.1	6.2	5.7	3.6	0	0	1.0	7.7	11.9
	特別永住者	190	7.4	0	31.1	0	0	0.5	0	0	0.5	0	0	5.3	60.5
	技術・人文知識・国際業務	159	71.7	40.9	3.8	17.6	5.0	6.9	0.6	6.3	2.5	1.9	2.5	20.8	2.5
	技能実習	65	33.8	4.6	1.5	41.5	1.5	0	10.8	0	20.0	6.2	0	12.3	9.2
	特定技能	68	48.5	1.5	2.9	35.3	5.9	0	11.8	0	10.3	10.3	0	2.9	5.9
	日本人の配偶者等	63	77.8	25.4	6.3	4.8	0	11.1	7.9	9.5	4.8	0	0	19.0	4.8
	家族滞在	60	71.7	33.3	3.3	16.7	6.7	8.3	0	5.0	3.3	0	0	13.3	3.3
	高度専門職	25	88.0	48.0	8.0	8.0	0	0	4.0	8.0	0	0	4.0	20.0	4.0
	経営・管理	23	65.2	69.6	4.3	13.0	4.3	8.7	0	4.3	0	0	0	8.7	4.3
	その他の資格	106	78.3	28.3	8.5	7.5	11.3	4.7	8.5	4.7	3.8	0.9	1.9	24.5	4.7

4 情報について

〔1〕生活に必要な情報の入手先(あてはまるもの3つを選択)

生活に必要な情報の入手先は、「インターネット(公的なものでない、民間のホームページなど)」(66.9%)が最も多く、次いで、「SNS(公的なものでない、民間のX、Facebook、LINE、WeChatなど)」(45.1%)、「職場や学校」(24.5%)となっている。

国籍・地域別にみると、ほとんどの国籍・地域で「インターネット(公的なものでない、民間のホームページなど)」や「SNS(公的なものでない、民間のX、Facebook、LINE、WeChatなど)」の割合が高くなっている。また、韓国は「テレビ・ラジオ」(51.6%)が最も高くなっている。

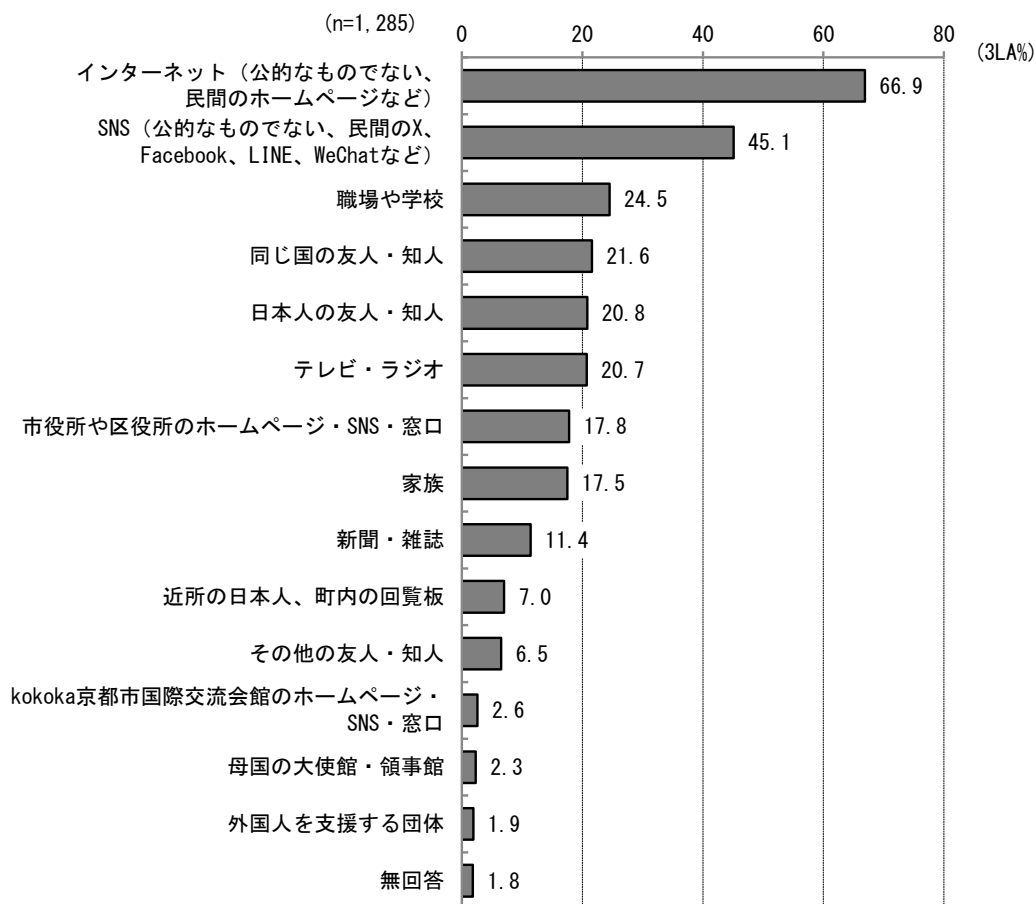
在留資格別にみると、「家族」の割合は、日本人の配偶者等(57.1%)で高くなっており、特別永住者は、「テレビ・ラジオ」(58.5%)が最も高くなっている。

年齢別にみると、59歳以下で「インターネット(公的なものでない、民間のホームページなど)」、60歳以上で「テレビ・ラジオ」の割合が高くなっている。

日本語能力別にみると、①聞く・話す(ほとんど聞き取ることができない、話すことができない)で「SNS(公的なものでない、民間のX、Facebook、LINE、WeChatなど)」の割合が高くなっている。

日本人との交流別にみると、「日本人の友人・知人」の割合は、「親しく交流する人がいる」(32.6%)が最も高くなっている一方、「同じ国の友人・知人」の割合は、「日本人との付き合いはない」(36.3%)が最も高くなっている。

【図表 81 生活に必要な情報の入手先】



Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

【図表 82 生活に必要な情報の入手先(属性特徴)】

(3LA%)

		n	インターネット 民間のホームページなど (公的なものではない)	SNS(公的なものではない、LINE、Facebookなど)	職場や学校	同じ国の友人・知人	日本人の友人・知人	テレビ・ラジオ	市役所や区役所のホームページ・SNS・窓口	家族	新聞・雑誌	近所の日本人、町内の回覧板	その他の友人・知人	kokoka 京都市国際交流会館のホームページ・SNS・窓口	母国の大使館・領事館	外国人を支援する団体	無回答	
全体		1,285	860	580	315	278	267	266	229	225	147	90	84	34	30	25	23	
		100	66.9	45.1	24.5	21.6	20.8	20.7	17.8	17.5	11.4	7.0	6.5	2.6	2.3	1.9	1.8	
国籍・地域	中国	349	77.1	60.7	27.8	32.7	17.5	14.0	16.3	12.3	5.7	8.0	2.6	2.9	1.4	0.3	0.3	
	韓国	244	49.2	23.0	14.3	4.9	20.1	51.6	13.1	27.0	30.3	12.3	3.7	0.4	1.6	0.4	6.1	
	ベトナム	118	78.0	35.6	19.5	34.7	16.1	9.3	3.4	12.7	11.9	1.7	7.6	1.7	5.9	3.4	1.7	
	ネパール	77	59.7	35.1	27.3	26.0	13.0	5.2	24.7	9.1	0	2.6	9.1	3.9	1.3	1.3	2.6	
	台湾	73	75.3	53.4	27.4	19.2	24.7	21.9	23.3	9.6	11.0	6.8	6.8	4.1	0	0	0	
	フィリピン	53	47.2	62.3	30.2	35.8	22.6	9.4	20.8	24.5	1.9	3.8	11.3	7.5	0	7.5	1.9	
	アメリカ	44	81.8	25.0	27.3	4.5	43.2	22.7	29.5	22.7	13.6	6.8	6.8	0	4.5	2.3	0	
	インドネシア	38	55.3	63.2	15.8	26.3	21.1	2.6	18.4	2.6	2.6	0	13.2	0	0	10.5	0	
	ミャンマー	31	41.9	77.4	32.3	35.5	6.5	0	16.1	12.9	0	0	3.2	3.2	3.2	0	3.2	
	フランス	26	92.3	34.6	23.1	3.8	26.9	15.4	34.6	30.8	15.4	7.7	15.4	0	15.4	0	0	
	その他	226	69.5	44.7	30.5	15.0	27.4	15.5	23.9	22.1	7.1	7.1	11.5	4.0	2.7	4.0	0	
在留資格	留学(大学・大学院)	250	79.2	56.0	38.0	33.6	19.2	3.6	20.8	4.0	3.2	3.6	8.0	3.2	0.8	2.4	0.4	
	留学(日本語学校)	67	62.7	53.7	46.3	23.9	19.4	0	19.4	6.0	3.0	0	9.0	4.5	4.5	1.5	0	
	留学(専門学校、その他)	24	58.3	58.3	41.7	25.0	8.3	4.2	25.0	0	0	4.2	4.2	12.5	0	0	0	
	永住者	190	62.6	34.2	22.6	12.6	24.2	39.5	17.4	27.9	15.3	11.6	4.7	2.6	5.3	1.1	1.1	
	特別永住者	188	47.9	21.3	10.1	2.7	17.0	58.5	12.8	27.7	36.2	11.2	4.3	0	0	0	6.4	
	技術・人文知識・国際業務	156	78.8	60.9	26.9	26.9	26.3	9.0	19.2	6.4	5.8	5.8	11.5	1.9	1.3	0	0	
	技能実習	62	53.2	45.2	14.5	24.2	12.9	3.2	11.3	12.9	3.2	4.8	4.8	3.2	3.2	12.9	3.2	
	特定技能	64	53.1	46.9	23.4	29.7	26.6	6.3	7.8	10.9	3.1	3.1	7.8	0	6.3	7.8	1.6	
	日本人の配偶者等	63	77.8	28.6	11.1	14.3	15.9	22.2	23.8	57.1	14.3	4.8	6.3	1.6	0	0	1.6	
	家族滞在	60	65.0	65.0	18.3	35.0	10.0	13.3	13.3	31.7	3.3	10.0	1.7	1.7	3.3	0	3.3	
	高度専門職	24	91.7	54.2	29.2	25.0	29.2	8.3	33.3	4.2	16.7	16.7	4.2	4.2	0	4.2	0	
	経営・管理	22	77.3	50.0	0	22.7	27.3	27.3	22.7	18.2	4.5	13.6	4.5	4.5	4.5	0	0	
	その他の資格	105	73.3	45.7	24.8	24.8	28.6	13.3	21.0	17.1	5.7	4.8	6.7	4.8	2.9	1.9	1.0	
年齢	18歳～19歳	24	70.8	45.8	41.7	20.8	33.3	8.3	8.3	20.8	8.3	0	12.5	0	0	0	0	
	20歳～29歳	462	72.1	57.1	31.6	28.6	18.4	5.2	16.5	8.2	3.7	3.7	6.7	2.6	1.9	3.2	0.4	
	30歳～39歳	333	73.9	53.5	28.5	29.1	21.0	9.6	20.1	16.5	7.2	5.1	9.0	2.7	2.1	2.1	0.9	
	40歳～49歳	148	76.4	43.2	25.0	16.2	18.9	19.6	28.4	21.6	6.8	7.4	2.7	5.4	6.1	0	0.7	
	50歳～59歳	115	70.4	34.8	13.0	7.0	20.9	45.2	16.5	30.4	11.3	10.4	3.5	1.7	0	0.9	3.5	
	60歳～69歳	80	51.3	15.0	11.3	8.8	36.3	56.3	13.8	32.5	23.8	10.0	5.0	1.3	3.8	2.5	2.5	
	70歳～79歳	79	29.1	11.4	1.3	6.3	21.5	69.6	8.9	26.6	50.6	20.3	7.6	1.3	2.5	0	7.6	
	80歳以上	38	10.5	2.6	2.6	0	15.8	60.5	10.5	31.6	57.9	23.7	2.6	2.6	0	0	10.5	
	日本語能力	① 聞く・話す	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	432	65.5	36.6	18.5	10.2	23.6	37.7	19.2	23.1	22.2	10.4	3.0	2.1	1.2	0.5
日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる			433	70.2	49.9	29.8	23.6	22.4	17.1	16.6	13.6	8.3	6.5	7.4	2.5	2.3	1.6	0.7
簡単な質問なら理解し、答えることができる			344	67.4	48.0	27.0	30.8	18.0	5.8	18.0	15.7	3.5	4.4	10.5	3.2	3.5	4.4	1.7
ほとんど聞き取ることができない、話すことができない			62	61.3	61.3	21.0	41.9	8.1	3.2	19.4	16.1	1.6	0	4.8	4.8	4.8	1.6	0
② 読む		どんな内容の文章でも読むことができる	502	68.7	39.6	21.5	14.3	23.3	33.1	19.5	18.7	21.7	9.8	3.4	1.6	0.8	0.4	2.0
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	329	73.3	55.3	32.2	24.9	20.7	16.1	19.5	12.2	5.2	7.6	7.0	4.0	3.3	0.6	0
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	272	59.6	46.3	27.2	27.6	20.6	10.3	15.1	21.0	6.3	3.7	9.9	3.7	3.3	4.8	1.1
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	98	68.4	37.8	17.3	31.6	16.3	6.1	17.3	14.3	2.0	2.0	13.3	2.0	5.1	4.1	3.1
		ほとんど読むことができない	57	63.2	50.9	17.5	29.8	14.0	7.0	15.8	28.1	0	3.5	5.3	1.8	1.8	5.3	0
③ 書く		複雑な内容の文章も書くことができる	376	72.6	38.8	20.7	10.4	24.2	32.4	21.0	19.7	19.7	9.3	2.4	1.3	1.1	0.8	2.1
	簡単な手紙や報告を書くことができる	378	64.8	50.8	28.3	24.6	21.4	20.9	18.0	12.4	13.2	7.9	7.1	3.2	2.4	1.6	0.8	
	短いメールやメッセージを書くことができる	347	65.4	45.5	28.0	26.5	19.6	13.8	15.3	19.0	5.2	5.8	8.4	3.2	4.3	2.3	0.6	
	ほとんど書くことができない	157	68.2	49.7	21.0	33.8	16.6	6.4	17.8	22.9	1.9	3.2	11.5	3.8	1.3	3.8	0.6	
日本人との交流	親しく交流する人がいる	515	68.5	38.6	21.7	11.5	32.6	32.4	19.4	25.2	18.8	10.7	6.0	2.7	2.1	1.0	1.6	
	個人的な話をする人がいる	488	72.1	45.5	24.0	16.6	29.1	25.2	22.7	17.4	15.2	9.4	6.8	2.9	3.1	1.2	0	
	挨拶をする人がいる	653	70.1	47.3	26.8	23.1	19.8	22.2	19.8	17.9	12.6	8.4	6.7	2.8	2.1	1.2	0.3	
	インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる	112	76.8	63.4	30.4	23.2	19.6	19.6	17.9	13.4	10.7	8.0	6.3	2.7	0.9	0	0	
	日本人との付き合いはない	171	59.6	52.6	19.3	36.3	9.9	6.4	15.2	15.2	5.8	3.5	9.4	2.3	1.8	5.3	0.6	

〔2〕行政情報発信ツールの認知度（複数回答）

京都市役所やkokoka京都市国際交流会館の情報発信ツールの認知度は、「京都市役所のホームページ」(39.5%)が最も高く、次いで、「kokoka京都市国際交流会館のホームページ」(26.4%)となっており、どちらもホームページの認知度が最も高くなっている。

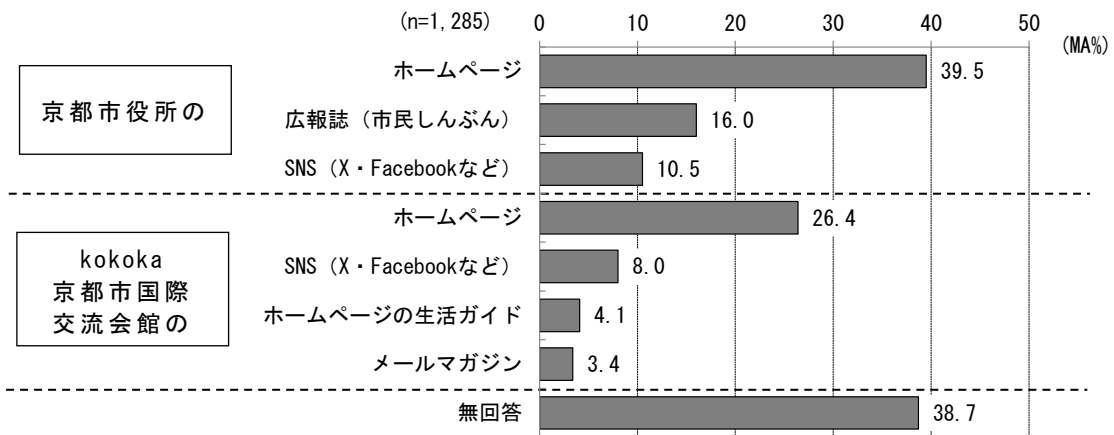
国籍・地域別にみると、「京都市役所のSNS(X・Facebookなど)」の割合は、インドネシア(34.2%)が最も高く、次いで、ミャンマー(29.0%)、ネパール(27.3%)となっている。

在留資格別にみると、特別永住者で「京都市役所の広報誌(市民しんぶん)」(29.3%)の割合が、他の在留資格と比べ、高くなっている。

年齢別にみると、60歳以上で「京都市役所の広報誌(市民しんぶん)」の割合が高くなっている。

日本語能力(②読む)別にみると、日本語能力が高いほど、「京都市役所の広報誌(市民しんぶん)」の割合が高くなっている。

【図表 83 行政情報発信ツールの認知度】



Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

【図表 84 行政情報発信ツールの認知度(属性特徴)】

		n	京都市役所の			kokoka京都市国際交流会館の				無回答
			ホームページ	広報誌 (市報誌 しんぶん)	FANS (Xbook ook)	ホームページ	FANS (Xbook ook)	生活ガイド ページの	メールマガジン	
全体		1,285	508	206	135	339	103	53	44	497
		100	39.5	16.0	10.5	26.4	8.0	4.1	3.4	38.7
国籍・地域	中国	349	44.7	15.2	8.9	30.4	7.2	3.2	4.9	33.8
	韓国	244	24.6	29.1	3.3	7.8	1.6	1.2	0.8	55.3
	ベトナム	118	49.2	16.9	11.9	43.2	11.9	8.5	5.1	26.3
	ネパール	77	26.0	5.2	27.3	20.8	15.6	5.2	5.2	41.6
	台湾	73	49.3	21.9	5.5	38.4	4.1	4.1	4.1	28.8
	フィリピン	53	41.5	15.1	22.6	22.6	9.4	3.8	0	34.0
	アメリカ	44	52.3	11.4	6.8	36.4	2.3	9.1	0	36.4
	インドネシア	38	42.1	7.9	34.2	28.9	26.3	10.5	5.3	28.9
	ミャンマー	31	41.9	3.2	29.0	35.5	29.0	9.7	3.2	25.8
	フランス	26	46.2	11.5	3.8	23.1	3.8	0	3.8	42.3
	その他	226	40.7	8.8	8.4	27.9	8.4	4.0	3.5	40.7
在留資格	留学(大学・大学院)	250	43.6	10.4	10.8	32.4	9.2	4.4	6.8	35.2
	留学(日本語学校)	67	50.7	10.4	13.4	43.3	11.9	4.5	4.5	25.4
	留学(専門学校、その他)	24	50.0	12.5	29.2	37.5	16.7	0	12.5	25.0
	永住者	190	36.3	23.7	6.8	21.6	2.6	2.6	1.1	40.5
	特別永住者	188	22.3	29.3	2.7	6.9	1.6	1.1	1.1	58.0
	技術・人文知識・国際業務	156	51.9	9.6	8.3	33.3	10.9	5.8	1.3	32.7
	技能実習	62	48.4	19.4	27.4	46.8	14.5	4.8	6.5	24.2
	特定技能	64	29.7	6.3	23.4	18.8	20.3	6.3	0	40.6
	日本人の配偶者等	63	44.4	19.0	9.5	23.8	7.9	4.8	1.6	38.1
	家族滞在	60	40.0	13.3	13.3	33.3	11.7	5.0	5.0	31.7
	高度専門職	24	41.7	16.7	0	29.2	0	8.3	0	41.7
経営・管理	22	27.3	18.2	9.1	13.6	4.5	0	0	50.0	
その他の資格	105	41.9	8.6	12.4	26.7	7.6	7.6	6.7	34.3	
年齢	18歳～19歳	24	45.8	16.7	4.2	33.3	0	4.2	4.2	33.3
	20歳～29歳	462	46.1	9.1	13.9	33.5	10.8	6.3	6.3	33.5
	30歳～39歳	333	41.7	12.3	12.6	27.9	10.5	2.7	1.5	37.5
	40歳～49歳	148	48.0	16.9	9.5	29.1	6.8	4.1	3.4	31.1
	50歳～59歳	115	30.4	21.7	6.1	19.1	3.5	2.6	1.7	47.8
	60歳～69歳	80	31.3	31.3	6.3	15.0	5.0	3.8	2.5	48.8
	70歳～79歳	79	15.2	40.5	2.5	6.3	0	2.5	0	48.1
	80歳以上	38	5.3	31.6	0	2.6	0	0	0	65.8
② 日本語 能力	どんな内容の文章でも読むことができる	502	39.8	20.7	6.4	20.3	3.6	1.8	1.8	42.8
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	329	45.6	16.4	9.4	31.9	10.0	5.5	4.0	29.5
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	272	36.0	12.1	14.7	30.5	12.9	4.8	5.1	39.3
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	98	38.8	8.2	19.4	35.7	10.2	8.2	7.1	36.7
	ほとんど読むことができない	57	31.6	5.3	19.3	22.8	10.5	7.0	1.8	45.6

[3] 不足していると感じる多言語の情報(複数回答)

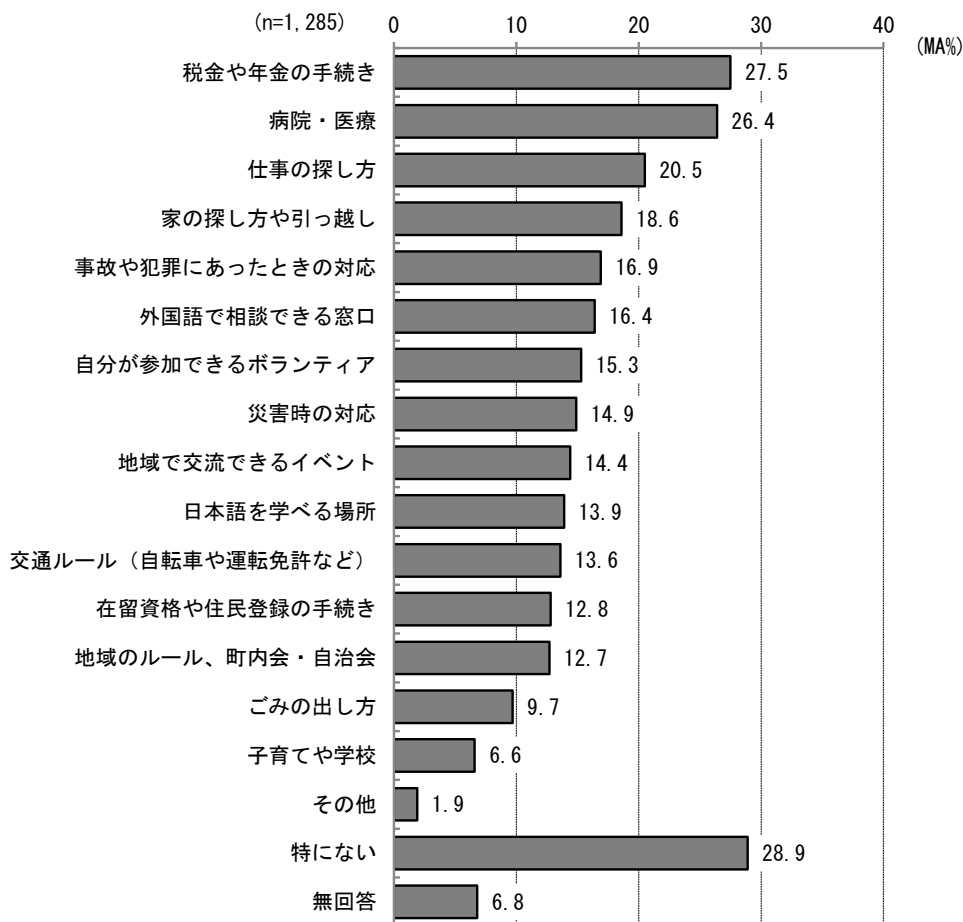
不足していると感じる多言語の情報は、「税金や年金の手続き」(27.5%)が最も多く、次いで、「病院・医療」(26.4%)、「仕事の探し方」(20.5%)となっている。

国籍・地域別にみると、多くの国籍・地域で「税金や年金の手続き」の割合が最も高くなっているが、「仕事の探し方」の割合は、ネパール(40.3%)、インドネシア(34.2%)で高くなっている。

在留資格別にみると、留学(専門学校、その他)(37.5%)、留学(日本語学校)(35.8%)で、「仕事の探し方」の割合が高くなっている。また、家族滞在は、「病院・医療」(53.3%)や「日本語を学べる場所」(43.3%)が、他の在留資格と比べ、高くなっている。

日本語能力(②読む)別にみると、「ほとんど読むことができない」で、「病院・医療」(38.6%)、「仕事の探し方」(35.1%)、「家の探し方や引っ越し」(33.3%)の割合が、他と比べ、高くなっている。また、「ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる」で、「日本語を学べる場所」(32.7%)の割合が、他と比べ、高くなっている。

【図表 85 不足していると感じる多言語の情報】



Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

【図表 86 不足していると感じる多言語の情報(属性特徴)】

		n	税金や年金の手続き	病院・医療	仕事の探し方	引っ越しの探し方	事故や犯罪に合ったときの対応	外国語で相談できる窓口	自分が参加できるボランティア	災害時の対応	地域で交流できるイベント	日本語を学べる場所	交通ルール(自転車や運転免許など)	在留資格や住民登録の手続き	町内会・自治会、地域のルール	ごみの出し方	子育てや学校	その他	特にな	無回答
			(MA%)																	
全体		1,285	35.3	33.9	26.4	23.9	21.7	21.1	19.6	19.1	18.5	17.8	17.5	16.5	16.3	12.5	8.5	2.4	37.1	8.7
		100	27.5	26.4	20.5	18.6	16.9	16.4	15.3	14.9	14.4	13.9	13.6	12.8	12.7	9.7	6.6	1.9	28.9	6.8
国籍・地域	中国	349	23.5	29.5	19.8	18.9	16.9	18.6	13.5	14.3	15.8	13.8	14.0	12.6	11.5	11.5	8.3	0.9	28.1	2.6
	韓国	244	6.6	6.6	4.5	4.5	6.6	4.9	2.0	7.4	4.1	1.6	5.7	3.3	4.1	5.7	2.0	2.0	58.2	16.4
	ベトナム	118	38.1	24.6	18.6	19.5	22.0	13.6	16.9	23.7	14.4	19.5	15.3	17.8	6.8	11.9	11.0	0.8	19.5	6.8
	ネパール	77	26.0	35.1	40.3	33.8	23.4	22.1	26.0	15.6	24.7	23.4	11.7	11.7	9.1	5.2	6.5	6.5	9.1	
	台湾	73	39.7	38.4	21.9	26.0	13.7	26.0	17.8	12.3	16.4	13.7	12.3	21.9	15.1	5.5	4.1	1.4	23.3	2.7
	フィリピン	53	47.2	34.0	30.2	22.6	26.4	24.5	18.9	20.8	20.8	20.8	13.2	18.9	15.1	7.5	9.4	3.8	11.3	3.8
	アメリカ	44	36.4	34.1	20.5	20.5	15.9	15.9	31.8	18.2	34.1	20.5	11.4	18.2	15.9	6.8	9.1	2.3	29.5	6.8
	インドネシア	38	26.3	15.8	34.2	28.9	21.1	15.8	13.2	10.5	13.2	10.5	10.5	5.3	15.8	10.5	10.5	2.6	10.5	2.6
	ミャンマー	31	22.6	35.5	19.4	25.8	9.7	12.9	12.9	9.7	6.5	12.9	9.7	0	6.5	6.5	6.5	3.2	19.4	3.2
	フランス	26	46.2	46.2	26.9	19.2	19.2	23.1	26.9	7.7	19.2	26.9	19.2	26.9	38.5	11.5	3.8	0	23.1	0
	その他	226	39.4	32.3	28.3	21.7	22.1	19.9	23.0	16.4	17.7	17.3	18.6	16.8	22.6	12.8	6.2	1.8	22.1	4.9
在留資格	留学(大学・大学院)	250	26.0	34.8	30.8	30.0	22.4	24.4	21.6	16.8	20.8	18.4	20.0	13.6	18.0	14.0	3.2	2.4	20.4	3.2
	留学(日本語学校)	67	31.3	26.9	35.8	23.9	20.9	20.9	17.9	14.9	20.9	9.0	17.9	13.4	16.4	10.4	1.5	3.0	14.9	1.5
	留学(専門学校、その他)	24	33.3	20.8	37.5	25.0	8.3	8.3	16.7	4.2	8.3	12.5	16.7	8.3	4.2	0	4.2	0	16.7	4.2
	永住者	190	22.1	21.6	10.5	5.3	13.7	12.6	7.9	14.7	9.5	5.8	7.4	7.4	12.1	3.7	10.5	1.6	38.4	4.2
	特別永住者	188	3.7	4.8	3.2	1.6	3.7	2.7	2.1	4.8	2.1	0.5	3.7	2.1	2.7	4.8	1.6	2.1	63.3	18.6
	技術・人文知識・国際業務	156	42.3	32.7	24.4	27.6	21.8	18.6	25.0	16.0	19.2	19.9	13.5	18.6	13.5	12.2	9.0	2.6	17.9	3.8
	技能実習	52	25.8	12.9	19.4	14.5	12.9	12.9	8.1	9.7	3.2	12.9	12.9	11.3	0	9.7	1.6	1.6	30.6	6.5
	特定技能	64	39.1	32.8	10.9	20.3	23.4	10.9	10.9	15.6	14.1	17.2	12.5	14.1	12.5	7.8	1.6	1.6	18.8	3.1
	日本人の配偶者等	63	34.9	28.6	22.2	14.3	19.0	15.9	23.8	20.6	19.0	15.9	14.3	15.9	19.0	11.1	15.9	0	28.6	9.5
	家族滞在	60	38.3	53.3	33.3	20.0	30.0	25.0	16.7	35.0	20.0	43.3	25.0	21.7	20.0	18.3	25.0	1.7	5.0	5.0
	高度専門職	24	45.8	25.0	12.5	25.0	12.5	20.2	33.3	12.5	29.2	25.0	12.5	29.2	20.8	8.3	12.5	0	25.0	0
	経営・管理	22	31.8	50.0	4.5	13.6	0	18.2	4.5	9.1	9.1	4.5	0	31.8	0	13.6	0	0	27.3	9.1
	その他の資格	105	35.2	29.5	30.5	31.4	20.0	21.9	19.0	19.0	19.0	17.1	20.0	17.1	16.2	11.4	6.7	1.0	19.0	6.7
日本語能力	② 読む	502	15.1	14.3	10.2	12.5	8.8	8.4	9.8	9.0	10.2	4.8	6.8	5.8	8.6	6.6	5.6	2.2	46.8	9.8
	どんな内容の文章でも読むことができる	329	35.3	34.0	24.3	23.7	20.7	21.6	19.8	16.1	19.1	14.6	16.1	17.0	15.8	10.9	6.4	1.2	19.1	2.4
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	272	37.1	33.8	28.3	19.5	22.8	20.6	18.4	18.0	16.2	20.6	18.0	16.5	16.9	9.2	7.0	1.8	15.8	4.8
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	98	38.8	34.7	31.6	23.5	28.6	23.5	19.4	27.6	17.3	32.7	22.4	23.5	15.3	20.4	12.2	3.1	15.3	5.1
	ほとんど読むことができない	57	33.3	38.6	35.1	33.3	22.8	31.6	22.8	26.3	17.5	29.8	28.1	19.3	10.5	19.3	8.8	1.8	12.3	7.0

〔4〕生活必要情報の取得言語(単一回答)

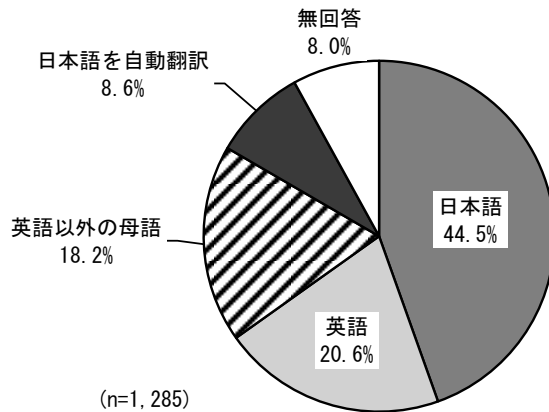
インターネットを使って生活に必要な情報を入手する際に使用する言語は、「日本語」(44.5%)が最も多く、次いで、「英語」(20.6%)、「英語以外の母語」(18.2%)となっている。

国籍・地域別にみると、「日本語」の割合は、韓国(77.9%)が最も高く、次いで、台湾(71.2%)、中国(59.0%)となっている。また、「英語以外の母語」の割合は、ミャンマー(38.7%)が最も高く、次いで、ベトナム(37.3%)、韓国(30.9%)となっている。

在留資格別にみると、「日本語」の割合は、特別永住者(78.7%)が最も高く、次いで、永住者(61.6%)、高度専門職(54.2%)となっている。また、「英語以外の母語」の割合は、技能実習(40.3%)が最も高く、次いで、特定技能(35.9%)、家族滞在(33.3%)となっている。

日本語能力(②読む)別にみると、「日本語を自動翻訳」の割合は、「ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる」(31.6%)が、他と比べ、高くなっている。

【図表 87 生活必要情報の取得言語】



【図表 88 生活必要情報の取得言語(属性特徴)】

		n	日本語	英語	英語以外の母語	日本語を自動翻訳	無回答
全体		1,285	572	265	234	111	103
国籍・地域	中国	349	59.0	3.2	30.9	3.7	3.2
	韓国	244	77.9	0	2.9	2.5	16.8
	ベトナム	118	17.8	5.9	37.3	33.1	5.9
	ネパール	77	7.8	50.6	20.8	11.7	9.1
	台湾	73	71.2	4.1	17.8	5.5	1.4
	フィリピン	53	3.8	77.4	3.8	7.5	7.5
	アメリカ	44	29.5	54.5	0	13.6	2.3
	インドネシア	38	23.7	23.7	23.7	18.4	10.5
	ミャンマー	31	12.9	35.5	38.7	6.5	6.5
	フランス	26	38.5	30.8	11.5	11.5	7.7
その他	226	24.8	49.1	8.8	8.0	9.3	
在留資格	留学(大学・大学院)	250	43.6	21.2	24.8	6.0	4.4
	留学(日本語学校)	67	17.9	37.3	29.9	11.9	3.0
	留学(専門学校、その他)	24	20.8	45.8	12.5	4.2	16.7
	永住者	190	61.6	17.9	10.5	3.7	6.3
	特別永住者	188	78.7	1.6	0.5	0	19.1
	技術・人文知識・国際業務	156	46.8	21.2	13.5	14.1	4.5
	技能実習	62	6.5	19.4	40.3	30.6	3.2
	特定技能	64	17.2	23.4	35.9	17.2	6.3
	日本人の配偶者等	63	34.9	31.7	19.0	9.5	4.8
	家族滞在	60	25.0	21.7	33.3	11.7	8.3
	高度専門職	24	54.2	29.2	4.2	4.2	8.3
	経営・管理	22	36.4	27.3	18.2	9.1	9.1
その他の資格	105	29.5	30.5	19.0	11.4	9.5	
日本語能力(②読む)	どんな内容の文章でも読むことができる	502	80.1	3.2	6.6	0.8	9.4
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	329	37.7	22.5	23.7	11.6	4.6
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	272	9.2	42.6	30.1	10.3	7.7
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	98	8.2	32.7	23.5	31.6	4.1
	ほとんど読むことができない	57	7.0	42.1	28.1	12.3	10.5

5 日本人との付き合い、地域での交流について

〔1〕日本人との交流(複数回答)

日本人との交流については、『日本人との付き合いがある』(全回答者から「日本人との付き合いはない」と「無回答」を除く)が84.2%となっており、「日本人との付き合いはない」は13.4%となっている。『日本人との付き合いがある』の中では、「挨拶をする人がいる」(51.3%)が最も多く、次いで、「親しく交流する人がいる」(40.5%)、「個人的な話をする人がいる」(38.4%)となっている。

国籍・地域別にみると、「親しく交流する人がいる」の割合は、アメリカ(79.5%)、韓国(74.0%)、フランス(61.5%)で高く、「日本人との付き合いはない」の割合は、ミャンマー(41.9%)、ネパール(41.1%)で高くなっている。

在留資格別にみると、「日本人との付き合いはない」の割合は、留学(日本語学校)(38.8%)、技能実習(32.3%)、特定技能(27.0%)の順で高くなっている。

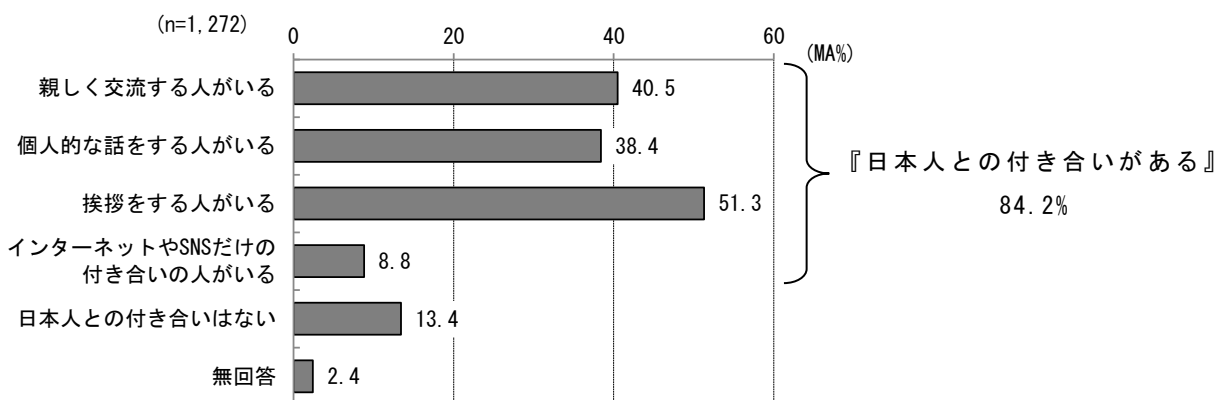
年齢別にみると、49歳以下で「挨拶をする人がいる」、50歳以上で「親しく交流する人がいる」が高くなっている。年齢が低いほど、「日本人との付き合いはない」の割合が高くなる傾向にある。

日本在住期間別にみると、『日本人との付き合いがある』の割合は、5年以上が、5年未満と比べ、高くなっている一方、「日本人との付き合いはない」の割合は、3年未満で、3年以上と比べ、高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が高いほど「親しく交流する人がいる」の割合が高くなり、日本語能力が低いほど「日本人との付き合いはない」の割合が高くなる傾向がある。

就労形態別にみると、「親しく交流する人がいる」の割合は、自営業(家族従業者、自由業、個人事業主)(59.8%)、正社員(経営者を含む)(47.9%)で高く、「日本人との付き合いはない」の割合は、派遣社員・契約社員(24.6%)で他の就労形態と比べ、高くなっている。

【図表 89 日本人との交流】



※『日本人との付き合いがある』は全回答者から「日本人との付き合いはない」と「無回答」を除いた割合

【図表 90 日本人との交流(属性特徴)】

		n	いる親しく交流する人が	いる個人的な話をする人が	挨拶をする人がいる	SNSだけの付き合いの人がいる	インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる	日本人との付き合いはない	無回答	日本人との付き合いがある (MA%)
全体		1,272	515	488	653	112	171	30		1,071
		100	40.5	38.4	51.3	8.8	13.4	2.4		84.2
国籍・地域	中国	347	26.8	36.6	55.3	12.4	11.5	0.9		87.6
	韓国	242	74.0	42.1	46.3	5.0	2.1	5.0		92.9
	ベトナム	115	19.1	26.1	44.3	4.3	28.7	3.5		67.8
	ネパール	73	9.6	17.8	41.1	8.2	4.1	2.7		56.2
	台湾	73	38.4	52.1	46.6	13.7	11.0	1.4		87.6
	フィリピン	53	34.0	45.3	60.4	7.5	13.2	1.9		84.9
	アメリカ	44	79.5	68.2	68.2	13.6	2.3	0		97.7
	インドネシア	37	8.1	32.4	35.1	10.8	32.4	2.7		64.9
	ミャンマー	31	22.6	12.9	35.5	0	41.9	0		58.1
	フランス	26	61.5	38.5	57.7	11.5	0	0		100.0
	その他	225	46.2	42.7	57.8	8.0	9.8	1.8		88.4
在留資格	留学(大学・大学院)	248	23.0	35.9	59.3	13.7	12.9	0.4		86.7
	留学(日本語学校)	67	9.0	22.4	32.8	11.9	38.8	1.5		59.7
	留学(専門学校、その他)	22	9.1	13.6	63.6	4.5	22.7	0		77.3
	永住者	188	61.2	45.2	52.1	6.4	4.8	1.6		93.6
	特別永住者	187	77.0	39.6	47.6	6.4	1.6	4.8		93.6
	技術・人文知識・国際業務	156	40.4	48.1	54.5	9.0	14.1	1.9		84.0
	技能実習	62	9.7	25.8	38.7	9.7	32.3	3.2		64.5
	特定技能	63	20.6	33.3	42.9	3.2	27.0	1.6		71.4
	日本人の配偶者等	63	68.3	55.6	52.4	6.3	6.3	4.8		88.9
	家族滞在	58	13.8	27.6	60.3	3.4	22.4	3.4		74.2
	高度専門職	24	33.3	41.7	45.8	8.3	8.3	0		91.7
経営・管理	21	19.0	42.9	52.4	14.3	14.3	0		85.7	
その他の資格	103	39.8	34.0	52.4	10.7	14.6	2.9		82.5	
年齢	18歳～19歳	24	29.2	12.5	41.7	8.3	33.3	0		66.7
	20歳～29歳	456	23.2	31.8	49.8	12.3	20.6	0.9		78.5
	30歳～39歳	329	36.5	43.2	53.2	8.8	14.0	1.8		84.2
	40歳～49歳	147	49.7	44.2	54.4	6.8	7.5	1.4		91.1
	50歳～59歳	115	58.3	42.6	46.1	2.6	5.2	4.3		90.5
	60歳～69歳	80	71.3	42.5	55.0	11.3	2.5	5.0		92.5
	70歳～79歳	78	75.6	46.2	55.1	2.6	1.3	5.1		93.6
	80歳以上	37	64.9	35.1	48.6	2.7	5.4	10.8		83.8
	日本在住期間	6か月未満	92	18.5	28.3	40.2	8.7	30.1	1.1	
6か月以上～1年未満		87	11.5	25.3	55.2	8.0	28.7	2.3		69.0
1年以上～2年未満		155	19.4	21.9	51.0	12.3	23.9	0.6		75.5
2年以上～3年未満		128	21.1	31.3	50.0	11.7	24.2	0.8		75.0
3年以上～5年未満		144	29.2	46.5	57.6	10.4	13.2	2.1		84.7
5年以上～10年未満		200	42.0	48.5	55.0	9.0	7.0	1.0		92.0
10年以上～20年未満		135	53.3	43.7	49.6	7.4	6.7	0.7		92.6
20年以上～30年未満		65	63.1	52.3	50.8	7.7	4.6	1.5		93.9
30年以上		257	72.4	41.2	50.2	5.4	1.9	6.2		91.9
日本語能力	① 話す・聞く	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	430	71.2	47.0	47.9	10.9	2.8	3.0	94.2
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	428	33.2	46.3	56.1	9.8	10.7	1.2	88.1
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	340	15.9	20.9	52.4	6.2	21.1	2.6	70.3
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	60	11.7	25.0	41.7	3.3	35.0	0	65.0
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	499	62.5	48.1	51.1	13.0	3.2	2.8	94.0
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	326	32.2	38.3	58.0	8.0	11.3	0.6	88.1
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	269	22.7	33.8	48.0	5.9	25.3	1.5	73.2
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	97	16.5	17.5	48.5	2.1	28.8	5.2	64.9
	③ 書く	ほとんど読むことができない	54	22.2	18.5	48.1	3.7	29.6	0	70.4
		複雑な内容の文章も書くことができる	373	70.8	49.6	49.9	12.9	2.7	2.9	94.4
		簡単な手紙や報告を書くことができる	375	34.9	40.8	54.1	10.9	11.2	1.6	87.2
		短いメールやメッセージを書くことができる	343	24.8	31.8	52.8	5.2	20.4	1.2	78.4
ほとんど書くことができない	154	18.8	22.7	50.0	2.6	28.6	1.3	70.1		
就労形態	正社員(経営者を含む)	359	47.9	44.3	47.4	6.7	9.5	2.2		88.3
	派遣社員・契約社員	171	28.1	34.5	46.8	9.9	24.6	2.9		72.5
	自営業(家族従業者、自由業、個人事業主)	107	59.8	42.1	56.1	14.0	7.5	0.9		91.6
	アルバイト・パート、内職	236	41.1	33.1	45.8	7.6	16.1	2.5		81.4
	仕事をしていない(仕事を探している)	131	26.7	32.1	62.6	13.0	13.7	0.8		85.5
	仕事をしていない(仕事を探していない)	207	34.3	38.6	59.9	8.7	13.5	1.4		85.1

〔2〕地域(近所)での日本人との交流(複数回答)

住んでいる地域(近所)での日本人との交流については、『地域での付き合いがある』(全回答者から「地域(近所)での日本人との付き合いはない」と「無回答」を除く)が61.1%となっており、「地域(近所)での日本人との付き合いはない」は36.1%となっている。『地域での付き合いがある』の中では、「挨拶をする人がいる」(46.4%)が最も多く、次いで、「親しく交流する人がいる」(20.3%)、「個人的な話をする人がいる」(18.3%)となっている。

国籍・地域別にみると、「地域(近所)での日本人との付き合いはない」の割合は、ネパール(58.9%)、ベトナム(56.5%)、ミャンマー(54.8%)の順で高くなっている。

在留資格別にみると、「親しく交流する人がいる」の割合は、特別永住者(51.3%)で高く、「日本人との付き合いはない」の割合は、留学(大学・大学院)(59.3%)、留学(日本語学校)(58.2%)、高度専門職(54.2%)の順で高くなっている。

年齢別にみると、「地域(近所)での日本人との付き合いはない」の割合は、年齢が低いほど高くなる傾向がある。

同居人別にみると、「地域(近所)での日本人との付き合いはない」の割合は、友人・知人(56.1%)、いない(ひとりで住んでいる)(50.9%)で他と比べ、高くなっている。

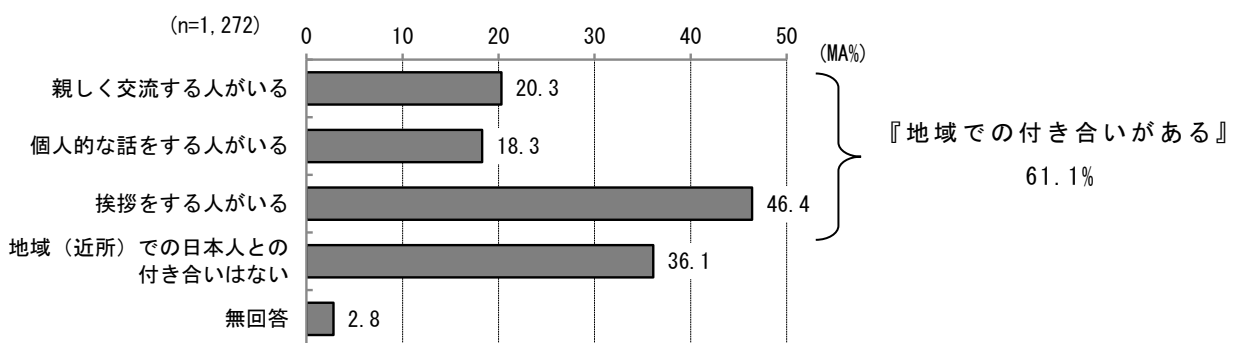
京都市在留期間別にみると、5年未満で「地域(近所)での日本人との付き合いはない」の割合が、5年以上で「挨拶をする人がいる」の割合が最も高くなっている。

住居状況別にみると、『地域での付き合いがある』の割合は、持ち家(一戸建て)(94.5%)で9割を超えている。一方、「地域(近所)での日本人との付き合いはない」の割合は、借家(社宅・社員寮、学生寮)(51.6%)、借家(民間アパート、民間賃貸マンション)(50.3%)で高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が高いほど「親しく交流する人がいる」の割合が高く、日本語能力が低いほど「地域(近所)での日本人との付き合いはない」の割合が高くなる傾向がある。

就労形態別にみると、『地域での付き合いがある』の割合は、自営業(家族従業者、自由業、個人事業主)(88.8%)で最も高くなっている。一方、「地域(近所)での日本人との付き合いはない」の割合は、派遣社員・契約社員(51.5%)、仕事をしていない(仕事を探している)(48.1%)で高くなっている。

【図表 91 地域(近所)での日本人との交流】



※『地域での付き合いがある』は全回答者から「地域(近所)での日本人との付き合いはない」と「無回答」を除いた割合

【図表 92 地域(近所)での日本人との交流(属性特徴)】

		n	い 親 しく 交 流 す る 人 が	い 個 人 的 な 話 を す る 人 が	換 拶 を す る 人 が い る	日 本 人 と の 付 き 合 い は	無 回 答	あ 地 域 で の 付 き 合 い が
			(MA%)	(MA%)	(MA%)	(MA%)	(MA%)	(MA%)
全体		1,272	258	233	590	459	35	1,081
		100	20.3	18.3	46.4	36.1	2.8	61.1
国籍・地域	中国	347	7.8	11.8	47.0	45.2	1.2	53.6
	韓国	242	47.9	33.5	56.2	8.3	4.1	87.6
	ベトナム	115	7.8	7.0	31.3	56.5	5.2	38.3
	ネパール	73	5.5	8.2	30.1	58.9	2.7	38.4
	台湾	73	16.4	27.4	39.7	41.1	2.7	56.2
	アメリカ	53	17.0	18.9	47.2	27.7	1.9	60.4
	インドネシア	44	29.5	25.0	63.6	27.7	0	77.3
	インドネシア	37	2.7	13.5	29.7	45.9	8.1	46.0
	ミャンマー	31	12.9	9.7	32.3	54.8	0	45.2
	フランス	26	23.1	23.1	42.3	34.6	0	65.4
	その他	225	24.0	17.3	51.1	31.6	2.2	66.2
在留資格	留学(大学・大学院)	248	7.7	10.5	30.6	59.3	1.2	39.5
	留学(日本語学校)	67	3.0	6.0	38.8	56.2	1.5	40.3
	留学(専門学校、その他)	22	9.1	13.6	36.4	45.5	0	54.5
	永住者	188	31.9	30.3	66.0	10.1	2.7	87.2
	特別永住者	187	51.3	35.3	62.0	3.2	4.3	92.5
	技術・人文知識・国際業務	156	16.0	16.0	37.2	47.4	3.8	48.8
	技能労働	62	9.7	14.5	29.0	51.6	4.8	43.6
	特定技能	63	4.8	6.3	47.6	44.7	3.2	52.4
	日本人の配偶者等	63	23.8	22.2	61.9	15.9	4.8	79.3
	家族滞在	58	8.6	8.6	51.7	39.7	0	60.3
	高度専門職	24	8.3	8.3	41.7	54.2	0	45.8
	経営・管理	21	9.5	14.3	71.4	23.8	0	76.2
	その他の資格	103	17.5	10.7	34.0	49.5	1.9	48.6
年齢	18歳～19歳	24	16.7	0	25.0	58.3	0	41.7
	20歳～29歳	456	9.2	10.3	33.3	55.3	2.2	42.5
	30歳～39歳	329	14.6	14.6	44.1	41.6	1.8	56.6
	40歳～49歳	147	21.1	24.5	57.8	21.1	2.7	76.2
	50歳～59歳	115	31.3	23.5	62.6	12.2	3.5	84.3
	60歳～69歳	80	46.3	35.0	68.8	5.0	5.0	90.0
	70歳～79歳	78	50.0	42.3	64.1	5.1	3.8	91.1
	80歳以上	37	54.1	35.1	59.5	5.4	8.8	86.5
同居人	いない(ひとりて住んでいる)	542	13.5	13.5	36.2	50.9	2.2	46.9
	日本人の配偶者・パートナー	202	32.2	23.8	56.4	14.9	5.0	80.1
	日本人以外の配偶者・パートナー	243	22.2	27.2	61.3	22.2	1.2	76.6
	子ども	239	33.9	30.1	67.8	8.3	2.9	88.3
	あなたの親	44	40.9	29.5	56.8	9.1	0	90.9
	配偶者・パートナーの親	50	32.0	22.0	60.0	18.0	0	82.0
	兄弟姉妹	29	34.5	44.8	72.4	10.3	3.4	86.3
	その他の親族 友人・知人	11 139	27.3 7.9	36.4 5.8	72.7 33.8	9.1 56.4	0 2.2	90.9 41.7
京都市在住期間	6か月未満	156	9.0	7.7	30.8	53.3	1.3	40.4
	6か月以上～1年未満	114	5.3	7.0	36.8	57.0	0.9	42.1
	1年以上～2年未満	196	8.2	10.7	36.2	53.6	1.0	45.4
	2年以上～3年未満	136	16.2	15.4	34.6	47.8	2.9	49.3
	3年以上～5年未満	129	14.7	15.5	42.6	44.2	2.3	53.5
	5年以上～10年未満	151	15.2	15.2	58.9	28.3	2.6	68.9
	10年以上～20年未満	106	22.6	29.2	55.7	20.8	2.8	76.4
	20年以上～30年未満	55	32.7	20.0	67.3	7.3	5.5	87.2
	30年以上	220	50.9	37.3	62.3	3.2	5.0	91.8
	住居状況	持ち家(一戸建て)	258	41.9	35.3	71.3	4.7	0.8
持ち家(マンション、共同住宅)		116	25.9	15.5	46.6	28.4	3.4	68.2
借家(一戸建て)		124	22.6	19.4	43.5	33.1	4.8	62.1
借家(府営、市営等の共同住宅)		72	8.3	15.3	54.2	30.6	1.9	62.5
借家(社宅、社員寮、学生寮)		157	5.7	9.6	40.1	51.6	0.6	47.8
借家(民間アパート、民間賃貸マンション)		529	13.6	13.2	35.5	50.3	2.6	47.1
日本語能力	① 話す・	430	40.2	32.3	54.9	17.2	2.6	80.2
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	428	13.8	16.1	45.8	39.7	2.1	58.2
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	340	4.7	5.9	38.8	52.9	3.5	43.6
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	60	8.3	8.3	33.3	58.3	0	41.7
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	499	33.3	29.7	51.5	24.0	2.6	73.4
	② 読む	326	12.6	12.3	47.9	40.8	1.5	57.7
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	269	10.8	11.9	41.3	46.5	2.6	50.9
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	97	9.3	7.2	35.1	52.6	5.2	42.2
	ほとんど読むことができない	54	11.1	7.4	44.4	42.6	1.9	55.5
	③ 書く	373	38.3	31.4	50.4	23.6	2.7	73.7
複雑な内容の文章も書くことができる	375	14.7	19.5	50.9	34.1	1.9	64.0	
簡単な手紙や報告を書くことができる	343	11.7	7.9	42.3	46.4	2.9	50.7	
短いメールやメッセージを書くことができる	154	9.1	9.1	37.0	51.3	1.3	47.4	
ほとんど書くことができない	359	23.1	19.8	47.1	31.2	3.1	65.7	
就労形態	正社員(経営者を含む)	171	11.7	14.6	35.7	51.5	4.1	44.4
	派遣社員・契約社員	107	36.4	23.4	68.2	10.3	0.9	88.8
	自営業(家族従業者、自由業、個人事業主)	236	17.8	17.8	43.6	37.2	2.5	60.2
	アルバイト・パート、内職	131	13.0	13.0	40.5	48.1	1.5	50.4
	仕事をしていない(仕事を探している)	207	17.9	19.8	49.3	40.6	1.0	58.4
	仕事をしていない(仕事を探していない)							

[3] 今後の日本人との交流意向(単一回答)

今後の日本人との交流については、「現在も交流があり、より広げていきたい」、「現在の交流を今後も続けていきたい」、「現在は交流していないが、今後交流したい」を合わせた『交流意向あり』は93.5%となっている。「交流する気はない」は4.0%となっている。

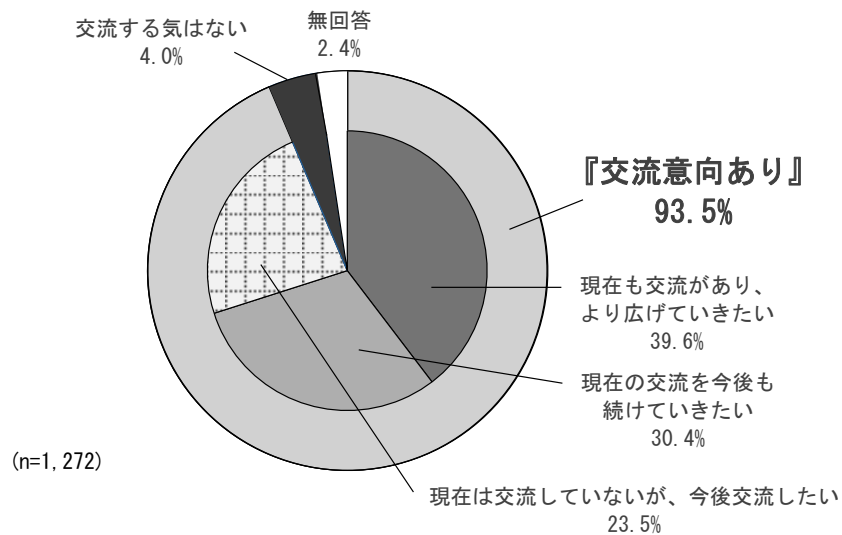
国籍・地域別にみると、『交流意向あり』の割合は、フランス(99.9%)が最も高く、「現在交流はしていないが、今後交流したい」の割合は、ネパール(61.6%)、ベトナム(47.8%)で高くなっている。

在留資格別にみると、「現在は交流していないが、今後交流したい」の割合は、留学(日本語学校)(50.7%)、留学(専門学校、その他)(45.5%)、技能実習(35.5%)で高くなっている。

年齢別にみると、「現在は交流していないが、今後交流したい」の割合は、おおむね年齢が低いほど、高くなる傾向がある。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど、「交流する気はない」の割合が高くなっている。

【図表 93 今後の日本人との交流意向】



【図表 94 今後の日本人との交流意向(属性特徴)】

		n	より現在も交流が あっていききたい	現在の交流を今後も 続けていききたい	現在は交流したい が、今後交流したい ではない	交流する気はない	無回答	交流意向あり	
全体		1,272	504	387	299	51	31	1,190	
			100	39.6	30.4	23.5	4.0	2.4	93.5
国籍・地域	中国	347	44.4	24.2	25.9	4.3	1.2	94.5	
	韓国	242	35.5	52.1	5.0	2.5	5.0	92.6	
	ベトナム	115	19.1	24.3	47.8	6.1	2.6	91.2	
	ネパール	73	15.1	12.3	61.6	9.6	1.4	89.0	
	台湾	73	45.2	34.2	19.2	0	1.4	98.6	
	フィリピン	53	35.8	32.1	24.5	5.7	1.9	92.4	
	アメリカ	44	54.5	36.4	6.8	0	2.3	97.7	
	インドネシア	37	54.1	24.3	16.2	5.4	0	94.6	
	ミャンマー	31	29.0	35.5	25.8	9.7	0	90.3	
	フランス	26	69.2	19.2	11.5	0	0	99.9	
	その他	225	47.1	24.4	22.2	3.6	2.7	93.7	
在留資格	留学(大学・大学院)	248	44.8	22.6	29.8	2.8	0	97.2	
	留学(日本語学校)	67	28.4	16.4	50.7	4.5	0	95.5	
	留学(短期学校)	22	22.7	22.7	45.5	4.5	0	90.9	
	留学(専門学校、その他)	22	22.7	22.7	45.5	4.5	0	90.9	
	永住者	188	37.8	42.6	11.2	5.9	2.7	91.6	
	特別永住者	187	36.4	51.9	3.7	2.1	5.9	92.0	
	技術・人文知識・国際業務	156	46.8	19.9	30.1	1.3	1.9	96.8	
	技能実習	62	22.6	29.0	35.5	11.3	1.6	87.1	
	特定技能	63	34.9	28.6	30.2	4.8	1.2	93.7	
	日本人の配偶者等	63	42.9	39.7	11.1	1.6	4.8	93.7	
	家族滞在	58	46.6	12.1	32.8	6.9	1.7	91.5	
	高度専門職	24	54.2	25.0	20.8	0	0	100.0	
	経営・管理	21	42.9	19.0	33.3	0	4.8	95.2	
その他の資格	103	40.8	24.3	25.2	7.8	1.9	90.3		
年齢	18歳～19歳	24	25.0	16.7	50.0	8.3	0	91.7	
	20歳～29歳	456	39.9	22.4	32.5	4.8	0.4	94.8	
	30歳～39歳	329	41.6	25.5	27.7	2.7	2.4	94.8	
	40歳～49歳	147	46.9	32.0	14.3	4.1	2.7	93.2	
	50歳～59歳	115	40.0	39.1	13.0	4.3	3.5	92.1	
	60歳～69歳	80	40.0	47.5	5.0	3.8	3.8	92.5	
	70歳～79歳	78	28.2	56.4	6.4	2.6	6.4	91.0	
	80歳以上	37	21.6	59.5	5.4	2.7	10.8	86.5	
日本語能力	① 話す・聞く	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	430	48.1	39.5	6.5	2.6	3.3	94.1
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	428	40.7	31.1	23.1	3.5	1.6	94.9
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	340	31.2	21.8	39.7	5.3	2.1	92.7
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	60	25.0	8.3	58.3	8.3	0	91.6
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	499	48.3	37.3	9.0	2.4	3.0	94.6
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	326	36.8	30.1	28.5	3.1	1.5	95.4
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	269	34.9	26.0	34.6	3.0	1.5	95.5
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	97	29.9	17.5	41.2	7.2	4.1	88.6
	③ 書く	ほとんど読むことができない	54	27.8	14.8	44.4	13.0	0	87.0
		複雑な内容の文章も書くことができる	373	51.7	37.5	5.6	2.4	2.7	94.8
		簡単な手紙や報告を書くことができる	375	39.2	31.5	23.2	2.9	3.2	93.9
		短いメールやメッセージを書くことができる	343	32.7	26.8	36.2	4.1	0.3	95.7
ほとんど書くことができない	154	31.2	19.5	40.9	7.1	1.3	91.6		

[4] 交流できていない理由(複数回答)

「現在は交流していないが、今後交流したい」と回答した人に交流することができていない理由をたずねたところ、「言葉が通じない」(56.9%)が最も多く、次いで、「交流のきっかけがない」(44.1%)、「どのように接していいかわからない」(36.8%)となっている。

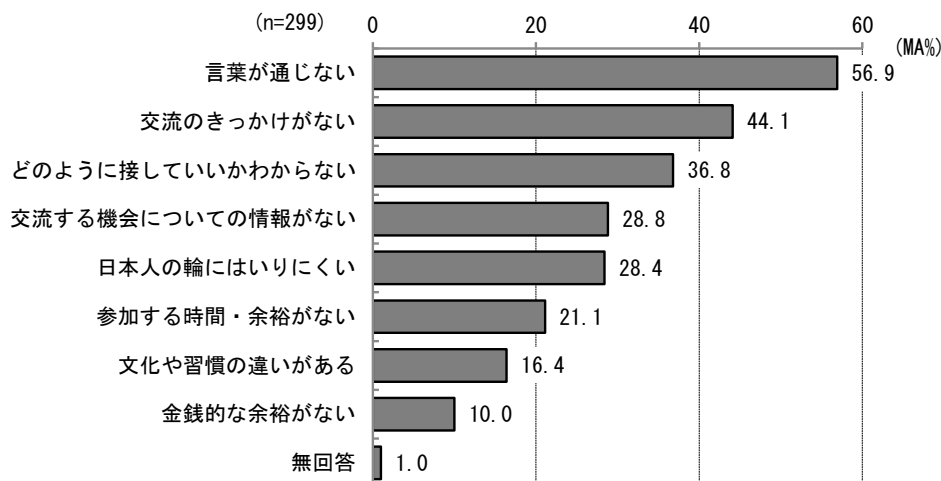
国籍・地域別にみると、「言葉が通じない」の割合は、ネパール(88.9%)、フィリピン(84.6%)で高くなっている。

在留資格別にみると、多くの在留資格で「言葉が通じない」の割合が最も高くなっており、特に家族滞在(89.5%)が最も高くなっている。「交流のきっかけがない」の割合は、日本人の配偶者等(71.4%)、留学(大学・大学院)(54.1%)、技術・人文知識・国際業務(53.2%)で高くなっている。

年齢別にみると、ほとんどの年齢で「言葉が通じない」の割合が最も高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど「言葉が通じない」の割合が高くなる傾向にある一方、日本語能力が高いほど「交流のきっかけがない」の割合が高くなる傾向があり、②読む(どんな内容の文章でも読むことができる)で66.7%となっている。

【図表 95 交流できていない理由】



【図表 96 交流できていない理由(属性特徴)】

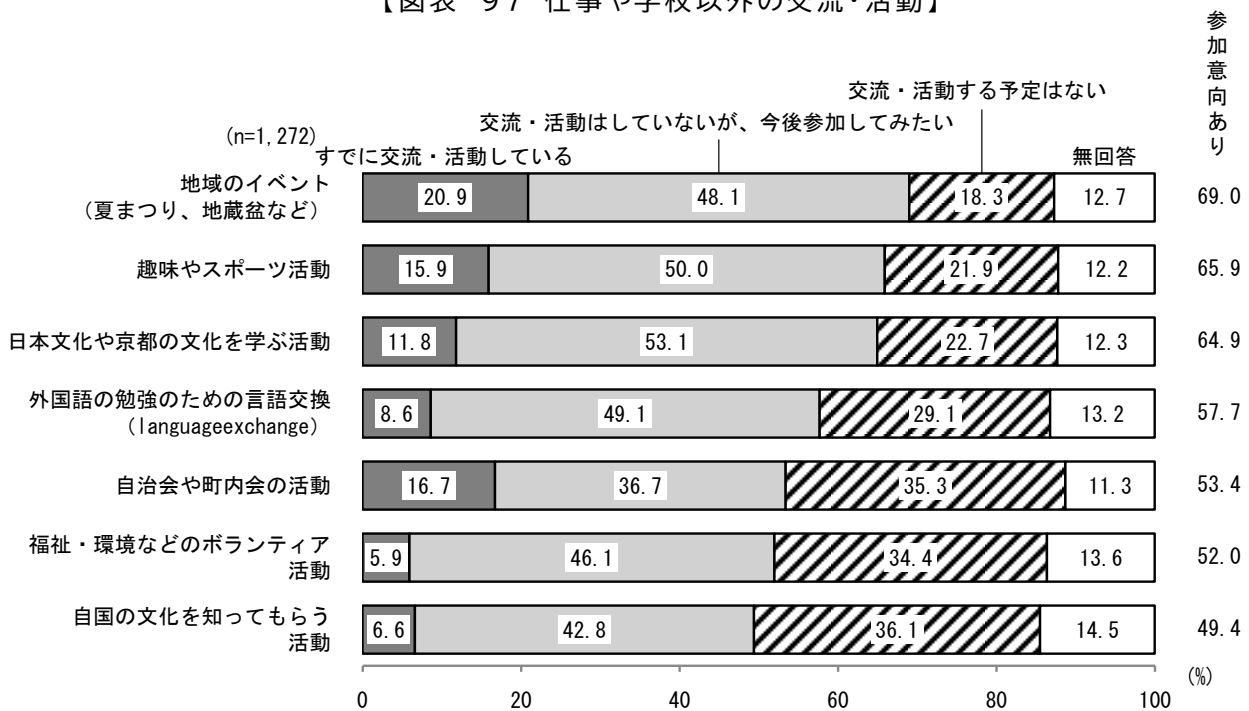
		n	言葉が通じない	交流のきっかけがない	どのようから接しない	交流する機会がない	日本人の輪に入れない	参加する時間・余裕がない	文化や習慣の違いがある	金銭的な余裕がない	無回答	
			(MA%)									
全体		299	170	132	110	86	85	63	49	30	3	
		100	56.9	44.1	36.8	28.8	28.4	21.1	16.4	10.0	1.0	
国籍・地域	中国	90	38.9	57.3	31.1	27.8	32.2	16.7	15.6	6.7	0	
	韓国	12	8.3	58.3	50.0	25.0	33.3	41.7	8.3	25.0	8.3	
	バドナム	55	69.1	36.4	41.8	25.5	14.5	25.5	16.4	7.3	1.8	
	ネパール	45	88.9	20.0	24.4	37.8	17.8	17.8	24.4	20.0	0	
	台湾	14	14.3	64.3	50.0	57.1	42.9	0	0	7.1	0	
	フィリピン	13	84.6	46.2	30.8	7.7	30.8	15.4	30.8	0	0	
	アメリカ	3	66.7	33.3	33.3	33.3	100.0	0	0	0	0	
	インドネシア	6	50.0	16.7	50.0	33.3	16.7	16.7	33.3	0	0	
	ミャンマー	8	25.0	25.0	37.5	12.5	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	
	フランス	3	33.3	66.7	33.3	0	33.3	66.7	0	0	0	
その他	50	70.0	46.0	46.0	28.0	38.0	28.0	12.0	12.0	0		
在留資格	留学(大学・大学院)	74	50.0	54.1	37.8	32.4	35.1	24.3	17.6	8.1	0	
	留学(日本語学校)	34	64.7	35.3	26.5	17.6	20.6	20.6	11.8	17.6	0	
	留学(専門学校、その他)	10	70.0	60.0	30.0	30.0	20.0	0	0	0	0	
	永住者	21	52.4	38.1	23.8	14.3	28.6	19.0	28.6	9.5	0	
	特別永住者	7	0	42.9	57.1	28.6	28.6	28.6	0	42.9	14.3	
	技術・人文知識・国際業務	47	44.7	53.2	53.2	42.6	36.2	23.4	12.8	8.5	0	
	技能実習	22	68.2	27.3	13.6	9.1	9.1	27.3	18.2	4.5	0	
	特定技能	19	57.9	31.6	36.8	26.3	15.8	31.6	15.8	5.3	10.5	
	日本人の配偶者等	7	42.9	71.4	57.1	57.1	57.1	14.3	0	14.3	0	
	家族滞在	19	89.5	26.3	42.1	31.6	26.3	5.3	15.8	5.3	0	
	高度専門職	5	80.0	60.0	80.0	20.0	80.0	20.0	20.0	20.0	0	
経営・管理	7	85.7	71.4	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	0	0		
その他の資格	26	57.7	30.8	34.6	34.6	19.2	15.4	26.9	11.5	0		
年齢	18歳～19歳	12	58.3	41.7	33.3	16.7	16.7	33.3	0	16.7	0	
	20歳～29歳	148	58.1	43.9	35.8	27.0	29.1	16.9	16.2	6.8	0.7	
	30歳～39歳	91	57.1	47.3	41.8	35.2	26.4	28.6	17.6	13.2	1.1	
	40歳～49歳	21	57.1	57.1	28.6	33.3	28.6	23.8	23.8	4.8	0	
	50歳～59歳	15	66.7	40.0	33.3	20.0	26.7	13.3	6.7	6.7	0	
	60歳～69歳	4	75.0	0	25.0	25.0	75.0	0	50.0	0	0	
	70歳～79歳	5	0	0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	60.0	0	
	80歳以上	2	0	50.0	50.0	0	50.0	0	0	0	50.0	
日本語能力	① 話す・聞く	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	28	14.3	60.7	35.7	39.3	35.7	35.7	10.7	3.6	3.6
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	99	32.3	52.5	36.4	32.3	28.3	25.3	15.2	15.2	1.0
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	135	74.8	40.7	36.3	25.9	27.4	18.5	17.8	7.4	0.7
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	35	94.3	22.9	40.0	22.9	25.7	8.6	17.1	8.6	0
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	45	6.7	66.7	44.4	44.4	37.8	33.3	6.7	6.7	2.2
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	93	40.9	58.1	36.6	31.2	32.3	17.2	16.1	11.8	1.1
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	93	75.3	34.4	39.8	19.4	25.8	21.5	18.3	7.5	1.1
		ひらがな、カタカナの言葉はいくつか読むことができる	40	85.0	27.5	32.5	27.5	22.5	25.0	17.5	12.5	0
		ほとんど読むことができない	24	100.0	20.8	20.8	33.3	16.7	8.3	25.0	8.3	0
	③ 書く	複雑な内容の文章も書くことができる	21	14.3	52.4	42.9	23.8	47.6	33.3	14.3	0	0
		簡単な手紙や報告を書くことができる	87	33.3	55.2	37.9	34.5	24.1	19.5	10.3	12.6	0
		短いメールやメッセージを書くことができる	124	62.1	41.9	35.5	25.0	30.6	25.0	17.7	9.7	1.6
		ほとんど書くことができない	63	93.7	33.3	38.1	31.7	25.4	12.7	23.8	7.9	1.6

〔5〕仕事や学校以外の交流・活動(単一回答)

仕事や学校以外の交流・活動について、「すでに交流・活動している」と「交流・活動はしていないが、今後参加してみたい」を合わせた『参加意向あり』は、「地域のイベント(夏まつり、地蔵盆など)」(69.0%)が最も多く、次いで、「趣味やスポーツ活動」(65.9%)、「日本文化や京都の文化を学ぶ活動」(64.9%)となっている。

すべての交流・活動で、「交流・活動はしていないが、今後参加してみたい」の割合が最も高くなっている。

【図表 97 仕事や学校以外の交流・活動】



■地域のイベント(夏まつり、地蔵盆など)

国籍・地域別にみると、『参加意向あり』の割合は、フィリピン(90.6%)が最も高く、次いで、フランス(88.5%)、インドネシア(83.8%)となっている。

在留資格別にみると、『参加意向あり』の割合は、高度専門職(83.3%)が最も高く、次いで、留学(日本語学校)(80.6%)、家族滞在(79.3%)となっている。

年齢別にみると、『参加意向あり』の割合は、30歳～39歳(79.3%)が最も高く、次いで、20歳～29歳(75.2%)、18歳～19歳(75.0%)となっている。

日本語の能力別にみると、日本語能力に関わらず、「交流・活動はしていないが、今後参加してみたい」の割合が最も高くなっている。

【図表 98 地域のイベント(夏まつり、地蔵盆など)(属性特徴)】

		n	活 動 す で に 交 流 す る	今 し 交 流 後 で い ま し て 交 流 す る こ と が あ り た い	予 定 は な し 交 流 す る	無 回 答	参 加 意 向 あ り
全体		1,272	266	612	233	161	878
		100	20.9	48.1	18.3	12.7	69.0
国籍・地域	中国	347	19.3	54.5	17.6	8.6	73.8
	韓国	242	26.4	18.6	32.2	2.7	45.0
	ベトナム	115	8.7	64.3	14.8	12.2	73.0
	オパール	73	5.5	52.1	15.1	27.4	57.6
	台湾	73	20.5	60.3	17.8	1.4	80.8
	フィリピン	53	20.8	69.8	1.9	7.5	90.6
	アメリカ	44	34.1	43.2	20.5	2.3	77.3
	インドネシア	37	13.5	70.3	5.4	10.5	83.8
	タイ	31	16.1	58.1	6.5	19.4	74.2
	フランス	26	42.3	46.2	11.5	0	88.5
その他	225	25.3	48.4	16.0	10.2	73.7	
在留資格	留学(大学・大学院)	248	19.4	59.3	14.9	6.5	78.7
	留学(日本語学校)	67	16.4	64.2	7.5	1.9	80.6
	留学(専門学校、その他)	22	13.6	45.5	13.6	2.5	59.1
	帰化	188	24.5	35.1	22.3	18.1	59.6
	永住者	187	30.5	15.0	35.8	18.7	45.5
	特別永住者	156	18.6	60.3	14.7	6.4	78.9
	技術・人文知識・国際業務	62	4.8	66.1	12.9	16.1	70.9
	技能実習	63	12.7	60.3	9.5	17.5	73.0
	特定技能	63	31.7	41.3	19.0	17.9	73.0
	日本人の配偶者等	58	22.4	56.9	6.9	13.8	79.3
年齢	18歳～19歳	24	16.7	58.3	16.7	8.3	75.0
	20歳～29歳	456	16.2	59.0	14.7	10.1	75.2
	30歳～39歳	329	17.9	61.4	10.6	10.0	79.3
	40歳～49歳	147	34.0	38.8	21.8	15.4	72.8
	50歳～59歳	115	20.0	27.8	36.5	15.7	47.8
	60歳～69歳	80	31.3	25.0	27.5	16.3	56.3
	70歳～79歳	78	28.2	16.7	26.9	28.2	44.9
	80歳以上	37	24.3	10.8	21.6	43.2	35.1
日本語能力	① 話す・聞く						
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	430	27.2	32.3	26.3	14.2	59.5
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	428	19.9	54.9	15.4	9.3	74.8
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	340	14.4	60.6	12.9	12.1	75.0
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	60	15.0	51.7	15.0	18.3	66.7
	② 読む						
	どんな内容の文章でも読むことができる	499	28.3	36.1	24.0	11.6	64.4
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	326	16.9	56.4	17.5	9.2	73.3
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	269	16.4	62.8	9.3	11.5	79.2
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	97	13.4	50.5	18.6	17.5	63.9
	ほとんど読むことができない	54	13.0	48.1	20.4	18.5	61.1
	③ 書く						
複雑な内容の文章も書くことができる	373	29.5	33.2	26.8	10.5	62.7	
簡単な手紙や報告を書くことができる	375	20.0	52.3	14.9	12.8	72.3	
短いメールやメッセージを書くことができる	343	15.7	60.3	14.0	9.9	76.0	
ほとんど書くことができない	154	14.9	51.9	18.2	14.9	66.8	

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■趣味やスポーツ活動

国籍・地域別にみると、『参加意向あり』の割合は、フィリピン(86.8%)が最も高く、次いで、ミャンマー(77.4%)、フランス(76.9%)となっている。

在留資格別にみると、『参加意向あり』の割合は、留学(大学・大学院)(74.6%)が最も高く、次いで、留学(日本語学校)(73.1%)、日本人の配偶者等(73.0%)となっている。

年齢別にみると、『参加意向あり』の割合は、18歳～19歳(79.1%)が最も高く、次いで、30歳～39歳(73.6%)、20歳～29歳(71.1%)となっている。また、年齢が低いほど、「交流・活動はしていないが、今後参加してみたい」の割合が高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力に関わらず、「交流・活動はしていないが、今後参加してみたい」が最も高くなっている。

【図表 99 趣味やスポーツ活動(属性特徴)】

		n	活 動 す で に 交 流 す る	今 後 交 流 す る こ と が あ り ま す	交 流 す る こ と が あ り ま す	交 流 す る こ と が あ り ま す	交 流 す る こ と が あ り ま す	(%)
全体		1,272	202	636	279	155	838	
		100	15.9	50.0	21.9	12.2	65.9	
国籍・地域	中国	347	15.3	55.0	20.5	9.2	70.3	
	韓国	242	21.5	25.6	32.2	20.7	47.1	
	バドナム	115	0.9	60.0	24.3	14.8	60.9	
	ネパール	73	6.8	52.1	21.9	19.2	58.9	
	台湾	73	13.7	61.6	21.9	2.7	75.3	
	フィリピン	53	15.1	71.7	9.4	2.8	86.8	
	アメリカ	44	27.3	47.7	20.5	4.5	75.0	
	インドネシア	37	16.2	56.8	13.5	13.5	73.0	
	ミャンマー	31	9.7	67.7	3.2	19.4	77.4	
	フランス	26	34.6	42.3	19.2	3.8	76.9	
	その他	225	18.2	52.4	20.0	9.3	70.6	
在留資格	留学(大学・大学院)	248	10.9	63.7	18.5	6.9	74.6	
	留学(日本語学校)	67	13.4	59.7	13.4	13.4	73.1	
	留学(専門学校、その他)	22	13.6	50.0	13.6	22.7	63.6	
	永住者	188	23.4	38.3	21.3	17.0	61.7	
	特別永住者	187	25.1	21.4	36.9	16.6	46.5	
	技術・人文知識・国際業務	156	14.7	54.5	23.1	7.7	69.2	
	技能実習	62	1.6	61.3	19.4	17.7	62.9	
	特別技能	63	12.7	57.1	15.9	14.4	69.8	
	日本人の配偶者等	63	27.0	46.0	22.2	4.8	73.0	
	家族滞在	58	10.3	62.1	13.8	13.8	72.4	
	高度専門職	24	4.2	66.7	12.5	16.7	70.9	
経営・管理	21	14.3	52.4	23.8	9.5	66.7		
その他の資格	103	10.7	59.2	22.3	7.8	69.9		
年齢	18歳～19歳	24	8.3	70.8	16.7	4.2	79.1	
	20歳～29歳	456	12.3	58.8	18.6	10.3	71.1	
	30歳～39歳	329	14.6	59.0	16.7	9.7	73.6	
	40歳～49歳	147	18.4	47.6	27.9	6.1	66.0	
	50歳～59歳	115	19.1	34.8	32.2	13.9	53.9	
	60歳～69歳	80	27.5	35.0	27.5	10.0	62.5	
	70歳～79歳	78	23.1	21.8	23.1	32.1	44.9	
	80歳以上	37	16.2	2.7	40.5	40.5	18.9	
日本語能力	① 話す							
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	430	25.1	35.8	26.0	13.0	60.9	
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	428	13.8	54.7	21.7	9.8	68.5	
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	340	7.6	62.9	18.2	11.2	70.5	
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	60	8.3	55.0	18.3	18.3	63.3	
	② 読む							
	どんな内容の文章でも読むことができる	499	21.8	39.7	26.9	11.6	61.5	
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	326	14.4	59.2	19.3	7.1	73.6	
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	269	11.5	60.6	16.4	11.5	72.1	
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	97	6.2	51.5	23.7	18.6	57.7	
	ほとんど読むことができない	54	9.3	51.9	24.1	14.8	61.2	
	③ 書く							
複雑な内容の文章も書くことができる	373	25.5	37.0	27.1	10.5	62.5		
簡単な手紙や報告を書くことができる	375	15.2	54.1	19.2	11.5	69.3		
短いメールやメッセージを書くことができる	343	10.5	58.3	20.4	10.8	68.8		
ほとんど書くことができない	154	7.1	59.1	22.1	11.7	66.2		

■日本文化や京都の文化を学ぶ活動

国籍・地域別にみると『参加意向あり』の割合は、フィリピン(90.5%)が最も高く、次いで、ミャンマー(83.9%)、アメリカ(81.8%)となっている。

在留資格別にみると、『参加意向あり』の割合は、留学(日本語学校)(83.6%)が最も高く、次いで、高度専門職(79.2%)、経営・管理(76.2%)となっている。

年齢別にみると、『参加意向あり』の割合は、30歳～39歳(76.0%)が最も高く、次いで、20歳～29歳(73.2%)、40歳～49歳(64.6%)となっている。また、69歳以下で「交流・活動はしていないが、今後参加してみたい」、70歳以上で「交流・活動する予定はない」の割合が高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力に関わらず、「交流・活動はしていないが、今後参加してみたい」の割合が最も高くなっている。

【図表 100 日本文化や京都の文化を学ぶ活動(属性特徴)】

		n	すでに交流・活動している	今後参加してみたい	交流・活動する予定はない	無回答	参加意向あり	
全体		1,272	150	676	289	157	826	
		100	11.8	53.1	22.7	12.3	64.9	
国籍・地域	中国	347	9.8	60.5	20.5	9.2	70.3	
	韓国	242	5.4	26.0	45.0	23.6	31.4	
	ベトナム	115	4.3	69.6	14.8	11.3	73.9	
	タイ	73	11.0	53.4	16.4	19.2	64.4	
	台湾	73	17.8	63.0	17.8	1.4	80.8	
	フィリピン	53	22.6	67.9	5.7	3.8	90.5	
	アメリカ	44	22.7	59.1	13.6	4.5	81.8	
	インドネシア	37	10.8	64.9	13.5	10.8	75.7	
	ミャンマー	31	22.6	61.3	0	16.1	83.9	
	フランス	26	19.2	53.8	26.9	0	73.0	
その他	225	16.4	52.4	20.4	10.7	68.8		
在留資格	留学(大学・大学院)	248	12.5	60.9	19.8	6.9	73.4	
	留学(日本語学校)	67	16.4	67.2	4.5	11.9	83.6	
	留学(専門学校、その他)	22	9.1	50.0	18.2	22.7	59.1	
	永住者	188	12.8	45.7	25.0	16.5	58.5	
	特別永住者	187	5.9	19.3	54.0	20.9	25.2	
	技術・人文知識・国際業務	156	13.5	60.9	19.2	6.4	74.4	
	技能実習	62	6.5	69.4	11.3	12.9	75.9	
	特定技能	63	9.5	63.5	9.5	17.5	73.0	
	日本人の配偶者等	63	20.6	52.4	22.2	4.8	73.0	
	家族滞在	58	5.2	70.7	12.1	12.1	75.9	
高度専門職	24	12.5	66.7	8.3	12.5	79.2		
経営・管理	21	9.5	66.7	14.3	9.5	76.2		
その他の資格	103	16.5	60.2	14.6	8.7	76.7		
年齢	18歳～19歳	24	12.5	45.8	41.7	0	58.3	
	20歳～29歳	456	11.4	61.8	16.9	9.9	73.2	
	30歳～39歳	329	13.1	62.9	15.5	8.5	76.0	
	40歳～49歳	147	10.9	53.7	29.3	6.1	64.6	
	50歳～59歳	115	13.9	38.3	33.9	13.9	52.2	
	60歳～69歳	80	13.8	36.3	32.5	17.5	50.1	
	70歳～79歳	78	9.0	25.6	32.1	33.3	34.6	
	80歳以上	37	5.4	5.4	45.9	43.2	10.8	
日本語能力	① 話す・聞く	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	430	11.6	37.0	36.5	14.9	48.6
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	428	13.6	59.8	17.3	9.3	73.4
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	340	9.1	66.2	14.4	10.3	75.3
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	60	16.7	56.7	11.7	15.0	73.4
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	499	11.8	41.7	33.9	12.6	53.5
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	326	11.0	63.2	17.5	8.3	74.2
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	269	13.8	62.5	13.4	10.4	76.3
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	97	9.3	64.9	12.4	13.4	74.2
	③ 書く	ほとんど読むことができない	54	14.8	50.0	20.4	14.8	64.8
		複雑な内容の文章も書くことができる	373	12.6	38.3	37.0	12.1	50.9
		簡単な手紙や報告を書くことができる	375	13.1	57.1	18.4	11.5	70.2
		短いメールやメッセージを書くことができる	343	9.0	66.5	14.3	10.2	75.5
ほとんど書くことができない	154	14.3	56.5	19.5	9.7	70.8		

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■外国語の勉強のための言語交換(language exchange)

国籍・地域別にみると、『参加意向あり』の割合は、フィリピン(88.6%)が最も高く、次いで、ミャンマー(80.6%)、台湾(79.4%)となっている。

在留資格別にみると、『参加意向あり』の割合は、家族滞在(79.3%)が最も高く、次いで、留学(日本語学校)(77.6%)、技術・人文知識・国際業務(70.5%)となっている。

年齢別にみると、『参加意向あり』の割合は、20歳～29歳(69.5%)が最も高く、次いで、30歳～39歳(68.7%)、18歳～19歳(58.4%)となっている。

日本語能力別にみると、全般的に、「交流・活動はしていないが、今後参加してみたい」の割合が最も高くなっているが、日本語能力が高い人は「交流・活動する予定はない」の割合が高くなっている。

【図表 101 外国語の勉強のための言語交換(language exchange)(属性特徴)】

		n	活 動 す で に 交 流 す る	今 後 交 流 し て い な い が 、 参 加 し て み た い	交 流 し て い な い 予 定 は な い	無 回 答	参 加 意 向 あ り
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		1,272	109	625	370	168	734
		100	8.6	49.1	29.1	13.2	57.7
国籍・地域	中国	347	8.1	54.5	26.8	10.7	62.6
	韓国	242	4.5	22.7	48.3	24.4	27.2
	バトナム	115	1.7	67.0	16.5	14.8	68.7
	ネパール	73	12.3	61.6	8.2	17.8	73.9
	台湾	73	12.3	67.1	17.8	2.7	79.4
	フィリピン	53	9.4	79.2	5.7	2.7	88.6
	アメリカ	44	20.5	34.1	43.2	2.3	54.6
	インドネシア	37	2.7	70.3	18.9	8.1	73.0
	ミャンマー	31	16.1	64.5	3.2	16.1	80.6
	フランス	26	19.2	34.6	46.2	0	53.8
その他	225	11.1	43.1	35.1	10.7	54.2	
在留資格	留学(大学・大学院)	248	10.9	58.9	23.4	6.9	69.8
	留学(日本語学校)	67	19.4	58.2	10.4	11.9	77.6
	留学(専門学校、その他)	22	18.2	45.5	22.7	13.6	63.7
	永住者	188	8.5	32.4	38.8	20.2	40.9
	特別永住者	187	3.2	18.2	57.8	20.9	21.4
	技術・人文知識・国際業務	156	12.2	58.3	23.1	6.4	70.5
	経済活動	62	3.2	66.1	14.5	16.2	69.3
	特別活動	63	7.9	60.3	14.3	17.5	68.2
	特定技能	63	6.3	44.4	44.4	4.8	50.7
	日本人の配偶者等	58	8.6	70.7	8.6	12.1	79.3
	家族滞在	24	4.2	62.5	20.8	12.5	66.7
高度専門職	21	0	61.9	28.6	9.5	61.9	
経営・管理	103	6.8	63.1	18.4	11.7	69.9	
年齢	18歳～19歳	24	4.2	54.2	37.5	4.2	58.4
	20歳～29歳	456	10.7	58.8	20.6	9.9	69.5
	30歳～39歳	329	8.2	60.5	20.7	10.6	68.7
	40歳～49歳	147	8.2	48.3	36.7	6.8	56.5
	50歳～59歳	115	7.0	33.0	46.1	13.9	40.0
	60歳～69歳	80	13.8	27.5	42.5	16.2	41.3
	70歳～79歳	78	1.3	16.7	47.4	34.6	18.0
	80歳以上	37	0	0	51.4	48.6	0
日本語能力	① 話 す く	430	8.1	32.1	44.2	15.6	40.2
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	428	9.1	53.7	26.6	10.5	62.8
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	340	8.2	65.0	16.5	10.3	73.2
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	60	11.7	60.0	8.3	20.0	71.7
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	499	7.4	36.7	42.1	13.8	44.1
	② 読 む	326	11.7	55.5	24.5	8.3	67.2
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	269	10.4	60.6	18.6	10.4	71.0
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	97	4.1	63.9	16.5	15.5	68.0
	ほとんど読むことができない	54	3.7	61.1	14.8	20.4	64.8
	③ 書 く	373	8.3	35.1	43.7	12.9	43.4
	複雑な内容の文章も書くことができる	375	9.9	50.9	26.7	12.5	60.8
	簡単な手紙や報告を書くことができる	343	9.6	60.1	20.7	9.6	69.7
	短いメールやメッセージを書くことができる	154	5.2	60.4	20.8	13.6	65.6
	ほとんど書くことができない						

■自治会や町内会の活動

国籍・地域別にみると、『参加意向あり』の割合は、フィリピン(84.9%)が最も高く、次いで、ミャンマー(71.0%)、アメリカ(68.2%)となっている。「すでに交流・活動している」の割合は、韓国で35.1%、アメリカで25.0%、フィリピンで24.5%となっている。

在留資格別にみると、『参加意向あり』の割合は、高度専門職(66.7%)が最も高く、次いで、留学(日本語学校)(64.2%)、技能実習(61.3%)となっている。「すでに交流・活動している」は、特別永住者で41.2%となっている。

年齢別にみると、『参加意向あり』の割合は、40歳～49歳(62.6%)が最も高く、次いで、60歳～69歳(60.1%)、30歳～39歳(58.6%)となっている。また、「すでに交流・活動している」の割合は60歳以上で高くなっている。

日本語能力別にみると、全般的に、「交流・活動はしていないが、今後参加してみたい」の割合が最も高くなっているが、日本語能力が高い人は「交流・活動する予定はない」の割合が高くなっている。

【図表 102 自治会や町内会の活動(属性特徴)】

		n	活動 すでに交流 している	今 後 交 流 し て い な い が 、 今 後 参 加 し て み た い	交 流 し て い な い が 、 今 後 参 加 し て み た い	交 流 し て い な い が 、 今 後 参 加 し て み た い	無 回 答	参 加 意 向 あ り
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		1,272	212	467	449	144	679	
		100	16.7	36.7	35.3	11.3	53.4	
国籍・地域	中国	347	10.7	34.0	44.7	10.7	44.7	
	韓国	242	35.1	12.4	36.0	16.5	47.5	
	ベトナム	115	2.6	49.6	34.8	13.0	52.2	
	タイ	73	9.6	49.3	23.3	17.8	58.9	
	台湾	73	9.6	41.1	46.6	2.7	50.7	
	フィリピン	53	24.5	60.4	7.5	7.5	84.9	
	アメリカ	44	25.0	43.2	31.8	0	68.2	
	インドネシア	37	13.5	54.1	27.0	5.4	67.6	
	ミャンマー	31	22.6	48.4	6.5	22.6	71.0	
	フランス	26	15.4	46.2	38.5	0	61.6	
その他	225	13.3	43.1	33.8	9.3	56.4		
在留資格	留学(大学・大学院)	248	5.6	38.7	48.8	6.9	44.3	
	留学(日本語学校)	67	6.0	58.2	23.9	11.9	64.2	
	留学(専門学校、その他)	22	9.1	45.5	22.7	22.7	54.6	
	永住者	188	28.2	25.5	29.8	16.5	53.7	
	特別永住者	187	41.2	9.1	37.4	12.3	50.3	
	技術・人文知識・国際業務	156	5.1	50.6	37.8	6.4	55.7	
	技能実習	62	11.3	50.0	24.2	14.5	61.3	
	特定技能	63	6.3	47.6	27.0	19.0	53.9	
	日本人の配偶者等	63	23.8	36.5	34.9	4.8	60.3	
	家族滞在	58	12.1	41.4	34.5	12.1	53.5	
高度専門職	24	16.7	50.0	20.8	12.5	66.7		
経営・管理	21	23.8	23.8	42.9	9.5	47.6		
その他の資格	103	8.7	48.5	32.0	10.7	57.2		
年齢	18歳～19歳	24	4.2	29.2	62.5	4.2	33.4	
	20歳～29歳	456	5.9	42.8	41.7	9.6	48.7	
	30歳～39歳	329	9.7	48.9	30.4	10.9	58.6	
	40歳～49歳	147	26.5	36.1	30.6	6.8	62.6	
	50歳～59歳	115	24.3	23.5	39.1	13.0	47.8	
	60歳～69歳	80	43.8	16.3	27.5	12.5	60.1	
	70歳～79歳	78	46.2	7.7	29.5	16.7	53.9	
	80歳以上	37	37.8	8.1	21.6	32.4	45.9	
日本語能力	① 話す、 聞く	430	29.3	23.3	37.0	10.5	52.6	
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	428	10.5	44.6	34.8	10.0	55.1	
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	340	8.2	43.5	37.6	10.6	51.7	
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	60	11.7	46.7	20.0	21.7	58.4	
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	499	25.1	24.8	40.5	9.6	49.9	
	② 読む	326	8.9	42.9	39.3	8.9	51.8	
	どんな内容の文章でも読むことができる	269	11.9	48.7	27.9	11.5	60.6	
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	97	9.3	44.3	28.9	17.5	53.6	
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	54	13.0	48.1	24.1	14.8	61.1	
	ほとんど読むことができない	373	27.6	22.5	41.3	8.6	50.1	
	③ 書く	375	14.7	40.8	32.8	11.7	55.5	
	複雑な内容の文章も書くことができる	343	9.9	44.0	35.9	10.2	53.9	
簡単な手紙や報告を書くことができる	154	7.8	48.7	30.5	13.0	56.5		
短いメールやメッセージを書くことができる								
ほとんど書くことができない								

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■福祉・環境などのボランティア活動

国籍・地域別にみると、『参加意向あり』の割合は、フィリピン(77.3%)が最も高く、次いで、ミャンマー(71.0%)、アメリカ(70.4%)となっている。

在留資格別にみると、『参加意向あり』の割合は、高度専門職(75.0%)が最も高く、次いで、留学(日本語学校)(62.7%)、家族滞在(62.1%)となっている。

年齢別にみると、『参加意向あり』の割合は、30歳～39歳と40歳～49歳(それぞれ59.9%)が最も高く、次いで、18歳～19歳(58.3%)となっている。

日本語能力別にみると、全般的に、「交流・活動はしていないが、今後参加してみたい」の割合が最も高くなっているが、日本語能力が高い人は「交流・活動する予定はない」の割合が高くなっている。

【図表 103 福祉・環境などのボランティア活動(属性特徴)】

		n	交流・活動はしていないが、今後参加してみたい	交流・活動する予定はない	無回答	参加意向あり
全体		1,272	75	586	438	173
		100	5.9	46.1	34.4	13.6
国籍・地域	中国	347	4.3	45.8	39.2	10.7
	韓国	242	8.3	23.1	44.2	24.4
	ベトナム	115	3.5	53.0	30.4	13.0
	ネパール	73	4.1	56.2	15.1	24.7
	台湾	73	2.7	54.8	39.7	2.7
	フィリピン	53	7.5	69.8	17.0	2.7
	アメリカ	44	6.8	63.6	27.3	2.3
	インドネシア	37	8.1	62.2	18.9	10.8
	ミャンマー	31	12.9	58.1	6.5	22.6
	フランス	26	7.7	57.7	30.8	3.8
その他	225	6.2	47.6	36.0	10.2	
在留資格	留学(大学・大学院)	248	4.8	48.8	39.1	7.3
	留学(日本語学校)	67	7.5	55.2	22.4	14.9
	留学(専門学校、その他)	22	0	36.4	31.8	31.8
	永住者	188	6.9	43.6	31.4	18.1
	特別永住者	187	10.7	20.9	47.6	20.9
	技術・人文知識・国際業務	156	1.3	55.1	35.9	7.7
	技能実習	62	1.6	59.7	21.0	17.7
	特許技能	63	6.3	50.8	23.8	19.9
	日本人の配偶者等	63	3.2	47.6	42.9	6.3
	家族滞在	58	5.2	56.9	25.9	12.1
	高度専門職	24	8.3	66.7	8.3	16.7
	経営・管理	21	4.8	52.4	33.3	9.5
その他の資格	103	8.7	49.5	33.0	8.7	
年齢	18歳～19歳	24	0	58.3	37.5	4.2
	20歳～29歳	456	4.8	47.1	36.8	11.2
	30歳～39歳	329	4.0	55.9	29.2	10.9
	40歳～49歳	147	6.8	53.1	34.0	6.1
	50歳～59歳	115	8.7	38.3	37.4	15.7
	60歳～69歳	80	13.8	32.5	40.0	13.8
	70歳～79歳	78	9.0	26.9	30.8	33.2
	80歳以上	37	5.4	8.1	37.8	48.6
日本語能力	① 話す					
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	430	7.4	37.7	39.3	15.6
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	428	5.6	50.0	33.6	10.7
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	340	4.4	52.1	32.1	11.5
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	60	3.3	51.7	25.0	20.0
	② 読む					
	どんな内容の文章でも読むことができる	499	6.8	38.3	41.7	13.2
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	326	6.4	50.9	33.7	8.9
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	269	4.8	53.5	29.0	12.6
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	97	3.1	53.6	25.8	17.5
	ほとんど読むことができない	54	3.7	51.9	27.8	16.7
	③ 書く					
複雑な内容の文章も書くことができる	373	7.8	37.5	41.8	12.9	
簡単な手紙や報告を書くことができる	375	5.9	48.8	32.3	13.1	
短いメールやメッセージを書くことができる	343	5.0	50.1	34.4	10.5	
ほとんど書くことができない	154	3.2	55.8	27.3	13.6	

■自国の文化を知ってもらう活動

国籍・地域別にみると、『参加意向あり』の割合は、ミャンマー(74.2%)が最も高く、次いで、フィリピン(73.6%)、ベトナム(67.8%)となっている。

在留資格別にみると、『参加意向あり』の割合は、家族滞在(72.4%)が最も高く、次いで、技能実習(64.5%)、特定技能(63.5%)となっている。

年齢別にみると、『参加意向あり』の割合は、30歳～39歳(60.5%)が最も高く、次いで、20歳～29歳(57.6%)、40歳～49歳(48.3%)となっている。

日本語能力別にみると、全般的に、「交流・活動はしていないが、今後参加してみたい」の割合が最も高くなっているが、日本語能力が高い人は「交流・活動する予定はない」の割合が高くなっている。

【図表 104 自国の文化を知ってもらう活動(属性特徴)】

		n	活 す で に 交 流 し て い る	今 し 交 流 ・ 活 動 は し て い な い が 、 今 後 参 加 し て み た い	予 定 は な い 交 流 ・ 活 動 す る	無 回 答	参 加 意 向 あ り
全体		1,272	84 6.6	544 42.8	459 36.1	185 14.5	628 49.4
国籍・地域	中国	347	4.9	46.7	36.0	12.4	51.6
	韓国	242	5.0	17.4	52.9	24.8	22.4
	ベトナム	115	3.5	64.3	20.0	12.2	67.8
	ネパール	73	12.3	53.4	11.0	23.3	65.7
	台湾	73	5.5	57.5	30.1	6.8	63.0
	フィリピン	53	9.4	64.2	18.9	7.5	73.6
	アメリカ	44	6.8	29.5	61.4	2.3	36.3
	インドネシア	37	2.7	56.8	29.7	10.8	59.5
	ミャンマー	31	16.1	58.1	3.2	22.9	74.2
	フランス	26	7.7	26.9	61.5	3.8	34.6
その他	225	9.8	40.4	38.7	11.1	50.2	
在留資格	留学(大学・大学院)	248	7.7	47.2	36.3	8.9	54.9
	留学(日本語学校)	67	10.4	49.3	25.4	14.9	59.7
	留学(専門学校、その他)	22	9.1	36.4	27.3	27.3	45.5
	永住者	188	7.4	29.3	43.1	20.2	36.7
	特別永住者	187	4.3	13.9	61.0	20.8	18.2
	技術・人文知識・国際業務	156	8.3	51.3	32.1	8.3	59.6
	技能実習	62	0	64.5	17.7	17.7	64.5
	特定技能	63	4.8	58.7	19.0	17.5	63.5
	日本人の配偶者等	63	6.3	41.3	47.6	4.8	47.6
	家族滞在	58	6.9	65.5	13.8	13.8	72.4
	高度専門職	24	0	58.3	20.8	20.8	58.3
	経営・管理	21	0	42.9	47.6	9.5	42.9
その他の資格	103	9.7	56.3	22.3	11.7	66.0	
年齢	18歳～19歳	24	4.2	33.3	54.2	8.3	37.5
	20歳～29歳	456	7.2	50.4	30.9	11.4	57.6
	30歳～39歳	329	5.5	55.0	27.1	12.5	60.5
	40歳～49歳	147	8.2	40.1	44.2	7.5	48.3
	50歳～59歳	115	3.5	25.2	53.9	17.4	28.7
	60歳～69歳	80	12.5	26.3	45.0	16.3	38.8
	70歳～79歳	78	7.7	15.4	44.9	32.1	23.1
	80歳以上	37	0	8.1	43.2	48.6	8.1
日本語能力	① 話 す く						
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	430	6.7	30.0	46.7	16.5	36.7
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	428	7.0	45.1	35.7	12.1	52.1
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	340	5.9	54.1	27.6	12.4	60.0
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	60	8.3	60.0	11.7	20.0	68.3
	② 読 む						
	どんな内容の文章でも読むことができる	499	5.8	32.3	47.3	14.6	38.1
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	326	6.7	47.2	35.0	11.0	53.9
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	269	8.2	52.0	27.1	12.6	60.2
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	97	6.2	54.6	23.7	15.5	60.8
	ほとんど読むことができない	54	7.4	57.4	14.8	20.4	64.8
	③ 書 く						
複雑な内容の文章も書くことができる	373	5.6	31.4	48.8	14.2	37.0	
簡単な手紙や報告を書くことができる	375	8.0	43.7	33.6	14.7	51.7	
短いメールやメッセージを書くことができる	343	6.4	51.3	30.9	11.4	57.7	
ほとんど書くことができない	154	6.5	52.6	27.3	13.6	59.1	

6 医療について

[1] 病院受診時の困りごと(複数回答)

病院受診時の困りごとについて、『何らかの困りごとがある』(全回答者から「特にない」と「無回答」を除く)が51.4%となっており、「特にない」は45.4%となっている。『何らかの困りごとがある』の中では、「休日や夜みてもらえる病院がどこにあるかわからない」(22.3%)が最も多く、次いで、「医師や看護師と言葉が通じない」(18.1%)、「どのような病院があるかを多言語で見つけることが難しい」(17.1%)となっている。

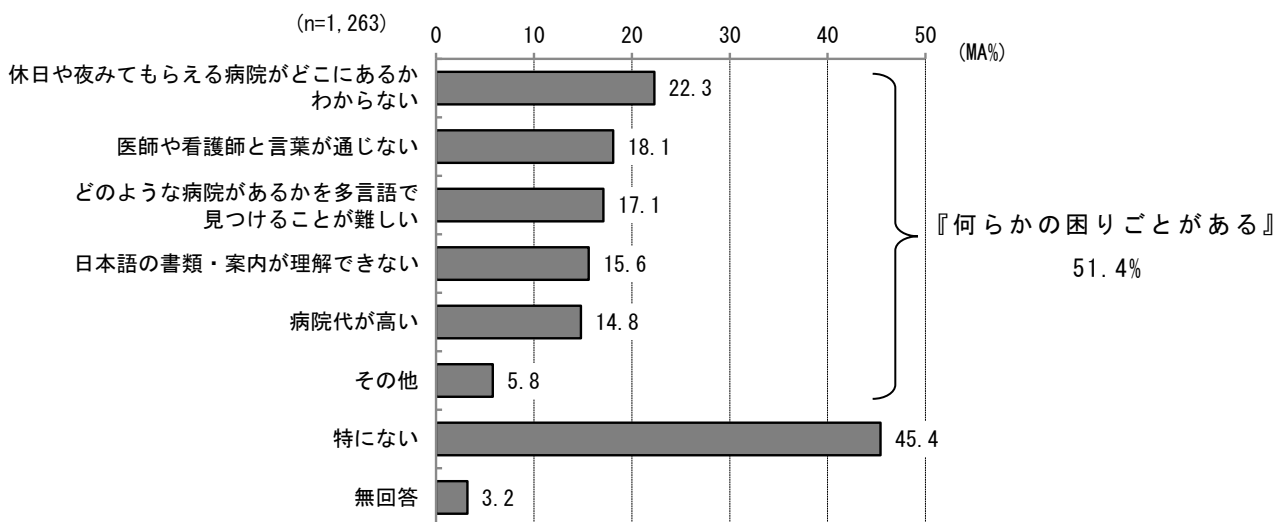
国籍・地域別にみると、『何らかの困りごとがある』の割合は、ネパール(75.4%)が他の国籍・地域と比べ、高くなっている。また、「休日や夜みてもらえる病院がどこにあるかわからない」の割合は、台湾(34.2%)、中国(31.1%)が高く、「日本語の書類・案内が理解できない」の割合は、ネパール(41.1%)、フィリピン(34.0%)で高くなっている。

在留資格別にみると、『何らかの困りごとがある』の割合は、家族滞在(71.9%)、技術・人文知識・国際(70.3%)が他の在留資格と比べ、高くなっている。また、「休日や夜みてもらえる病院がどこにあるかわからない」の割合は、技術・人文知識・国際業務(45.8%)が、他の在留資格と比べ、高くなっている。

年齢別にみると、49歳以下で「休日や夜みてもらえる病院がどこにあるかわからない」の割合が高くなっている。60歳以上は、「病院代が高い」の割合が最も高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低い人ほど、「医師や看護師と言葉が通じない」の割合が高くなっている。

【図表 105 病院受診時の困りごと】



※『何らかの困りごとがある』は全回答者から「特にない」と「無回答」を除いた割合

【図表 106 病院受診時の困りごと(属性特徴)】

		n	(MA%)											
			わ か ら な い	休 日 や 夜 に も こ こ に あ る か	医 師 や 看 護 師 と 言 葉 が 通 じ な い	難 し い	多 言 語 で 見 つ け る こ と が あ る か	日 本 語 の 書 類 ・ 案 内 が 理 解 で き な い	病 院 代 が 高 い	そ の 他	特 に な い	無 回 答	何 ら か の 困 り こ と が あ る	
全体		1,263	282	229	216	197	187	73	574	40	649			
		100	22.3	18.1	17.1	15.6	14.8	5.8	45.4	3.2	51.4			
国籍・地域	中国	344	31.1	22.4	14.0	8.1	11.0	7.3	41.3	1.2	57.5			
	韓国	240	5.8	0.8	2.5	2.1	16.3	2.1	71.3	6.7	22.0			
	ベトナム	114	25.4	26.3	27.2	27.2	14.9	3.5	36.0	2.6	61.4			
	ネパール	73	27.4	32.9	34.2	41.1	32.9	8.2	20.5	4.1	75.4			
	台湾	73	34.2	19.2	16.4	16.4	26.0	1.4	39.7	0	60.3			
	フィリピン	53	13.2	22.6	22.6	34.0	15.1	3.8	35.8	1.9	62.3			
	アメリカ	44	20.5	22.7	25.0	27.3	2.3	6.8	47.7	0	52.3			
	インドネシア	37	24.3	21.6	21.6	18.9	13.5	10.8	32.4	0	67.6			
	ミャンマー	31	16.1	12.9	29.0	6.5	6.5	9.7	48.4	0	51.6			
	フランス	26	26.9	15.4	26.9	23.1	3.8	11.5	42.3	3.8	53.9			
その他	222	22.5	19.4	20.7	20.3	14.9	7.2	42.8	5.0	52.2				
在留資格	留学(大学・大学院)	245	27.8	24.1	24.1	16.7	18.0	10.2	34.3	2.0	63.7			
	留学(日本語学校)	67	26.9	22.4	19.4	14.9	14.9	7.5	38.8	4.5	56.7			
	留学(専門学校、その他)	22	9.1	27.3	13.6	18.2	22.7	9.1	45.5	0	54.5			
	永住者	187	15.9	12.3	7.5	10.2	10.7	4.3	59.4	1.6	39.0			
	特別永住者	185	2.7	0.5	1.6	0.5	13.0	0	76.8	7.6	15.6			
	技術・人文知識・国際業務	155	45.8	24.5	20.6	18.1	18.7	7.1	27.1	2.6	70.3			
	技能実習	62	12.9	19.4	14.5	19.4	9.7	8.1	43.5	4.8	51.7			
	特定技能	63	15.9	12.7	28.6	20.6	12.7	1.6	46.0	3.2	50.8			
	日本人の配偶者等	63	17.5	17.5	19.0	25.4	15.9	4.8	41.3	1.6	57.1			
	家族滞在	57	35.1	42.1	26.3	29.8	15.8	5.3	22.8	5.3	71.9			
	高度専門職	24	27.5	8.3	4.2	4.2	4.2	8.3	54.2	0	45.8			
経営・管理	20	20.0	35.0	40.0	30.0	0	5.0	35.0	0	65.0				
その他の資格	103	28.2	21.4	25.2	25.2	17.5	3.9	39.8	1.0	59.2				
年齢	18歳～19歳	24	16.7	25.0	12.5	12.5	16.7	8.3	37.5	8.3	54.2			
	20歳～29歳	453	24.3	21.6	21.4	19.2	17.2	8.2	37.5	2.6	59.9			
	30歳～39歳	328	33.2	22.9	22.3	17.4	14.3	5.5	37.5	2.1	60.4			
	40歳～49歳	145	26.2	17.2	14.5	15.2	14.5	4.1	50.3	0.7	49.0			
	50歳～59歳	115	7.0	11.3	7.0	15.7	11.3	4.3	57.4	3.5	39.1			
	60歳～69歳	79	11.4	11.4	8.9	7.6	15.2	2.5	60.8	5.1	34.1			
	70歳～79歳	78	3.8	2.6	5.1	3.8	10.3	1.3	73.1	7.7	19.2			
	80歳以上	35	2.9	0	2.9	0	8.6	2.9	71.4	11.4	17.2			
日本語能力	① 話す、 聞く	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	427	15.0	2.6	4.2	2.8	12.9	4.0	66.3	4.0	29.7		
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	426	27.2	14.8	20.0	17.6	16.2	7.0	38.5	1.9	59.6		
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	338	23.7	37.6	26.3	25.1	15.1	5.6	31.4	3.8	64.8		
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	58	34.5	46.6	39.7	43.1	20.7	8.6	25.9	0	74.1		
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	496	19.0	5.6	5.2	3.2	13.3	4.6	60.9	3.6	35.5		
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	324	29.3	22.5	20.4	17.0	15.1	6.8	35.8	2.5	61.7		
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	268	17.2	26.1	25.4	24.3	15.3	6.7	37.7	3.0	59.3		
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	96	26.0	33.3	32.3	40.6	20.8	2.1	34.4	2.1	63.5		
	③ 書く	ほとんど読むことができない	52	32.7	42.3	40.4	36.5	17.3	9.6	25.0	0	75.0		
		複雑な内容の文章も書くことができる	370	15.7	3.5	4.1	1.9	11.6	4.1	66.8	3.5	29.7		
		簡単な手紙や報告を書くことができる	373	25.7	14.5	15.5	11.0	14.7	5.6	42.9	4.0	53.1		
		短いメールやメッセージを書くことができる	342	24.6	28.9	24.6	26.6	18.1	6.1	33.6	1.5	64.9		
ほとんど書くことができない	151	25.8	39.7	37.7	37.1	16.6	8.6	27.2	2.6	70.2				

7 子育て・教育について

[1] 0歳～18歳の子どもの有無(単一回答)

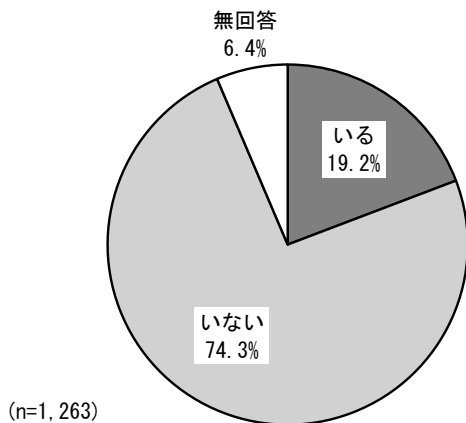
0歳～18歳の子どもが「いる」と回答した人は、19.2%となっている。

国籍・地域別にみると、「(子どもが)いる」はフィリピン(34.0%)で最も高く、次いで、ベトナム(28.9%)、フランス(23.1%)となっている。

在留資格別にみると、「(子どもが)いる」の割合は家族滞在(54.4%)で最も高く、次いで、経営・管理(50.0%)、日本人の配偶者等(44.4%)となっている。また、『留学』では、「(子どもが)いない」の割合が9割を超え、高くなっている。

年齢別にみると、「(子どもが)いる」は40歳～49歳(53.8%)で最も高く、次いで、30歳～39歳(36.0%)となっている。

【図表 107 0歳～18歳の子どもの有無】



【図表 108 0歳～18歳の子どもの有無(属性特徴)】

	n	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)		
全体	1,263	243	939	81		
	100	19.2	74.3	6.4		
国籍・地域	中国	344	20.1	76.5	3.5	
	韓国	240	12.9	70.4	16.7	
	ベトナム	114	28.9	67.5	3.5	
	ネパール	73	19.2	72.6	8.2	
	台湾	73	17.8	80.8	1.4	
	フィリピン	53	34.0	56.6	9.4	
	アメリカ	44	13.6	84.1	2.3	
	インドネシア	37	21.6	78.4	0	
	ミャンマー	31	3.2	93.5	3.2	
	フランス	26	23.1	73.1	3.8	
	その他	222	18.9	76.6	4.5	
	在留資格	留学(大学・大学院)	245	2.0	96.7	1.2
		留学(日本語学校)	67	3.0	94.0	3.0
留学(専門学校、その他)		22	4.5	95.5	0	
永住者		187	33.7	54.0	12.3	
特別永住者		185	13.0	71.9	15.1	
技術・人文知識・国際業務		155	16.1	81.9	1.9	
技能実習		62	17.7	79.0	3.2	
特定技能		63	19.0	74.6	6.3	
日本人の配偶者等		63	44.4	52.4	3.2	
家族滞在		57	54.4	35.1	10.5	
年齢	高度専門職	24	25.0	70.8	4.2	
	経営・管理	20	50.0	45.0	5.0	
	その他の資格	103	22.3	72.8	4.9	
	18歳～19歳	24	4.2	95.8	0	
	20歳～29歳	453	2.6	94.7	2.6	
	30歳～39歳	328	36.0	60.7	3.4	
	40歳～49歳	145	53.8	44.1	2.1	
	50歳～59歳	115	20.0	68.7	11.3	
60歳～69歳	79	6.3	78.5	15.2		
70歳～79歳	78	2.6	73.1	24.4		
80歳以上	35	5.7	62.9	31.4		

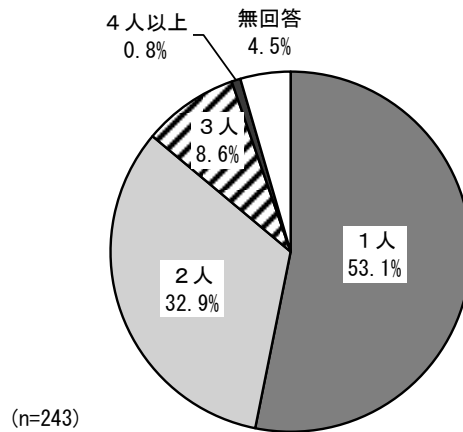
■子どもの人数(数字を回答)

子どもがいると回答した人のうち、子どもの人数は、「1人」(53.1%)が最も多く、次いで、「2人」(32.9%)、「3人」(8.6%)となっている。

国籍・地域別にみると、多くの国籍・地域で「1人」の割合が最も高くなっているが、「2人」の割合がネパール(50.0%)やベトナム(48.5%)で最も高くなっている。

在留資格別にみると、ほとんどの在留資格で「1人」の割合が高くなっているが、「2人」の割合が特別永住者(45.8%)で高くなっており、家族滞在で「1人」と「2人」が同じ割合(45.2%)となっている。

【図表 109 子どもの人数】



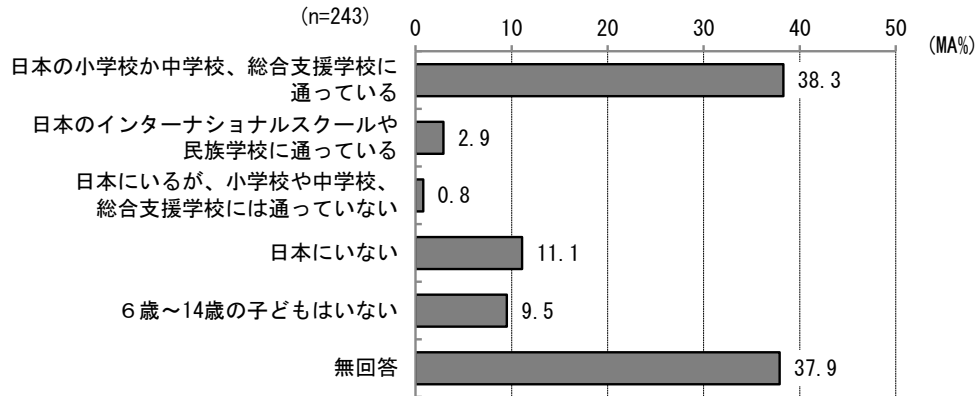
【図表 110 子どもの人数(属性特徴)】

		調査数	1人	2人	3人	4人以上	無回答	(%)
全体		243	129	80	21	2	11	
		100	53.1	32.9	8.6	0.8	4.5	
国籍・地域	中国	69	62.3	30.4	5.8	0	1.4	
	韓国	31	38.7	35.5	16.1	0	9.7	
	ベトナム	33	39.4	48.5	6.1	0	6.1	
	ネパール	14	35.7	50.0	7.1	0	7.1	
	台湾	13	76.9	15.4	7.7	0	0	
	フィリピン	18	44.4	38.9	5.6	0	11.1	
	アメリカ	6	83.3	16.7	0	0	0	
	インドネシア	8	25.0	37.5	12.5	0	25.0	
	ミャンマー	1	100.0	0	0	0	0	
	フランス	6	66.7	16.7	16.7	0	0	
その他	42	57.1	26.2	11.9	4.8	0		
在留資格	留学(大学・大学院)	5	40.0	40.0	20.0	0	0	
	留学(日本語学校)	2	50.0	50.0	0	0	0	
	留学(専門学校、その他)	1	0	100.0	0	0	0	
	永住者	63	50.8	38.1	7.9	0	3.2	
	特別永住者	24	29.2	45.8	16.7	0	8.3	
	技術・人文知識・国際業務	25	60.0	32.0	8.0	0	0	
	技能実習	11	45.5	18.2	9.1	0	27.3	
	特定技能	12	50.0	25.0	8.3	0	16.7	
	日本人の配偶者等	28	78.6	14.3	7.1	0	0	
	家族滞在	31	45.2	45.2	3.2	3.2	3.2	
	高度専門職	6	66.7	16.7	16.7	0	0	
	経営・管理	10	60.0	20.0	10.0	10.0	0	
その他の資格	23	56.5	30.4	8.7	0	4.3		

②6歳～14歳の子ども

6歳～14歳の子どもの就学状況は、「日本の小学校か中学校、総合支援学校に通っている」(38.3%)が最も多く、次いで、「日本にいない」(11.1%)となっている。

【図表 113 ②6歳～14歳の子ども】



【図表 114 ②6歳～14歳の子ども(属性特徴)】

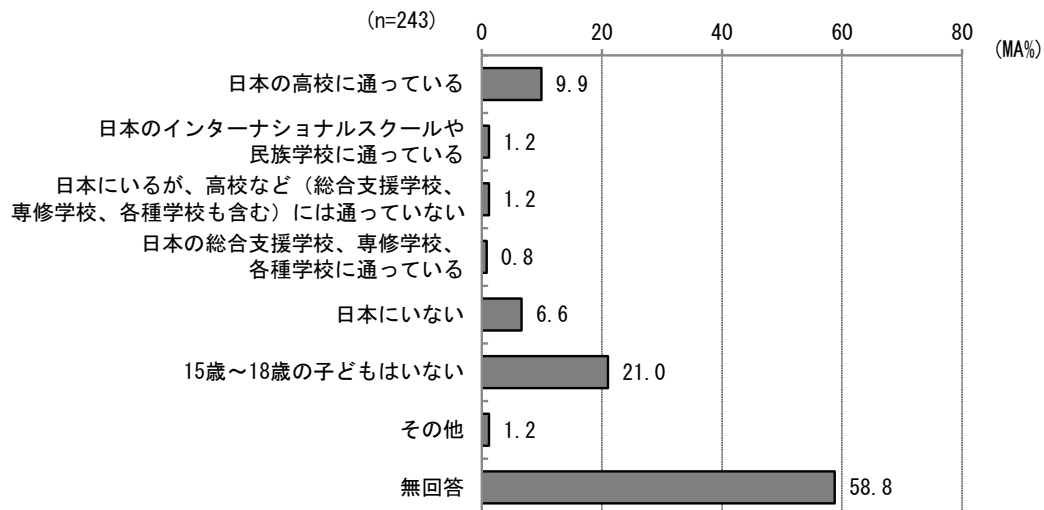
	n	日本の小学校か中学校、総合支援学校に通っている	日本のインターナショナルスクールや民族学校に通っている	日本にいて、小学校や中学校、総合支援学校には通っていない	日本にいない	6歳～14歳の子どもはいない	無回答	
全体	243	93	7	2	27	23	92	
	100	38.3	2.9	0.8	11.1	9.5	37.9	
国籍・地域	中国	69	50.7	0	0	1.4	10.1	37.7
	韓国	31	45.2	6.5	0	0	6.5	41.9
	ベトナム	33	27.3	0	0	24.2	6.1	42.4
	ネパール	14	28.6	0	0	50.0	14.3	7.1
	台湾	13	38.5	0	7.7	0	7.7	46.2
	フィリピン	18	16.7	0	0	27.8	16.7	38.9
	アメリカ	6	50.0	0	0	0	16.7	33.3
	インドネシア	8	50.0	0	0	37.5	0	12.5
	ミャンマー	1	0	0	0	0	0	100.0
	フランス	6	16.7	66.7	0	0	0	16.7
	その他	42	35.7	2.4	2.4	7.1	11.9	42.9
在留資格	留学(大学・大学院)	5	60.0	0	0	0	0	40.0
	留学(日本語学校)	2	0	0	0	50.0	0	50.0
	留学(専門学校、その他)	1	0	0	100.0	0	0	0
	永住者	63	46.0	3.2	0	1.6	12.7	36.5
	特別永住者	24	45.8	12.5	0	0	0	41.7
	技術・人文知識・国際業務	25	24.0	0	0	8.0	8.0	60.0
	技能実習	11	9.1	0	0	72.7	9.1	9.1
	特定技能	12	8.3	0	0	66.7	8.3	16.7
	日本人の配偶者等	28	42.9	0	0	0	14.3	42.9
	家族滞在	31	51.6	6.5	3.2	9.7	6.5	25.8
	高度専門職	6	50.0	0	0	0	0	50.0
	経営・管理	10	40.0	0	0	0	10.0	50.0
	その他の資格	23	30.4	0	0	17.4	17.4	34.8

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

③15歳～18歳の子ども

15歳～18歳の子どもの就学状況は、「15歳～18歳の子どもはいない」(21.0%)が最も多く、次いで、「日本の高校に通っている」(9.9%)、「日本にいない」(6.6%)となっている。

【図表 115 ③15歳～18歳の子ども】



【図表 116 ③15歳～18歳の子ども(属性特徴)】

	n	(MA%)								
		日本の高校に通っている	日本のインターナショナルスクールや民族学校に通っている	日本にいるが、高校など（総合支援学校も含む）には通っていない	日本の総合支援学校、専修学校、各種学校に通っている	日本にいない	15歳～18歳の子どもはいない	その他	無回答	
全体	243	24	3	3	2	16	51	3	143	
	100	9.9	1.2	1.2	0.8	6.6	21.0	1.2	58.8	
国籍・地域	中国	69	8.7	0	0	1.4	2.9	15.9	0	71.0
	韓国	31	29.0	3.2	0	0	0	12.9	0	54.8
	バドナム	33	0	0	0	0	12.1	24.2	0	63.6
	ネパール	14	7.1	0	0	0	21.4	57.1	0	14.3
	台湾	13	0	0	0	0	0	30.8	0	69.2
	フィリピン	18	11.1	5.6	5.6	5.6	16.7	16.7	5.6	38.9
	アメリカ	6	16.7	0	16.7	0	0	16.7	16.7	50.0
	インドネシア	8	12.5	0	0	0	37.5	12.5	0	37.5
	ミャンマー	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0
	フランス	6	0	16.7	0	0	0	16.7	0	66.7
	その他	42	9.5	0	2.4	0	2.4	23.8	0	61.9
	在留資格	留学(大学・大学院)	5	0	0	0	0	20.0	0	80.0
		留学(日本語学校)	2	0	0	0	100.0	0	0	0
留学(専門学校、その他)		1	0	0	0	0	100.0	0	0	
永住者		63	17.5	3.2	3.2	1.6	0	19.0	1.6	57.1
特別永住者		24	37.5	4.2	0	0	0	8.3	0	50.0
技術・人文知識・国際業務		25	0	0	0	0	4.0	16.0	0	80.0
技能実習		11	9.1	0	0	0	45.5	27.3	9.1	9.1
特定技能		12	8.3	0	0	0	33.3	16.7	0	41.7
日本人の配偶者等		28	3.6	0	0	0	3.6	17.9	0	75.0
家族滞在		31	0	0	3.2	0	6.5	22.6	0	67.7
高度専門職		6	0	0	0	0	0	0	0	100.0
経営・管理		10	0	0	0	10.0	0	40.0	0	50.0
その他の資格		23	4.3	0	0	0	4.3	43.5	0	47.8

〔3〕出産・育児の困りごと(複数回答)

日本に子どもがいると回答した人(0歳～18歳の子どもがいると回答した人から、就学状況の問いの「日本にいない」、「(該当する年齢の)子どもはいない」、「無回答」を除く)の、出産や育児での困りごとについては、『何らかの困りごとがある』(全回答者から「特にない」と「無回答」を除く)が27.6%であり、「特にない」は64.6%となっている。『何らかの困りごとがある』の中では、「同じように子育てをしている人と知り合う機会がない」(10.9%)が最も多く、次いで、「保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない」(7.8%)、「子育ての情報が日本語なのでわかりにくい」(7.3%)となっている。

国籍・地域別にみると、『何らかの困りごとがある』の割合は、ベトナム(52.6%)の割合が他の国籍・地域と比べ、高くなっている。

在留資格別にみると、『何らかの困りごとがある』の割合は、技術・人文知識・国際業務(44.4%)、家族滞在(39.3%)が他の在留資格と比べ、高くなっている。

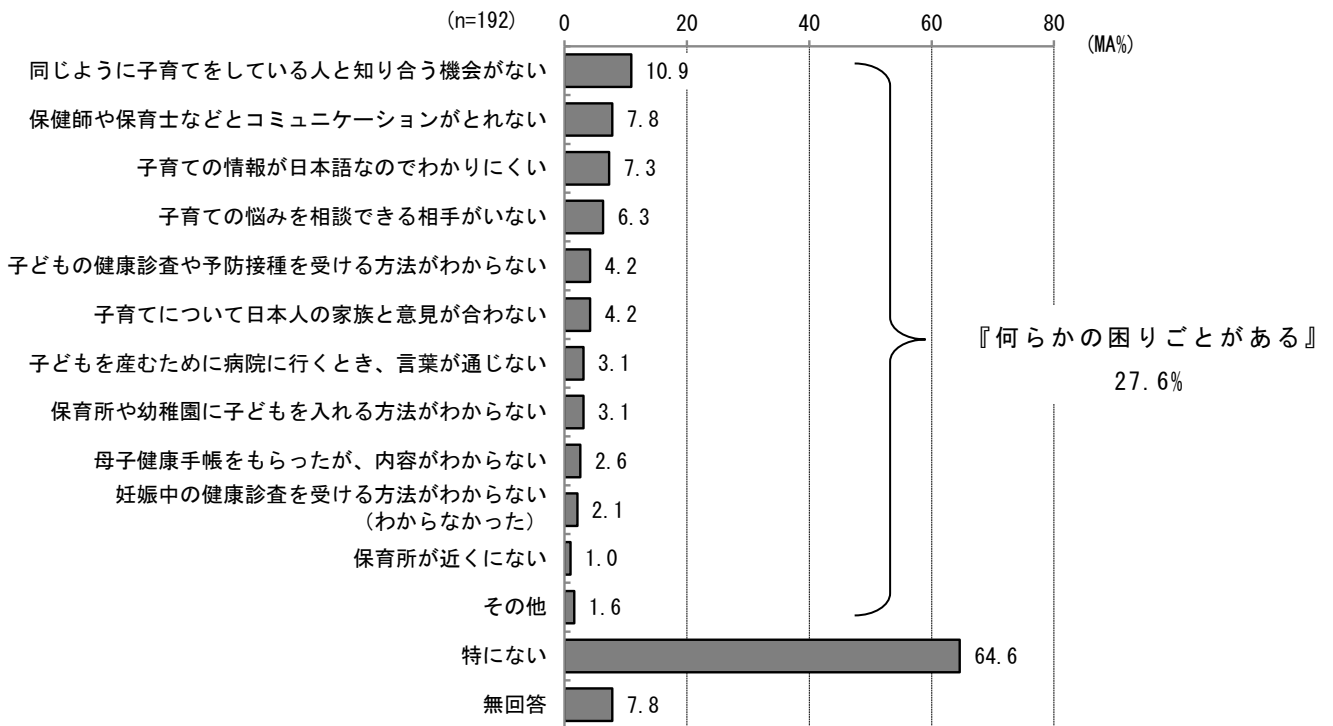
性別にみると、男女ともに、「同じように子育てをしている人と知り合う機会がない」の割合が最も高くなっているが、男性(8.4%)より女性(14.0%)の方が高くなっている。

年齢別にみると、「同じように子育てをしている人と知り合う機会がない」は30歳～39歳(13.8%)が他の年代と比べ、高くなっている。

日本語能力別にみると、多くの属性で「同じように子育てをしている人と知り合う機会がない」の割合が高くなっているが、「ほとんど日本語ができない」と回答した人では「保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない」の割合が高くなっている。

日本人との交流別にみると、対面での交流が深いほど、『何らかの困りごとがある』の割合が低くなる傾向がある。

【図表 117 出産・育児の困りごと】



※『何らかの困りごとがある』は全回答者から「特にない」と「無回答」を除いた割合

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

【図表 118 出産・育児の困りごと(属性特徴)】

		n	人と同じように子育てをしている機会がない	保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない	子育ての情報が日本語なのでわかりにくい	子育ての悩みを相談できる相手がいらない	予防接種を受ける方法がわからない	家族と意見が合わない	子どもについて日本人の子育てについて見えない	子どもを産むために病院に行くとき言葉が通じない	保育所や幼稚園に子どもを入れる方法がわからない	母子健康手帳をもらったが、内容がわからない	妊娠中の健康診査を受ける方法がわからない(わがままな方法があった)	保育所が近くにない	その他	特になし	無回答	何らかの困りごとがある
全体		192	21	15	14	12	8	8	6	6	5	4	2	3	124	15	104	
		100	10.9	7.8	7.3	6.3	4.2	4.2	3.1	3.1	2.6	2.1	1.0	1.6	64.6	7.8	27.6	
国籍・地域	中国	60	18.3	10.0	11.7	11.7	5.0	3.3	3.3	1.7	3.3	0	1.7	0	60.0	10.0	30.0	
	韓国	27	3.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	88.9	7.4	3.7	
	バトナム	19	21.1	21.1	21.1	21.1	5.3	0	5.3	10.5	10.5	0	0	0	47.4	0	52.6	
	ネパール	7	0	42.9	0	0	28.6	0	42.9	0	0	28.6	0	0	42.9	14.3	42.8	
	台湾	13	7.7	0	0	7.7	7.7	7.7	0	7.7	7.7	0	0	0	46.2	15.4	38.4	
	フィリピン	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11.1	77.8	11.1	11.1	
	アメリカ	6	0	16.7	16.7	0	0	16.7	0	16.7	0	0	0	0	83.3	0	16.7	
	インドネシア	5	40.0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0	20.0	0	20.0	0	80.0	
	ミャンマー	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0	0	
	フランス	6	0	0	0	0	16.7	0	0	0	0	0	0	0	83.3	0	16.7	
その他	38	5.3	0	2.6	0	0	10.5	0	2.6	0	2.6	0	5.3	71.1	7.9	21.0		
在留資格	留学(大学・大学院)	5	20.0	0	20.0	0	0	0	0	0	0	0	20.0	0	40.0	0	60.0	
	留学(日本語学校)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	留学(専門学校、その他)	1	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	
	永住者	60	6.7	5.0	3.3	6.7	1.7	5.0	1.7	3.3	0	0	0	0	73.3	11.7	15.0	
	特別永住者	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.5	86.4	9.1	4.5	
	技術・人文知識・国際業務	18	27.8	5.6	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	11.1	5.6	0	0	0	55.6	0	44.4	
	技能実習	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50.0	0	50.0	0	0	100.0	
	特定技能	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	
	日本人の配偶者等	25	12.0	4.0	4.0	4.0	0	6.0	0	0	4.0	0	0	0	60.0	4.0	36.0	
	家族滞在	28	14.3	21.4	21.4	7.1	14.3	0	7.1	3.6	10.7	7.1	0	3.6	53.6	7.1	39.3	
高度専門職	5	20.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0	0	60.0	0	40.0		
経営・管理	7	14.3	0	0	14.3	0	0	0	0	0	0	0	0	57.1	28.6	14.3		
その他の資格	17	11.8	17.6	5.9	11.8	5.9	0	11.8	5.9	0	5.9	0	0	70.6	0	29.4		
性別	男性	95	8.4	4.2	4.2	4.2	2.1	4.2	3.2	4.2	1.1	2.1	0	3.2	67.4	8.4	24.2	
	女性	93	14.0	10.8	9.7	8.6	6.5	4.3	3.2	2.2	4.3	2.2	1.1	0	62.4	7.5	30.1	
その他・答えたくない	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33.3	0	66.7	0	33.3	
年齢	18歳～19歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0	100.0	0	0	100.0	
	20歳～29歳	6	0	16.7	0	0	0	0	0	0	0	16.7	0	0	66.7	0	33.3	
	30歳～39歳	87	13.8	11.5	10.3	10.3	5.7	3.4	4.6	5.7	5.7	1.1	2.3	1.1	60.9	2.3	36.8	
	40歳～49歳	72	11.1	2.8	4.2	2.8	2.8	6.9	1.4	1.4	0	1.4	0	1.4	69.4	8.3	22.3	
	50歳～59歳	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75.0	25.0	0	
	60歳～69歳	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0	20.0	0	0	0	0	0	40.0	40.0	20.0	
	70歳～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日本語能力	①聞く・話す	どんな場面でも努力せずに話し聞き取ることができる	82	9.8	1.2	1.2	4.9	1.2	3.7	0	3.7	0	0	1.2	75.6	8.5	15.9	
		日常生活に困らないくらい話し聞き取ることができる	57	8.8	5.3	7.0	5.3	3.5	5.3	1.8	3.5	1.8	3.5	1.8	3.5	63.2	3.5	33.3
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	41	19.5	17.1	17.1	12.2	7.3	4.9	7.3	2.4	9.8	0	2.4	0	48.8	12.2	39.0
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	11	0	27.3	9.1	0	18.2	0	18.2	0	0	18.2	0	0	54.5	9.1	36.4
	②読む	どんな内容の文章でも読むことができる	79	8.9	1.3	0	5.1	1.3	1.3	0	2.5	0	1.3	0	1.3	75.9	8.9	15.2
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	49	12.2	6.1	8.2	6.1	4.1	10.2	0	2.0	4.1	0	2.0	0	59.2	4.1	36.7
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	32	12.5	6.3	9.4	6.3	3.1	6.3	3.1	6.3	3.1	0	0	3.1	62.5	9.4	28.1
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	13	7.7	23.1	15.4	7.7	0	0	0	7.7	7.7	0	0	0	69.2	7.7	23.1
	ほとんど読むことができない	17	17.6	29.4	23.5	11.8	23.5	0	29.4	0	5.9	17.6	5.9	5.9	29.4	11.8	58.8	
	③書く	複雑な内容の文章も書くことができる	65	6.2	1.5	0	4.6	1.5	1.5	0	3.1	0	1.5	0	1.5	76.9	9.2	13.9
簡単な手紙や報告を書くことができる		45	17.8	0	6.7	8.9	4.4	6.7	0	2.2	0	0	2.2	2.2	60.0	2.2	37.8	
短いメールやメッセージを書くことができる		50	6.0	10.0	8.0	2.0	2.0	6.0	2.0	4.0	6.0	0	0	0	68.0	10.0	22.0	
ほとんど書くことができない		28	21.4	28.6	21.4	14.3	14.3	3.6	17.9	3.6	7.1	10.7	3.6	3.6	35.7	10.7	53.6	
日本人との交流	親しく交流する人がいる	92	7.6	3.3	4.3	4.3	0	7.6	0	4.3	0	0	0	1.1	75.0	5.4	19.6	
	個人的な話をする人がいる	79	7.6	5.1	5.1	6.3	1.3	3.8	1.3	3.8	1.3	1.3	0	0	72.2	5.1	22.7	
	挨拶をする人がいる	108	13.9	9.3	11.1	5.6	6.5	4.6	3.7	3.7	2.8	2.8	0.9	0.9	59.3	8.3	32.4	
	インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる	13	30.8	7.7	0	7.7	0	7.7	7.7	7.7	7.7	0	7.7	0	38.5	7.7	53.8	
	日本人との付き合いはない	11	18.2	27.3	9.1	18.2	9.1	0	9.1	0	9.1	0	0	9.1	45.5	9.1	45.4	

〔4〕教育の困りごと(複数回答)

日本に子どもがいると回答した人の、教育での困りごとについては、『何らかの困りごとがある』(全回答者から「特にない」と「無回答」を除く)が51.6%であり、「特にない」は45.8%となっている。『何らかの困りごとがある』の中では、「進学や進路に不安がある」(20.8%)が最も多く、次いで、「教育にかかる費用が高い」(17.7%)、「子どもが日本語がうまくできない」(13.5%)となっている。

国籍・地域別にみると、ベトナムで『何らかの困りごとがある』が89.5%となっており、中でも、「進学や進路に不安がある」(57.9%)が高くなっている。

在留資格別にみると、「進学や進路に不安がある」の割合は、家族滞在(53.6%)や技術・人文知識・国際業務(33.3%)で高くなっている。

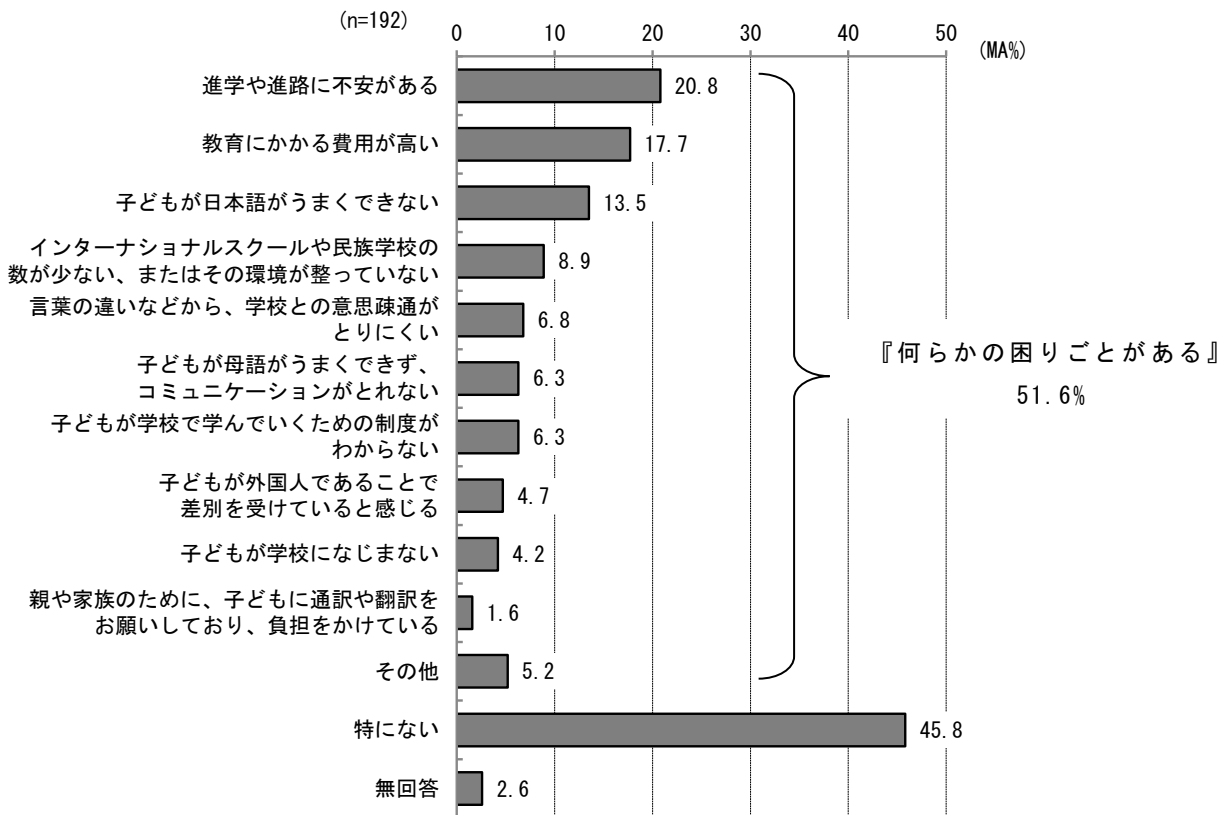
性別にみると、「進学や進路に不安がある」、「子どもが日本語がうまくできない」の割合は、男性(それぞれ15.8%、10.5%)より女性(26.9%、17.2%)で高くなっている。

年齢別にみると「進学や進路に不安がある」の割合は、30歳～39歳(24.1%)が最も高く、次いで、40歳～49歳(20.8%)となっている。また、「教育にかかる費用が高い」は50歳～59歳(25.0%)が最も高く、次いで、40歳～49歳(22.2%)となっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が高いほど、『何らかの困りごとがある』の割合が低くなる傾向がある。

日本人との交流別にみると、交流の度合いが深いほど、『何らかの困りごとがある』の割合が低くなる傾向がある。

【図表 119 教育の困りごと】



※『何らかの困りごとがある』は全回答者から「特にない」と「無回答」を除いた割合

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

【図表 120 教育の困りごと(属性特徴)】

		n	進学や進路に不安がある	教育にかかる費用が高い	子どもが日本語がうまくできない	インターナショナルスクールや民族学校の数が少ない環境が整っていない	言葉の通いなどから、学校との意思疎通がとりにくい	子どもが母語がうまくできず、コミュニケーションがとれない	子どもが学校で学んでいくための制度がわからない	子どもが外国人であることで差別を受けていると感じる	子どもが学校になじまない	親や家族のために、子どもに、負担をかけている	その他	特にない	無回答	何らかの困りごとがある	
全体		192	40	34	26	17	13	12	12	9	8	3	10	88	5	184	
		100	20.8	17.7	13.5	8.9	6.8	6.3	6.3	4.7	4.2	1.6	5.2	45.8	2.6	51.6	
国籍・地域	中国	60	26.7	21.7	20.0	5.0	8.3	6.7	10.0	3.3	8.3	1.7	0	45.0	3.3	51.7	
	韓国	27	7.4	22.2	0	7.4	0	0	0	7.4	0	0	7.4	63.0	0	37.0	
	ベトナム	19	57.9	10.5	10.5	0	10.5	15.8	5.3	0	5.3	0	0	10.5	0	89.5	
	ネパール	7	57.1	0	71.4	14.3	42.9	0	14.3	0	0	0	14.3	0	0	100.0	
	台湾	13	15.4	0	7.7	0	0	7.7	0	0	0	0	0	76.9	0	23.1	
	フィリピン	9	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	22.2	0	0	0	0	22.2	55.6	0	44.4	
	アメリカ	6	16.7	16.7	0	33.3	16.7	0	16.7	0	0	0	16.7	16.7	50.0	0	50.0
	インドネシア	5	0	20.0	40.0	0	20.0	0	20.0	0	0	0	0	20.0	0	20.0	
	ミャンマー	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0	0	
	フランス	6	16.7	66.7	16.7	16.7	0	0	16.7	33.3	16.7	0	16.7	33.3	0	66.7	
その他	38	5.3	13.2	5.3	18.4	0	5.3	5.3	5.3	5.3	2.6	2.6	5.3	52.6	5.3	42.1	
在留資格	留学(大学・大学院)	5	0	0	80.0	0	20.0	0	0	0	0	20.0	20.0	20.0	0	80.0	
	留学(日本語学校)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	留学(専門学校、その他)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0	0	
	永住者	60	16.7	28.3	5.0	8.3	5.0	11.7	10.0	5.0	5.0	0	5.0	46.7	5.0	48.3	
	特別永住者	22	9.1	27.3	0	13.6	0	0	4.5	0	0	0	0	68.2	0	31.8	
	技術・人文知識・国際業務	18	33.3	16.7	16.7	11.1	11.1	0	11.1	0	0	5.6	5.6	33.3	5.6	61.1	
	技能実習	2	0	0	0	0	0	0	0	50.0	0	0	50.0	0	0	100.0	
	特定技能	1	0	0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	
	日本人の配偶者等	25	4.0	8.0	8.0	4.0	0	16.0	0	4.0	0	0	8.0	52.0	4.0	44.0	
	家族滞在	28	53.6	21.4	39.3	7.1	17.9	3.6	7.1	7.1	14.3	3.6	7.1	21.4	0	78.6	
	高度専門職	5	20.0	0	0	20.0	0	0	0	0	0	0	0	40.0	0	60.0	
経営・管理	7	28.6	0	14.3	14.3	0	0	0	0	0	0	0	57.1	0	42.9		
その他の資格	17	17.6	0	5.9	11.8	11.8	0	11.8	5.9	0	0	0	64.7	0	35.3		
性別	男性	95	15.8	18.9	10.5	11.6	6.3	5.3	6.3	2.1	2.1	2.1	9.5	48.4	4.2	47.4	
	女性	93	26.9	17.2	17.2	6.5	7.5	6.5	6.5	7.5	5.4	1.1	1.1	43.0	1.1	55.9	
	その他・答えたくない	3	0	0	0	0	0	33.3	0	0	33.3	0	0	33.3	0	66.7	
年齢	18歳～19歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0	100.0	0	0	100.0	
	20歳～29歳	6	16.7	0	16.7	0	0	0	16.7	0	0	0	0	50.0	0	50.0	
	30歳～39歳	87	24.1	14.9	16.1	8.0	8.0	2.3	8.0	3.4	3.4	2.3	4.6	41.4	2.3	56.3	
	40歳～49歳	72	20.8	22.2	13.9	11.1	5.6	11.1	2.8	6.9	5.6	1.4	4.2	47.2	0	52.8	
	50歳～59歳	20	10.0	25.0	5.0	10.0	10.0	5.0	10.0	0	0	0	10.0	55.0	10.0	35.0	
	60歳～69歳	5	20.0	0	0	0	0	20.0	20.0	0	0	0	0	60.0	20.0	20.0	
	70歳～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	
日本語能力	①聞く・話す	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	82	9.8	25.6	1.2	13.4	1.2	7.3	6.1	7.3	2.4	0	3.7	58.5	2.4	39.1
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	57	29.8	15.8	10.5	5.3	3.5	7.0	3.5	1.8	5.3	1.8	7.0	40.4	1.8	57.8
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	41	22.0	7.3	31.7	4.9	19.5	4.9	12.2	4.9	7.3	2.4	4.9	36.6	4.9	58.5
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	11	45.5	9.1	45.5	9.1	18.2	0	0	0	9.1	9.1	18.2	0	81.8	
	②読む	どんな内容の文章でも読むことができる	79	13.9	26.6	1.3	15.2	1.3	5.1	5.1	7.6	2.5	0	3.8	55.7	2.5	41.8
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	49	20.4	12.2	16.3	0	4.1	8.2	6.1	4.1	8.2	0	2.0	46.9	4.1	49.0
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	32	25.0	15.6	12.5	6.3	15.6	6.3	9.4	0	0	3.1	6.3	43.8	0	56.2
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	13	30.8	7.7	30.8	15.4	0	7.7	7.7	7.7	0	0	7.7	23.1	0	76.9
	ほとんど読むことができない	17	35.3	5.9	47.1	5.9	29.4	5.9	5.9	0	11.8	11.8	17.6	17.6	5.9	76.5	
	③書く	複雑な内容の文章も書くことができる	65	12.3	27.7	1.5	15.4	1.5	4.6	4.6	9.2	3.1	0	3.1	56.9	0	43.1
簡単な手紙や報告を書くことができる		45	22.2	17.8	8.9	4.4	0	6.7	4.4	0	4.4	0	8.9	48.9	4.4	46.7	
短いメールやメッセージを書くことができる		50	20.0	12.0	18.0	4.0	14.0	10.0	10.0	4.0	4.0	2.0	2.0	42.0	4.0	54.0	
ほとんど書くことができない		28	39.3	7.1	39.3	10.7	17.9	3.6	7.1	0	7.1	7.1	10.7	21.4	3.6	75.0	
日本人との交流	親しく交流する人がいる	92	14.1	22.8	6.5	10.9	3.3	8.7	5.4	5.4	3.3	1.1	3.3	56.5	1.1	42.4	
	個人的な話をする人がいる	79	21.5	22.8	7.6	8.9	6.3	7.6	8.9	6.3	1.3	1.3	5.1	49.4	0	50.6	
	挨拶をする人がいる	108	25.0	19.4	18.5	11.1	10.2	5.6	4.6	5.6	4.6	2.8	6.5	38.9	2.8	58.3	
	インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる	13	23.1	23.1	0	23.1	7.7	15.4	15.4	7.7	15.4	0	0	23.1	7.7	69.2	
	日本人との付き合いはない	11	27.3	0	18.2	0	0	18.2	18.2	0	0	0	9.1	36.4	0	63.6	

8 仕事について

〔1〕就労形態(単一回答)

就労形態は、「正社員(経営者を含む)」(28.5%)が最も多く、次いで、「アルバイト・パート、内職」(18.7%)、「仕事をしていない(仕事を探していない)」(16.4%)となっている。

国籍・地域別にみると、「正社員(経営者を含む)」の割合は、ミャンマー(45.2%)が高く、「派遣社員・契約社員」の割合は、インドネシア(51.4%)、ベトナム(39.5%)、ネパール(35.6%)で高くなっている。

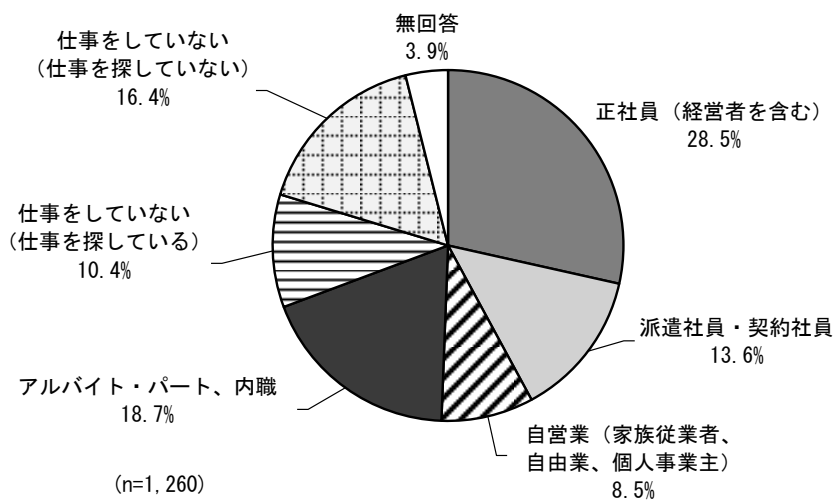
在留資格別にみると、「正社員(経営者を含む)」の割合は、高度専門職(79.2%)、技術・人文知識・国際業務(76.1%)が高く、「派遣社員・契約社員」の割合は、技能実習(77.4%)、特定技能で(50.8%)で高くなっている。

日本在住期間別にみると、1年未満は「仕事をしていない(仕事を探していない)」の割合が最も高く、3年以上から30年未満は「正社員(経営者を含む)」の割合が最も高くなっている。

最終学歴別にみると、「正社員(経営者を含む)」の割合は、日本の大学以上(38.8%)で最も高く、次いで、日本の短大・専門学校(35.5%)、外国の大学以上(33.8%)となっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が高いほど「正社員(経営者を含む)」の割合が高く、中でも、①聞く・話す(どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる)が36.9%となっている。一方、日本語能力が低いほど「派遣社員・契約社員」の割合が高い傾向があり、中でも、①聞く・話す(ほとんど聞き取ることができない、話すことができない)で36.2%となっている。

【図表 121 就労形態】



Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

【図表 122 就労形態(属性特徴)】

		n	正社員 (経営者を含む)	派遣社員・契約社員	自営業 (家族従業者、 個人事業主)	内職 アルバイト・パート、	仕事を 探している (仕事をしていない)	仕事を 探していない (仕事をしていない)	無 回答	
全体		1,260	359	171	107	236	131	207	49	
		100	28.5	13.6	8.5	18.7	10.4	16.4	3.9	
国籍・地域	中国	342	26.9	3.8	9.1	18.4	16.4	23.1	2.3	
	韓国	239	21.8	4.2	11.3	18.8	6.7	28.0	9.2	
	バトナム	114	37.7	39.5	1.8	11.4	3.5	2.6	3.5	
	ネパール	73	12.3	35.6	2.7	30.1	13.7	2.7	2.7	
	台湾	73	38.4	5.5	5.5	17.8	12.3	17.8	2.7	
	フィリピン	53	30.2	32.1	0	20.8	13.2	1.9	1.9	
	アメリカ	44	31.8	9.1	22.7	11.4	6.8	18.2	0	
	インドネシア	37	27.0	51.4	0	10.8	8.1	0	2.7	
	ミャンマー	31	45.2	16.1	0	38.7	0	0	0	
	フランス	26	34.6	3.8	23.1	15.4	3.8	11.5	7.7	
	その他	222	32.0	11.7	10.8	19.8	9.9	13.1	2.7	
在留資格	留学(大学・大学院)	245	1.6	1.6	1.2	29.0	26.1	35.9	4.5	
	留学(日本語学校)	67	0	7.5	4.5	38.8	22.2	23.9	3.0	
	留学(専門学校、その他)	22	4.5	9.1	0	50.0	13.6	22.7	0	
	永住者	185	38.9	8.1	14.1	16.8	5.4	12.4	4.3	
	特別永住者	184	23.4	3.3	15.2	18.5	3.8	26.6	9.2	
	技術・人文知識・国際業務	155	76.1	18.7	1.3	1.9	1.9	0	0	
	技術・技能	62	17.7	77.4	0	0	0	0	4.8	
	特定技能	63	41.3	50.8	1.6	1.6	1.6	0	3.2	
	日本人の配偶者等	63	25.4	3.2	23.8	28.6	11.1	4.8	3.2	
	家族滞在	57	3.5	3.5	14.0	42.1	14.0	21.1	1.8	
	高度専門職	24	79.2	12.5	8.3	0	0	0	0	
経営・管理	20	40.0	0	55.0	0	0	5.0	0		
その他の資格	103	35.0	21.4	6.8	15.5	12.6	6.8	1.9		
日本在住期間	6か月未満	90	11.1	11.1	4.4	20.0	23.3	26.7	3.3	
	6か月以上～1年未満	87	16.1	17.2	5.7	19.5	10.3	26.4	4.6	
	1年以上～2年未満	154	15.6	24.0	3.9	26.0	14.9	14.3	1.3	
	2年以上～3年未満	127	21.3	23.6	2.4	21.3	14.2	14.2	3.1	
	3年以上～5年未満	142	23.2	16.2	4.9	20.4	13.4	20.4	1.4	
	5年以上～10年未満	199	46.7	16.1	9.0	13.6	7.0	4.5	3.0	
	10年以上～20年未満	134	57.5	5.2	12.7	12.7	5.2	6.0	0.7	
	20年以上～30年未満	64	45.3	9.4	10.9	17.2	6.3	7.8	3.1	
	30年以上	254	19.7	3.9	15.4	19.7	5.9	26.4	9.1	
	最終学歴	日本の学校	268	38.8	7.5	9.0	16.0	13.1	13.4	2.2
短大・専門学校		62	35.5	4.8	1.6	29.0	6.5	19.4	3.2	
高校		97	21.6	6.2	10.3	18.6	7.2	25.8	10.3	
中学校		45	2.2	4.4	4.4	13.3	11.1	44.4	20.0	
小学校		6	16.7	0	0	33.3	16.7	16.7	16.7	
外国の学校		435	33.8	12.0	9.0	16.6	10.8	15.9	2.1	
短大・専門学校		74	27.0	27.0	10.8	20.3	6.8	4.1	4.1	
高校		228	16.2	25.4	8.3	21.9	9.2	15.4	3.5	
中学校		27	18.5	25.9	11.1	22.2	18.5	3.7	0	
小学校		4	0	0	0	50.0	25.0	25.0	0	
日本語能力	① 話す	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	425	36.9	7.3	11.3	18.6	6.4	15.1	4.5
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	426	26.5	12.2	8.0	19.7	13.6	17.1	2.8
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	337	23.4	19.6	5.9	17.8	11.9	17.2	4.2
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	58	13.8	36.2	6.9	15.5	10.3	15.5	1.7
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	494	32.0	6.1	10.5	18.2	8.1	20.6	4.5
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	324	31.5	7.7	9.6	17.9	13.3	17.6	2.5
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	268	22.4	24.6	4.9	23.1	11.6	10.4	3.0
		ひらがな、カタカナの言葉を見つけ読むことができる	96	21.9	32.3	4.2	17.7	10.4	9.4	4.2
	③ 書く	ほとんど読むことができない	51	19.6	27.5	11.8	9.8	11.8	13.7	5.9
		複雑な内容の文章も書くことができる	368	33.7	5.7	10.1	20.4	8.2	17.1	4.9
		簡単な手紙や報告を書くことができる	373	29.2	12.6	7.5	16.1	11.8	19.6	3.2
		短いメールやメッセージを書くことができる	342	26.3	17.5	8.2	20.8	12.0	13.5	1.8
ほとんど書くことができない	150	18.7	25.3	8.7	18.0	10.0	13.3	6.0		

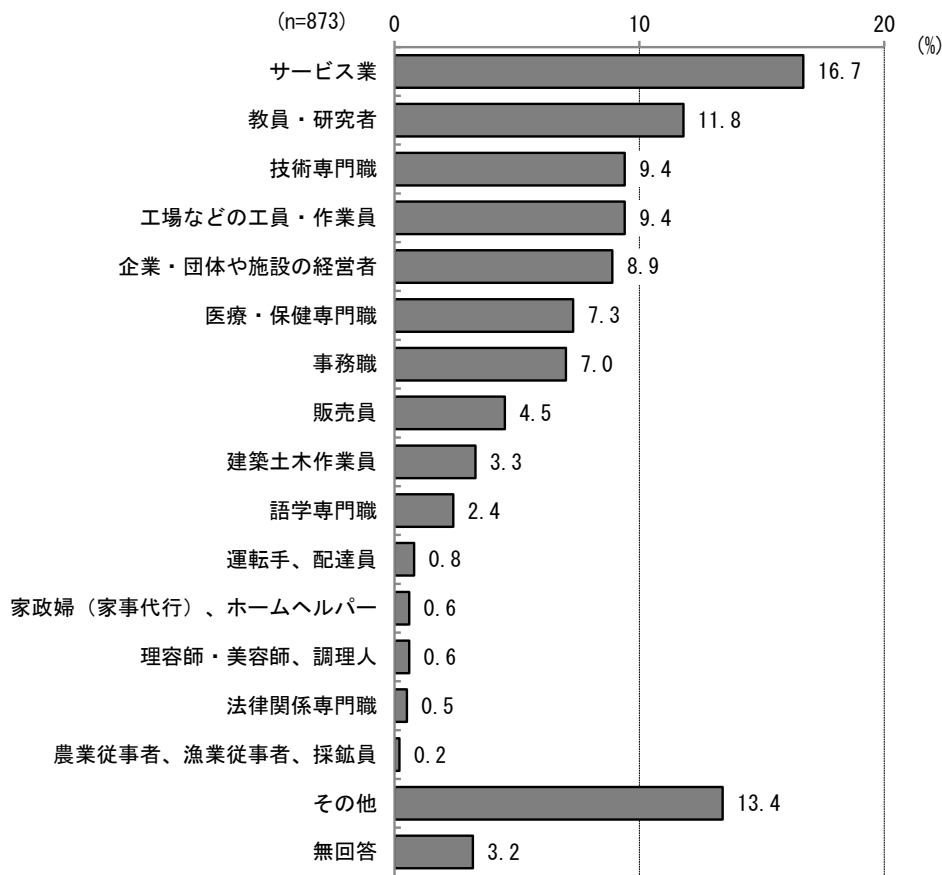
〔2〕職業(単一回答)

職業は、「サービス業」(16.7%)が最も多く、次いで、「教員・研究者」(11.8%)、「技術専門職」、「工場などの工員・作業員」(それぞれ9.4%)となっている。

国籍・地域別にみると、「サービス業」の割合は、ネパール(28.8%)、フィリピン(22.7%)、ミャンマー(22.6%)で高く、「教員・研究者」の割合は、アメリカ(48.5%)、フランス(30.0%)で高く、「工場などの工員・作業員」の割合は、ベトナム(33.0%)で高くなっている。

在留資格別にみると、「サービス業」の割合は、留学(日本語学校)(35.3%)、留学(大学・大学院)(31.7%)、家族滞在(25.0%)で高く、「教員・研究者」の割合は、高度専門職(50.0%)、永住者(20.8%)で高く、「建築土木作業員」の割合は、技能実習(25.4%)で高くなっている。

【図表 123 職業】



職業分類一覧

分類	職業例
サービス業	ホテル・旅館スタッフ、レストランや飲食店スタッフなど
教員・研究者	教授・語学教師など
技術専門職	建築士、システムエンジニアなど
工場などの工員・作業員	技能工、食品加工など
企業・団体や施設の経営者	役員・自営業など
医療・保健専門職	医師・看護師・保育士・介護士など
事務職	営業事務、一般事務、経理事務、秘書など
販売員	コンビニ、スーパー、お土産物店など
語学専門職	通訳者、翻訳者など
法律関係専門職	弁護士、会計士、税理士、行政書士など

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

【図表 124 職業(属性特徴)】

		n	サービス業	教員・研究者	技術専門職	工場などの 作業員・ 工員・	企業・団体 経営者の 施設の	医療・保健 専門職	事務職	販売員	建築土木 作業員	語学専門 職	運転手、 配達員	家政婦(家事 代行)、 ホームヘルパー	調理師・美容 師、 調理人	法律関係 専門職	農業従事者、 採鉱員	その他	無回答	(%)	
全体		873	146	103	82	82	78	64	61	39	29	21	7	5	5	4	2	117	28		
		100	16.7	11.8	9.4	9.4	8.9	7.3	7.0	4.5	3.3	2.4	0.8	0.6	0.6	0.5	0.2	13.4	3.2		
国籍・地域	中国	199	20.6	11.6	13.6	2.5	12.1	4.0	12.1	7.0	0.5	2.0	0.5	0	0.5	1.0	0	11.1	1.0		
	韓国	134	14.9	6.7	5.2	6.7	11.9	11.9	12.7	3.0	1.5	0	3.0	0.7	0	0	0	17.9	3.7		
	ベトナム	103	14.6	1.9	10.7	33.0	3.9	8.7	1.0	1.9	12.6	1.0	0	0	0	0	1.0	5.8	3.9		
	ネパール	59	28.8	0	6.8	18.6	8.5	3.4	0	6.8	1.7	0	0	0	6.8	0	0	11.9	6.8		
	台湾	49	16.3	8.2	8.2	0	12.2	0	16.3	12.2	0	4.1	0	2.0	0	0	0	14.3	2.0		
	フィリピン	44	22.7	11.4	4.5	15.9	0	22.7	2.3	0	0	0	0	4.5	0	0	0	9.1	6.8		
	アメリカ	33	0	48.5	6.1	3.0	6.1	3.0	3.0	0	3.0	12.1	0	0	0	0	0	15.2	0		
	インドネシア	33	21.2	3.0	3.0	18.2	0	6.1	3.0	0	18.2	0	0	0	0	3.0	0	18.2	6.1		
	ミャンマー	31	22.6	0	6.5	9.7	9.7	19.4	0	6.5	3.2	0	0	3.2	0	0	0	16.1	3.2		
	フランス	20	5.0	30.0	20.0	0	10.0	0	10.0	0	0	15.0	0	0	0	0	0	10.0	0		
	その他	165	12.1	22.4	10.9	3.6	9.7	4.8	3.0	4.2	2.4	4.2	1.2	0	0	0.6	0.6	17.6	2.4		
在留資格	留学(大学・大学院)	82	31.7	9.8	3.7	4.9	4.9	2.4	3.7	14.6	0	1.2	0	1.2	0	0	0	22.0	0		
	留学(日本語学校)	34	35.3	2.9	0	17.6	8.8	0	0	0	0	0	0	5.9	0	0	0	20.6	8.8		
	留学(専門学校、その他)	14	14.3	0	0	14.3	7.1	14.3	0	28.6	0	0	0	0	0	0	0	7.1	14.3		
	永住者	144	9.7	20.8	14.6	5.6	10.4	6.9	10.4	1.4	0.7	5.6	0.7	0	0	0	0	11.1	2.1		
	特別永住者	111	11.7	3.6	3.6	7.2	14.4	11.7	14.4	4.5	1.8	0	5.4	0.9	0	0	0	17.1	3.6		
	技術・人文知識・国際業務	152	13.8	7.2	25.7	7.9	6.6	16.9	13.8	5.3	1.3	3.9	0	0	0	2.0	0	11.2	0.7		
	技能実習	59	8.5	0	0	28.8	0	16.9	0	1.7	25.4	0	0	1.7	0	1.7	0	8.5	6.8		
	特定技能	60	18.3	1.7	1.7	23.3	3.3	26.7	0	0	10.0	0	0	0	0	0	0	3.3	8.3		
	日本人の配偶者等	51	17.6	15.7	9.8	3.9	11.8	2.0	0	9.8	0	7.8	0	0	0	0	0	19.6	2.0		
	家族滞在	36	25.0	8.3	2.8	8.3	8.3	0	2.8	2.8	5.6	0	0	0	0	0	0	25.0	11.1		
	高度専門職	24	8.3	50.0	16.7	0	12.5	0	8.3	0	4.2	0	0	0	0	0	0	0	0		
	経営・管理	19	21.1	0	5.3	0	68.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.3	0		
	その他の資格	81	18.5	30.9	3.7	7.4	2.5	11.1	2.5	1.2	0	2.5	0	0	6.2	0	0	11.1	2.5		
	日本在住期間	6か月未満	42	35.7	11.9	4.8	9.5	2.4	11.9	0	2.4	0	0	0	2.4	0	0	0	19.0	0	
6か月以上～1年未満		51	25.5	0	9.8	11.8	5.9	11.8	2.0	2.0	3.9	0	0	2.0	2.0	0	0	17.6	5.9		
1年以上～2年未満		107	20.6	7.5	10.3	12.1	6.5	6.5	1.9	6.5	8.4	0	0	1.9	0.9	0.9	0	11.2	4.7		
2年以上～3年未満		87	21.8	8.0	5.7	18.4	4.6	8.0	2.3	3.4	4.6	3.4	0	1.1	0	0	0	14.9	3.4		
3年以上～5年未満		92	16.3	10.9	12.0	7.6	10.9	6.5	3.3	13.0	2.2	3.3	0	0	1.1	0	1.1	9.8	2.2		
5年以上～10年未満		170	10.6	15.3	11.8	10.0	9.4	5.9	8.2	4.1	4.7	2.9	0	0	0	1.8	0.6	12.4	2.4		
10年以上～20年未満		118	16.9	21.2	15.3	0.8	8.5	2.5	12.7	0.8	0	1.7	0.8	0	0.8	0	0	15.3	2.5		
20年以上～30年未満		53	13.2	24.5	9.4	7.5	7.5	9.4	1.9	0	3.8	0	0	0	0	0	0	13.2	0		
30年以上		149	11.4	6.0	3.4	9.4	15.4	10.1	12.1	4.7	2.0	4.0	4.0	0.7	0	0	0	13.4	3.4		
日本語能力	①聞く・話す	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	315	12.4	11.4	9.2	5.7	11.7	6.3	14.0	3.8	1.0	3.8	1.9	0.6	0	1.0	0.3	14.6	2.2	
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	283	18.0	12.0	12.4	8.5	9.2	7.8	4.9	5.7	3.5	1.8	0.4	0.4	0.4	0.4	0	12.0	2.8	
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	225	19.6	12.4	6.2	14.2	4.4	9.3	1.3	4.4	5.3	1.3	0	0.9	0.9	0	0.4	14.7	4.4	
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	42	23.8	11.9	9.5	19.0	9.5	0	0	0	7.1	0	0	0	4.8	0	0	9.5	4.8	
	②読む	どんな内容の文章でも読むことができる	330	13.6	11.2	9.7	3.6	11.2	7.0	13.6	6.1	0.6	4.8	2.1	0.6	0	0.6	0	13.3	1.8	
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	216	20.8	14.4	13.4	7.4	10.6	4.2	5.6	3.2	3.2	0.9	0	0.5	0	0.5	0	13.0	2.3	
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	201	17.4	12.4	5.5	14.9	4.0	14.4	0.5	4.5	5.5	1.0	0	1.0	0	0	0.5	12.4	6.0	
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	73	19.2	5.5	11.0	24.7	4.1	2.7	1.4	2.7	8.2	0	0	0	1.4	0	1.4	13.7	4.1	
	ほとんど読むことができない	35	14.3	17.1	0	14.3	11.4	0	5.7	0	2.9	0	0	0	11.4	0	0	22.9	0		
	③書く	複雑な内容の文章も書くことができる	257	13.2	11.3	10.9	3.1	12.1	7.0	17.1	4.3	0.4	2.7	2.3	0.4	0	0.8	0	12.8	1.6	
簡単な手紙や報告を書くことができる		244	17.6	10.2	9.8	9.4	10.2	7.0	4.5	7.0	3.7	3.7	0.4	0.4	0	0.4	0	12.7	2.9		
短いメールやメッセージを書くことができる		249	20.5	14.1	8.8	13.3	4.8	9.2	1.6	2.8	4.8	1.6	0	1.2	0	0	0.4	13.7	3.2		
ほとんど書くことができない	106	16.0	13.2	7.5	16.0	6.6	4.7	1.9	2.8	4.7	0	0	0	3.8	0	0.9	16.0	5.7			

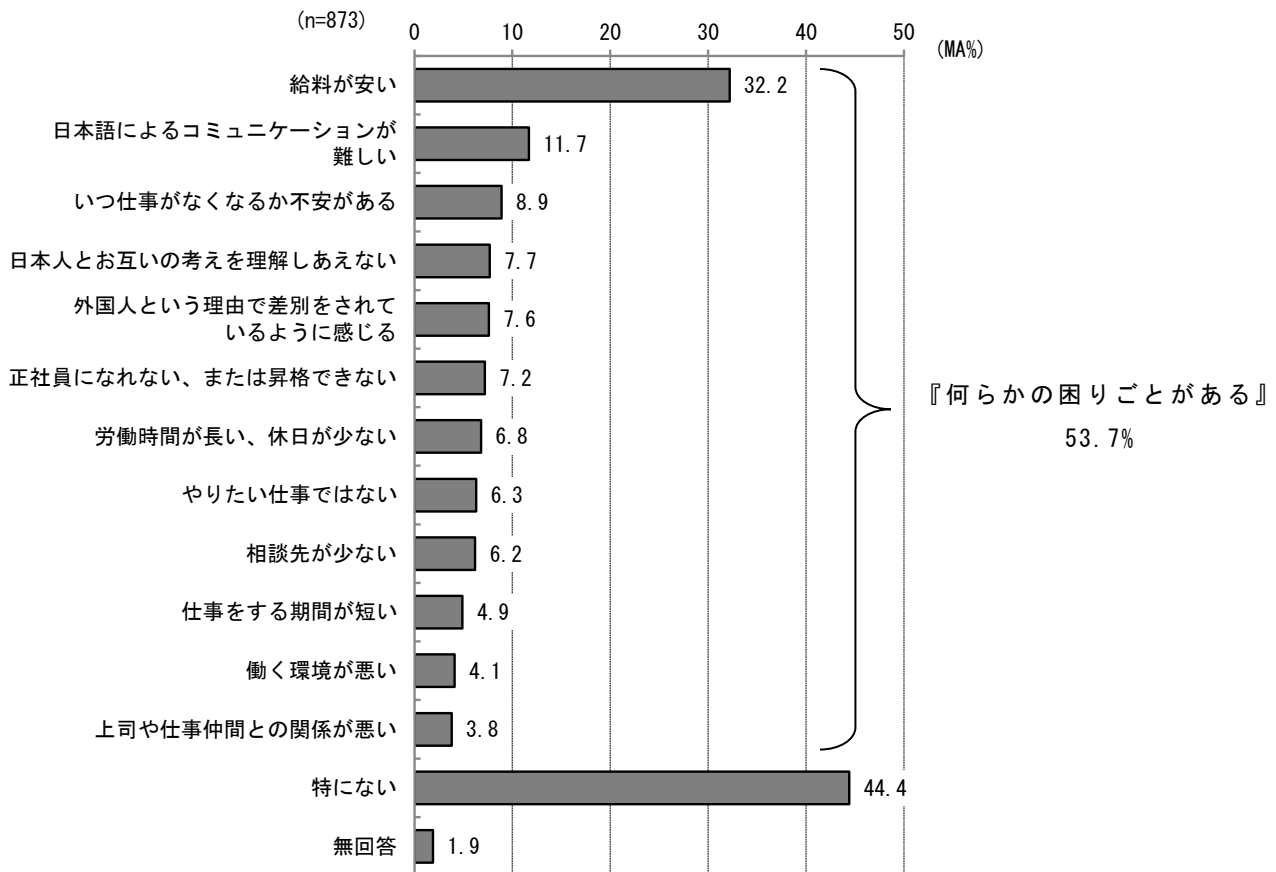
〔3〕仕事の困りごとや不満(複数回答)

仕事の困りごとや不満は、『何らかの困りごとがある』(全回答者から「特にない」と「無回答」を除く)が53.7%であり、「特にない」は44.4%となっている。個別で見ると、「給料が安い」(32.2%)が最も多く、次いで、「日本語によるコミュニケーションが難しい」(11.7%)、「いつ仕事がなくなるか不安がある」(8.9%)となっている。

国籍・地域別にみると、『何らかの困りごとがある』の割合は、フィリピン、インドネシア(それぞれ63.6%)、ネパール(62.7%)で高くなっている。すべての国籍・地域で「給料が安い」の割合が高く、中でも、ミャンマー(41.9%)、ベトナム(39.8%)、フィリピン(36.4%)で高くなっている。

在留資格別にみると、技術・人文知識・国際業務で「給料が安い」の割合が50.7%で最も高く、「外国人という理由だけで差別されているように感じる」の割合は、留学(専門学校、その他)(28.6%)、留学(日本語学校)(20.6%)で2割を超え、他の在留資格と比べ、高くなっている。

【図表 125 仕事の困りごとや不満】



※『何らかの困りごとがある』は全回答者から「特にない」と「無回答」を除いた割合

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

【図表 126 仕事の困りごとや不満(属性特徴)】

(MA%)

	n	給料が安い	難しい コミュニケーションが	日本語による 不安がある	いつ仕事 がなくなくなるか	日本人と お互いの 考えを 理解し あえない	日本人 と 外国人 との 差別を さ れている 理由 によ うに	外国人 と 日本人 との 格差 が ない	正社員 にな れな い、 また は 昇 格 で き な い	休日 が 少 な い	労働 時 間 が 長 い、 休 日 が 少 な い	やり たい 仕 事 で は な い	相談 先 が 少 な い	仕事 を す る 期 間 が 短 い	働く 環 境 が 悪 い	上司 や 仕 事 仲 間 と の 関 係 が 悪 い	特 に な い	無 回 答	あ ら か の 困 り ご と が
全体	873	28.1	10.2	7.8	6.7	6.6	6.3	5.9	5.5	5.4	4.3	3.6	3.3	3.88	1.7	4.68			
国籍・地域	100	32.2	11.7	8.9	7.7	7.6	7.2	6.8	6.3	6.2	4.9	4.1	3.8	44.4	1.9	53.7			
中国	199	26.6	11.1	8.0	7.0	5.0	6.5	5.0	7.0	10.1	3.0	2.5	3.0	46.7	2.0	51.3			
韓国	134	29.9	0	7.5	2.2	4.5	3.7	5.2	4.5	2.2	2.2	6.0	3.7	56.0	1.5	42.5			
ベトナム	103	39.8	17.5	6.8	3.9	6.8	3.9	1.9	6.8	3.9	2.9	2.9	2.9	43.7	2.9	53.4			
ネパール	59	32.2	23.7	16.9	16.9	20.2	10.2	13.6	6.8	3.4	11.9	1.7	0	37.3	0	62.7			
台湾	49	32.7	12.2	6.1	12.2	10.2	10.2	14.3	4.1	8.2	2.0	2.0	10.2	46.9	0	53.1			
フィリピン	44	36.4	9.1	4.5	4.5	2.3	11.4	6.8	0	2.3	4.5	4.5	0	36.4	0	63.6			
アメリカ	33	24.2	12.1	9.1	6.1	9.1	6.1	6.1	6.1	12.1	9.1	6.1	9.1	54.5	0	45.5			
インドネシア	33	30.3	12.1	6.1	12.1	0	9.1	6.1	3.0	3.0	0	3.0	0	36.4	0	63.6			
ミャンマー	31	41.9	16.1	3.2	9.7	12.9	0	6.5	0	3.2	6.5	3.2	3.2	41.9	3.2	54.9			
フランス	20	30.0	5.0	10.0	0	5.0	5.0	0	15.0	5.0	5.0	5.0	5.0	60.0	0	40.0			
その他	165	35.8	14.5	13.3	11.5	9.1	11.5	9.7	9.7	7.9	9.1	6.7	5.5	35.2	3.6	61.2			
在留資格	82	34.1	12.2	3.7	8.5	3.7	9.8	3.7	9.8	6.1	7.3	0	0	46.3	0	53.7			
留学(大学・大学院)	34	29.4	20.6	11.8	11.8	20.6	5.9	0	14.7	0	20.6	0	2.9	29.4	2.9	67.7			
留学(日本語学校)	14	42.9	14.3	14.3	14.3	28.6	7.1	0	0	7.1	7.1	7.1	7.1	42.9	0	57.1			
永住者	144	21.5	8.3	7.6	4.2	4.2	6.3	4.9	4.9	5.6	2.8	2.1	2.8	56.9	1.4	41.7			
特別永住者	111	28.8	0.9	13.5	0.9	4.5	3.6	5.4	3.6	1.8	1.8	5.4	3.6	54.1	1.8	44.1			
技術・人文知識・国際業務	152	50.7	14.5	8.6	11.2	9.9	10.5	13.2	11.8	11.2	1.3	7.9	6.6	32.2	0.7	67.1			
技能実習	59	27.1	13.6	3.4	6.8	6.8	6.8	1.7	0	0	6.8	1.7	1.7	50.8	3.4	45.8			
特定技能	60	30.0	10.0	5.0	8.3	3.3	3.3	6.7	1.7	1.7	1.7	5.0	5.0	46.7	1.7	51.6			
日本人の配偶者等	51	31.4	9.8	15.7	2.0	11.8	9.8	5.9	5.9	7.8	7.8	2.0	5.9	33.3	3.9	62.8			
家族滞在	36	36.1	27.8	5.6	13.9	11.1	8.3	0	13.9	11.1	5.6	11.1	8.3	33.3	8.3	58.4			
高度専門職	24	33.3	12.5	12.5	8.3	4.2	4.2	12.5	4.2	12.5	8.3	0	0	37.5	4.2	58.3			
経営・管理	19	5.3	10.5	5.3	10.5	5.3	0	0	0	5.3	0	0	0	73.7	0	26.3			
その他の資格	81	29.6	16.0	13.6	12.3	11.1	9.9	14.8	3.7	8.6	9.9	4.9	3.7	38.3	1.2	60.5			
日本語能力																			
①聞く・話す																			
どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	315	29.5	1.6	8.9	3.2	5.4	6.0	7.0	5.7	4.4	2.2	5.1	3.8	51.4	1.3	47.3			
日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	283	35.0	11.3	9.9	9.2	10.6	6.7	8.1	7.1	8.5	6.0	3.2	4.6	41.7	1.4	56.9			
簡単な質問なら理解し、答えることができる	225	31.6	20.4	7.6	10.7	8.0	8.0	4.9	4.9	4.4	4.9	3.6	3.1	42.2	2.2	55.6			
ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	42	38.1	42.9	9.5	14.3	0	16.7	7.1	9.5	11.9	16.7	4.8	2.4	21.4	7.1	71.5			
②読む																			
どんな内容の文章でも読むことができる	330	31.5	2.4	10.6	4.8	6.4	6.4	7.0	6.1	5.2	2.7	4.2	3.9	47.9	1.2	50.9			
メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	216	37.0	13.0	8.8	9.3	8.3	6.5	9.3	8.8	9.3	4.6	4.2	4.6	41.7	1.9	56.4			
ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	201	25.4	17.9	6.0	9.0	8.5	7.0	3.0	4.5	4.0	7.0	2.5	2.0	47.8	2.0	50.2			
ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	73	39.7	24.7	8.2	9.6	9.6	8.2	5.5	4.1	4.1	6.8	6.8	5.5	32.9	2.7	64.4			
ほとんど読むことができない	35	34.3	31.4	14.3	14.3	2.9	20.0	17.1	5.7	14.3	11.4	2.9	5.7	34.3	2.9	62.8			
③書く																			
複雑な内容の文章も書くことができる	257	32.7	2.3	8.9	5.1	4.3	6.2	7.8	5.4	5.4	1.9	5.1	3.9	48.2	0.8	51.0			
簡単な手紙や報告を書くことができる	244	34.8	8.2	10.2	7.0	9.4	5.3	7.4	6.6	4.9	6.1	4.1	5.3	43.9	2.0	54.1			
短いメールやメッセージを書くことができる	249	28.5	18.1	8.4	9.6	10.4	8.4	4.0	6.4	6.4	5.6	2.0	2.0	45.4	1.6	53.0			
ほとんど書くことができない	106	35.8	29.2	7.5	11.3	4.7	11.3	10.4	6.6	10.4	7.5	5.7	4.7	34.0	2.8	63.2			

〔4〕仕事を探していない理由(単一回答)

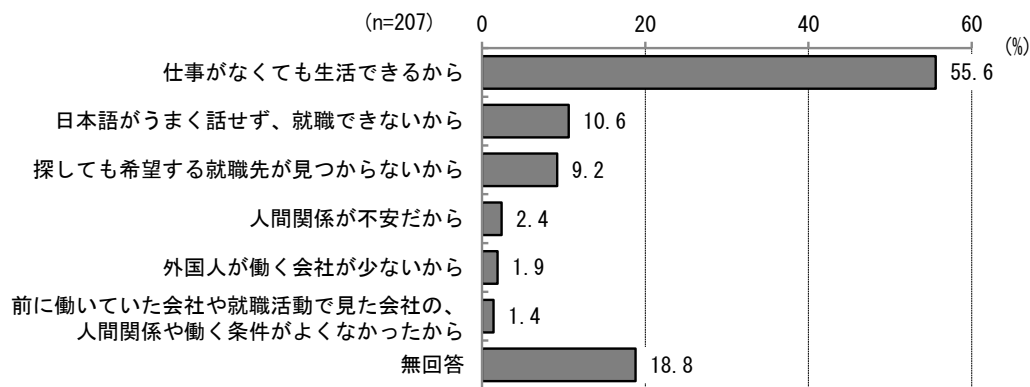
仕事をしていない(仕事を探していない)人にその理由をたずねたところ、「仕事がなくとも生活できるから」(55.6%)が最も多く、次いで、「日本語がうまく話せず、就職できないから」(10.6%)、「探しても希望する就職先が見つからないから」(9.2%)となっている。

国籍・地域別にみると、「仕事がなくとも生活できるから」の割合は、中国(63.3%)、韓国(46.3%)で高くなっている。

在留資格別にみると、「仕事がなくとも生活できるから」の割合は、留学(大学・大学院)(68.2%)で高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど、「日本語がうまく話せず、就職できないから」の割合が高くなる傾向にある。

【図表 127 仕事を探していない理由】



Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

【図表 128 仕事を探していない理由(属性特徴)】

		n	仕事 が な く て も 生 活 で き る か ら	就 職 で き な い か ら	日 本 語 が う ま く 話 せ ず、	見 つ つ か ら な い か ら	探 つ つ か ら な い か ら	人 間 関 係 が 不 安 だ か ら	外 国 人 が 働 く 会 社 が 少 な い か ら	前 に 働 い て い た 会 社 や 就 職 活 動 で 条 件 が よ く な か つ た か ら	無 回 答
全体		207	115	22	19	5	4	3	39		
		100	55.6	10.6	9.2	2.4	1.9	1.4	18.8		
国籍・地域	中国	79	63.3	10.1	8.9	2.5	3.8	1.3	10.1		
	韓国	67	46.3	1.5	9.0	3.0	1.5	3.0	35.8		
	ベトナム	3	66.7	0	0	0	0	0	33.3		
	ネパール	2	0	100.0	0	0	0	0	0		
	台湾	13	69.2	7.7	7.7	7.7	0	0	7.7		
	フィリピン	1	0	100.0	0	0	0	0	0		
	アメリカ	8	37.5	25.0	37.5	0	0	0	0		
	インドネシア	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ミャンマー	0	0	0	0	0	0	0	0		
	フランス	3	33.3	66.7	0	0	0	0	0		
	その他	29	65.5	17.2	6.9	0	0	0	10.3		
在留資格	留学(大学、大学院)	88	68.2	10.2	9.1	3.4	4.5	0	4.5		
	留学(日本語学校)	16	43.8	31.3	6.3	0	0	6.3	12.5		
	留学(専門学校、その他)	5	60.0	20.0	0	0	0	0	20.0		
	永住者	23	60.9	4.3	4.3	0	0	0	30.4		
	特別永住者	49	44.9	0	14.3	4.1	0	4.1	32.7		
	技術・人文知識・国際業務	0	0	0	0	0	0	0	0		
	技能実習	0	0	0	0	0	0	0	0		
	特定技能	0	0	0	0	0	0	0	0		
	日本人の配偶者等	3	66.7	0	33.3	0	0	0	0		
	家族滞在	12	41.7	25.0	8.3	0	0	0	25.0		
	高度専門職	0	0	0	0	0	0	0	0		
	経営・管理	1	0	0	0	0	0	0	100.0		
	その他の資格	7	28.6	42.9	0	0	0	0	28.6		
日本語能力	① 話す・ 聞く	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	64	51.6	0	10.9	1.6	1.6	1.6	32.8	
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	73	63.0	2.7	12.3	4.1	2.7	1.4	13.7	
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	58	58.6	25.9	5.2	1.7	1.7	0	6.9	
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	9	22.2	55.6	0	0	0	0	22.2	
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	102	59.8	0	10.8	2.0	2.9	1.0	23.5	
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	57	54.4	15.8	10.5	5.3	1.8	0	12.3	
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	28	60.7	17.9	7.1	0	0	3.6	10.7	
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	9	33.3	44.4	0	0	0	0	22.2	
	③ 書く	ほとんど読むことができない	7	42.9	57.1	0	0	0	0	0	
		複雑な内容の文章も書くことができる	63	55.6	0	12.7	1.6	4.8	0	25.4	
		簡単な手紙や報告を書くことができる	73	57.5	4.1	11.0	5.5	1.4	1.4	19.2	
		短いメールやメッセージを書くことができる	46	60.9	23.9	6.5	0	0	0	8.7	
ほとんど書くことができない	20	50.0	35.0	0	0	0	5.0	10.0			

[5] 求職時の困りごと(複数回答)

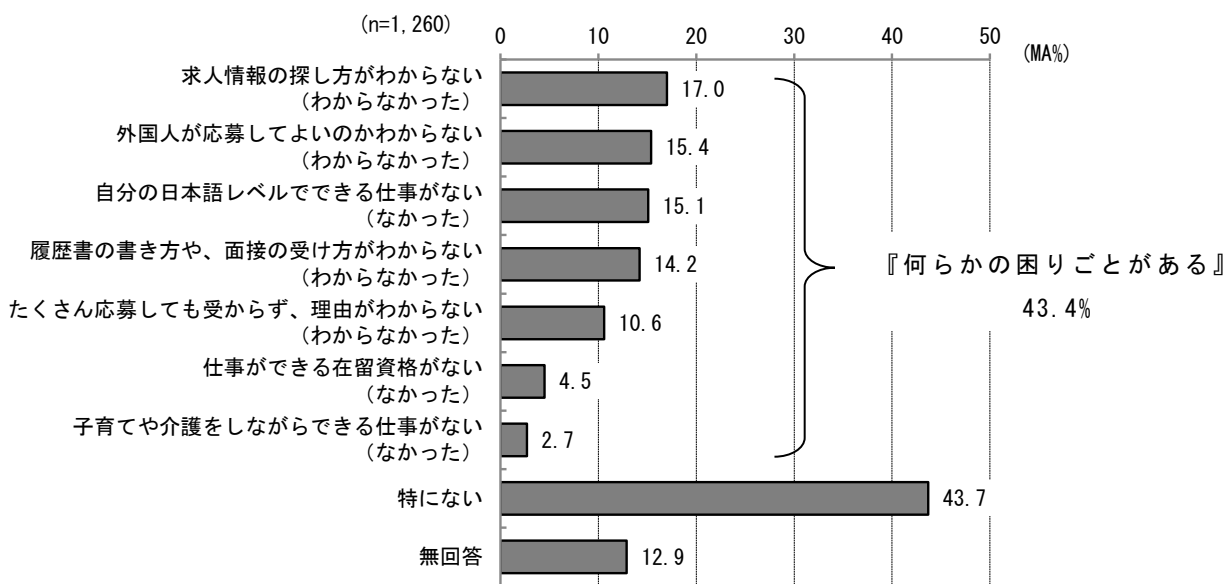
求職時の困りごとは、『何らかの困りごとがある』(全回答者から「特にない」と「無回答」を除く)が43.4%であり、「特にない」は43.7%となっている。個別でみると、「求人情報の探し方がわからない(わからなかった)」(17.0%)が最も多く、次いで、「外国人が応募してよいのかわからない(わからなかった)」(15.4%)、「自分の日本語レベルでできる仕事がない(なかった)」(15.1%)となっている。

国籍・地域別にみると、ネパールで「求人情報の探し方がわからない(わからなかった)」が47.9%、中国で「外国人が応募してよいのかわからない(わからなかった)」が25.4%と高くなっている。

在留資格別にみると、『何らかの困りごとがある』の割合は、留学(日本語学校)(74.6%)、留学(大学・大学院)(60.4%)、技術・人文知識・国際業務(57.4%)、家族滞在(54.4%)で高くなっている。また、留学(日本語学校)では、「求人情報の探し方がわからない(わからなかった)」(40.3%)、留学(大学・大学院)は「履歴書の書き方や、面接の受け方がわからない(わからなかった)」(26.9%)、家族滞在は「自分の日本語レベルでできる仕事がない(なかった)」(29.8%)が他の在留資格と比べ、高くなっている。

就労形態別にみると、『何らかの困りごとがある』の割合は、仕事をしていない(仕事を探している)で74.1%となっており、中でも、「自分の日本語レベルでできる仕事がない(なかった)」(35.9%)が高くなっている。

【図表 129 求職時の困りごと】



Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

【図表 130 求職時の困りごと(属性特徴)】

(MA%)

		n	求人情報の探し方がわからない(わからなかった)	外国人が応募してよいか(わからなかった)	自分の日本語レベルでできる(なかった)	履歴書の書き方や、面接の受け方がわからない(なかった)	理由がわからなかった(わからなかった)	仕事ができる(なかった)	子育てや介護をしながら(なかった)	特にな	無回答	何らかの困りごとがある	
全体		1,260	214 17.0	194 15.4	190 15.1	179 14.2	133 10.6	57 4.5	34 2.7	551 43.7	163 12.9	546 43.4	
国籍・地域	中国	342	14.6	25.4	16.1	18.4	14.0	7.6	2.6	36.3	11.4	52.3	
	韓国	239	5.4	6.3	2.1	5.0	4.6	1.7	2.5	62.3	20.1	17.6	
	ベトナム	114	25.4	5.3	16.7	10.5	5.3	3.5	4.4	47.4	13.2	39.4	
	ネパール	73	47.9	12.3	26.0	19.2	11.0	1.4	4.4	27.4	4.1	68.5	
	台湾	73	12.3	21.9	9.6	17.8	11.0	4.1	2.7	49.3	6.8	43.9	
	フィリピン	53	24.5	15.1	24.5	7.5	11.3	5.7	3.8	35.8	13.2	51.0	
	アメリカ	44	11.4	15.9	22.7	11.4	9.1	9.1	4.5	56.8	4.5	38.7	
	インドネシア	37	29.7	18.9	16.2	10.8	5.4	0	5.4	32.4	13.5	54.1	
	ミャンマー	31	16.1	12.9	3.2	16.1	12.9	3.2	0	35.5	22.6	41.9	
	フランス	26	11.5	15.4	11.5	23.1	23.1	0	0	42.3	7.7	50.0	
	その他	222	18.5	14.0	23.4	18.5	13.5	5.0	2.3	39.6	11.7	48.7	
在留資格	留学(大学・大学院)	245	24.5	25.3	23.7	26.9	15.1	9.0	0.8	28.2	11.4	60.4	
	留学(日本語学校)	67	40.3	17.9	26.9	25.4	20.9	11.9	0	20.9	4.5	74.6	
	留学(専門学校、その他)	22	18.2	18.2	18.2	18.2	4.5	9.1	4.5	40.9	9.1	50.0	
	永住者	185	7.0	11.4	9.2	7.0	7.6	0.5	4.3	56.8	13.5	29.7	
	特別永住者	184	2.2	4.3	0.5	2.2	3.3	0	2.2	69.0	19.0	12.0	
	技術・人文知識・国際業務	155	18.1	24.5	18.1	18.1	20.6	5.8	1.3	34.2	8.4	57.4	
	技能実習	62	17.7	6.5	8.1	3.2	1.6	3.2	3.2	51.6	19.4	29.0	
	特定技能	63	22.2	6.3	6.3	4.8	0	3.2	1.6	57.1	14.3	28.6	
	日本人の配偶者等	63	12.7	14.3	22.2	15.9	11.1	0	4.8	42.9	11.1	46.0	
	家族滞在	57	22.8	10.5	29.8	15.8	7.0	8.8	8.8	29.8	15.8	54.4	
	高度専門職	24	16.7	20.8	12.5	12.5	12.5	0	0	50.0	8.3	41.7	
	経営・管理	20	15.0	10.0	15.0	10.0	0	15.0	5.0	45.0	15.0	40.0	
その他の資格	103	23.3	18.4	17.5	17.5	13.6	2.9	4.9	35.9	9.7	54.4		
日本語能力	① 話す・聞く	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	425	5.6	12.2	0.9	5.9	9.9	2.1	1.6	60.9	12.9	26.2
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	426	18.5	19.2	15.0	19.0	14.1	5.2	3.3	37.8	11.5	50.7
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	337	26.4	13.9	28.5	16.3	7.4	6.8	3.3	33.2	13.1	53.7
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	58	37.9	20.7	44.8	31.0	10.3	5.2	1.7	22.4	15.5	62.1
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	494	6.5	15.0	3.0	8.3	9.9	2.2	1.4	57.1	13.4	29.5
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	324	20.1	21.3	20.4	22.5	15.4	8.3	3.4	34.6	10.2	55.2
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	268	25.0	14.2	21.3	13.8	9.0	4.9	2.6	36.9	12.7	50.4
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	96	29.2	4.2	34.4	17.7	8.3	5.2	4.2	34.4	13.5	52.1
		ほとんど読むことができない	51	33.3	15.7	35.3	17.6	3.9	2.0	5.9	29.4	19.6	51.0
		③ 書く	複雑な内容の文章も書くことができる	368	7.3	15.8	2.4	9.2	9.2	2.7	1.4	60.3	10.6
簡単な手紙や報告を書くことができる	373		14.5	16.1	12.3	15.3	12.6	5.9	1.9	41.6	14.7	43.7	
短いメールやメッセージを書くことができる	342		26.3	15.8	22.5	18.1	11.7	4.7	3.2	34.5	11.4	54.1	
ほとんど書くことができない	150		26.0	14.7	38.7	16.0	8.0	6.0	5.3	30.7	14.0	55.3	
就労形態	正社員(経営者を含む)		359	12.0	16.7	8.6	9.7	11.4	2.5	1.7	52.1	9.2	38.7
	派遣社員・契約社員		171	24.0	11.1	18.1	12.3	9.4	4.1	2.3	45.6	10.5	43.9
	自営業(家族従業者、自由業、個人事業主)	107	9.3	7.5	8.4	3.7	2.8	2.8	2.8	57.9	18.7	23.4	
	アルバイト・パート、内職	236	20.3	18.6	16.9	19.9	14.8	3.8	3.8	39.0	6.4	54.6	
	仕事をしていない(仕事を探している)	131	31.3	23.7	35.9	32.1	20.6	13.0	3.8	19.8	6.1	74.1	
	仕事をしていない(仕事を探していない)	207	13.5	14.5	14.5	13.0	4.8	5.3	3.4	45.9	18.8	35.3	

9 防災について

〔1〕防災について知っていること(複数回答)

防災について知っていることについては、「火事が起こったときの電話番号」(55.8%)が最も多く、次いで、「家や会社、学校の避難口の位置」(53.5%)、「消火器の使い方」(53.0%)となっている。

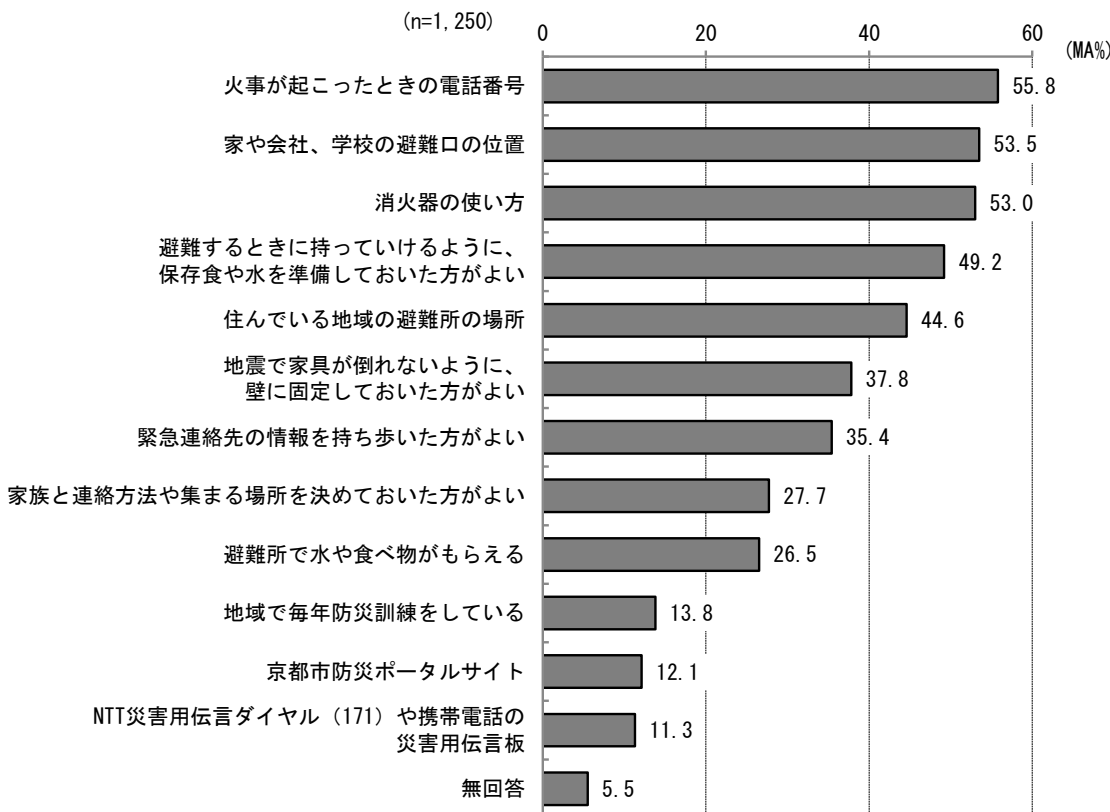
国籍・地域別にみると、「火事が起こったときの電話番号」の割合は、韓国(67.6%)、アメリカ(65.9%)、中国(65.1%)で高く、ミャンマー(26.7%)で低くなっている。また、「家や会社、学校の避難口の位置」の割合は、アメリカ(68.2%)が最も高く、次いで、ベトナム(63.1%)、中国(61.6%)となっており、ネパール(23.3%)で低くなっている。

在留資格別にみると、「火事が起こったときの電話番号」の割合は、特別永住者(72.7%)が最も高く、次いで、日本人の配偶者等(61.9%)、高度専門職(58.3%)となっている。また、「家や会社、学校の避難口の位置」の割合は、留学(大学・大学院)(60.4%)が最も高く、次いで、技術・人文知識・国際業務(58.4%)、高度専門職(58.3%)となっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が高いほど、全般的な防災についての認知度が高い傾向がある。

地域での交流別にみると、地域での交流の度合いが高いほど、「住んでいる地域の避難所の場所」や「避難所で水や食べ物がもらえる」などについて、認知度が高くなっている。

【図表 131 防災について知っていること】



Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

【図表 132 防災について知っていること(属性特徴)】

(MA%)

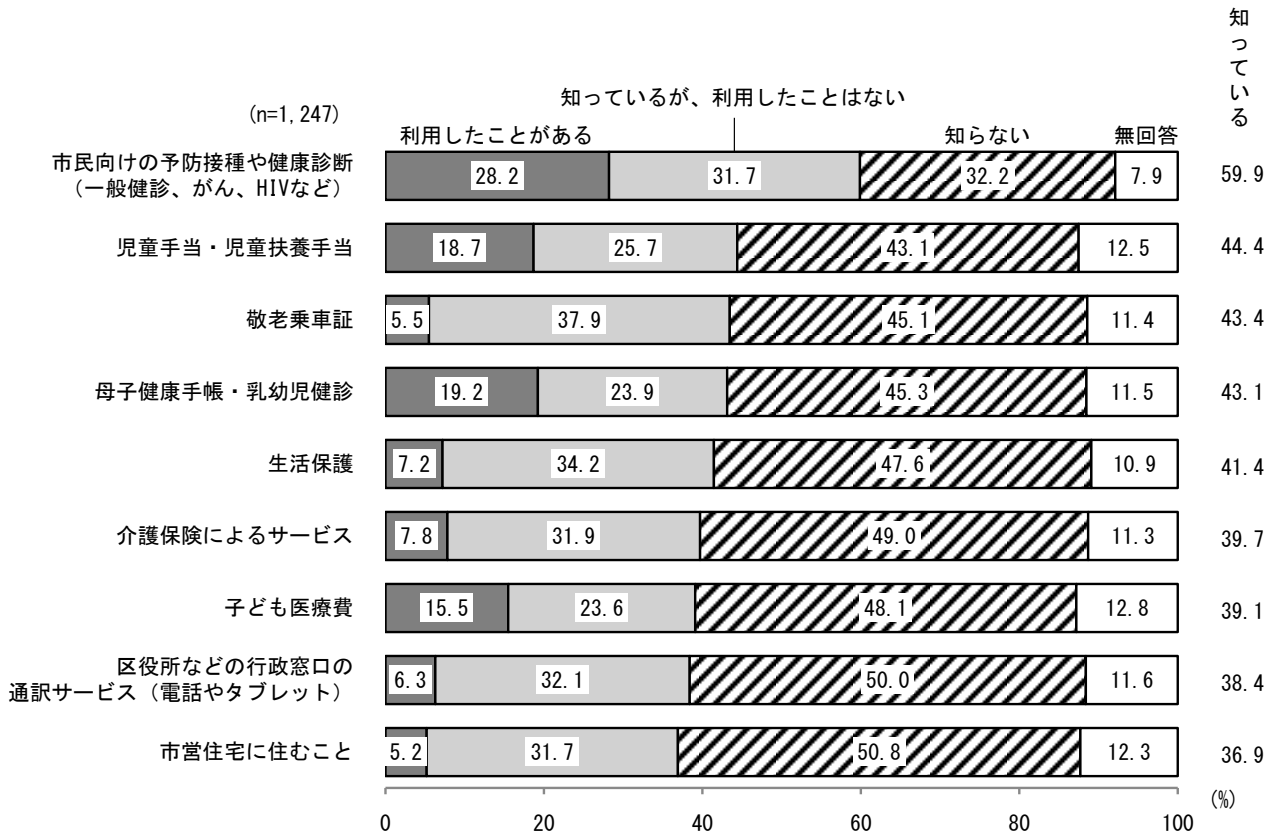
	n	火事が起こったときの電話番号	家や会社、学校の避難口の位置	消火器の使い方	避難するときに持つていけるように、保存食や水を用意しておいた方がよい	住んでいる地域の避難所の場所	地震で家具が倒れないように、壁に固定しておいた方がよい	緊急連絡先の情報を持ち歩いた方がよい	家族と連絡方法や集まる場所を決めておいた方がよい	避難所で水や食べ物がある	地域で毎年防災訓練をしている	京都市防災ポータルサイト	災害用伝言ダイヤル(1717)や携帯電話の災害用伝言板	NTT災害用伝言ダイヤル(1717)	無回答	
全体	1,250	69.7	66.9	66.3	61.5	55.8	47.2	44.3	34.6	33.1	17.2	15.1	14.1	6.9		
	100	55.8	53.5	53.0	49.2	44.6	37.8	35.4	27.7	26.5	13.8	12.1	11.3	5.5		
国籍・地域	中国	341	65.1	61.6	48.4	49.9	51.0	34.3	27.9	21.4	26.4	14.4	10.0	7.6	3.2	
	韓国	238	67.6	44.1	59.7	55.9	58.8	50.4	36.1	47.9	39.1	17.2	13.0	21.4	8.8	
	ベトナム	111	36.9	63.1	58.6	47.7	27.9	16.2	34.2	12.6	16.2	11.7	14.4	10.8	6.3	
	ネパール	73	38.4	23.3	45.2	19.2	19.2	17.8	46.6	20.5	9.6	8.2	6.8	6.8	8.2	
	台湾	72	51.4	55.6	58.3	54.2	48.6	43.1	34.7	20.8	23.6	6.9	5.6	8.3	5.6	
	フィリピン	53	50.9	43.4	45.3	43.4	30.2	18.9	49.1	26.4	26.4	17.0	22.6	7.5	5.7	
	アメリカ	44	65.9	68.2	77.3	65.9	52.3	70.5	59.1	63.6	34.1	29.5	20.5	13.6	2.3	
	インドネシア	37	45.9	45.9	45.9	21.6	29.7	18.9	27.0	8.1	10.8	10.8	2.7	8.1	2.7	
	ミャンマー	30	26.7	40.0	50.0	20.0	16.7	13.3	30.0	6.7	13.3	6.7	10.0	6.7	0	
	フランス	26	34.6	53.8	26.9	69.2	57.7	73.1	53.8	34.6	50.0	23.1	19.2	7.7	7.7	
	その他	220	51.8	58.2	52.7	54.9	41.8	45.5	35.9	26.4	25.0	10.5	13.6	10.5	5.9	
在留資格	留学(大学・大学院)	245	58.0	60.4	47.3	46.5	42.4	31.8	35.1	16.7	21.2	11.0	12.7	8.2	5.3	
	留学(日本語学校)	65	55.4	53.8	55.4	46.2	38.5	27.7	44.6	18.5	20.0	12.3	13.8	7.7	3.1	
	留学(専門学校・その他)	22	40.9	54.5	50.0	36.4	40.9	9.1	40.9	9.1	18.2	13.6	22.7	9.1	9.1	
	永住者	185	56.8	52.4	52.4	58.9	56.8	51.4	34.6	39.5	30.8	17.8	10.8	13.0	4.9	
	特別永住者	183	72.7	49.7	60.1	61.7	64.5	52.5	40.4	54.6	42.6	18.6	14.8	27.3	5.5	
	技術・人文知識・国際業務	154	46.8	58.4	52.6	44.2	37.0	35.7	27.3	18.8	23.4	11.0	11.7	5.2	4.5	
	技能実習	61	50.8	55.7	67.2	31.1	27.9	13.1	39.3	9.8	14.3	11.5	13.1	14.8	4.9	
	特定技能	61	36.1	32.8	50.8	32.8	19.7	8.2	27.9	9.8	13.1	11.5	8.2	4.9	6.6	
	日本人の配偶者等	63	61.9	52.4	52.4	52.4	47.6	50.8	38.1	28.6	27.0	7.9	17.5	4.8	7.9	
	家族滞在	57	43.9	52.6	40.4	47.4	38.6	36.8	42.1	28.1	28.1	14.0	12.3	7.0	7.0	
	高度専門職	24	58.3	58.3	54.2	54.2	29.2	29.2	41.7	25.0	16.7	8.3	12.5	8.3	0	
	経営・管理	20	45.0	35.0	65.0	50.0	45.0	40.0	30.0	35.0	20.0	25.0	5.0	10.0	10.0	
	その他の資格	101	53.5	53.5	52.5	47.5	40.6	39.6	35.6	24.8	30.7	14.9	5.0	7.9	6.9	
日本語能力	①聞く・話す	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	422	67.5	55.7	58.8	57.1	59.5	50.9	37.2	43.1	37.2	16.6	13.5	18.0	3.6
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	423	53.7	54.1	46.8	49.9	43.5	37.4	34.3	22.0	23.9	12.3	11.8	8.7	6.4
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	335	47.5	54.0	54.9	42.1	33.4	26.0	34.9	17.9	18.5	13.4	11.3	6.9	5.7
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	57	33.3	38.6	47.4	29.8	10.5	12.3	38.6	15.8	12.3	8.8	10.5	7.0	8.8
	②読む	どんな内容の文章でも読むことができる	492	67.7	59.1	55.5	56.3	59.3	48.8	36.2	38.0	37.4	15.7	13.4	16.5	4.5
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	321	54.8	55.5	51.7	52.6	43.9	39.3	31.8	23.4	21.2	14.6	12.5	7.8	4.7
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	265	45.7	47.5	53.6	40.4	29.4	24.2	38.1	19.2	18.5	10.9	11.7	7.2	5.3
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	96	40.6	51.0	53.1	38.5	33.3	25.0	40.6	19.8	16.7	10.4	8.3	9.4	7.3
	ほとんど読むことができない	50	40.0	42.0	44.0	38.0	16.0	26.0	40.0	20.0	20.0	14.0	12.0	10.0	10.0	
	③書く	複雑な内容の文章も書くことができる	368	70.4	60.9	58.2	59.2	60.6	51.1	40.2	42.7	39.1	16.6	14.7	17.7	3.3
		簡単な手紙や報告を書くことができる	367	53.4	52.9	50.7	46.9	44.1	36.8	32.4	22.9	24.0	15.8	11.4	9.8	5.7
		短いメールやメッセージを書くことができる	341	52.2	51.6	53.4	46.3	37.2	30.8	37.0	21.4	19.4	9.7	12.3	7.0	6.2
ほとんど書くことができない		148	35.8	48.0	48.6	41.2	26.4	26.4	33.1	18.9	18.9	12.2	8.8	8.1	6.1	
地域での交流	親しく交流する人がいる	254	63.4	53.1	55.1	55.1	54.3	50.4	41.3	43.7	40.2	18.9	14.6	15.0	5.9	
	個人的な話をする人がいる	230	63.5	57.8	53.5	60.0	53.0	55.7	43.0	43.5	37.8	15.7	17.8	3.5		
	挨拶をする人がいる	583	59.5	56.4	54.4	54.7	50.6	45.5	38.6	33.8	30.0	16.8	13.9	13.7	4.1	
	地域(近所)での日本人との付き合いはない	451	50.8	54.1	50.3	46.1	36.4	29.3	32.2	18.0	21.1	9.5	9.3	6.9	6.0	

10 行政・相談窓口について

〔1〕行政サービスの認知度・利用経験（単一回答）

行政サービスについて、「利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」を合わせた『知っている』は、「市民向けの予防接種や健康診断（一般健診、がん、HIVなど）」（59.9%）が最も多く、次いで、「児童手当・児童扶養手当」（44.4%）、「敬老乗車証」（43.4%）となっている。

【図表 133 行政サービスの認知度・利用経験】



Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■市民向けの予防接種や健康診断(一般健診、がん、HIVなど)

全体では、『知っている』は59.9%となっており、「知らない」は32.2%となっている。

国籍・地域別にみると、『知っている』の割合は、韓国(69.8%)が最も高く、次いで、フランス(69.3%)、中国(68.6%)となっている。「知らない」の割合は、ネパール(52.1%)が最も高く、次いで、ベトナム(45.5%)、ミャンマー(43.3%)となっている。

在留資格別にみると、『知っている』の割合は、経営・管理(85.0%)が最も高く、次いで、特別永住者(74.8%)、永住者(74.5%)となっている。「知らない」の割合は、高度専門職(50.0%)が最も高く、次いで、留学(専門学校、その他)(45.5%)、技術・人文知識・国際業務(44.8%)となっている。

年齢別にみると、『知っている』の割合は、60歳～69歳(88.6%)が最も高く、次いで、50歳～59歳(73.7%)、70歳～79歳(71.4%)となっている。「知らない」の割合は、39歳以下が、他の年齢と比べ、高くなっており、中でも、30歳～39歳が45.3%となっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が高いほど、『知っている』の割合が高くなっている。

【図表 134 市民向けの予防接種や健康診断(一般健診、がん、HIVなど)(属性特徴)】

		n	利用したことがある	利用しているが、利用したことはない	知らない	無回答	(%) 知っている
全体		1,247	352	395	401	99	747
		100	28.2	31.7	32.2	7.9	59.9
国籍・地域	中国	341	26.4	42.2	26.7	4.7	68.6
	韓国	238	39.1	30.7	13.4	16.8	69.8
	ベトナム	110	20.9	25.5	45.5	8.2	46.4
	ネパール	73	9.6	17.8	52.1	20.5	27.4
	台湾	72	18.1	47.2	34.7	0	65.3
	フィリピン	53	30.2	24.5	41.5	3.8	54.7
	アメリカ	44	47.7	20.5	31.8	0	68.2
	インドネシア	36	25.0	30.6	33.3	11.1	55.6
	ミャンマー	30	20.0	30.0	43.3	6.7	50.0
	フランス	26	46.2	23.1	30.8	0	69.3
その他	219	27.4	24.7	42.9	5.0	52.1	
在留資格	留学(大学・大学院)	245	14.3	41.6	40.8	3.3	55.9
	留学(日本語学校)	65	15.4	36.9	40.0	7.7	52.3
	留学(専門学校、その他)	22	9.1	27.3	45.5	18.2	36.4
	永住者	184	47.3	27.2	14.1	11.4	74.5
	特別永住者	183	42.6	32.2	11.5	13.7	74.8
	技術・人文知識・国際業務	154	22.1	29.2	44.8	5.9	51.3
	高度専門職	61	19.7	31.1	37.7	11.5	50.8
	特定技能	60	26.7	26.7	36.7	10.0	53.4
	日本人の配偶者等	63	38.1	27.0	30.2	4.8	65.1
	家族滞在	57	26.3	29.8	38.6	5.3	56.1
	その他	24	20.8	20.8	50.0	8.3	41.6
経営・管理	20	40.0	45.0	15.0	0	85.0	
その他の資格	100	21.0	25.0	46.0	8.0	46.0	
年齢	18歳～19歳	23	30.4	30.4	30.4	8.7	60.8
	20歳～29歳	446	18.4	36.3	40.4	4.9	54.7
	30歳～39歳	327	21.1	26.9	45.3	6.7	48.0
	40歳～49歳	142	38.0	33.1	27.5	1.4	71.1
	50歳～59歳	114	36.0	37.7	14.0	12.3	73.7
	60歳～69歳	79	57.0	31.6	7.6	3.8	88.6
	70歳～79歳	77	50.6	20.8	2.6	26.0	71.4
	80歳以上	34	41.2	20.6	5.9	32.4	61.8
日本語能力	① 話聞 どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	421	38.2	35.2	17.6	9.0	73.4
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	422	27.3	31.0	35.3	6.4	58.3
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	334	18.6	29.9	44.6	6.9	48.5
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	57	21.1	22.8	49.1	7.0	43.9
	② 読む どんな内容の文章でも読むことができる	491	34.2	37.7	20.8	7.3	71.9
	ニュースやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	321	27.7	31.8	34.9	6.6	59.5
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	263	24.3	26.2	43.0	6.5	50.5
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	96	21.9	22.9	45.8	9.4	44.8
	ほとんど読むことができない	50	14.0	28.0	50.0	8.0	42.0
	③ 書く 複雑な内容の文章も書くことができる	368	36.1	38.3	17.9	7.6	74.4
	簡単な手紙や報告を書くことができる	365	26.0	32.9	33.7	7.4	58.9
	短いメールやメッセージを書くことができる	340	26.8	28.8	38.2	6.2	55.6
	ほとんど書くことができない	148	18.9	22.3	53.4	5.4	41.2

■児童手当・児童扶養手当

全体では、『知っている』は44.4%となっており、「知らない」は43.1%となっている。

国籍・地域別にみると、『知っている』の割合は、韓国(53.0%)が最も高く、次いで、フィリピン(51.0%)、中国(49.8%)となっている。一方、ほとんどの国籍・地域で「知らない」の割合が最も高くなっている。

在留資格別にみると、『知っている』の割合は、特別永住者(61.7%)が最も高く、次いで、永住者(61.5%)、家族滞在(61.4%)となっている。「知らない」の割合は、留学(大学・大学院)(63.3%)が最も高く、次いで、技能実習(59.0%)、留学(日本語学校)(58.5%)となっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど、「知らない」の割合は高い傾向がある。

同居人別にみると、『知っている』の割合は、子ども(83.2%)が最も高く、「利用したことがある」の割合も子ども(70.5%)が最も高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が高いほど、『知っている』の割合は高い傾向がある。

【図表 135 児童手当・児童扶養手当(属性特徴)】

		n	利用したことがある	知っていたことが、 利用したことはない	知らない	無回答	知っている
全体		1,247	233	320	538	156	553
		100	18.7	25.7	43.1	12.5	44.4
国籍・地域	中国	341	20.2	29.6	43.4	6.7	49.8
	韓国	238	24.8	28.2	18.5	28.6	53.0
	ベトナム	110	17.3	25.5	45.5	11.8	42.8
	フィリピン	73	8.2	20.5	47.9	23.5	28.7
	インドネシア	72	15.3	27.8	54.2	2.8	43.1
	タイ	53	18.9	32.1	45.3	3.8	51.0
	アメリカ	44	18.2	29.5	47.7	4.5	47.7
	インドネシア	36	11.1	25.0	52.8	11.1	36.1
	ミクロネシア	30	6.7	23.3	50.0	20.0	30.0
	フランス	26	23.1	19.2	53.8	3.8	42.3
その他	219	17.4	16.9	58.4	7.5	34.3	
在留資格	留学(大学・大学院)	245	2.9	29.0	63.3	4.9	31.9
	留学(日本語学校)	65	1.5	26.2	58.5	13.8	27.7
	留学(専門学校、その他)	22	4.5	22.7	45.5	27.3	27.2
	永住者	184	40.8	20.7	21.2	17.4	61.5
	特別永住者	183	28.4	33.3	15.3	23.0	61.7
	技術・人文知識・国際業務	154	10.4	27.9	55.8	5.9	38.3
	技能実習	61	0	26.2	59.0	14.8	26.2
	特定技能	60	1.7	28.3	51.7	18.3	30.0
	日本人の配偶者等	63	39.7	11.1	39.7	9.5	50.8
	家族滞在	57	43.9	17.5	33.3	5.3	61.4
	高度専門職	24	20.8	25.0	50.0	4.2	45.8
経営・管理	20	35.0	25.0	35.0	5.0	60.0	
その他の資格	100	17.0	23.0	49.0	11.0	40.0	
年齢	18歳～19歳	23	8.7	21.7	60.9	8.7	30.4
	20歳～29歳	446	2.0	29.8	59.2	9.0	31.8
	30歳～39歳	327	24.2	22.0	46.5	7.3	46.2
	40歳～49歳	142	46.5	20.4	31.0	2.1	66.9
	50歳～59歳	114	33.3	26.3	24.6	15.8	59.6
	60歳～69歳	79	31.6	29.1	22.8	16.5	60.7
	70歳～79歳	77	16.9	24.7	15.6	42.9	41.6
	80歳以上	34	2.9	23.5	14.7	58.8	26.4
同居人	いない(ひとりりで住んでいる)	528	2.7	28.0	57.0	12.3	30.7
	日本人の配偶者・パートナー	201	38.8	19.4	30.8	10.9	58.2
	日本人以外の配偶者・パートナー	239	41.0	24.3	24.3	10.5	65.3
	子ども	237	70.5	12.7	7.6	9.3	83.2
	あなたの親	44	25.0	43.2	25.0	5.8	68.2
	配偶者・パートナーの親	50	36.0	22.0	30.0	12.0	58.0
	兄弟姉妹	29	10.3	51.7	34.5	3.4	62.0
	その他の親族	10	30.0	20.0	20.0	30.0	50.0
友人・知人	136	1.5	26.5	60.3	11.8	28.0	
日本語能力	① 話す・聞く	421	28.3	31.8	24.2	15.7	60.1
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	422	14.2	22.7	52.4	10.7	36.9
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	334	12.0	24.6	53.9	9.6	36.6
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	57	15.8	12.3	59.6	12.3	28.1
	② 読む	491	24.0	31.6	30.1	14.3	55.6
	どんな内容の文章でも読むことができる	321	17.1	22.7	51.4	8.7	39.8
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	263	10.6	24.3	56.7	8.4	34.9
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	96	15.6	19.8	51.0	13.6	35.4
	ほとんど読むことができない	50	24.0	16.0	44.0	16.0	40.0
	③ 書く	368	25.8	35.6	26.1	12.5	61.4
複雑な内容の文章も書くことができる	365	15.6	24.4	46.0	14.0	40.0	
簡単な手紙や報告を書くことができる	340	14.7	22.4	54.1	8.8	37.1	
短いメールやメッセージを書くことができる	148	17.6	14.9	58.8	8.8	32.5	
ほとんど書くことができない							

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■敬老乗車証

全体では、『知っている』は43.4%となっており、「知らない」は45.1%となっている。

国籍・地域別にみると、『知っている』の割合は、韓国(63.9%)が最も高く、次いで、台湾、アメリカ(それぞれ50.0%)となっている。一方、ほとんどの国籍・地域で「知らない」の割合が最も高く、中でも、フィリピンは64.2%となっている。

在留資格別にみると、『知っている』の割合は、特別永住者(71.0%)が最も高く、次いで、永住者(56.5%)、日本人の配偶者等(47.6%)となっている。「知らない」の割合は、高度専門職(62.5%)が最も高く、次いで、技術・人文知識・国際業務(61.0%)、技能実習(59.0%)となっている。

年齢別にみると、『知っている』の割合は、70歳～79歳(74.1%)が最も高く、次いで、80歳以上(70.6%)、60歳～69歳(60.8%)となっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が高いほど、『知っている』の割合が高くなっている。

【図表 136 敬老乗車証(属性特徴)】

		n	利用 した こと がある	利用 した こと はない	知 ら な い	無 回 答	知 っ て い る	
全体		1,247	69	473	563	142	542	
		100	5.5	37.9	45.1	11.4	43.4	
国籍・地域	中国	341	1.2	46.0	44.6	8.2	47.2	
	韓国	238	18.9	45.0	18.1	18.1	63.9	
	バドナム	110	0	32.7	53.6	13.6	32.7	
	ネパール	73	0	20.5	52.1	27.4	20.5	
	台湾	72	2.8	47.2	48.6	1.4	50.0	
	フィリピン	53	0	30.2	64.2	5.7	30.2	
	アメリカ	44	15.9	34.1	45.5	4.5	50.0	
	インドネシア	36	2.8	25.0	61.1	11.1	27.8	
	ミャンマー	30	6.7	13.3	56.7	23.3	20.0	
	フランス	26	0	50.0	46.2	3.8	50.0	
その他	219	3.2	29.2	59.4	8.2	32.4		
在留資格	留学(大学・大学院)	245	0	37.1	58.0	4.9	37.1	
	留学(日本語学校)	65	3.1	29.2	52.3	15.4	32.3	
	留学(専門学校、その他)	22	0	31.8	36.4	31.8	31.8	
	永住者	184	12.5	44.0	25.5	17.9	56.5	
	特別永住者	183	19.1	51.9	14.8	14.2	71.0	
	技術・人文知識・国際業務	154	1.3	32.5	61.0	2.2	33.8	
	技能実習	61	0	26.2	59.0	14.8	26.2	
	特定技能	60	1.7	28.3	53.3	16.7	30.0	
	日本人の配偶者等	63	3.2	44.4	39.7	12.7	47.6	
	家族滞在	57	0	33.3	56.1	10.5	33.3	
高度専門職	24	0	33.3	62.5	4.2	33.3		
経営・管理	20	0	45.0	50.0	5.0	45.0		
その他の資格	100	3.0	29.0	59.0	9.0	32.0		
年齢	18歳～19歳	23	0	30.4	56.5	13.0	30.4	
	20歳～29歳	446	0.7	34.5	55.8	9.0	35.2	
	30歳～39歳	327	0.9	33.0	56.6	9.5	33.9	
	40歳～49歳	142	0	48.6	45.1	6.3	48.6	
	50歳～59歳	114	5.3	53.5	22.8	18.4	58.8	
	60歳～69歳	79	7.6	53.2	22.8	16.5	60.8	
	70歳～79歳	77	42.9	31.2	5.2	20.8	74.1	
	80歳以上	34	50.0	20.6	8.8	20.6	70.6	
日本語能力	① 話聞 く、	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	421	10.7	48.7	27.6	13.1	59.4
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	422	4.5	34.6	51.7	9.2	39.1	
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	334	0.9	31.7	56.6	10.8	32.6	
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	57	1.8	14.0	70.2	14.0	15.8	
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	491	9.0	48.1	32.2	10.8	57.1
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	321	5.3	36.1	50.8	7.8	41.4	
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	263	1.9	31.2	57.0	9.9	33.1	
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	96	2.1	20.8	60.4	16.7	22.9	
	ほとんど読むことができない	50	0	22.0	60.0	18.0	22.0	
	③ 書く	複雑な内容の文章も書くことができる	368	9.2	51.1	29.6	10.1	60.3
	簡単な手紙や報告を書くことができる	365	4.9	37.0	45.8	12.3	41.9	
	短いメールやメッセージを書くことができる	340	3.5	32.4	55.3	8.8	35.9	
ほとんど書くことができない	148	3.4	22.3	64.9	9.5	25.7		

■母子健康手帳・乳幼児健診

全体では、『知っている』は43.1%となっており、「知らない」は45.3%となっている。

国籍・地域別にみると、『知っている』の割合は、韓国(55.4%)が最も高く、次いで、中国(46.3%)、アメリカ(45.5%)となっている。「知らない」の割合は、ほとんどの国籍・地域で最も高く、中でも、インドネシアで58.3%、ネパールで57.5%となっている。

在留資格別にみると、『知っている』の割合は、特別永住者(63.4%)が最も高く、次いで、永住者(59.8%)、家族滞在(56.2%)となっている。

年齢別にみると、『知っている』の割合は、40歳～49歳(60.5%)が最も高く、次いで、60歳～69歳(59.5%)、50歳～59歳(58.8%)となっている。また、年齢が低いほど、「知らない」の割合が高い傾向がある。

同居人別にみると、『知っている』の割合は、子ども(81.0%)が最も高く、次いで、あなたの親(65.9%)、兄弟姉妹(65.5%)となっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が高いほど、『知っている』の割合が高い傾向がある。

【図表 137 母子健康手帳・乳幼児健診(属性特徴)】

		n	利用したことがある	利用したことがない	知らない	無回答	知っている
全体		1,247	240	298	565	144	538
		100	19.2	23.9	45.3	11.5	43.1
国籍・地域	中国	341	16.7	29.6	47.2	6.5	46.3
	韓国	238	31.5	23.9	16.8	27.7	55.4
	ベトナム	110	20.0	22.7	45.5	11.8	42.7
	ネパール	73	4.1	15.1	57.5	23.3	19.2
	台湾	72	13.9	29.2	52.8	2.3	43.1
	フィリピン	53	28.3	17.0	50.9	3.8	45.3
	アメリカ	44	20.5	25.0	54.5	0	45.5
	インドネシア	36	13.9	16.7	58.3	11.1	30.6
	ミャンマー	30	6.7	26.7	53.3	13.3	33.4
	フランス	26	15.4	26.9	53.8	3.8	42.3
	その他	219	16.0	18.7	60.3	2.0	34.7
在留資格	留学(大学・大学院)	245	0.8	27.8	66.9	4.5	28.6
	留学(日本語学校)	65	3.1	21.5	63.1	12.3	24.6
	留学(専門学校、その他)	22	0	27.3	50.0	22.7	27.3
	永住者	184	41.3	18.5	23.9	16.3	59.8
	特別永住者	183	35.5	27.9	13.7	23.0	63.4
	技術・人文知識・国際業務	154	11.0	26.6	58.4	3.9	37.6
	技能実習	61	3.3	24.6	57.4	14.7	27.9
	特定技能	60	5.0	25.0	55.0	15.0	30.0
	日本人の配偶者等	63	38.1	12.7	41.3	7.9	50.8
	家族滞在	57	35.1	21.1	36.8	7.0	56.2
	高度専門職	24	25.0	25.0	45.8	4.2	50.0
経営・管理	20	15.0	30.0	50.0	5.0	45.0	
その他の資格	100	17.0	21.0	52.0	10.0	38.0	
年齢	18歳～19歳	23	4.3	17.4	60.9	17.4	21.7
	20歳～29歳	446	3.1	27.4	62.1	7.4	30.5
	30歳～39歳	327	24.5	20.8	48.3	6.4	45.3
	40歳～49歳	142	37.3	23.2	36.6	2.8	60.5
	50歳～59歳	114	27.2	31.6	26.3	14.9	58.8
	60歳～69歳	79	36.7	22.8	25.3	15.2	59.5
	70歳～79歳	77	28.6	14.3	13.0	44.2	42.9
	80歳以上	34	26.5	14.7	11.8	47.1	41.2
同居人	いない(ひとりりで住んでいる)	528	4.5	24.6	59.7	11.2	29.1
	日本人の配偶者・パートナー	201	39.8	19.4	30.8	10.0	59.2
	日本人以外の配偶者・パートナー	239	40.6	22.2	27.2	10.0	62.8
	子ども	237	67.9	13.1	10.5	8.4	81.0
	あなたの親	44	18.2	47.7	25.0	9.1	65.9
	配偶者・パートナーの親	50	30.0	24.0	34.0	12.0	54.0
	兄弟姉妹	29	10.3	55.2	31.0	3.4	65.5
	その他の親族	10	30.0	20.0	20.0	30.0	50.0
友人・知人	136	1.5	25.7	62.5	10.3	27.2	
日本語能力	① 話す・聞く						
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	421	31.6	28.0	26.1	14.3	59.6
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	422	13.5	23.7	53.1	10.7	37.2
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	334	11.4	21.3	58.1	9.3	32.7
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	57	12.3	14.0	63.2	10.5	26.3
	② 読む						
	どんな内容の文章でも読むことができる	491	26.3	29.1	31.2	13.4	55.4
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	321	13.7	22.1	56.1	8.1	35.8
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	263	14.4	22.8	55.9	6.8	37.2
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	96	15.6	16.7	54.2	13.5	32.3
ほとんど読むことができない	50	16.0	14.0	56.0	14.0	30.0	
③ 書く							
複雑な内容の文章も書くことができる	368	27.4	32.6	27.4	12.5	60.0	
簡単な手紙や報告を書くことができる	365	17.3	23.6	47.1	12.1	40.9	
短いメールやメッセージを書くことができる	340	13.8	20.9	57.4	7.9	34.7	
ほとんど書くことができない	148	15.5	12.8	63.5	8.1	28.3	

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■生活保護

全体では、『知っている』は41.4%となっており、「知らない」は47.6%となっている。

国籍・地域別にみると、『知っている』の割合は、韓国(67.2%)が最も高く、次いで、フィリピン(56.6%)、アメリカ(43.1%)となっている。「知らない」の割合は、フランス(65.4%)が最も高く、次いで、台湾(58.3%)、ベトナム(58.2%)となっている。

在留資格別にみると、『知っている』の割合は、特別永住者(77.0%)が最も高く、次いで、永住者(58.1%)、技能実習(44.2%)となっている。「知らない」の割合は、留学(大学・大学院)(68.6%)が最も高く、次いで、家族滞在(68.4%)、技術・人文知識・国際業務(63.6%)となっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど、「知らない」の割合が高い傾向がある。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど、「知らない」の割合が高くなっている。

【図表 138 生活保護(属性特徴)】

		n	利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない	無回答	知っている
全体		1,247	90	427	594	136	517
		100	7.2	34.2	47.6	10.9	41.4
国籍・地域	中国	341	2.3	36.4	53.1	8.2	38.7
	韓国	238	17.6	49.6	15.5	17.2	67.2
	ベトナム	110	10.0	19.1	58.2	12.7	29.1
	スリランカ	73	4.1	16.4	52.1	27.4	20.5
	台湾	72	2.8	37.5	58.3	1.4	40.3
	フィリピン	53	5.7	50.9	41.5	1.9	56.6
	アメリカ	44	4.5	38.6	52.3	4.5	43.1
	インドネシア	36	13.9	22.2	52.8	11.1	36.1
	ミャンマー	30	10.0	16.7	53.3	20.0	26.7
	フランス	26	0	34.6	65.4	0	34.6
その他	219	4.6	26.5	61.2	7.3	31.1	
在留資格	留学(大学・大学院)	245	0.8	25.3	68.6	5.3	26.1
	留学(日本語学校)	65	4.6	24.6	55.4	15.4	29.2
	留学(専門学校、その他)	22	9.1	13.6	50.0	27.3	22.7
	永住者	184	11.4	46.7	25.5	16.3	58.1
	特別永住者	183	16.9	60.1	10.4	12.6	77.0
	技術・人文知識・国際業務	154	3.2	27.3	63.6	8.9	30.5
	技能実習	61	9.8	34.4	41.0	14.8	44.2
	特定技能	60	11.7	18.3	53.3	16.7	30.0
	日本人の配偶者等	63	4.8	33.3	50.8	11.1	38.1
	家族滞在	57	1.8	19.3	68.4	10.5	21.1
	高度専門職	24	0	33.3	62.5	4.2	33.3
	経営・管理	20	5.0	35.0	55.0	5.0	40.0
その他の資格	100	7.0	26.0	60.0	7.0	33.0	
年齢	18歳～19歳	23	0	21.7	65.2	13.0	21.7
	20歳～29歳	446	4.9	28.5	57.8	8.7	33.4
	30歳～39歳	327	4.0	25.4	61.2	9.5	29.4
	40歳～49歳	142	2.1	49.3	44.4	4.2	51.4
	50歳～59歳	114	11.4	47.4	26.3	14.9	58.8
	60歳～69歳	79	13.9	49.4	19.0	17.7	63.3
	70歳～79歳	77	22.1	44.2	10.4	23.4	66.3
	80歳以上	34	26.5	41.2	11.8	20.6	67.7
日本語能力	① 話す、						
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	421	9.5	50.8	27.6	12.1	60.3
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	422	5.9	28.9	55.5	9.7	34.8
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	334	4.8	23.1	61.7	10.5	27.9
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	57	8.8	12.3	66.7	12.3	21.1
	② 読む						
	どんな内容の文章でも読むことができる	491	9.0	46.6	34.6	9.8	55.6
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	321	4.4	29.6	56.7	9.3	34.0
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	263	6.1	28.1	56.7	9.1	34.2
	ひらがな、カタカナの言葉はいくつか読むことができる	96	8.3	18.8	57.3	15.6	27.1
	ほとんど読むことができない	50	6.0	6.0	70.0	18.0	12.0
	③ 書く						
複雑な内容の文章も書くことができる	368	9.0	51.4	29.6	10.1	60.4	
簡単な手紙や報告を書くことができる	365	7.7	31.2	50.1	11.0	38.9	
短いメールやメッセージを書くことができる	340	5.3	28.2	56.8	9.7	33.5	
ほとんど書くことができない	148	4.1	14.2	72.3	9.5	18.3	

■介護保険によるサービス

全体では、『知っている』は39.7%となっており、「知らない」は49.0%となっている。

国籍・地域別にみると、『知っている』の割合は、韓国(58.0%)が最も高く、次いで、アメリカ(50.0%)、台湾(44.5%)となっている。「知らない」の割合は、ほとんどの国籍・地域で最も高くなっている。

在留資格別にみると、『知っている』の割合は、特別永住者(64.4%)が最も高く、次いで、永住者(55.4%)、経営・管理(55.0%)となっている。「知らない」の割合は、留学(大学・大学院)(67.8%)が最も高く、次いで、技術・人文知識・国際業務(64.3%)、高度専門職(62.5%)となっている。

年齢別にみると、『知らない』の割合は、49歳以下で、最も高くなっている。

同居人別にみると、『知っている』の割合は、兄弟姉妹(65.5%)が最も高く、次いで、あなたの親(63.6%)、子ども(59.0%)となっている。「知らない」の割合は、いない(ひとりで住んでいる)(58.0%)が最も高く、次いで、友人・知人(55.1%)、配偶者・パートナーの親(52.0%)となっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が高いほど、『知っている』の割合が高くなっている。

【図表 139 介護保険によるサービス(属性特徴)】

		n	利用 した こと がある	利 用 し た こ と は な い	知 ら な い	無 回 答	知 っ て い る (%)
全体		1,247	97	398	611	141	495
		100	7.8	31.9	49.0	11.3	39.7
国籍・地域	中国	341	2.1	34.0	55.4	8.5	36.1
	韓国	238	14.3	43.7	20.6	21.4	58.0
	ベトナム	110	10.9	27.3	50.0	11.8	38.2
	ネパール	73	9.6	17.8	47.9	24.7	27.4
	台湾	72	5.6	38.9	54.2	1.4	44.5
	フィリピン	53	5.7	35.8	54.7	3.8	41.5
	アメリカ	44	9.1	40.9	47.7	2.3	50.0
	インドネシア	36	16.7	19.4	55.6	8.3	36.1
	ミャンマー	30	6.7	23.3	50.0	20.0	30.0
	フランス	26	11.5	19.2	65.4	3.8	30.7
	その他	219	5.9	22.8	64.4	6.8	28.7
在留資格	留学(大学・大学院)	245	1.2	25.7	67.8	5.3	26.9
	留学(日本語学校)	65	4.6	29.2	52.3	13.8	33.8
	留学(専門学校、その他)	22	9.1	18.2	50.0	22.7	27.3
	永住者	184	13.6	41.8	28.8	15.8	55.4
	特別永住者	183	15.8	48.6	17.5	18.0	64.4
	技術・人文知識・国際業務	154	3.9	26.6	64.3	5.2	30.5
	技能実習	61	11.5	29.5	45.9	13.1	41.0
	特定技能	60	5.0	25.0	55.3	14.7	30.0
	日本人の配偶者等	63	6.3	28.6	52.4	12.7	34.9
	家族滞在	57	5.3	28.1	59.6	7.0	33.4
	高度専門職	24	4.2	29.2	62.5	4.2	33.4
	経営・管理	20	15.0	40.0	40.0	5.0	55.0
その他の資格	100	4.0	22.0	64.0	10.0	26.0	
年齢	18歳～19歳	23	8.7	30.4	47.8	13.0	39.1
	20歳～29歳	446	3.4	24.9	65.7	5.1	28.3
	30歳～39歳	327	4.6	28.7	57.5	9.2	33.3
	40歳～49歳	142	5.6	40.1	50.7	3.5	45.7
	50歳～59歳	114	13.2	43.0	29.8	14.0	56.2
	60歳～69歳	79	17.7	49.4	17.7	15.2	67.1
	70歳～79歳	77	16.9	45.5	6.5	31.2	62.4
	80歳以上	34	44.1	14.7	5.9	35.3	58.8
同居人	いない(ひとりで住んでいる)	528	5.3	27.3	58.0	9.5	32.6
	日本人の配偶者・パートナー	201	7.0	37.8	42.3	12.9	44.8
	日本人以外の配偶者・パートナー	239	10.5	37.7	42.3	9.6	48.2
	子ども	237	14.3	44.7	30.0	11.0	59.0
	あなたの親	44	13.6	50.0	27.3	9.1	63.6
	配偶者・パートナーの親	50	6.0	28.0	52.0	14.0	34.0
	兄弟姉妹	29	13.8	51.7	31.0	3.4	65.5
	その他の親族	10	30.0	10.0	30.0	30.0	40.0
友人・知人	136	5.9	27.9	55.1	11.0	33.8	
日本語能力	① 話 す く	421	10.0	44.2	32.3	13.1	54.2
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	422	7.1	26.5	56.9	9.5	33.6
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	334	5.1	25.7	59.0	10.2	30.8
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	57	8.8	17.5	61.4	12.3	26.3
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	491	7.5	41.1	39.9	11.4	48.6
	② 読 む	321	7.8	28.7	55.3	7.8	36.5
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	263	7.2	27.0	56.7	9.1	34.2
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	96	7.3	20.8	57.3	4.6	28.1
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	50	8.0	18.0	56.0	18.0	26.0
	ほとんど読むことができない	368	7.6	44.8	36.7	10.9	52.4
	③ 書 く	365	7.9	30.7	49.6	11.8	38.6
	複雑な内容の文章も書くことができる	340	7.9	26.8	56.8	8.5	34.7
簡単な手紙や報告を書くことができる	148	6.1	18.2	66.2	9.5	24.3	
短いメールやメッセージを書くことができる							
ほとんど書くことができない							

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■子ども医療費

全体では、『知っている』は39.1%となっており、「知らない」は48.1%となっている。

国籍・地域別にみると、『知っている』の割合は、フィリピン(51.0%)が最も高く、次いで、韓国(49.1%)、中国(41.3%)となっている。「知らない」の割合は、ほとんどの国籍・地域で最も高く、中でも、フランスで61.5%となっている。

在留資格別にみると、『知っている』の割合は、特別永住者(56.8%)が最も高く、次いで、永住者(56.0%)、家族滞在(47.3%)となっている。「知らない」の割合は、留学(大学・大学院)(68.6%)が最も高く、次いで、技術・人文知識・国際業務(63.0%)、留学(日本語学校)(60.0%)となっている。

年齢別にみると、『知っている』の割合は、40歳～49歳(61.3%)が最も高く、次いで、50歳～59歳(55.3%)、60歳～69歳(49.4%)となっている。また、年齢が低いほど、「知らない」の割合が高い傾向がある。

同居人別にみると、「利用したことがある」の割合は、子ども(62.0%)で最も高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が高いほど、『知っている』の割合が高い傾向がある。

【図表 140 子ども医療費(属性特徴)】

		n	利用したことがある	利用しているが、利用したことはない	知らない	無回答	知っている
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		1,247	193	294	600	160	487
		100	15.5	23.6	48.1	12.8	39.1
国籍・地域	中国	341	15.2	26.1	50.4	8.2	41.3
	韓国	238	19.7	29.4	48.2	21.4	49.1
	ベトナム	110	17.3	22.7	48.2	11.8	40.0
	スリナム	73	2.7	20.5	52.1	24.7	23.2
	台湾	72	16.7	23.6	56.9	2.8	40.3
	フィリピン	53	18.9	32.1	45.3	3.8	51.0
	アメリカ	44	11.4	27.3	56.8	4.5	38.7
	インドネシア	36	11.1	25.0	52.8	11.1	36.1
	フランス	30	6.7	20.0	56.7	16.7	26.7
	ドイツ	26	23.1	11.5	61.5	3.8	24.6
	その他	219	15.5	13.2	65.3	5.9	28.7
在留資格	留学(大学・大学院)	245	2.0	24.1	68.6	5.3	26.1
	留学(日本語学校)	65	1.5	24.6	60.0	13.8	26.1
	留学(専門学校、その他)	22	4.5	27.3	45.5	22.7	31.8
	永住者	184	35.9	20.1	25.0	19.0	56.0
	特別永住者	183	22.4	34.4	19.1	24.0	56.8
	技術・人文知識・国際業務	154	9.1	23.4	63.0	4.5	32.5
	経済活動	61	0	29.5	55.7	14.8	29.5
	技能実習	60	1.7	28.3	53.3	16.7	30.0
	留学(日本語学校)	60	1.7	28.3	53.3	16.7	30.0
	日本人の配偶者等	63	36.5	9.5	42.9	11.1	46.0
	家族滞在	57	33.3	14.0	45.6	7.0	47.3
	高度専門職	24	16.7	29.2	50.0	4.2	45.9
	経営・管理	20	20.0	20.0	55.0	5.0	40.0
その他の資格	100	14.0	15.0	60.0	11.0	29.0	
年齢	18歳～19歳	23	4.3	13.0	69.6	13.0	17.3
	20歳～29歳	446	1.6	24.9	65.2	8.3	26.5
	30歳～39歳	327	21.7	19.9	50.8	7.2	41.6
	40歳～49歳	142	43.0	18.3	37.3	1.4	61.3
	50歳～59歳	114	24.6	30.7	27.2	17.5	55.3
	60歳～69歳	79	20.3	29.1	30.4	20.3	49.4
	70歳～79歳	77	9.1	28.6	18.2	44.2	37.7
	80歳以上	34	5.9	23.5	11.8	58.8	29.4
同居人	いない(ひとり暮らし)	528	2.5	24.4	61.2	11.9	26.9
	日本人の配偶者・パートナー	201	34.3	17.9	34.8	12.9	52.2
	日本人以外の配偶者・パートナー	239	34.3	24.3	31.0	10.5	58.6
	子ども	237	62.0	13.5	13.5	11.0	75.5
	あなたの親	44	15.9	36.4	38.6	9.1	52.3
	配偶者・パートナーの親	50	24.0	22.0	40.0	14.0	46.0
	兄弟姉妹	29	13.8	48.3	34.5	3.4	62.1
	その他の親族	10	30.0	20.0	20.0	30.0	50.0
友人・知人	136	0.7	25.0	63.2	11.0	25.7	
日本語能力	① 話す、	421	23.5	31.4	29.2	15.9	54.9
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	422	12.1	19.2	57.8	10.9	31.3
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	334	9.6	21.9	58.4	10.2	31.5
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	57	14.0	8.8	64.9	12.3	22.8
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	491	19.8	30.5	35.4	14.3	50.3
	② 読む	321	14.6	18.4	57.6	9.3	33.0
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	263	9.5	23.2	58.9	8.4	32.7
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	96	12.5	14.6	58.3	14.6	27.1
	ほとんど読むことができない	50	18.0	14.0	50.0	18.0	32.0
	③ 書く	368	22.3	32.9	31.8	13.0	55.2
	複雑な内容の文章も書くことができる	365	13.2	22.2	51.2	13.4	35.4
	簡単な手紙や報告を書くことができる	340	12.4	21.5	56.5	9.7	33.9
	短いメールやメッセージを書くことができる	148	12.2	10.8	67.6	9.5	23.0

■区役所などの窓口の通訳サービス(電話やタブレット)

全体では、『知っている』は38.4%となっており、「知らない」は50.0%となっている。

国籍・地域別にみると、『知っている』の割合は、アメリカ(54.6%)が最も高く、次いで、フィリピン(47.1%)、台湾(43.1%)となっている。ほとんどの国籍・地域で「知らない」の割合が、最も高くなっている。

在留資格別にみると、『知っている』の割合は、留学(日本語学校)(43.1%)が最も高く、次いで、永住者(42.9%)、技術・人文知識・国際業務(41.5%)となっている。「知らない」の割合は、経営・管理(75.0%)や高度専門職(66.7%)で高くなっている。

年齢別にみると、『知っている』の割合は、50歳～59歳(45.6%)が最も高く、次いで、60歳～69歳(43.0%)、20歳～29歳(42.2%)となっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど、『知らない』の割合が高い傾向がある。

【図表 141 区役所などの窓口の通訳サービス(電話やタブレット)(属性特徴)】

		n	利用 した こと が あ る	利 用 し た こ と は な い	知 ら な い	無 回 答	知 っ て い る
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		1,247	79	400	623	145	479
		100	6.3	32.1	50.0	11.6	38.4
国籍・地域	中国	341	3.5	34.9	52.8	8.8	38.4
	韓国	238	4.2	29.4	43.3	23.1	33.6
	バトナム	110	7.3	34.5	46.4	11.8	41.8
	ネパール	73	12.3	20.5	43.8	23.3	32.8
	台湾	72	2.8	40.3	55.6	—	43.1
	フィリピン	53	9.4	37.7	47.2	5.7	47.1
	アメリカ	44	9.1	45.5	43.2	2.3	54.6
	インドネシア	36	8.3	33.3	47.2	11.1	41.6
	ミャンマー	30	16.7	23.3	43.3	16.7	40.0
	フランス	26	3.8	30.8	65.4	0	34.6
その他	219	9.1	27.9	56.6	6.4	37.0	
在留資格	留学(大学・大学院)	245	5.3	33.1	55.9	5.7	38.4
	留学(日本語学校)	65	7.7	35.4	47.7	9.2	43.1
	留学(専門学校、その他)	22	13.6	18.2	40.9	27.3	31.8
	永住者	184	8.7	34.2	36.4	20.7	42.9
	特別永住者	183	3.3	34.4	45.4	16.9	37.7
	技術・人文知識・国際業務	154	8.4	33.1	53.9	4.5	41.5
	技能実習	61	1.6	39.3	44.3	14.8	40.9
	特定技能	60	5.0	30.0	51.7	13.3	35.0
	日本人の配偶者等	63	3.2	34.9	52.4	9.5	38.1
	家族滞在	57	8.8	21.1	61.4	8.8	29.9
	高度専門職	24	0	29.2	66.7	4.2	29.2
	経営・管理	20	0	20.0	75.0	5.0	20.0
その他の資格	100	12.0	26.0	53.0	9.0	38.0	
年齢	18歳～19歳	23	4.3	17.4	65.2	13.0	21.7
	20歳～29歳	446	6.5	35.7	50.2	7.6	42.2
	30歳～39歳	327	6.1	29.4	56.0	8.6	35.5
	40歳～49歳	142	4.2	33.8	57.7	7.2	38.0
	50歳～59歳	114	8.8	36.8	39.5	14.9	45.6
	60歳～69歳	79	11.4	31.6	40.5	16.5	43.0
	70歳～79歳	77	3.9	22.1	40.3	33.8	26.0
	80歳以上	34	2.9	23.5	29.4	44.1	26.4
日本語能力	① 話聞く						
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	421	4.8	37.1	43.7	14.5	41.9
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	422	5.5	32.7	53.1	8.8	38.2
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	334	9.0	26.6	54.2	10.2	35.6
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	57	10.5	21.1	56.1	12.3	31.6
	② 読む						
	どんな内容の文章でも読むことができる	491	3.3	37.3	47.9	11.6	40.6
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	321	7.2	32.7	52.0	8.1	39.9
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	263	7.6	31.2	52.5	8.7	38.8
	ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	96	14.6	17.7	51.0	16.7	32.3
	ほとんど読むことができない	50	12.0	14.0	56.0	18.0	26.0
	③ 書く						
複雑な内容の文章も書くことができる	368	4.1	39.1	46.2	10.6	43.2	
簡単な手紙や報告を書くことができる	365	5.5	33.7	48.2	12.6	39.2	
短いメールやメッセージを書くことができる	340	8.8	29.4	53.2	8.5	38.2	
ほとんど書くことができない	148	8.8	18.9	61.5	10.8	27.7	

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■市営住宅に住むこと

全体では、『知っている』は36.9%となっており、「知らない」は50.8%となっている。

国籍・地域別にみると、『知っている』の割合は、韓国(53.8%)が最も高く、次いで、アメリカ(43.1%)、ベトナム(38.2%)となっている。「知らない」の割合は、フランス(69.2%)が最も高く、次いで、台湾(65.3%)、ミャンマー(60.0%)となっている。

在留資格別にみると、『知っている』の割合は、特別永住者(61.8%)が最も高く、次いで、永住者(52.2%)、高度専門職(33.3%)となっている。「知らない」の割合は、留学(大学・大学院)(70.2%)が最も高く、次いで、経営・管理(70.0%)、技術・人文知識・国際業務(64.3%)となっている。

年齢別にみると、39歳以下で、「知らない」の割合が最も高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低い人で「知らない」の割合が高い傾向がある。

【図表 142 市営住宅に住むこと(属性特徴)】

		n	利用 した こと がある	利 用 し た こ と が な い	知 ら な い	無 回 答	知 っ て い る	
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体		1,247	65	395	633	154	460	
			100	5.2	31.7	50.8	12.3	36.9
国籍・地域	中国	341	6.2	31.1	53.7	9.1	37.3	
	韓国	238	6.3	47.5	21.8	24.4	53.8	
	ベトナム	110	6.4	31.8	49.1	12.7	38.2	
	ネパール	73	1.4	23.3	52.1	23.3	24.7	
	台湾	72	2.8	30.6	65.3	1.4	33.4	
	フィリピン	53	5.7	30.2	58.5	5.7	35.9	
	アメリカ	44	4.5	38.6	54.5	2.3	43.1	
	インドネシア	36	2.8	30.6	55.6	7.1	33.4	
	ミャンマー	30	6.7	10.0	60.0	23.3	16.7	
	フランス	26	0	26.9	69.2	3.8	26.9	
その他	219	4.6	21.5	67.1	6.8	26.1		
在留資格	留学(大学・大学院)	245	0.8	24.1	70.2	4.9	24.9	
	留学(日本語学校)	65	1.5	27.7	55.4	15.4	29.2	
	留学(専門学校、その他)	22	9.1	13.6	50.0	27.3	22.7	
	永住者	184	11.4	40.8	26.6	21.2	52.2	
	特別永住者	183	6.6	55.2	19.7	18.6	61.8	
	技術・人文知識・国際業務	154	3.2	27.3	64.3	5.2	30.5	
	技能実習	61	1.6	31.1	52.5	14.8	32.7	
	特定技能	60	5.0	13.3	66.7	15.0	18.3	
	日本人の配偶者等	63	3.2	28.6	57.1	11.1	31.8	
	家族滞在	57	12.3	19.3	59.6	8.8	31.6	
	高度専門職	24	0	33.3	62.5	4.2	33.3	
経営・管理	20	0	25.0	70.0	5.0	25.0		
その他の資格	100	8.0	27.0	56.0	9.0	35.0		
年齢	18歳～19歳	23	0	13.0	69.6	17.4	13.0	
	20歳～29歳	446	2.7	26.0	62.6	8.7	28.7	
	30歳～39歳	327	5.8	25.4	60.2	8.6	31.2	
	40歳～49歳	142	4.9	45.8	44.4	4.9	50.7	
	50歳～59歳	114	9.6	45.6	27.2	17.5	55.2	
	60歳～69歳	79	12.7	40.5	30.4	16.5	53.2	
	70歳～79歳	77	6.5	37.7	22.1	33.8	44.2	
	80歳以上	34	2.9	41.2	14.7	41.2	44.1	
日本語能力	① 話聞 ずく	421	5.9	47.3	32.1	14.7	53.2	
	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	422	4.3	25.4	60.0	10.4	29.7	
	日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	334	4.8	23.4	61.7	10.2	28.2	
	簡単な質問なら理解し、答えることができる	57	8.8	10.5	66.7	14.0	19.3	
	ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	491	5.1	43.8	38.5	12.6	48.9	
	② 読む	321	5.6	24.3	61.1	9.0	29.9	
	メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	263	3.8	25.9	60.8	9.5	29.7	
	ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	96	8.3	22.9	53.1	15.6	31.2	
	ほとんど読むことができない	50	6.0	14.0	64.0	16.0	20.0	
	③ 書く	368	6.0	47.0	34.8	12.2	53.0	
	複雑な内容の文章も書くことができる	365	4.1	28.8	53.4	13.7	32.9	
	簡単な手紙や報告を書くことができる	340	5.0	25.6	60.6	8.8	30.6	
短いメールやメッセージを書くことができる	148	6.1	16.9	68.2	8.8	23.0		
ほとんど書くことができない								

〔2〕行政窓口での困りごと(複数回答)

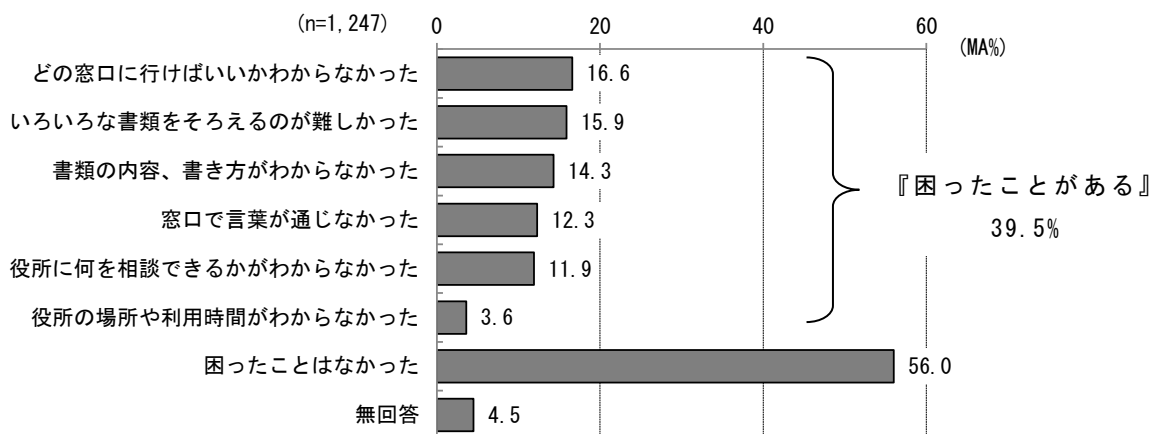
行政窓口での困りごとについて、『困ったことがある』(全回答者から「困ったことはなかった」と「無回答」を除く)は39.5%となっており、「困ったことはなかった」は56.0%となっている。『困ったことがある』の中では、「どの窓口に行けばいいかわからなかった」(16.6%)が最も多く、次いで、「いろいろな書類をそろえるのが難しかった」(15.9%)、「書類の内容、書き方がわからなかった」(14.3%)となっている。

国籍・地域別にみると、多くの国籍・地域で「どの窓口に行けばいいかわからなかった」の割合が高く、中でも、ミャンマー(33.3%)、アメリカ(31.8%)、フランス(26.9%)の順に高くなっている。ネパールでは、「窓口で言葉が通じなかった」(19.2%)が最も高くなっている。

在留資格別にみると、「どの窓口に行けばいいかわからなかった」の割合は、特定技能(23.3%)が最も高く、次いで、技術・人文知識・国際業務(22.7%)、留学(大学・大学院)(22.4%)となっている。また、「窓口で言葉が通じなかった」の割合は、家族滞在(33.3%)、経営・管理(30.0%)が高くなっている。

日本語能力別にみると、日本語能力が低いほど、「窓口で言葉が通じなかった」の割合が高くなっている。また、日本語能力が高くても、「いろいろな書類をそろえるのが難しかった」の割合が高くなっている。

【図表 143 行政窓口での困りごと】



Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

【図表 144 行政窓口での困りごと(属性特徴)】

		n	わ か ら な か つ た	そ う ろ う え る の が 難 し か つ た	わ か ら な か つ た	窓 口 で 言 葉 が 通 じ な か つ た	役 所 に 何 を 相 談 で き る か が	役 所 の 場 所 や 利 用 時 間 が	困 っ た こ と は な か つ た	無 回 答	困 っ た こ と が あ る	
全体		1,247	207	198	178	154	148	45	698	56	493	
		100	16.6	15.9	14.3	12.3	11.9	3.6	56.0	4.5	39.5	
国籍・地域	中国	341	11.7	16.7	9.7	13.5	12.9	2.9	56.3	2.1	41.6	
	韓国	238	10.5	14.7	7.1	0.8	7.1	2.5	63.9	11.3	24.8	
	バトナム	110	23.6	22.7	16.4	17.3	8.2	7.3	48.2	3.6	48.2	
	ネパール	73	16.4	6.8	16.4	19.2	9.6	2.7	52.1	5.5	42.4	
	台湾	72	15.3	23.6	15.3	11.1	12.5	2.8	50.0	4.2	45.8	
	フィリピン	53	9.4	11.3	20.8	9.4	20.8	0	54.7	7.5	37.8	
	アメリカ	44	31.8	20.5	20.5	22.7	22.7	6.8	50.0	2.3	47.7	
	インドネシア	36	15.9	2.8	8.3	8.3	5.6	5.6	61.1	0	38.9	
	ミャンマー	30	33.3	3.3	20.0	10.0	10.0	0	60.0	0	40.0	
	フランス	26	26.9	19.2	26.9	15.4	7.7	0	50.0	3.8	46.2	
その他	219	23.3	16.0	22.4	17.8	15.1	5.0	54.8	2.3	42.9		
在留資格	留学(大学・大学院)	245	22.4	20.4	15.9	15.9	15.1	5.3	50.2	1.6	48.2	
	留学(日本語学校)	65	12.3	10.8	12.3	18.5	7.7	4.6	55.4	1.5	43.1	
	留学(専門学校、その他)	22	4.5	4.5	4.5	9.1	4.5	0	81.8	0	18.2	
	永住者	184	9.8	15.2	14.1	7.6	10.9	1.1	60.3	5.4	34.3	
	特別永住者	183	9.3	9.8	4.9	0.5	7.7	2.7	72.1	10.4	17.5	
	技術・人文知識・国際業務	154	22.7	25.3	16.2	10.4	16.9	1.3	49.4	2.6	48.0	
	技能実習	61	13.0	6.6	13.1	11.5	4.9	9.8	63.9	6.6	29.5	
	特定技能	60	25.3	8.3	13.3	8.3	8.3	5.0	65.0	0	35.0	
	日本人の配偶者等	63	19.0	22.2	28.6	9.5	11.1	3.2	49.2	4.8	46.0	
	家族滞在	57	14.0	12.3	12.3	33.3	14.0	0	42.1	7.0	50.9	
	高度専門職	24	20.8	8.3	20.8	12.5	12.5	8.3	54.2	0	45.8	
	経営・管理	20	15.0	25.0	25.0	30.0	25.0	10.0	45.0	0	55.0	
その他の資格	100	19.0	15.0	16.0	21.0	13.0	4.0	44.0	5.0	51.0		
日本語能力	① 話聞 ずく	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	421	10.2	13.3	6.7	1.0	9.0	1.4	68.6	6.4	25.0
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	422	19.7	21.8	18.0	8.5	13.5	4.3	53.1	2.8	44.1
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	334	20.1	11.1	17.4	26.0	12.6	3.9	48.2	3.6	48.2
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	57	24.6	19.3	28.1	45.6	17.5	14.0	33.3	0	66.7
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	491	11.6	14.5	7.5	1.6	10.6	1.4	65.6	5.9	28.5
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	321	20.6	19.9	16.2	13.7	14.0	5.3	50.5	1.9	47.6
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	263	16.7	13.7	17.9	20.5	12.2	4.2	53.6	3.0	43.4
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	96	30.2	18.8	28.1	29.2	10.4	6.3	42.7	4.2	53.1
	③ 書く	ほとんど読むことができない	50	16.0	10.0	26.0	34.0	12.0	6.0	38.0	4.0	58.0
		複雑な内容の文章も書くことができる	368	10.3	13.3	7.6	0.8	10.6	1.4	69.3	5.2	25.5
		簡単な手紙や報告を書くことができる	365	16.4	17.8	11.0	6.6	9.9	3.6	58.9	4.4	36.7
		短いメールやメッセージを書くことができる	340	18.8	14.7	17.1	19.7	12.1	4.1	49.7	2.9	47.4
ほとんど書くことができない	148	28.4	19.6	33.1	38.5	18.9	7.4	31.1	3.4	65.5		

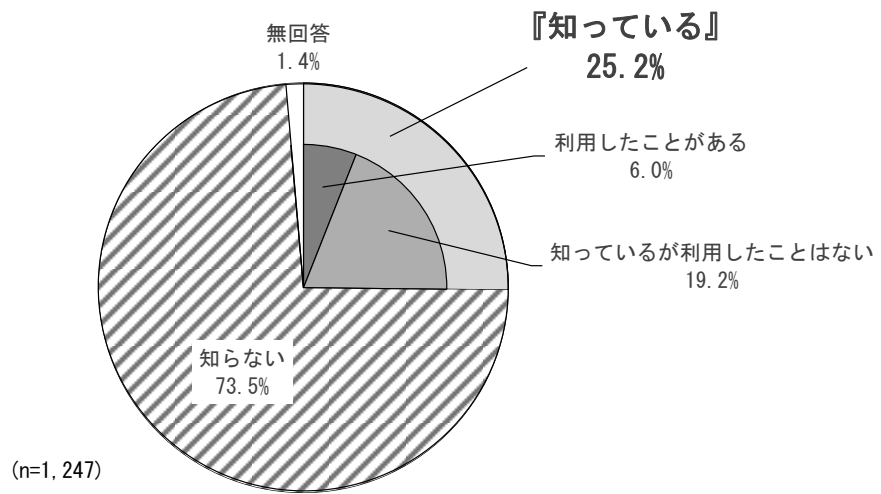
〔3〕京都市外国籍市民総合相談窓口の認知度・利用経験(単一回答)

京都市外国籍市民総合相談窓口の認知度は、「利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」を合わせた『知っている』は25.2%となっており、「知らない」が73.5%となっている。

国籍・地域別にみると、『知っている』の割合は、台湾(37.5%)が最も高く、次いで、アメリカ(31.9%)、中国(28.7%)となっている。「知らない」の割合は、すべての国籍・地域で最も高くなっており、ミャンマーは90.0%となっている。

在留資格別にみると、『知っている』の割合は、家族滞在(35.0%)が最も高く、次いで、技術・人文知識・国際業務(34.4%)、永住者(29.9%)となっている。「知らない」は、特別永住者(83.6%)が最も高く、次いで、特定技能(83.3%)、留学(専門学校、その他)(81.8%)となっている。

【図表 145 京都市外国籍市民総合相談窓口の認知度・利用経験】



Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

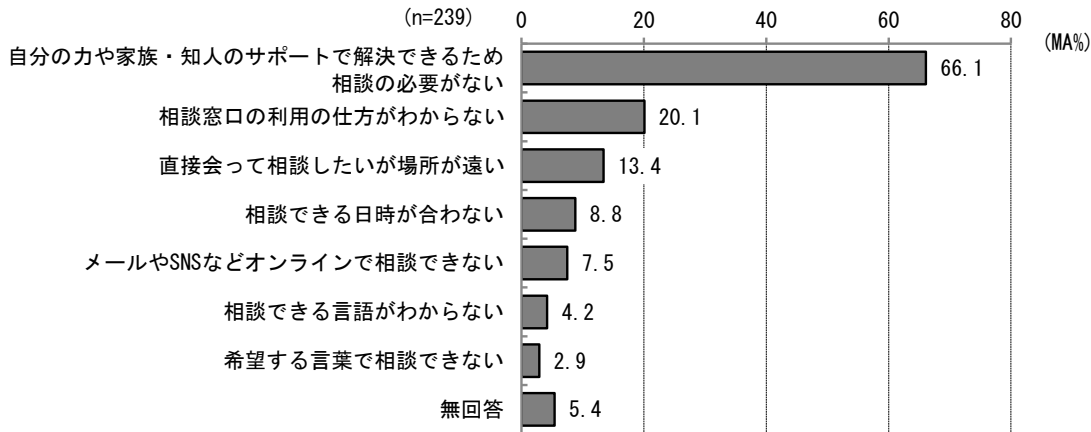
【図表 146 京都市外国籍市民総合相談窓口の認知度・利用経験(属性特徴)】

		n	利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない	無回答	知っている (%)	
全体		1,247	75	239	916	17	314	
		100	6.0	19.2	73.5	1.4	25.2	
国籍・地域	中国	341	4.1	24.6	70.4	0.9	28.7	
	韓国	238	3.8	13.0	80.7	2.5	16.8	
	ベトナム	110	9.1	19.1	70.0	1.8	28.2	
	ネパール	73	6.8	12.3	78.1	2.7	19.1	
	台湾	72	11.1	26.4	62.5	0	37.5	
	フィリピン	53	3.8	17.0	77.4	1.9	20.8	
	アメリカ	44	11.4	20.5	65.9	2.3	31.9	
	インドネシア	36	2.8	22.2	75.0	0	25.0	
	ミャンマー	30	0	10.0	90.0	0	10.0	
	フランス	26	3.8	15.4	80.8	0	19.2	
	その他	219	8.7	19.2	71.2	0.9	27.9	
在留資格	留学(大学・大学院)	245	6.9	18.0	74.3	0.8	24.9	
	留学(日本語学校)	65	4.6	18.5	75.4	1.5	23.1	
	留学(専門学校、その他)	22	0	18.2	81.8	0	18.2	
	永住者	184	4.9	25.0	68.5	1.6	29.9	
	特別永住者	183	1.6	12.0	83.6	2.7	13.6	
	技術・人文知識・国際業務	154	10.4	24.0	65.6	0	34.4	
	技能実習	61	4.9	19.7	72.1	3.3	24.6	
	特定技能	60	3.3	13.3	83.3	0	16.6	
	日本人の配偶者等	63	7.9	20.6	69.8	1.6	28.5	
	家族滞在	57	17.5	17.5	64.9	0	35.0	
	高度専門職	24	8.3	20.8	70.8	0	29.1	
	経営・管理	20	5.0	15.0	80.0	0	20.0	
その他の資格	100	3.0	22.0	73.0	2.0	25.0		
日本語能力	① 話す・聞く	どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる	421	4.8	19.7	73.4	2.1	24.5
		日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる	422	7.3	20.6	71.8	0.2	27.9
		簡単な質問なら理解し、答えることができる	334	6.3	17.7	74.3	1.8	24.0
		ほとんど聞き取ることができない、話すことができない	57	5.3	12.3	82.5	0	17.6
	② 読む	どんな内容の文章でも読むことができる	491	4.7	19.3	74.3	1.6	24.0
		メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる	321	8.7	23.1	67.9	0.3	31.8
		ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる	263	4.9	16.0	78.3	0.8	20.9
		ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる	96	6.3	17.7	74.0	2.1	24.0
	③ 書く	ほとんど読むことができない	50	8.0	14.0	76.0	2.0	22.0
		複雑な内容の文章も書くことができる	368	3.0	19.0	76.4	1.6	22.0
		簡単な手紙や報告を書くことができる	365	7.1	22.5	69.6	0.8	29.6
		短いメールやメッセージを書くことができる	340	7.6	20.3	71.5	0.6	27.9
ほとんど書くことができない	148	7.4	10.1	81.1	1.4	17.5		

〔4〕京都市外国籍市民総合相談窓口を利用しない理由(複数回答)

京都市外国籍市民総合相談窓口を「知っているが、利用したことはない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「自分の力や家族・知人のサポートで解決できるため相談の必要がない」(66.1%)が最も多く、次いで、「相談窓口の利用の仕方がわからない」(20.1%)、「直接会って相談したいが場所が遠い」(13.4%)となっている。

【図表 147 京都市外国籍市民総合相談窓口を利用しない理由】



【図表 148 京都市外国籍市民総合相談窓口を利用しない理由(属性特徴)】

	n	理由(%)							
		自分の力や家族・知人のサポートで解決できるため相談の必要がない	相談窓口の利用の仕方がわからない	直接会って相談したいが場所が遠い	相談できる日時が合わない	メールやSNSなどオンラインで相談できない	相談できる言語がわからない	希望する言葉で相談できない	無回答
全体	239	66.1	20.1	13.4	8.8	7.5	4.2	2.9	5.4
国籍・地域	中国	73.8	13.1	16.7	9.5	7.1	2.4	3.6	3.6
	韓国	67.7	12.9	3.2	0	0	0	0	16.1
	ベトナム	57.1	33.3	14.3	9.5	4.8	4.8	9.5	0
	ネパール	33.3	55.6	0	22.2	0	11.1	0	11.1
	台湾	68.4	26.3	15.8	5.3	10.5	10.5	10.5	0
	フィリピン	44.4	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	0	11.1
	アメリカ	66.7	0	11.1	11.1	22.2	11.1	0	11.1
	インドネシア	37.5	37.5	12.5	0	37.5	0	0	0
	ミャンマー	66.7	33.3	0	0	0	0	0	0
	フランス	75.0	0	25.0	25.0	0	0	0	0
その他	69.0	21.4	14.3	9.5	7.1	4.8	0	4.8	
在留資格	留学(大学・大学院)	79.5	6.8	20.5	9.1	6.8	0	4.5	2.3
	留学(日本語学校)	50.0	33.3	8.3	8.3	8.3	25.0	0	0
	留学(専門学校、その他)	50.0	25.0	0	25.0	25.0	0	0	0
	永住者	76.1	13.0	10.9	4.3	4.3	0	0	6.5
	特別永住者	68.2	9.1	0	0	0	0	0	22.7
	技術・人文知識・国際業務	59.5	24.3	18.9	18.9	13.5	10.8	8.1	2.7
	技能実習	16.7	66.7	8.3	16.7	16.7	8.3	8.3	0
	特定技能	62.5	25.0	0	0	12.5	0	0	0
	日本人の配偶者等	61.5	23.1	23.1	7.7	0	7.7	7.7	7.7
	家族滞在	60.0	40.0	20.0	10.0	0	10.0	0	0
	高度専門職	60.0	20.0	0	40.0	20.0	0	0	20.0
	経営・管理	66.7	33.3	33.3	0	33.3	0	0	0
	その他の資格	72.7	18.2	13.6	0	4.5	0	0	4.5

11 多文化共生の取組について

[1] kokoka京都市国際交流会館の認知度(単一回答)

kokoka京都市国際交流会館の認知度は「行ったことがある」と「知っているが行ったことはない」を合わせた『知っている』は35.1%、「知らない」が62.0%となっている。

国籍・地域別にみると、『知っている』の割合は、アメリカ(56.9%)が最も高く、次いで、台湾(52.7%)、中国(42.7%)となっている。「知らない」の割合は、ミャンマー(86.7%)が最も高く、次いで、ネパール(79.5%)、ベトナム(79.1%)となっている。

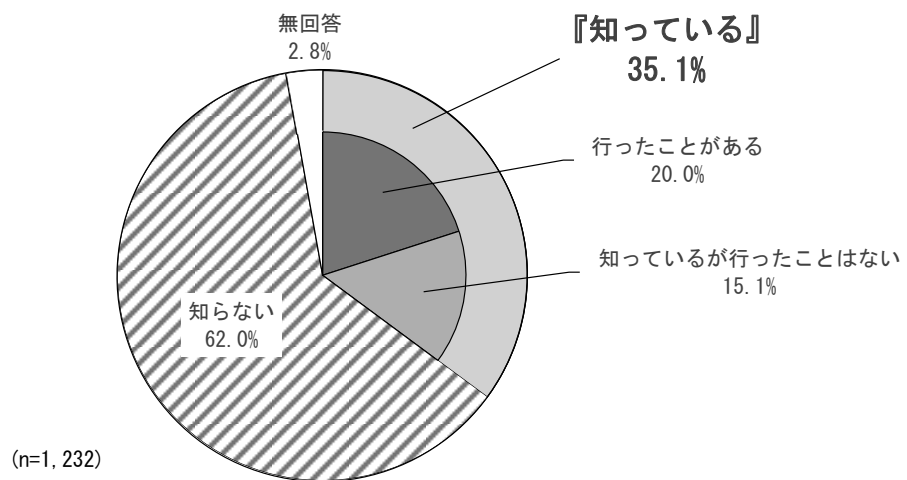
在留資格別にみると、『知っている』の割合は、永住者(56.9%)が最も高く、次いで、家族滞在(50.9%)、経営・管理(45.0%)となっている。「知らない」の割合は、特定技能(86.7%)、技能実習(83.6%)で高くなっている。

居住地域別にみると、『知っている』は東山区(46.1%)が最も高く、次いで、左京区(45.8%)、中京区(42.7%)となっている。

同居人別にみると、『知っている』の割合は、子ども(45.7%)が最も高く、次いで、日本人以外の配偶者・パートナー(44.7%)、日本人の配偶者・パートナー(42.0%)となっている。

京都市在住期間別にみると、『知っている』の割合は、10年以上～20年未満(54.8%)が最も高くなっており、次いで、5年以上～10年未満(49.6%)、20年以上～30年未満(42.0%)となっている。

【図表 149 kokoka京都市国際交流会館の認知度】



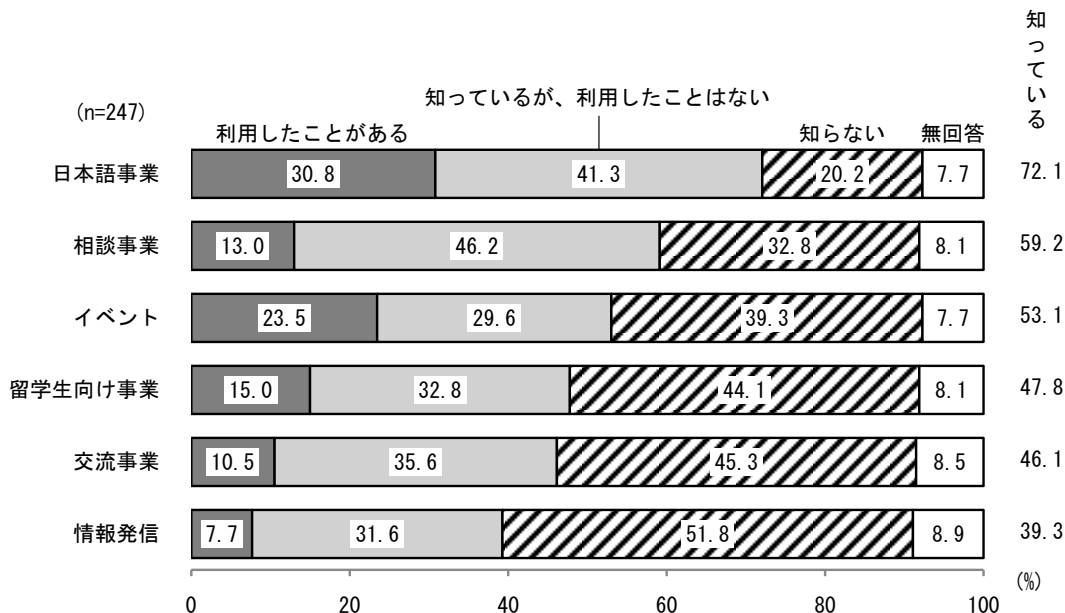
【図表 150 kokoka京都市国際交流会館の認知度(属性特徴)】

		(%)						
		n	行ったことがある	行っていたことはない	知らない	無回答	知っている	
全体		1,232	247	186	764	35	433	
		100	20.0	15.1	62.0	2.8	35.1	
国籍・地域	中国	340	22.4	20.3	56.8	0.6	42.7	
	韓国	225	14.7	11.6	65.8	8.0	26.3	
	ベトナム	110	7.3	11.8	79.1	1.8	19.1	
	ネパール	13	4.1	11.0	79.5	5.5	15.1	
	台湾	72	33.3	19.4	47.2	0	52.7	
	フィリピン	53	11.3	13.2	71.7	3.8	24.5	
	アメリカ	44	36.4	20.5	38.6	4.5	56.9	
	インドネシア	36	22.2	16.7	61.1	0	38.9	
	ミャンマー	30	3.3	10.0	86.7	0	13.3	
	フランス	27	3.3	7.7	61.5	0	38.5	
	その他	218	28.9	12.8	56.0	2.3	41.7	
	在留資格	留学(大学・大学院)	245	16.3	18.4	64.9	0.4	34.7
		留学(日本語学校)	65	12.3	18.5	67.7	1.5	30.8
留学(専門学校、その他)		22	9.1	9.1	72.7	9.1	18.2	
永住者		181	34.8	22.1	41.4	1.7	56.9	
特別永住者		15	12.7	11.6	66.5	9.2	24.3	
技術・人文知識・国際業務		173	24.8	11.8	62.1	1.3	36.6	
技能実習		61	1.6	14.8	83.6	0	16.4	
特定技能		60	1.7	10.0	86.7	1.7	11.7	
日本人の配偶者等		63	27.0	7.9	60.3	4.8	34.9	
家族滞在		57	35.1	15.8	49.1	0	50.9	
高度専門職		24	20.8	12.5	62.5	4.2	33.3	
経営・管理		20	20.0	25.0	55.0	0	45.0	
その他の資格	100	25.0	11.0	60.0	4.0	36.0		
居住地域	北区	92	21.7	17.4	59.8	1.1	39.1	
	上京区	95	25.3	12.6	58.9	3.2	37.9	
	左京区	218	27.5	18.3	53.7	0.5	45.8	
	中京区	89	27.0	15.7	53.9	3.4	42.7	
	東山区	39	28.2	17.9	53.8	0	46.1	
	山科区	57	19.3	8.8	71.9	0	28.1	
	下京区	88	22.7	13.6	63.6	0	36.3	
	南区	128	9.4	10.9	72.7	7.0	20.3	
	右京区	145	13.8	8.3	73.1	4.8	22.1	
	西京区	57	14.0	12.3	66.7	7.0	26.3	
	伏見区	215	17.2	21.4	58.1	3.3	38.6	
同居人	いない(ひとりで住んでいる)	523	16.6	17.0	64.1	2.3	33.6	
	日本人の配偶者・パートナー	200	29.5	12.5	55.0	3.0	42.0	
	日本人以外の配偶者・パートナー	235	28.1	16.6	52.8	2.6	44.7	
	子ども	234	31.2	14.5	51.3	3.0	45.7	
	あなたの親	44	13.6	11.4	65.9	9.1	25.0	
	配偶者・パートナーの親	49	22.4	18.4	55.1	4.1	40.8	
	兄弟姉妹	27	18.5	18.5	59.3	3.7	37.0	
	その他の親族	8	25.0	12.5	62.5	0	37.5	
	友人・知人	136	5.1	10.3	84.6	0	15.4	
京都市在住期間	6か月未満	151	4.0	16.6	78.1	1.3	20.6	
	6か月以上～1年未満	111	9.0	18.0	71.2	1.8	27.0	
	1年以上～2年未満	193	17.1	9.3	72.5	1.0	26.4	
	2年以上～3年未満	134	22.4	10.4	65.7	1.5	32.8	
	3年以上～5年未満	128	21.1	18.0	59.4	1.6	39.1	
	5年以上～10年未満	149	29.5	20.1	48.3	2.0	49.6	
	10年以上～20年未満	104	41.3	13.5	43.3	1.9	54.8	
	20年以上～30年未満	50	22.0	20.0	56.0	2.0	42.0	
	30年以上	205	20.0	15.1	55.6	9.3	35.1	

〔2〕kokoka京都市国際交流会館のサービスの認知度・利用経験(単一回答)

kokoka京都市国際交流会館のサービスの認知度・利用経験について、「利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」を合わせた『知っている』の割合は、日本語事業(72.1%)が最も多く、次いで、相談事業(59.2%)、イベント(53.1%)となっている。

【図表 151 kokoka京都市国際交流会館のサービスの認知度・利用経験】



kokoka京都市国際交流会館のサービス一覧

サービス名	サービス内容
日本語事業	やさしい日本語クラス／ボランティアによる日本語クラス／オンライン日本語クラス
相談事業	市民生活アドバイザーによる生活相談／三者通話による行政通訳・相談／法律・ビザ相談／カウンセリングデイ
イベント	kokokaオープンデイ／グローバル婚活kokoコン
留学生向け事業	京都留学生情報サイト／留学生交流ファミリー／おこしやすパス
交流事業	文化紹介講座COSMOS／国際理解プログラムPICNIK／kokokids
情報発信	メールマガジン「外国人暮らし安全メルマガ」／ホットチャット

■日本語事業

日本語事業は、kokoka京都市国際交流会館の利用経験者の中で、『知っている』は72.1%となっており、「知らない」は20.2%となっている。

【図表 152 日本語事業(属性特徴)】

		n	利用 した こと が あ る	利 用 し た こ と が あ る が、 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答	知 っ て い る
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		247	76	102	50	19	178
		100	30.8	41.3	20.2	7.7	72.1
国籍・地域	中国	76	36.8	39.5	15.8	7.9	76.3
	韓国	33	3.0	45.5	24.2	27.3	48.5
	ベトナム	8	25.0	75.0	0	0	100.0
	ネパール	3	66.7	0	33.3	0	66.7
	台湾	24	54.2	33.3	12.5	0	87.5
	フィリピン	6	33.3	16.7	33.3	16.7	50.0
	アメリカ	16	18.8	43.8	37.5	0	62.6
	インドネシア	8	12.5	37.5	50.0	0	50.0
	ミャンマー	1	0	100.0	0	0	100.0
	フランス	8	25.0	62.5	12.5	0	87.5
	その他	63	34.9	41.3	19.0	4.8	76.2
在留資格	留学(大学・大学院)	40	40.0	42.5	15.0	2.5	82.5
	留学(日本語学校)	8	62.5	12.5	25.0	0	75.0
	留学(専門学校、その他)	2	0	100.0	0	0	100.0
	永住者	63	23.8	36.5	23.8	15.9	60.3
	特別永住者	22	0	54.5	22.7	22.7	54.5
	技術・人文知識・国際業務	38	31.6	50.0	15.8	2.6	81.6
	技能実習	1	100.0	0	0	0	100.0
	特定技能	1	100.0	0	0	0	100.0
	日本人の配偶者等	17	41.2	35.3	17.6	5.9	76.5
	家族滞在	20	30.0	45.0	25.0	0	75.0
	高度専門職	5	40.0	40.0	20.0	0	80.0
	経営・管理	4	50.0	50.0	0	0	100.0
	その他の資格	25	36.0	36.0	24.0	4.0	72.0

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■相談事業

相談事業は、kokoka京都市国際交流会館の利用経験者の中で、『知っている』は59.2%となっており、「知らない」は32.8%となっている。

【図表 153 相談事業(属性特徴)】

	n	利用 した こと が あ る	利 用 し た こ と は な い	知 ら な い	無 回 答	知 っ て い る		
全体	247	32	114	81	20	146		
	100	13.0	46.2	32.8	8.1	59.2		
国籍・地域	中国	76	9.2	47.4	34.2	9.2	56.6	
	韓国	33	6.1	42.4	27.3	24.2	48.5	
	バトナム	8	0	75.0	25.0	0	75.0	
	ネパール	3	33.3	33.3	33.3	0	66.6	
	台湾	24	12.5	50.0	37.5	0	62.5	
	フィリピン	6	33.3	16.7	50.0	0	50.0	
	アメリカ	16	31.3	25.0	43.8	0	56.3	
	インドネシア	8	12.5	62.5	25.0	0	75.0	
	ミャンマー	1	0	0	100.0	0	0	
	フランス	8	25.0	75.0	0	0	100.0	
	その他	63	14.3	46.0	31.7	7.9	60.3	
	在留資格	留学(大学・大学院)	40	5.0	62.5	27.5	5.0	67.5
		留学(日本語学校)	8	0	62.5	37.5	0	62.5
留学(専門学校、その他)		2	0	100.0	0	0	100.0	
永住者		63	15.9	34.9	34.9	14.3	50.8	
特別永住者		22	0	54.5	27.3	18.2	54.5	
技術・人文知識・国際業務		38	21.1	50.0	23.7	5.3	71.1	
技能実習		1	100.0	0	0	0	100.0	
特定技能		1	0	100.0	0	0	100.0	
日本人の配偶者等		17	23.5	29.4	41.2	5.9	52.9	
家族滞在		20	10.0	50.0	40.0	0	60.0	
高度専門職		5	0	60.0	40.0	0	60.0	
経営・管理		4	0	50.0	50.0	0	50.0	
その他の資格	25	20.0	32.0	40.0	8.0	52.0		

■ イベント

イベントは、kokoka京都市国際交流会館の利用経験者の中で、『知っている』は53.1%となっており、「知らない」は39.3%となっている。

【図表 154 イベント(属性特徴)】

	n	利用 した こと がある	知 用 し た こ と は な い	知 ら な い	無 回 答	知 っ て い る
全体	247	58	73	97	19	131
	100	23.5	29.6	39.3	7.7	53.1
国籍・地域						
中国	76	11.8	30.3	48.7	9.2	42.1
韓国	33	36.4	15.2	27.3	21.2	51.6
ベトナム	8	25.0	37.5	37.5	0	62.5
ネパール	3	33.3	33.3	33.3	0	66.6
台湾	24	12.5	45.8	41.7	0	58.3
フィリピン	6	33.3	16.7	33.3	16.7	50.0
アメリカ	16	43.8	12.5	43.8	0	56.3
インドネシア	8	50.0	37.5	12.5	0	87.5
ミャンマー	1	100.0	0	0	0	100.0
フランス	8	25.0	37.5	37.5	0	62.5
その他	63	23.8	33.3	36.5	6.3	57.1
在留資格						
留学(大学・大学院)	40	32.5	27.5	35.0	5.0	60.0
留学(日本語学校)	8	25.0	12.5	62.5	0	37.5
留学(専門学校、その他)	2	0	50.0	50.0	0	50.0
永住者	63	23.8	25.4	33.3	17.5	49.2
特別永住者	22	40.9	13.6	36.4	9.1	54.5
技術・人文知識・国際業務	38	21.1	47.4	31.6	0	68.5
技能実習	1	100.0	0	0	0	100.0
特定技能	1	0	100.0	0	0	100.0
日本人の配偶者等	17	11.8	23.5	58.8	5.9	35.3
家族滞在	20	10.0	35.0	55.0	0	45.0
高度専門職	5	0	40.0	60.0	0	40.0
経営・管理	4	0	25.0	50.0	25.0	25.0
その他の資格	25	24.0	32.0	36.0	8.0	56.0

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■留学生向け事業

留学生向け事業は、kokoka京都市国際交流会館の利用経験者の中で、『知っている』は47.8%となっており、「知らない」は44.1%となっている。

【図表 155 留学生向け事業(属性特徴)】

	n	利用 した こと がある	利 用 し た こ と は な い	知 ら な い	無 回 答	知 っ て い る		
全体	247	37	81	109	20	118		
	100	15.0	32.8	44.1	8.1	47.8		
国籍・地域	中国	76	18.4	38.2	36.8	6.6	56.6	
	韓国	33	9.1	24.2	36.4	30.3	33.3	
	ベトナム	8	25.0	37.5	37.5	0	62.5	
	ネパール	3	33.3	33.3	33.3	0	66.6	
	台湾	24	20.8	41.7	37.5	0	62.5	
	フィリピン	6	0	50.0	33.3	16.7	50.0	
	アメリカ	16	0	18.8	81.3	0	18.8	
	インドネシア	8	37.5	37.5	25.0	0	75.0	
	ミャンマー	1	100.0	0	0	0	100.0	
	フランス	8	0	25.0	75.0	0	25.0	
	その他	63	12.7	30.2	50.8	6.3	42.9	
	在留資格	留学(大学・大学院)	40	50.0	27.5	20.0	2.5	77.5
		留学(日本語学校)	8	0	62.5	37.5	0	62.5
留学(専門学校、その他)		2	0	100.0	0	0	100.0	
永住者		63	6.3	27.0	50.8	15.9	33.3	
特別永住者		22	0	27.3	50.0	22.7	27.3	
技術・人文知識・国際業務		38	15.8	42.1	39.5	2.6	57.9	
技能実習		1	100.0	0	0	0	100.0	
特定技能		1	0	0	100.0	0	0	
日本人の配偶者等		17	0	29.4	64.7	5.9	29.4	
家族滞在		20	0	35.0	65.0	0	35.0	
高度専門職		5	0	40.0	60.0	0	40.0	
経営・管理		4	0	50.0	25.0	25.0	50.0	
その他の資格		25	24.0	32.0	40.0	4.0	56.0	

■交流事業

交流事業は、kokoka京都市国際交流会館の利用経験者の中で、『知っている』は46.1%となっており、「知らない」は45.3%となっている。

【図表 156 交流事業(属性特徴)】

		n	利用 した こと が あ る	利 用 し た こ と は な い	知 ら な い	無 回 答	知 っ て い る
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		247	26	88	112	21	114
		100	10.5	35.6	45.3	8.5	46.1
国籍・地域	中国	76	11.8	42.1	36.8	9.2	53.9
	韓国	33	12.1	30.3	30.3	27.3	42.4
	バトナム	8	0	62.5	37.5	0	62.5
	ネパール	3	0	66.7	33.3	0	66.7
	台湾	24	4.2	50.0	45.8	0	54.2
	フィリピン	6	16.7	33.3	33.3	16.7	50.0
	アメリカ	16	0	18.8	81.3	0	18.8
	インドネシア	8	12.5	25.0	62.5	0	37.5
	ミャンマー	1	0	100.0	0	0	100.0
	フランス	8	12.5	50.0	37.5	0	62.5
	その他	63	14.3	23.8	55.6	6.3	38.1
在留資格	留学(大学・大学院)	40	17.5	45.0	30.0	7.5	62.5
	留学(日本語学校)	8	0	37.5	62.5	0	37.5
	留学(専門学校、その他)	2	0	100.0	0	0	100.0
	永住者	63	7.9	30.2	46.0	15.9	38.1
	特別永住者	22	13.6	31.8	40.9	13.6	45.4
	技術・人文知識・国際業務	38	7.9	44.7	42.1	5.3	52.6
	技能実習	1	100.0	0	0	0	100.0
	特定技能	1	0	100.0	0	0	100.0
	日本人の配偶者等	17	11.8	17.6	70.6	0	29.4
	家族滞在	20	5.0	35.0	60.0	0	40.0
	高度専門職	5	20.0	20.0	60.0	0	40.0
	経営・管理	4	0	50.0	25.0	25.0	50.0
	その他の資格	25	12.0	32.0	48.0	8.0	44.0

Ⅲ-1 外国籍市民アンケートの結果

■情報発信

情報発信は、kokoka京都市国際交流会館の利用経験者の中で、『知っている』は39.3%となっており、「知らない」は51.8%となっている。

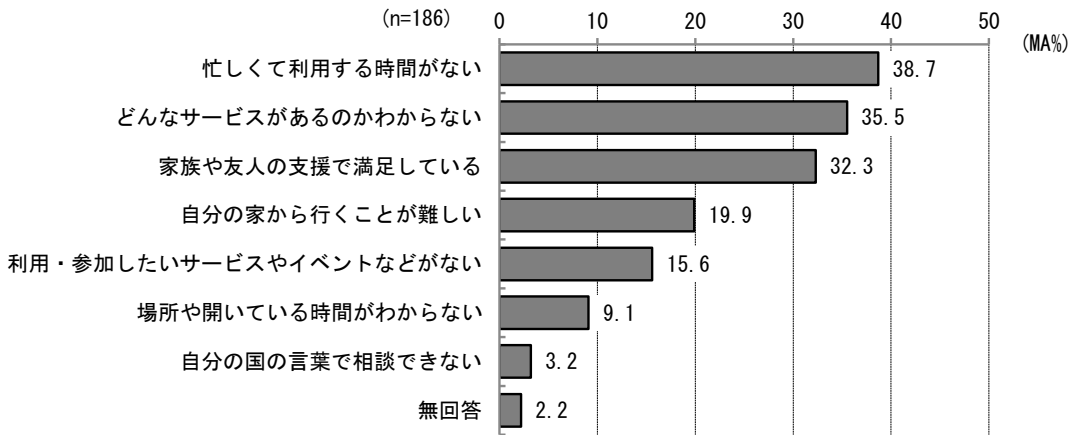
【図表 157 情報発信(属性特徴)】

		n	利用したことがある	利用したことがない	知らない	無回答	知っている (%)
全体		247	19	78	128	22	97
		100	7.7	31.6	51.8	8.9	39.3
国籍・地域	中国	76	10.5	39.5	40.8	9.2	50.0
	韓国	33	3.0	24.2	42.4	30.3	27.2
	バトナム	8	0	37.5	62.5	0	37.5
	ネパール	3	0	66.7	33.3	0	66.7
	台湾	24	12.5	37.5	50.0	0	50.0
	フィリピン	6	0	50.0	33.3	16.7	50.0
	アメリカ	16	0	12.5	87.5	0	12.5
	インドネシア	8	12.5	37.5	50.0	0	50.0
	ミャンマー	1	0	100.0	0	0	100.0
	フランス	8	12.5	12.5	75.0	0	25.0
	その他	63	7.9	25.4	60.3	6.3	33.3
在留資格	留学(大学・大学院)	40	20.0	42.5	32.5	5.0	62.5
	留学(日本語学校)	8	0	37.5	62.5	0	37.5
	留学(専門学校、その他)	2	0	50.0	50.0	0	50.0
	永住者	63	4.8	25.4	54.0	15.9	30.2
	特別永住者	22	0	13.6	63.6	22.7	13.6
	技術・人文知識・国際業務	38	5.3	47.4	44.7	2.6	52.7
	技能実習	1	100.0	0	0	0	100.0
	特定技能	1	0	0	100.0	0	0
	日本人の配偶者等	17	11.8	17.6	64.7	5.9	29.4
	家族滞在	20	5.0	30.0	65.0	0	35.0
	高度専門職	5	0	40.0	60.0	0	40.0
	経営・管理	4	0	0	75.0	25.0	0
	その他の資格	25	8.0	36.0	48.0	8.0	44.0

〔3〕kokoka京都市国際交流会館を利用しない理由(複数回答)

kokoka京都市国際交流会館を利用しない理由は、「忙しくて利用する時間がない」(38.7%)が最も多く、次いで、「どんなサービスがあるのかわからない」(35.5%)、「家族や友人の支援で満足している」(32.3%)となっている。

【図表 158 kokoka京都市国際交流会館を利用しない理由】



【図表 159 kokoka京都市国際交流会館を利用しない理由(属性特徴)】

	n	忙しくて利用する時間がない	どんなサービスがあるのかわからない	家族や友人の支援で満足している	自分の家から行くことが難しい	利用・参加したいサービスやイベントがない	場所や開いている時間がわからない	自分の国の言葉で相談できない	無回答	
全体	186	72	66	60	37	29	17	6	4	
	100	38.7	35.5	32.3	19.9	15.6	9.1	3.2	2.2	
国籍・地域	中国	69	49.3	39.1	34.8	20.3	18.8	8.7	0	1.4
	韓国	26	7.7	30.8	50.0	7.7	19.2	3.8	0	7.7
	ベトナム	13	53.8	15.4	23.1	30.8	7.7	38.5	15.4	0
	ネパール	8	25.0	37.5	25.0	12.5	0	12.5	12.5	0
	台湾	14	28.6	35.7	28.6	28.6	21.4	0	0	0
	フィリピン	7	28.6	42.9	28.6	28.6	14.3	28.6	14.3	0
	アメリカ	9	11.1	55.6	11.1	22.2	11.1	0	0	0
	インドネシア	6	50.0	16.7	16.7	0	33.3	0	16.7	0
	ミャンマー	3	33.3	0	0	66.7	0	0	0	0
	フランス	2	100.0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	28	50.0	42.9	32.1	21.4	10.7	7.1	3.6	0
在留資格	留学(大学・大学院)	45	62.2	28.9	28.9	35.6	15.6	2.2	2.2	0
	留学(日本語学校)	12	41.7	33.3	16.7	8.3	16.7	16.7	8.3	8.3
	留学(専門学校、その他)	2	50.0	100.0	0	0	50.0	100.0	0	0
	永住者	40	25.0	42.5	47.5	7.5	10.0	7.5	2.5	5.0
	特別永住者	20	10.0	30.0	50.0	10.0	25.0	5.0	0	5.0
	技術・人文知識・国際業務	18	66.7	27.8	27.8	16.7	5.6	16.7	0	0
	技能実習	9	44.4	22.2	0	22.2	11.1	44.4	22.2	0
	特定技能	6	33.3	16.7	33.3	33.3	0	0	0	0
	日本人の配偶者等	5	0	20.0	20.0	40.0	20.0	0	20.0	0
	家族滞在	9	44.4	55.6	22.2	33.3	11.1	11.1	0	0
	高度専門職	3	0	33.3	66.7	33.3	66.7	0	0	0
	経営・管理	5	20.0	60.0	20.0	0	40.0	0	0	0
	その他の資格	11	27.3	54.5	18.2	18.2	18.2	0	0	0
居住地域	北区	16	50.0	37.5	43.8	25.0	25.0	12.5	0	0
	上京区	12	41.7	33.3	16.7	16.7	25.0	0	0	8.3
	左京区	40	45.0	32.5	25.0	10.0	22.5	5.0	0	0
	中京区	14	35.7	50.0	21.4	7.1	21.4	14.3	7.1	0
	東山区	7	14.3	71.4	28.6	0	0	14.3	0	0
	山科区	5	80.0	60.0	0	0	0	20.0	0	0
	下京区	12	41.7	16.7	41.7	25.0	0	0	0	8.3
	南区	14	28.6	28.6	42.9	14.3	0	21.4	7.1	0
	右京区	12	50.0	33.3	41.7	41.7	16.7	8.3	0	8.3
	西京区	7	14.3	57.1	14.3	42.9	14.3	0	28.6	0
	伏見区	46	32.6	30.4	41.3	26.1	15.2	10.9	4.3	2.2

〔4〕京都市に望むこと(複数回答)

外国籍市民にとって暮らしやすいまちになるために京都市に望むことは、「外国人への差別や偏見がなくなるようにする」(43.1%)が最も多く、次いで、「外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす」(42.5%)、「外国籍市民の就職を支援する」(39.6%)となっている。

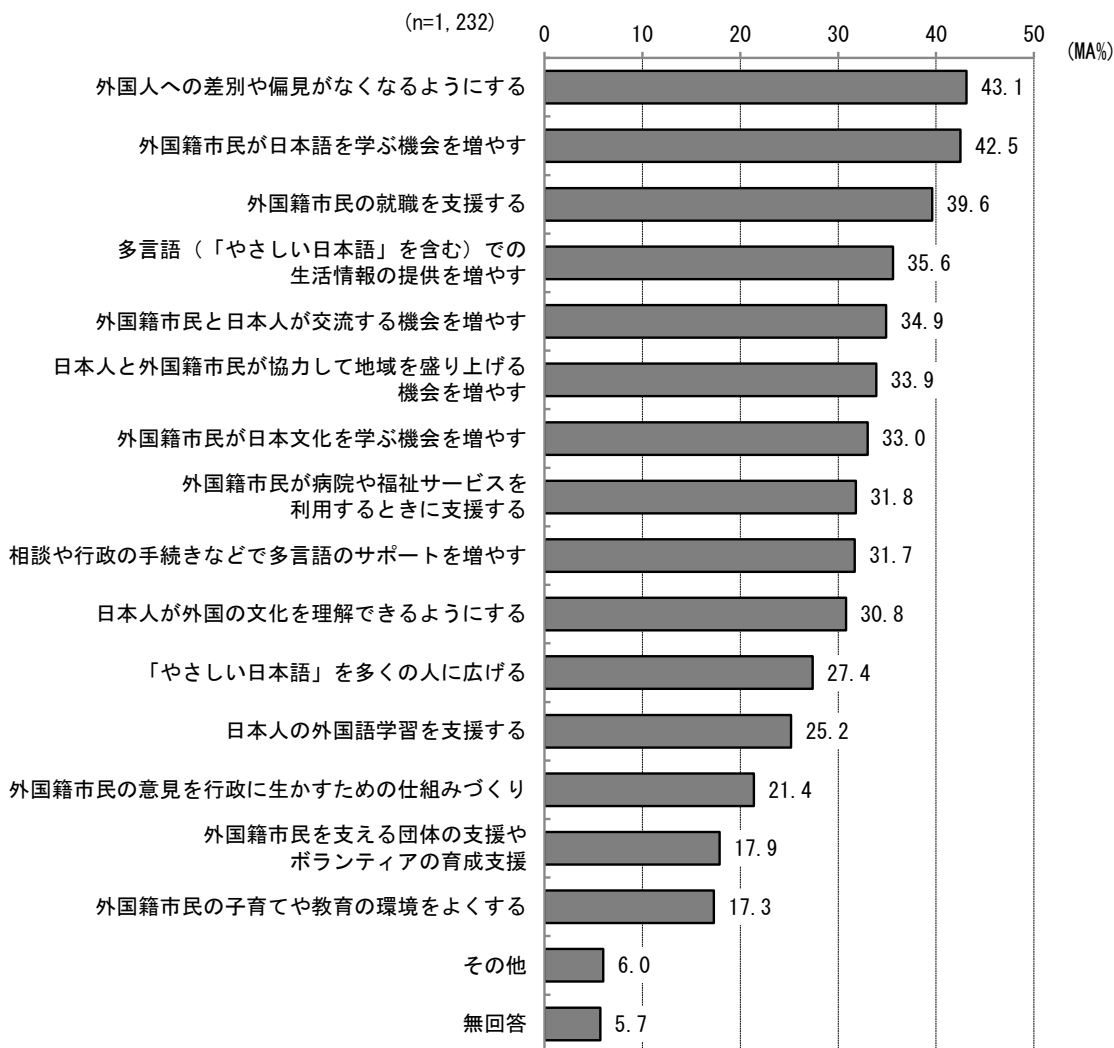
国籍・地域別にみると、「外国人への差別や偏見がなくなるようにする」の割合は、フランス(53.8%)が最も高く、次いで、韓国(50.2%)、アメリカ(47.7%)となっている。また、「外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす」の割合は、ベトナム(63.6%)が最も高く、次いで、フィリピン(60.4%)、ネパール(60.3%)となっている。

在留資格別にみると、多くの在留資格で「外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす」の割合が高くなっており、中でも、家族滞在で75.4%、特定技能で60.0%となっている。

性別にみると、「外国籍市民の就職を支援する」、「外国籍市民が病院や福祉サービスを利用するときに支援する」などで男性より女性の割合が高くなっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど、「外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす」、「「やさしい日本語」を多くの人に広げる」の割合が高くなる傾向にある。

【図表 160 京都市に望むこと】



【図表 161 京都市に望むこと(属性特徴)】

		n	外国人への差別や偏見がなくなるようにする	外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす	外国籍市民の就職を支援する	多言語(「やさしい日本語」を含む)での生活情報の提供を増やす	外国籍市民と日本人が交流する機会を増やす	日本人と外国籍市民が協力して地域を盛り上げる機会を増やす	外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす	外国籍市民が病院や福祉サービスを利用するときに支援する	外国籍市民が病院や福祉サービスのサポートを増やす	相談や行政の手続きなどで多言語のサポートを増やす	日本人が外国の文化を理解できるようにする	「やさしい日本語」を多くの人に広げる	日本人の外国語学習を支援する	外国人市民の意見を取り組む行政に生かすための仕組みづくり	外国籍市民を支える団体の育成やボランティアの増加	外国籍市民の子育てや教育の環境をよくする	その他	無回答
全体		1,232	531	524	488	438	430	418	407	392	390	379	338	311	264	221	213	74	70	
		100	43.1	42.5	39.6	35.6	34.9	33.9	33.0	31.8	31.7	30.8	27.4	25.2	21.4	17.9	17.3	6.0	5.7	
国籍・地域	中国	340	42.1	43.2	47.1	36.8	38.5	32.9	35.3	28.2	29.1	35.0	24.4	21.5	21.8	14.1	18.2	3.5	1.5	
	韓国	225	50.2	20.0	27.1	18.7	20.9	24.4	19.1	21.8	17.3	20.4	12.9	9.8	18.7	13.3	20.4	8.4	18.7	
	ベトナム	110	45.5	63.6	36.4	44.5	28.2	25.5	40.0	40.9	20.9	31.8	14.5	21.8	20.9	14.5	8.2	2.7	2.7	
	ネパール	73	32.9	60.3	37.0	42.5	37.0	27.4	46.6	31.5	37.0	26.0	52.1	41.1	21.9	21.9	17.8	5.5	1.4	
	台湾	72	40.3	47.2	43.1	27.8	54.2	40.3	50.0	40.3	29.2	50.0	33.3	31.9	12.5	11.1	12.5	4.2	2.8	
	フィリピン	53	47.2	60.4	52.8	47.2	41.5	45.3	30.2	49.1	49.1	34.0	47.2	43.4	18.9	35.8	24.5	0	1.9	
	アメリカ	44	47.7	45.5	40.9	47.7	45.5	52.3	38.6	52.3	47.7	45.5	20.5	36.4	38.6	45.5	27.3	9.1	4.5	
	インドネシア	36	30.6	36.1	27.8	41.7	25.0	30.6	33.3	30.6	27.8	13.9	30.6	19.4	13.9	13.9	5.6	5.6	0	
	ミャンマー	30	26.7	33.3	33.3	16.7	10.0	16.7	20.0	16.7	16.7	13.3	16.7	16.7	10.0	16.7	3.3	6.7	6.7	
	フランス	26	53.8	57.7	38.5	34.6	65.4	57.7	19.2	42.3	50.0	38.5	30.8	38.5	38.5	23.1	23.1	3.8	0	
その他	218	40.8	41.7	42.2	42.7	38.1	45.6	33.5	33.5	36.7	36.2	32.1	39.0	24.3	18.3	14.7	7.8	5.5		
在留資格	留学(大学・大学院)	245	40.8	46.5	52.7	42.9	45.7	35.5	36.3	32.2	35.5	38.0	27.8	29.8	18.4	15.5	12.2	3.3	0.8	
	留学(日本語学校)	65	32.3	43.1	43.1	33.8	43.1	24.6	36.9	27.7	26.2	33.8	33.8	30.8	20.0	24.6	7.7	6.2	0	
	留学(専門学校、その他)	22	31.8	50.0	31.8	27.3	36.4	27.3	40.9	22.7	18.2	18.2	27.3	27.3	9.1	4.5	13.6	4.5	4.5	
	永住者	181	43.6	29.3	29.8	26.0	30.9	37.0	27.1	28.7	27.6	29.8	21.5	21.0	32.0	20.4	21.5	6.1	6.1	
	特別永住者	173	51.4	16.8	23.7	16.2	16.8	23.7	15.6	18.5	17.9	19.1	12.7	11.0	18.5	14.5	24.3	8.7	20.8	
	技術・人文知識・国際業務	153	44.4	52.9	48.4	44.4	45.8	44.4	43.8	45.8	39.9	37.9	24.2	28.1	23.5	20.3	19.0	7.2	2.6	
	技能実習	61	31.1	44.3	18.0	36.1	23.0	19.7	36.1	24.6	26.2	16.4	39.3	21.3	16.4	18.0	8.2	8.2	4.9	
	特定技能	60	40.0	60.0	40.0	41.7	23.3	33.3	38.3	38.3	31.7	18.3	28.3	20.0	13.3	18.3	15.0	6.7	1.7	
	日本人の配偶者等	63	47.6	36.5	50.8	36.5	36.5	42.9	28.6	36.5	33.3	36.5	25.4	34.9	25.4	23.8	15.9	7.9	4.8	
	家族滞在	57	45.6	75.4	47.4	57.9	43.9	43.9	56.1	45.6	54.4	38.6	50.9	33.3	24.6	19.3	31.6	1.8	1.8	
	高度専門職	24	50.0	45.8	45.8	41.7	37.5	45.8	25.0	20.8	29.2	41.7	29.2	12.5	20.8	12.5	25.0	4.2	4.2	
経営・管理	20	35.0	55.0	10.0	35.0	20.0	25.0	20.0	40.0	25.0	15.0	35.0	0	10.0	10.0	0	15.0	5.0		
その他の資格	100	44.0	52.0	45.0	36.0	35.0	32.0	35.0	34.0	35.0	35.0	40.0	41.0	20.0	18.0	16.0	4.0	6.0		
性別	男性	585	41.2	43.2	35.9	34.5	36.6	34.0	33.2	27.4	28.9	28.4	28.0	24.4	21.2	16.2	15.7	6.7	6.2	
	女性	622	45.3	42.0	42.3	36.0	33.3	33.8	33.0	35.5	33.9	32.3	27.0	25.4	21.7	19.6	18.6	5.1	5.1	
	その他・答えたくない	22	36.4	40.9	63.6	50.0	36.4	36.4	31.8	45.5	40.9	54.5	22.7	40.9	22.7	18.2	18.2	13.6	0	
年齢	18歳～19歳	23	30.4	52.2	30.4	17.4	21.7	26.1	39.1	17.4	26.1	21.7	47.8	21.7	8.7	13.0	17.4	8.7	0	
	20歳～29歳	446	41.3	47.8	43.7	38.6	39.9	30.0	36.3	32.7	32.7	35.9	31.6	29.6	20.0	17.7	13.5	4.5	2.2	
	30歳～39歳	326	43.6	46.3	47.2	42.0	38.0	40.2	37.4	34.7	36.8	31.3	27.9	27.0	21.5	15.3	19.6	5.5	2.8	
	40歳～49歳	142	44.4	42.3	42.3	34.5	31.7	40.8	30.3	34.5	31.0	31.7	25.4	26.8	23.2	20.4	21.8	8.5	6.3	
	50歳～59歳	113	38.9	37.2	28.3	28.3	26.5	35.4	32.7	28.3	31.0	26.5	21.2	18.6	26.5	21.2	17.7	6.2	11.5	
	60歳～69歳	78	42.3	28.2	19.2	24.4	29.5	30.8	20.5	24.4	23.1	20.5	20.5	16.7	21.8	20.5	19.2	6.4	12.8	
	70歳～79歳	71	50.7	21.1	26.8	23.9	25.4	22.5	16.9	28.2	21.1	21.1	15.5	14.1	22.5	19.7	22.5	12.7	19.7	
	80歳以上	29	75.9	24.1	17.2	24.1	20.7	27.6	17.2	24.1	17.2	20.7	20.7	10.3	24.1	20.7	6.9	3.4	10.3	

〔5〕日本人に望むこと(複数回答)

日本人に望むことは、「差別意識や偏見を持たないようにしてほしい」(46.8%)が最も多く、次いで、「友人になってほしい」(34.4%)、「外国の生活習慣、文化などについて理解してほしい」(28.4%)となっている。

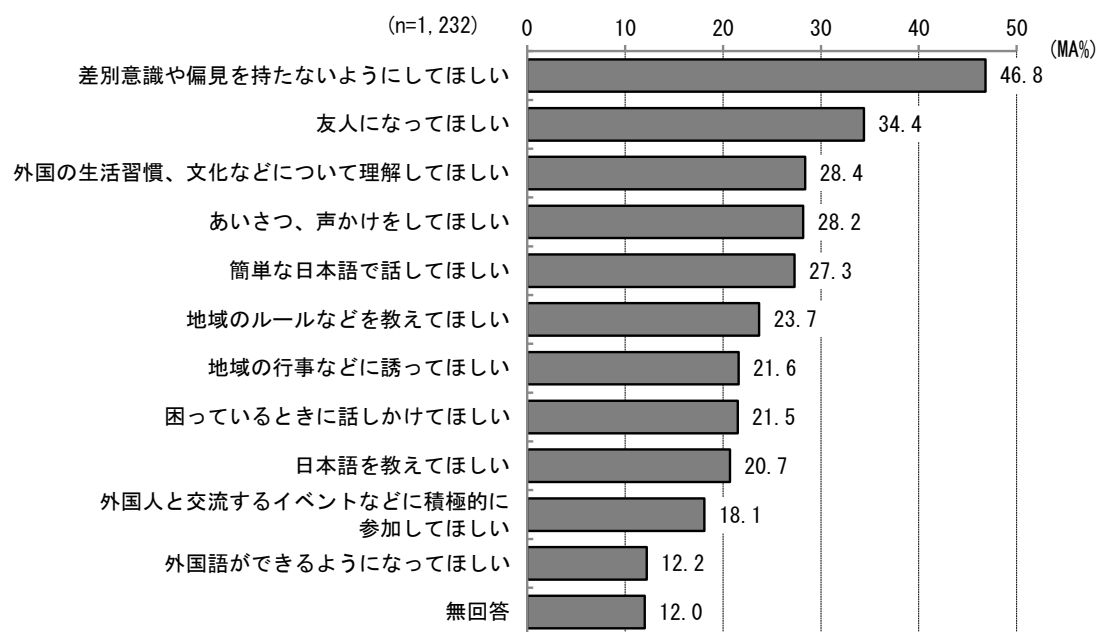
国籍・地域別にみると、「差別意識や偏見を持たないようにしてほしい」の割合は、中国(57.4%)が最も高く、次いで、アメリカ(54.5%)、台湾(54.2%)となっている。「簡単な日本語で話してほしい」の割合は、ネパール(54.8%)が最も高く、次いで、インドネシア(50.0%)、ベトナム(49.1%)となっている。

在留資格別にみると、「差別意識や偏見を持たないようにしてほしい」の割合は、技術・人文知識・国際業務(56.2%)が最も高く、次いで、留学(大学・大学院)(55.1%)、日本人の配偶者等(52.4%)となっている。「友人になってほしい」の割合は、家族滞在で59.6%となっている。

性別にみると、「差別意識や偏見を持たないようにしてほしい」の割合は、男性で43.9%、女性で49.5%となっている。また、「友人になってほしい」の割合は、男性で38.6%、女性で30.7%となっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど、「友人になってほしい」、「簡単な日本語で話してほしい」などの割合が高くなる傾向がある。

【図表 162 日本人に望むこと】



【図表 163 日本人に望むこと(属性特徴)】

		(MA%)												
	n	ほ 持 た な い よ う に し て	差 別 意 識 や 偏 見 を	友 人 に な っ て ほ し い	ほ し い 外 国 の 生 活 習 慣 、 文 化 な ど に つ い て 理 解 し て	ほ い さ つ 、 声 か け を し て	ほ し い 簡 単 な 日 本 語 で 話 し て	教 域 の ル ー ル な ど を 教 え て ほ し い	誘 っ て ほ し い 地 域 の 行 事 な ど に	話 し か け て ほ し い 困 っ て い る と き に	日 本 語 を 教 え て ほ し い	参 加 し て ほ し い 外 国 人 と 交 流 す る イ ベ ン ト な ど に 積 極 的 に	な っ て ほ し い 外 国 語 が で き る よ う に	無 回 答
全体	1,232	57.7	46.8	34.4	35.0	34.7	33.6	29.2	26.6	26.5	25.5	22.3	15.0	14.8
国籍・地域														
中国	340	57.4	46.8	34.4	37.4	21.5	23.2	22.9	20.6	20.9	19.4	18.5	8.5	4.7
韓国	225	43.6	46.8	34.4	13.8	10.2	3.1	8.4	7.1	15.6	2.7	6.2	4.0	37.8
ベトナム	110	45.5	32.7	34.5	34.5	49.7	49.1	30.9	29.1	21.8	32.7	17.3	9.1	3.6
ネパール	73	34.2	54.8	34.7	31.5	39.7	54.8	31.5	24.7	27.4	43.8	34.2	26.0	4.1
台湾	72	54.2	34.7	33.3	33.3	15.3	22.2	23.6	23.6	30.6	27.8	19.4	8.3	6.9
フィリピン	53	39.6	34.0	34.0	34.0	26.4	43.4	24.5	22.6	11.3	24.5	24.5	28.3	5.7
アメリカ	44	54.5	36.4	34.1	34.1	56.3	18.2	22.7	36.4	27.3	11.4	20.5	18.2	11.4
インドネシア	36	44.4	36.1	36.1	36.1	38.9	50.0	41.7	27.8	19.4	30.6	30.6	19.4	0
ミャンマー	30	16.7	26.7	30.0	30.0	48.3	23.3	20.0	6.7	30.0	26.7	6.7	13.3	10.0
フランス	26	42.3	34.6	15.4	15.4	38.5	19.2	34.6	42.3	23.1	15.4	15.4	15.4	11.5
その他	218	42.2	43.6	24.8	24.8	39.4	36.2	30.3	28.0	24.3	24.8	22.5	17.9	8.7
在留資格														
留学(大学・大学院)	245	55.1	51.0	29.8	29.8	28.6	31.0	33.9	27.8	24.9	29.8	23.3	16.7	3.3
留学(日本語学校)	65	27.7	49.2	26.2	26.2	40.0	41.5	18.5	16.9	18.5	27.7	18.5	15.4	3.1
留学(専門学校・その他)	22	31.8	40.9	18.2	18.2	31.8	36.4	31.8	27.3	22.7	40.9	18.2	18.2	13.6
永住者	181	48.6	21.0	30.4	30.4	22.1	11.6	14.9	17.7	18.2	4.4	15.5	9.9	16.0
特別永住者	173	43.4	4.0	11.6	11.6	10.4	1.7	5.2	6.9	9.8	1.2	5.8	3.5	43.4
技術・人文知識・国際業務	153	56.2	40.5	34.6	34.6	35.3	28.8	31.4	34.0	26.1	25.5	28.1	9.8	5.2
技能実習	61	26.2	31.1	31.1	31.1	32.8	54.1	24.6	9.8	21.3	34.4	9.8	21.3	3.3
特定技能	60	38.3	35.0	31.7	31.7	39.7	50.0	23.3	20.0	18.3	28.3	11.7	13.3	1.7
日本人の配偶者等	63	52.4	27.0	36.5	36.5	25.4	36.5	19.0	23.8	27.0	12.7	20.6	9.5	6.3
家族滞在	57	49.1	59.6	31.6	31.6	50.9	52.6	38.6	28.1	28.1	40.4	17.5	14.0	3.5
高度専門職	24	37.5	45.8	33.3	33.3	41.7	12.5	20.8	41.7	29.2	12.5	20.8	8.3	4.2
経営・管理	20	45.0	40.0	25.0	25.0	25.0	25.0	20.0	10.0	15.0	25.0	5.0	5.0	0
その他の資格	100	47.0	38.0	33.0	33.0	27.0	31.0	30.0	21.0	28.0	27.0	25.0	17.0	10.0
性別														
男性	585	43.9	38.6	25.1	25.1	31.6	29.2	23.4	23.6	19.3	22.2	20.3	13.2	11.8
女性	622	49.5	30.7	30.9	30.9	25.1	25.9	24.3	19.8	24.0	19.8	16.2	11.4	12.5
その他・答えたくない	22	54.5	27.3	45.5	45.5	18.2	18.2	13.6	18.2	13.6	9.1	13.6	9.1	0
年齢														
18歳～19歳	23	39.1	52.2	21.7	21.7	21.7	39.1	30.4	13.0	17.4	26.1	17.4	8.7	0
20歳～29歳	446	47.1	45.3	29.8	29.8	33.2	34.8	28.5	22.4	26.0	29.6	19.3	16.1	4.3
30歳～39歳	326	52.5	39.3	34.4	34.4	31.6	34.0	26.1	27.0	22.1	23.3	21.8	12.0	5.5
40歳～49歳	142	49.3	25.4	30.3	30.3	20.4	19.0	27.5	19.0	21.1	15.5	19.7	9.9	9.2
50歳～59歳	113	38.9	15.0	22.1	22.1	22.1	16.8	14.2	18.6	13.3	9.7	13.3	11.5	25.7
60歳～69歳	78	38.5	24.4	19.2	19.2	20.5	11.5	12.8	21.8	20.5	7.7	15.4	7.7	33.3
70歳～79歳	71	43.7	7.0	18.3	18.3	14.1	7.0	7.0	7.0	11.3	1.4	9.9	4.2	43.7
80歳以上	29	41.4	10.3	10.3	10.3	31.0	0	6.9	13.8	13.8	0	0	3.4	37.9

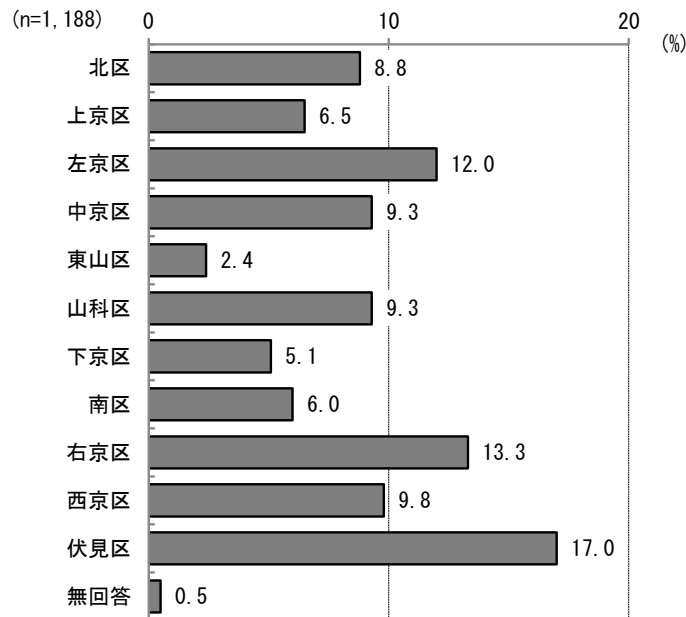
Ⅲ-2 外国籍市民との共生に関するアンケートの結果

1 回答者の属性

〔1〕居住地(単一回答)

居住地は、「伏見区」(17.0%)が最も多く、次いで、「右京区」(13.3%)、「左京区」(12.0%)となっている。

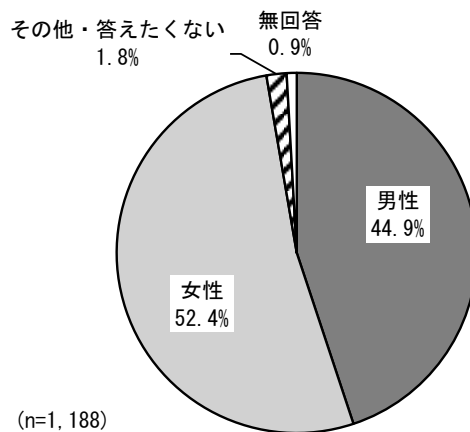
【図表 164 居住地】



〔2〕性別(単一回答)

性別は、「男性」が44.9%、「女性」が52.4%となっている。

【図表 165 性別】

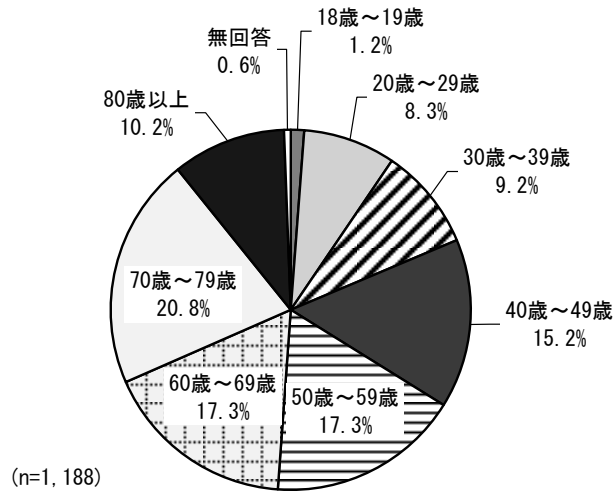


〔3〕年齢(単一回答)

年齢は、「70歳～79歳」(20.8%)が最も多く、次いで、「50歳～59歳」、「60歳～69歳」(それぞれ17.3%)となっている。

居住地域別にみると、6つの地域で「70歳～79歳」の割合が最も高く、特に、西京区で25.6%となっている。

【図表 166 年齢】



【図表 167 年齢(属性別特徴)】

	n	年齢(%)									
		18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	無回答	
全体	1,188	14	99	109	180	206	205	247	121	7	
	100	1.2	8.3	9.2	15.2	17.3	17.3	20.8	10.2	0.6	
居住地域	北区	104	0	14.4	10.6	12.5	15.4	14.4	17.3	15.4	0
	上京区	77	5.2	6.5	6.5	22.1	20.8	14.3	18.2	6.5	0
	左京区	142	0	8.5	10.6	14.8	19.0	16.2	21.8	9.2	0
	中京区	111	0.9	7.2	6.3	22.5	21.6	15.3	14.4	11.7	0
	東山区	28	7.1	3.6	0	10.7	17.9	28.6	14.3	14.3	3.6
	山科区	111	0.9	7.2	3.6	6.3	27.0	15.3	24.3	15.3	0
	下京区	61	1.6	4.9	19.7	18.0	18.0	11.5	21.3	4.9	0
	南区	71	0	7.0	16.9	11.3	22.5	19.7	15.5	7.0	0
	右京区	158	1.3	7.6	8.2	15.2	11.4	20.3	24.1	12.0	0
	西京区	117	0	11.1	12.0	12.8	12.8	16.2	25.6	9.4	0
伏見区	202	1.5	8.4	7.9	17.8	13.9	20.8	22.3	7.4	0	

Ⅲ-2 外国籍市民との共生に関するアンケートの結果

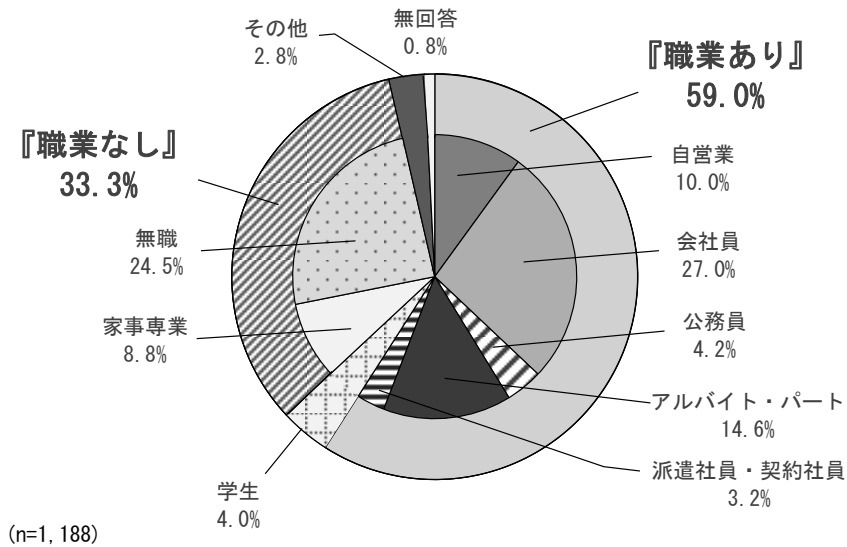
〔4〕職業(単一回答)

職業は、「自営業」、「会社員」、「公務員」、「アルバイト・パート」、「派遣社員・契約社員」を合わせた『職業あり』が59.0%、「学生」が4.0%、「家事専業」、「無職」を合わせた『職業なし』が33.3%となっている。個別で見ると、「会社員」(27.0%)が最も多く、次いで、「無職」(24.5%)、「アルバイト・パート」(14.6%)となっている。

居住地域別にみると、7つの地域で「会社員」の割合が最も高く、特に、下京区では39.3%となっている。

年齢別にみると、20歳から59歳で「会社員」の割合が最も高くなっている。

【図表 168 職業】



【図表 169 職業(属性特徴)】

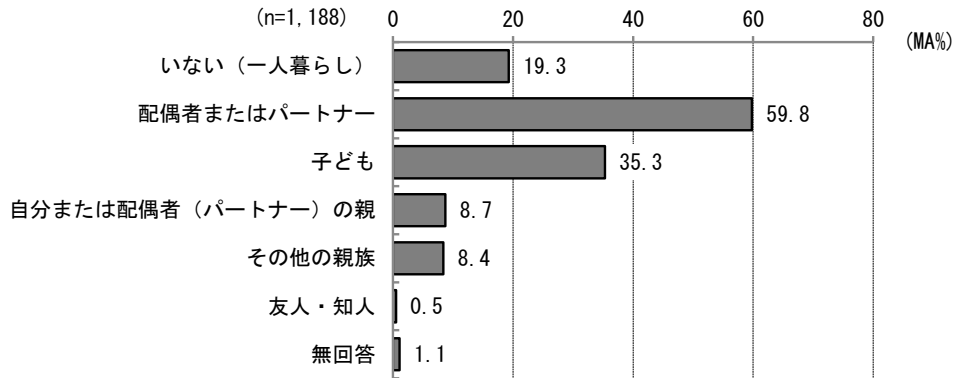
	n	自営業	会社員	公務員	アルバイト・パート	派遣社員・契約社員	学生	家事専業	無職	その他	無回答	職業あり (%)	職業なし (%)
全体	1,188	119	321	50	174	38	48	105	291	33	9	702	396
	100	10.0	27.0	4.2	14.6	3.2	4.0	8.8	24.5	2.8	0.8	59.0	33.3
居住地域													
北区	104	13.5	22.1	7.7	8.7	2.9	7.7	6.7	25.0	5.8	0	54.9	31.7
上京区	77	15.6	23.4	5.2	14.3	5.2	10.4	3.9	18.2	3.9	0	63.7	22.1
左京区	142	10.6	20.4	11.3	14.1	1.4	3.5	12.0	21.8	3.5	1.4	57.8	33.8
中京区	111	11.7	31.5	2.7	16.2	2.7	2.7	6.3	23.4	1.8	0.9	64.8	29.7
東山区	28	21.4	25.0	0	10.7	0	3.6	14.3	25.0	0	0	57.1	39.3
山科区	111	8.1	25.2	0.9	12.6	3.6	3.6	14.4	27.0	4.5	0	50.4	41.4
下京区	61	6.6	39.3	4.9	9.8	1.6	3.3	6.6	26.2	1.6	0	62.2	32.8
南区	71	8.5	35.2	2.8	12.7	1.4	1.4	8.5	26.8	2.8	0	60.6	35.3
右京区	158	10.8	28.5	2.5	13.3	5.1	3.2	8.9	24.7	3.2	0	60.2	33.6
西京区	117	6.0	29.1	2.6	20.5	3.4	1.7	11.1	24.8	0.9	0	61.6	35.9
伏見区	202	7.9	26.2	3.0	19.3	4.0	4.5	6.9	26.7	1.5	0	60.4	33.6
年齢													
18歳~19歳	14	0	7.1	0	7.1	0	85.7	0	0	0	0	14.2	0
20歳~29歳	99	1.0	43.4	1.0	6.1	3.0	36.4	1.0	3.0	4.0	1.0	54.5	4.0
30歳~39歳	109	9.2	49.5	13.8	12.8	2.8	0	3.7	5.5	2.8	0	88.1	9.2
40歳~49歳	180	12.8	42.2	8.3	17.8	3.9	0	8.9	3.9	2.2	0	85.0	12.8
50歳~59歳	206	12.6	43.2	6.8	21.4	5.3	0	5.3	3.4	1.9	0	89.3	8.7
60歳~69歳	205	13.2	25.4	0.5	25.9	5.4	0	12.2	15.1	2.4	0	70.4	27.3
70歳~79歳	247	9.7	2.0	1.2	9.7	1.2	0	17.0	55.5	2.8	0.8	23.8	72.5
80歳以上	121	6.6	0	0.8	0	0	0	5.0	82.6	5.0	0	7.4	87.6

〔5〕同居人(複数回答)

同居人は、「配偶者またはパートナー」(59.8%)が最も多く、次いで、「子ども」(35.3%)、「いない(一人暮らし)」(19.3%)となっている。

年齢別にみると、30歳以上で「配偶者またはパートナー」の割合が最も高くなっている。

【図表 170 同居人】



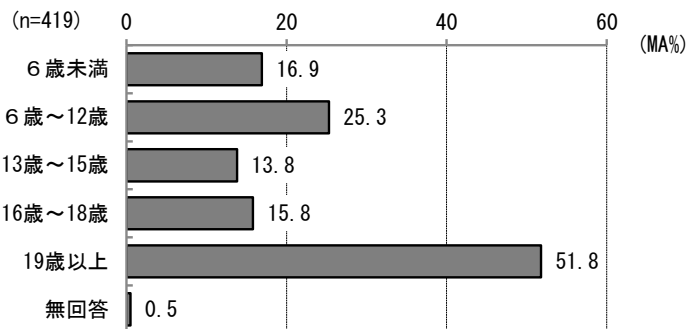
【図表 171 同居人(属性特徴)】

	n	いない(一人暮らし)	配偶者またはパートナー	子ども	自分または配偶者(パートナー)の親	その他の親族	友人・知人	無回答
全体	1,188	229	710	419	103	100	6	13
	100	19.3	59.8	35.3	8.7	8.4	0.5	1.1
年齢								
18歳~19歳	14	14.3	0	0	50.0	50.0	0	0
20歳~29歳	99	18.2	11.1	6.1	33.3	39.4	5.1	0
30歳~39歳	109	17.4	64.2	46.8	9.2	8.3	0	0.9
40歳~49歳	180	14.4	70.6	62.8	9.4	3.3	0	0
50歳~59歳	206	18.0	64.6	51.5	9.2	6.3	0	1.0
60歳~69歳	205	19.0	68.8	29.8	6.3	6.3	0	0.5
70歳~79歳	247	21.5	65.2	20.2	0.8	4.5	0.4	1.2
80歳以上	121	28.1	55.4	26.4	1.7	1.7	0	0

〔6〕子どもの年齢(複数回答)

同居している子どもの年齢は、「19歳以上」(51.8%)が最も多く、次いで、「6歳~12歳」(25.3%)、「6歳未満」(16.9%)となっている。

【図表 172 子どもの年齢】



Ⅲ-2 外国籍市民との共生に関するアンケートの結果

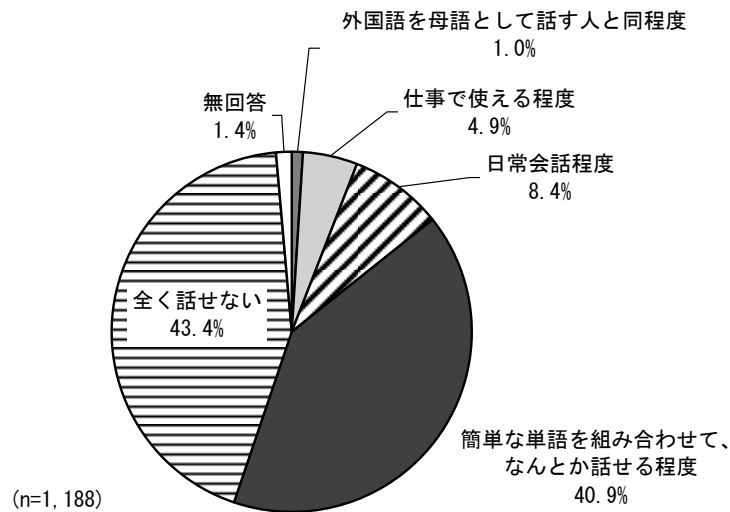
〔7〕語学力(単一回答)

語学力は、「全く話せない」(43.4%)が最も多く、次いで、「簡単な単語を組み合わせて、なんとか話せる程度」(40.9%)、「日常会話程度」(8.4%)となっている。

年齢別にみると、年齢が高いほど「全く話せない」の割合が高くなっている。69歳以下では「簡単な単語を組み合わせて、なんとか話せる程度」の割合が最も高くなっている。

職業別にみると、「日常会話程度」の割合は、学生(35.4%)が他の職業と比べ、高くなっている。

【図表 173 語学力】



【図表 174 語学力(属性特徴)】

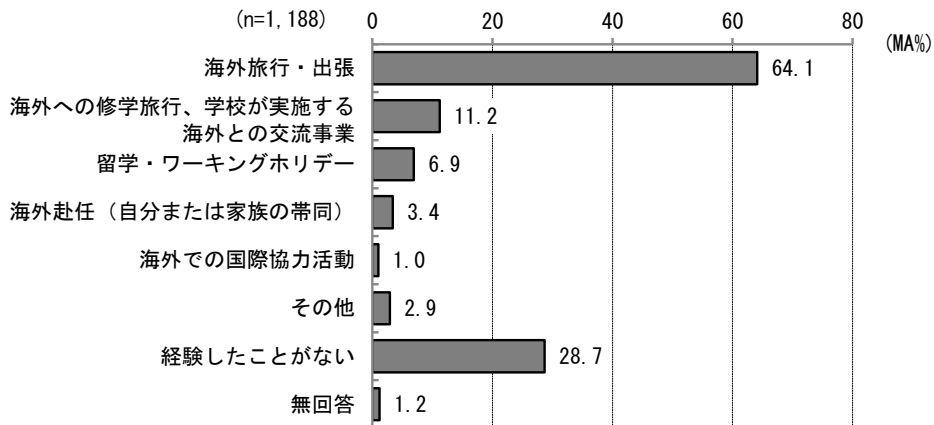
	n	外国語を母語として話す人と同程度	仕事で使える程度	日常会話程度	簡単な単語を組み合わせて、なんとか話せる程度	全く話せない	無回答
全体	1,188	12	58	100	486	515	17
	100	1.0	4.9	8.4	40.9	43.4	1.4
年齢	18歳~19歳	14	0	14.3	78.6	7.1	0
	20歳~29歳	99	1.0	7.1	21.2	55.6	15.2
	30歳~39歳	109	1.8	9.2	11.0	47.7	30.3
	40歳~49歳	180	2.2	7.2	11.1	47.2	31.7
	50歳~59歳	206	1.0	5.8	10.7	48.1	34.5
	60歳~69歳	205	1.0	5.9	6.3	44.4	40.5
	70歳~79歳	247	0.4	0.8	3.2	28.3	66.8
	80歳以上	121	0	1.7	0.8	19.0	74.4
職業	職業あり	702	1.3	6.3	9.3	47.6	35.0
	学生	48	2.1	8.3	35.4	52.1	2.1
	職業なし	396	0.3	1.5	3.3	30.8	62.6

(%)

[8] 海外滞在経験(複数回答)

海外滞在経験は、「海外旅行・出張」(64.1%)が最も多く、次いで、「経験したことがない」(28.7%)、「海外への修学旅行、学校が実施する海外との交流事業」(11.2%)となっている。
 年齢別にみると、20歳以上で「海外旅行・出張」の割合が最も高くなっている。
 職業別、語学力別にみても、すべての項目で「海外旅行・出張」の割合が最も高くなっている。

【図表 175 海外滞在経験】



【図表 176 海外滞在経験(属性特徴)】

	n	(MA%)							
		海外旅行・出張	海外への修学旅行、学校が実施する海外との交流事業	ワーキングホリデー	海外赴任 (自分または家族の帯同)	海外での国際協力活動	その他	経験したことがない	無回答
全体	1,188	762	133	82	40	12	34	341	14
	100	64.1	11.2	6.9	3.4	1.0	2.9	28.7	1.2
年齢									
18歳~19歳	14	7.1	21.4	0	0	0	7.1	64.3	0
20歳~29歳	99	46.5	41.4	14.1	4.0	2.0	4.0	32.3	0
30歳~39歳	109	70.6	28.4	11.0	1.8	0.9	3.7	21.1	0
40歳~49歳	180	70.0	17.8	10.0	5.0	2.8	0.6	23.9	0
50歳~59歳	206	70.9	6.3	12.6	3.9	0	2.4	25.2	0
60歳~69歳	205	74.6	3.4	3.4	2.9	1.0	2.0	22.9	1.0
70歳~79歳	247	59.9	2.4	1.2	2.4	0.4	3.2	36.4	0.4
80歳以上	121	53.7	0	0.8	4.1	0.8	5.8	37.2	4.1
職業									
職業あり	702	69.2	14.0	8.7	3.0	1.0	2.3	24.5	0.1
学生	48	41.7	35.4	18.8	6.3	4.2	2.1	41.7	0
職業なし	396	53.3	3.3	2.3	3.0	0.8	3.5	35.4	1.5
語学力									
外国語を母語として話す人と同程度	12	91.7	50.0	58.3	50.0	41.7	8.3	0	0
仕事で使える程度	58	79.3	25.9	37.9	31.0	3.4	6.9	10.3	0
日常会話程度	100	81.0	33.0	27.0	5.0	3.0	11.0	6.0	0
簡単な単語を組み合わせ、なんとか話せる程度	486	71.4	10.3	5.1	1.6	0.4	1.4	23.3	0
全く話せない	515	53.2	5.6	0.2	0.6	0	1.9	41.6	0.6

2 外国人との交流について

※外国人には、外国籍市民に加え、京都市以外に住む友人や同僚なども含む。

〔1〕外国人との交流(複数回答)

外国人との交流について、『外国人との付き合いがある』(全回答者から「外国人との付き合いはない」と「無回答」を除く)は34.9%となっており、「外国人との付き合いはない」は62.9%となっている。『外国人との付き合いがある』の中では、「挨拶をする人がある」(18.8%)が最も多く、次いで、「親しく交流する人がある」(14.3%)、「個人的な話をする人がある」(9.0%)となっている。

居住地域別にみると、すべての居住地域で「外国人との付き合いはない」の割合が最も高くなっている。左京区では『外国人との付き合いがある』が5割を超え、中でも、「親しく交流する人がある」の割合が他の居住地域と比べ、最も高くなっている。

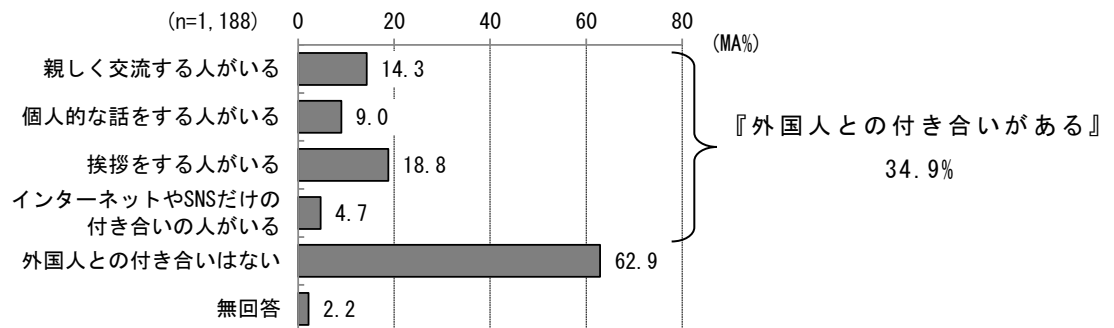
年齢別にみると、年齢が高いほど「外国人との付き合いはない」の割合が高くなる傾向がある。

職業別にみると、学生では『外国人との付き合いがある』が62.5%となっており、職業なしでは「外国人との付き合いはない」が79.0%となっている。

語学力別にみると、語学力が高いほど『外国人との付き合いがある』の割合が高くなっている。

海外滞在経験別にみると、経験したことがないで「外国人との付き合いはない」(75.1%)が高くなっている。

【図表 177 外国人との交流】



※『外国人との付き合いがある』は全回答者から「外国人との付き合いはない」と「無回答」を除いた割合

Ⅲ-2 外国籍市民との共生に関するアンケートの結果

【図表 178 外国人との交流(属性特徴)】

		n	親しく交流する人がいる	個人的な話をする人がいる	挨拶をする人がいる	SNSだけの付き合いの人がいる	インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる	外国人との付き合いはない	無回答	外国人との付き合いがある(MA%)
全体		1,188	170	107	223	56	747	26	418	34.9
居住地	北区	104	14.4	8.7	16.3	1.9	63.5	0	36.5	
	上京区	77	9.1	9.1	19.5	2.6	70.3	0	29.9	
	左京区	142	25.4	11.3	28.9	5.6	47.5	1.4	50.7	
	中京区	111	5.4	12.6	18.9	6.3	67.6	2.7	29.7	
	東山区	28	21.4	3.6	21.4	0	57.1	3.6	39.3	
	山科区	111	10.8	5.4	19.8	6.3	62.2	2.7	35.1	
	下京区	61	19.7	14.8	16.4	8.2	62.3	3.3	34.4	
	南区	71	11.3	4.2	12.7	7.0	71.8	0	28.2	
	右京区	158	19.0	10.1	19.6	7.0	60.1	1.3	38.6	
	西京区	117	11.1	7.7	7.7	3.4	74.4	0	25.6	
伏見区	202	12.4	8.4	20.8	2.5	63.4	3.5	33.1		
年齢	18歳～19歳	14	14.3	7.1	28.6	14.3	42.9	7.1	50.0	
	20歳～29歳	99	17.2	16.2	27.3	12.1	44.4	1.0	54.6	
	30歳～39歳	109	17.4	11.0	23.9	7.3	54.1	0	45.9	
	40歳～49歳	180	16.7	16.1	23.3	7.8	58.3	0	41.7	
	50歳～59歳	206	22.3	11.2	23.3	5.8	54.4	0.5	45.1	
	60歳～69歳	205	15.6	7.3	18.0	3.9	65.4	1.0	33.6	
	70歳～79歳	247	7.7	4.0	12.1	0	75.3	3.2	21.5	
	80歳以上	121	3.3	0.8	7.4	0	83.5	5.8	10.7	
職業	職業あり	702	17.2	10.4	22.4	6.1	56.8	0.7	42.5	
	学生	48	25.0	22.9	31.3	14.6	33.3	4.2	62.5	
	職業なし	396	7.3	4.0	11.1	1.0	79.0	2.8	18.2	
語学力	外国語を母語として話す人と同程度	12	66.7	75.0	58.3	41.7	0	0	100.0	
	仕事で使える程度	58	55.2	39.7	34.5	10.3	24.1	1.7	74.2	
	日常会話程度	100	35.0	18.0	29.0	13.0	35.0	0	65.0	
	簡単な単語を組み合わせて、なんとか話せる程度	486	12.6	7.4	23.9	6.0	58.0	0.6	41.4	
	全く話せない	515	6.2	4.1	9.5	0.4	80.2	2.3	17.5	
海外滞在経験	海外旅行・出張	762	18.1	11.5	20.5	5.8	58.9	0.9	40.2	
	海外への修学旅行、学校が実施する海外との交流事業	133	28.6	20.3	26.3	16.5	43.6	0	56.4	
	留学・ワーキングホリデー	82	51.2	32.9	35.4	20.7	19.5	0	80.5	
	海外赴任(自分または家族の帯同)	40	52.5	40.0	30.0	17.5	30.0	2.5	67.5	
	海外での国際協力活動	12	66.7	50.0	25.0	25.0	16.7	0	83.3	
	その他	34	32.4	8.8	11.8	14.7	47.1	5.9	47.0	
	経験したことがない	341	4.7	4.4	15.8	1.5	75.1	2.1	22.8	

Ⅲ-2 外国籍市民との共生に関するアンケートの結果

〔2〕外国人との交流のきっかけ(複数回答)

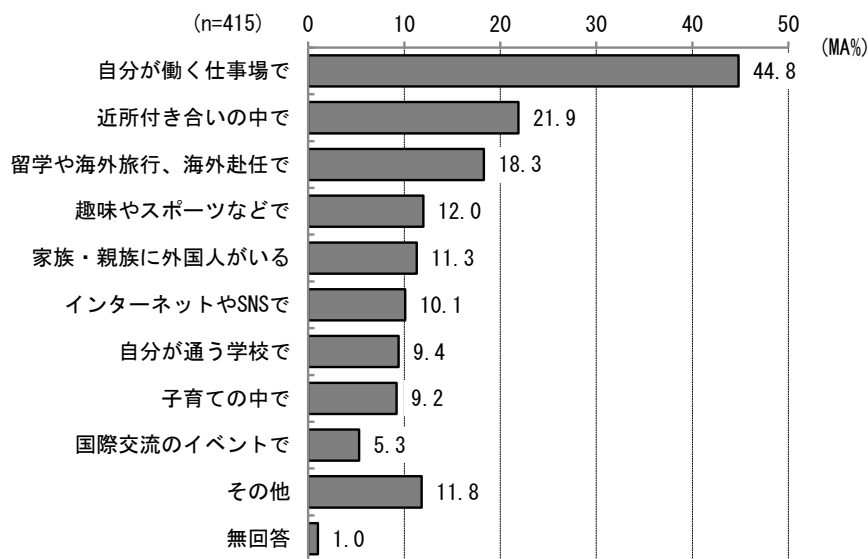
『外国人との付き合いがある』と回答した人に、外国人との交流のきっかけをたずねたところ、「自分が働く仕事場で」(44.8%)が最も多く、次いで、「近所付き合いの中で」(21.9%)、「留学や海外旅行、海外赴任で」(18.3%)となっている。

年齢別にみると、ほとんどの年代で「自分が働く仕事場で」の割合が最も高くなっている。また、年齢が高いほど「近所付き合いの中で」の割合が高くなっている。

職業別にみると、職業ありでは「自分が働く仕事場で」(54.4%)、学生では「自分が通う学校で」(66.7%)、職業なしでは「近所付き合いの中で」(38.9%)の割合がそれぞれ最も高くなっている。

外国人との交流別にみると、「インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる」を除くすべての交流で「自分が働く仕事場で」の割合が最も高くなっている。

【図表 179 外国人との交流のきっかけ】



【図表 180 外国人との交流のきっかけ(属性特徴)】

	n	(MA%)										
		自分が働く仕事場で	近所付き合いの中で	留学や海外旅行、海外赴任で	趣味やスポーツなどで	家族・親族に外国人がいる	インターネットやSNSで	自分が通う学校で	子育ての中で	国際交流のイベントで	その他	無回答
全体	415	186	91	76	50	47	42	39	38	22	49	4
	100	44.8	21.9	18.3	12.0	11.3	10.1	9.4	9.2	5.3	11.8	1.0
年齢	18歳～19歳	7	14.3	0	0	0	14.3	85.7	0	14.3	0	0
	20歳～29歳	54	31.5	1.9	27.8	11.1	7.4	16.7	31.5	1.9	7.4	7.4
	30歳～39歳	50	50.0	14.0	16.0	16.0	12.0	18.0	14.0	16.0	6.0	6.0
	40歳～49歳	75	58.7	21.3	24.0	14.7	14.7	10.7	5.3	24.0	4.0	6.7
	50歳～59歳	93	54.8	25.8	18.3	9.7	12.9	9.7	3.2	7.5	6.5	15.1
	60歳～69歳	69	42.0	29.0	13.0	14.5	5.8	7.2	1.4	4.3	2.9	15.9
	70歳～79歳	53	30.2	30.2	11.3	7.5	15.1	1.9	1.9	5.7	18.9	1.9
	80歳以上	13	23.1	46.2	23.1	15.4	15.4	0	0	0	0	15.4
職業	職業あり	298	54.4	18.5	17.1	12.4	10.7	12.1	4.7	9.4	4.4	11.1
	学生	30	3.3	3.3	30.0	10.0	6.7	13.3	66.7	0	16.7	0
	職業なし	72	16.7	38.9	15.3	8.3	16.7	1.4	1.4	8.3	4.2	16.7
外国人との交流の仕方	親しく交流する人がある	170	42.9	21.2	30.6	16.5	22.4	11.2	12.9	13.5	10.6	16.5
	個人的な話をする人がある	107	55.1	25.2	31.8	18.7	15.0	12.1	14.0	16.8	11.2	13.1
	挨拶をする人がある	223	54.3	34.1	13.9	13.5	6.7	5.8	9.0	13.5	4.9	7.2
	インターネットやSNSだけの付き合いの人がある	56	33.9	16.1	39.3	23.2	10.7	55.4	26.8	7.1	14.3	8.9

〔3〕今後の外国人との交流意向(単一回答)

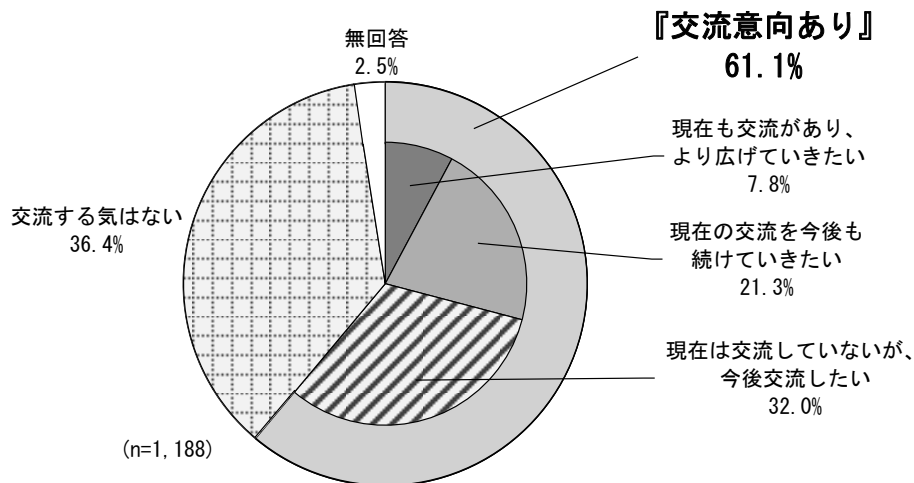
今後の外国人との交流について、「現在も交流があり、より広げていきたい」、「現在の交流を今後も続けていきたい」、「現在は交流していないが、今後交流したい」を合わせた『交流意向あり』が61.1%、「交流する気はない」は36.4%となっている。『交流意向あり』の中では、「現在は交流していないが、今後交流したい」(32.0%)が最も多くなっており、次いで、「現在の交流を今後も続けていきたい」(21.3%)、「現在も交流があり、より広げていきたい」(7.8%)となっている。

年齢別にみると、29歳以下と50歳～59歳で『交流意向あり』の割合が7割を超え、他の年代と比べ、高くなっている。

職業別にみると、学生で『交流意向あり』の割合が最も高く、職業ありで「現在は交流していないが、今後交流したい」(33.0%)が最も高くなっている。

語学力別にみると、語学力が高いほど『交流意向あり』の割合が高くなっている。また、「簡単な単語を組み合わせて、なんとか話せる程度」で「現在は交流していないが、今後交流したい」の割合が他と比べ、高くなっている。

【図表 181 今後の外国人との交流意向】



【図表 182 今後の外国人との交流意向(属性特徴)】

	n	より広げていきたい、 現在も交流が あり	現在の交流を 今後も 続けて いきたい	現在は交流して いないが、 今後交流 したい	交流する 気はない	無 回 答	交 流 意 向 あ り	
全体	1,188	93	253	380	432	30	726	
	100	7.8	21.3	32.0	36.4	2.5	61.1	
年齢	18歳～19歳	14	21.4	35.7	21.4	21.4	0	78.5
	20歳～29歳	99	15.2	27.3	33.3	22.2	2.0	75.8
	30歳～39歳	109	12.8	21.1	32.1	32.1	1.8	66.0
	40歳～49歳	180	11.7	23.3	28.3	34.4	2.2	63.3
	50歳～59歳	206	12.1	30.1	32.0	25.7	0	74.2
	60歳～69歳	205	5.4	22.0	35.6	35.6	1.5	63.0
	70歳～79歳	247	0.8	17.0	30.8	47.8	3.6	48.6
	80歳以上	121	1.7	5.8	30.6	54.5	7.4	38.1
職業	職業あり	702	10.0	25.6	33.0	29.8	1.6	68.6
	学生	48	25.0	31.3	22.9	16.7	4.2	79.2
	職業なし	396	1.0	12.9	30.8	51.5	3.8	44.7
語学力	外国語を母語として話す人と同程度	12	58.3	33.3	8.3	0	0	99.9
	仕事で使える程度	58	41.4	27.6	19.0	8.6	3.4	88.0
	日常会話程度	100	27.0	34.0	26.0	10.0	3.0	87.0
	簡単な単語を組み合わせて、なんとか話せる程度	486	5.6	28.2	37.2	26.5	2.5	71.0
	全く話せない	515	1.6	11.7	29.1	55.5	2.1	42.4

Ⅲ-2 外国籍市民との共生に関するアンケートの結果

[4] 希望する付き合い方(複数回答)

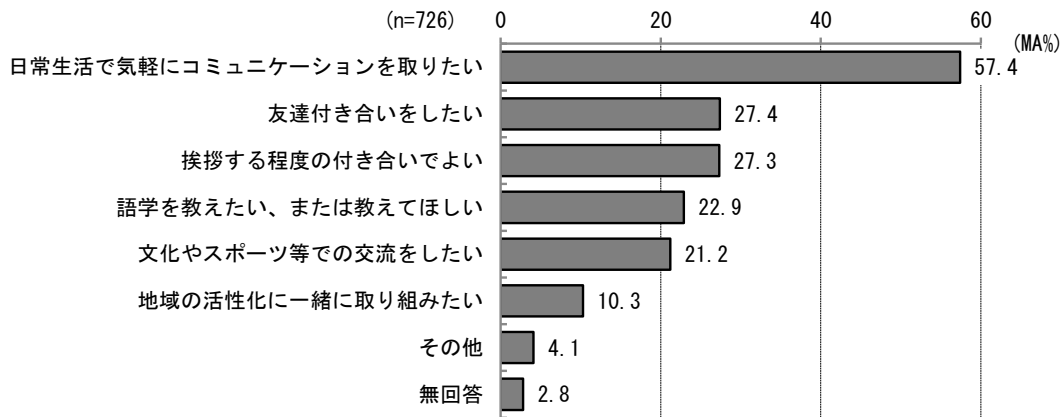
『交流意向あり』と回答をした人に、希望する付き合い方をたずねたところ、「日常生活で気軽にコミュニケーションを取りたい」(57.4%)が最も多く、次いで、「友達付き合いをしたい」(27.4%)、「挨拶する程度の付き合いでよい」(27.3%)となっている。

ほとんどの属性で「日常生活で気軽にコミュニケーションを取りたい」の割合が最も高くなっているが、年齢別でみると、80歳以上で「挨拶する程度の付き合いでよい」(37.0%)の割合が最も高い。

職業別にみると、学生で「友達付き合いをしたい」が55.3%となっている。

今後の交流意向別にみると、「現在も交流があり、より広げていきたい」で、「友達付き合いをしたい」(63.4%)の割合が他と比べ、高くなっている。

【図表 183 希望する付き合い方】



【図表 184 希望する付き合い方(属性特徴)】

		n	日常生活で気軽にコミュニケーションを取りたい	友達付き合いをしたい	挨拶する程度の付き合いでよい	語学を教えたい、または教えてほしい	文化やスポーツ等での交流をしたい	地域の活性化と一緒に取り組みたい	その他	無回答
全体		726	417	199	198	166	154	75	30	20
		100	57.4	27.4	27.3	22.9	21.2	10.3	4.1	2.8
年齢	18歳~19歳	11	72.7	54.5	9.1	36.4	9.1	0	0	9.1
	20歳~29歳	75	65.3	42.7	16.0	32.0	18.7	6.7	4.0	0
	30歳~39歳	72	62.5	30.6	13.9	31.9	29.2	11.1	4.2	1.4
	40歳~49歳	114	63.2	29.8	30.7	21.1	19.3	6.1	4.4	2.6
	50歳~59歳	153	66.0	31.4	28.1	28.8	26.1	16.3	3.9	0.7
	60歳~69歳	129	55.8	22.5	27.9	23.3	21.7	10.1	1.6	0.8
	70歳~79歳	120	47.5	13.3	36.7	13.3	15.8	6.7	6.7	2.5
	80歳以上	46	28.3	26.1	37.0	2.2	19.6	19.6	6.5	8.7
職業	職業あり	482	60.6	27.8	25.9	25.1	22.2	11.0	3.1	1.7
	学生	38	68.4	55.3	13.2	36.8	18.4	2.6	0	2.6
	職業なし	177	50.8	21.5	35.6	16.4	18.1	9.0	6.8	2.8
語学力	外国語を母語として話す人と同程度	12	75.0	50.0	8.3	41.7	50.0	41.7	0	0
	仕事で使える程度	51	56.9	52.9	15.7	41.2	39.2	21.6	7.8	0
	日常会話程度	87	66.7	44.8	18.4	32.2	29.9	13.8	3.4	0
	簡単な単語を組み合わせて、なんとか話せる程度	345	63.2	23.8	27.8	24.6	18.3	8.4	3.8	1.4
全く話せない	218	46.3	20.2	34.9	12.4	17.4	8.3	4.1	3.2	
今後の交流意向	現在も交流があり、より広げていきたい	93	72.0	63.4	5.4	57.0	45.2	29.0	3.2	1.1
	現在の交流を今後も続けていきたい	253	56.1	26.1	27.7	13.4	15.4	5.9	6.7	0
	現在は交流していないが、今後交流したい	380	54.7	19.5	32.4	20.8	19.2	8.7	2.6	5.0

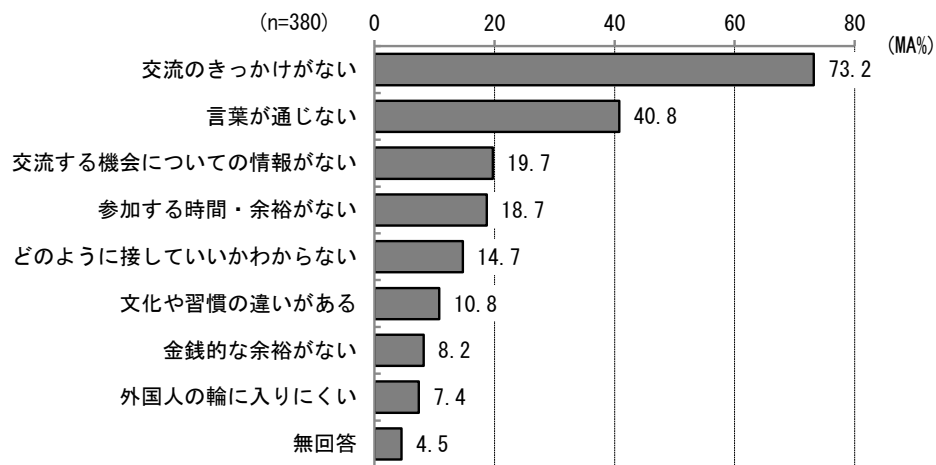
〔5〕交流できていない理由(複数回答)

外国人と「現在は交流していないが、今後交流したい」と回答した人に、交流できていない理由をたずねたところ、「交流のきっかけがない」(73.2%)が最も多く、次いで、「言葉が通じない」(40.8%)、「交流する機会についての情報がない」(19.7%)となっている。

年齢別にみると、ほとんどの年代で「交流のきっかけがない」の割合が最も高く、次いで、「言葉が通じない」となっており、さらに、59歳以下で「参加する時間・余裕がない」、60歳以上で「交流する機会についての情報がない」が高くなっている。また、20歳～29歳で「金銭的な余裕がない」(24.2%)の割合が他の年代と比べ、高くなっている。

語学力別にみると、全く話せないで「言葉が通じない」(55.3%)、「どのように接していいかわからない」(17.3%)の割合が他と比べ、高くなっている

【図表 185 交流できていない理由】



【図表 186 交流できていない理由(属性特徴)】

	n	交流のきっかけがない	言葉が通じない	交流する機会についての情報がない	参加する時間・余裕がない	どのように接していいかわからない	文化や習慣の違いがある	金銭的な余裕がない	外国人の輪に入りにくい	無回答
全体	380	278	155	75	71	56	41	31	28	17
	100	73.2	40.8	19.7	18.7	14.7	10.8	8.2	7.4	4.5
年齢										
18歳～19歳	3	0	100.0	0	0	0	33.3	0	0	0
20歳～29歳	33	75.8	30.3	18.2	27.3	12.1	12.1	24.2	12.1	0
30歳～39歳	35	74.3	48.6	14.3	22.9	17.1	17.1	8.6	17.1	0
40歳～49歳	51	84.3	43.1	19.6	25.5	19.6	9.8	5.9	5.9	2.0
50歳～59歳	66	75.8	43.9	21.2	31.8	18.2	10.6	12.1	10.6	4.5
60歳～69歳	73	74.0	34.2	17.8	15.1	15.1	6.8	6.8	1.4	6.8
70歳～79歳	76	71.1	42.1	23.7	6.6	10.5	10.5	0	7.9	6.6
80歳以上	37	59.5	37.8	13.5	5.4	13.5	8.1	5.4	2.7	8.1
職業										
職業あり	232	75.0	42.2	17.2	22.8	17.7	10.3	7.8	7.8	3.4
学生	11	90.9	18.2	36.4	27.3	0	0	27.3	9.1	0
職業なし	122	68.0	40.2	21.3	9.0	11.5	11.5	4.9	6.6	7.4
語学力										
外国語を母語として話す人と同程度	1	0	100.0	0	0	0	100.0	0	0	0
仕事で使える程度	11	81.8	9.1	9.1	27.3	0	9.1	0	9.1	0
日常会話程度	26	84.6	7.7	23.1	15.4	11.5	7.7	11.5	7.7	3.8
簡単な単語を組み合わせて、なんとか話せる程度	181	77.3	35.4	23.2	22.7	14.4	11.6	7.2	8.3	4.4
全く話せない	150	66.0	55.3	14.7	14.0	17.3	9.3	8.7	6.7	5.3

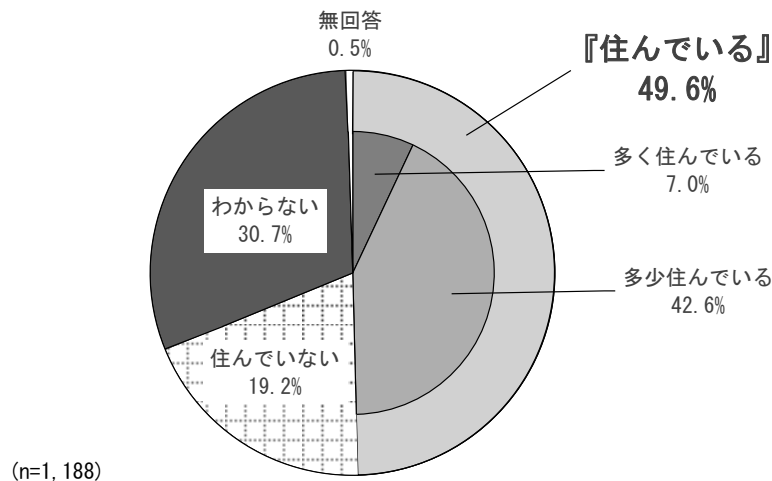
3 外国籍市民の受入れに関する意識・希望について

〔1〕近所の外国籍の人の有無(単一回答)

近所の外国籍の人の有無は、「多く住んでいる」と「多少住んでいる」を合わせた『住んでいる』が49.6%となっている。

居住地域別にみると、『住んでいる』の割合は左京区(71.2%)が最も高く、次いで、東山区(64.3%)、上京区(63.6%)となっている。一方、「住んでいない」の割合は、西京区(34.2%)が最も高くなっている。

【図表 187 近所の外国籍の人の有無】



【図表 188 近所の外国籍の人の有無(属性特徴)】

	n	属性特徴 (%)						
		多く住んでいる	多少住んでいる	住んでいない	わからない	無回答	住んでいる	
全体	1,188	83	506	228	365	6	589	
	100	7.0	42.6	19.2	30.7	0.5	49.6	
居住地域	北区	104	6.7	33.7	26.9	32.7	0	40.4
	上京区	77	10.4	53.2	11.7	24.7	0	63.6
	左京区	142	12.7	58.5	10.6	18.3	0	71.2
	中京区	111	3.6	41.4	13.5	41.4	0	45.0
	東山区	28	10.7	53.6	14.3	17.9	3.6	64.3
	山科区	111	4.5	39.6	23.4	31.5	0.9	44.1
	下京区	61	9.8	39.3	11.5	39.3	0	49.1
	南区	71	5.6	46.5	19.7	28.2	0	52.1
	右京区	158	4.4	43.0	17.1	34.2	1.3	47.4
	西京区	117	0	35.9	34.2	29.9	0	35.9
	伏見区	202	10.4	36.6	19.3	32.7	1.0	47.0

〔2〕近所に外国籍の人が住むことについて(単一回答)

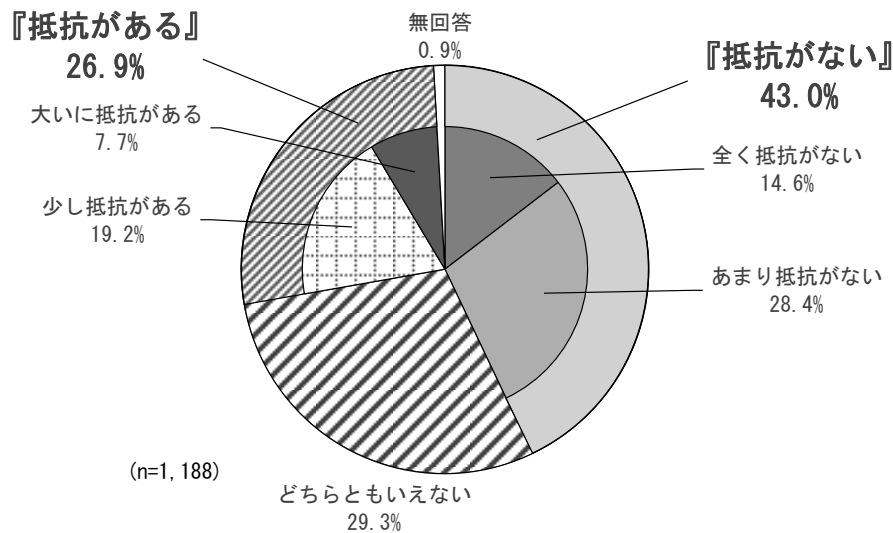
近所に外国籍の人が住むことについては、「全く抵抗がない」と「あまり抵抗がない」を合わせた『抵抗がない』は43.0%、「大いに抵抗がある」と「少し抵抗がある」を合わせた『抵抗がある』は26.9%となっている。個別で見ると「どちらともいえない」(29.3%)が最も多くなっている。

すべての属性で『抵抗がない』が『抵抗がある』の割合を上回っており、年齢別にみると、『抵抗がある』の割合は20歳～49歳で3割を超え、他の年代と比べ、高くなっている。

外国人との交流別にみると、交流の度合いが深いほど、『抵抗がない』の割合が高くなっている。

近所の外国籍の人の有無別にみると、多く住んでいるで『抵抗がある』(42.2%)の割合が他と比べ、最も高くなっている。

【図表 189 近所に外国籍の人が住むことについて】



【図表 190 近所に外国籍の人が住むことについて(属性特徴)】

	n	全く抵抗がない	あまり抵抗がない	どちらともいえない	少し抵抗がある	大いに抵抗がある	無回答	抵抗がない	抵抗がある	
全体	1,188	173	337	348	228	91	11	510	319	
	100	14.6	28.4	29.3	19.2	7.7	0.9	43.0	26.9	
年齢	18歳～19歳	14	7.1	50.0	28.6	0	14.3	0	57.1	14.3
	20歳～29歳	99	21.2	24.2	19.2	26.3	8.1	1.0	45.4	34.4
	30歳～39歳	109	11.9	27.5	22.0	23.9	14.7	0	39.4	38.6
	40歳～49歳	180	16.1	23.3	27.2	23.9	8.9	0.6	39.4	32.8
	50歳～59歳	206	11.2	33.0	32.0	15.0	8.7	0	44.2	23.7
	60歳～69歳	205	12.7	28.3	34.6	16.1	7.8	0.5	41.0	23.9
	70歳～79歳	247	16.6	27.9	31.2	18.6	3.6	2.0	44.5	22.2
	80歳以上	121	14.9	30.6	30.6	17.4	4.1	2.5	45.5	21.5
外国人との交流	親しく交流する人がいる	170	29.4	35.3	21.8	8.8	4.1	0.6	64.7	12.9
	個人的な話をする人がいる	107	23.4	29.9	27.1	15.0	4.7	0	53.3	19.7
	挨拶をする人がいる	223	19.3	32.7	27.8	14.3	4.9	0.9	52.0	19.2
	インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる	56	23.2	23.2	17.9	25.0	10.7	0	46.4	35.7
	外国人との付き合いはない	747	11.8	26.4	31.5	21.3	8.6	0.5	38.2	29.9
外国人の有無	多く住んでいる	83	26.5	19.3	12.0	21.7	20.5	0	45.8	42.2
	多少住んでいる	506	16.0	33.2	24.1	19.0	7.3	0.4	49.2	26.3
	住んでいない	228	14.0	25.4	35.1	18.9	5.7	0.9	39.4	24.6
	わからない	365	10.4	25.5	37.0	19.5	6.6	1.1	35.9	26.1

〔3〕外国籍市民が増えることで良いと感じることはあるか(単一回答)

外国籍市民が増えることで良いと感じることがあるかは、「とてもある」と「ややある」を合わせた『良いと感じることがある』が19.8%、「ない」と「あまりない」を合わせた『良いと感じることがない』が35.8%となっている。個別でみると「どちらともいえない、わからない」(42.8%)が最も多くなっている。

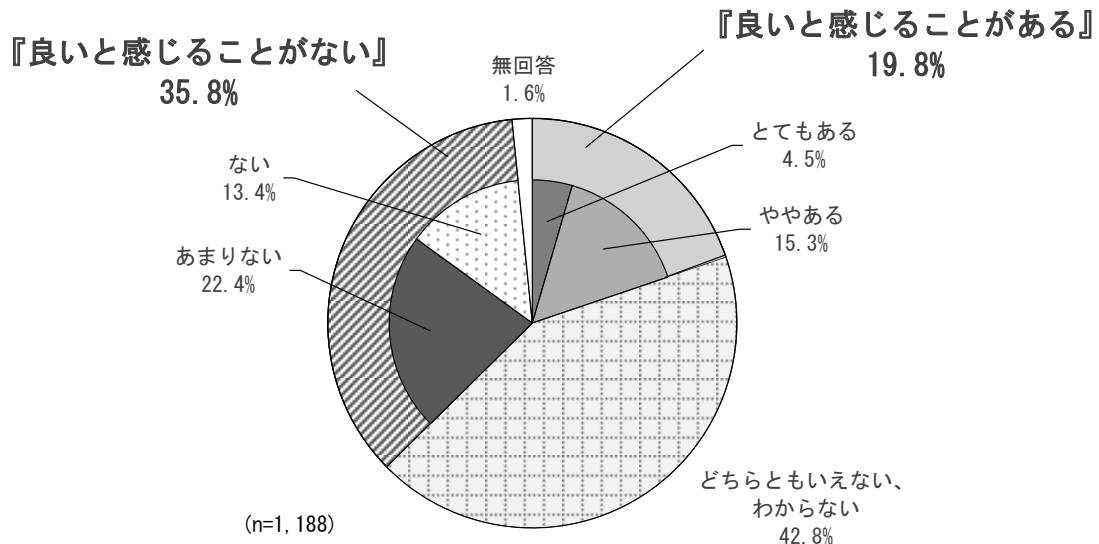
年齢別にみると、『良いと感じることがある』、『良いと感じることがない』の割合は、いずれも49歳以下で高く、50歳以上では「どちらともいえない、わからない」の割合が高くなっている。

職業別にみると、『良いと感じることがない』の割合は、学生(39.6%)が他と比べ、高くなっている。

外国人との交流別にみると、「インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる」、「外国人との付き合いはない」で『良いと感じることがない』の割合が高くなっている。

近所の外国籍の人の有無別でみると、「多く住んでいる」で『良いと感じることがない』が55.4%となっている。

【図表 191 外国籍市民が増えることで良いと感じることはあるか】



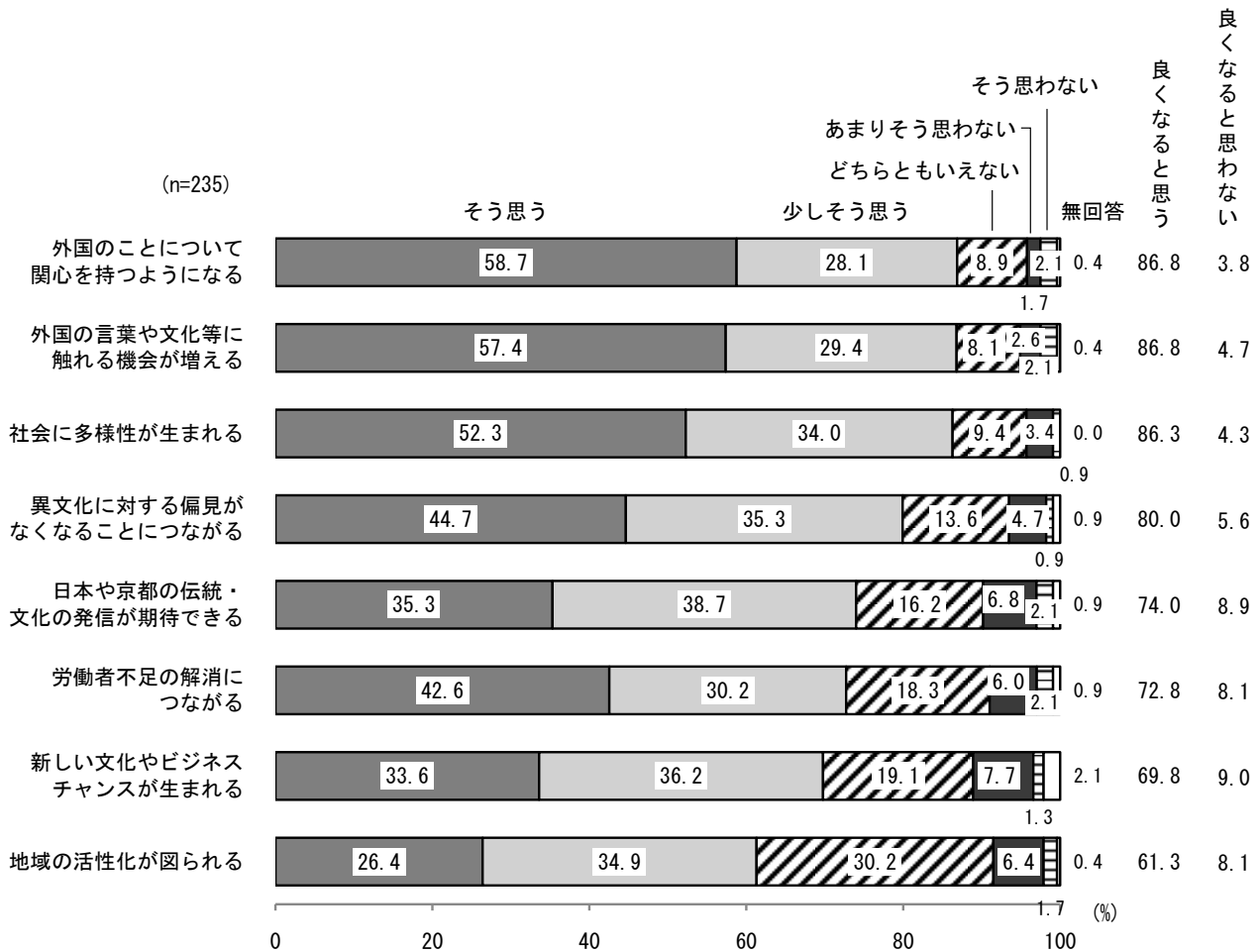
【図表 192 外国籍市民が増えることで良いと感じることはあるか(属性特徴)】

属性	n	属性別割合 (%)							『良いと感じることがある』		『良いと感じることがない』	
		とてもある	ややある	どちらともいえない、わからない	あまりない	ない	無回答	あると感じることがある	ないと感じることがない			
全体	1,188	53 (4.5)	182 (15.3)	509 (42.8)	266 (22.4)	159 (13.4)	19 (1.6)	235 (19.8)	425 (35.8)			
年齢	18歳~19歳	14	0	14.3	21.4	50.0	14.3	0	14.3	64.3		
	20歳~29歳	99	9.1	14.1	32.3	22.2	22.2	0	23.2	44.4		
	30歳~39歳	109	4.6	15.6	30.3	27.5	22.0	0	20.2	49.5		
	40歳~49歳	180	6.7	17.8	34.4	26.1	13.3	1.7	24.5	39.4		
	50歳~59歳	206	2.4	17.5	48.5	18.4	12.6	0.5	19.9	31.0		
	60歳~69歳	205	3.9	14.6	48.8	18.0	12.2	2.4	18.5	30.2		
	70歳~79歳	247	4.5	14.6	46.6	24.3	7.7	2.4	19.1	32.0		
	80歳以上	121	2.5	12.4	50.4	19.0	12.4	3.3	14.9	31.4		
職業	職業あり	702	5.1	15.7	42.0	22.2	13.7	1.3	20.8	35.9		
	学生	48	6.3	16.7	37.5	25.0	14.6	0	23.0	39.6		
	職業なし	396	2.0	14.4	45.5	23.5	12.9	1.8	16.4	36.4		
外国人との交流	親しく交流する人がいる	170	14.7	27.1	34.7	12.4	8.8	2.4	41.8	21.2		
	個人的な話をする人がいる	107	10.3	25.2	36.4	22.4	5.6	0	35.5	28.0		
	挨拶をする人がいる	223	7.6	21.1	41.7	20.6	8.1	0.9	28.7	28.7		
	インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる	56	10.7	28.6	16.1	30.4	12.5	1.8	39.3	42.9		
	外国人との付き合いはない	747	2.5	12.6	44.8	23.3	15.5	1.2	15.1	38.8		
近所の外国籍の有無	多く住んでいる	83	12.0	7.2	25.3	26.5	28.9	0	19.2	55.4		
	多少住んでいる	506	5.3	17.6	39.5	23.1	13.2	1.2	22.9	36.3		
	住んでいない	228	2.2	14.9	48.2	23.2	9.6	1.8	17.1	32.8		
	わからない	365	3.0	14.5	47.9	20.3	12.6	1.6	17.5	32.9		

〔4〕外国籍市民が増えることで良くなること(単一回答)

外国籍市民が増えることで『良いと感じることがある』と回答した人に、良くなると思うことをたずねたところ、「そう思う」と「少しそう思う」を合わせた『良くなると思う』は「外国のことについて関心を持つようになる」、「外国の言葉や文化等に触れる機会が増える」(それぞれ86.8%)が最も多く、次いで、「社会に多様性が生まれる」(86.3%)となっている。

【図表 193 外国籍市民が増えることで良くなること】



Ⅲ-2 外国籍市民との共生に関するアンケートの結果

〔5〕外国籍市民が増えることで良くないと感じることはあるか(単一回答)

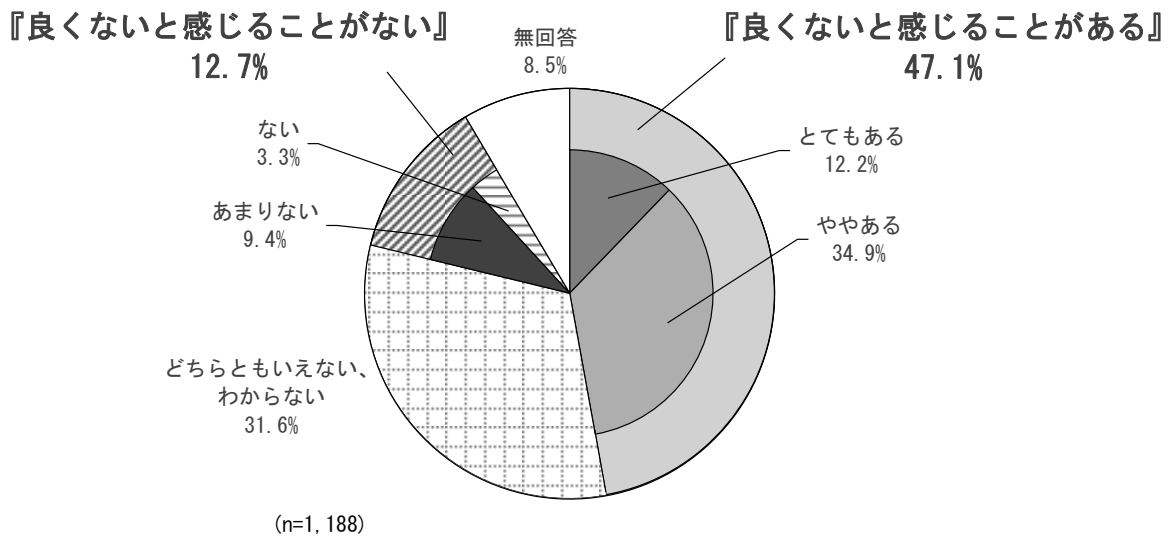
外国籍市民が増えることで良くないと感じることがあるかは、「とてもある」と「ややある」を合わせた『良くないと感じることがある』が47.1%、「ない」と「あまりない」を合わせた『良くないと感じることがない』が12.7%となっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど『良くないと感じることがある』の割合が高くなる傾向がある。

外国人との交流別にみると、『良くないと感じることがある』の割合は、「インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる」(73.2%)が最も高くなっている。

近所の外国籍の人の有無別にみると、「とてもある」の割合は、多く住んでいる(27.7%)が最も高くなっている。

【図表 194 外国籍市民が増えることで良くないと感じることはあるか】



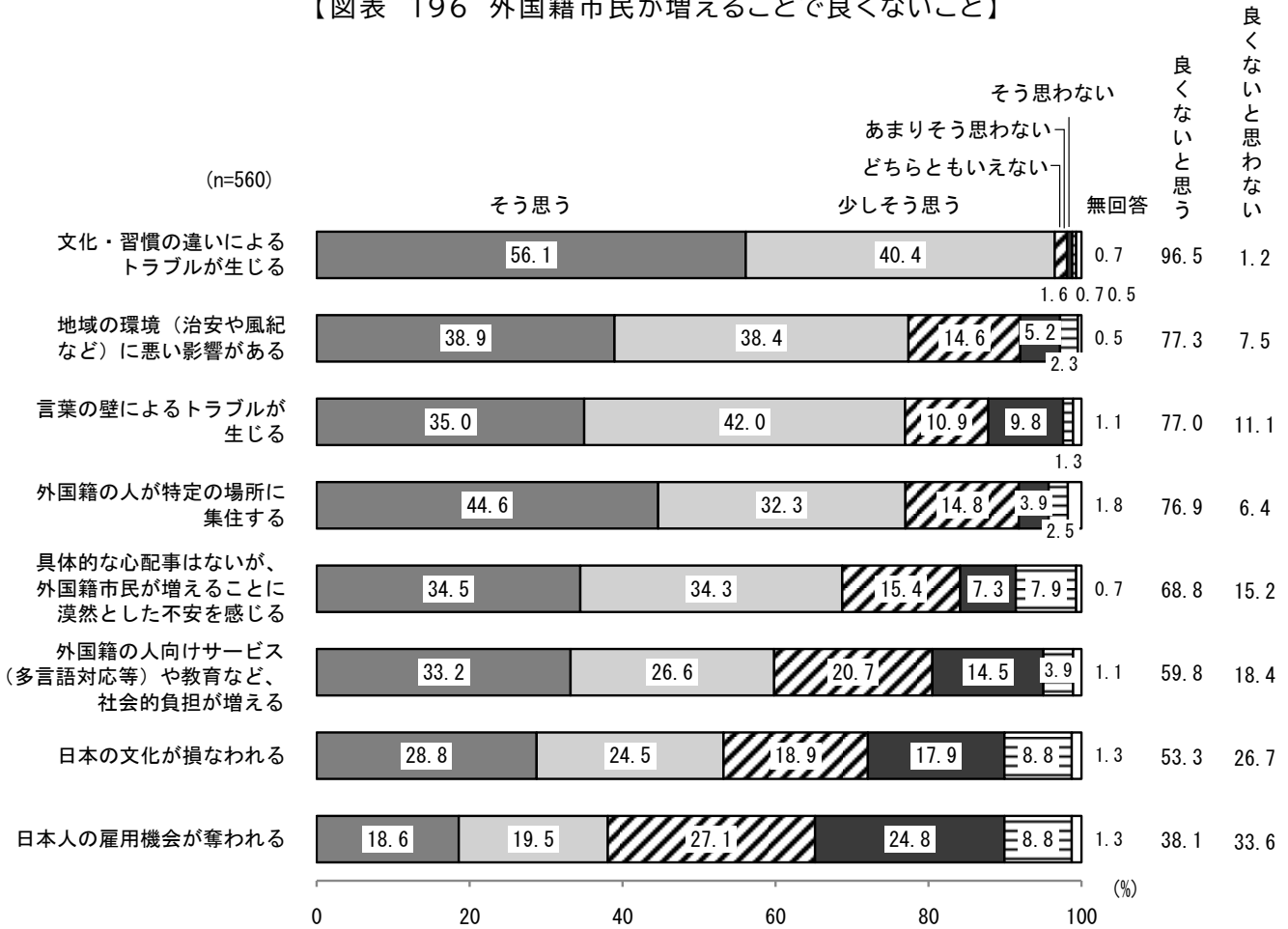
【図表 195 外国籍市民が増えることで良くないと感じることはあるか(属性特徴)】

	n	属性特徴 (%)							『良くないと感じることがある』 (%)	『良くないと感じることがない』 (%)
		とてもある	ややある	どちらともいえない、わからない	あまりない	ない	無回答	『良くないと感じることがある』 (%)		
全体	1,188	145	415	376	112	39	101	560	151	
		100	12.2	34.9	31.6	9.4	3.3	8.5	47.1	12.7
年齢	18歳～19歳	14	0	71.4	7.1	0	7.1	14.3	71.4	7.1
	20歳～29歳	99	17.2	48.5	21.2	7.1	4.0	2.0	65.7	11.1
	30歳～39歳	109	22.0	43.1	20.2	8.3	1.8	4.6	65.1	10.1
	40歳～49歳	180	21.1	38.3	23.9	8.3	3.3	5.0	59.4	11.6
	50歳～59歳	206	14.6	33.0	34.0	8.3	2.4	7.8	47.6	10.7
	60歳～69歳	205	9.3	40.0	30.2	6.3	2.4	11.7	49.3	8.7
	70歳～79歳	247	4.0	26.3	40.9	12.1	5.3	11.3	30.3	17.4
	80歳以上	121	5.0	19.8	43.0	17.4	2.5	12.4	24.8	19.9
外国人との交流	親しく交流する人がいる	170	9.4	40.0	21.2	13.5	4.1	11.8	49.4	17.6
	個人的な話をする人がいる	107	8.4	50.5	18.7	8.4	4.7	9.3	58.9	13.1
	挨拶をする人がいる	223	10.8	40.8	26.9	9.4	3.6	8.5	51.6	13.0
	インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる	56	19.6	53.6	17.9	7.1	0	1.8	73.2	7.1
	外国人との付き合いはない	747	12.6	31.9	35.5	9.9	3.2	7.0	44.5	13.1
近所の外国籍の有無	多く住んでいる	83	27.7	27.7	26.5	4.8	6.0	7.2	55.4	10.8
	多少住んでいる	506	14.4	37.7	25.9	9.9	4.2	7.9	52.1	14.1
	住んでいない	228	6.1	36.8	34.6	11.4	0.9	10.1	42.9	12.3
	わからない	365	9.6	31.8	38.9	8.8	3.0	7.9	41.4	11.8

[6] 外国籍市民が増えることで良くないこと(単一回答)

外国籍市民が増えることで『良くないと感じることがある』と回答した人に、良くないと思うことをたずねたところ、「そう思う」と「少しそう思う」を合わせた『良くないと思う』は「文化・習慣の違いによるトラブルが生じる」(96.5%)が最も多く、次いで、「地域の環境(治安や風紀など)に悪い影響がある」(77.3%)、「言葉の壁によるトラブルが生じる」(77.0%)となっている。

【図表 196 外国籍市民が増えることで良くないこと】



〔7〕地域の外国籍市民との間のトラブル(複数回答)

地域の外国籍市民との間のトラブルについて、『何らかのトラブルがあった』(全回答者から「特にない」と「無回答」を除く)は35.2%となっており、「特にない」は60.4%となっている。

トラブルの内容は、「交通ルールや駐車・駐輪に関すること」(15.9%)が最も多く、次いで、「ゴミの出し方」(14.1%)、「家や部屋からの騒音」(12.5%)となっている。

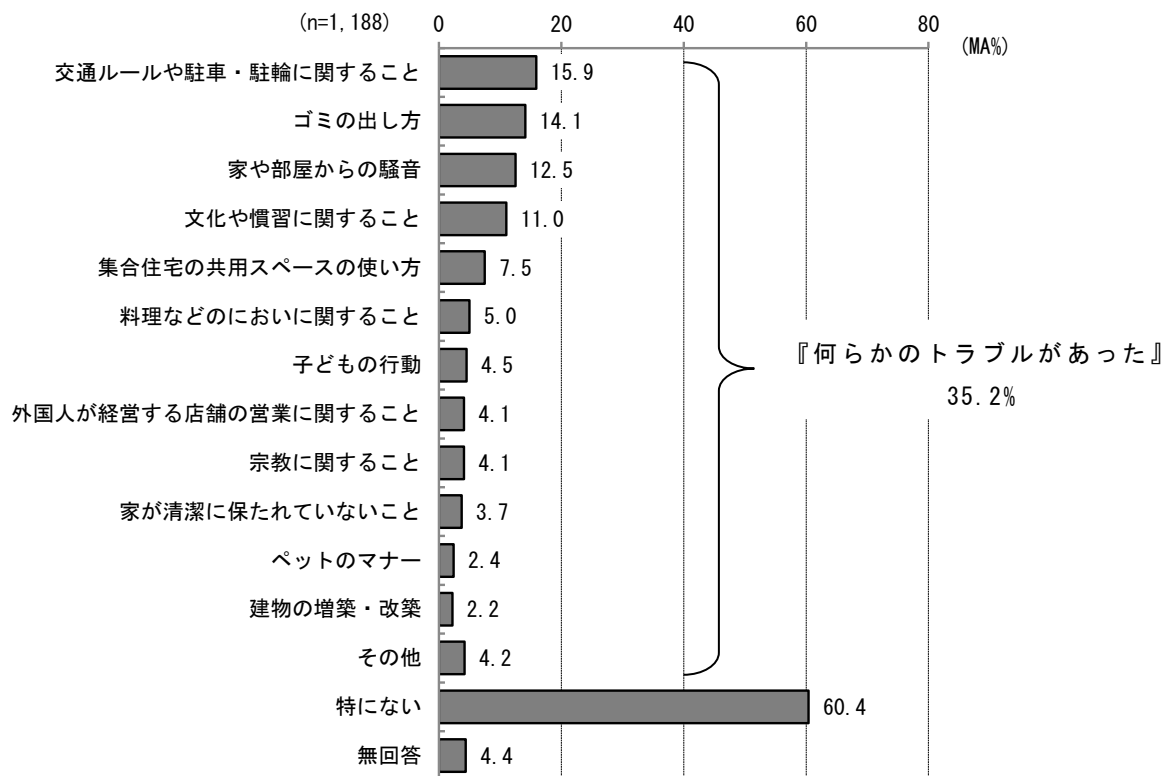
居住地域別にみると、「交通ルールや駐車・駐輪に関すること」の割合は、南区(22.5%)が最も高く、次いで、右京区(18.4%)、伏見区(17.8%)となっている。また、「ゴミの出し方」の割合は、東山区(32.1%)が最も高く、次いで、下京区(24.6%)、左京区、南区(それぞれ18.3%)となっている。

年齢別にみると、『何らかのトラブルがあった』の割合は、30歳～39歳(51.4%)、20歳～29歳(48.5%)が高くなっており、中でも、30歳～39歳で「交通ルールや駐車・駐輪に関すること」、「家や部屋からの騒音」(それぞれ24.8%)、20歳～29歳で「交通ルールや駐車・駐輪に関すること」(24.2%)が最も高くなっている。

職業別にみると、『何らかのトラブルがあった』は、学生(50.0%)が最も高く、「交通ルールや駐車・駐輪に関すること」、「文化や慣習に関すること」がそれぞれ25.0%となっている。

近所の外国籍の人の有無別にみると、『何らかのトラブルがあった』の割合は、多く住んでいる(57.8%)と多少住んでいる(45.6%)で高くなっている。また、「家や部屋からの騒音」の割合は、多く住んでいる(31.3%)が最も高くなっている。

【図表 197 地域の外国籍市民との間のトラブル】



※『何らかのトラブルがあった』は全回答者から「特にない」と「無回答」を除いた割合

Ⅲ-2 外国籍市民との共生に関するアンケートの結果

【図表 198 地域の外国籍市民との間のトラブル(属性特徴)】

		n	駐 交 通 ル ン ル ヤ 駐 車 ・ 輸 送 に 関 す る こ と	コ ミ の 出 し 方	家 や 部 屋 か ら の 騒 音	と 文 化 や 慣 習 に 関 す る こ と	集 合 住 宅 の 共 用 ス ペ ー ス の 使 い 方	料 理 な ど の に お い に 関 す る こ と	子 ど も の 行 動	店 舗 の 営 業 に 関 す る こ と	外 国 人 が 経 営 す る 店 舗 の 営 業 に 関 す る こ と	宗 教 に 関 す る こ と	家 が 清 潔 に 保 た れ て い な い こ と	ペ ッ ト の マ ナ ー	建 物 の 増 築 ・ 改 築	そ の 他	特 に な い	無 回 答	あ ら か の ト ラ ブ ル が
全体		1,188	189 15.9	168 14.1	148 12.5	131 11.0	89 7.5	59 5.0	54 4.5	49 4.1	49 4.1	44 3.7	28 2.4	26 2.2	50 4.2	717 60.4	52 4.4	1,084 91.2	
居住地	北区	104	9.6	10.6	12.5	6.7	5.8	4.8	1.9	3.8	5.8	3.8	1.9	2.9	1.9	68.3	3.8	27.9	
	上京区	77	14.3	15.6	7.8	9.1	2.6	3.9	2.6	2.6	0	1.3	0	7.8	61.0	2.6	36.4		
	左京区	142	12.7	18.3	11.3	14.1	4.2	3.5	7.7	3.5	4.9	3.5	2.1	2.1	62.0	2.8	35.2		
	中京区	111	17.1	9.9	12.6	11.7	7.2	3.6	6.3	7.2	3.6	2.7	1.8	1.8	6.3	59.5	2.7	37.8	
	東山区	28	14.3	32.1	14.3	17.9	10.7	10.7	7.1	7.1	7.1	7.1	3.6	7.1	0	57.1	0	42.9	
	山科区	111	14.4	13.5	10.8	7.2	7.2	9.0	1.8	1.8	1.8	3.6	3.6	1.8	0.9	3.6	62.2	4.5	33.3
	下京区	61	19.7	24.6	18.0	6.6	16.4	8.2	9.8	9.8	1.6	8.2	6.6	1.6	4.9	49.2	1.6	49.2	
	南区	71	22.5	18.3	9.9	18.3	9.9	9.9	2.8	5.6	5.6	5.6	2.8	1.4	8.5	54.9	1.4	43.7	
	右京区	158	18.4	9.5	16.5	7.6	7.0	3.2	5.1	2.5	3.2	3.2	1.9	1.9	5.1	62.0	5.1	32.9	
	西京区	117	14.5	6.8	6.0	8.5	4.3	4.3	3.4	4.3	7.7	5.1	2.6	4.3	1.7	67.5	6.0	26.5	
伏見区	202	17.8	15.3	15.3	15.8	11.4	3.5	4.0	3.5	2.5	3.0	2.5	2.5	4.5	55.0	7.9	37.1		
年齢	18歳～19歳	14	7.1	0	7.1	21.4	0	7.1	0	0	7.1	0	7.1	0	0	71.4	0	28.6	
	20歳～29歳	99	24.2	14.1	17.2	20.2	11.1	9.1	8.1	9.1	9.1	3.0	5.1	3.0	3.0	50.5	1.0	48.5	
	30歳～39歳	109	24.8	16.5	24.8	12.8	14.7	6.4	8.3	9.2	6.4	11.0	2.8	3.7	3.7	47.7	0.9	51.4	
	40歳～49歳	180	17.2	17.2	15.6	12.8	8.3	6.1	8.3	5.0	4.4	2.8	1.7	2.8	3.3	58.3	1.1	40.6	
	50歳～59歳	206	16.5	13.6	12.6	10.7	9.2	2.9	3.4	2.9	1.9	2.9	1.5	1.5	5.3	61.7	2.4	35.9	
	60歳～69歳	205	16.1	16.1	12.7	10.7	5.9	6.8	3.9	2.9	4.4	5.4	2.9	1.5	5.4	60.0	4.9	35.1	
	70歳～79歳	247	10.5	11.7	4.9	6.9	4.0	3.2	2.0	2.4	2.4	1.2	2.0	2.0	4.0	69.2	6.5	24.3	
80歳以上	121	9.1	9.9	7.4	7.4	4.1	1.7	1.7	2.5	4.1	2.5	1.7	2.5	4.1	62.8	13.2	24.0		
職業	職業あり	702	18.2	15.1	15.0	11.3	9.0	5.3	5.6	4.6	4.4	4.4	2.4	2.0	3.7	58.8	2.7	38.5	
	学生	48	25.0	12.5	14.6	25.0	8.3	8.3	4.2	10.4	8.3	2.1	6.3	2.1	0	50.0	0	50.0	
	職業なし	396	11.1	11.9	7.6	8.8	4.8	4.3	2.5	2.8	3.0	2.5	1.8	2.8	5.3	65.2	7.1	27.7	
外国人の有無	多く住んでいる	83	26.5	27.7	31.3	22.9	22.9	10.8	12.0	14.5	4.8	9.6	3.6	3.6	7.2	41.0	1.2	57.8	
	多少住んでいる	506	20.4	20.0	16.4	13.4	9.7	6.5	6.5	5.1	5.5	4.3	4.0	3.2	4.3	51.2	3.2	45.6	
	住んでいない わからない	228	9.6	7.5	7.0	7.0	4.8	3.1	1.8	0.9	2.2	3.5	1.3	0.9	3.5	69.7	7.5	22.8	
	365	11.5	7.1	6.3	7.7	2.7	2.5	2.5	1.9	2.5	3.3	1.6	0.5	1.4	3.8	72.3	4.1	23.6	

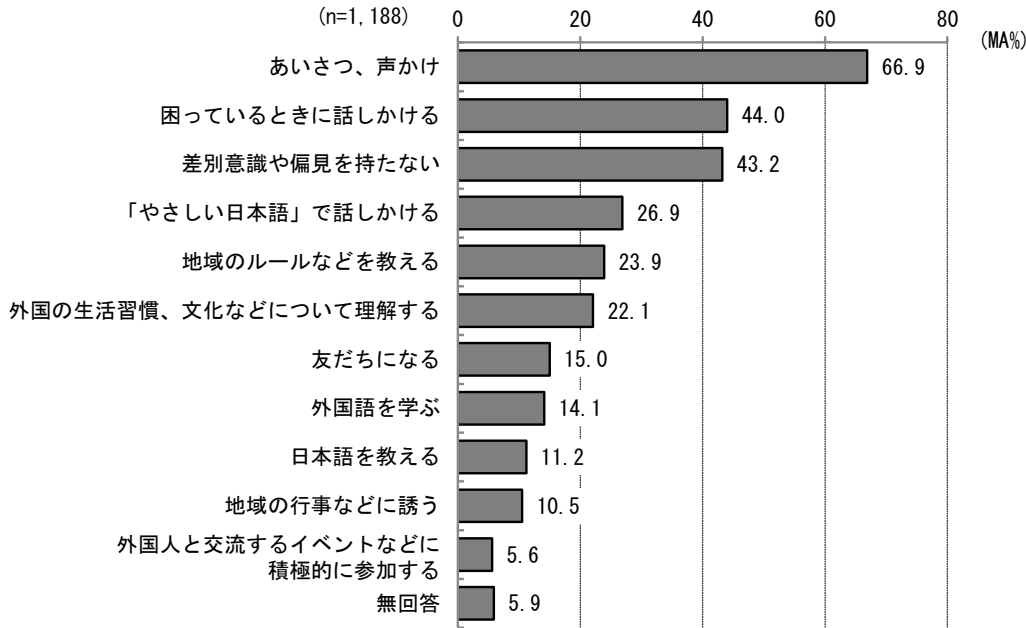
Ⅲ-2 外国籍市民との共生に関するアンケートの結果

〔8〕外国籍市民に対してできること(複数回答)

外国籍市民に対してできることは、「あいさつ、声かけ」(66.9%)が最も多く、次いで、「困っているときに話しかける」(44.0%)、「差別意識や偏見を持たない」(43.2%)となっている。

ほとんどの属性で「あいさつ、声かけ」の割合が最も高くなっているが、外国人との交流別にみると、「インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる」で、「困っているときに話しかける」(64.3%)の割合が最も高くなっている。

【図表 199 外国籍市民に対してできること】



【図表 200 外国籍市民に対してできること(属性特徴)】

属性	n	できること (MA%)												
		あいさつ、声かけ	困っているときに話しかける	差別意識や偏見を持たない	「やさしい日本語」で話しかける	地域のルールなどを教える	外国の生活習慣、文化などについて理解する	友だちになる	外国語を学ぶ	日本語を教える	地域の行事などに誘う	外国人と交流するイベントなどに積極的に参加する	無回答	
全体	1,188	795	523	513	320	284	263	178	168	133	125	67	70	
	100	66.9	44.0	43.2	26.9	23.9	22.1	15.0	14.1	11.2	10.5	5.6	5.9	
年齢	18歳～19歳	14	57.1	42.9	50.0	42.9	28.6	35.7	35.7	42.9	28.6	21.4	7.1	0
	20歳～29歳	99	48.5	41.4	46.5	32.3	32.3	26.3	19.2	22.2	13.1	7.1	7.1	5.1
	30歳～39歳	109	53.2	37.6	43.1	20.2	21.1	24.8	20.2	23.9	9.2	6.4	9.2	7.3
	40歳～49歳	180	63.3	48.3	51.1	28.9	30.6	27.2	17.2	17.2	13.3	11.7	8.3	5.0
	50歳～59歳	206	71.4	54.4	44.7	31.1	22.8	23.8	18.9	15.5	13.6	12.1	4.9	2.9
	60歳～69歳	205	70.7	48.3	44.4	27.3	23.9	23.4	13.2	10.7	13.7	10.7	5.4	3.4
	70歳～79歳	247	72.9	36.0	38.1	23.5	19.0	17.4	7.3	6.9	6.1	9.7	1.2	8.5
	80歳以上	121	73.6	35.5	33.9	22.3	19.0	11.6	12.4	8.3	7.4	12.4	6.6	11.6
職業	職業あり	702	65.5	46.7	45.9	27.9	23.2	24.5	16.2	15.8	11.7	10.4	6.0	4.4
	学生	48	56.3	43.8	52.1	33.3	29.2	29.2	29.2	16.7	12.5	8.3	2.1	
	職業なし	396	69.9	37.9	36.4	23.5	22.0	15.7	10.4	9.3	9.1	9.3	3.8	9.1
外国人との交流	親しく交流する人がある	170	75.9	67.1	58.8	41.2	40.0	47.6	41.2	27.6	27.1	27.1	15.9	2.9
	個人的な話をする人がある	107	61.7	58.9	57.0	40.2	38.3	48.6	40.2	31.8	29.9	20.6	14.0	4.7
	挨拶をする人がある	223	74.4	50.7	53.4	35.4	29.6	35.4	22.0	23.3	18.4	16.6	6.3	3.1
	インターネットやSNSだけの付き合いの人がある	56	51.8	64.3	51.8	41.1	44.6	42.9	35.7	25.0	21.4	16.1	12.5	7.1
	外国人との付き合いはない	747	65.6	38.7	39.6	22.8	19.9	14.5	9.2	10.2	7.1	7.1	4.0	6.6
外国人の有無(近所の)	多く住んでいる	83	50.6	32.5	37.3	22.9	27.7	24.1	16.9	12.0	8.4	13.3	6.0	10.8
	多少住んでいる	506	68.2	47.4	43.9	29.2	26.3	25.3	17.0	16.8	13.0	12.3	7.1	4.5
	住んでいない	228	72.4	47.8	48.2	30.3	21.5	21.9	16.7	14.0	12.7	12.3	5.3	4.8
	わからない	365	66.0	39.7	40.8	22.7	21.1	17.5	10.7	11.0	8.2	6.3	3.6	6.3

〔9〕外国籍市民に望むこと(複数回答)

外国籍市民に望むことは、「日本の習慣、生活ルールを理解し、行動してほしい」(84.9%)が最も多く、次いで、「日常的にあいさつするなどのコミュニケーションをとってほしい」(40.8%)、「日本文化を学んでほしい」(40.4%)となっている。

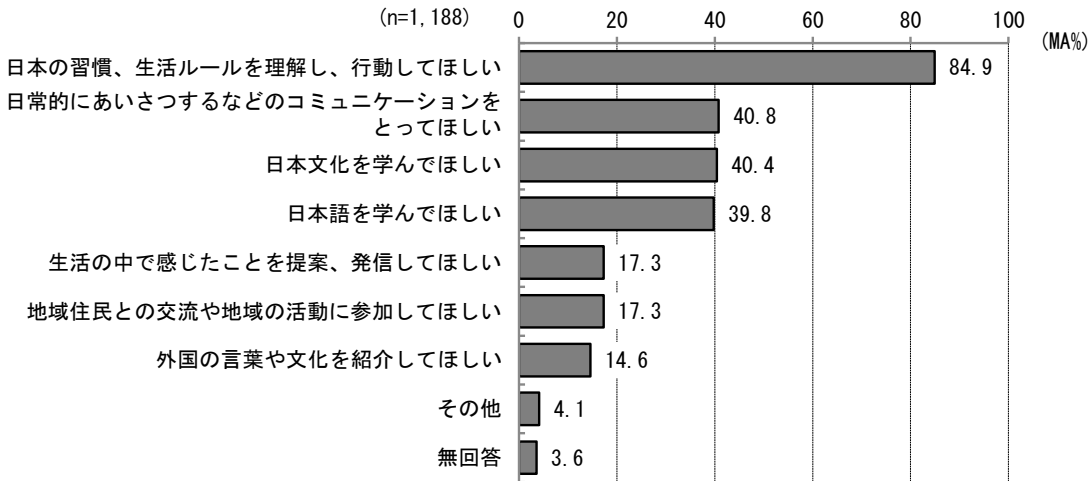
すべての属性で「日本の習慣、生活ルールを理解し、行動してほしい」の割合が最も高くなっている。

年齢別にみると、「日常的にあいさつするなどのコミュニケーションをとってほしい」の割合は、他の年代と比べ、50歳以上で高くなっている。

外国人との交流別にみると、「日本の習慣、生活ルールを理解し、行動してほしい」の割合は、「インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる」(89.3%)が最も高くなっている。

近所の外国籍の人の有無別にみると、「日常的にあいさつするなどのコミュニケーションをとってほしい」の割合は、多く住んでいる(26.5%)が他と比べ、低くなっている。

【図表 201 外国籍市民に望むこと】



【図表 202 外国籍市民に望むこと(属性特徴)】

	n	理 解 し 、 行 動 し て ほ し い	日 常 的 に あ い さ つ す る な ど の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を と っ て ほ し い	日 本 文 化 を 学 ん で ほ し い	日 本 語 を 学 ん で ほ し い	生 活 中 で 感 じ た こ と を 提 案 、 発 信 し て ほ し い	活 動 に 参 加 し て ほ し い 地 域 の 交 流 や 地 域 の 活 動	外 国 の 言 語 や 文 化 を 紹 介 し て ほ し い	そ の 他	無 回 答
全体	1,188	1,009	485	480	473	206	205	173	49	43
	100	84.9	40.8	40.4	39.8	17.3	17.3	14.6	4.1	3.6
年 齢	18歳～19歳	14	92.9	28.6	50.0	42.9	7.1	7.1	0	7.1
	20歳～29歳	99	83.8	26.3	46.5	38.4	14.1	8.1	18.2	6.1
	30歳～39歳	109	87.2	33.9	50.5	45.0	14.7	11.0	16.5	5.5
	40歳～49歳	180	87.8	30.0	44.4	45.0	20.6	15.0	17.2	4.4
	50歳～59歳	206	88.3	49.0	38.8	39.3	19.9	19.9	15.0	2.4
	60歳～69歳	205	87.3	41.5	38.0	40.0	20.5	15.6	12.7	4.9
	70歳～79歳	247	84.6	45.3	34.8	37.7	15.4	21.5	12.6	4.0
	80歳以上	121	71.1	52.1	37.2	33.9	13.2	24.0	13.2	3.3
職 業	職業あり	702	86.3	38.7	41.7	40.3	17.9	14.5	15.0	3.8
	学生	48	81.3	33.3	50.0	39.6	14.6	10.4	18.8	2.1
	職業なし	396	83.1	44.9	35.9	38.4	15.2	21.0	12.6	4.5
と の 交 流	親しく交流する人がいる	170	82.4	53.5	48.8	47.6	35.9	31.8	29.4	8.2
	個人的な話をする人がいる	107	82.2	51.4	54.2	52.3	32.7	26.2	29.9	6.5
	挨拶をする人がいる	223	82.5	41.3	47.1	43.9	22.0	22.0	19.3	3.1
	インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる	56	89.3	37.5	57.1	46.4	25.0	21.4	23.2	12.5
外国人との付き合いはない	747	87.1	39.9	36.3	37.5	14.5	13.8	11.9	3.1	
人 の 有 無	多く住んでいる	83	80.7	26.5	42.2	38.6	13.3	18.1	9.6	14.5
	多少住んでいる	506	85.0	44.5	41.9	43.9	20.9	18.6	16.8	4.0
	住んでいない	228	82.5	45.2	40.4	37.7	14.0	18.0	14.9	3.1
	わからない	365	87.7	36.4	37.8	35.6	15.1	14.5	12.1	2.7

Ⅲ-2 外国籍市民との共生に関するアンケートの結果

[10]「やさしい日本語」の認知度(単一回答)

「やさしい日本語」の認知度は、「知っていて使ったことがある」と「知っているが使っていない」を合わせた『認知している』は21.1%となっており、「聞いたことはあるが内容は知らない」と「知らない」を合わせた『認知していない』は73.8%となっている。

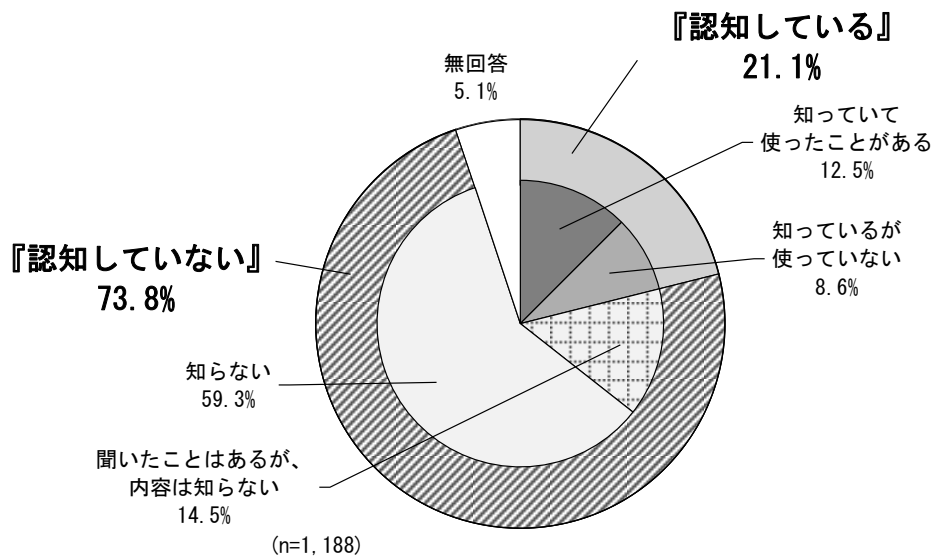
年齢別にみると、『認知している』の割合は、20歳～29歳(32.3%)が最も高くなっている。

職業別にみると、『認知している』の割合は、学生(31.2%)が最も高くなっている。

外国人との交流別にみると、『認知している』の割合は、「親しく交流する人がいる」が41.8%である一方、「外国人との付き合いはない」は15.7%となっている。

近所の外国籍の人の有無別にみると、『認知していない』の割合は、住んでいない(78.0%)が最も高くなっている。

【図表 203 「やさしい日本語」の認知度】



【図表 204 「やさしい日本語」の認知度(属性特徴)】

		n	知っていて使った	知っているが使っていない	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答	認知している	認知していない	
全体		1,188	149	102	172	705	60	251	877	
			100	12.5	8.6	14.5	59.3	5.1	21.1	73.8
年齢	18歳～19歳	14	14.3	7.1	7.1	64.3	7.1	21.4	71.4	
	20歳～29歳	99	22.2	10.1	14.1	52.5	1.0	32.3	66.6	
	30歳～39歳	109	12.8	11.0	17.4	58.7	0	23.8	76.1	
	40歳～49歳	180	12.8	8.9	13.3	63.9	1.1	21.7	77.2	
	50歳～59歳	206	18.9	7.3	18.0	54.9	1.0	26.2	72.9	
	60歳～69歳	205	10.7	9.8	9.3	68.3	2.0	20.5	77.6	
	70歳～79歳	247	6.1	9.3	14.6	59.5	10.5	15.4	74.1	
	80歳以上	121	8.3	4.1	18.2	52.1	17.4	12.4	70.3	
職業	職業あり	702	15.4	8.7	15.0	59.1	1.9	24.1	74.1	
	学生	48	20.8	10.4	12.5	54.2	2.1	31.2	66.7	
	職業なし	396	6.3	7.3	13.9	62.1	10.4	13.6	76.0	
外国人との交流	親しく交流する人がいる	170	31.8	10.0	14.1	41.2	2.9	41.8	55.3	
	個人的な話をする人がいる	107	28.0	9.3	13.1	46.7	2.8	37.3	59.8	
	挨拶をする人がいる	223	22.0	7.2	13.9	52.9	4.0	29.2	66.8	
	インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる	56	19.6	16.1	12.5	51.8	0	35.7	64.3	
	外国人との付き合いはない	747	6.6	9.1	14.5	64.9	5.0	15.7	79.4	
近所の外国籍の有無	多く住んでいる	83	16.9	8.4	10.8	61.4	2.4	25.3	72.2	
	多少住んでいる	506	16.0	9.7	14.8	55.3	4.2	25.7	70.1	
	住んでいない	228	8.8	6.6	19.7	58.3	6.6	15.4	78.0	
	わからない	365	9.3	8.2	11.2	65.5	5.8	17.5	76.7	

〔11〕京都市に望むこと(複数回答)

共生社会の実現に向けた京都市に望むことは、「外国籍市民が日本文化を学ぶ機会を増やす」(49.7%)が最も多く、次いで、「外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす」(48.9%)、「外国人への差別や偏見がなくなるようにする」(41.3%)となっている。

年齢別にみると、20歳から59歳で「外国籍市民が日本文化を学ぶ機会を増やす」の割合が最も高く、60歳以上で「外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす」が最も高くなっている。

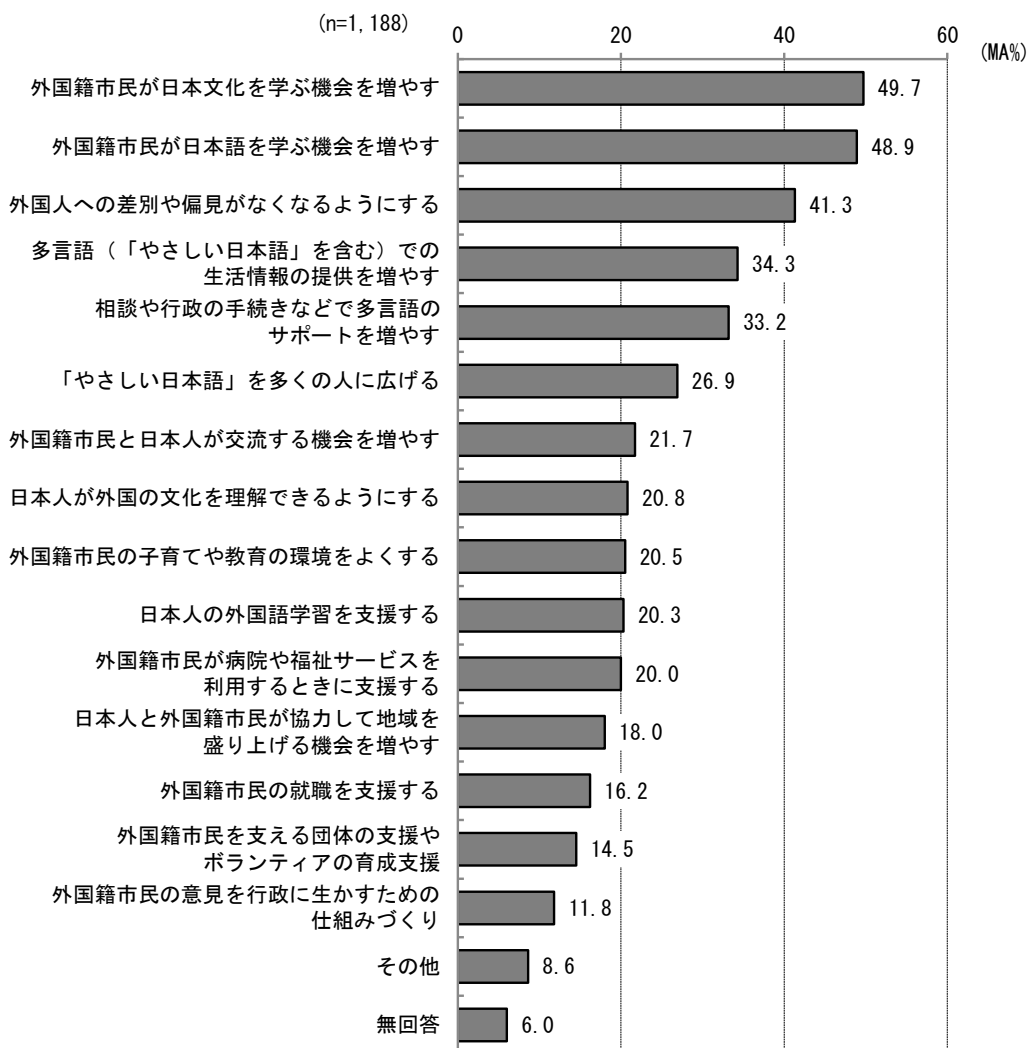
職業別にみると、「外国籍市民が日本文化を学ぶ機会を増やす」の割合は、学生(58.3%)が最も高くなっている。

外国人との交流別にみると、交流の度合いが深いほど「外国人への差別や偏見がなくなるようにする」の割合が高くなっている。

近所の外国籍の人の有無別にみると、「外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす」の割合は、多く住んでいる(36.1%)が他と比べ、低くなっている。

外国籍市民との間に『何らかのトラブルがあった』と回答した人は、「外国籍市民が日本文化を学ぶ機会を増やす」(58.5%)の割合が最も高く、次いで、「外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす」(45.3%)、「多言語(「やさしい日本語」を含む)での生活情報の提供を増やす」(31.5%)となっている。

【図表 205 京都市に望むこと】



Ⅲ-2 外国籍市民との共生に関するアンケートの結果

【図表 206 京都市に望むこと(属性特徴)】

	n	外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす	外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす	外国人への差別や偏見がなくなるようにする	多言語(「やさしい日本語」を含む)での生活情報の提供を増やす	多言語のサポートを増やす	相談や行政のサポートを増やす	「やさしい日本語」を多くの人に広げる	外国籍市民と日本人が交流する機会を増やす	日本人が外国の文化を理解できるようにする	外国人市民の子育てや教育の環境をよくする	日本人の外国語学習を支援する	外国人市民が病院や福祉サービスを利用するときに支援する	外国人市民が就職を支援する	外国人市民の就職を支援する	日本人と外国籍市民が協力して地域を盛り上げる機会を増やす	外国籍市民が病院や福祉サービスを利用するときに支援する	外国人市民の就職を支援する	外国人市民を支える団体の育成やボランティアの育成	外国籍市民の意見を行政に生かすための仕組みづくり	その他	無回答	
全体	1,188	591	581	491	408	395	320	258	247	243	241	238	214	193	172	140	102	71					
	100	49.7	48.9	41.3	34.3	33.2	26.9	21.7	20.8	20.5	20.3	20.0	18.0	16.2	14.5	11.8	8.6	6.0					
年齢	18歳~19歳	14	42.9	42.9	64.3	42.9	14.3	14.3	7.1	21.4	21.4	7.1	14.3	7.1	21.4	7.1	14.3	7.1	14.3	0	14.3		
	20歳~29歳	99	51.5	39.4	39.4	30.3	24.2	14.1	15.2	18.2	12.1	22.2	12.1	13.1	14.1	8.1	9.1	14.1	1.0	14.1	1.0		
	30歳~39歳	109	56.9	43.1	34.9	30.3	36.7	19.3	20.2	21.1	13.8	22.9	13.8	12.8	15.6	10.1	9.2	11.9	4.6	11.9	4.6		
	40歳~49歳	180	55.0	48.9	37.2	37.8	31.7	24.4	22.2	22.2	15.6	25.0	13.9	15.0	12.8	11.1	12.2	9.4	3.3	12.2	9.4	3.3	
	50歳~59歳	206	51.0	49.0	42.2	34.0	36.4	28.2	29.1	27.7	23.8	25.7	23.3	22.8	18.0	16.0	13.1	11.2	2.9	13.1	11.2	2.9	
	60歳~69歳	205	47.8	48.8	39.5	38.0	35.6	33.7	19.0	20.0	22.0	20.5	21.0	15.6	16.1	15.1	9.8	9.8	2.4	9.8	9.8	2.4	
	70歳~79歳	247	50.6	57.5	49.4	34.4	36.0	28.3	21.1	17.8	26.3	15.0	26.3	19.8	18.6	17.4	15.4	4.5	7.3	15.4	4.5	7.3	
	80歳以上	121	35.5	47.1	38.0	28.9	27.3	32.2	23.1	15.7	19.8	13.2	23.1	24.8	14.9	19.0	9.1	3.3	20.7	9.1	3.3	20.7	
職業	職業あり	702	52.6	49.0	38.5	34.2	32.8	25.9	23.5	23.6	19.5	22.2	19.5	17.9	16.2	13.1	11.5	9.3	3.4	11.5	9.3	3.4	
	学生	48	53.3	41.7	47.9	29.2	18.8	12.5	8.3	25.0	12.5	22.9	12.5	12.5	16.7	10.4	12.5	10.4	4.2	12.5	10.4	4.2	
	職業なし	396	44.7	50.3	44.9	34.8	34.8	29.8	20.7	15.4	22.2	17.4	21.2	19.2	15.2	15.9	12.4	6.8	10.4	12.4	6.8	10.4	
外国人との交流	親しく交流する人がいる	170	50.0	47.6	52.9	42.4	42.4	36.5	35.3	37.6	30.6	25.9	30.6	32.4	27.6	23.5	21.2	13.5	3.5	21.2	13.5	3.5	
	個人的な話をする人がいる	107	54.2	50.5	52.3	36.4	36.4	25.2	34.6	28.0	23.4	27.1	24.3	25.2	21.5	21.5	15.9	15.9	1.9	15.9	15.9	1.9	
	挨拶をする人がいる	223	59.2	52.9	44.8	43.0	39.0	26.0	26.0	27.4	24.7	23.3	22.9	20.6	22.4	18.4	14.8	8.1	3.6	14.8	8.1	3.6	
	インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる	56	62.5	51.8	41.1	37.5	35.7	35.7	32.1	37.5	25.0	25.0	23.2	23.2	26.8	23.2	23.2	16.1	1.8	23.2	16.1	1.8	
	外国人との付き合いはない	747	47.8	49.9	39.8	32.0	32.3	26.8	18.9	17.4	19.4	19.4	19.4	15.8	14.1	12.6	10.0	7.6	6.4	10.0	7.6	6.4	
外国人との間に何らかのトラブルがあった	多く住んでいる	83	49.4	36.1	33.7	21.7	21.7	22.9	14.5	18.1	12.0	12.0	14.5	10.8	14.5	13.3	7.2	16.9	4.8	13.3	7.2	16.9	4.8
	多少住んでいる	506	52.2	49.2	41.5	41.3	34.6	26.9	24.5	25.5	21.9	24.7	18.6	20.4	17.6	13.0	13.6	9.7	4.2	13.6	9.7	4.2	
	住んでいない	228	50.4	50.0	48.7	26.8	33.3	28.5	25.4	15.8	20.2	15.4	20.2	19.7	14.9	14.9	10.5	4.8	9.6	14.9	10.5	4.8	
	わからない	365	46.3	50.4	38.1	32.3	34.0	26.6	17.0	17.8	20.3	19.2	23.0	15.1	15.3	16.2	11.0	7.7	6.3	11.0	7.7	6.3	
外国人との間に何らかのトラブルがあった	419	58.5	45.3	29.8	31.5	26.0	24.6	17.9	18.6	15.8	20.5	13.6	16.0	11.7	11.0	8.8	16.2	4.5	11.0	8.8	16.2	4.5	

4 国際交流の経験、関心・希望について

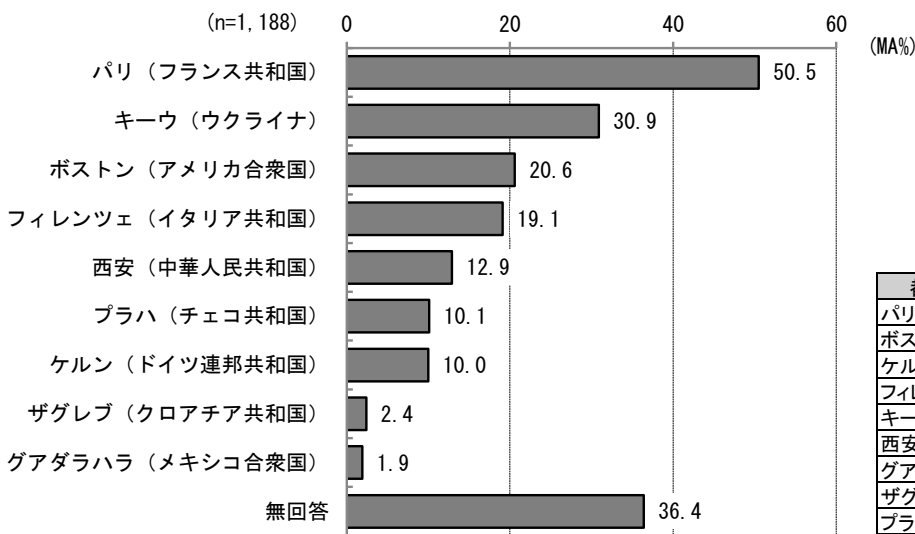
〔1〕姉妹都市の認知度（複数回答）

京都市と姉妹都市関係である都市の認知度は、「パリ(フランス共和国)」(50.5%)が最も多く、次いで、「キーウ(ウクライナ)」(30.9%)、「ボストン(アメリカ合衆国)」(20.6%)となっている。

年齢別にみると、60歳～69歳、70歳～79歳が他の年代と比べ、各姉妹都市の認知度が高い傾向にある。一方、49歳以下が他と比べ、認知度が低い傾向にある。

職業別にみると、職業なしでほとんどの姉妹都市の認知度が他と比べ、高い傾向がある。

【図表 207 姉妹都市の認知度】



京都市姉妹都市一覧(提携順)

都市名	国名	提携年
パリ	フランス共和国	昭和33年(1958年)
ボストン	アメリカ合衆国	昭和34年(1959年)
ケルン	ドイツ連邦共和国	昭和38年(1963年)
フィレンツェ	イタリア共和国	昭和40年(1965年)
キーウ	ウクライナ	昭和46年(1971年)
西安	中華人民共和国	昭和49年(1974年)
グアダラハラ	メキシコ合衆国	昭和55年(1980年)
ザグレブ	クロアチア共和国	昭和56年(1981年)
プラハ	チェコ共和国	平成8年(1996年)

【図表 208 姉妹都市の認知度(属性特徴)】

	n	(パリ (フランス共和国))	(キーウ (ウクライナ))	(ボストン (アメリカ合衆国))	(フィレンツェ (イタリア共和国))	(西安 (中華人民共和国))	(プラハ (チェコ共和国))	(ケルン (ドイツ連邦共和国))	(ザグレブ (クロアチア共和国))	(グアダラハラ (メキシコ合衆国))	無回答	
全体	1,188	600	367	245	227	153	120	119	29	22	433	
	100	50.5	30.9	20.6	19.1	12.9	10.1	10.0	2.4	1.9	36.4	
年齢	18歳～19歳	14	57.1	14.3	7.1	7.1	14.3	7.1	14.3	0	0	35.7
	20歳～29歳	99	43.4	19.2	16.2	9.1	9.1	5.1	5.1	0	0	44.4
	30歳～39歳	109	39.4	15.6	6.4	11.9	2.8	6.4	0.9	0	0	50.5
	40歳～49歳	180	47.8	28.3	15.0	15.6	11.7	11.7	6.7	2.8	1.1	36.7
	50歳～59歳	206	51.9	32.0	17.0	18.4	12.6	9.7	9.7	5.3	3.4	35.4
	60歳～69歳	205	58.0	37.6	22.4	22.9	14.1	9.8	12.2	1.5	1.5	26.3
	70歳～79歳	247	55.1	38.5	30.8	25.9	15.8	13.4	15.4	2.8	3.6	32.8
	80歳以上	121	47.1	32.2	29.8	21.5	19.0	10.7	13.2	2.5	0.8	40.5
職業	職業あり	702	49.9	29.9	17.2	17.4	11.7	9.0	7.8	2.3	1.3	35.8
	学生	48	60.4	20.8	14.6	10.4	10.4	6.3	8.3	0	0	33.3
	職業なし	396	50.5	33.3	26.3	22.2	15.2	11.6	13.4	2.5	2.3	37.9

〔2〕国際交流事業への参加経験や参加意向(単一回答)

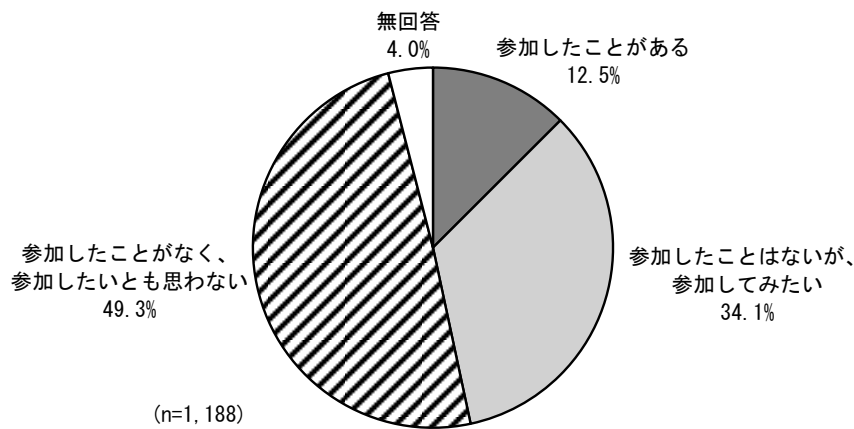
国際交流事業への参加経験や参加意向は、「参加したことがある」が12.5%、「参加したことはないが、参加してみたい」が34.1%、「参加したことがなく、参加したいとも思わない」が49.3%となっている。

年齢別にみると、多くの年代で「参加したことがなく、参加したいとも思わない」の割合が最も高くなっているが、50歳～59歳は「参加したことはないが、参加してみたい」(43.7%)の割合が最も高くなっている。

職業別にみると、学生で「参加したことがある」、「参加したことはないが、参加してみたい」の割合が他と比べ、高くなっている。

語学力別にみると、語学力が高くなるほど、「参加したことがある」、「参加したことはないが、参加してみたい」の割合が高い傾向となっている。

【図表 209 国際交流事業への参加経験や参加意向】



【図表 210 国際交流事業への参加経験や参加意向(属性特徴)】

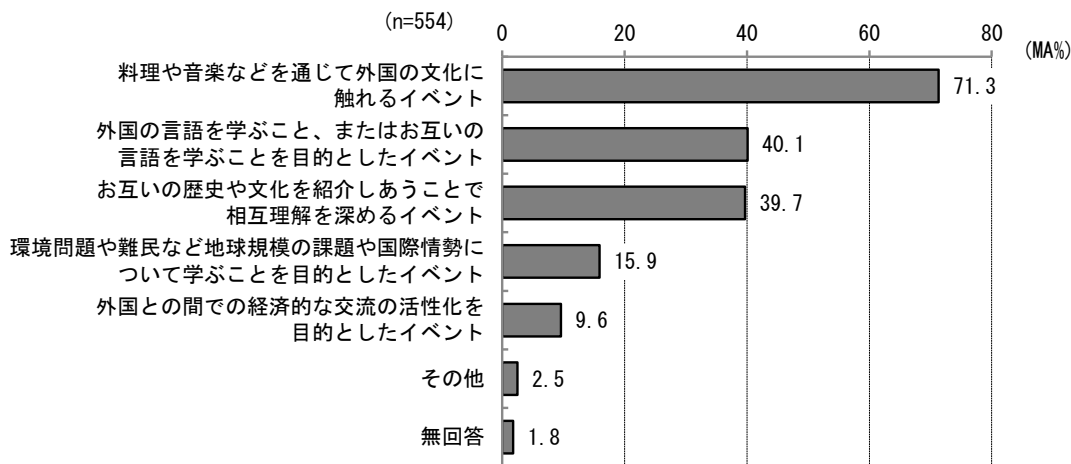
	n	参加したことがある (%)	参加したことはないが、参加してみたい (%)	参加したことがなく、参加したいとも思わない (%)	無回答 (%)
全体	1,188	14.9	34.1	49.3	4.0
年齢					
18歳～19歳	14	21.4	21.4	50.0	7.1
20歳～29歳	99	11.1	40.4	47.5	1.0
30歳～39歳	109	11.0	44.0	45.0	0
40歳～49歳	180	18.9	36.1	45.0	0
50歳～59歳	206	14.1	43.7	40.8	1.5
60歳～69歳	205	14.6	34.1	47.8	3.4
70歳～79歳	247	10.1	27.1	57.5	5.3
80歳以上	121	4.1	18.2	61.2	16.5
職業					
職業あり	702	14.4	38.0	46.2	1.4
学生	48	18.8	41.7	37.5	2.1
職業なし	396	8.3	26.5	56.8	8.3
語学力					
外国語を母語として話す人と同程度	12	66.7	16.7	16.7	0
仕事で使える程度	58	24.1	51.7	24.1	0
日常会話程度	100	32.0	38.0	28.0	2.0
簡単な単語を組み合わせて、なんとか話せる程度	486	14.0	41.6	43.0	1.4
全く話せない	515	5.2	24.9	63.5	6.4

〔3〕関心がある国際交流イベント(複数回答)

国際交流イベントに「参加したことがある」、「参加したことはないが、参加してみたい」と回答した人に関心がある国際交流イベントをたずねたところ、「料理や音楽などを通じて外国の文化に触れるイベント」(71.3%)が最も多く、次いで、「外国の言語を学ぶこと、またはお互いの言語を学ぶことを目的としたイベント」(40.1%)、「お互いの歴史や文化を紹介しあうことで相互理解を深めるイベント」(39.7%)となっている。

年齢別にみると、ほとんどの年代で「料理や音楽などを通じて外国の文化に触れるイベント」の割合が最も高くなっている。また、59歳以下で「外国の言語を学ぶこと、またはお互いの言語を学ぶことを目的としたイベント」が高くなっており、60歳以上で「お互いの歴史や文化を紹介しあうことで相互理解を深めるイベント」の割合が高くなっている。

【図表 211 関心がある国際交流イベント】



【図表 212 関心がある国際交流イベント(属性特徴)】

	n	料理や音楽などを通じて外国の文化に触れるイベント	外国の言語を学ぶこと、またはお互いの言語を学ぶことを目的としたイベント	お互いの歴史や文化を紹介しあうことで相互理解を深めるイベント	環境問題や難民など地球規模の課題や国際情勢について学ぶことを目的としたイベント	外国との間での経済的な交流の活性化を目的としたイベント	その他	無回答
全体	554	395	222	220	88	53	14	10
		71.3	40.1	39.7	15.9	9.6	2.5	1.8
年齢								
18歳~19歳	6	83.3	33.3	33.3	0	0	0	0
20歳~29歳	51	62.7	52.9	39.2	21.6	13.7	2.0	3.9
30歳~39歳	60	68.3	53.3	43.3	15.0	18.3	3.3	0
40歳~49歳	99	78.8	44.4	38.4	19.2	14.1	1.0	1.0
50歳~59歳	119	75.6	37.0	33.6	10.1	5.9	3.4	4.2
60歳~69歳	100	70.0	38.0	39.0	13.0	7.0	2.0	0
70歳~79歳	92	70.7	28.3	40.2	16.3	3.3	3.3	2.2
80歳以上	27	51.9	33.3	66.7	33.3	14.8	3.7	0
職業								
職業あり	368	74.2	42.4	38.6	14.7	10.3	3.0	1.6
学生	29	62.1	44.8	44.8	20.7	13.8	0	3.4
職業なし	138	64.5	34.8	39.9	14.5	6.5	1.4	2.2

[4] kokoka京都市国際交流会館の認知度(単一回答)

kokoka京都市国際交流会館の認知度は、「知っており、利用している(利用したことがある)」と「知っているが利用したことはない」を合わせた『知っている』は36.1%となっており、「知らない」が60.6%となっている。

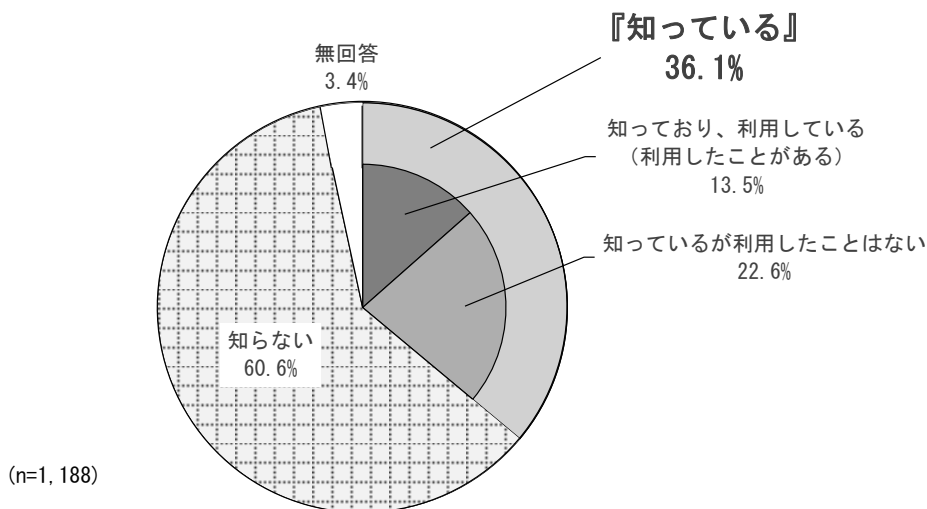
居住地域別にみると、左京区(kokoka京都市国際交流会館の所在地)で『知っている』の割合が57.8%と他の居住地域と比べ、高くなっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど、『知っている』の割合が低い傾向となっている。

職業別にみると、『知っている』の割合は、学生(18.7%)が他と比べ、低くなっている。

外国人との交流別にみると、交流の度合いが深いほど、『知っている』の割合が高くなっている。

【図表 213 kokoka京都市国際交流会館の認知度】



【図表 214 kokoka京都市国際交流会館の認知度】

	n	(知っており、利用したことがある)	知っているが利用した	知らない	無回答	知っている (%)	
全体	1,188	160	268	720	40	428	
	100	13.5	22.6	60.6	3.4	36.1	
居住地域	北区	104	12.5	21.2	62.5	3.8	33.7
	上京区	77	13.0	22.1	63.6	1.3	35.1
	左京区	142	26.1	31.7	40.1	2.1	57.8
	中京区	111	15.3	24.3	58.6	1.8	39.6
	東山区	28	17.9	32.1	42.9	7.1	50.0
	山科区	111	23.4	25.2	47.7	3.6	48.6
	下京区	61	13.1	13.1	67.2	6.6	26.2
	南区	71	5.6	16.9	76.1	1.4	22.5
	右京区	158	8.9	21.5	67.1	2.5	30.4
	西京区	117	6.0	17.1	72.6	4.3	23.1
伏見区	202	9.4	22.8	64.4	3.5	32.2	
年齢	18歳~19歳	14	7.1	0	85.7	7.1	7.1
	20歳~29歳	99	6.1	8.1	83.8	2.0	14.2
	30歳~39歳	109	10.1	9.2	78.0	2.8	19.3
	40歳~49歳	180	16.1	21.7	61.7	0.6	37.8
	50歳~59歳	206	16.0	24.8	56.3	2.9	40.8
	60歳~69歳	205	14.6	25.9	57.1	2.4	40.5
	70歳~79歳	247	13.8	32.0	51.8	2.4	45.8
	80歳以上	121	13.2	23.1	53.7	9.9	36.3
職業	職業あり	702	12.7	21.8	63.2	2.3	34.5
	学生	48	10.4	8.3	77.1	4.2	18.7
	職業なし	396	14.9	25.3	55.3	4.5	40.2
外国人との交流	親しく交流する人がいる	170	24.1	27.6	44.7	3.5	51.7
	個人的な話をする人がいる	107	24.3	21.5	51.4	2.8	45.8
	挨拶をする人がいる	223	21.1	24.2	50.7	4.0	45.3
	インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる	56	12.5	25.0	60.7	1.8	37.5
	外国人との付き合いはない	747	10.6	22.0	65.2	2.3	32.6

〔5〕kokoka京都市国際交流会館を利用しない理由(複数回答)

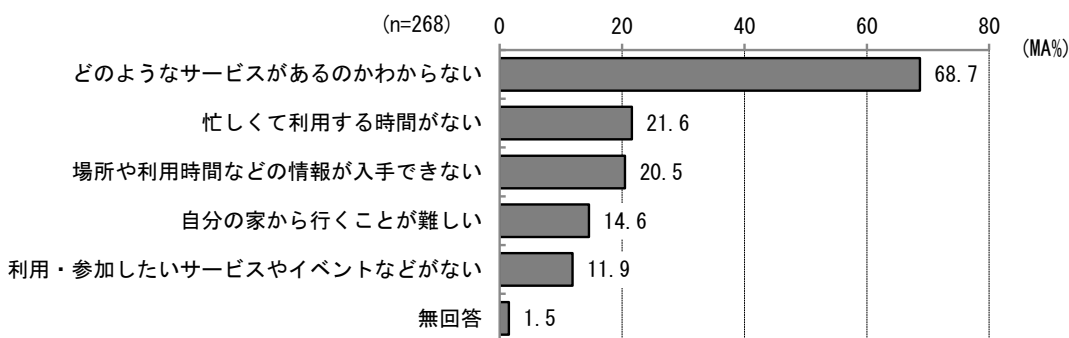
kokoka京都市国際交流会館を「知っているが利用したことはない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「どのようなサービスがあるのかわからない」(68.7%)が最も多く、次いで、「忙しくて利用する時間がない」(21.6%)、「場所や利用時間などの情報が入手できない」(20.5%)となっている。

居住地域別にみると、すべての居住地域で「どのようなサービスがあるのかわからない」の割合が最も高くなっている。

年齢別にみると、「忙しくて利用する時間がない」の割合は69歳以下が70歳以上と比べ、高くなっている。

職業別にみると、「忙しくて利用する時間がない」の割合は、職業あり(28.8%)が他と比べ、高くなっている。

【図表 215 kokoka京都市国際交流会館を利用しない理由】



【図表 216 kokoka京都市国際交流会館を利用しない理由(属性特徴)】

	n	(MA%)						無回答
		どのようなサービスがあるのかわからない	忙しくて利用する時間がない	場所や利用時間などの情報が入手できない	自分の家から行くことが難しい	利用・参加したいサービスやイベントがない		
全体	268	68.7	21.6	20.5	14.6	11.9	1.5	
居住地域	北区	22	45.5	22.7	27.3	9.1	18.2	4.5
	上京区	17	70.6	23.5	17.6	5.9	11.8	0
	左京区	45	84.4	17.8	22.2	8.9	4.4	2.2
	中京区	27	77.8	25.9	18.5	7.4	11.1	0
	東山区	9	77.8	22.2	0	0	11.1	0
	山科区	28	82.1	14.3	32.1	7.1	10.7	0
	下京区	8	87.5	12.5	12.5	25.0	12.5	0
	南区	12	58.3	41.7	16.7	33.3	33.3	0
	右京区	34	47.1	23.5	17.6	38.2	5.9	2.9
	西京区	20	60.0	35.0	5.0	20.0	10.0	5.0
伏見区	46	67.4	15.2	26.1	10.9	17.4	0	
年齢	20歳~29歳	8	37.5	37.5	37.5	12.5	37.5	0
	30歳~39歳	10	50.0	50.0	0	10.0	10.0	0
	40歳~49歳	39	82.1	23.1	20.5	10.3	12.8	0
	50歳~59歳	51	64.7	25.5	11.8	7.8	23.5	2.0
	60歳~69歳	53	81.1	24.5	18.9	15.1	11.3	0
	70歳~79歳	79	65.8	16.5	27.8	17.7	5.1	1.3
	80歳以上	28	57.1	7.1	21.4	25.0	3.6	7.1
職業	職業あり	153	73.2	28.8	14.4	9.2	13.1	0.7
	学生	4	25.0	0	25.0	0	50.0	0
	職業なし	100	65.0	11.0	27.0	23.0	10.0	3.0

※「18歳~19歳」は該当者が0人のため割愛

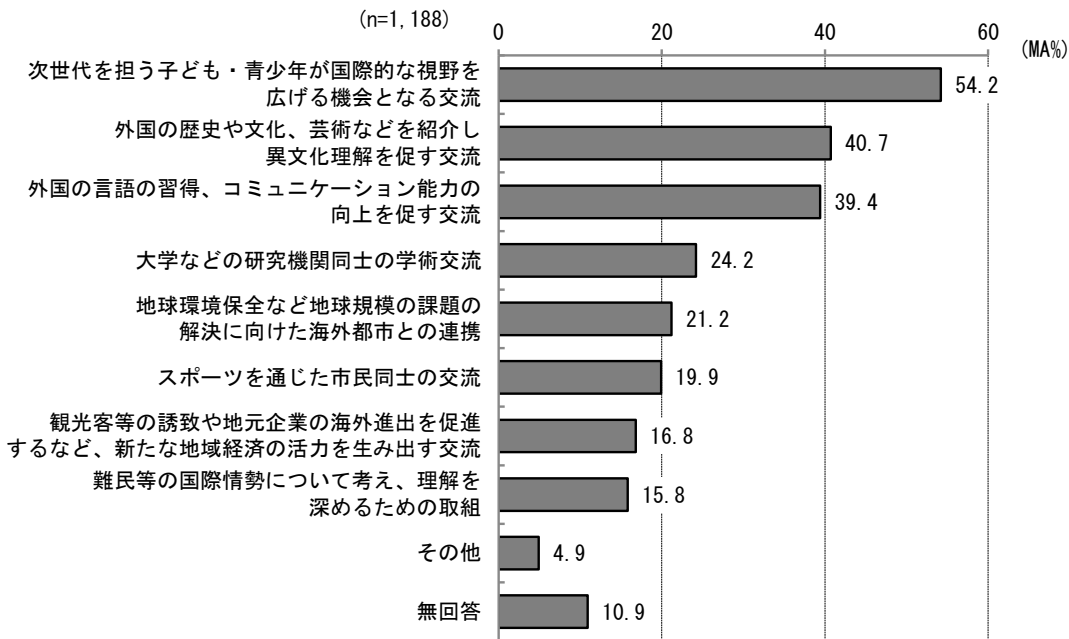
〔6〕京都市が取り組むべき国際交流・国際協力(複数回答)

京都市が取り組むべき国際交流・国際協力は、「次世代を担う子ども・青少年が国際的な視野を広げる機会となる交流」(54.2%)が最も多く、次いで、「外国の歴史や文化、芸術などを紹介し異文化理解を促す交流」(40.7%)、「外国の言語の習得、コミュニケーション能力の向上を促す交流」(39.4%)となっている。

年齢別にみると、ほとんどの年齢で「次世代を担う子ども・青少年が国際的な視野を広げる機会となる交流」の割合が最も高くなっているが、50～59歳では、「外国の言語の習得、コミュニケーション能力の向上を促す交流」(49.0%)の割合が最も高くなっている。

職業別でみると、学生で「大学などの研究機関同士の学術交流」(41.7%)の割合が最も高くなっている。

【図表 217 京都市が取り組むべき国際交流・国際協力】



【図表 218 京都市が取り組むべき国際交流・国際協力(属性特徴)】

	n	次世代を担う子ども・青少年が国際的な視野を広げる機会となる交流	外国の歴史や文化、芸術などを紹介し異文化理解を促す交流	外国の言語の習得、コミュニケーション能力の向上を促す交流	大学などの研究機関同士の学術交流	海外都市との連携	地球環境保全など地球規模の課題の解決に向けた	スポーツを通じた市民同士の交流	観光客等の誘致や地元企業の海外進出を促進するなど、新たな地域経済の活力を生み出す交流	難民等の国際情勢について考え、理解を深めるための取組	その他	無回答
全体	1,188	644	484	468	287	252	236	200	188	58	129	
	100	54.2	40.7	39.4	24.2	21.2	19.9	16.8	15.8	4.9	10.9	
年齢	18歳～19歳	14	35.7	42.9	28.6	35.7	21.4	21.4	21.4	21.4	0	0
	20歳～29歳	99	42.4	31.3	38.4	30.3	19.2	19.2	23.2	12.1	7.1	8.1
	30歳～39歳	109	52.3	41.3	42.2	20.2	15.6	20.2	17.4	11.0	8.3	11.9
	40歳～49歳	180	51.7	37.8	42.2	31.1	18.3	21.7	20.6	16.7	3.3	12.2
	50歳～59歳	206	49.0	42.2	49.0	21.8	18.0	16.5	16.0	14.1	7.3	8.7
	60歳～69歳	205	53.2	44.4	37.6	18.0	21.5	22.4	11.2	12.7	4.4	6.3
	70歳～79歳	247	63.6	40.5	34.8	24.7	28.3	19.0	14.6	21.9	4.0	12.6
	80歳以上	121	63.6	44.6	32.2	24.8	24.0	20.7	20.7	18.2	1.7	18.2
職業	職業あり	702	53.3	42.5	42.5	22.5	18.8	20.8	17.0	14.5	5.3	9.0
	学生	48	31.3	37.5	37.5	41.7	25.0	16.7	22.9	14.6	6.3	2.1
	職業なし	396	57.3	37.1	34.8	25.0	25.0	17.9	14.9	17.9	3.3	15.4

Ⅲ-3 共通設問の比較

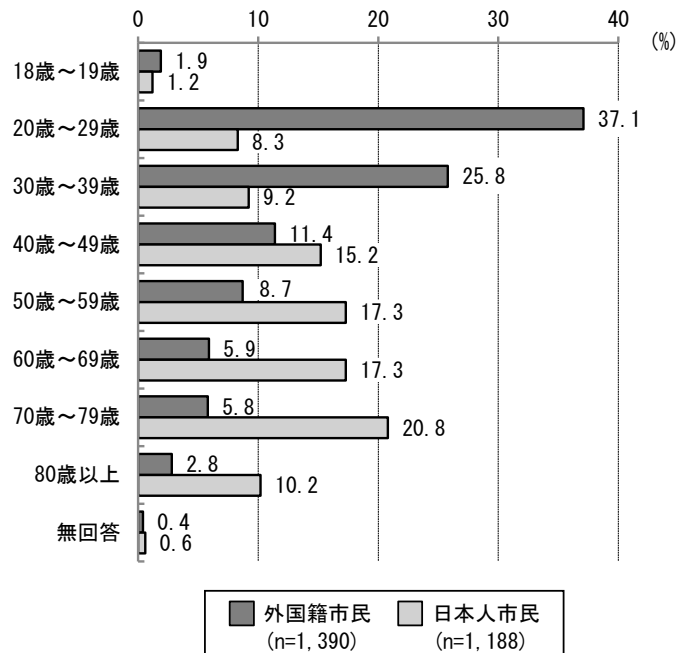
外国籍市民と日本人市民の交流状況や多文化共生施策等に関する設問について、双方の結果を比較した。

〔1〕年齢【外国籍市民 問3、日本人市民 問3】(単一回答)

外国籍市民と日本人市民の回答者の年齢をみると、外国籍市民は20歳～29歳(37.1%)が最も多く、次いで、30歳～39歳(25.8%)となっており、これらの年代の回答者が6割を超えている。

一方、日本人市民は、70歳～79歳(20.8%)が最も多く、次いで、50歳～59歳、60歳～69歳(それぞれ17.3%)となっており、50歳以上で6割を超えており、回答者の年齢構成に差がみられる。

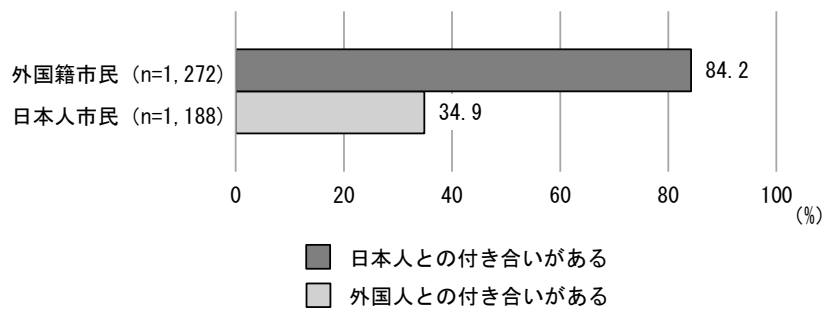
【図表 219 年齢比較】



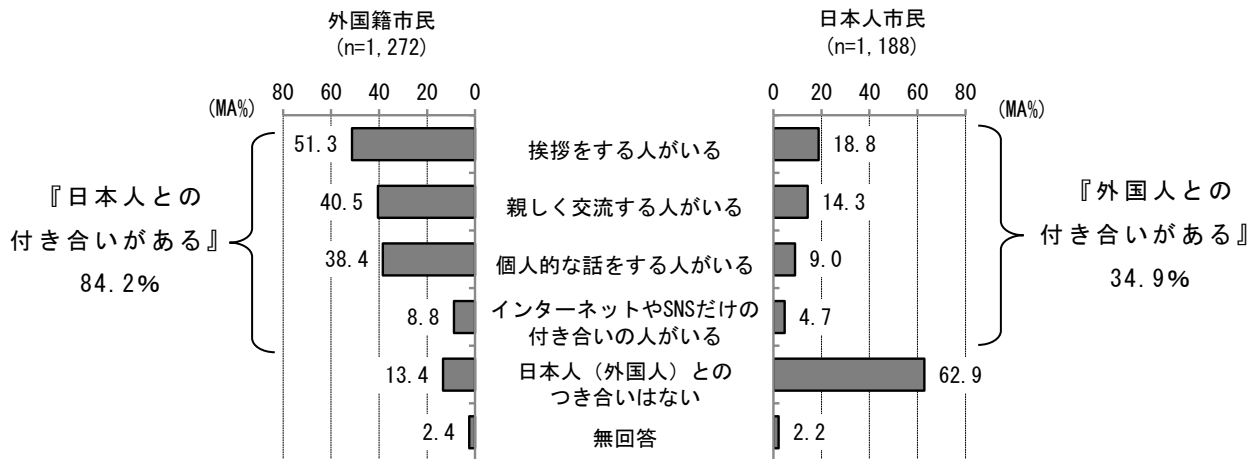
〔2〕日本人(外国人)との交流【外国籍市民 問24、日本人市民 問8】(複数回答)

外国籍市民には日本人との交流について、日本人市民には外国人との交流についてたずねたところ、外国籍市民で『日本人とのつき合いがある』が84.2%となっているが、『(日本人市民で)外国人とのつき合いがある』は34.9%となっており、49.3ポイントの差がみられる。

【図表 220 交流(付き合いの有無)についての比較】



【図表 221 交流の内訳比較(複数回答)】



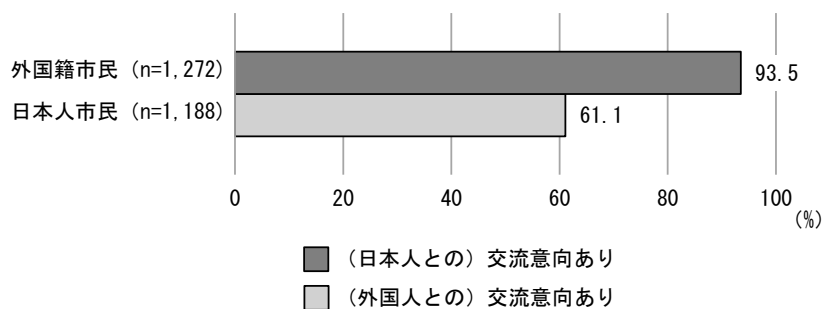
※『日本人(外国人)との付き合いがある』は全回答者から「日本人(外国人)との付き合いはない」と「無回答」を除いた割合

[3] 今後の交流意向【外国籍市民 問25、日本人市民 問9】(単一回答)

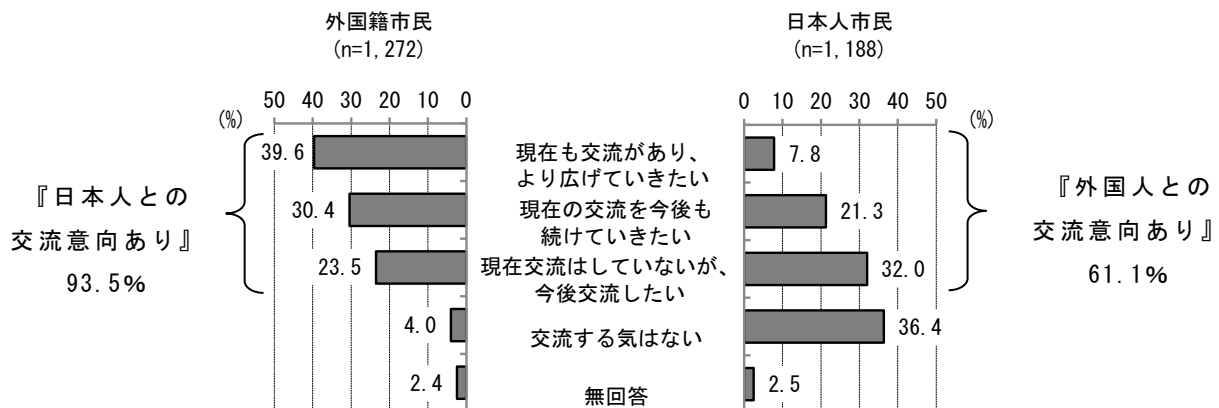
今後の交流意向について、外国籍市民における『(日本人との)交流意向あり』は93.5%、日本人市民における『(外国人との)交流意向あり』は61.1%となっており、相互に高い交流意向を示しているが、とりわけ外国籍市民が非常に高い交流意向を示しており、32.4ポイントの差がみられる。

交流意向の内訳をみると、「現在も交流があり、より広げていきたい」は、外国籍市民の方が31.8ポイント高く、「現在交流はしていないが、今後交流したい」は、日本人市民の方が8.5ポイント高くなっている。

【図表 222 今後の交流意向の比較(『交流意向あり』の比較)】



【図表 223 今後の交流意向の比較】



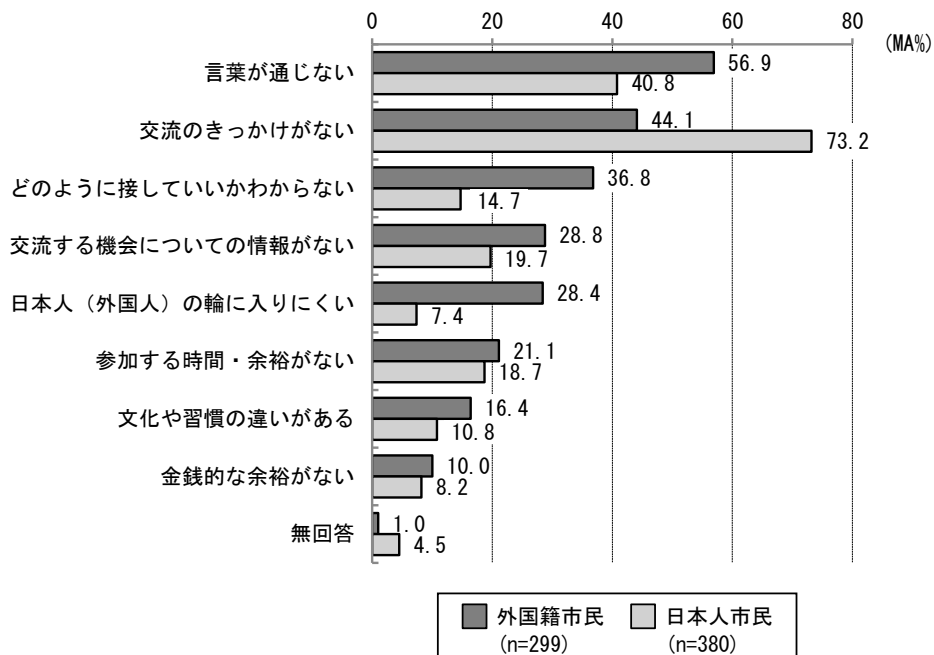
※ 『日本人(外国人)との交流意向あり』は「現在も交流があり、より広げていきたい」、「現在の交流を今後も続けていきたい」、「現在交流はしていないが、今後交流したい」を合わせた割合

〔4〕交流できていない理由【外国籍市民 問25-1、日本人市民 問9-1】(複数回答)

現在は交流していないが、今後交流したいと回答した人に交流できていない理由をたずねたところ、外国籍市民では、「言葉が通じない」(56.9%)が最も高く、日本人市民では「交流のきっかけがない」(73.2%)が最も高くなっている。

「交流のきっかけがない」で、外国籍市民(44.1%)と日本人市民(73.2%)の差(29.1ポイント)が最も大きくなっている。

【図表 224 交流できていない理由の比較】



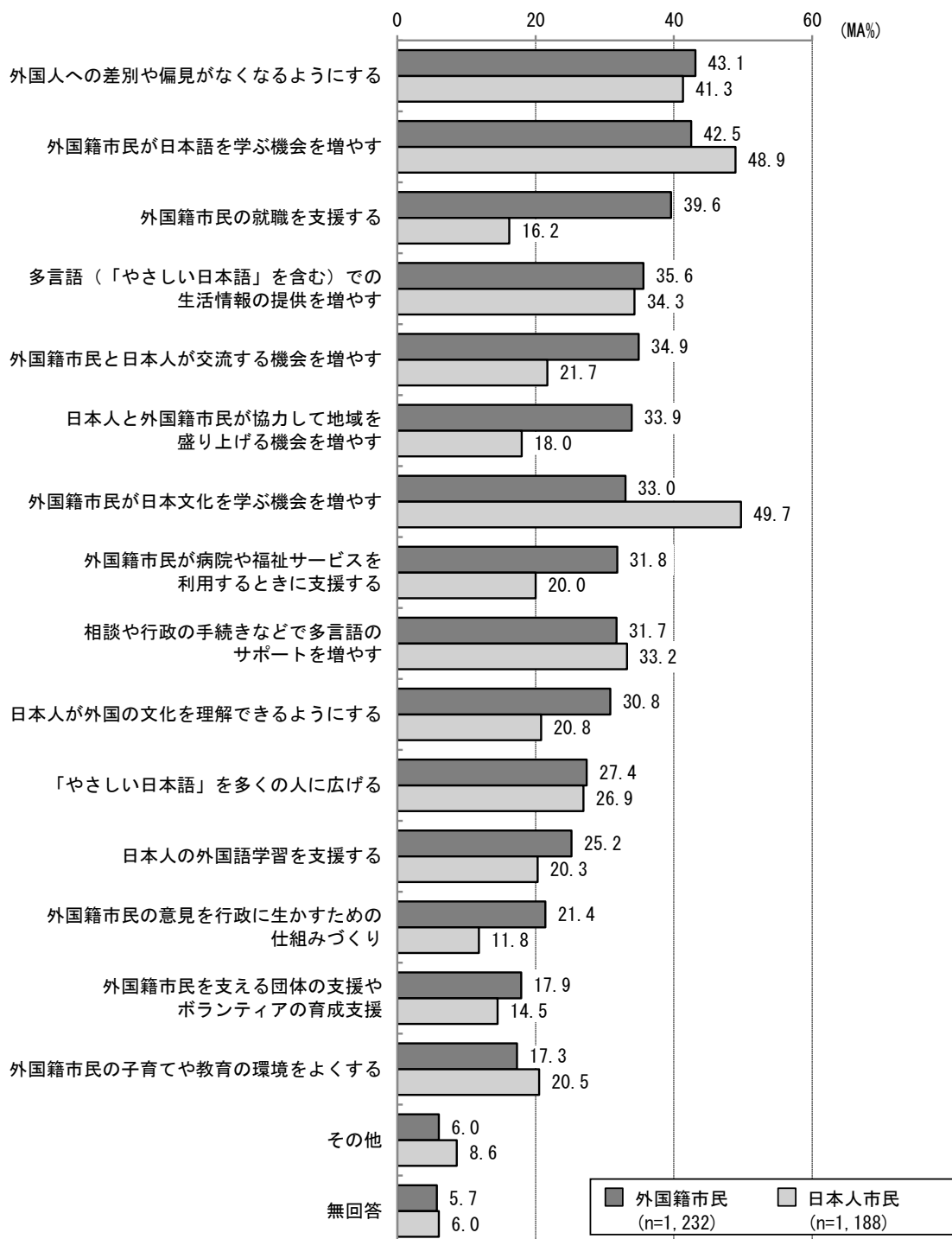
〔5〕京都市に望むこと【外国籍市民 問36、日本人市民 問18】(複数回答)

京都市に望むことは、「外国人への差別や偏見がなくなるようにする」の割合が外国籍市民(43.1%)で最も高くなっており、日本人市民(41.3%)と同程度の割合となっている。

「外国籍市民が日本文化を学ぶ機会を増やす」の割合は、日本人市民(49.7%)で最も高く、外国籍市民(33.0%)を16.7ポイント上回っている。

「外国籍市民の就職を支援する」の割合は、外国籍市民(39.6%)が日本人市民(16.2%)と比べ、23.4ポイント高く、「日本人と外国籍市民が協力して地域を盛り上げる機会を増やす」、「外国籍市民と日本人が交流する機会を増やす」においても、外国籍市民(それぞれ15.9ポイント、13.2ポイント)が日本人市民を上回っている。

【図表 225 京都市に望むことの比較】



Ⅲ-4 自由意見

1 外国籍市民からの意見

「京都市にしてほしいこと、生活の中で不便なこと、困っていること」について、自由に意見を求めたところ、517人の方から、683件の意見をいただいた。主な内容は下記のとおりとなっている。(主なご意見について抜粋・編集して掲載)。

ご意見内容	件数
<生活>	119件
<p>■京都での生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本での生活はとても快適だと感じている。人々は親切、多くの公共施設には外国人向けのサービスも整っている。これからも日本で暮らし続けたいと思っている。 (中国、20歳～29歳、男性、留学(大学・大学院)) ・京都が大好き、こんなに日本の伝統文化に浸れるのは、京都以外ではなかなか無い、唯一の欠点は、夏が暑すぎること。(ウクライナ、20歳～29歳、女性、定住者) ・京都は、私が心から愛している都市、人生の三分の一以上をここで過ごしてきましたし、これからもさらに長く暮らしていく予定。(中国、30歳～39歳、女性、永住者) ・ここの人々は親切でフレンドリーなので気に入っている。ルールや規則も整っており、施設も整備されている。(ネパール、20歳～29歳、女性、留学(日本語学校)) ・京都は素敵な街、美しい伝統的な寺院や見どころがたくさんある。楽しい。不便なことはほとんどない。(ミャンマー、30歳～39歳、男性、技能実習) ・ムスリムとして、ハラール食品を見つけるのは本当に難しいと感じている。 (インドネシア、30歳～39歳、男性、留学(大学・大学院)) 	55件
<p>■物価高騰、生活費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価が本当に高騰しているので、特に米や果物など値段を下げられないか。生活費が高くなりすぎ。(中国、20歳～29歳、女性、技術・人文知識・国際業務) ・物価が高い。家賃も高く、それに高額な敷金や礼金がかかって、生活の負担に感じる。 (中国、40歳～49歳、女性、留学(大学・大学院)) ・生活費が高すぎるため、外国人向けの補助金を希望する。 (ベトナム、20歳～29歳、男性、特定技能) 	24件
<p>■ルール、マナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人はマナーが悪いと言われるが、生活習慣・文化の違いもある。そののところがしっかりと理解してほしいし、お互い理解できる方法を考えてほしい。 (パラグアイ、60歳～69歳、女性、日本人の配偶者等) ・多くの外国人は日本の文化やマナーを知らないため、可能であれば、どのようなマナーを守るべきかを示すと良いと思う。例えば、バス停で列を作る、バスや電車の中で大声で話さないよう注意を表示するなど。(フィリピン、20歳～29歳、女性、定住者) ・インド・ネパールでは街中音が大きいから、アパートでは「音・声小さくする」マナーは知らないかも知りません。プライドを傷つけない、地域のルールや掟を伝える方法が知りたい。 (中国、20歳～29歳、女性、その他の資格、芸術) 	22件

ご意見内容	件数
<p>■ゴミ出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ捨てに関して、電柱には資源ゴミの回収日の記載で可燃ゴミの収集場所や時間についての記載がない。市役所に問い合わせると「町内会に聞いてください」と言われたが、町内会の連絡先や場所などをインターネットで調べても情報が見つからない。最終的には、近所のお店に聞いてようやくわかったが、とても不便に感じた。 (台湾、20歳～29歳、女性、特定活動) ・ごみの分け方や、曜日のルールもむずかしい。もう少しわかりやすい説明や、ネパール語など案内があると助かる。(ネパール、20歳～29歳、男性、留学(専門学校、その他)) ・地域の中でのゴミ(特に大型ゴミや小型家電など)回収拠点を検索する時説明が少し複雑で戸惑う。どこで無料で回収してもらえるのか、有料なのかが分かりづらく、もっと詳しい情報がほしいと感じた。京都市のホームページ以外でも、回収方法や費用について分かりやすく案内される情報源があれば助かる。 (台湾、20歳～29歳、女性、留学(大学・大学院)) 	12件
<p>■生活上の手続き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行口座の開設が困難。(香港、60歳～69歳、男性、経営・管理) ・電子決済を推進してほしい。(メキシコ、40歳～49歳、男性、高度専門職) ・ここでの生活で最も大変だったのは、インターネットなどの公共サービスの契約をすること。銀行手続きもとても難しく、今でもいくつか問題を抱えている。 (スウェーデン、20歳～29歳、男性、留学、日本語学校) 	6件
<p>< 言語 ></p>	90件
<p>■多言語情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語が苦手な人は市役所や病院等の公共サービスの利用が難しい。英語等の言語での情報提供をもっと充実してほしい。(ネパール、20歳～29歳、男性、留学(大学・大学院)) ・京都市には、特に市役所や病院で、もっと英語の情報を提供してほしい。 (インドネシア、20歳～29歳、男性、技能実習) ・市役所での手続きの際に担当者とのコミュニケーションがうまくいかないことがあるため、外国人との対応に慣れたスタッフを増やすか、中国語・英語・日本語の対訳付きで手続きの流れや説明を明確に示してほしい(例:年金や健康保険など)。 (台湾、20歳～29歳、女性、特定活動) ・もっと多言語の表示を導入すべきだと思う。手続きに関する説明ガイドも充実してほしい。 (イタリア、30歳～39歳、男性、留学(大学・大学院)) 	28件
<p>■日本語学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語を学びたい人のために、市内や都合のよい場所で語学教室を開いてほしい。 (ネパール、30歳～39歳、女性、留学(大学・大学院)) ・現在、日本語の学習に苦勞しています。夜間や週末に直接勉強できる場所、無料で利用できる場所がほしい。(ベトナム、30歳～39歳、男性、技術・人文知識・国際業務) ・私の妻はネパール人で、まだ日本語があまり話せない。無料で学習できる教室等、学べる場所や職場が不足している。(ネパール、30歳～39歳、男性、技術・人文知識・国際業務) ・日本政府に対して、外国人労働者が仕事に行かずに4～8か月間、自ら日本語教室を開き、日本語を学ぶ機会を提供すること、そしてビザ取得手続き中に問題に直面することなく、日本語を学ぶ十分な機会を提供することを要請したい。 (ネパール、30歳～39歳、男性、技能) 	28件

ご意見内容	件数
<p>■言葉で困っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行や病院、役所で、言語の問題に何度も直面した。別の英語圏でない外国に住んでいたときには、こうした問題はなかった。(アメリカ、70歳～79歳、男性、永住者) ・言葉の問題で京都市の医療施設を利用することができなかった。行政手続きのために市役所へ行くのも難しく、他の人に助けをもらうことも困難だった。(ネパール、30歳～39歳、女性、家族滞在) 	24件
<p>■やさしい日本語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語で話してほしい。ひらがなとカタカナは読めるが漢字が混ざっていると読むのが困難なので配慮をお願いしたい。(ネパール、20歳～29歳、男性、留学(大学・大学院)) ・京都市の区役所には、「やさしい日本語」の文章を使ってほしいと伝えたい。同じ茶色の封筒で日本語だけの書類が送られてきますが、すべての書類を日本語や漢字で読むことはできない。(フィリピン、50歳～59歳、女性、永住者) 	6件
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手が外国人だと判断するとすぐ英語や外国語で対応しないで、まずは「外国語支援が必要ですか?」と聞いた方がいいと思う。(中国、20歳～29歳、男性、留学(大学・大学院)) ・日本人が「外国の人＝観光客」と思い込まないようにしてほしい。外国の方と話すときは、まず「日本語大丈夫ですか?」と聞いて、その人が日本語を話せるか確認してほしい。そして、できるだけ簡単な日本語を使ってほしい。(イギリス、70歳～79歳、男性、日本人の配偶者等) 	4件
<p><行政サービス></p>	90件
<p>■行政手続き・窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所・区役所の方々は大体やさしいけど、時々そっけない態度を取る方もいる。ただ一人の人間として尊重していただいたら嬉しい。(中国、20歳～29歳、女性、その他の資格、芸術) ・区役所に行った場合、一部の職員は厳しく親切ではないことがある。また、すべての案内や相談窓口に通訳を配置してほしい。(フィリピン、50歳～59歳、女性、永住者) ・中京区役所のスタッフ達がいつも丁寧で色々なことを教えてくれる。(台湾、20歳～29歳、女性、留学(専門学校、その他)) ・京都市の区役所の職員が、情報を渡したり説明したりする際に、もう少し外国人に対して親切であってほしい。(ブータン、30歳～39歳、女性、技術・人文知識・国際業務) ・日本で生活する上で最も難しい点は、公共機関でも民間でも、あらゆる申請の際に住所を漢字で書くことを求められること。少なくとも公共サービスについては、在留カード番号だけで十分だと思う。(アイスランド、40歳～49歳、男性、日本人の配偶者等) 	29件
<p>■外国籍市民への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と外国人在留者の橋渡しの役割や、外国人在留者が困っていることの支援をしてほしい。(カナダ、60歳～69歳、女性、永住者) ・ここに住んで働いている外国人、特に子どものいる家庭を支援してほしい。子育ての方法や児童手当など。(ベトナム、30歳～39歳、男性、技術・人文知識・国際業務) 	13件

ご意見内容	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けサービスを受けられるところが限られており、京都駅周辺など、アクセスのよいところにも定期的にサービスを受けられるようになったらと思う。 (韓国、30歳～39歳、女性、技術・人文知識・国際業務) ・地域のイベントのお知らせや、外国人にも日本人と同じように支援金・補助金などの通知があるとありがたい。(ベトナム、20歳～29歳、女性、特定技能) 	
<p>■税金・年金・保険</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能であれば、税金、年金、健康保険について英語で簡単に説明してほしい。 (マレーシア、30歳～39歳、男性、留学(日本語学校)) ・留学中で経済的な困難に直面している学生として、税金が少しでも軽減されること(あるいは勤勉な学生に対する支援額の増加)を心から願っている。 (中国、20歳～29歳、女性、留学(大学・大学院)) ・私は建設業に1年近く従事しているが、ここの税金は高いので助けが必要。 (インドネシア、20歳～29歳、男性、技能実習) 	11件
<p>■経済支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人が地域社会に溶け込み、安定した手当などを受けられることを望む。 (中国、20歳～29歳、男性、特定技能) ・外国人労働者に手頃な賃貸住宅と経済的支援が提供されることを望む。 (モンゴル、20歳～29歳、女性、特定技能) 	10件
<p>■在留制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で就労し納税する外国籍住民が、家庭における責任を適切に果たせるような制度設計は、今後ますます重要になると考えている。とりわけ、親の中長期滞在を可能とする在留制度の見直しや、外国籍住民への家族支援に関する施策の充実について、今後のご検討を望む。(中国、40歳～49歳、女性、永住者) ・空港で再入国審査の際、事前登録して日本人と同じく自動化ゲートを通れるようにしてほしい。(韓国、60歳～69歳、女性、永住者) 	9件
<p>■kokoka</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都国際会館のスタッフの皆さまが親切で助かった。 (中国、20歳～29歳、女性、留学(大学・大学院)) ・kokokaのオープンデイはボランティアとして、毎年参加している。この様なイベントがある事を多くの方に知って頂きたいと思うと同時に、京都市の色々な場所で、この様なイベントがあればいいと思う。(韓国、60歳～69歳、女性、特別永住者) ・kokokaにはオンラインで交流できるプラットフォームはありますか？私の家は西京区にあり、kokokaからとても遠いので、もしフォーラムがあればいいのと思う。 (中国、20歳～29歳、男性、留学(大学・大学院)) ・今年、外国人向けのガイダンスに参加した。とても良く、日常生活に大切なことを学ぶことができた。(ブラジル、50歳～59歳、男性、文化活動者) 	7件
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市として、防犯意識の向上や再発防止のための啓発活動、公共空間における見守り体制の強化を進めてほしい。安心して暮らせる街であるために、対策をお願いしたい。 (中国、20歳～29歳、女性、留学(大学・大学院)) 	11件

ご意見内容	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を京都市が買い取って、すこし安く賃貸で販売及び契約してほしい。 (韓国、30歳～39歳、男性、日本人の配偶者等) 	
<p><交通></p>	78件
<p>■公共交通機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市バスの運行本数を増やしてほしい。(中国、20歳～29歳、女性、留学(大学・大学院)) ・駅では案内表示が不十分で、乗換や乗車位置が分かりづらい (イギリス、30歳～39歳、女性、家族滞在) ・地下鉄が少ない。京都市内や市外移動するとき路線が不便。バスは、観光客がキャリアバック持ち移動が多く、バス移動が不便。 (韓国、30歳～39歳、男性、技術・人文知識・国際業務) 	40件
<p>■交通ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車のマナー・ルールについて、なぜ自転車は歩道を走ることが許されているか？なぜ自転車に乗る人は歩行者よりも権利があるかのように振る舞うのか？ (アメリカ、50歳～59歳、男性、永住者) ・私の地域(河原町・四条)では、車が信号をあまり守っていないように見える。赤信号は多くのドライバーにとって単なる「推奨される選択肢」のようだ！ほとんどのドライバーは全く気にしていません！(アメリカ、70歳～79歳、男性、永住者) ・外国人向けの交通ルールの冊子を作ってほしい。たとえば自転車のルールについてなど。自転車の走行が禁止されていて『押して歩くことが可能』な場所では、自転車マークではなく、人が自転車を押しているマークを描いた方が誤解がなく分かりやすいと思う。 (中国、30歳～39歳、女性、留学(大学・大学院)) 	10件
<p>■自転車</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐輪場をもっと増やしてほしい。買い物に出かけるのが不便。 (中国、20歳～29歳、女性、技術・人文知識・国際業務) ・自転車と歩く人の安全も大切、自転車用のレーンや看板をふやしてほしい。 (フィリピン、30歳～39歳、女性、特定技能) ・京都市内の駐輪場の地図があれば、意図せず違法駐輪してしまうことを避けられるので、より良いと思う。(インドネシア、20歳～29歳、女性、留学(大学・大学院)) 	9件
<p>■道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞が多すぎます。道路には専用レーン(バス用)を設けるべき。 (フランス、40歳～49歳、男性、日本人の配偶者等) ・京都の道路は狭いため、公共道路を拡幅し、交通安全を促進すべき、運転者がスピードを出しすぎており、狭い路地で制限速度を超えることがある。 (台湾、40歳～49歳、女性、日本人の配偶者等) 	5件
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タバコを吸いながら歩く人が多く見られる。通行人への配慮に欠けており、日本のマナーとしてやめてほしい。違法な駐停車が多く見受けられ、通行の妨げとなっており非常に危険、警察の方には、ぜひ定期的な巡回・指導をお願いしたい。 (中国、30歳～39歳、男性、永住者) 	14件

ご意見内容	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の増加に対して、京都市民向けの交通やサービス面での優遇措置をもっと充実させてほしい。(アメリカ、50歳～59歳、男性、永住者) 	
<p>< 差別・日本人の意識 ></p>	52件
<p>■差別と偏見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「外国人は税金を納めていないので助成金や市民サービスを受けるな」という誤った認識をされている方がとても多いことにびっくりしている。 (韓国、40歳～49歳、女性、特別永住者) ・私は日本に住んで、納税の義務も果たしている。しかし、ネット上には、日本人による中国人差別的な記事があふれている。そうではない中国人もいること、また中国語を話す人が全て中国人ではないこと(香港、台湾、ベトナム一部etc.)など、正しい情報を発信してほしい。(中国、40歳～49歳、男性、永住者) ・一番言いたいのは差別しない方がいいということだ。お店に入ったら、外国人だからサービスしたくないという感じがよくする。(ミャンマー、20歳～29歳、男性、技能実習) ・たとえ外国人がまだ日本の風習や文化を十分理解しておらず、時に規則を守れないことがあっても、地元の人々には徐々に差別的な考え方をなくしてほしい。 (ベトナム、30歳～39歳、女性、家族滞在) ・仕事やその他の場所で、誰に対しても平等に接してほしい(差別しないでほしい)。 (ネパール、20歳～29歳、男性、留学(大学・大学院)) 	31件
<p>■日本人の意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人ファーストの風潮が今回の参議院選挙であらわれつつあるが、本当に心配である。日本に住む外国人の権利と生活を守ってくれることを強く望む。 (韓国、20歳～29歳、男性、家族滞在) ・日本人と外国人の違いを意識し過ぎず、外国人によせ過ぎず、昔から作り上げられた歴史を大事にしてほしいと思う。(フランス、50歳～59歳、男性、日本人の配偶者等) ・外国人に対して、言語や文化の違いで助けるのが難しいことがあるのは理解している。しかし、誰かが困っているとき(小さな事故にあったり、体調が悪そうなとき)、その人が自分で大丈夫かどうかを見守るだけでなく、助けてあげるといいと思いませんか？たとえ一見大丈夫そうに見えても困っている場合は、近づいて声をかける方が良いと思う。 (メキシコ、30歳～39歳、女性、技術・人文知識・国際業務) 	21件
<p>< 仕事 ></p>	47件
<p>■仕事さがし(就職支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けの仕事が多くないから外国人向けの仕事の活動を行ってほしい。 (中国、30歳～39歳、女性、技術・人文知識・国際業務) ・京都には求人情報サイトがあまりないようだ。求人情報や企業のニーズに関する情報をどこで見つけたらいいかわからない。(中国、30歳～39歳、女性、家族滞在) ・仕事を探す時に、気軽に相談できる場所があるとありがたい。 (韓国、20歳～29歳、男性、留学(大学・大学院)) 	27件
<p>■職場環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場で外国人居住者をもっと守ってほしい。職場でのいじめはとても日常的で、例えば仕事の中で最も大変な部分を外国人スタッフにだけ任せることがある。また、私の上司は私に怒鳴り、何をしてもありがとうと言ってくれない。でも日本人スタッフには親切で感謝の言葉をかけている。(その他、20歳～29歳、女性、日本人の配偶者等) 	20件

ご意見内容	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・人々とのコミュニケーションに問題があることがあり、仕事中に不親切な人に出会うこともある。(スリランカ、20歳～29歳、男性、技術・人文知識・国際業務) ・職場で日本語で何かを説明しようとする、協力してくれない人がいると感じる。(ミャンマー、20歳～29歳、女性、留学(日本語学校)) 	
<p>< 観光・観光客 ></p>	40件
<p>■観光客による混雑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客が多すぎる。京都の住民は観光客の数が制御不能なため、公共交通機関を使って仕事に行くことができない。(スペイン、20歳～29歳、女性、日本人の配偶者等) ・京都市が過剰観光の問題に悩まされていることは理解している。しかし、外国人居住者もその影響を受けている。さらに、過剰観光の問題により、地元の京都市民から向けられる否定的な態度に外国人居住者も苦しんでいる。(ウクライナ、50歳～59歳、女性、定住者) ・地元の日本人に、この街のすべての外国人が観光客ではないことを理解してもらいたい。(ベルギー、50歳～59歳、男性、永住者) ・京都を訪れる観光客の数に対応できるよう、インフラを改善してほしい。(フィリピン、40歳～49歳、女性、技術・人文知識・国際業務) 	36件
<p>■観光客のマナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体観光客とそのガイドの管理をもっと徹底してほしい。コンビニや屋台の店舗にはゴミ箱を設置するべき。(イギリス、40歳～49歳、男性、技術・人文知識・国際業務) ・観光客のマナー違反に対して対策してほしい。(中国、30歳～39歳、性別その他・答えたくない、永住者) 	4件
<p>< 交流 ></p>	39件
<p>■異文化交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私はフィリピンの文化や食べ物を共有したいと思っている。フィリピンの文化や食べ物を紹介できる活動に参加したい。食べ物は人々をつなぎ、文化間の理解を深める美しい方法だと信じている。(フィリピン、50歳～59歳、女性、永住者) ・京都市が、毎週末に日本人と外国人と一緒に参加して楽しめるイベントを企画してくれると嬉しい。地元の友達を作りたいと思っているので。(タイ、30歳～39歳、女性、技術・人文知識・国際業務) ・私は京都市にサッカーやバレーボールの施設、そして歌や文化交流ができる場所をもっと増やしてほしい。(ベトナム、20歳～29歳、男性、技能実習) ・地域交流の活動を、もっと気軽に親しみやすく、すぐに参加できる形で強化してほしい。学びながら、自分が住んでいる地域の役に立つ存在となり、日本社会により溶け込めるようになりたいと思う。(ベトナム、30歳～39歳、女性、技術・人文知識・国際業務) 	21件
<p>■日本人との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと多くの日本人と友達になり交友関係を広げたいと考えているが、適切な接点や機会がなく、なかなかうまくいかない。(中国、20歳～29歳、男性、特定活動) ・日本人と交流できるイベントがあればいい。(ベトナム、20歳～29歳、男性、留学(日本語学校)) ・日本人と外国人のためのオンライン文化交流グループや、文化交流イベントを開催してほしい。(ベトナム、40歳～49歳、女性、日本人の配偶者等) 	18件

ご意見内容	件数
<まちづくり・景観>	28件
<p>■まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑が少なすぎる。町に緑を増やしてほしい。町家を壊さないようにしてほしい。 (フランス、70歳～79歳、女性、永住者) ・街中に脱クルマ、公共交通機関を増やす政策をしてほしい。 (アメリカ、30歳～39歳、男性、技術・人文知識・国際業務) ・京都では利用できるスポーツ施設が十分でない。私はバスケットボールをするのが好きですが、ここ京都ではカジュアルや社交的にプレーできる屋外コートや屋内ジムを見つけることができない。(オーストラリア、40歳～49歳、男性、永住者) 	20件
<p>■景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市には美しい山々や川がある。市役所には川をもっと大事にしてほしい。 (インド、30歳～39歳、男性、高度専門職) ・私は京都市が私たちをここに引き寄せたもの、特に日本文化や伝統的な建築を守り、町家の破壊を終わらせてくれることを望む。(フランス、40歳～49歳、男性、家族滞在) 	8件
<住宅>	27件
<p>■家さがし・賃貸契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人は家探しがとても大変。どれだけ日本語ができて、日本国籍ではないとの理由で断られ、住みたいところに住めないことが多々ある。 (韓国、30歳～39歳、女性、技術・人文知識・国際業務) ・引っ越しに困っている。保証人が見つからないことで、部屋探しに苦労した記憶がある。また、家賃や礼金が高いなどの原因で良い物件が見つからない状態が続いている。 (中国、30歳～39歳、男性、技術・人文知識・国際業務) ・住まい探しは、とても大変。住みたいと思う良い物件がたくさんあるのに、多くの物件が外国人お断りとなっている。(モロッコ、20歳～29歳、男性、留学(大学・大学院)) 	17件
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅が、留学生でも利用できるかどうか知りたい。 (韓国、20歳～29歳、男性、留学(大学・大学院)) ・空き家など京都市内で住みたいが、物件がないか、高いかなので、古い建物を整理ができニュータウンができればと思う。 (韓国、30歳～39歳、男性、技術・人文知識・国際業務) 	10件
<調査>	22件
<p>■調査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この調査を見ることができてうれしい。京都が気にかけていることがわかる。 (アメリカ、20歳～29歳、女性、技術・人文知識・国際業務) ・このアンケートをハガキで送り、オンラインで回答するような形式にしてほしい(ペーパーレス行政に取り組むこと)。(フランス、30歳～39歳女性、技術・人文知識・国際業務) ・私は特別永住者である。今回無作為で選ばれたということだが、答えた。私の立場でこのアンケートに答えるか、ニューカマーとしてやって来た外国人とでは答えの内容は大きく異なると思う。(韓国、40歳～49歳、女性、特別永住者) 	22件

Ⅲ-4 自由意見

ご意見内容	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートから、どれだけ配慮してくださっているかが伝わる。 (タイ、40歳～49歳、女性、就職活動) ・このアンケートは外国籍の気持ちを深く理解できるアンケートであり、役に立つと思う。 (ベトナム、50歳～59歳、女性、日本人の配偶者等) 	
<子育て・教育>	17件
<p>■子どもの教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の進学制度や必要な準備や学校生活における留意点や子供がより集団生活にうまく馴染むための情報について、知りたい。(台湾、40歳～49歳、男性、経営・管理) ・京都の幼稚園や小中学校の教育、日常生活での人々の礼儀について深く知りたい。 (中国、30歳～39歳、女性、家族滞在) ・ここに住んで働いている外国人、特に子どものいる家庭を支援してください。子育ての方法や児童手当など。(ベトナム、30歳～39歳、男性、技術・人文知識・国際業務) ・小中高に外国ルーツの子供の国語以外の勉強も支援する母語サポーター設置が必要だと思う。日本語の上達には時間がかかるが、その間他の科目がついていけなくなることで、最終的に国語がよくなっても学歴低下を防げず、不登校など一連の問題が発生するのではと考える。(中国、40歳～49歳、女性、永住者の配偶者等) 	11件
<p>■学費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の給食費と医療費の無償化。(韓国、50歳～59歳、女性、永住者) ・子どもの学費を無料にしてほしい。父母のどちらかが働いていなければならないという条件はなくしてほしい。(ベトナム、30歳～39歳、女性、家族滞在) 	6件
<医療>	17件
<p>■病院利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間に病院の救急センターに行く必要がある場合、どうすればよいか理解するのに困った。(イタリア、30歳～39歳、女性、教授) ・私たちは言葉の問題で医療機関に通うことができず、自分の悩みを率直に話すことができません。特にビザの問題や、病気になった際に他の人に助けを求めなければならないことなど、不安を感じている。(ネパール、40歳～49歳、男性、技能) ・言語の壁や英語を話せるカウンセラーや精神科医の不足により、メンタルヘルスケアの利用が難しかった。京都市には、英語で対応できるメンタルヘルスの支援グループをもっと増やす必要がある。(インド、20歳～29歳、女性、留学(大学・大学院)) ・診療所から大病院への紹介手続きが簡略化されることを希望する(たとえば紹介状不要で診療記録だけで可など)。もしくは一部の病院が直接予約・診療を受け付ける仕組みを設けてほしい。(中国、20歳～29歳、女性、留学(大学・大学院)) 	17件
<その他>	17件
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙権を与えてほしい。(韓国、70歳～79歳、男性、特別永住者) ・LGBTQ+のための理解を広めて、みんなが自分らしく生きられるように法制度を作してほしい。(台湾、20歳～29歳、女性、留学(大学・大学院)) 	17件

2 日本人市民からの意見

「外国籍市民の受入れ、国際交流に関して思うこと」について、自由に意見を求めたところ、442人の方から、758件の意見をいただいた。主な内容は下記のとおりとなっている。(主なご意見について抜粋・編集して掲載)。

ご意見内容	件数
<外国人増加の不安や必要な対応>	103件
<p>■治安悪化の懸念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入れ交流については参加したいがマナーが悪い外国人が一定数いるのも事実であり、治安の悪化については懸念している。(女性、30歳～39歳) ・移民問題による治安の悪化がよくニュース等で話題になっており、自分もその点に不安を感じている。(男性、20歳～29歳) ・外国の方が住まわれる事で色々な事件等の報道を目にしている。全員がそうではないと思うが、不安はある。ルール作りが大切だと思う。(女性、60歳～69歳) ・海外経験が多く、外国人との交流もあるが、治安の悪化や日本人の生活を脅かされている危機を感じる。日本人市民の生活を最優先に考えてほしい。(女性、40歳～49歳) 	48件
<p>■外国人や外国企業の土地購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍市民の方の不動産取得規制、企業設立規制をもっと強化する必要性を感じる。(男性、70歳～79歳) ・外国籍の人が京都の土地や家屋を買い取って行かれるのは反対、法律的な規制をかけて京都の土地を守り続けていく事を望む。(男性、80歳以上) ・現在、京都中心地域では外国人が土地や不動産を購入し続け、京都市民が郊外に流出している状態、京都市の土地・不動産が値上がりし続けているのも、外国人が土地を購入することによって起っていると実感している。このままでは、京都市民が京都で不動産を所有し、生活することが不可能になる。埼玉県川口市のような問題が京都でも発生すると思う。一刻も早く、京都市で外国人が不動産を購入できなくなるような条例を作ってほしい。(女性、50歳～59歳) ・京都の土地、税金が上がり京都市民が住みにくくなっている中、富裕層の外国人が空き地などの土地を購入し京都の地の方が減り、京都らしさが無くなっているように思う。(女性、20歳～29歳) 	31件
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民泊が増加して大声で話をしたりしてマナーが悪い。民泊を許可する時にはしっかり説明をして近隣の迷惑にならないような指導をしてほしい。(女性、60歳～69歳) ・国際交流は良いが、不法滞在の外国人は強制送還するべき。(男性、70歳～79歳) ・歴史ある京都を守るために、観光にしてもそれ以外にしても、外国人に過剰に頼るのは良くないと思う、きちんと文化を理解し、尊重できる外国人であれば、問題はない。(男性、40歳～49歳) 	24件
<交流>	102件
<p>■外国人との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの世代の子供達に国際交流の場を増やしてあげてほしい。お互いの理解を深める場があるとよい。(女性、50歳～59歳) 	102件

ご意見内容	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・私は外国籍市民の受入れ、国際交流を積極的にしたいと思っているが、そのように思わない市民が多くいることも理解している。無意識に心の中にある偏見を自覚して変えていくことは大変難しいことだが、その努力は続けていかなければいけないし、権力に対しては比較的従順な日本人の特性を考えると京都市が率先して外国籍市民を受入れたり、国際交流の機会を作ることは重要だと思う。子供達を対象とすることが次世代の共生社会のために特に大切だろう。(女性、50歳～59歳) ・夫が外国人で、日本人にとって外国人をコミュニティに受入れるにはまだまだ難しい課題があると思う。ただヨーロッパの国などと比べても歴史的にも圧倒的に日本は外国との交流がなかった。良い面でもあり、悪い面でもあると思うが、あせらず日本のやり方で交流が徐々にできればいいと思う。(女性、30歳～39歳) ・子どものうちに様々な外国語籍の方々と触れ合う機会がもっと増えると良いと思う。(女性、40歳～49歳) ・国際交流のためには、誰でももっと気軽に外国語が学べる、外国の文化に触れられること、知ることが大切ではないかと思う。(女性、40歳～49歳) ・お互いの知識や言語を深められるような交流の仕方を工夫する必要があると思う。(男性、60歳～69歳) 	
<p><日本のルールとマナーの順守></p>	<p>90件</p>
<p>■日本のルールとマナーの順守</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスや電車に乗っているときに一部の外国の人がルールを守れていないことがあるので、何か改善策を出していただきたい。外国籍市民の方も日本人も心地よく暮らせるよりよい環境であってほしいと思う。(女性、18歳～19歳) ・日本の常識、個人の常識をわきまえる。日常生活の中でルールをきちんと守れる様に、行政もていねいに指導する事が大切だと思う。(男性、70歳～79歳) ・外国籍市民の受入れには、日本人が外国の文化的、風習を学ぶよりも、外国籍の人が日本の文化、マナーやルールを守ってもらう方が日本人との摩擦がなくていいと思う。(女性、40歳～49歳) ・受入れには賛成だが、日本の生活のルール(マナー)をしっかり周知させる活動をしてほしい。(女性、60歳～69歳) ・お互いの習慣や文化等を尊重するのは大切なことであるが、共生していくうえで、日本の法律やモラルを理解し、守っていただくことが大切だと思う。行政や地域住民は情報を提供し、外国籍の方には理解するよう努めていただきたいと思う。(男性、50歳～59歳) 	<p>90件</p>
<p><相互理解></p>	<p>77件</p>
<p>■相互理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都に来られる外国籍の方の理由は様々あると思う。それぞれの理由を尊重して、市民と仲良く交流できればと思う。(男性、70歳～79歳) ・私はもう高齢だが若い人達がお互いを知る機会を作る必要があると思う。そのことで世界から戦争が無くなれば皆が幸せになれると思う。正しく知り合う事が一番大切だと思う。(女性、80歳以上) ・育った環境や常識が異なるので、お互いの「違い」をまずは「理解」し「興味を持つ」ことが大切だと思う。外国籍市民の母数が多くなれば、それだけトラブルも増えると思うので「違いをまずは理解し、お互いに興味を持てる」環境を整えたいと思う。(女性、30歳～39歳) 	<p>43件</p>

ご意見内容	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれお互いに尊重しあい、国籍にこだわらずに関係を築けるように理解し合える場を増やしていくことが大切だと思う。(女性、50歳～59歳) ・まずは、お互いを知ることが大切だと思う。そうすれば、トラブルも少なくなると思う。外国籍の方だけでなく、日本人同士も同じだと思う。(女性、40歳～49歳) 	
<p>■日本の文化・習慣の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人がもっと世界の常識に対して理解をする為の努力が必要と同時に外国人もまた日本の習慣を理解する必要があると思う。(男性、60歳～69歳) ・日本や京都にもとからある文化等を尊重する姿勢を養う取組をしていただきたい。”郷に入っては郷に従え”なので外国籍の方に過度に配慮することには疑問を感じている(日本人が外国に住んだ際には、その場のルールに従って生活しているのではないか)。(女性、40歳～49歳) ・外国籍市民の方々が日本文化を理解することの大切さを伝えてほしい。When in Rome, do as the Romans do.(女性、50歳～59歳) ・外国籍市民が増える事に対して抵抗はありませんが、日本で暮らす以上日本の習慣や文化(生活する上で最低限)を理解するべきだと思う。逆の場合(外国で日本人を受入れる場合)と同じであれば良いと思う。日本人と同じ様にサービスを受けられて、外国人、日本人という垣根がないと良い。(女性、50歳～59歳) 	34件
<p><行政サービス></p>	76件
<p>■外国人優遇への反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人ファーストにならないようにしてほしい。(男性、40歳～49歳) ・日本の常識、個人の常識をわきまえる。日常生活の中でルールをきちんと守れる様に、行政もていねいに指導する事が大切だと思う。(男性、70歳～79歳) ・外国の方もしっかり社会保険等、税金をしっかり払った上で日本のサービスを受けられるようにしてほしい、ちゃんと税金払ってきたものが、生活保護や外国の人より苦しい生活をしているのはおかしいと思う。(女性、60歳～69歳) 	41件
<p>■受入環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民としての外国籍市民は受入体制を充実することが京都市として必要なことだと思う。(女性、20歳～29歳) ・日本語が母語でない市民のための公共や福祉サービスの多言語対応は税金を多く投入してでも行うべきである。(男性、30歳～39歳) ・自分が英語など話せたら、もっと交流できたり、困っている外国人を助けてあげたりできるのにと、思う。受入れる方の体制も大事だと思う。(女性、40歳～49歳) 	18件
<p>■外国人支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住されている外国籍の方は、基本的に日本語がわかる人がほとんどだと思う。ただ、日本人でもわかりにくい制度(例えばマイナンバーカード)については、外国籍の方向けに、理解しやすい案内がされているか。(女性、40歳～49歳) ・引っ越して来たときに区役所が認識できる場合は、地域の民生委員などにつなげられたらいいと思う。知らないがゆえにやってしまうことに対して、地域住民が不安になったりすることもあり、最初のワンクッションがあると違うかもしれないと思う。(女性、50歳～59歳) 	17件

ご意見内容	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・日本人、外国籍の区別なく活躍の場があったり困っている場合は相談できる市の対応を望みます。(女性、50歳～59歳) 	
<p>< 観光・観光客 ></p>	69件
<p>■観光客による混雑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多すぎる外国からの観光客の行動などの方が目につく。それに伴い、日常の行動などに影響があるように感じる。普段通りの生活のリズムや流れを乱されることなく過ごしたい。(女性、40歳～49歳) ・オーバーツーリズムを解消してほしい。これ以上外国からの観光客を増やさないでほしい。現状では外国籍市民の受入れどころではない。京都市民は大変疲弊していると思う。(女性、60歳～69歳) ・京都市内の観光エリアと居住エリアを色分けしてほしい。ほとんどが観光客でマナーの悪い人のせいで外国籍の人のイメージが良くなる。共に生活されている方々は良い人ばかりです。やはり言葉が通じないことが最大のハードルである。(男性、40歳～49歳) ・京都に観光としてきていただくことはこの地域が潤うこととして素晴らしいことである。しかし、日本のルールを守れる人がたくさん入ってきてほしいと思う。迷惑な外国人が今現在もおられるので外国人というだけで迷惑という偏見を多く持つ若い人が増えている気がする。国籍関係なく観光都市としての法整備をしっかりとしてほしい。(男性、18歳～19歳) 	45件
<p>■観光マナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行者のマナー指導をしてほしい。(男性、80歳以上) ・京都の世界遺産の寺などでの外国人によるゴミのポイ捨てが不愉快。景観を損なうので、ルールを守れないなら、日本に来なくてよい。(男性、20歳～29歳) ・観光客のマナーが悪すぎたり、オーバーツーリズムで観光客に対していい印象を持たなかったりする。(男性、20歳～29歳) 	24件
<p>< 受入れの賛成・反対 ></p>	58件
<p>■受入れ賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入れは大事、交流も大事。日本の伝統ある文化、習慣が破壊されない程度に…。(男性、50歳～59歳) ・やみくもに受入れることは、お互いに混乱や不安を生むと思う。が、今後労働力としても、外国籍市民が増えていく事は予想できるので、相互理解を深めるための、行政の援助が不可欠だと思う。(男性、70歳～79歳) ・日本人は外国籍市民の受入れに前向きでない方も多いかなと感じる。でも、同じ人間として、人と人としてかかわっていけたらいいと思う。日本から海外に留学移住した場合、海外の方に受入れてもらえたら嬉しいと思うので、私たちが気もちよく受入れていきたいと思う。(女性、50歳～59歳) ・京都市の出生率が全国的に見ても低い中、若い世代も含めて外国籍市民を受入れ、活性化をはかるのは必要だと思う。彼らがよりよく日本で暮らせるような支援、お互いに理解できるような取り組みが進むと良いと思う。(女性、40歳～49歳) ・受入れることは非常に重要だと思うが、それによる市民のメリットを京都市として打ち出してほしい。(男性、40歳～49歳) 	35件

ご意見内容	件数
<p>■受入れ反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍市民が京都の経済、地域社会を支えていると思えない。どの様にどれくらい支えているのか、いなくなるとどれだけの損失になるのかわからないと市民は嫌な事ばかりが目につき、共存したいと思えない。(女性、40歳～49歳) ・外国籍市民をこれ以上受入れる必要はない。交流以前に増えすぎて、普段の生活が昔に比べてひどいものとなっている。(男性、30歳～39歳) ・外国籍市民の受入れはやめてもらいたい。これ以上、生活しにくい日本にしないほしい。(女性、40歳～49歳) ・外国籍市民の受入れには断固反対だ。受入れに対する規制や整備もされていないのに、なぜそのような事を急いであるのか？不安しかない。(男性、50歳～59歳) ・日本へどんどん来てください～という受入れには大反対。こちらから外国語を学びこちらから寄り添っていくのではなく、京都にリスペクトの想いがある人の求めていることをかなえていくことが、大切だと思う。(女性、60歳～69歳) 	23件
<日本人への支援の充実>	47件
<p>■日本人への支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市民が今の行政に満足していない中で、海外の人たちへの受入れや行政を考えるのは順番が違う。まずは、京都で子育てがしづらく、若い世代が滋賀や大阪へ移住していることを解決すべき。(女性、40歳～49歳) ・国際交流を考える前に、まず市民税を下げる。市民の生活を考えてほしい。生活が苦しい。(男性、50歳～59歳) ・外国籍市民を排除すべきとは思えないが、かと言って元の住民が外国人側に「すり寄り」ような対応はいかがかと思う。特に問18に記載されている内容は強い違和感を覚える。外国人のための行政サービスのために一般市民のサービスが低下したり、負担が増えるのは納得できない。(男性、60歳～69歳) ・外国籍の方のサポートや理解も大切かと思うが、その前に日本国籍の者へのサポートやケア、値上がりで苦しい現状などをまずどうにかしてほしいと思う。(女性、30歳～39歳) ・無理して外国籍市民を受入れる必要があるのか。日本でも十分な暮らしができていない人がいるのに、外国籍市民を受入れることにお金を使う必要があるのかと考える。日本人が十分な暮らしができるようにもっと考えてほしい。(女性、40歳～49歳) 	47件
<出入国管理>	43件
<p>■受入制度(入国審査、人数制限など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少で社会的に受入れが必要かもしれないが、見極める必要があり、受入れる基準を厳しくしなければならないのでは。(男性、60歳～69歳) ・外国籍市民の受入れについては、全ての方が犯罪者ではないと思っているが、昨今の世界情勢を見ていると不安になる。受入れるのであれば、厳しい審査を求める。(女性、30歳～39歳) ・受入れに関して、まずは厳格なルールを確立する事が必要。あいまいなルールで制御不能になる不安があるから拒絶する事になる。国民の理解も同意もないまま、強引に押し進める移民政策は、今後も反発が大きくなる一方だと思う。(性別その他・答えたくない、50歳～59歳) 	43件

ご意見内容	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・まずは不法移民の厳格な取締り、難民制度の適正な運用(仮放免の廃止など)により日本人が安心して暮らせることが前提であり、共生ありきの議論には違和感しか感じない。当然ながら、受入れるのであれば、日本が好きであること、日本語能力が担保されている必要がある。(男性、50歳～59歳) 	
<p><差別・偏見></p>	25件
<p>■外国人への差別、偏見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部の政党等には「日本人」ファーストなどと公言し、外国人を排斥する動きがあるが、すべての人間は平等であるとの認識で接すれば「外国人、日本人」と区別する必要はない。問題なのは「日本人」の島国根性であると思う。(性別、年齢不明) ・私は外国籍市民の受入れ、国際交流を積極的にしたいと思っているが、そのように思わない市民が多くいることも理解している。無意識に心の中にある偏見を自覚して変えていくことは大変難しいことだが、その努力は続けていかなければいけないし、権力に対しては比較的従順な日本人の特性を考えると京都市が率先して外国籍市民を受入れたり、国際交流の機会を作ることは重要だと思う。子供達を対象とすることが次世代の共生社会のために特に大切だろう。(女性、50歳～59歳) ・最近外国人をないがしろにするような言説(「日本人ファースト」等)がインターネットや新興政党の政策などで盛んに流布されていることに危機感を覚える。京都市としては、このような言説に注意した政策を期待する。(男性、50歳～59歳) ・「外国籍市民」と取り立てることなく、国籍に関係なく誰もが平等に公平に同一のサービスを受けられることが当然の権利であることを、国・都道府県・市区町村単位で発信して偏見や差別をなくしてほしい。(性別その他・答えたくない、40歳～49歳) ・外国人だからといって偏見をもたずに普通に接していける社会である事が望ましいと思う。(女性、60歳～69歳) 	25件
<p><言語></p>	25件
<p>■日本人の外国語学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の中で英語レベルを上げていく。英語で会話ができる事を目標にした学校教育が必要。外国人と会話することが1番のコミュニケーションであり、交流を深めるには会話が必要不可欠であると思う。(男性、40歳～49歳) ・国際交流は、グローバル社会においてとても重要なことであると考えてるし、私も外国語を学び沢山交流したいと考えている。(女性、18歳～19歳) 	11件
<p>■外国人の日本語学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スウェーデンでは外からきた外国人に対して、母国語を無償で教えている。先進国である。日本国としても見習うべき(男性、80歳以上) ・岡崎以外にも、外国人が気軽に日本語を学んだり交流できる場所を作ってほしい。例えば、それぞれの区役所にあたりすると行きやすいと思う。(女性、40歳～49歳) ・言語の壁を解消できるように外国籍市民に日本語教育をお願いしたい。(男性、20歳～29歳) ・日本に来る外国人が日本語を習得して来るべきであり、日本に来る外国人のために、仕事などで全く関わりの無い一般の日本人が、外国語を習得する必要は無いと思う。(男性、60歳～69歳) 	8件

ご意見内容	件数
<p>■言葉の壁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉が通じない事が一番の問題だと思う。今後外国人が増えるのは少子化が進んでいる為、仕方ないと思うが、犯罪等が増えるのではないかと心配である。 (女性、70歳～79歳) ・自分が英語など話せたら、もっと交流できたり、困っている外国人を助けてあげたりできるのにと、思う。(女性、40歳～49歳) ・「外国籍の市民が増える」ということ自体については特にどうとも思いませんが、何かあった際(トラブルや相談を受けるなども)に互いに誤解なくコミュニケーションをとれるのかという不安はある。(女性、30歳～39歳) 	6件
<調査>	18件
<p>■調査手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの意義ある質問ありがとうございます。一つ我々に知らされないのは、どうして京都へ移民したいのか、その理由を聞きたいと思うことがある。理由がわかればもっと上手に交流がしやすくなると思う。(女性、70歳～79歳) ・共生が前提のアンケートで驚いた。推進する必要があるのか立ちかえることも必要だと思う。(男性、70歳～79歳) ・外国籍市民といっても各国・地域により印象は全くちがうので一概には答えにくいアンケートであった。(女性、60歳～69歳) 	18件
<仕事>	13件
<p>■外国人の就労、日本の人手不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人では人員不足が解消されない職種に外国籍市民が働いてくれることに感謝する。 (男性、70歳～79歳) ・近所にアジア系の外国労働者が増加している気がする。自転車での交通ルール等(外国人だけではありませんが)危険を感じる事がある。正式に就労している方などは日本での暮らしに大切なことも教えてあげてほしい。(女性、70歳～79歳) ・外国人を受入れすぎて日本人の就職率が低下しないかが心配。(女性、30歳～39歳) 	13件
<その他>	12件
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国から来ている観光客、留学生、就労の方はよく見かける。しかし、外国籍市民となると身近にはおらず、あまり実感が無いという印象、アンケートに回答する中で、外国籍市民を対象にした京都市の対応が、外国からの観光客また京都市民にとっても良い影響につながる選択になるといいなと思った。(女性、20歳～29歳) ・そもそも、日本人同志ですら交流がなくなっているのに、飛び超えて外国人と交流を目指すという主旨が意味が分からない。反対しているのではなく、もっと根本的な所から見直した方が良く思う。(女性、50歳～59歳) 	12件

IV 資料(調査票)

きょうとし がいこくせきしみん あんけーと 京都市 外国籍市民 アンケート

【アンケートを書くときのお願い】

1. このアンケートは 出入国管理とは 関係ありません。
2. アンケートは 封筒に 名前が 書いてある 人が 答えて ください。
3. 日本語の アンケート用紙と 日本語ではない アンケート用紙の どちらか 答えやすいほうを 1つ 選んで 書いて ください。内容は どちらも 同じです。
4. 質問の 答えは あてはまる 番号を ○で 囲んで ください。
1つだけ ○をする 質問と 3つまで ○をする 質問、あてはまるもの全部に ○をする 質問が あります。質問を よく読んで 答えて ください。
5. 「その他」を 選び、()が ある場合は、()の中に その内容を 書いて ください。
6. 答えたくない 質問には 答えなくて よいです。
7. 答えを 書いた アンケート用紙は 一緒に 送っている 茶色の 封筒に 入れて
7月28日(月曜日)までに 郵便ポストに 入れて ください。切手は いりません。

8. このアンケートは Web でも 回答できます。

■右の コードを 読み取るか 下の URL から Webページに 入って ください。

URL: <https://rsch.jp/935a629098cd0b5c/login.php>



1 あなたについて

問1 あなたは何区に住んでいますか。(1つだけ○)

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|---------|---------|--------|
| 1. 北区 | 2. 上京区 | 3. 左京区 | 4. 中京区 | 5. 東山区 | 6. 山科区 |
| 7. 下京区 | 8. 南区 | 9. 右京区 | 10. 西京区 | 11. 伏見区 | |

問2 あなたの性別は何ですか。(1つだけ○)

- | | | |
|-------|-------|---------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他・答えたくない |
|-------|-------|---------------|

問3 あなたは何歳ですか。(1つだけ○)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 18歳～19歳 | 2. 20歳～29歳 | 3. 30歳～39歳 | 4. 40歳～49歳 |
| 5. 50歳～59歳 | 6. 60歳～69歳 | 7. 70歳～79歳 | 8. 80歳以上 |

問4 あなたの国籍・地域はどれですか。(1つだけ○)

- | | | | |
|----------|-----------|----------|-------------|
| 1. 韓国 | 2. 中国 | 3. ネパール | 4. ベトナム |
| 5. ミャンマー | 6. インドネシア | 7. 台湾 | 8. フィリピン |
| 9. アメリカ | 10. スリランカ | 11. 朝鮮 | 12. フランス |
| 13. タイ | 14. インド | 15. イギリス | 16. その他 () |

問5 あなたの在留資格はどれですか。(1つだけ○)

- | | | | | |
|---------------|--------------|-----------------|--------------|--------|
| 1. 留学(大学・大学院) | 2. 留学(日本語学校) | 3. 留学(専門学校、その他) | | |
| 4. 特別永住者 | 5. 永住者 | 6. 技術・人文知識・国際業務 | | |
| 7. 家族滞在 | 8. 技能実習 | 9. 特定技能 | 10. 日本人の配偶者等 | |
| 11. 特定活動 | 12. 経営・管理 | 13. 定住者 | 14. 技能 | 15. 教授 |
| 16. 高度専門職 | 17. 永住者の配偶者等 | 18. その他の資格 () | | |

問6 あなたと一緒に住んでいる人、全部に○をしてください。ひとりで住んでいる人は「1. いない(ひとりで住んでいる)」に○をしてください。(あてはまるもの全部に○)

- | | | | |
|--------------------|------------------|-----------|----------|
| 1. いない(ひとりで住んでいる) | 2. 日本人の配偶者・パートナー | | |
| 3. 日本人以外の配偶者・パートナー | 4. 子ども | 5. あなたの親 | |
| 6. 配偶者・パートナーの親 | 7. 兄弟姉妹 | 8. その他の親族 | 9. 友人・知人 |

問7 あなたは日本に全部で何年住んでいますか。(1つだけ○)

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月以上～1年未満 | 3. 1年以上～2年未満 |
| 4. 2年以上～3年未満 | 5. 3年以上～5年未満 | 6. 5年以上～10年未満 |
| 7. 10年以上～20年未満 | 8. 20年以上～30年未満 | 9. 30年以上 |

問8 あなたは京都市に全部で何年住んでいますか。(1つだけ○)

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月以上～1年未満 | 3. 1年以上～2年未満 |
| 4. 2年以上～3年未満 | 5. 3年以上～5年未満 | 6. 5年以上～10年未満 |
| 7. 10年以上～20年未満 | 8. 20年以上～30年未満 | 9. 30年以上 |

とい 問9 あなたの今のお住まいは、次のどれですか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 持ち家 (一戸建て) | 2. 持ち家 (マンション、共同住宅) |
| 3. 借家 (一戸建て) | 4. 借家 (府営、市営等の共同住宅) |
| 5. 借家 (社宅・社員寮、学生寮) | 6. 借家 (民間アパート、民間賃貸マンション) |

とい 問10 あなたが最後に卒業した学校はどれですか。(1つだけ○)

- | | | | |
|-------------------|------------|--------------------|------------|
| にほん がっこう
日本の学校 | 1. 大学以上 | がいこく がっこう
外国の学校 | 6. 大学以上 |
| | 2. 短大・専門学校 | | 7. 短大・専門学校 |
| | 3. 高校 | | 8. 高校 |
| | 4. 中学校 | | 9. 中学校 |
| | 5. 小学校 | | 10. 小学校 |

2 京都での満足度や生活での困りごとについて

とい 問11 あなたは京都市での生活に満足していますか。(1つだけ○)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. とても満足 | 2. 満足 | 3. どちらでもない |
| 4. 不満 | 5. とても不満 | |

とい 問12 現在、「京都」について魅力を感じる点(よいところ)はどんなところですか。

(最もあてはまるもの3つに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 1. 働くところがたくさんある | 2. 国際的である |
| 3. 物や家の値段が安い | 4. ショッピング施設が多く、買い物 convenient である |
| 5. 市バスや地下鉄などでの移動が便利 | 6. 文化・スポーツ・娯楽施設が多い |
| 7. 近くに山や川などの自然が豊かである | 8. 古い街並みや建物が残っている |
| 9. 伝統工芸が多く残っている | 10. 祭りや伝統芸能、寺社など、日本の伝統文化を感じられる |
| 11. 大学生が集まり、活気があるまちである | 12. 子どもの教育や子育ての環境が整っている |
| 13. 親切な人が多く、人と人とのふれ合いがある | 14. 地域コミュニティが活発である |
| 15. 犯罪が少なく、安心して暮らせる | 16. その他 () |

問13 あなたは次のことを、どれくらい困っていますか(心配していますか)。(①～⑱それぞれ1つだけ○)

	とても困っている	少し困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない	経験していない・ 自分に関係ない
① 日本語での会話や読み書き	1	2	3	4	5	6
② 多言語で情報を入手すること	1	2	3	4	5	6
③ 家さがし	1	2	3	4	5	6
④ ごみの出し方	1	2	3	4	5	6
⑤ 生活費(生活するためのお金)	1	2	3	4	5	6
⑥ 税金や年金など行政窓口での手続き	1	2	3	4	5	6
⑦ 病気やけが、病院の利用	1	2	3	4	5	6
⑧ 老後の生活(自分の福祉サービスの利用)	1	2	3	4	5	6
⑨ 家族の介護・福祉サービスの利用	1	2	3	4	5	6
⑩ 出産・子育て	1	2	3	4	5	6
⑪ 子どもの教育・進路(卒業後のこと)	1	2	3	4	5	6
⑫ 家族間のトラブル(DV※(暴力など)、離婚の手続きなど)	1	2	3	4	5	6
⑬ 自分の勉強・学校生活	1	2	3	4	5	6
⑭ 仕事さがし	1	2	3	4	5	6
⑮ 職場での仕事の仕方・人間関係	1	2	3	4	5	6
⑯ 災害時・緊急時の対応	1	2	3	4	5	6
⑰ 日本人との交流	1	2	3	4	5	6
⑱ 日本人からの差別や偏見	1	2	3	4	5	6

※DV・・・配偶者(事実婚・元配偶者など結婚をしていないカップルを含む)や恋人など、近くて仲のいい関係の
中で起こる暴力。

問14 あなたは外国人ということで、どのような差別を受けることがありますか。(あてはまるもの全部に○)

1. じろじろ見られたり、避けられたりする
2. 意見や行動、文化などを尊重されない
3. 名前や外見(顔つき、服装)、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はすれにされたりする
4. ヘイトスピーチ※などの差別的な発言や行為を受ける
5. 就職活動で日本人より採用されにくい
6. 日本人より給料が安い、仕事で認めてもらえない
7. 医療、福祉、教育などで日本人と同じサービスが受けられない
8. 家探しで断られる
9. 日本人との交際や結婚で反対される
10. レストランやお店で利用を断られる
11. その他()
12. 今、差別を感じることはほとんどない

※ヘイトスピーチ…特定の国や地域の人々を、その出身であることを理由に日本社会から追い出そうとしたり、危害を加えようとしたりする言動のこと。

問15 悩んだり困ったことがあったときの相談先を教えてください。(あてはまるもの全部に○)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 家族 | 2. 母国出身の友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 日本人の友人・知人(母国出身でない) |
| 5. 母国出身者や日本人でない友人・知人 | 6. 日本語教室の先生・職員・ボランティア |
| 7. 会社の人や学校の先生・職員 | 8. 民間の相談所やボランティア団体 |
| 9. 市役所や区役所などの窓口 | 10. kokoka京都市国際交流会館の相談窓口 |
| 11. 相談する相手がいない | |

◆◆ お知らせ ① ◆◆

kokoka京都市国際交流会館では、人々が出会い、話し合い、交流を深めることを目的に、いろいろな取り組みをしています。

URL: <https://www.kcif.or.jp/>



問16 あなたは今後どれくらい、京都市または日本に住みたいと思っていますか。(1つだけ○)

1. 京都市に住み続けたい
2. 日本には住み続けたいが、京都市からは引っ越したい
3. 日本には住み続けたいが、京都市に住み続けるかわからない
4. 日本と母国を一定期間ごとに往復したい
5. 将来は日本を離れたい(母国へ帰るなど)
6. 日本を離れるかどうかわからない

問16-1へ

問16で「2. 日本には住み続けたいが、京都市からは引っ越したい」「3. 日本には住み続けたいが、京都市に住み続けるかわからない」と答えた人に聞きます。

問16-1 京都市からは引っ越したい、京都市に住み続けるかわからない最も大きな理由は何ですか。(1つだけ○)

1. 家を見つけることが難しいため(高いなど)
2. 通勤や通学が不便なため
3. 就きたい仕事や働く場所がないため
4. 他の地域の学校へ進学・転校したいため
5. 子どもの教育や子育て環境がよくないため
6. 自然などの周辺環境がよくないため
7. 近所との付き合いなど人間関係がよくないため
8. 外国籍市民へのサポートを含めた行政サービスがよくないため
9. 結婚のため
10. 家族のその他の理由での移動のため
11. その他()

3 言葉について

問17 あなたはどれくらい日本語ができますか。(①~③それぞれ1つだけ○)

① 聞く・話す

1. どんな場面でも努力せずに話し、聞き取ることができる
2. 日常生活に困らないくらい話し、聞き取ることができる
3. 簡単な質問なら理解し、答えることができる
4. ほとんど聞き取ることができない、話すことができない

② 読む

1. どんな内容の文章でも読むことができる
2. メールやチラシなど漢字も入った短い文章を読むことができる
3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる
4. ひらがな、カタカナの言葉をいくつか読むことができる
5. ほとんど読むことができない

③ 書く

1. 複雑ふくざつな内容ないようの文章ぶんしょうも書くことができる
2. 簡単かんたんな手紙てがみや報告ほうこくを書くことができる
3. 短みじかいメールめーるやメッセージめっせーじを書くことができる
4. ほとんどほとんど書くことができない

問18 あなたの日本語にほんごの学習がくしゅう状況じょうきょうは、どれですか。(1つだけ〇)

1. 日本語にほんごに不自由ふじゆうはないので、学習がくしゅうの必要ひつようはない
2. 現在げんざい、学習がくしゅうしている → 問18-1、問18-2へ
3. 現在は学習がくしゅうしていないが、できれば学習がくしゅうしたい → 問18-2、問18-3へ
4. 現在は学習がくしゅうしていないし、学習がくしゅうするつもりもない

問18で「2. 現在げんざい、学習がくしゅうしている」と答えた人に聞きます。

問18-1 あなたは主おもにどのように日本語にほんごを勉強べんきょうしていますか。(1つだけ〇)

1. 通かよっている大学だいがくの日本語にほんごの授業じゅぎょう
2. 日本語にほんご学校がっこう
3. 公的機関こうてききかんが開ひらく学校がっこう (夜間中學校やかんちゅうがっこう、夜間定時制高校やかんていじせいこうこう)
4. 資格しかくを持った日本語教師にほんごきょうしなどによる有ゆう料りょう (お金かねがいる) の日本語教室にほんごきょうしつ
5. ボランティアなどによる無む料りょう (お金かねがいらない) または安やすい日本語教室にほんごきょうしつ
6. 通信教育つうしんきょういくやオンラインおんらいんを使うつか
7. 家族かぞくに教おしえてもらっている
8. 日本人にほんじんの友人ゆうじん・知人ちじんに教おしえてもらっている
9. 外国人がいこくじんの友人ゆうじん・知人ちじんに教おしえてもらっている
10. 職場しょくばで教おしえてもらっている
11. 独学どくがく (ひとりまなで学まなんでいる)
(テキストてきすとや語学学習ごがくがくしゅうアプリあぷりなど)

問18で「2. 現在、学習している」「3. 現在は学習していないが、できれば学習したい」と答えた人に聞きます。

問18-2 あなたは日本語を勉強するとき、次の勉強方法をどれくらい利用したいですか。

(①～⑧それぞれ1つだけ○)

	ぜひ利用したい	やや利用したい	どちらともいえない	あまり利用したくない	まったく利用したくない
① 授業料が高くて専門的に教えてくれる語学学校や大学	1	2	3	4	5
② ボランティアに直接安く教えてもらえる教室	1	2	3	4	5
③ オンラインで学べるサービス	1	2	3	4	5
④ 夜や土曜日・日曜日など仕事がない時間に行ける教室	1	2	3	4	5
⑤ 家や職場の近くにある教室	1	2	3	4	5
⑥ 職場が行う教室	1	2	3	4	5
⑦ 子どもを預かるサービスのある教室や学校	1	2	3	4	5
⑧ 語学学習アプリ	1	2	3	4	5

問18で「3. 現在は学習していないが、できれば学習したい」と答えた人に聞きます。

問18-3 あなたが日本語を学ぶことができない理由は何ですか。(あてはまるもの全部に○)

1. 忙しくて勉強する時間がないから	2. 日本語教室や日本語学校の情報がないから
3. 近くに学べる場所がないから	4. 勉強するお金がないから
5. 自分のレベルより難しい教室しかないから	6. 自分のレベルより簡単な教室しかないから
7. 同じ国籍の人が学んでいる教室がないから	8. 良い教材(テキストなど)がわからない
9. 家族や友人などが通訳してくれるから	10. 母国の言葉だけで生活できるから

すべての人にお聞きします。

問19 あなたは日本語以外で日常会話のできる言語はありますか。(あてはまるもの全部に○)

1. 英語	2. 中国語	3. 韓国語・朝鮮語	4. スペイン語
5. ポルトガル語	6. タガログ語	7. ベトナム語	8. ネパール語
9. ミャンマー語	10. インドネシア語	11. フランス語	12. その他

じょうほう
4 情報について

問20 あなたは生活に必要な情報をどこから得ていますか。(最もあてはまるもの3つに○)

1. インターネット (公的なものでない、民間のホームページなど)
2. SNS (公的なものでない、民間のX、Facebook、LINE、WeChat など)
3. 市役所や区役所のホームページ・SNS・窓口
4. kokoka京都市国際交流会館のホームページ・SNS・窓口
5. テレビ・ラジオ
6. 新聞・雑誌
7. 家族
8. 職場や学校
9. 近所の日本人、町内の回覧板 (住んでいる町からの連絡)
10. 日本人の友人・知人
11. 同じ国の友人・知人
12. その他の友人・知人
13. 外国人を支援する団体
14. 母国の大使館・領事館

問21 あなたは京都市役所や kokoka京都市国際交流会館が、行政に関する情報や京都市の生活情報を発信しているツールを知っていますか。(あてはまるもの全部に○)

- | | | |
|-----------------------------------|------------------------------|---|
| 京都市役所の
発信しているツール | 1. ホームページ
3. 広報誌 (市民しんぶん) | 2. SNS (X・Facebook など) |
| kokoka京都市国際
交流会館の
発信しているツール | 4. ホームページ
6. メールマガジン | 5. SNS (X・Facebook など)
7. ホームページの生活ガイド |

問22 あなたが不足していると感じる多言語の情報は何ですか。(あてはまるもの全部に○)

1. 家の探し方や引っ越し
2. ごみの出し方
3. 病院・医療
4. 子育てや学校
5. 仕事の探し方
6. 災害時の対応
7. 事故や犯罪にあったときの対応
8. 交通ルール (自転車や運転免許など)
9. 在留資格や住民登録の手続き
10. 税金や年金の手続き
11. 外国語で相談できる窓口
12. 日本語を学べる場所
13. 地域のルール、町内会・自治会
14. 地域で交流できるイベント
15. 自分が参加できるボランティア
16. その他 ()
17. 特にない

問23 あなたはインターネットを使って生活に必要な情報を入手する場合、主にどの言語で入手していますか。

(1つだけ○)

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 日本語 | 2. 英語 |
| 3. 英語以外の母語（自分の国の言葉） | 4. 日本語を自動翻訳 |

◆◆ お知らせ ② ◆◆

次のウェブサイトでは、多言語で生活情報を見ることができます。また、困ったことがあるときには、多言語で相談することができます。

<p>生活ガイド</p> <p>URL: https://www.kcif.or.jp/web/jp/livingguide/</p> 	<p>京都市外国籍市民総合相談窓口</p> <p>URL: https://www.kcif.or.jp/web/jp/support/total/</p> 
--	---

5 日本人との付き合い、地域での交流について

問24 あなたは日本人との付き合いがありますか。(あてはまるもの全部に○)

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 1. 親しく交流する人がいる | 2. 個人的な話をする人がいる |
| 3. 挨拶をする人がいる | 4. インターネットやSNSだけの付き合いの人がいる |
| 5. 日本人との付き合いはない | |

問24-1 住んでいる地域(近所)での日本人との付き合いはありますか。(あてはまるもの全部に○)

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 親しく交流する人がいる | 2. 個人的な話をする人がいる |
| 3. 挨拶をする人がいる | 4. 地域(近所)での日本人との付き合いはない |

問25 今後の日本人との交流についてどのように考えますか。(1つだけ○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 現在も交流があり、より広げていきたい |
| 2. 現在の交流を今後も続けていきたい |
| 3. 現在は交流していないが、今後交流したい → 問25-1へ |
| 4. 交流する気はない |

問25 で「3. 現在は交流していないが、今後交流したい」と答えた人に聞きます。

問25-1 あなたが交流することができていない理由は何ですか。(あてはまるもの全部に○)

1. 言葉が通じない	2. 文化や習慣の違いがある
3. 交流のきっかけがない	4. 交流する機会についての情報が少ない
5. 参加する時間・余裕がない	6. 金銭的な余裕がない
7. どのように接していいかわからない	8. 日本人の輪にはいりにくい

すべての人にお聞きします。

問26 あなたは仕事や学校以外の交流・活動を、どのように考えていますか。(①～⑦それぞれ1つだけ○)

	すでに交流・活動している	交流・活動はしていないが、今後参加してみたい	交流・活動する予定はない
① 自治会や町内会の活動 (地域に住んでいる人たちとの活動)	1	2	3
② 福祉・環境などのボランティア活動	1	2	3
③ 趣味やスポーツ活動	1	2	3
④ 日本文化や京都の文化を学ぶ活動	1	2	3
⑤ 自国の文化を知ってもらう活動	1	2	3
⑥ 外国語の勉強のための言語交換 (language exchange)	1	2	3
⑦ 地域のイベント(夏まつり、地蔵盆など)	1	2	3

6 医療について

問27 あなたは病院にいくときに、困ったことがありますか。(あてはまるもの全部に○)

1. どのような病院があるかを多言語で見つけることが難しい	2. 休日や夜みてもらえる病院がどこにあるかわからない
3. 医師や看護師と言葉が通じない	4. 日本語の書類・案内が理解できない
5. 病院代が高い	6. その他 ()
7. 特になし	

こそだ きょういく
7 子育て・教育について

問28 あなたには0歳～18歳の子供がいますか。(1つだけ○)

※「1. いる」を選んだ人は()に数字を書いてください。

1. いる 子供の数()人 → 問28-1へ 2. いない → 問29へ

問28で「1. いる」と答えた人に聞きます。

問28-1 子供が通っている学校についてお答えください。(あてはまるもの全部に○)

① 0歳～5歳の子供

1. 日本の保育所か幼稚園に通っている
2. 日本のインターナショナルスクールに通っている
3. 日本にいて、保育所や幼稚園には通っていない
4. 日本にいない
5. 0歳～5歳の子供はいない

問28-2、問28-3へ

② 6歳～14歳の子供

1. 日本の小学校か中学校、総合支援学校に通っている
2. 日本のインターナショナルスクールや民族学校に通っている
3. 日本にいて、小学校や中学校、総合支援学校には通っていない
4. 日本にいない
5. 6歳～14歳の子供はいない

問28-2、問28-3へ

③ 15歳～18歳の子供

1. 日本の高校に通っている
2. 日本の総合支援学校、専修学校、各種学校に通っている
3. 日本のインターナショナルスクールや民族学校に通っている
4. 日本にいて、高校など(総合支援学校、専修学校、各種学校も含む)には通っていない
5. 日本にいない
6. 15歳～18歳の子供はいない
7. その他

問28-2、問28-3へ

0歳から18歳までの日本に住んでいる子どもがいる人にお聞きします。

問28-2 あなたは出産や育児で困っていることはありますか。(あてはまるもの全部に○)

1. 母子健康手帳をもらったが、内容がわからない
2. 妊娠中(子どもがお腹にいるとき)の健康診査(病気がないかみてもらう)を受ける方法がわからない(わからなかった)
3. 子どもを産むために病院に行くとき、言葉が通じない
4. 子どもの健康診査(病気がないかみてもらう)や予防接種(病気にならないための注射)を受ける方法がわからない
5. 保育所が近くにない
6. 保育所や幼稚園に子どもを入れる方法がわからない
7. 子育ての悩みを相談できる相手がいない
8. 子育ての情報が日本語なのでわかりにくい
9. 子育てについて日本人の家族と意見が合わない
10. 同じように子育てをしている人と知り合う機会がない
11. 保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない
12. その他()
13. 特にない

問28-3 あなたの子どもの教育について困っていることはありますか。(あてはまるもの全部に○)

1. 子どもが日本語がうまくできない
2. 子どもが母語がうまくできず、コミュニケーションがとれない
3. 子どもが学校になじまない
4. 進学や進路(学校を卒業した後)に不安がある
5. 子どもが外国人であることで差別を受けていると感じる
6. 言葉の違いなどから、学校との意思疎通がとりにくい(学校の考えがわからない)
7. 親や家族のために、子どもに通訳や翻訳をお願いしており、負担をかけている
8. 子どもが学校で学んでいくための制度がわからない
9. 教育にかかる費用が高い(お金がかかる)
10. インターナショナルスクールや民族学校の数が少ない、またはその環境が整っていない
11. その他()
12. 特にない

8 仕事について

問29 あなたは今、どのような形で仕事をしていますか。(1つだけ○)

- | | | |
|--------------------------|---|--------------|
| 1. 正社員 (経営者を含む) | } | 問29-1、問29-2へ |
| 2. 派遣社員・契約社員 | | |
| 3. 自営業 (家族従業者、自由業、個人事業主) | | |
| 4. アルバイト・パート、内職 | | |
| 5. 仕事をしていない (仕事を探している) | | 問30へ |
| 6. 仕事をしていない (仕事を探していない) | | 問29-3へ |

問29で「1. 正社員 (経営者を含む)」「2. 派遣社員・契約社員」「3. 自営業 (家族従業者、自由業、個人事業主)」「4. アルバイト・パート、内職」と答えた人に聞きます。

問29-1 あなたの職業は何ですか。2つ以上ある人は、主なもの1つを選んでください。(1つだけ○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 企業 (会社)・団体や施設の経営者 (役員・自営業など) |
| 2. 医療・保健専門職 (医師・看護師・保育士・介護士など) |
| 3. 技術専門職 (建築士、システムエンジニアなど) |
| 4. 法律関係専門職 (弁護士、会計士、税理士、行政書士など) |
| 5. 教員・研究者 (教授・語学教師 (外国語の先生) など) |
| 6. 語学 (外国語) 専門職 (通訳者、翻訳者など) |
| 7. 事務職 (営業事務、一般事務、経理事務、秘書など) |
| 8. 工場などの工員・作業員 (技能工、食品加工など) |
| 9. サービス業 (ホテル・旅館スタッフ、レストランや飲食店スタッフなど) |
| 10. 販売員 (コンビニ、スーパー、お土産物店など) |
| 11. 家政婦 (家事代行)、ホームヘルパー |
| 12. 運転手、配達員 |
| 13. 建築土木作業員 |
| 14. 農業従事者 (農家など)、漁業従事者 (漁師など)、採鉱員 |
| 15. 理容師・美容師、調理人 |
| 16. その他 |

問29-2 仕事で困っていることや不満はありますか。(あてはまるもの全部に○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 給料が安い | 2. 仕事をする期間が短い |
| 3. 労働時間が長い、休日が少ない | 4. 働く環境が悪い |
| 5. いつ仕事がなくなるか不安がある | 6. 正社員になれない、または昇格できない |
| 7. 日本人とお互いの考えを理解しあえない | 8. 上司や仕事仲間との関係が悪い |
| 9. 日本語によるコミュニケーションが難しい | 10. 相談先が少ない |
| 11. 外国人という理由で差別をされているように感じる | |
| 12. やりたい仕事ではない | 13. 特にない |

問29で「6. 仕事をしていない(仕事を探していない)」と答えた人に聞きます。

問29-3 仕事を探していない理由は何ですか。最も当てはまる番号を1つ選んでください。(1つだけ○)

- | | |
|------------------------|--|
| 1. 日本語がうまく話せず、就職できないから | 2. 探しても希望する就職先が見つからないから |
| 3. 外国人が働く会社が少ないから | 4. 人間関係が不安だから |
| 5. 仕事がなくても生活できるから | 6. 前に働いていた会社や就職活動で見た会社の、人間関係や働く条件がよくなかったから |

すべての人にお聞きします。

問30 仕事を探していて、どのようなことに困っていますか。

または、仕事を探していたとき、どのようなことに困りましたか。(あてはまるもの全部に○)

- | |
|---|
| 1. 求人情報の探し方がわからない(わからなかった) |
| 2. 履歴書(応募書類)の書き方や、面接の受け方がわからない(わからなかった) |
| 3. 自分の日本語レベルでできる仕事がない(なかった) |
| 4. 子育てや介護をしながらできる仕事がない(なかった) |
| 5. 仕事ができる在留資格がない(なかった) |
| 6. 外国人が応募してよいのかわからない(わからなかった) |
| 7. たくさん応募しても受からず、理由がわからない(わからなかった) |
| 8. 特にない |

9 防災について

問31 あなたが防災で知っていることは、どのようなことですか。(あてはまるもの全部に○)

1. 消火器の使い方
2. 火事があったときの電話番号
3. 家や会社、学校の避難口（非常口）の位置
4. 住んでいる地域の避難所の場所
5. 京都市防災ポータルサイト
6. NTT災害用伝言ダイヤル（171）や携帯電話の災害用伝言板
7. 避難所で水や食べ物もらえる
8. 避難するときに持っていけるように、保存食や水を準備しておいた方がよい
9. 地震で家具が倒れないように、壁に固定しておいた方がよい
10. 地域で毎年防災訓練（防災の練習）をしている
11. 家族と連絡方法や集まる場所を決めておいた方がよい
12. 緊急連絡先の情報を持ち歩いた方がよい

◆◆ お知らせ ③ ◆◆

京都市防災ポータルサイトでは、防災についての情報が、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、やさしい日本語で見ることができます。

URL: <https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp/>



10 行政・相談窓口について

問32 京都市では外国籍市民も利用いただける次のような行政サービスがあります。あなたはこれらのサービスを知っていますか。また、利用したことがありますか。(①～⑨それぞれ1つだけ〇)

	利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない
① 市民向けの予防接種や健康診断（一般健診、がん、HIV など）	1	2	3
② 母子健康手帳・乳幼児健診	1	2	3
③ 児童手当・児童扶養手当	1	2	3
④ 子ども医療費	1	2	3
⑤ 介護保険によるサービス	1	2	3
⑥ 敬老乗車証（70歳以上の人）	1	2	3
⑦ 市営住宅に住むこと	1	2	3
⑧ 生活保護	1	2	3
⑨ 区役所などの窓口の通訳サービス（電話やタブレット）	1	2	3

※上にあるものには一定の条件を満たした人だけがサービスの対象となるものもあります。

問33 あなたは市役所や区役所の窓口で困ったことはありますか。(あてはまるもの全部に〇)

1. どの窓口に行けばいいかわからなかった	2. 役所の場所や利用時間がわからなかった
3. 窓口で言葉が通じなかった	4. 書類の内容、書き方がわからなかった
5. いろいろな書類をそろえるのが難しかった	6. 役所に何を相談できるかがわからなかった
7. 困ったことはなかった	

問34 あなたは京都市外国籍市民総合相談窓口(kokoka京都市国際交流会館にあります)を知っていますか。また、利用したことはありますか。(1つだけ〇)

1. 利用したことがある	2. 知っているが、利用したことはない → 問34-1へ
3. 知らない	

問34で「2. 知っているが、利用したことはない」と答えた人に聞きます。

問34-1 京都市外国籍市民総合相談窓口を利用しない理由は何ですか。(あてはまるもの全部に○)

- | | |
|------------------------------------|--------------------------|
| 1. 相談窓口の利用の仕方がわからない | 2. メールやSNSなどオンラインで相談できない |
| 3. 相談できる日時が合わない | 4. 相談できる言語がわからない |
| 5. 希望する言葉で相談できない | 6. 直接会って相談したいが場所が遠い |
| 7. 自分の力や家族・知人のサポートで解決できるため相談の必要がない | |

11 多文化共生の取組について

問35 kokoka京都市国際交流会館を知っていますか。また、行ったことがありますか。(1つだけ○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 行ったことがある → 問35-1 へ |
| 2. 知っているが行ったことはない → 問35-2 へ |
| 3. 知らない → 問36 へ |

問35で「1. 行ったことがある」と答えた人に聞きます。

問35-1 あなたはkokoka京都市国際交流会館のサービスを知っていますか。
また、利用したことがありますか。(①～⑥それぞれ1つだけ○)

	利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない
① 相談事業（市民生活アドバイザーによる生活相談／三者通話による行政通訳・相談／法律・ビザ相談／カウンセリングデイ）	1	2	3
② 日本語事業（やさしい日本語クラス／ボランティアによる日本語クラス／オンライン日本語クラス）	1	2	3
③ 交流事業（文化紹介講座COSMOS／国際理解プログラムPICNIK／koko kids）	1	2	3
④ イベント（kokokaオープンデイ／グローバル婚活kokoコン）	1	2	3
⑤ 留学生向け事業（京都留學生情報サイト／留學生交流ファミリー／おこしやすパス）	1	2	3
⑥ 情報発信（メールマガジン「外国人くらし安全メルマガ」／ホットチャット）	1	2	3

問35 で「2. 知っているが行ったことはない」と答えた人に聞きます。

問35-2 kokoka京都市国際交流会館を利用しない理由は何ですか。(あてはまるもの全部に○)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 自分の家から行くことが難しい | 2. どんなサービスがあるのかわからない |
| 3. 場所や開いている時間がわからない | 4. 忙しくて利用する時間がない |
| 5. 自分の国の言葉で相談できない | 6. 利用・参加したいサービスやイベントなどがない |
| 7. 家族や友人の支援で満足している | |

すべての人にお聞きします。

問36 外国籍市民にとって暮らしやすいまちになるために、京都市はどのようなことをすればよいと思いますか。

(あてはまるもの全部に○)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす | 2. 外国籍市民が日本文化を学ぶ機会を増やす |
| 3. 多言語（「やさしい日本語」を含む）での生活情報の提供を増やす | 4. 相談や行政の手続きなどで多言語のサポートを増やす |
| 5. 「やさしい日本語」※を多くの人に広げる | 6. 外国籍市民の子育てや教育の環境をよくする |
| 7. 日本人と外国籍市民が協力して地域を盛り上げる機会を増やす | |
| 8. 外国籍市民を支える団体の支援やボランティアの育成支援 | |
| 9. 外国籍市民の就職を支援する | 10. 外国籍市民が病院や福祉サービスを利用するときに支援する |
| 11. 外国籍市民の意見を行政に生かすための仕組みづくり | 12. 外国籍市民と日本人が交流する機会を増やす |
| 13. 日本人が外国の文化を理解できるようにする | 14. 日本人の外国語学習を支援する |
| 15. 外国人への差別や偏見がなくなるようにする | 16. その他（ ） |

※やさしい日本語・・・外国の人にもわかるようにした簡単な日本語のこと。

問37 あなたは生活していて、日本人にしてほしいことはありますか。(あてはまるもの全部に○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1. あいさつ、声かけをしてほしい | 2. 地域の行事などに誘ってほしい |
| 3. 簡単な日本語で話してほしい | 4. 地域のルールなどを教えてほしい |
| 5. 外国の生活習慣、文化などについて理解してほしい | 6. 差別意識や偏見を持たないようにしてほしい |
| 7. 日本語を教えてほしい | 8. 外国人と交流するイベントなどに積極的に参加してほしい |
| 9. 友人になってほしい | 10. 困っているときに話しかけてほしい |
| 11. 外国語ができるようになってほしい | |

12 自由意見

問38 京都市にしてほしいこと、生活の中で不便なこと、困っていることなどを教えてください。

(中国語(簡体字)・韓国語・朝鮮語・英語・ベトナム語・ネパール語で書いても大丈夫です。)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

このアンケート調査票は、同封の封筒に入れて、7月28日(月曜日)までに郵便ポストに入れてください。切手はいりません。

京都市 外国籍市民との共生に関するアンケート

アンケートへの御協力をお願い

京都市は、国内外から多くの観光客が訪れる国際的な観光都市であるとともに、近年、生活者としての外国籍市民の方々も増加傾向にあります。

外国籍市民の皆様は、教育や文化、産業や観光、福祉など幅広い分野で活躍され、京都の経済や地域社会を共に支えていただいています。

この度、本市では今後外国籍市民の方々地域との調和を図りながら、安心して生活できるよう現状やニーズを調べるとともに、受け入れる側の地域の皆様の交流の状況や課題と思われる点などを把握するため、アンケート調査を実施させていただくこととなりました。

この調査は、京都市内に住民登録のある18歳以上の方の中から、無作為に抽出した3,000人の皆様にお送りしています。調査は無記名で、御記入いただいた内容については統計的に処理し、調査の目的以外で使用することは一切ございません。

本アンケートへの御回答は、今後の京都市における多文化共生施策を検討する上で、貴重な資料とさせていただきます。御多忙の折とは存じますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

京都市

【御回答にあたってのお願い】

1. 回答は宛名の御本人が御記入ください。
2. 該当する番号を○で囲んで御回答ください。設問によって選択する数が異なりますので、御注意ください。
3. 「その他」を選んだときは、その後にある()内に具体的な内容を御記入ください。
4. 設問の回答内容によって次の設問が異なる場合がありますので、説明にしたがって御回答ください。特に説明のない場合は次の設問番号へお進みください。
5. 調査票記入後は同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、7月28日(月)までに返送してください。

6. このアンケートは Web でも御回答いただけます。

■右のコードを読み取るか、下記 URL から Web ページにアクセスいただき御回答ください。

URL:<https://src.webcas.net/form/pub/src2/kn>



【お問い合わせ先】

①アンケート調査について（アンケート用紙の書き方や回答方法）

株式会社サーベイリサーチセンター大阪事務所(調査委託先)

フリーダイヤル:0120-186-189(開設時間:平日9時~12時/13時~17時)

メール kyoto_gaikoku@surece.co.jp

②その他の質問

京都市総合企画局 国際都市共創推進室 国際担当

メール kokusai@city.kyoto.lg.jp

1. あなた自身のことについて

問1 お住まいの地域はどちらですか。(〇は1つ)

- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 北区 | 2. 上京区 | 3. 左京区 | 4. 中京区 |
| 5. 東山区 | 6. 山科区 | 7. 下京区 | 8. 南区 |
| 9. 右京区 | 10. 西京区 | 11. 伏見区 | |

問2 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

- | | | |
|-------|-------|---------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他・答えたくない |
|-------|-------|---------------|

問3 あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 18歳～19歳 | 2. 20歳～29歳 | 3. 30歳～39歳 | 4. 40歳～49歳 |
| 5. 50歳～59歳 | 6. 60歳～69歳 | 7. 70歳～79歳 | 8. 80歳以上 |

問4 あなたの職業を教えてください。(〇は1つ)

- | | | | |
|--------------|-------------|---------|--------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. アルバイト・パート |
| 5. 派遣社員・契約社員 | 6. 学生・専門学校生 | 7. 家事専業 | 8. 無職 |
| 9. その他 () | | | |

問5 現在一緒に住んでいる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. いない (一人暮らし) | 2. 配偶者またはパートナー |
| 3. 子ども → 問5-1 へ | 4. 自分または配偶者 (パートナー) の親 |
| 5. その他の親族 | 6. 友人・知人 |

問5で「3. 子ども」とお答えの方におうかがいします。

問5-1 子どもの年齢はどれにあたりますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | | | |
|----------|-----------|------------|------------|
| 1. 6歳未満 | 2. 6歳～12歳 | 3. 13歳～15歳 | 4. 16歳～18歳 |
| 5. 19歳以上 | | | |

問6 あなたは、外国語をどの程度話すことができますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1. 外国語を母語として話す人と同程度 | 2. 仕事で使える程度 |
| 3. 日常会話程度 | 4. 簡単な単語を組み合わせ、
なんとか話せる程度 |
| 5. 全く話せない | |

問7 あなたは、次のような経験をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 海外旅行・出張 | 2. 海外への修学旅行、学校が実施する海外との交流事業 |
| 3. 留学・ワーキングホリデー | 4. 海外赴任（自分または家族の帯同） |
| 5. 海外での国際協力活動 | 6. その他（ |
| 7. 経験したことがない | ） |

2. 外国人との交流について

※外国人には、外国籍市民に加え、京都市以外の友人や同僚など、市外に住む方も含みます。

問8 現在、外国人との付き合いはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1. 親しく交流する人がいる | } 問8-1 へ |
| 2. 個人的な話をする人がいる | |
| 3. 挨拶をする人がいる | |
| 4. インターネットやSNS だけの付き合いの人がいる | |
| 5. 外国人との付き合いはない | → 問9 へ |

問8で「1~4」(外国人と付き合いがある)とお答えの方におうかがいします。

問8-1 外国人とどのように(どこで/どんなシーンで)知り合いましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 近所付き合いの中で | 2. 子育ての中で |
| 3. 自分が通う学校で | 4. 自分が働く仕事場で |
| 5. 留学や海外旅行、海外赴任で | 6. 国際交流のイベントで |
| 7. インターネットやSNS で | 8. 趣味やスポーツなどで |
| 9. 家族・親族に外国人がいる | 10. その他（ |
| | ） |

問9 あなたは今後の外国人との交流についてどのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 現在も交流があり、より広げていきたい | } 問9-1 へ |
| 2. 現在の交流を今後も続けていきたい | |
| 3. 現在は交流していないが、今後交流したい | → 問9-1、9-2 へ |
| 4. 交流する気はない | |

問9で「1. 現在も交流があり、より広げていきたい」、「2. 現在の交流を今後も続けていきたい」、「3. 現在は交流していないが、今後交流したい」とお答えの方におうかがいします。

問9-1 どのような付き合いをしていきたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 挨拶する程度の付き合いでよい | 2. 日常生活で気軽にコミュニケーションを取りたい |
| 3. 文化やスポーツ等での交流をしたい | 4. 語学を教えたい、または教えてほしい |
| 5. 地域の活性化と一緒に取り組みたい | 6. 友達付き合いをしたい |
| 7. その他（ | ） |

問9で「3. 現在は交流していないが、今後交流したい」とお答えの方におうかがいします。

問9-2 交流できていない理由は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 言葉が通じない	2. 文化や習慣の違いがある
3. 交流のきっかけがない	4. 交流する機会についての情報が無い
5. 参加する時間・余裕がない	6. 金銭的な余裕がない
7. どのように接していいかわからない	8. 外国人の輪に入りにくい

3. 外国籍市民の受入れに関する意識・希望について

問10 近所に外国籍の人が住んでいますか。(○は1つ)

1. 多く住んでいる	2. 多少住んでいる	3. 住んでいない	4. わからない
------------	------------	-----------	----------

問11 あなたの住まいの近くに外国籍の人が住むことについて、どう思いますか。(○は1つ)

1. 全く抵抗がない	2. あまり抵抗がない	3. どちらともいえない	4. 少し抵抗がある
5. 大いに抵抗がある			

問12 外国籍市民が増えることで、良いと感じることはありますか。(○は1つ)

1. とてもある →問12-1へ	2. ややある →問12-1へ	
3. どちらともいえない、わからない	4. あまりない	5. ない

問12で「1. とてもある」、「2. ややある」とお答えの方におうかがいします。

問12-1 外国籍市民が増えることにより、良くなることは何だと思えますか。(①~⑧それぞれ1つに○)

	そう思う	少しそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
① 外国の言葉や文化等に触れる機会が増える	1	2	3	4	5
② 外国のことについて関心を持つようになる	1	2	3	4	5
③ 地域の活性化が図られる	1	2	3	4	5
④ 社会に多様性が生まれる	1	2	3	4	5
⑤ 労働者不足の解消につながる	1	2	3	4	5
⑥ 異文化に対する偏見がなくなるにつながる	1	2	3	4	5
⑦ 新しい文化やビジネスチャンスが生まれる	1	2	3	4	5
⑧ 日本や京都の伝統・文化の発信が期待できる	1	2	3	4	5

問 13 外国籍市民が増えることで、良くないと感じることはありますか。(○は1つ)

1. とてもある →問 13-1 へ	2. ややある →問 13-1 へ
3. どちらともいえない、わからない	4. あまりない
	5. ない

問 13 で「1. とてもある」、「2. ややある」とお答えの方におうかがいします。

問 13-1 外国籍市民が増えることで、良くないと感じることは何ですか。(①～⑧それぞれ1つに○)

	そう思う	少し思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
① 文化・習慣の違いによるトラブルが生じる	1	2	3	4	5
② 言葉の壁によるトラブルが生じる	1	2	3	4	5
③ 外国籍の人が特定の場所に集住する	1	2	3	4	5
④ 外国籍の人向けサービス(多言語対応等)や教育など、社会的負担が増える	1	2	3	4	5
⑤ 日本人の雇用機会が奪われる	1	2	3	4	5
⑥ 日本の文化が損なわれる	1	2	3	4	5
⑦ 地域の環境(治安や風紀など)に悪い影響がある	1	2	3	4	5
⑧ 具体的な心配事はないが、外国籍市民が増えることに漠然とした不安を感じる	1	2	3	4	5

問 14 あなた自身が今までに、実際に地域の外国籍市民との間にトラブルがあったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ゴミの出し方	2. 家や部屋からの騒音
3. 料理などのにおいに関すること	4. 家が清潔に保たれていないこと
5. 集合住宅の共用スペースの使い方	6. 子どもの行動
7. 交通ルールや駐車・駐輪に関すること	8. ペットのマナー
9. 外国人が経営する店舗の営業に関すること	10. 建物の増築・改築
11. 文化や慣習に関すること	12. 宗教に関すること
13. その他()	14. 特にない

問 15 あなたが京都市で生活していく中で、外国籍市民に対してできることはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. あいさつ、声かけ	2. 地域の行事などに誘う
3. 「やさしい日本語」※で話しかける	4. 地域のルールなどを教える
5. 外国の生活習慣、文化などについて理解する	6. 差別意識や偏見を持たない
7. 日本語を教える	8. 外国人と交流するイベントなどに積極的に参加する
9. 友だちになる	10. 困っているときに話しかける
11. 外国語を学ぶ	

※5ページを参照ください。

問16 日本人と互いに理解し合って生活するために、外国籍市民に希望することは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 日本の習慣、生活ルールを理解し、行動してほしい
2. 日常的にあいさつするなどのコミュニケーションをとってほしい
3. 日本語を学んでほしい
4. 日本文化を学んでほしい
5. 地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい
6. 外国の言葉や文化を紹介してほしい
7. 生活の中で感じたことを提案、発信してほしい
8. その他 ()

問17 「やさしい日本語」※を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 知っていて使ったことがある | 2. 知っているが使っていない |
| 3. 聞いたことはあるが、内容は知らない | 4. 知らない |

※やさしい日本語・・・外国の人にもわかるようにした簡単な日本語のこと。

(複雑な表現を避ける、一文を短くする、漢字等にルビを振るなど)

◆◆ お知らせ ◆◆

次のウェブサイトでは、「やさしい日本語」を活用し、外国人や高齢者、子どもなど、すべての人に分かりやすく情報を伝えるための「分かりやすく伝えるための手引き」を御覧いただけます。



URL: <https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000235/235459/tebiki.pdf>

問18 共生社会の実現に向けて、京都市に必要な対応は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす
2. 外国籍市民が日本文化を学ぶ機会を増やす
3. 多言語(「やさしい日本語」を含む)での生活情報の提供を増やす
4. 相談や行政の手続きなどで多言語のサポートを増やす
5. 「やさしい日本語」を多くの人に広げる
6. 外国籍市民の子育てや教育の環境をよくする
7. 日本人と外国籍市民が協力して地域を盛り上げる機会を増やす
8. 外国籍市民を支える団体の支援やボランティアの育成支援
9. 外国籍市民の就職を支援する
10. 外国籍市民が病院や福祉サービスを利用するときに支援する
11. 外国籍市民の意見を行政に生かすための仕組みづくり
12. 外国籍市民と日本人が交流する機会を増やす
13. 日本人が外国の文化を理解できるようにする
14. 日本人の外国語学習を支援する
15. 外国人への差別や偏見がなくなるようにする
16. その他 ()

4. 国際交流の経験、関心・希望について

問 19 京都市には以下の9つの姉妹都市があります。姉妹都市であることを知っていた都市はありますか。
(知っていたものすべてに○)

1. パリ (フランス共和国)	2. ボストン (アメリカ合衆国)	3. ケルン (ドイツ連邦共和国)
4. フィレンツェ (イタリア共和国)	5. キーウ (ウクライナ)	6. 西安 (中華人民共和国)
7. グアダハラ (メキシコ合衆国)	8. ザグレブ (クロアチア共和国)	9. プラハ (チェコ共和国)

問 20 海外との交流や外国の文化を楽しむことを目的としたイベントへの参加経験や参加意向はありますか。
(○は1つ)

1. 参加したことがある	} 問 20-1 へ
2. 参加したことはないが、参加してみたい	
3. 参加したことがなく、参加したいとも思わない	

問 20で「1. 参加したことがある」、「2. 参加したことはないが、参加してみたい」とお答えの方におうかがいします。

問 20-1 次の国際交流イベントのうち、関心があるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 料理や音楽などを通じて外国の文化に触れるイベント
2. お互いの歴史や文化を紹介しあうことで相互理解を深めるイベント
3. 外国の言語を学ぶこと、またはお互いの言語を学ぶことを目的としたイベント
4. 環境問題や難民など地球規模の課題や国際情勢について学ぶことを目的としたイベント
5. 外国との間での経済的な交流の活性化を目的としたイベント
6. その他 ()

問 21 左京区岡崎にある kokoka 京都市国際交流会館について知っていますか。(○は1つ)

1. 知っており、利用している (利用したことがある)	2. 知っているが利用したことはない → 問 21-1 へ
3. 知らない	

問 21で「2. 知っているが利用したことはない」とお答えの方におうかがいします。

問 21-1 kokoka 京都市国際交流会館を利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の家から行くことが難しい	2. どのようなサービスがあるのかわからない
3. 場所や利用時間などの情報が入手できない	4. 忙しくて利用する時間がない
5. 利用・参加したいサービスやイベントなどが無い	

◆◆ お知らせ ◆◆

kokoka 京都市国際交流会館は、京都市の国際交流・多文化共生の拠点として、多言語での相談対応や日本語教育などの外国籍市民等の支援事業、国際交流イベント開催などの国際交流・異文化理解促進事業、国際交流・多文化共生を推進する各種ボランティアなどの担い手育成事業など、多岐にわたる事業を実施しています。 URL: <https://www.kcif.or.jp/>



問 22 どのような国際交流・国際協力を京都市が取り組むべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 外国の歴史や文化、芸術などを紹介し異文化理解を促す交流
2. 次世代を担う子ども・青少年が国際的な視野を広げる機会となる交流
3. 外国の言語の習得、コミュニケーション能力の向上を促す交流
4. スポーツを通じた市民同士の交流
5. 大学などの研究機関同士の学術交流
6. 観光客等の誘致や地元企業の海外進出を促進するなど、新たな地域経済の活力を生み出す交流
7. 地球環境保全など地球規模の課題の解決に向けた海外都市との連携
8. 難民等の国際情勢について考え、理解を深めるための取組
9. その他 ()

5. 自由意見

問 23 外国籍市民の受入れ、国際交流に関して思うことを御自由にお書きください。

質問は以上です。御協力ありがとうございました。

このアンケート調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
7月28日(月)までに郵便ポストへ投函してください。

令和7年度
京都市外国籍市民等意識・実態及び受入れに関する調査
結果報告書

令和8年(2026年)3月発行

京都市印刷物第072369号

京都市総合企画局国際都市共創推進室

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488

TEL 075-222-3072 FAX 075-222-3055

